

令和3年度

# 江戸川区民世論調査

< 第 34 回 >

江戸川区



# 目 次

I 調査の概要	1
II 結果のあらまし	15
III 結果と分析	25
1. 居住年数・永住意向について	27
(1) 居住年数	27
(2) 永住意向	27
(3) 区への親近感や愛着	35
2. 江戸川区の現況について	38
(1) 各項目の満足度	38
(2) 区の現況への満足度	93
3. 区の推奨度について	97
(1) 区の推奨度について	97
4. SDGs について	100
(1) SDGs についての認知度	100
(2) SDGs の 17 のゴールのうち、区が特に力を入れて取り組んでほしいゴール	103
(3) SDGs の 17 のゴールのうち、現在取り組んでいることまたは今後取り組みたいこと	108
5. 共生社会について	118
(1) 共生社会についての認知度	118
(2) 共生社会を目指す上で、区に取り組んでほしいこと	121
6. なごみの家について	124
(1) なごみの家の認知度	124
7. 人権について	126
(1) 関心のある人権課題	126
8. 気候変動について	129
(1) 気候変動の影響について	129
(2) 気候変動の影響から自らの健康や暮らしの安全を守るために取り組んでいること	132
9. 省エネ・省資源を意識した行動について	135
(1) 省エネ・省資源を意識した行動について	135

<b>10. 災害対策について</b> .....	<b>176</b>
(1)大規模水害時における江戸川区外の浸水しない地域への広域避難.....	176
(1-1)江戸川区外の避難先.....	179
(1-2)避難する手段.....	182
(1-3)江戸川区内の避難.....	185
(1-4)広域避難しない理由.....	188
(2)「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について.....	202
(2-1)「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用する理由.....	205
(2-2)「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由.....	208
<b>11. 区内路線バス利用頻度について</b> .....	<b>211</b>
(1)区内路線バスを利用する頻度.....	211
<b>12. ご当地ナンバーについて</b> .....	<b>214</b>
(1)ご当地ナンバーについて.....	214
<b>13. 自転車の安全利用と保険の加入について</b> .....	<b>217</b>
(1)加入している自転車損害賠償保険の種類.....	217
(2)自転車走行中に危険な経験をしたことはあるか.....	220
(3)自転車事故を無くすために必要なこと.....	223
<b>14. 治安に対する意識について</b> .....	<b>226</b>
(1)犯罪被害に遭うかもしれないと不安になる場所.....	226
(2)力を入れてほしい犯罪対策.....	229
<b>15. 町会・自治会について</b> .....	<b>233</b>
(1)町会・自治会への加入状況.....	233
(1-1)町会・自治会未加入の理由.....	236
(2)町会・自治会に求めること.....	239
<b>16. キャッシュレス化の推進について</b> .....	<b>243</b>
(1)キャッシュレス決済の利用状況.....	243
(1-1)キャッシュレス決済を利用していない理由.....	251
<b>17. ヤングケアラーについて</b> .....	<b>253</b>
(1)ヤングケアラーの認知度.....	253
(2)ヤングケアラーの問題が解消されない理由.....	256
<b>18. 睡眠について</b> .....	<b>259</b>
(1)1日の平均睡眠時間.....	259
(2)睡眠による休養.....	261
<b>19. 健康状態・生活習慣について</b> .....	<b>263</b>
(1)現在の身体・心の健康状態.....	263
(2)喫煙状況.....	267

20. 運動習慣について .....	269
(1) 運動の頻度 .....	269
21. 公共施設の再編・整備について .....	272
(1) 公共施設の利用頻度 .....	272
(2) 公共施設を利用しなかった理由 .....	287
22. 区政への要望について .....	302
(1) 今後推進してほしい施策 .....	302
23. 自由記述 .....	307
(1) 江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと .....	307
IV 調査票 .....	329



# I 調査の概要





# I 調査の概要

## 1. 目的

区政に対する区民の意識・評価・要望などを把握し、その結果を区政へ反映させることにより、区民参加による区政運営を推進していくため実施。

## 2. 対象

満 18 歳以上の区民 4,000 人

対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出

## 3. 期間

令和3年 11 月 1 日(月)～11 月 21 日(日)<21 日間>

## 4. 内容

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| (1) 居住年数・永住意向について      | (13) 自転車の安全利用と保険の加入について |
| (2) 江戸川区の現況について        | (14) 治安に対する意識について       |
| (3) 区の推奨度について          | (15) 町会・自治会について         |
| (4) SDGs について          | (16) キャッシュレス化の推進について    |
| (5) 共生社会について           | (17) ヤングケアラーについて        |
| (6) なごみの家について          | (18) 睡眠について             |
| (7) 人権について             | (19) 健康状態・生活習慣について      |
| (8) 気候変動について           | (20) 運動習慣について           |
| (9) 省エネ・省資源を意識した行動について | (21) 公共施設の再編・整備について     |
| (10) 災害対策について          | (22) 区政への要望について         |
| (11) 区内路線バス利用頻度について    | (23) 自由記述               |
| (12) ご当地ナンバーについて       |                         |

## 5. 調査方法

調査票を対象者に郵送し、本人記入方式。

回収は、郵送回収とWEB回収の併用。

### 【回収結果】

・標本数 4,000 件

・有効回収数 1,836 件 有効回収率 45.9%

(内、郵送は 1,218 件、66.3% Web 回収は 618 件、33.7%)

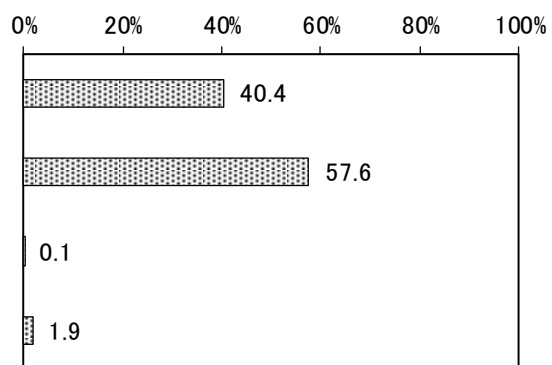
(人口は、令和3年 11 月 1 日現在)

18 歳以上の人口(人)	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
587,592	4,000	1,836	45.9

## 6. 回答者の属性

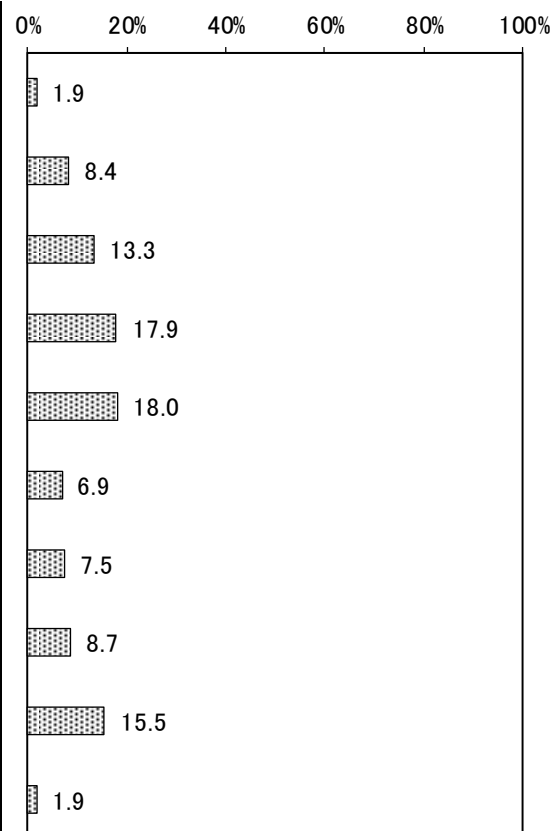
## (1) F1 性別

	基数	構成比
1 男性	742	40.4
2 女性	1,058	57.6
3 その他	2	0.1
(無回答)	34	1.9
全体	1,836	100.0



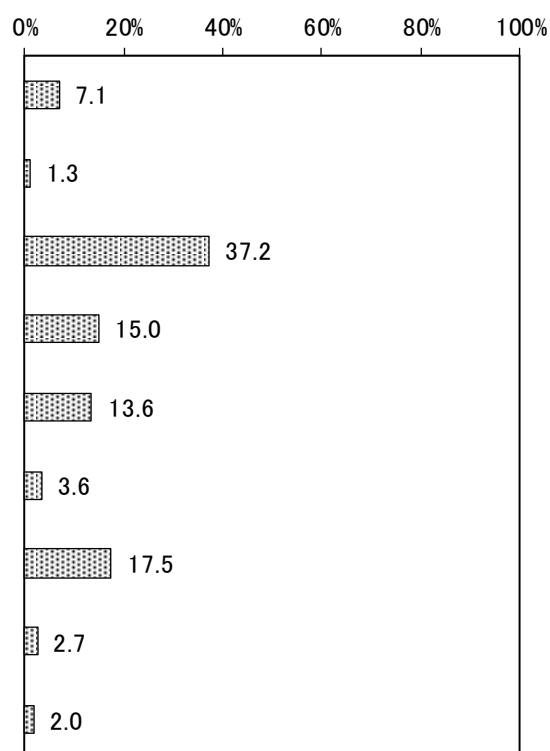
## (2) F2 年齢

	基数	構成比
1 18・19歳	34	1.9
2 20～29歳	155	8.4
3 30～39歳	244	13.3
4 40～49歳	329	17.9
5 50～59歳	333	18.0
6 60～64歳	126	6.9
7 65～69歳	137	7.5
8 70～74歳	160	8.7
9 75歳以上	284	15.5
(無回答)	34	1.9
全体	1,836	100.0



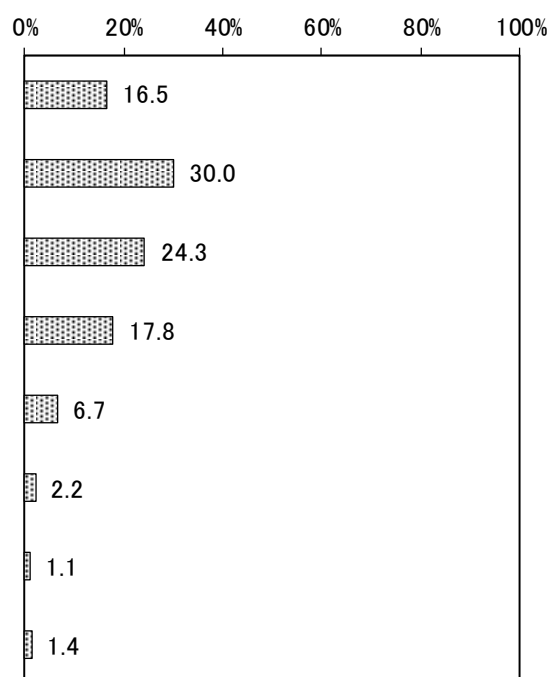
## (3) F3 職業

	基数	構成比
1 自営業者	130	7.1
2 家族従業(家事手伝い)	23	1.3
3 勤め(フルタイム)	684	37.2
4 勤め(パートタイム)	276	15.0
5 家事専業	249	13.6
6 学生	67	3.6
7 無職	321	17.5
8 その他	49	2.7
(無回答)	37	2.0
全体	1,836	100.0

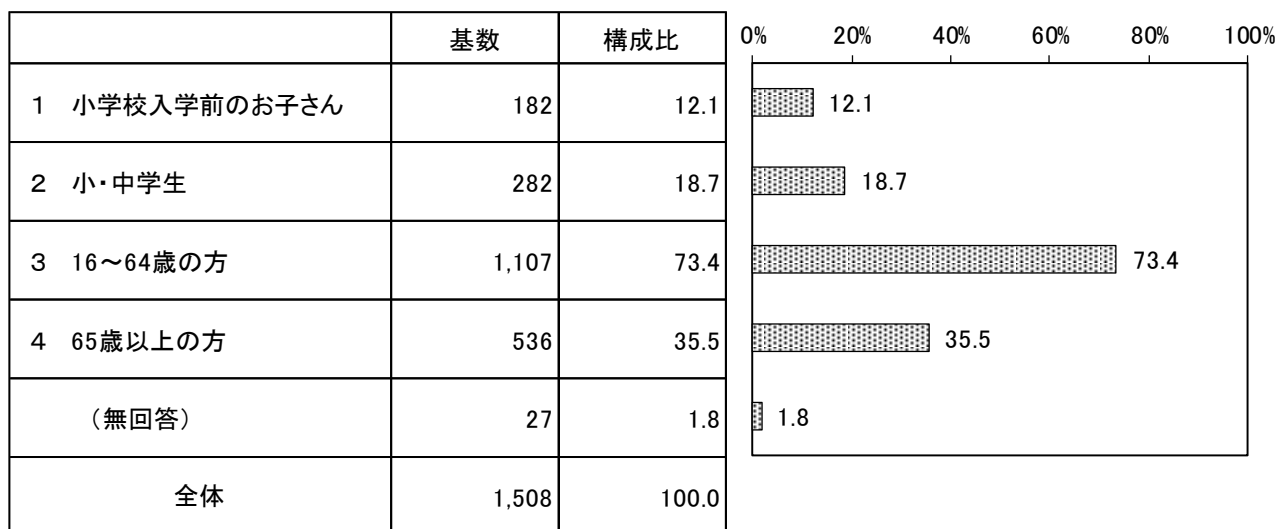


## (4) F4 同居家族数

	基数	構成比
1 1人	303	16.5
2 2人	550	30.0
3 3人	447	24.3
4 4人	326	17.8
5 5人	123	6.7
6 6人	41	2.2
7 7人以上	21	1.1
(無回答)	25	1.4
全体	1,836	100.0

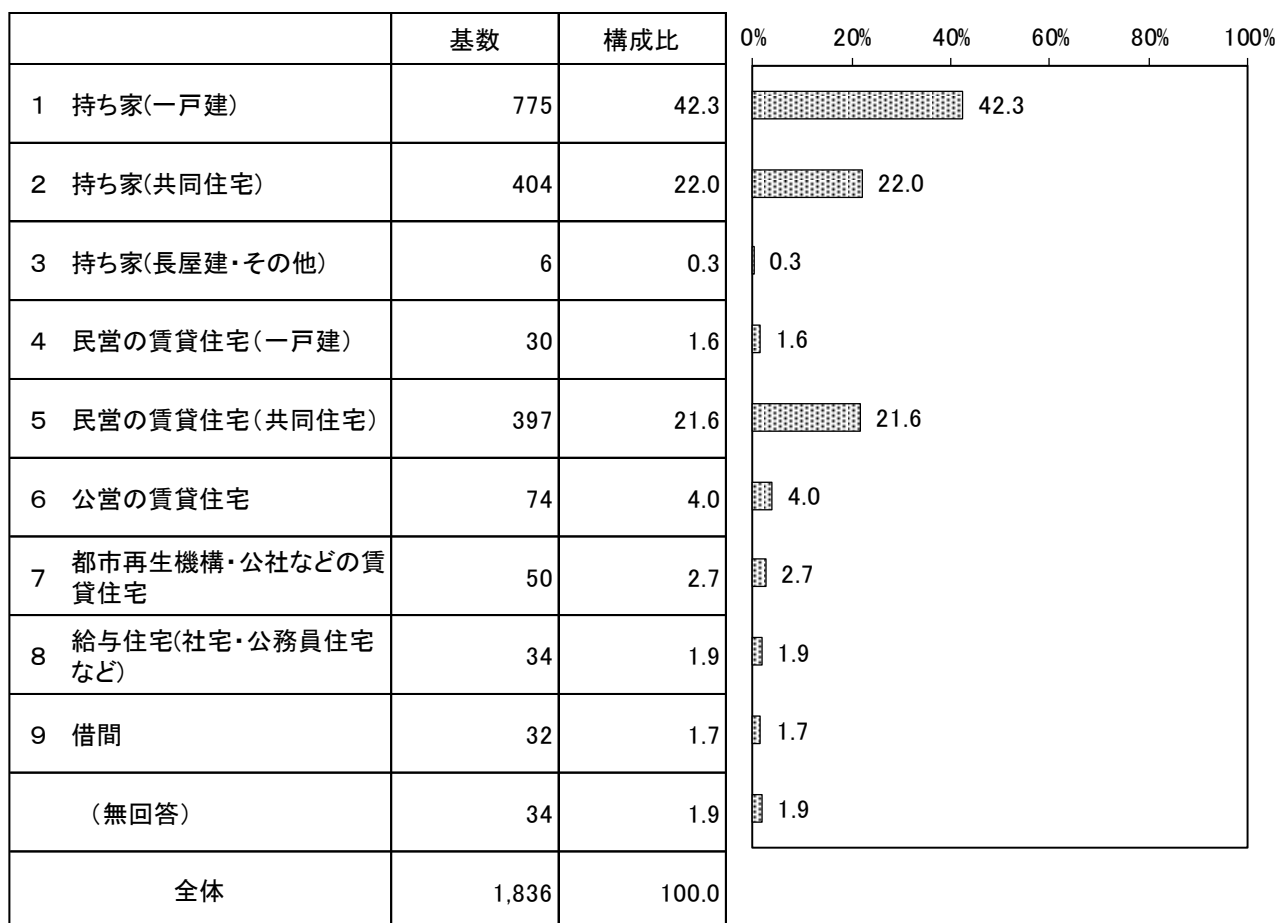


## (5) F4-1 同居者

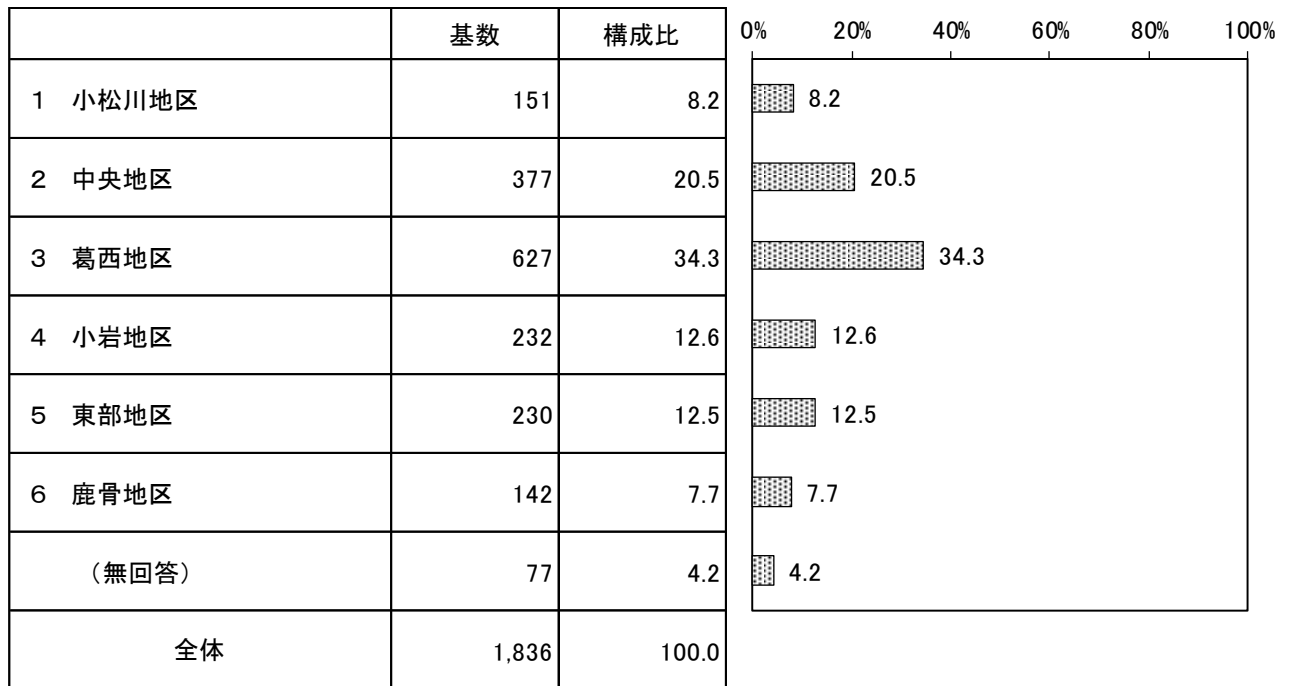


※複数回答の設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。

## (6) F5 住居形態



## (7) F6 居住地区



## 7. 報告書の見方

この報告書における表・グラフの見方

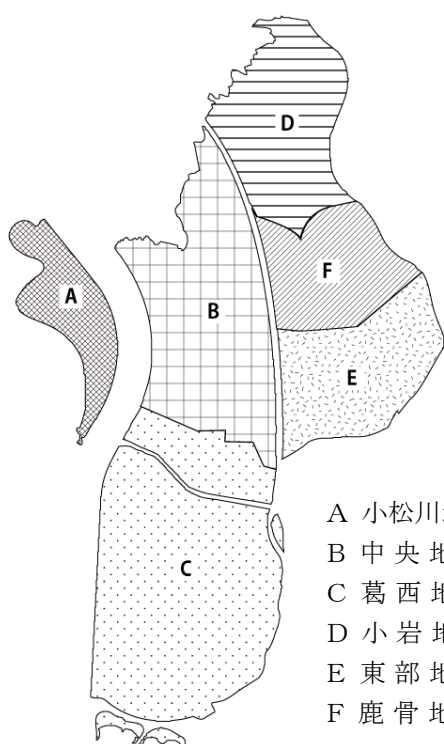
- 図表の中のnとは回答者総数(または該当質問の該当者数)を表している。
- 回答の比率(%)は、その設問の回答者を基数(n)とし、小数点第2位を四捨五入して算出した。単一回答については、各回答の割合の合計が100.0%となるよう、小数点第1位の数値を調整している場合がある。
- 1人の回答者が複数回答を行なう設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- 分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「無回答」は掲載していない。そのため、分析軸のそれぞれの(n)の合計が全体と一致しない場合がある。
- nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが30未満の場合は注意を要する。したがって、nが30を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。
- 地区は、管轄ごとに以下のように分類した。

### 【管轄別区域表】

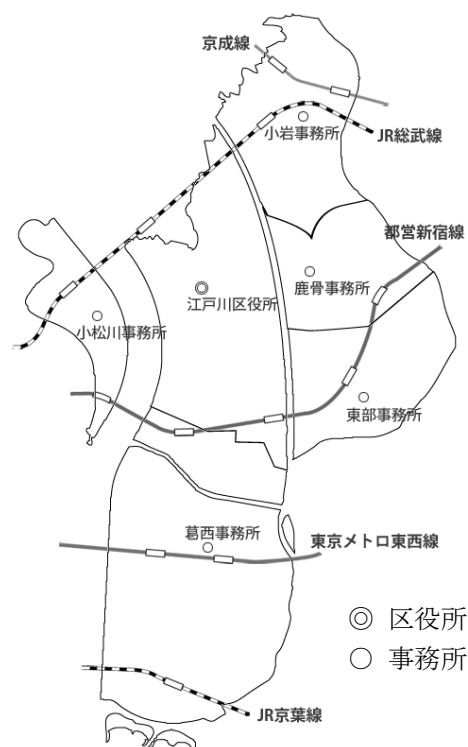
管轄名	管轄内町丁名
小松川事務所 (小松川地区)	小松川1~4丁目、平井1~7丁目
区民課 (中央地区)	中央1~4丁目、松島1~4丁目、松江1~7丁目、東小松川1~4丁目、西小松川町、大杉1~5丁目、西一之江1~4丁目、春江町4丁目、上一色1~3丁目、本一色1~3丁目、一之江1~8丁目、西瑞江4丁目1~2・10~27、江戸川4丁目15~25、松本1・2丁目、興宮町
葛西事務所 (葛西地区)	春江町5丁目、西瑞江5丁目、江戸川5・6丁目、一之江町、二之江町、船堀1~7丁目、宇喜田町、東葛西1~9丁目、西葛西1~8丁目、中葛西1~8丁目、南葛西1~7丁目、北葛西1~5丁目、清新町1・2丁目、臨海町1~6丁目
小岩事務所 (小岩地区)	東小岩1~6丁目、西小岩1~5丁目、南小岩1~8丁目、北小岩1~8丁目
東部事務所 (東部地区)	春江町2・3丁目、東瑞江1~3丁目、西瑞江3丁目・4丁目5~9、江戸川1~3丁目・4丁目1~14、谷河内2丁目、下篠崎町、篠崎町3~6丁目、南篠崎町1~5丁目、東篠崎1・2丁目、瑞江1~4丁目
鹿骨事務所 (鹿骨地区)	新堀1・2丁目、春江町1丁目、谷河内1丁目、鹿骨町、鹿骨1~6丁目、上篠崎1~4丁目、篠崎町1・2・7・8丁目、西篠崎1・2丁目、北篠崎1・2丁目、東松本1・2丁目

※調査票では番地まで聞いていないため、西瑞江4丁目、江戸川4丁目は便宜上中央地区としている。

## 【地区別区分図】



- A 小松川地区(小松川事務所管内)  
 B 中央地区(区民課管内)  
 C 葛西地区(葛西事務所管内)  
 D 小岩地区(小岩事務所管内)  
 E 東部地区(東部事務所管内)  
 F 鹿骨地区(鹿骨事務所管内)



- ◎ 区役所  
 ○ 事務所

○ 標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(P)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2\sqrt{P(1-P)/n} \quad P = \text{回答比率(\%)} \\ n = \text{回答者数}$$

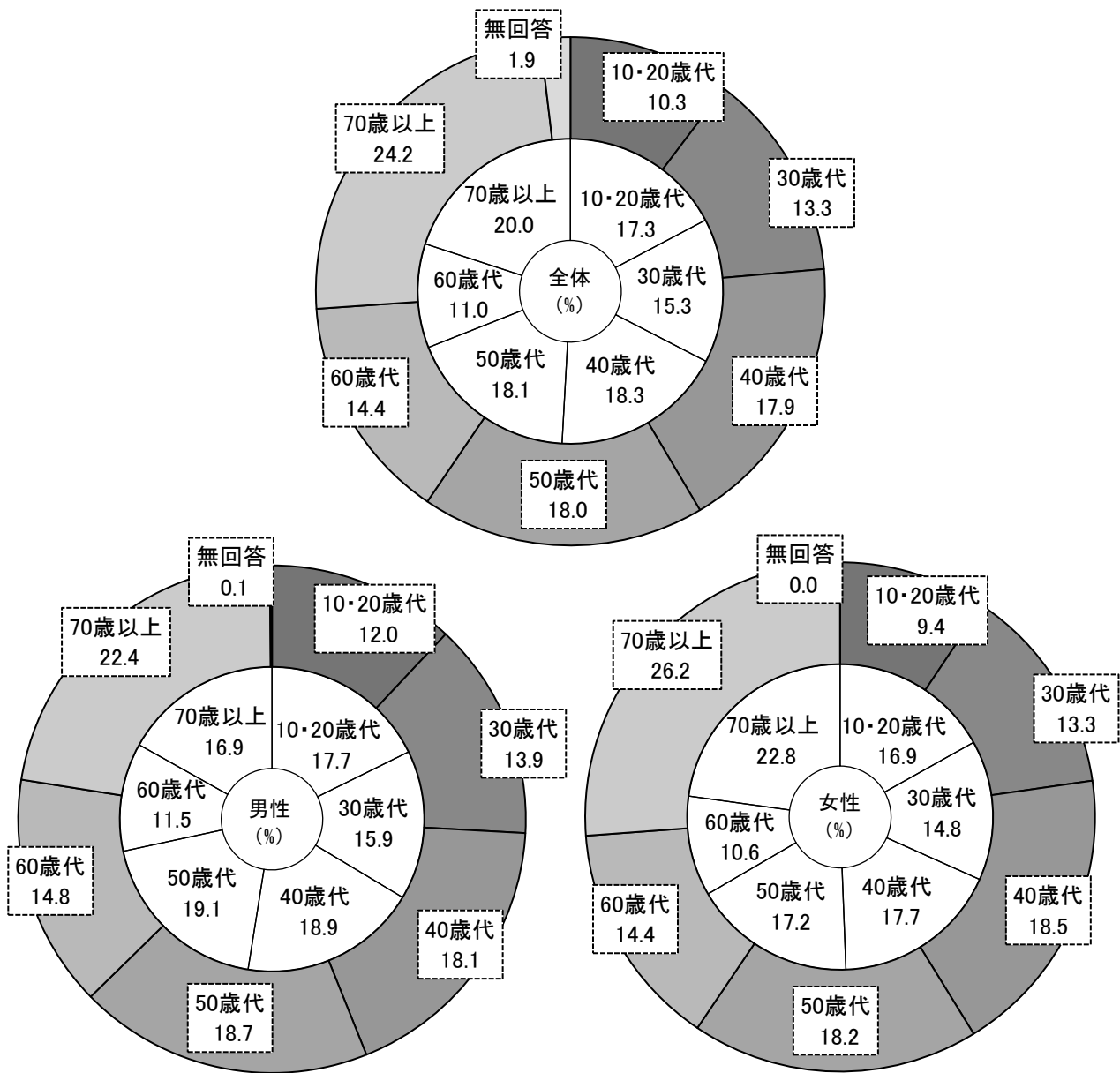
今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答率(p) 回答者数(n)	90% または 10%程度	80% または 20%程度	70% または 30%程度	60% または 40%程度	50%程度
1,836	±1.40	±1.87	±2.14	±2.29	±2.33
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
300	±3.46	±4.62	±5.29	±5.66	±5.77
100	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00

(注/この表の見方)

標本誤差とは、今回のように全体(母集団)の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が1,836であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.29%以内(57.71~62.29%)である」とみることができる。

8. 性・年齢別回収結果(母集団との比較)



※内円は母集団 18 歳以上の人口 (N=587,592) の構成比、外円は調査回答者 (n=1,836) の構成比を示している。

※性別が「その他」の回答者については「n」が少ないため掲載をしていない。



## 9. 過去の世論調査の概要(主要項目)

回数 (時期)	第1回 (S51.1)	第2回 (S52.1)	第3回 (S53.1)	第4回 (S54.1)	第5回 (S55.1)	第6回 (S56.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,587 79.4%	1,610 80.5%	1,543 77.2%	1,541 77.1%	1,451 72.6%	1,741 87.1%	
主な調査内容	永住意向	55.2%	—	56.5%	66.3%	71.5%	72.1%
	転出意向	25.2%	—	25.4%	21.9%	15.7%	14.5%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	病院	公園・遊び場	下水道	病院・診療所	病院	下水道
		下水道	病院	病院	公園・遊び場	下水道	都市ガス
		公園・遊び場	下水道	公園・遊び場	下水道	鉄道の駅	鉄道の駅
	施策への 要望 (上位3つ)	保健・衛生・ 医療	—	—	—	—	—
		災害対策	—	—	—	—	—
		公害対策	—	—	—	—	—
	区政への 信頼度	76.7%	—	76.2%	76.2%	78.8%	77.9%
	区政への 関心度	77.8%	83.7%	80.8%	76.4%	83.2%	83.1%
その他の 調査項目	区政に対する 満足度	区政に対する 満足度	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	区独自事業の 周知度	
	住環境意識	地域活動の 実態	住環境意識	近隣関係の 満足度	災害に対する 備え	区民の文化・ スポーツ活動	

回数 (時期)	第7回 (S57.1)	第8回 (S58.1)	第9回 (S59.1)	第10回 (S60.1)	第11回 (S61.1)	第12回 (S62.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,677 83.9%	1,717 85.9%	1,763 88.2%	1,738 86.9%	1,754 87.7%	1,748 87.4%	
主な調査内容	永住意向	69.8%	86.4%	86.5%	82.1%	82.8%	78.6%
	転出意向	17.1%	8.2%	8.1%	9.8%	10.5%	13.2%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	下水道	下水道	病院	病院	病院	病院
		公園・遊び場	鉄道の駅	下水道	下水道	鉄道の駅	大型店
		鉄道の駅	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	保健・衛生・ 医療	—	—
		—	—	—	災害	—	—
		—	—	—	高齢者	—	—
	区政への 信頼度	79.0%	80.0%	78.7%	81.5%	82.5%	79.8%
	区政への 関心度	81.0%	80.6%	81.9%	83.6%	82.6%	79.6%
その他の 調査項目	地域活動への 参加意向	区民の 健康状態	ボランティア活 動の参加意向	文化事業	生活環境への 満足度	区民の 健康状態	
	街の美観 について	区民の悩み事 の実態	区内の バス交通	地域情報の 媒体	広報紙の印象	区の紋章等の 周知度	

(※)第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

I 調査の概要

回数 (時期)	第13回 (S63.2)	第14回 (H元.1)	第15回 (H2.1)	第16回 (H3.1)	第17回 (H4.1)	第18回 (H5.1)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,677 83.9%	1,711 85.6%	1,670 83.5%	1,680 84.0%	1,672 83.6%	1,614 80.7%	
主な調査内容	永住意向	80.2%	80.7%	81.1%	79.1%	77.5%	78.5%
	転出意向	11.9%	12.9%	12.6%	13.6%	14.9%	14.8%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	大型店	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
		駐車場	病院	病院	大型店	病院	病院
		病院	大型店	大型店	病院	大型店	大型店
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—
	区政への 信頼度	82.9%	84.0%	87.4%	80.6%	79.3%	80.9%
	区政への 関心度	83.8%	84.3%	87.9%	82.7%	81.5%	82.1%
その他の 調査項目	街の魅力	余暇の考え方	広報紙の印象	区民の 健康状態	区民の いきがい	保健所の 利用状況	
	友好都市との 交流	ボランティア 活動の考え方	国際交流の 参加意向	住みよさの 評価	地元商店街の 印象	広報紙 閲読状況	

回数 (時期)	第19回 (H6.1)	第20回 (H7.1)	第21回 (H8.1)	第22回 (H8.10)	第23回 (H10.10)	第24回 (H12.7)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,643 82.2%	1,642 82.1%	1,684 84.2%	1,658 82.9%	1,672 83.6%	1,574 78.7%	
主な調査内容	永住意向	80.0%	80.1%	80.1%	80.7%	78.0%	82.5%
	転出意向	11.8%	11.2%	11.9%	11.0%	9.9%	6.6%
	施設への 要望(※) (上位3つ)	病院	病院	病院	病院	病院	医療機関
		大型店	大型店	大型店	大型店	駐車場・ 駐輪場	スポーツ
		駐車場	駐車場	駐車場	駐車場	大型店 (スーパー)	高齢者
	施策への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—	高齢者	高齢者
		—	—	—	—	環境・公害	子育て
		—	—	—	—	交通網	環境・公害
	区政への 信頼度	77.8%	77.6%	76.7%	74.4%	—	—
	区政への 関心度	79.8%	80.2%	78.7%	77.9%	—	—
その他の 調査項目	区のイメージ	江戸川区の 魅力	災害時への 備え	地域活動への 参加意向	江戸川区の 魅力	江戸川区の 将来像	
	区民まつり 満足度	健康診査の 受診状況	住まいの 満足度	生活環境 満足度	産業振興施策	介護保険に ついて	

(※)第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

回数 (時期)	第25回 (H14.4)	第26回 (H16.6)	第27回 (H18.6)	第28回 (H20.5)	第29回 (H22.5)	第30回 (H24.5)	
標本数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
回収数 (回収率)	1,524 76.2%	1,490 74.5%	1,356 67.8%	1,408 70.4%	1,405 70.3%	1,314 65.7%	
主な調査内容	永住意向	77.6%	74.7%	74.1%	76.6%	78.8%	76.9%
	転出意向	7.6%	6.9%	8.3%	5.1%	5.8%	5.6%
	施設への 要望 (上位3つ)	スポーツ	スポーツ	児童・保育	スポーツ	児童・保育	児童・保育
		高齢者	教育・文化	教育・文化	児童・保育	スポーツ	スポーツ
		教育・文化	公園・広場	スポーツ	医療機関	教育・文化	教育・文化
	施策への 要望(※) (上位3つ)	高齢者	防犯	防犯	防犯	防犯	震災
		保健・健康	高齢者	高齢者	災害	高齢者	防犯
		景気・物価	学校教育	災害	高齢者	子育て	高齢者
	区政への 信頼度	—	—	—	—	—	—
	区政への 関心度	—	—	—	—	64.5%	63.4%
その他の 調査項目	区のイメージ	まちづくりの 状況	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	
	区民のかかり つけ医の状況	資源とごみの 分別状況	省エネを 意識した行動	区の景観	運動・ 健(検)診	喫煙について	

(※)第29回以降は、「災害対策」を「震災対策」と「水害対策」に分割。

回数 (時期)	第31回 (H26.5)	第32回 (H29.5)	第33回 (R2.11)	第34回 (R3.11)	
標本数	2,000	2,000	4,000	4,000	
回収数 (回収率)	1,512 75.6%	1,486 74.3%	1,548 38.7%	1,836 45.9%	
主な調査内容	永住意向	74.4%	73.3%	74.5%	76.3%
	転出意向	4.6%	6.2%	8.5%	7.7%
	施設への 要望 (上位3つ)	—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
	施策への 要望(※) (上位3つ)	震災	震災	水害	水害
		防犯	防犯	震災	震災
		水害	水害	防犯対策	防犯対策
	区政への 信頼度	—	—	—	—
	区政への 関心度	—	—	—	—
その他の 調査項目	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	
	駐輪場・レンタ サイクルにつ いて	スポーツの 実践について	災害対策に ついて	SDGs について	



## Ⅱ 結果のあらまし



## II 結果のあらまし

### 1. 居住年数・永住意向について (27~37 ページ)

#### 【問1(27 ページ)】

江戸川区での居住年数は、『長期の居住者』(61.5%)、『中期の居住者』(23.2%)、『短期の居住者』(14.4%)の順に高くなっている。その中でも、「31年以上」が45.5%と他の回答に比べて高くなっている。

#### 【問2(30 ページ)】

今後も江戸川区に住み続けたいか尋ねたところ、「住み続けたい」が47.4%、「できれば住み続けたい」が28.9%に対して、「できれば区外へ移りたい」が4.4%、「区外へ移るつもり」が3.3%といずれも5%に満たず少数となっている。『永住意向』(「住み続けたい」+「できれば住み続けたい」)は76.3%に対して、『転出意向』(「できれば区外へ移りたい」+「区外へ移るつもり」)は7.7%となっている。

#### 【問3(35 ページ)】

江戸川区に愛着や親しみを感じているか尋ねたところ、「感じている」が53.6%、「やや感じている」が34.6%に対して、「あまり感じていない」が9.4%、「感じていない」が1.5%といずれも1割に満たない。

### 2. 江戸川区の現況について (38~96 ページ)

#### 【問4(38 ページ)】

江戸川区の18項目の満足度について聞いたところ、「満足」は【① 買い物の便】(35.7%)、【④ 公園・水辺の整備】(33.4%)、【② 交通の便】(31.7%)の順に高くなっている。一方、「不満」は【⑩ 災害への備え】で9.3%と最も高くなっているが、いずれの項目でも1割未満となっている。

#### 【問5(93 ページ)】

江戸川区の現況への満足度を尋ねたところ、「やや満足」(42.4%)、「普通」(32.7%)、「満足」(14.3%)の順に高くなっている一方、「やや不満」は7.2%と1割未満、「不満」が1.2%と5%に満たず少数となっている。

### 3. 区の推奨度について (97~99 ページ)

#### 【問6(97 ページ)】

江戸川区の推奨度について尋ねたところ、「どちらも勧めたい」が19.9%、「定住を勧めたい」が14.5%、「来訪を勧めたい」が17.6%、「どちらも勧めない」が12.9%といずれも1割台となっている。一方、「分からない」は34.5%と最も高い回答となっている。

### 4. SDGsについて (100~117 ページ)

#### 【問7(100 ページ)】

SDGsについての認知度について尋ねたところ、「名前も内容も知っている」(45.0%)、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」(35.0%)、「全く知らない」(18.5%)の順に高くなっている。

### 【問8(103 ページ)】

SDGs の 17 のゴールのうち、区が特に力を入れて取り組んでほしい目標(ゴール)について尋ねたところ、「⑪ 住み続けられるまちづくりを」(59.6%)、「③ すべての人に健康と福祉を」(57.0%)、「① 貧困をなくそう」(40.0%)、「④ 質の高い教育をみんなに」(30.9%)、「⑬ 気候変動に具体的な対策を」(30.5%)、「⑧ 働きがいも経済成長も」(29.8%)の順に高くなっている。一方、「⑮ 陸の豊かさも守ろう」が 8.2%、「⑰ パートナリーシップで目標を達成しよう」が 2.5%と1割未満となっている。

### 【問9 ①現在取り組んでいること(108 ページ)】

SDGs の 17 のゴールのうち、現在取り組んでいることについて尋ねたところ、「⑭ マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」(72.5%)、「② 食料品を必要な分だけ買う」(59.7%)、「⑥ 歯磨きやシャワーの水を小まめに止める」(58.7%)、「⑦ 見ていないテレビは消す」(57.9%)、「⑪ 外出時は公共交通機関を利用する」(49.6%)、「③ 十分な睡眠をとる」(49.4%)の順に高くなっており、いずれも4割を超えている。一方、「① 子ども食堂へ食材を届ける」は 0.8%、「⑰ オールエドがわで SDGs に取り組む」は 2.3%と5%に満たず少数となっている。

### 【問9 ②今後取り組みたいこと(113 ページ)】

SDGs の 17 のゴールのうち、今後取り組みたいことについて尋ねたところ、「③ 十分な睡眠をとる」(23.3%)、「④ 読まなくなった本を必要な人に届ける」(18.3%)、「② 食料品を必要な分だけ買う」(14.9%)、「⑨ 最新のテクノロジーやイノベーションに触れる」(13.9%)、「⑦ 見ていないテレビは消す」(13.2%)、「⑫ 3R(リデュース・リユース・リサイクル)に取り組む」(13.2%)の順に高くなっている。問9①(現在取り組んでいること)の上位6項目と重複しているのは「② 食料品を必要な分だけ買う」、「③ 十分な睡眠をとる」、「⑦ 見ていないテレビは消す」となっている。問9①(現在取り組んでいること)で最下位であった「① 子ども食堂へ食材を届ける」は 9.5%と問9①の数値(0.8%)と比べて 8.7 ポイント高くなっている。

## 5. 共生社会について(118~123 ページ)

### 【問 10(118 ページ)】

江戸川区が推進している共生社会の認知度について尋ねたところ、「知っている」は 15.8%に対して、「知らない」は 82.1%となっている。

### 【問 11(121 ページ)】

在住外国人が増える中、区に取り組んでほしいことについて尋ねたところ、「生活マナーに関する周知・啓発」(53.5%)、「外国人向けの相談窓口の増設」(14.4%)、「外国人と日本人の交流機会の創出」(14.2%)の順に高くなっている。「生活マナーに関する周知・啓発」は半数を超え、2番目に高い「外国人向けの相談窓口の増設」と 39.1 ポイントの差がある。

## 6. なごみの家について(124~125 ページ)

### 【問 12(124 ページ)】

なごみの家の認知度について尋ねたところ、「利用したことがあり、知っている」は 2.7%、「利用したことはないが、だいたいの活動内容は知っている」は 8.6%となっている。



## 7. 人権について（126～128 ページ）

### 【問 13(126 ページ)】

関心のある人権課題について尋ねたところ、「インターネットによる人権侵害」(43.6%)、「障害者」(40.3%)、「子ども」(37.4%)、「高齢者」(37.3%)、「女性」(34.7%)の順に高くなっている。

## 8. 気候変動について（129～134 ページ）

### 【問 14(129 ページ)】

気候変動の影響を感じるか尋ねたところ、「台風やゲリラ豪雨の増加」(85.3%)、「猛暑による熱中症など健康被害の発生」(69.6%)、「猛暑によるエアコンの使用増や災害に備えた避難準備など以前と異なる行動」(44.1%)の順に高くなっている。一方、「特に感じない」は1.9%と5%に満たず少数になっている。

### 【問 15(132 ページ)】

気候変動の影響から自らの健康や暮らしの安全を守るために取り組んでいることについて尋ねたところ、「熱中症予防のために、小まめに水分を補給するようになった」(81.4%)、「天気予報、熱中症アラート、台風情報などを気にするようになった」(66.7%)、「猛暑日や熱帯夜が増えたので、エアコンの使用を増やした」(64.8%)の順に高くなっている。一方、「猛暑など極端な気象が増えたので、家や事業所で断熱窓や遮熱塗装などへの改修を行った」は3.3%と5%に満たず少数となっている。

## 9. 省エネ・省資源を意識した行動について（135～175 ページ）

### 【問 16(135 ページ)】

省エネ・省資源を意識した20の行動について尋ねたところ、「はい」は【⑬ 食品ロスという言葉や取り組みを知っている】(90.3%)、【⑨ 買い物際にはレジ袋削減のため買い物袋(マイバッグ)を持参している】(88.7%)、【① 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている】(83.8%)、【⑩ 生ごみの水切りを行っている】(83.1%)の順に高くなっている。一方、「いいえ」は【⑥ 自宅または事業所に太陽光パネルを設置している】(91.0%)、【⑦ 自宅または事業所で燃料電池自動車または電気自動車(ハイブリッド車を除く)を使用している】(88.4%)、【⑯ 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている】(80.4%)の順に高くなっている。

## 10. 災害対策について（176～210 ページ）

### 【問 17(176 ページ)】

大規模水害時に江戸川区外の浸水しない地域へ広域避難できるか尋ねたところ、「直前まで判断できないと思う」が23.1%、「大規模水害発生前の広域避難はできないと思う」が8.8%、「広域避難できるか分からない」が24.5%となっている。

### 【問 17-1(179 ページ)】

問 17 で「48 時間以上前に広域避難できると思う」または「24 時間前なら広域避難できると思う」と答えた方に、江戸川区外の避難先について尋ねたところ、「親戚宅、友人・知人宅、別宅」(51.1%)、「避難先として行政から指定された施設」(27.0%)、「民間施設(ホテル、旅館など)」(13.7%)の順に高くなっている。

### 【問 17-2(182 ページ)】

問 17 で「48 時間以上前に広域避難できると思う」または「24 時間前なら広域避難できると思う」と答えた方に、問 17-1 で選択された広域避難先について、どのような手段で避難するか尋ねたところ、「鉄道」(40.5%)、「自動車」(38.7%)、「徒歩」(29.7%)の順に高くなっている。一方、「バス」は 7.1%、「タクシー」は 6.4%、「バイク」は 0.6%となっている。

### 【問 17-3(185 ページ)】

問 17 で「大規模水害発生前の広域避難はできないと思う」または「広域避難できるか分からない」と答えた方に、広域避難しない場合、江戸川区内のどこへ避難するか尋ねたところ、「民間施設(マンションなど高層建物)」は 15.1%、「勤務先や在学先(学校)関連施設」は 3.3%、「公共施設(小・中学校、区民館など)」は 41.9%となっている。一方、「避難しない(自宅にとどまる)」は 32.2%となっている。

### 【問 17-4(188 ページ)】

問 17 で「大規模水害発生前の広域避難はできないと思う」または「広域避難できるか分からない」と答えた方に、大規模水害時に広域避難しない理由について、どのように考えているか尋ねたところ、「当てはまる」は【③ 広域避難先の当てがえない】で 58.8%と他の項目に比べて 30 ポイント以上高くなっている。一方、「当てはまらない」は【⑤ ペットなどを飼っている】(59.7%)、【④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる】(49.8%)、【① 仕事や学校がある】(44.7%)の順に高くなっている。

### 【問 18(202 ページ)】

「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について尋ねたところ、『知っている』(「知っており、利用したい」+「知っていたが、利用しない」)は 8.4%に対して、『知らない』(「知らなかったが、利用したい」+「知らなかったし、利用しない」)は 87.4%となっており、制度の認知は1割未満となっている。

『利用したい』(「知っており、利用したい」+「知らなかったが、利用したい」)は 69.4%に対して、『利用しない』(「知っていたが、利用しない」+「知らなかったし、利用しない」)は 26.4%となっており、制度を利用する意向が利用しない意向を 40 ポイント以上上回っている。

また、「知らなかったが、利用したい」は 64.9%となっている一方、「知らなかったし、利用しない」は 22.5%と「知らなかったが、利用したい」が 40 ポイント以上上回っている。以上のことから、制度の認知を高めることで、利用促進につながると考えられる。

### 【問 18-1(205 ページ)】

問 18 で「知っており、利用したい」または「知らなかったが、利用したい」と答えた方に、「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用する理由について尋ねたところ、「あらかじめ宿泊施設への広域避難を考えていたから」(22.1%)に対して、「この制度をきっかけに、広域避難することにしたから」(75.0%)の方が高くなっている。

**【問 18-2(208 ページ)】**

問 18 で「知っていたが、利用しない」または「知らなかったし、利用しない」と答えた方に、「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由について尋ねたところ、「広域避難先をどこにするかまだ決めていないから」は 29.1%、「自宅を離れたくないから」は 14.6%、「広域避難を検討していないから」は 18.9%となっている。

**11. 区内路線バス利用頻度について (211~213 ページ)****【問 19(211 ページ)】**

区内路線バスを利用する頻度について尋ねたところ、「ほぼ毎日」は 6.4%、「週2~3日」は 8.9%となっていることから、日常的な利用が約 15%といえる。

**12. ご当地ナンバーについて (214~216 ページ)****【問 20(214 ページ)】**

今後、江戸川区独自のご当地ナンバーの導入が必要だと思うか尋ねたところ、「必要である」は 17.9%に対して、「必要ではない」は 29.4%となっている。しかし、最も高い回答は 47.1%の「どちらともいえない」であり、半数近くに上っている。

**13. 自転車の安全利用と保険の加入について (217~225 ページ)****【問 21(217 ページ)】**

加入している自転車損害賠償保険の種類について尋ねたところ、「自転車に乗らない」(24.3%)を除いて、「保険会社の自転車利用者向けの保険」(22.4%)、「自動車保険や傷害保険などの特約」(17.9%)の順に高くなっている。一方、「加入していない」は 15.9%となっている。

**【問 22(220 ページ)】**

この1年間で自転車走行中に危険な経験をしたことはあるか尋ねたところ、「ない」は 62.3%と6割を超えている。一方、「他の自転車と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。」は 16.3%、「歩行者と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。」は 10.0%、「自動車と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。」は 9.9%と危険な経験をしたことがある方は一定数いることがわかる。

**【問 23(223 ページ)】**

自転車事故を無くすために必要なことについて尋ねたところ、「自転車を利用する人のマナーやモラルの向上」(63.4%)、「自転車専用レーンなど、自転車走行環境の整備」(49.2%)、「交通違反者の取り締まりや罰則の強化」(27.9%)の順に高くなっている。

### 14. 治安に対する意識について (226～232 ページ)

#### 【問 24(226 ページ)】

自分や身近な人が犯罪被害に遭うかもしれないと不安になる場所について尋ねたところ、「路上」(59.8%)、「繁華街」(52.2%)、「電車、バスなどの乗り物の中」(45.3%)、「インターネット空間」(37.9%)の順に高くなっている。

#### 【問 25(229 ページ)】

江戸川区や警察にさらに力を入れて対策をしてほしい犯罪について尋ねたところ、「高齢者を狙ったオレオレ詐欺などの特殊詐欺」(56.7%)、「暴行、傷害などの粗暴な犯罪」(54.5%)、「空き巣などの住宅に侵入して物を盗む犯罪」(52.3%)、「痴漢や強制わいせつなどの性的犯罪」(51.0%)、「誘拐、子どもの連れ去りやいたずら」(49.7%)、「殺人、強盗などの凶悪な犯罪」(49.2%)、「フィッシング詐欺や SNS での誹謗中傷などのインターネットを利用した犯罪」(47.2%)、「自動車、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内の物を盗む犯罪」(42.0%)は4割～5割台となっている。

### 15. 町会・自治会について (233～242 ページ)

#### 【問 26(233 ページ)】

町会・自治会への加入状況について尋ねたところ、「加入しているが、活動にほとんど参加していない」は33.3%、「加入していない」は34.0%となっている。一方、「加入しており、日常的に活動している」は7.4%と1割未満となっている。

#### 【問 26-1(236 ページ)】

問 26 で「加入していない」と答えた方に、町会・自治会未加入の理由について尋ねたところ、「町会・自治会の呼び掛けがないから」(35.7%)、「町会・自治会が何をしているか分かりづらいから」(31.3%)、「町会・自治会への加入方法を知らないから」(26.8%)の順に高くなっている。いずれも町会・自治会の周知・情報提供に関わる理由となっている。

#### 【問 27(239 ページ)】

町会・自治会に求めることについて尋ねたところ、「防犯に関する活動(防犯カメラの設置、防犯パトロール、登下校の見守りなど)」(57.0%)、「防災に関する活動(防災訓練、避難訓練、災害時の支援活動など)」(43.2%)、「子どもに関する活動(子ども会や学校との連携、子育て世帯への支援活動、通学路での見送りなど)」(33.8%)、「美化活動(道路・公園の清掃活動、ごみ集積所の管理など)」(32.7%)の順に高くなっている。一方、「区への陳情などの相談先」は9.0%、「地域スポーツ活動への支援(運動会など)」は5.1%と1割未満となっている。

### 16. キャッシュレス化の推進について (243～252 ページ)

#### 【問 28(243 ページ)】

日用品の買い物でどのようなキャッシュレス決済をどの程度の頻度で利用しているか尋ねたところ、「頻繁に利用している」は【② カード式電子マネー【交通系】(Suica、PASMO など)】(44.6%)、【① クレジットカード】(42.5%)の順に高くなっている。一方、「利用していない」は【④ 二次元コード／バーコード決済(PayPay、楽天ペイなど)】(57.2%)、【③ カード式電子マネー【交通系以外】(WAON、nanaco など)】(47.5%)の順に高くなっている。

**【問 28-1 (251 ページ)】**

問 28 のいずれかのキャッシュレス決済で「利用していない」と答えた方に、利用していない理由について尋ねたところ、「現金が使いなれている」(36.9%)、「セキュリティに不安がある」(27.8%)、「設定に手間がかかる」(23.2%)、「利用方法が分からない」(21.5%)の順に高くなっている。一方、「利用できる店舗が少ない」は 5.8%と1割未満となっている。

**17. ヤングケアラーについて (253~258 ページ)****【問 29 (253 ページ)】**

ヤングケアラーの認知度について尋ねたところ、「聞いたことがあり、意味も知っている」は 46.6%、「聞いたことはあるが、意味は知らなかった」は 10.3%、「初めて聞いた」は 41.4%となっている。以上のことから、「聞いたことがあり、意味も知っている」と「初めて聞いた」で回答が二極化している。

**【問 30 (256 ページ)】**

ヤングケアラーの問題が解消されない理由について尋ねたところ、「ヤングケアラーを支援する団体や取り組みが少ない」(43.9%)、「さまざまな事情でヤングケアラーを容認してしまう家庭がある」(43.6%)、「「ヤングケアラー」という言葉と意味が認識されていない」(42.2%)、「ケアを担っている子どもたちの相談窓口が充実していない」(42.0%)は4割台となっている。

**18. 睡眠について (259~262 ページ)****【問 31 (259 ページ)】**

ここ1か月間の1日の平均睡眠時間について尋ねたところ、「6時間以上7時間未満」(34.9%)、「5時間以上6時間未満」(31.4%)の順に高くなっており、これらを合計した『5時間以上7時間未満』は6割を超えている。「8時間以上9時間未満」は 4.0%、「9時間以上」は 1.0%と5%に満たず少数となっている。

**【問 32 (261 ページ)】**

ここ1か月間、睡眠で十分休養がとれているか尋ねたところ、「まあまあとれている」(50.5%)、「あまりとれていない」(25.9%)、「充分とれている」(18.7%)の順に高くなっている。一方、「まったくとれていない」は 2.8%と5%に満たず少数となっている。

**19. 健康状態・生活習慣について (263~268 ページ)****【問 33 (263 ページ)】**

現在の身体・心の健康状態について尋ねたところ、【① 身体】は「まあ良い」(53.5%)、「あまり良くない」(21.8%)、「良い」(19.3%)の順に高くなっている。一方、「良くない」は 3.3%と5%に満たず少数となっている。【② 心】は「まあ良い」(51.1%)、「あまり良くない」(20.9%)、「良い」(19.9%)の順に高くなっている。一方、「良くない」は 4.9%と5%に満たず少数となっている。

**【問 34 (267 ページ)】**

20 歳以上の方に、たばこを習慣的に吸っているか尋ねたところ、「はい」は 15.2%に対して、「いいえ」は 81.3%となっている。

## 20. 運動習慣について (269～271 ページ)

### 【問 35(269 ページ)】

1年以上継続して1日 30 分以上の軽く汗をかく運動をどのくらいの頻度で行っているか尋ねたところ、「ほぼ毎日行う」、「週に2回以上行う」を合計した運動習慣がある方は 31.8%となっている。一方、「ほとんど行わない」が 44.2%となっている。

## 21. 公共施設の再編・整備について (272～301 ページ)

### 【問 36(272 ページ)】

直近1年間で江戸川区の公共施設(公園を除く)を7つの用途でどの程度利用しているか尋ねたところ、【① 住民票の届け出など各種手続き】の「年に数回」は 45.9%、「利用しなかった」は 38.5%となっている。また、①～⑦の中で「年に数回」は最も高い回答、「利用しなかった」は最も低い回答となっている。

【⑥ 仕事・産業に関する相談】では「利用しなかった」が 85.0%と①～⑦の中で最も高い回答となっている。

### 【問 36-1(287 ページ)】

問 36 で「利用しなかった」を選択した方に、最も当てはまる利用しなかった理由について用途ごとに尋ねたところ、「利用する目的が無い」は全ての用途で7割以上となっている。その中でも、【① 住民票の届け出など各種手続き】(89.9%)、【⑥ 仕事・産業に関する相談】(83.6%)、【⑦ くらしや子育て・福祉に関する相談や教室など】(82.8%)は8割を超えて特に高くなっており、「利用する目的が無い」以外の回答はいずれも1割未満となっている。

## 22. 区政への要望について (302～306 ページ)

### 【問 37(302 ページ)】

江戸川区は今後どのような施策を推進していけば良いか尋ねたところ、「水害対策」(54.1%)、「震災対策」(38.8%)、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(32.0%)の順に高くなっている。この上位3項目は生命の安全に関わる施策となっている。

## 23. 自由記述 (307～327 ページ)

### 【問 38(307 ページ)】

江戸川区の「良さ」または「改善してほしいこと」について、自由回答形式で求めた。

江戸川区の「良さ」と「改善してほしいこと」の合計では、「都市基盤整備(道路など)」(16.3%)、「環境保全・リサイクル」(10.4%)、「子育て支援」(9.2%)の順に高くなっている。

「良さ」では、「都市基盤整備(道路など)」(21.4%)、「環境保全・リサイクル」(15.1%)、「子育て支援」(13.8%)の順に高くなっている。

「改善してほしいこと」では、「都市基盤整備(道路など)」(11.2%)、「水害対策」(9.2%)、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(8.2%)の順に高くなっている。

### Ⅲ 結果と分析





## Ⅲ 結果と分析

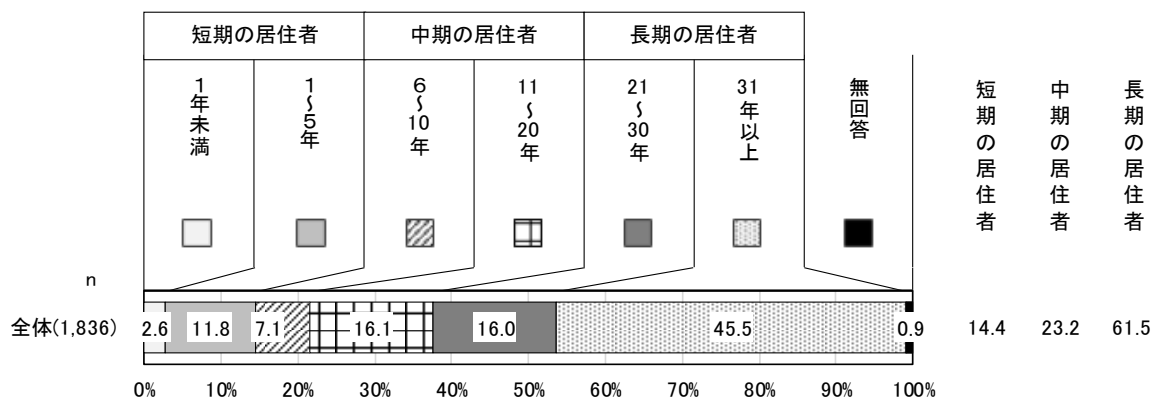
### 1. 居住年数・永住意向について

#### (1) 居住年数

◇『長期の居住者』が61.5%を占める。

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)

<図表1-1> 居住年数

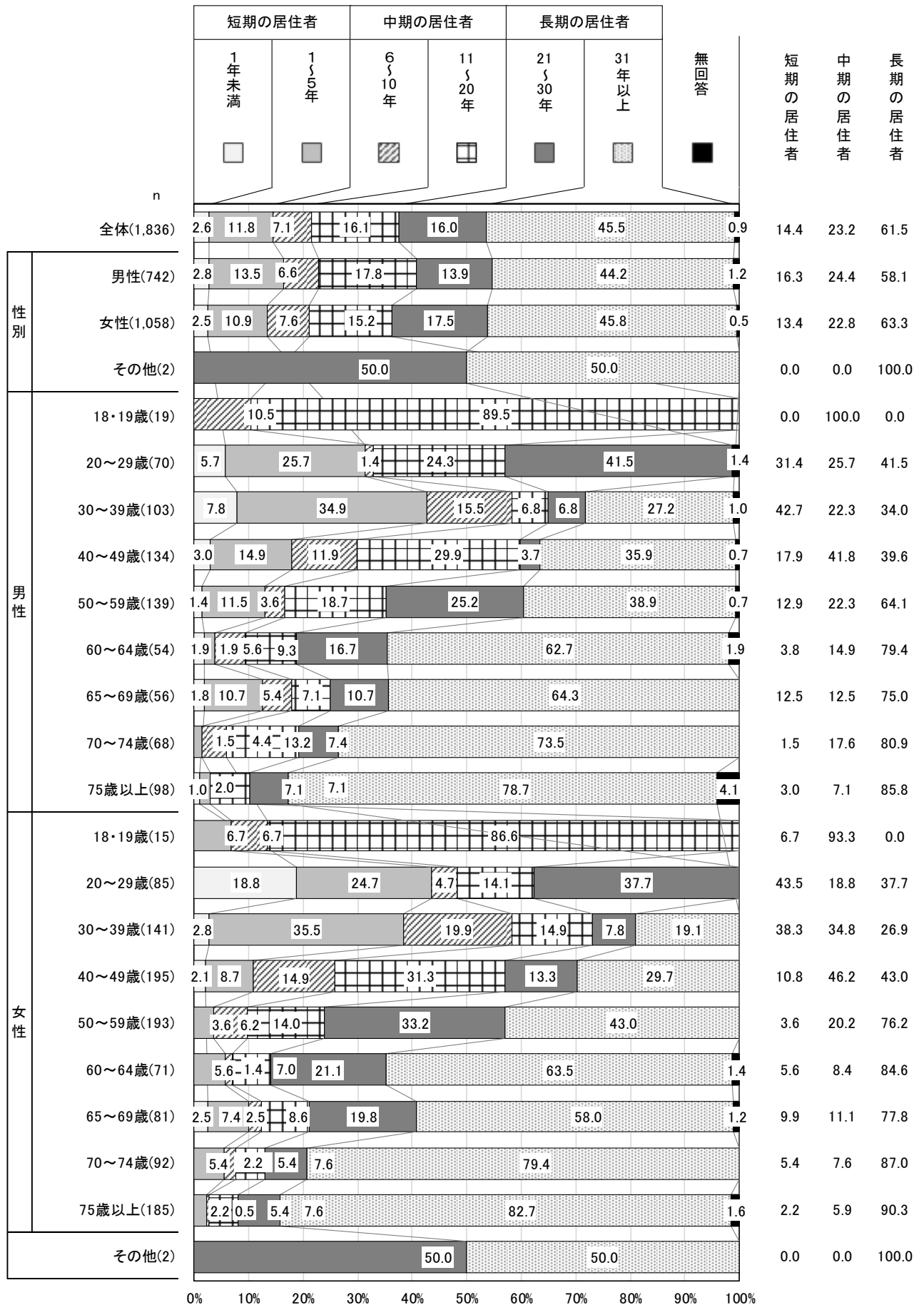


『長期の居住者』(61.5%)、『中期の居住者』(23.2%)、『短期の居住者』(14.4%)の順に高くなっている。その中でも、「31年以上」が45.5%と他の回答に比べて高くなっている。(図表1-1)

#### 【性・年齢別】

『短期の居住者』、『中期の居住者』、『長期の居住者』の回答の割合をそれぞれ比較すると、男性・女性ともに30～39歳で『短期の居住者』が最も高い回答になっている。40～49歳で『中期の居住者』、50～59歳以上で『長期の居住者』が最も高い回答となっている。また、年齢が高くなるにつれておおむね『長期の居住者』が高くなる傾向にある。(図表1-2)

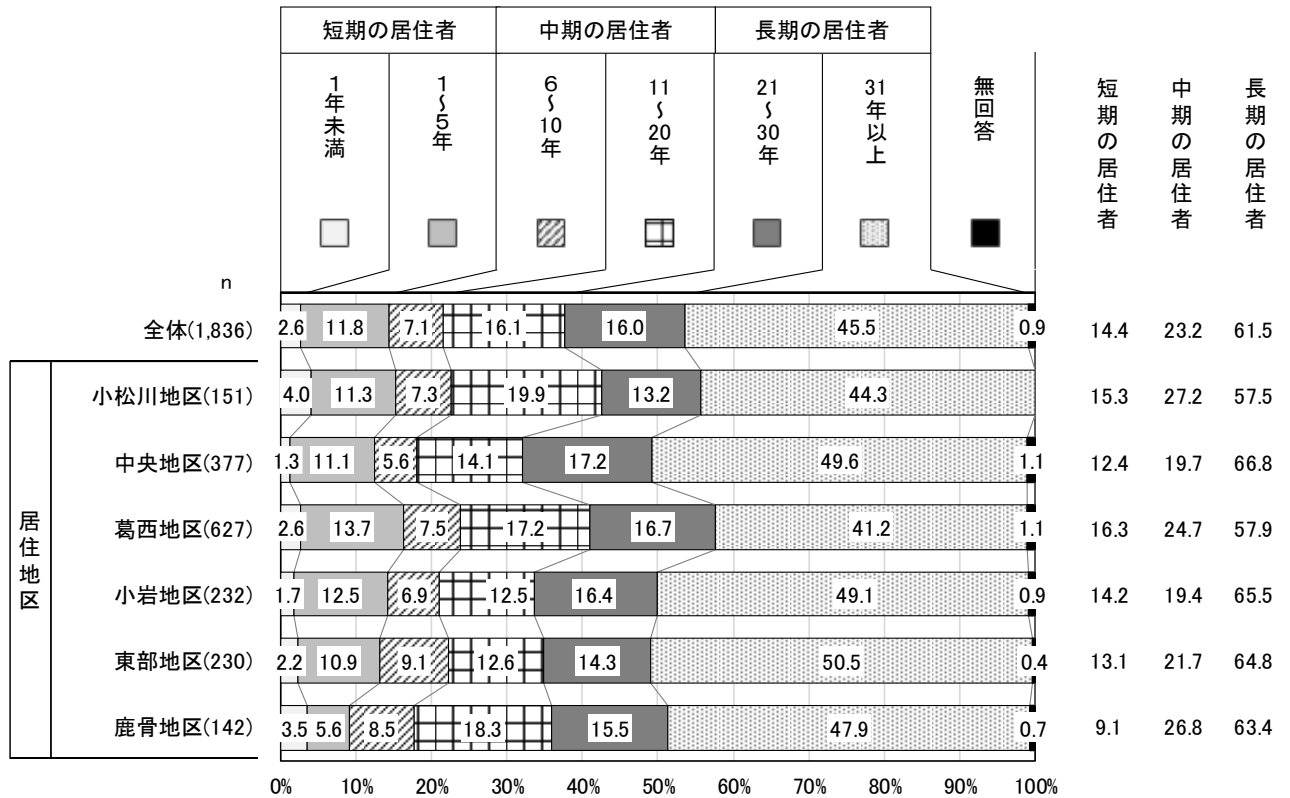
<図表1-2>居住年数／性・年齢別



【居住地区別】

『短期の居住者』、『中期の居住者』、『長期の居住者』の回答の割合をそれぞれ比較すると、全ての居住地区で『長期の居住者』が5割台～6割台と最も高い回答となっている。(図表1-3)

＜図表1-3＞居住年数／居住地区別

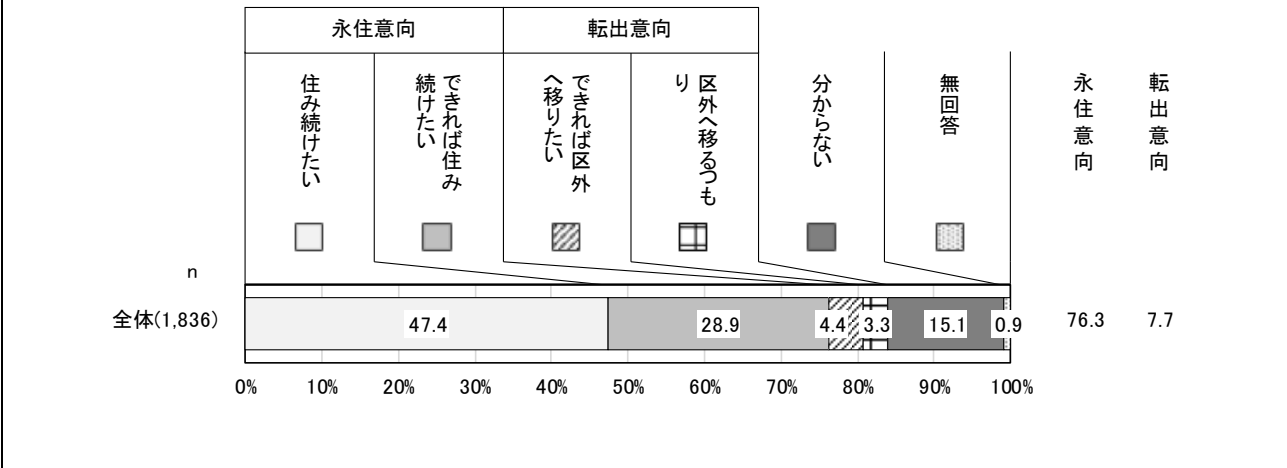


(2) 永住意向

◇『永住意向』は76.3%を占める。

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

<図表1-4>永住意向

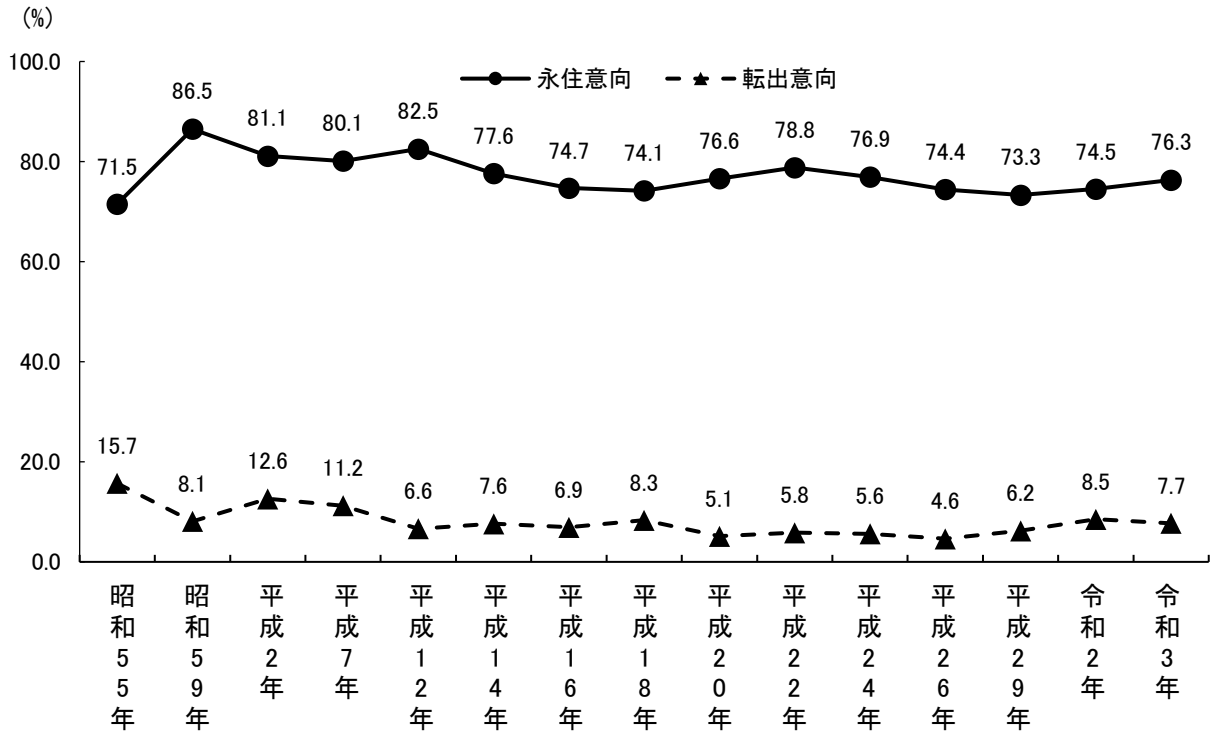


「住み続けたい」が47.4%、「できれば住み続けたい」が28.9%に対して、「できれば区外へ移りたい」が4.4%、「区外へ移るつもり」が3.3%といずれも5%に満たず少数となっている。『永住意向』(「住み続けたい」+「できれば住み続けたい」)は76.3%に対して、『転出意向』(「できれば区外へ移りたい」+「区外へ移るつもり」)は7.7%となっている。(図表1-4)

【時系列比較】

『永住意向』は前回の令和2年よりも 1.8 ポイント増加している。一方、『転出意向』は 0.8 ポイント減少している。(図表1-5)

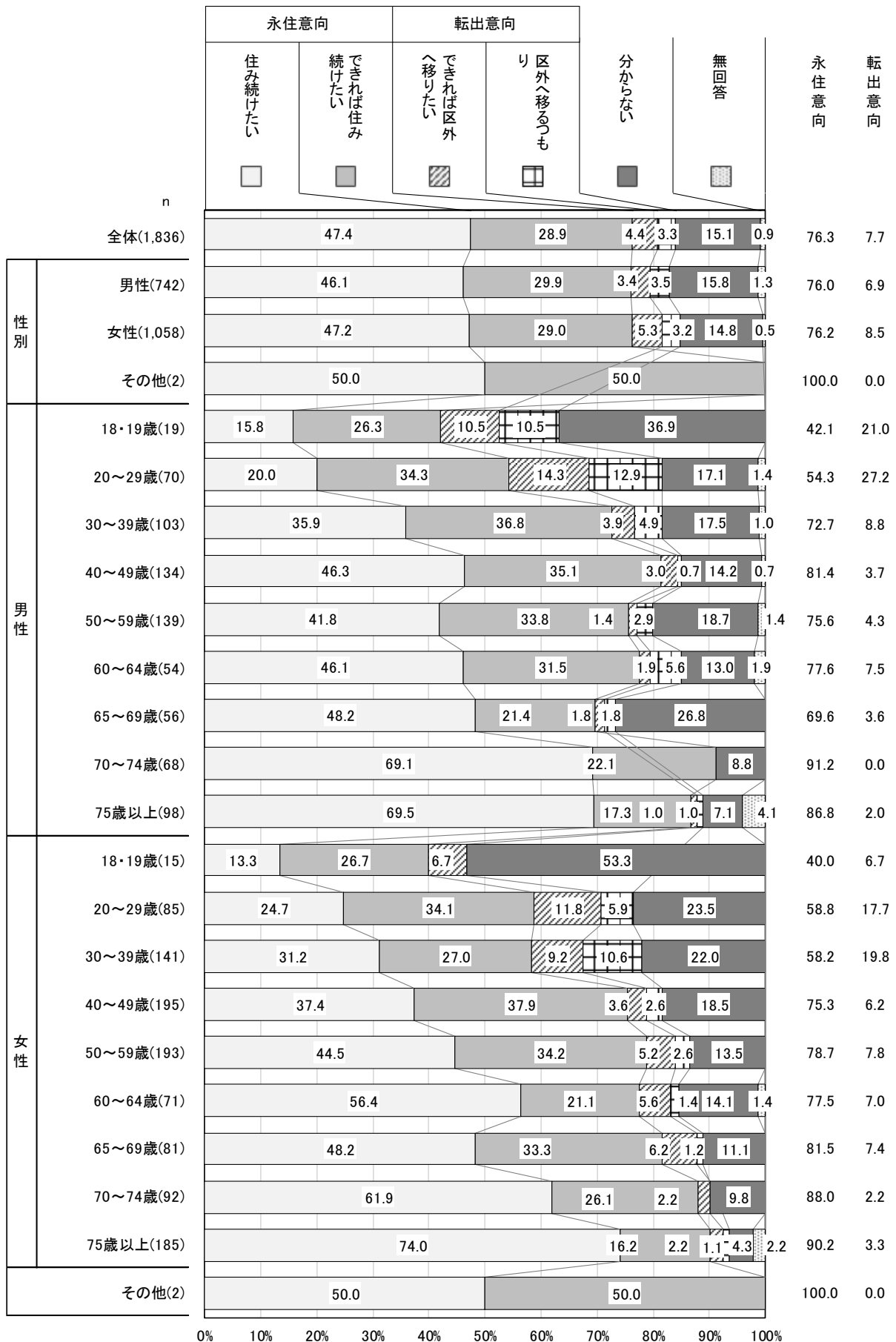
＜図表1-5＞永住意向／時系列比較



【性・年齢別】

「住み続けたい」は男性・女性ともに年齢が高くなるほど、おおむね数値が高くなっている。「できれば区外へ移りたい」は男性・女性ともに 30～39 歳以上で1割未満となっている。「区外へ移るつもり」は男性-30～39 歳以上で、女性-30～39 歳を除いて、1割未満となっている。一方、「分からない」は男性・女性ともに 70～74 歳以上を除いて、1割台～2割台となっている。『永住意向』は男性-30～39 歳が 72.7%、女性-30～39 歳が 58.2%と 14.5 ポイントの差があり、また男性-65～69 歳が 69.6%、女性-65～69 歳が 81.5%と 11.9 ポイントの差があり、それぞれ 10 ポイント以上差がある。(図表1-6)

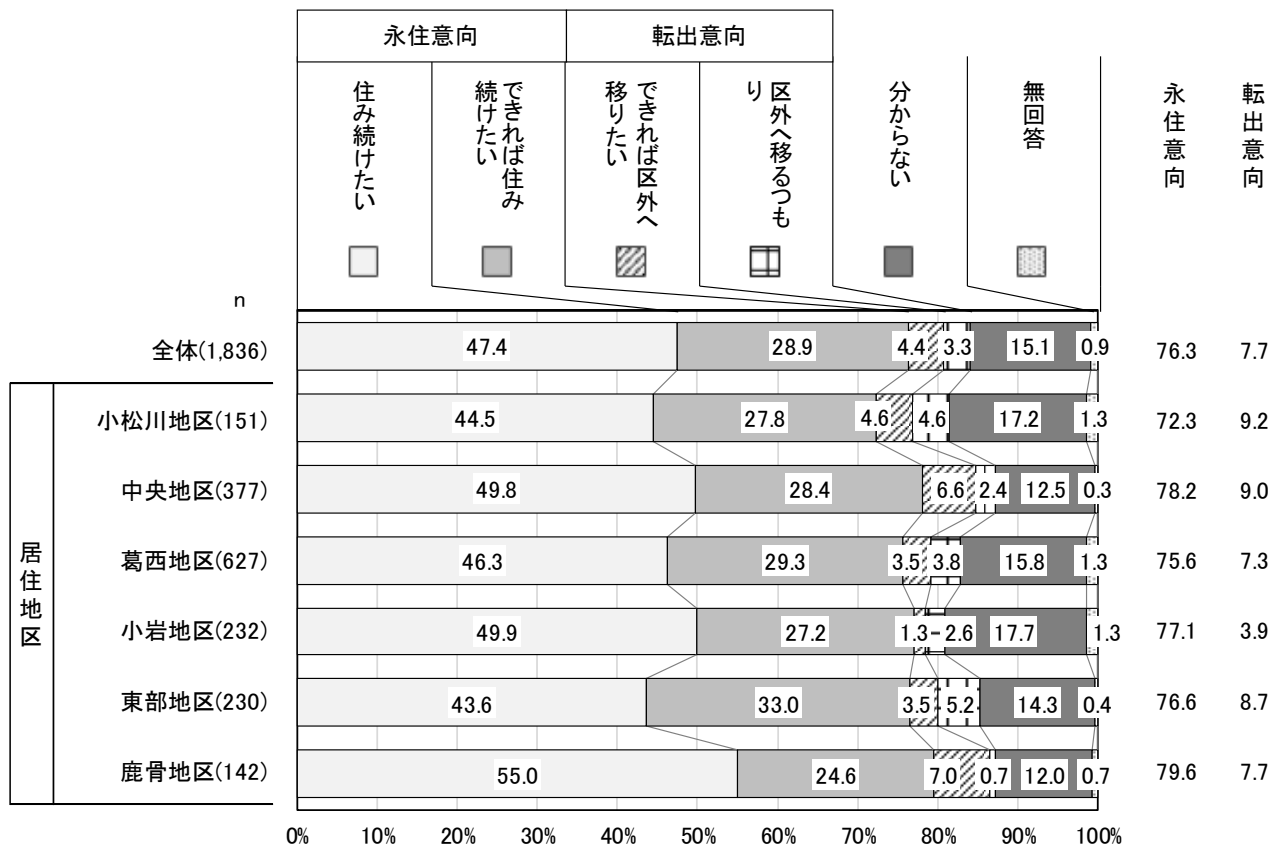
<図表1-6>永住意向/性・年齢別



【居住地区別】

『永住意向』は小松川地区で 72.3%に対して、鹿骨地区で 79.6%となっている。『転出意向』は全ての居住地区で 1 割未満、「分からない」は 1 割台となっている。(図表1-7)

<図表1-7>永住意向／居住地区別

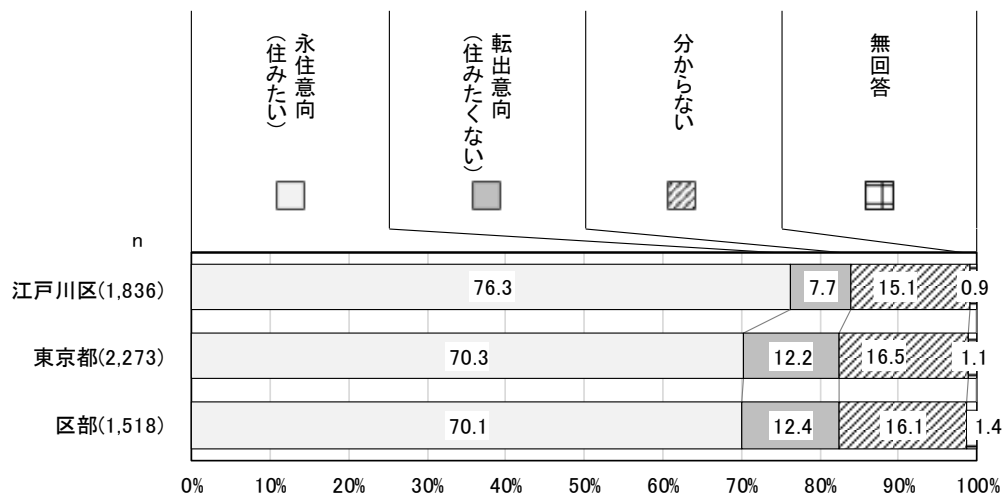


【東京都・区部との比較】

江戸川区の『住みたい』（「住み続けたい」＋「できれば住み続けたい」）が76.3%に対して、東京都が70.3%、区部が70.1%と江戸川区の方が高くなっている。一方、江戸川区の『住みたくない』（「できれば区外へ移りたい」＋「区外へ移るつもり」）は7.7%に対して、東京都が12.2%、区部が12.4%となっている。

（図表1-8）

＜図表1-8＞永住意向／東京都・区部との比較



（注1）東京都と区部は東京定住意向の調査結果

（注2）表頭の（）内は「都民生活に関する世論調査」の選択肢項目

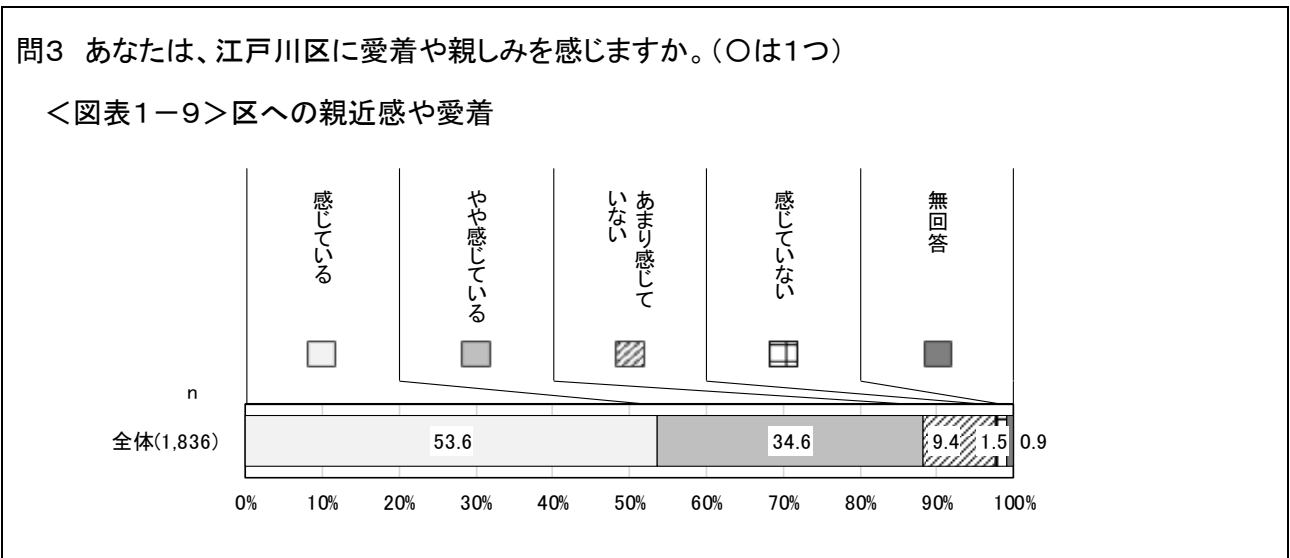
資料出所：東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」（令和2年9月調査）

（注3）江戸川区調査と東京都調査で選択肢に違いがあるため、江戸川区の「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合計した数値と、東京都の「住みたい」の数値を比較している。同様に、江戸川区の「できれば区外へ移りたい」と「区外へ移るつもり」を合計した数値と、東京都の「住みたくない」の数値を比較している。



(3) 区への親近感や愛着

◇「感じている」が53.6%を占める。



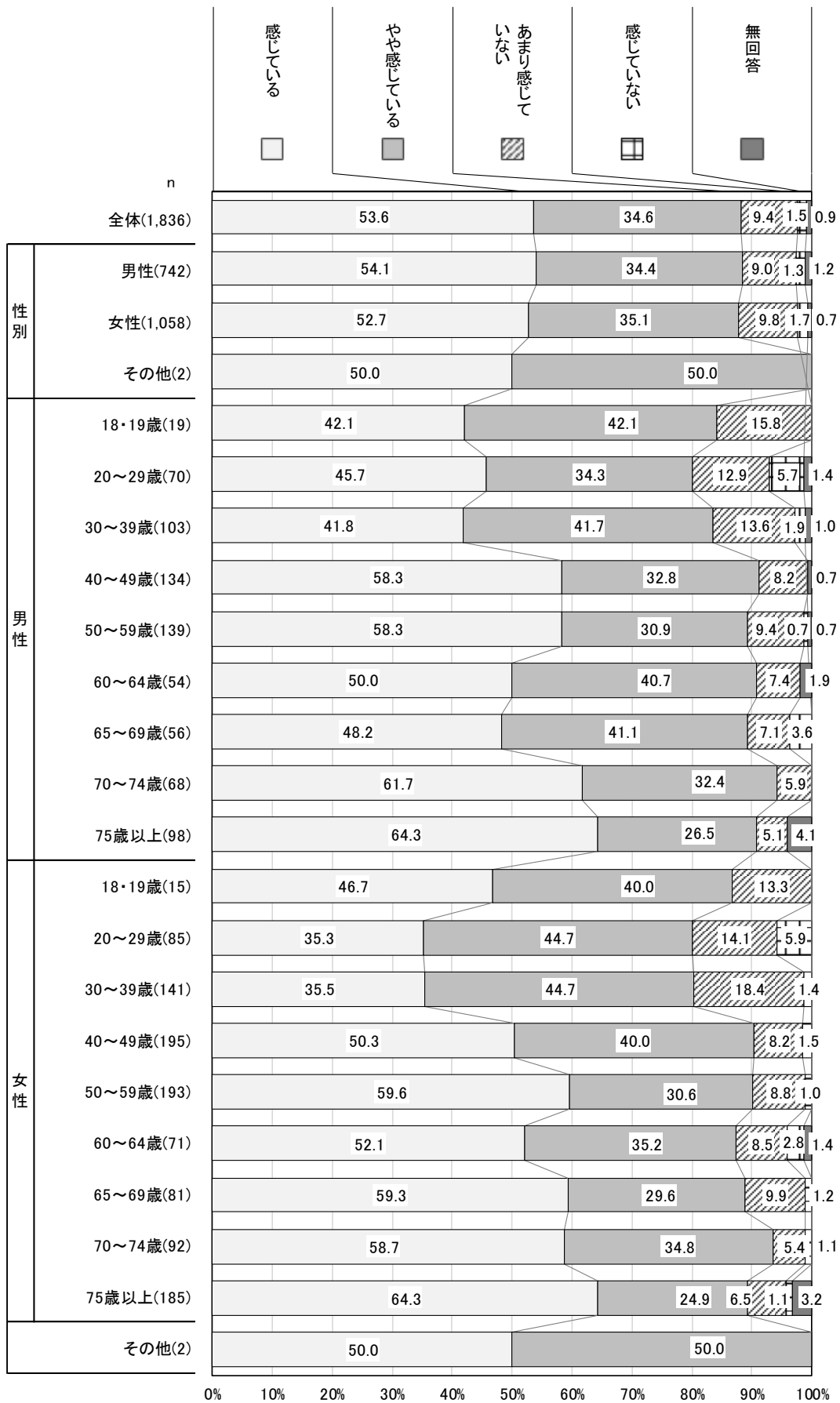
「感じている」が53.6%、「やや感じている」が34.6%に対して、「あまり感じていない」が9.4%、「感じていない」が1.5%といずれも1割に満たない。(図表1-9)

【性・年齢別】

男性は全ての年齢で「感じている」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。女性は20～29歳から30～39歳を除いて、全ての年齢で「感じている」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。一方、「感じていない」は男性・女性ともに全ての年齢で1割未満となっている。

男性・女性ともに30～39歳以下は「あまり感じていない」が1割台と40～49歳以上の年齢と比べてわずかに高くなっている。(図表1-10)

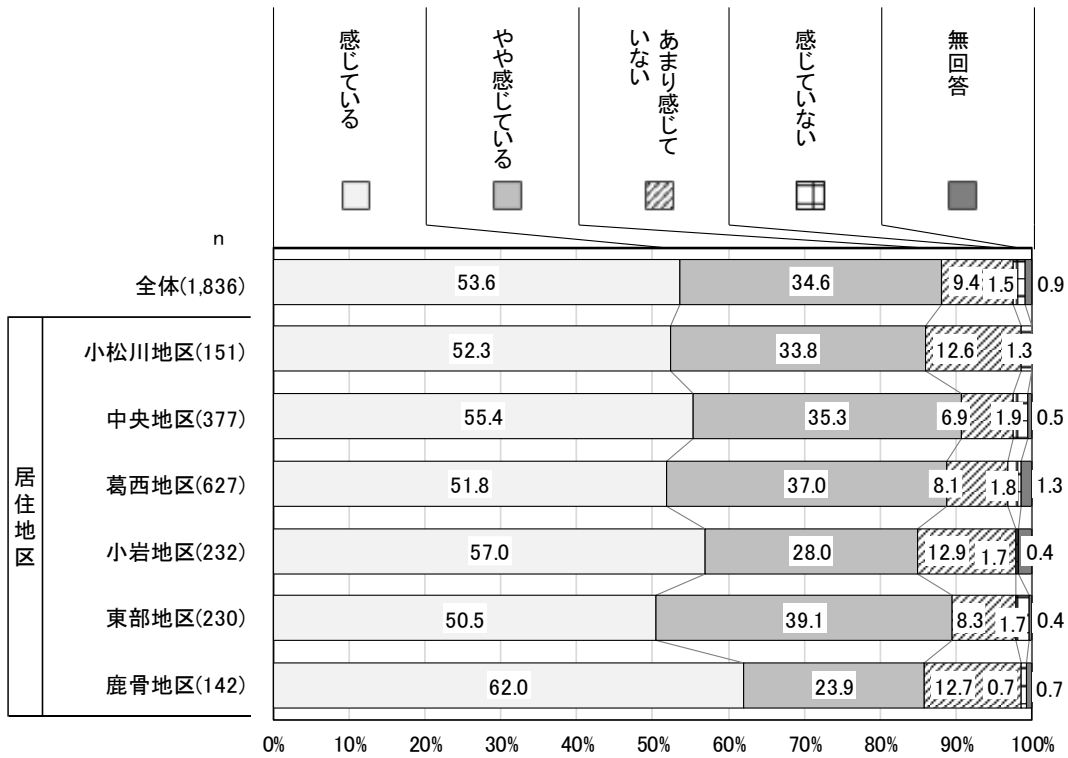
<図表1-10> 区への親近感や愛着／性・年齢別



【居住地区別】

全ての居住地区で「感じている」は5割台～6割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっており、「感じていない」は5%に満たず少数となっている。(図表1-11)

＜図表1-11＞区への親近感や愛着／居住地区別



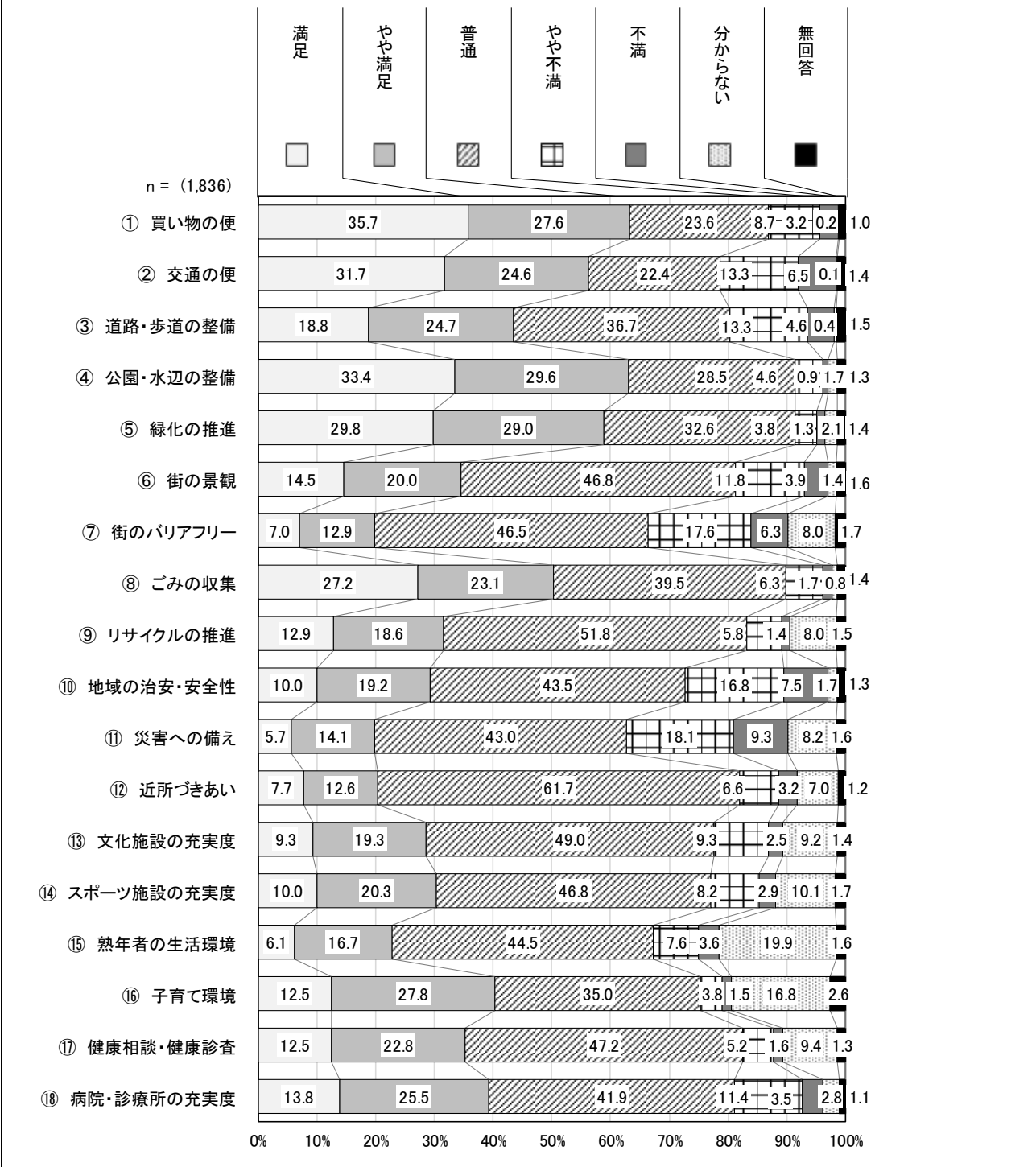
## 2. 江戸川区の現況について

### (1) 各項目の満足度

◇【① 買い物の便】、【② 交通の便】、【④ 公園・水辺の整備】の「満足」が3割台。

問4 ①～⑱の各項目の現況について、どの程度満足していますか。項目ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つずつ)

<図表2-1>各項目の満足度



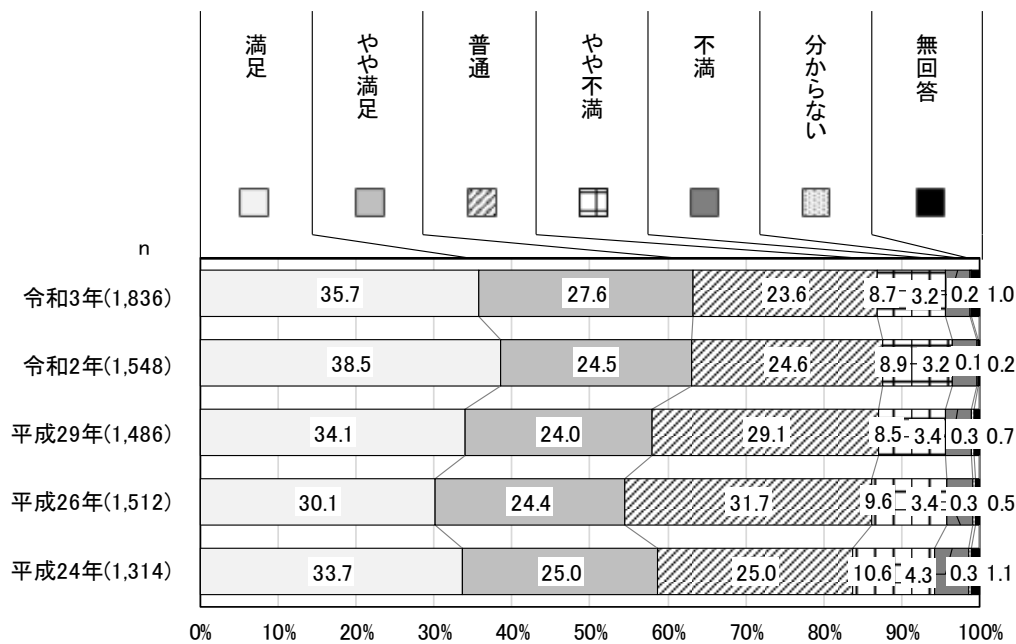
「満足」は【① 買い物の便】(35.7%)、【④ 公園・水辺の整備】(33.4%)、【② 交通の便】(31.7%)の順に高くなっている。一方、「不満」は【⑪ 災害への備え】で9.3%と最も高くなっているが、いずれの項目でも1割未満となっている。(図表2-1)

【① 買い物の便／時系列比較】

令和2年と比較すると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。

一方、「満足」が平成26年(30.1%)から令和3年は5.6ポイント増加し、「普通」が平成26年(31.7%)から令和3年は8.1ポイント減少している。(図表2-2)

<図表2-2>① 買い物の便／時系列比較

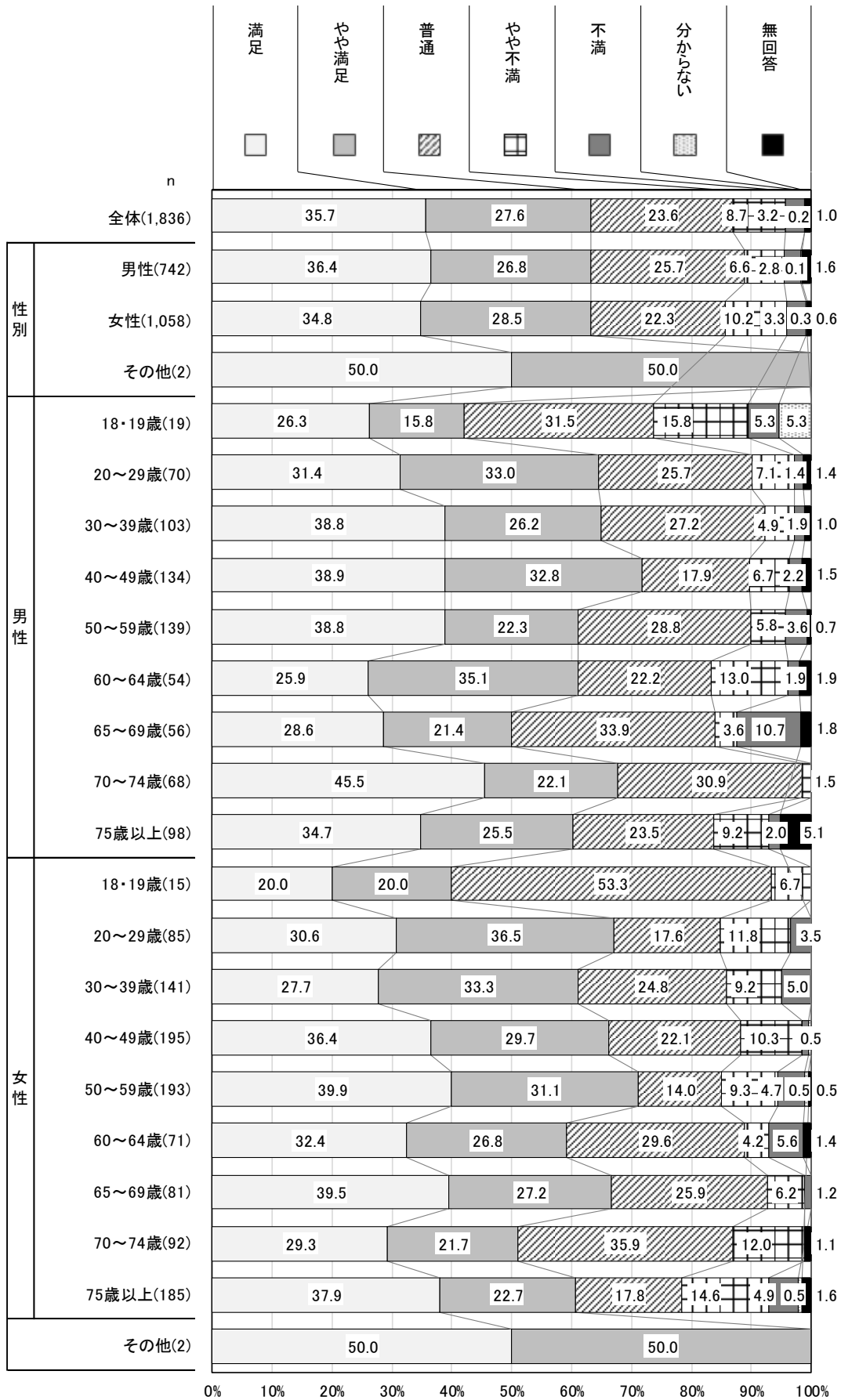


【① 買い物の便／性・年齢別】

男性-65～69歳は「満足」が28.6%に対して、「不満」が10.7%となっている。一方、男性-70～74歳は「満足」が45.5%に対して、「不満」が0.0%となっている。以上の点で、男性の年齢間で満足度の違いが特に見られる。

女性-30～39歳は「満足」が27.7%に対して、「普通」が24.8%となっている。一方、女性-50～59歳は「満足」が39.9%に対して、「普通」が14.0%となっている。以上の点で、女性の年齢間で満足度の違いが特に見られる。(図表2-3)

<図表2-3>① 買い物の便／性・年齢別

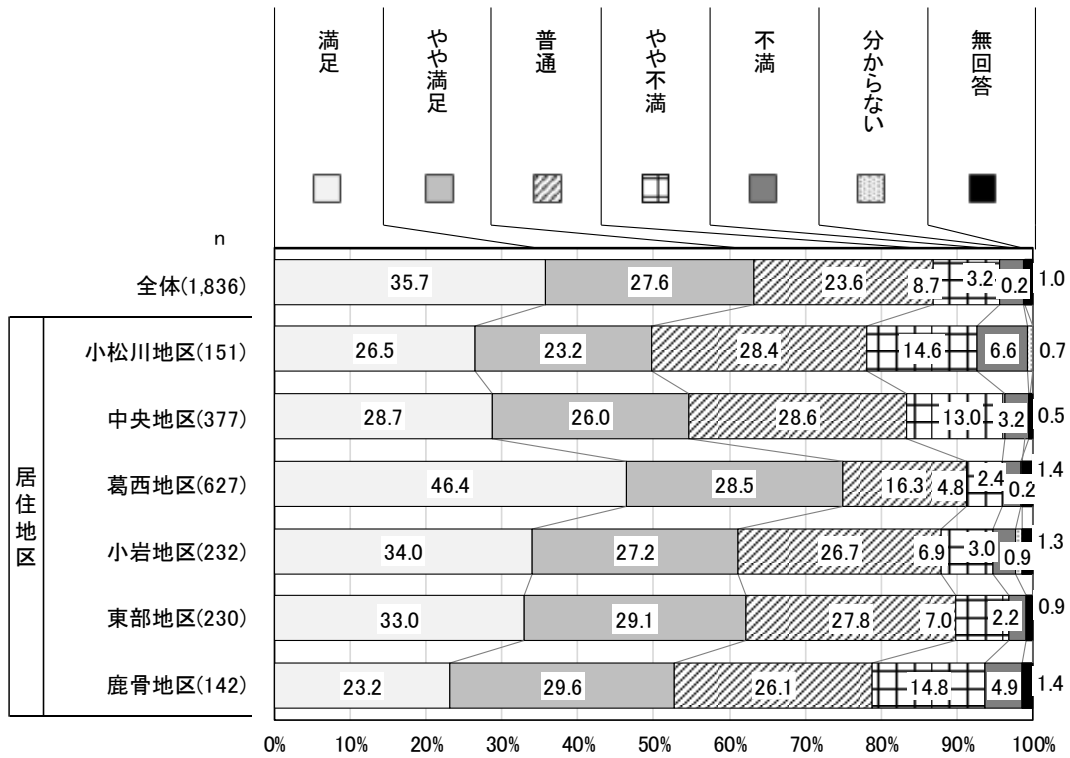


【① 買い物の便／居住地区別】

葛西地区は「満足」が46.4%、次いで「やや満足」(28.5%)、「普通」(16.3%)、「やや不満」(4.8%)の順に高くなっている。一方、小松川地区、中央地区、鹿骨地区は「満足」、「やや満足」、「普通」が2割台となっている一方、「やや不満」が1割台となっている。以上のような満足度の違いが居住地区別に見られる。

(図表2-4)

<図表2-4>① 買い物の便／居住地区別

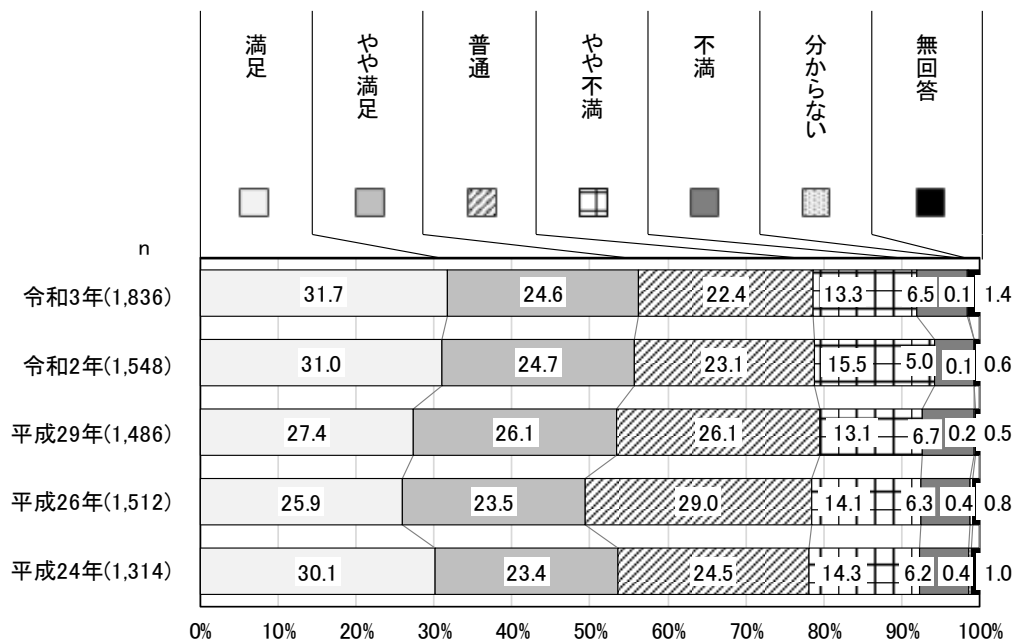


【② 交通の便／時系列比較】

令和2年と比較すると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。

一方、「満足」が平成26年(25.9%)から令和3年は5.8ポイント増加し、「普通」が平成26年(29.0%)から令和3年は6.6ポイント減少している。(図表2-5)

<図表2-5>② 交通の便／時系列比較



【② 交通の便／性・年齢別】

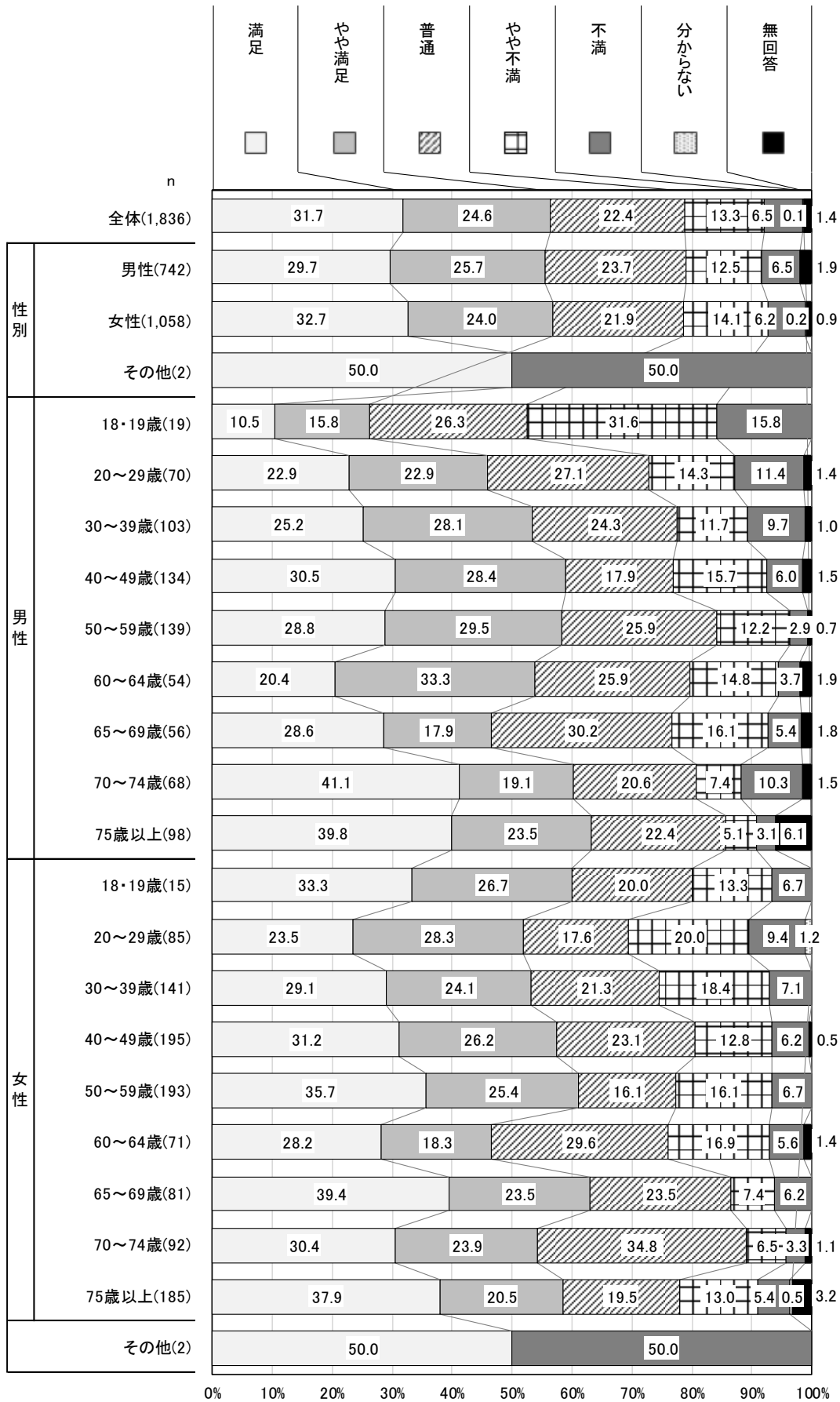
男性-60～64歳は「満足」が20.4%、「やや満足」が33.3%、「不満」が3.7%となっている。一方、男性-70～74歳は「満足」が41.1%、「やや満足」が19.1%、「不満」が10.3%となっている。以上の点で、男性の年齢間で満足度の違いが特に見られる。

女性-20～29歳は「満足」が23.5%、「やや不満」が20.0%となっている。一方、女性-65～69歳は「満足」が39.4%、「やや不満」が7.4%となっている。以上の点で、女性の年齢間で満足度の違いが特に見られる。

(図表2-6)



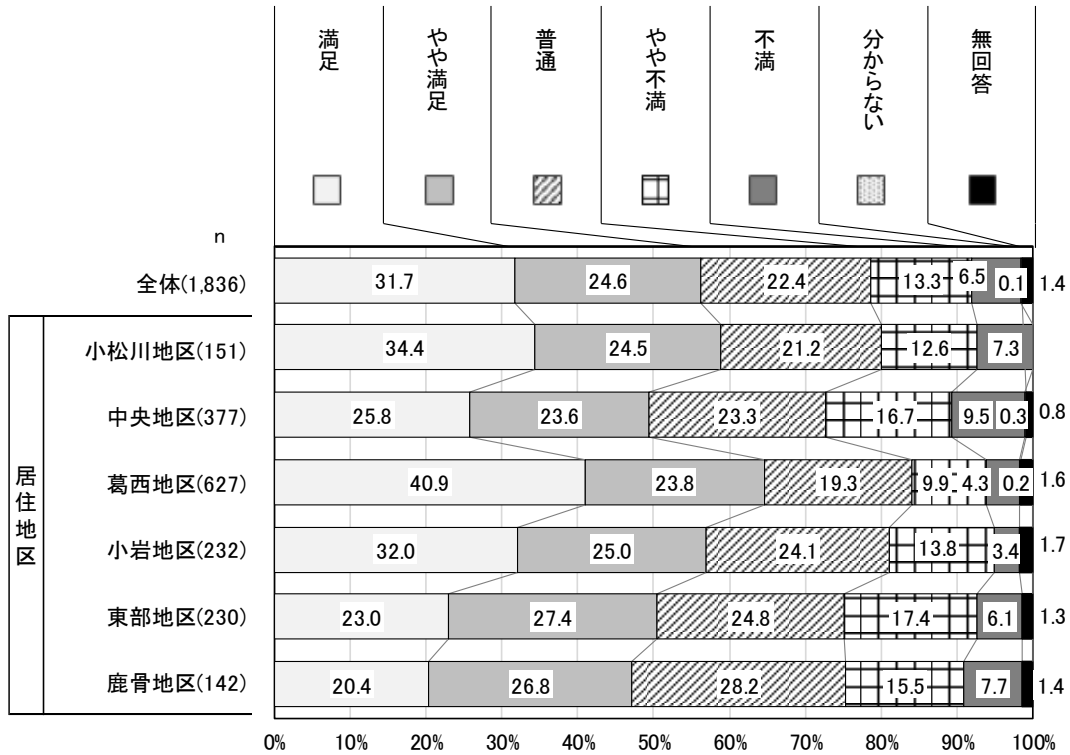
<図表2-6>② 交通の便／性・年齢別



【② 交通の便／居住地区別】

葛西地区は「満足」が40.9%と4割を超え、他の居住地区に比べて高くなっている。一方、中央地区、東部地区、鹿骨地区は「満足」、「やや満足」、「普通」が2割台と同程度の数値になっている。以上のような満足度の違いが居住地区別に見られる。(図表2-7)

<図表2-7>② 交通の便／居住地区別

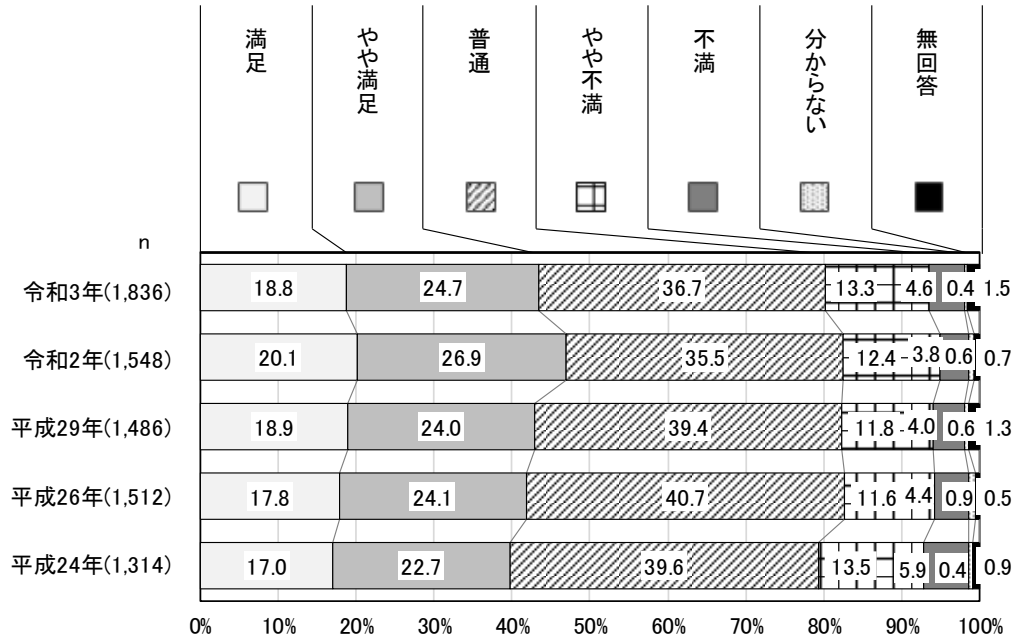


【③ 道路・歩道の整備／時系列比較】

令和2年と比較すると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。

(図表2-8)

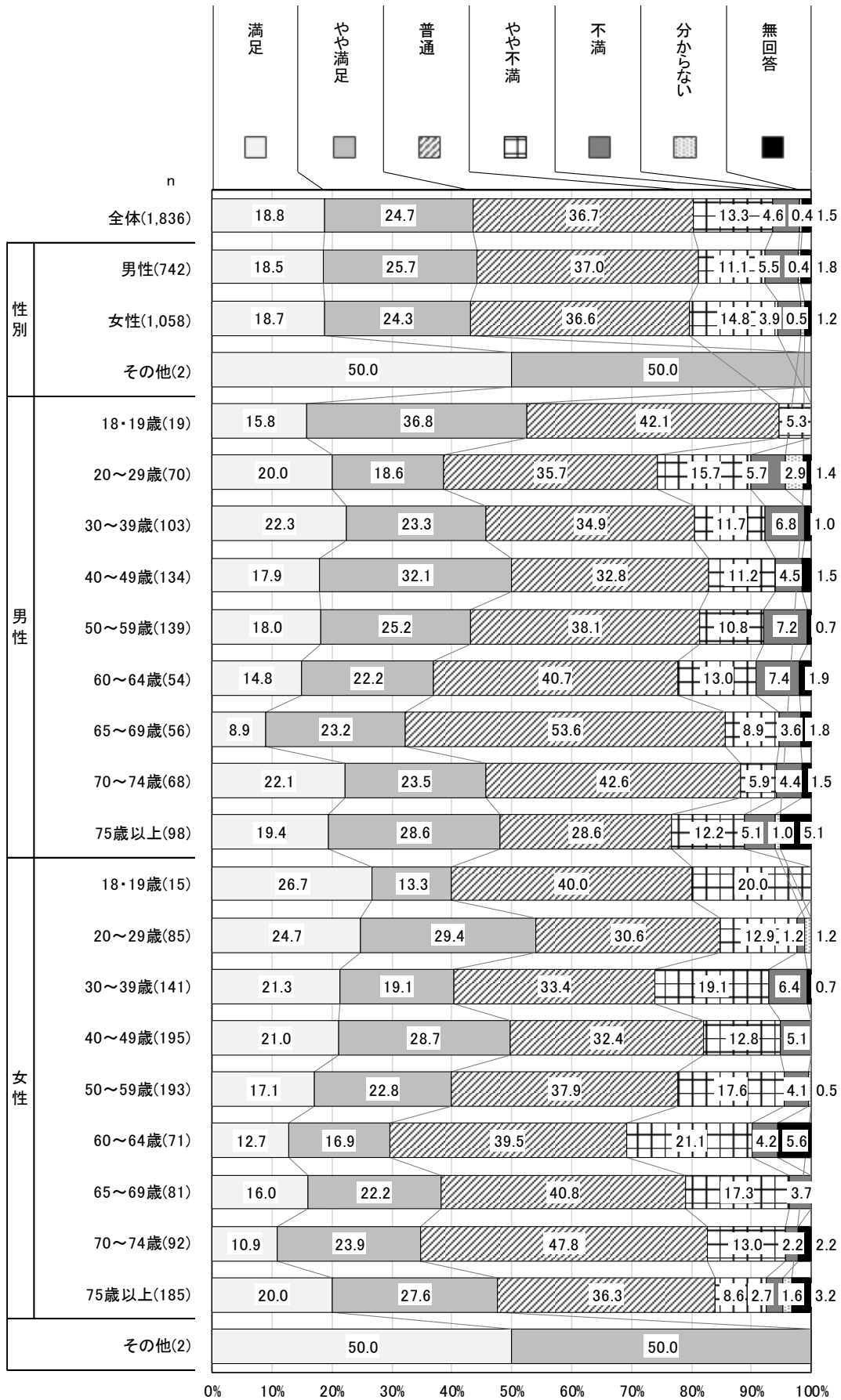
<図表2-8>③ 道路・歩道の整備／時系列比較



【③ 道路・歩道の整備／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、2割台～5割台と数値に差はある。「不満」は1割未満となっている。(図表2-9)

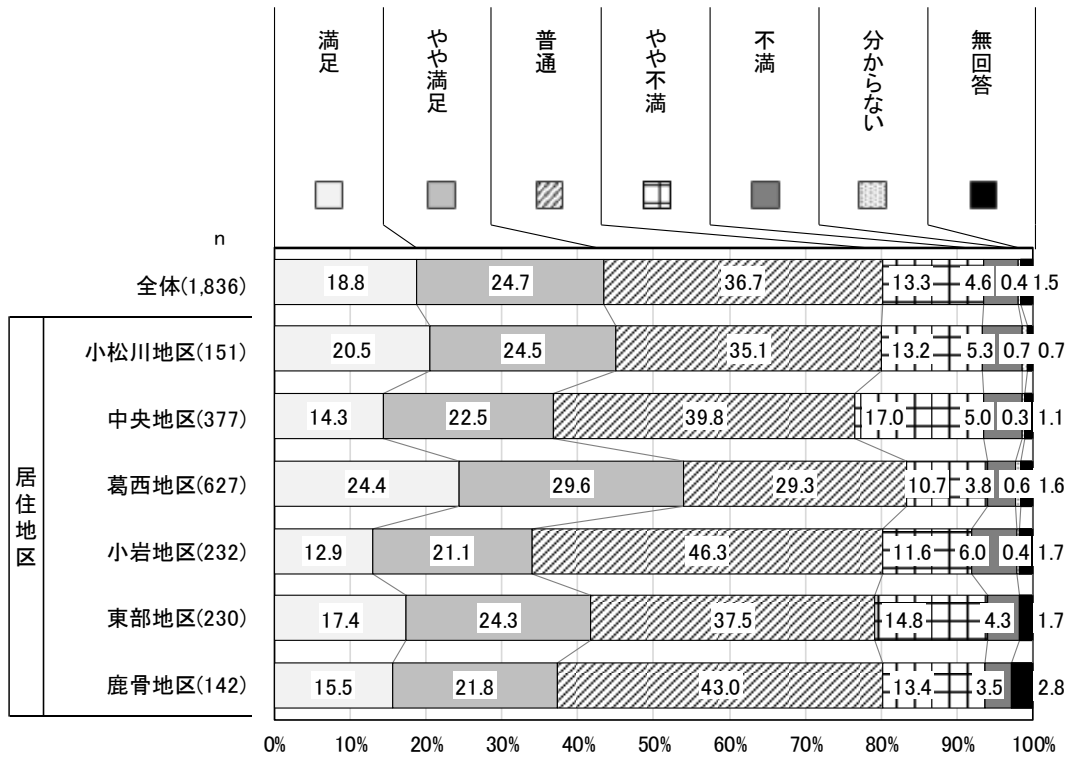
<図表2-9>③ 道路・歩道の整備／性・年齢別



【③ 道路・歩道の整備／居住地区別】

葛西地区を除いた、全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。葛西地区は「満足」、「やや満足」、「普通」がいずれも2割台と同程度の数値になっている。(図表2-10)

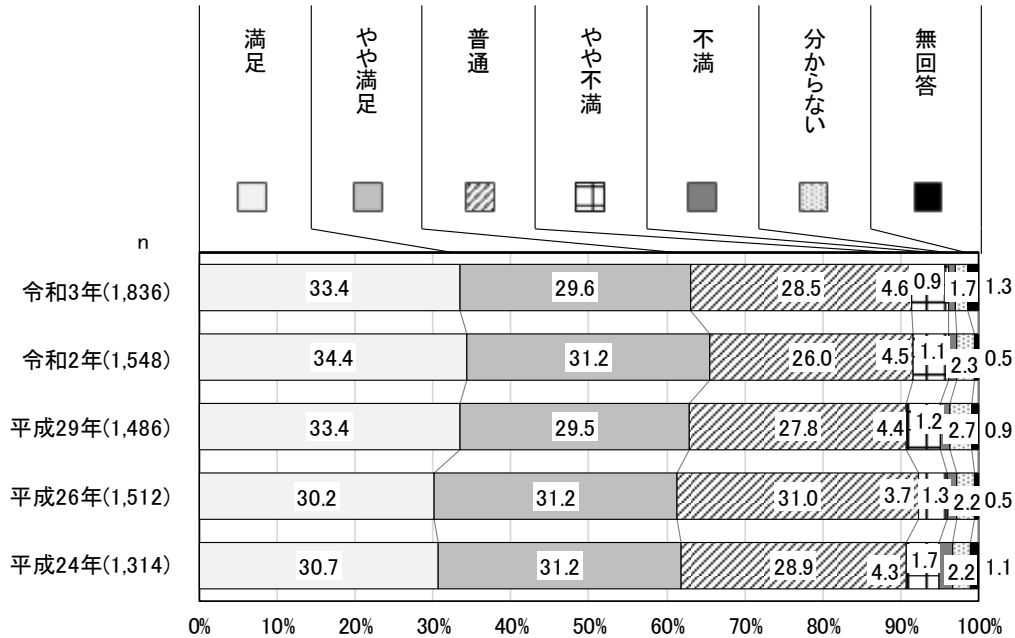
<図表2-10>③ 道路・歩道の整備／居住地区別



【④ 公園・水辺の整備／時系列比較】

平成24年からの調査結果を時系列で見ると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。(図表2-11)

＜図表2-11＞④ 公園・水辺の整備／時系列比較

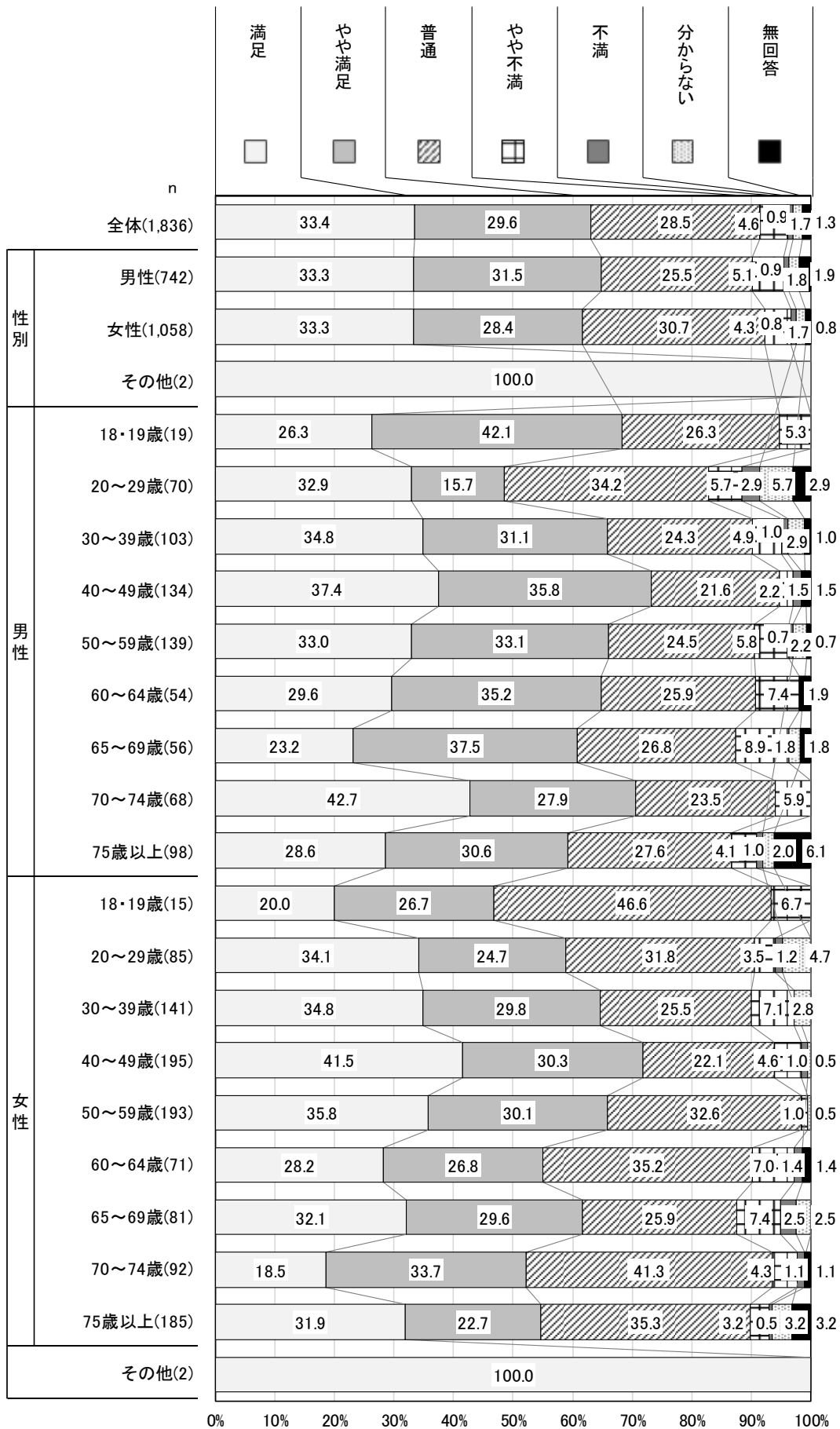


【④ 公園・水辺の整備／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「やや不満」は1割未満、「不満」は5%に満たず少数となっている。

「満足」は男性-70～74歳で42.7%と他の性・年齢に比べて最も高くなっている一方、女性-70～74歳で18.5%と最も低くなっている。(図表2-12)

<図表2-12>④ 公園・水辺の整備／性・年齢別

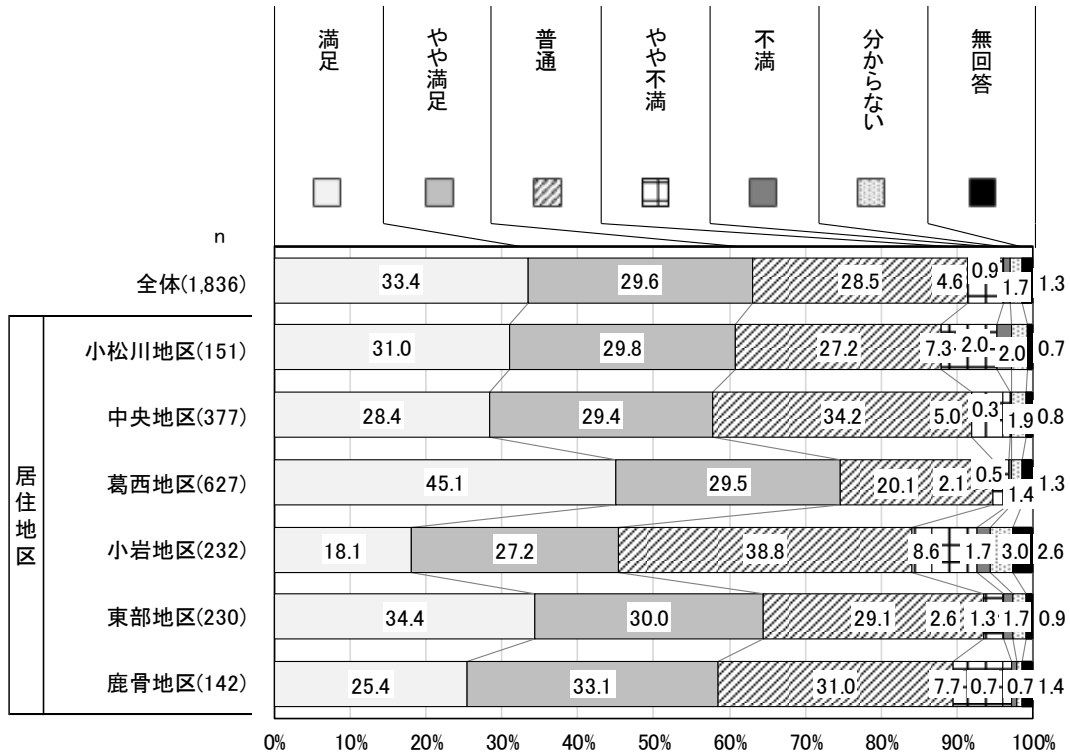


【④ 公園・水辺の整備／居住地区別】

全ての居住地区で「やや不満」は1割未満、「不満」は5%に満たず少数となっている。

「満足」は葛西地区で45.1%と他の居住地区に比べて最も高くなっている一方、小岩地区で18.1%と最も低くなっている。(図表2-13)

<図表2-13>④ 公園・水辺の整備／居住地区別



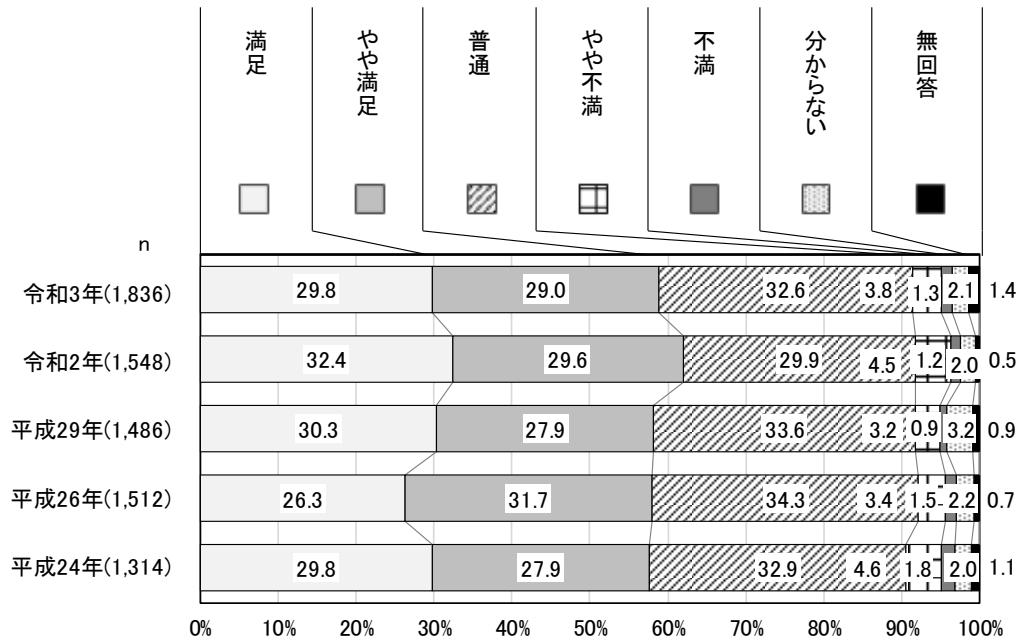


【⑤ 緑化の推進／時系列比較】

令和2年と比較すると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。

(図表2-14)

＜図表2-14＞⑤ 緑化の推進／時系列比較



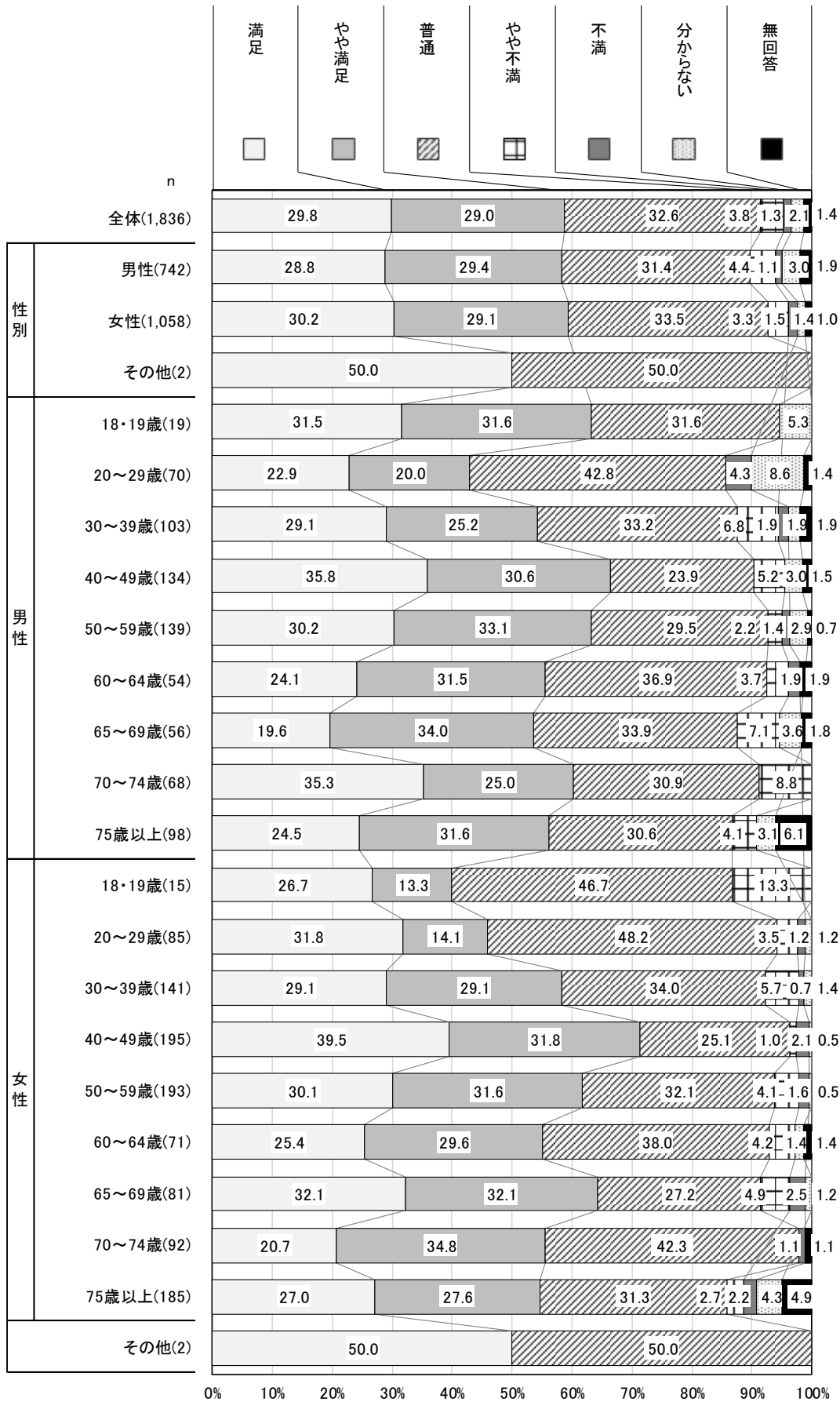
【⑤ 緑化の推進／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「不満」は5%に満たず少数となっている。

男性は、「満足」が40～49歳で35.8%と他の年齢に比べて最も高くなっている一方、65～69歳で19.6%と最も低くなっている。

また、女性は、「満足」が40～49歳で39.5%と他の年齢に比べて最も高くなっている一方、70～74歳は20.7%と最も低くなっている。(図表2-15)

<図表2-15>⑤ 緑化の推進／性・年齢別

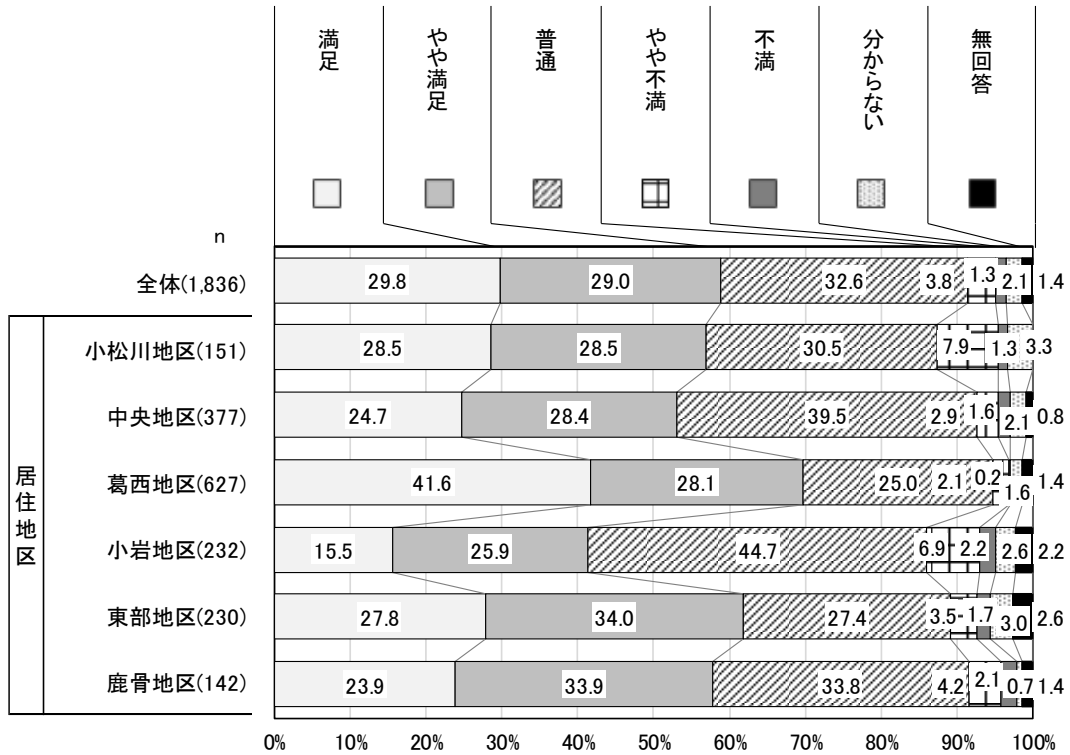


【⑤ 緑化の推進／居住地区別】

全ての居住地区で「やや不満」は1割未満、「不満」は5%に満たず少数となっている。

「満足」は葛西地区で41.6%と他の居住地区に比べて最も高くなっている一方、小岩地区で15.5%と最も低くなっている。(図表2-16)

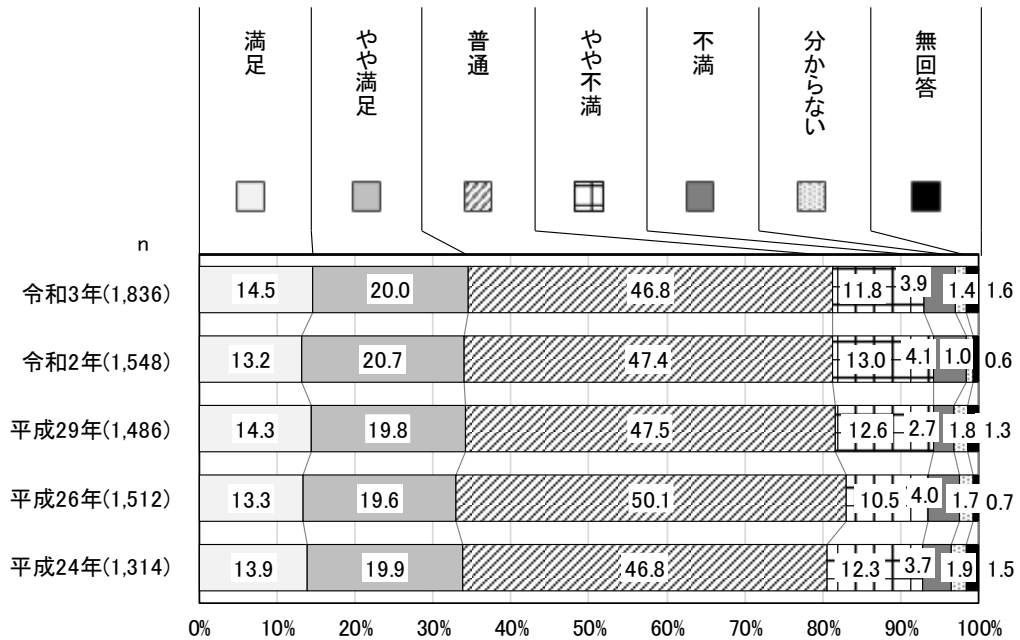
<図表2-16>⑤ 緑化の推進／居住地区別



【⑥ 街の景観／時系列比較】

平成24年からの調査結果を時系列で見ると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。(図表2-17)

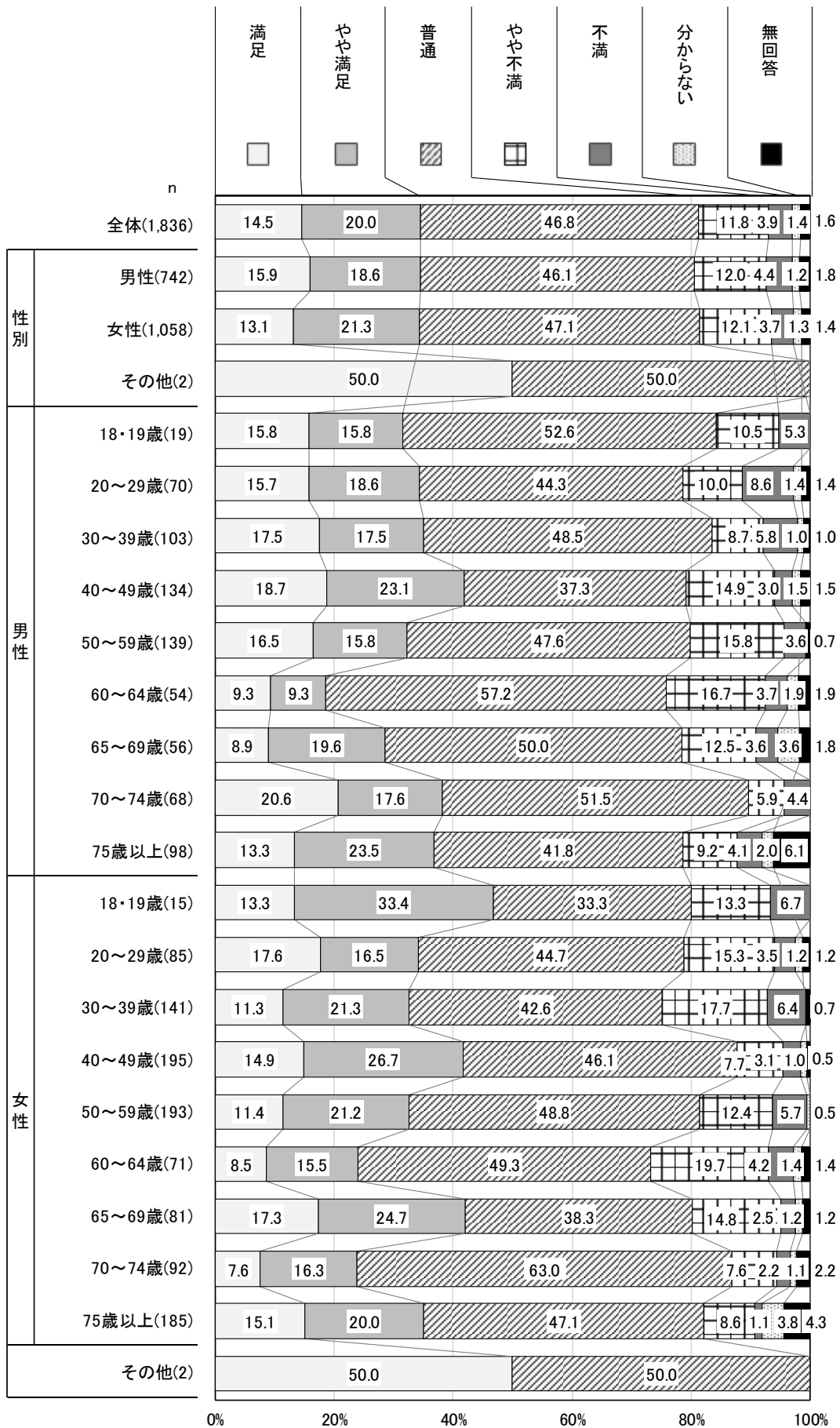
＜図表2-17＞⑥ 街の景観／時系列比較



【⑥ 街の景観／性・年齢別】

女性-18・19歳を除いた、男性・女性ともに全ての年齢で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～6割台と数値に差がある。一方、「不満」は男性・女性ともに全ての年齢で1割未満となっている。(図表2-18)

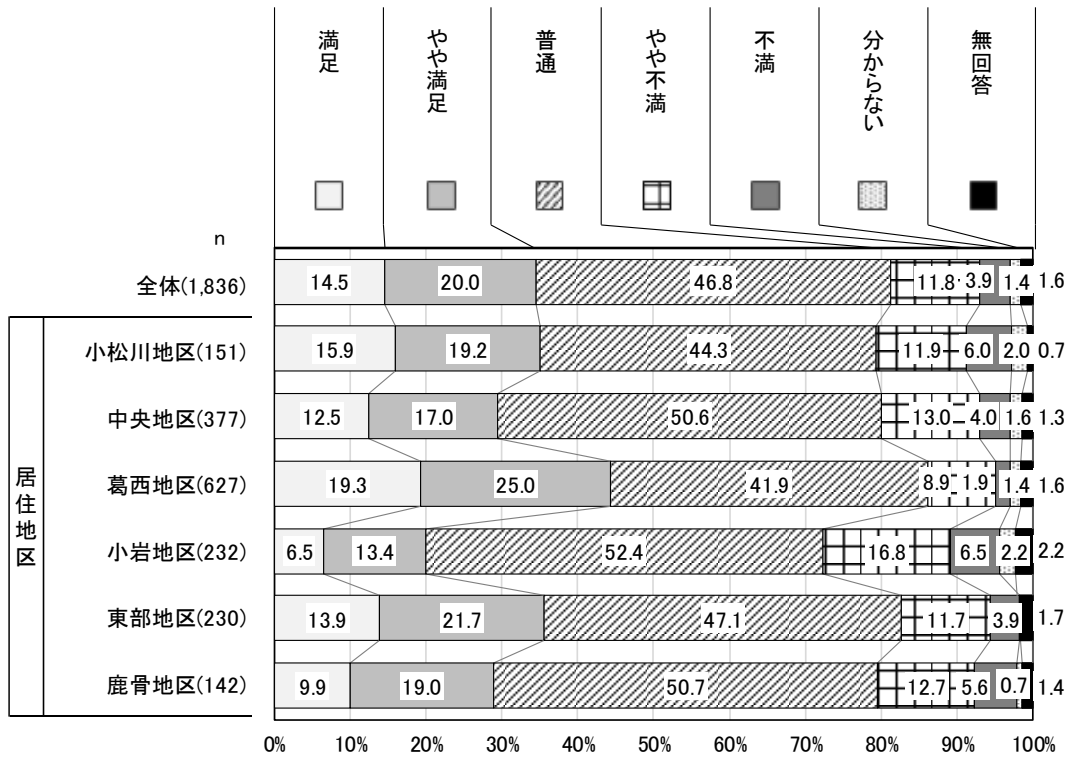
<図表2-18>⑥ 街の景観／性・年齢別



【⑥ 街の景観／居住地区別】

全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている一方、「不満」は1割未満となっている。(図表2-19)

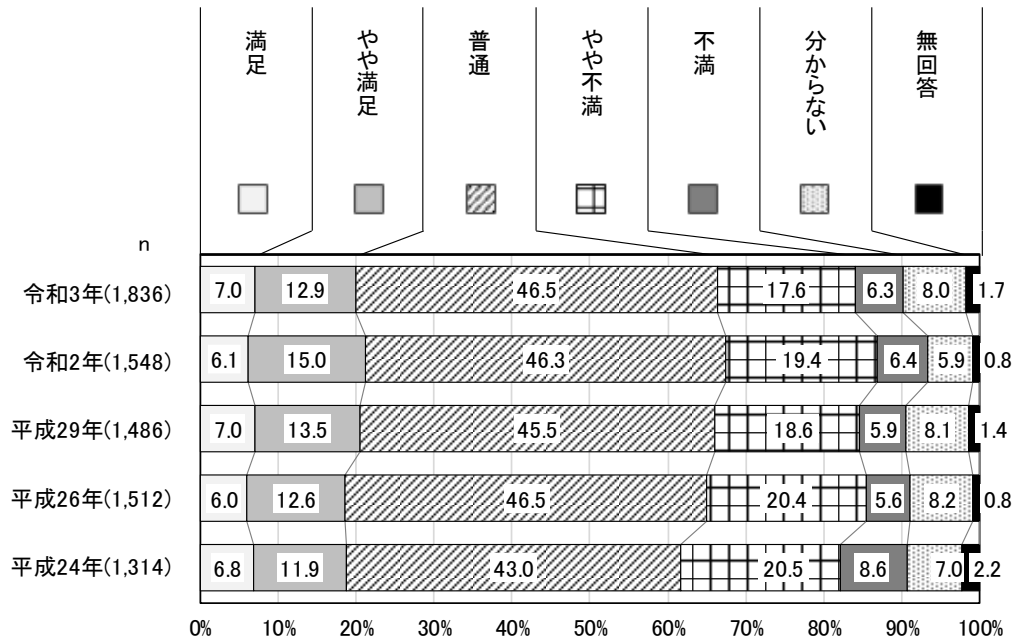
<図表2-19>⑥ 街の景観／居住地区別



【⑦ 街のバリアフリー／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。(図表2-20)

＜図表2-20＞⑦ 街のバリアフリー／時系列比較



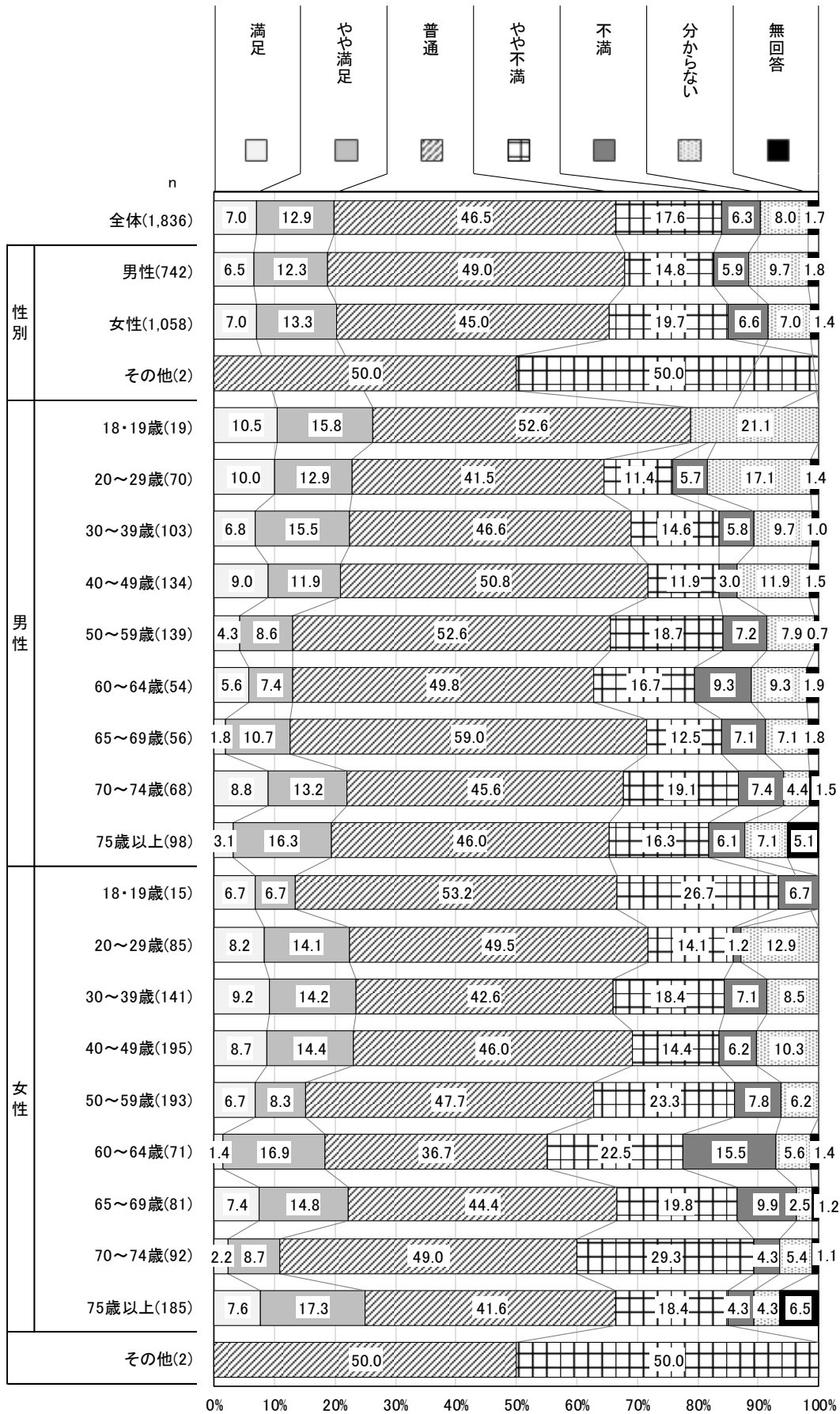
【⑦ 街のバリアフリー／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～5割台と数値に差がある。

男性-20～29 歳以下を除いた、男性・女性ともに全ての年齢で「満足」は1割未満となっている。

(図表2-21)

＜図表2-21＞⑦ 街のバリアフリー／性・年齢別

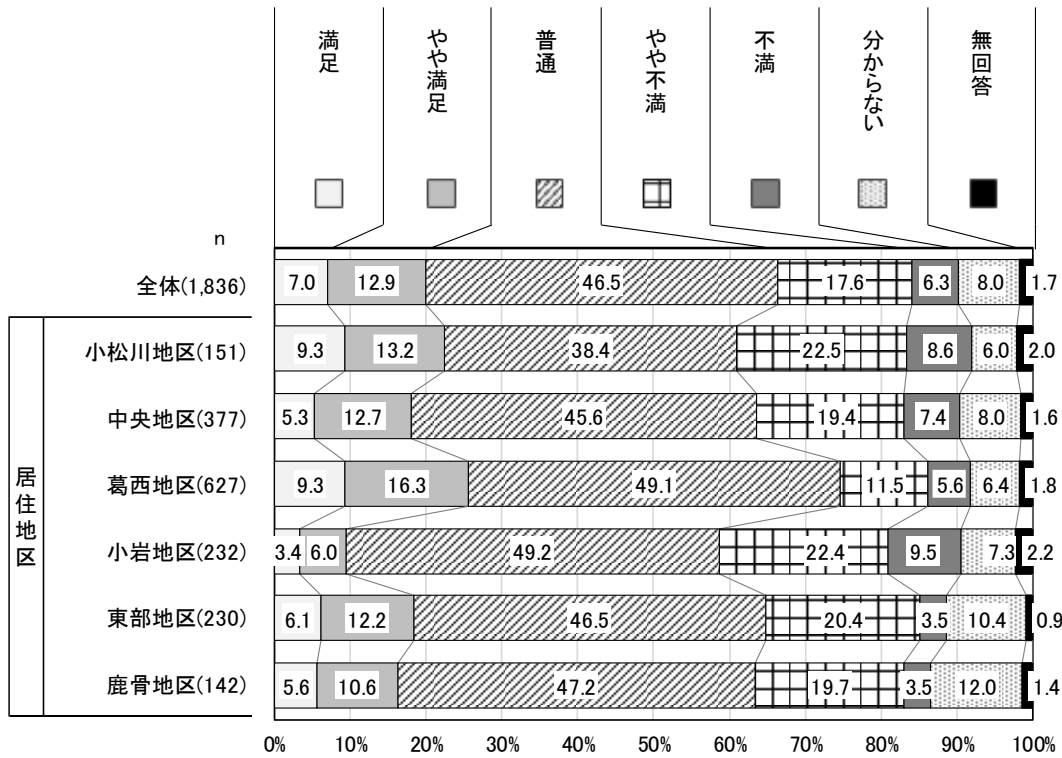




【⑦ 街のバリアフリー／居住地区別】

全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている一方、「満足」と「不満」は1割未満となっている。(図表2-22)

＜図表2-22＞⑦ 街のバリアフリー／居住地区別

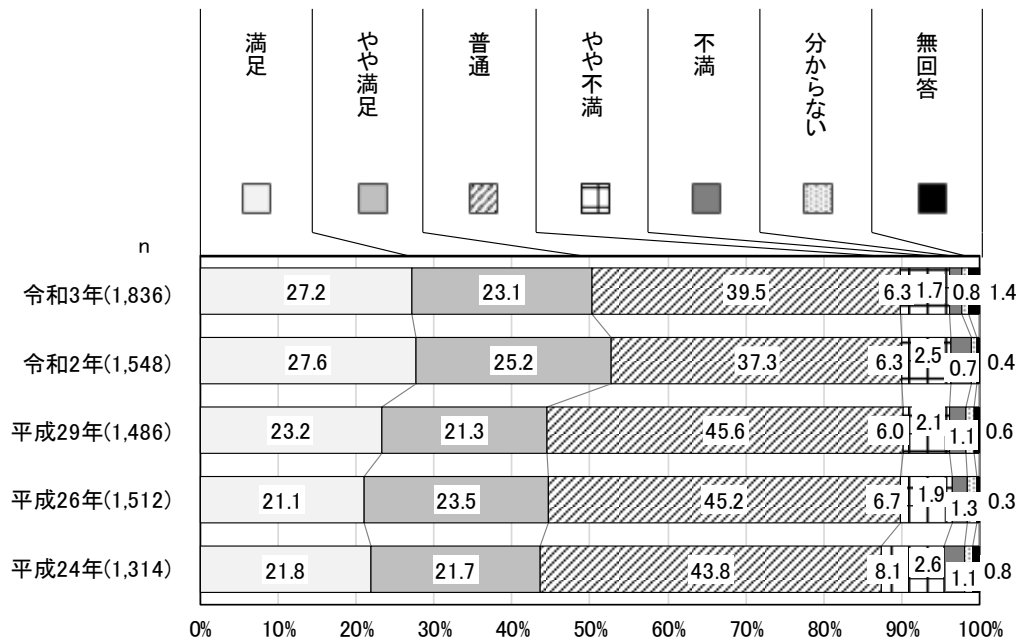


【⑧ ごみの収集／時系列比較】

令和2年と比較すると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。

一方、「満足」が平成26年(21.1%)から令和3年は6.1ポイント増加し、「普通」が平成29年(45.6%)から令和3年は6.1ポイント減少している。(図表2-23)

＜図表2-23＞⑧ ごみの収集／時系列比較

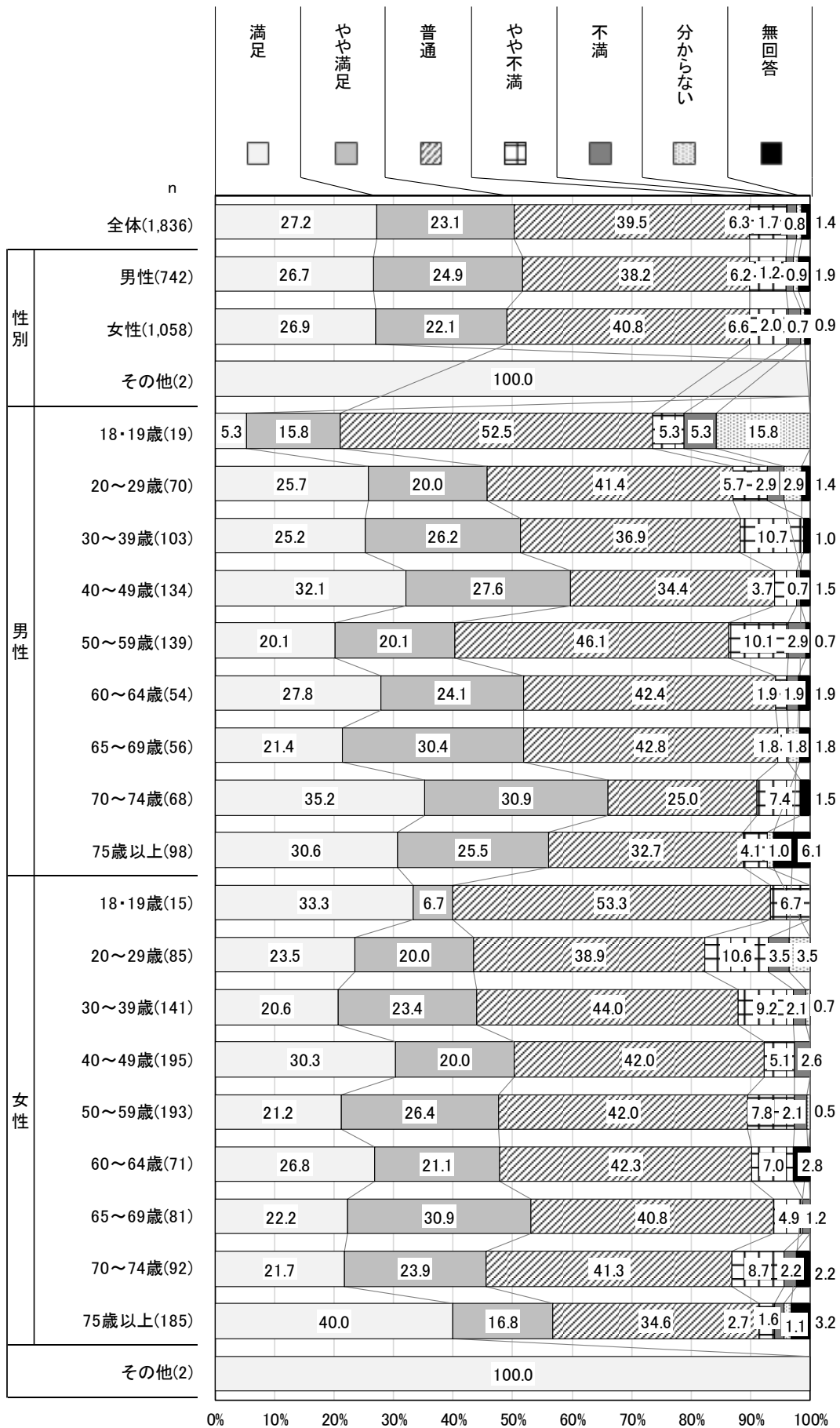


【⑧ ごみの収集／性・年齢別】

男性-70～74歳、女性-75歳以上を除いた、男性・女性ともに全ての年齢で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。男性-70～74歳は35.2%、女性-75歳以上は40.0%と「満足」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。一方、「不満」は男性・女性ともに全ての年齢で1割未満となっている。

(図表2-24)

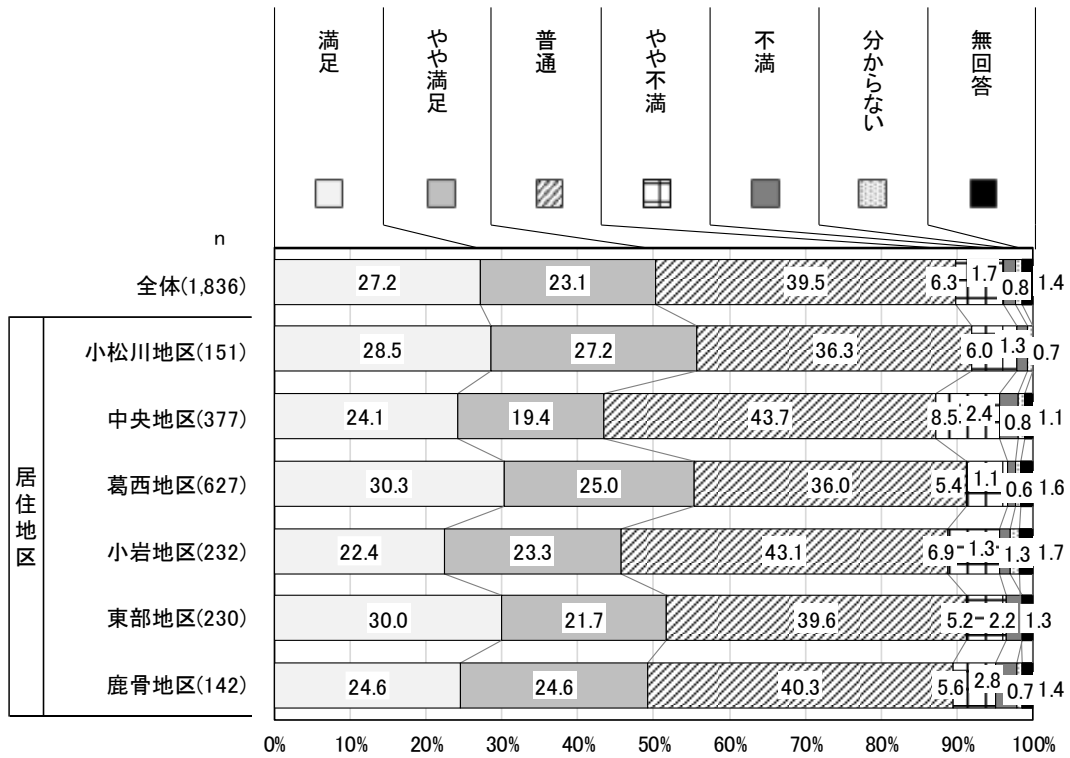
<図表2-24>⑧ ごみの収集／性・年齢別



【⑧ ごみの収集／居住地区別】

全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている一方、「やや不満」は1割未満、「不満」は5%に満たず少数となっている。(図表2-25)

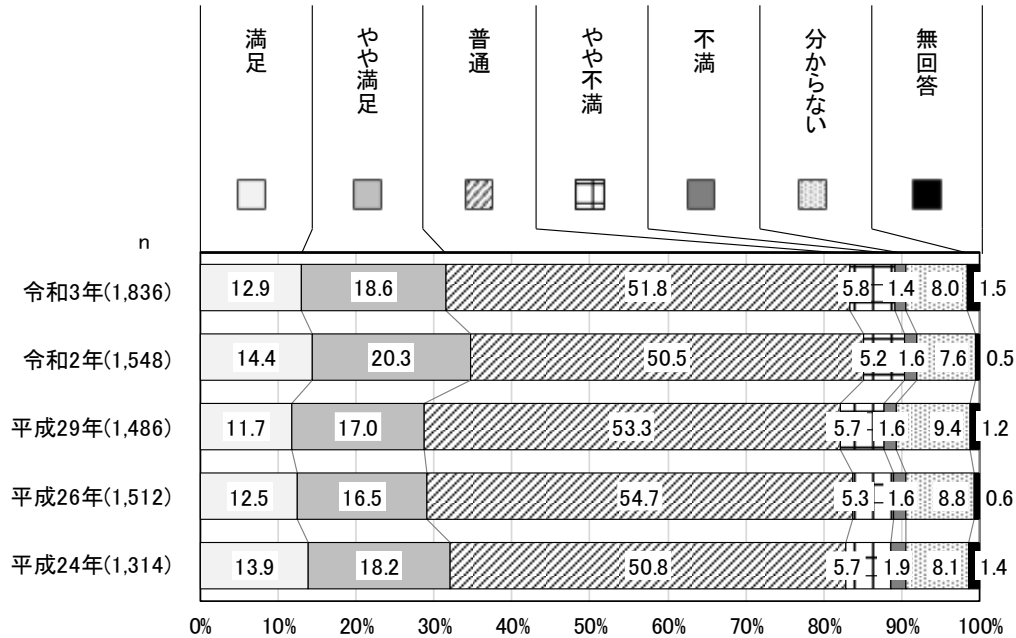
<図表2-25>⑧ ごみの収集／居住地区別



【⑨ リサイクルの推進／時系列比較】

平成24年から調査結果を時系列で見ると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。(図表2-26)

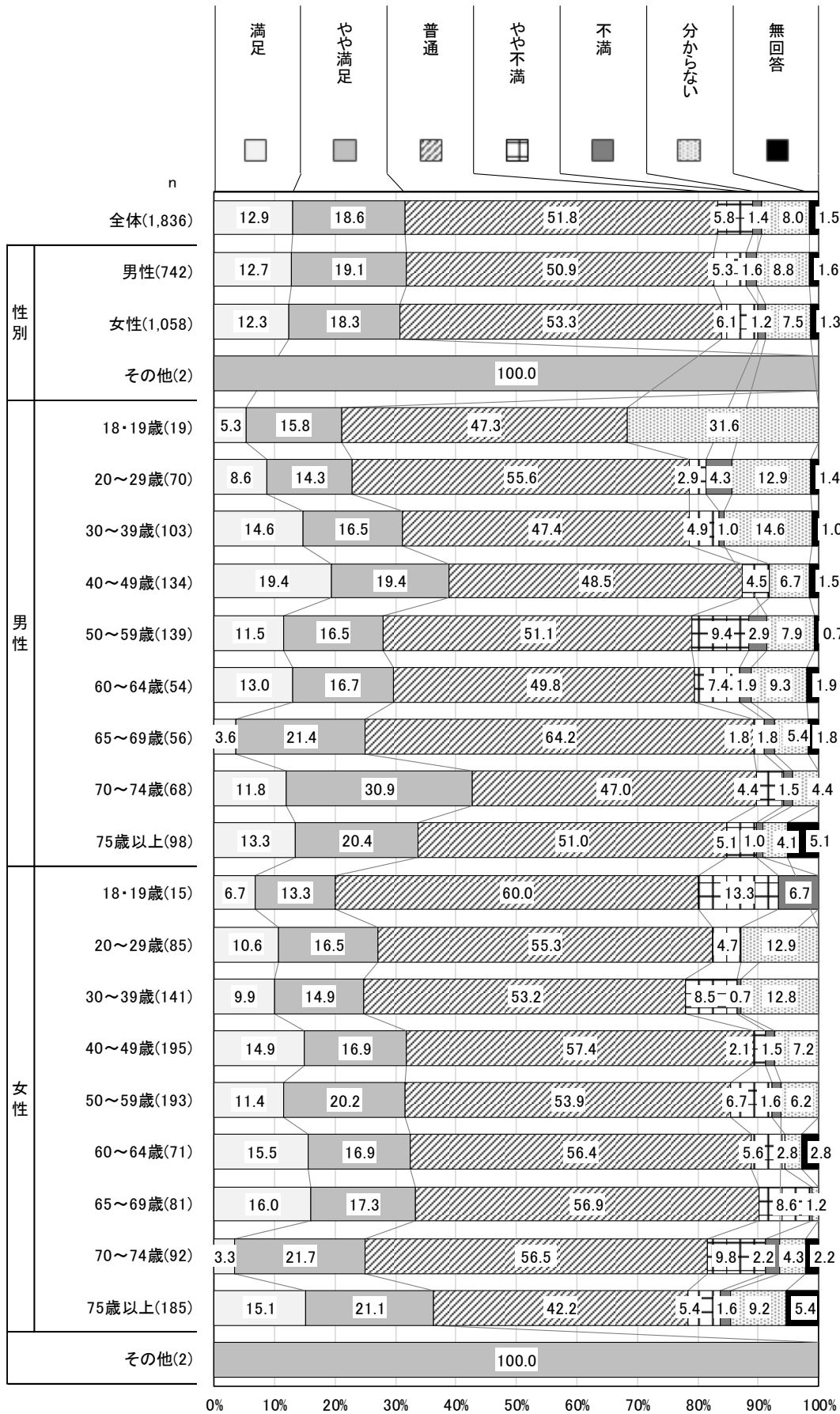
＜図表2-26＞⑨ リサイクルの推進／時系列比較



【⑨ リサイクルの推進／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、4割台～6割台と数値に差がある。一方、「不満」は男性・女性ともに全ての年齢で1割未満となっている。(図表2-27)

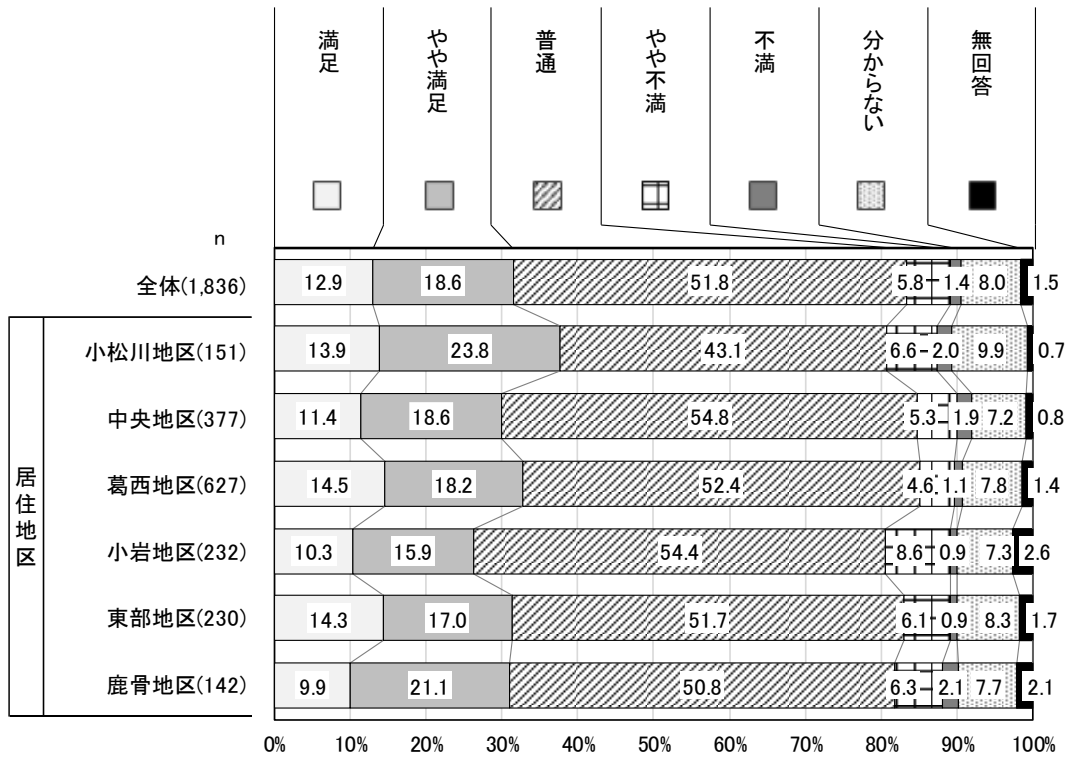
<図表2-27>⑨ リサイクルの推進／性・年齢別



【⑨ リサイクルの推進／居住地区別】

全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている一方、「やや不満」は1割未満、「不満」は5%に満たず少数となっている。(図表2-28)

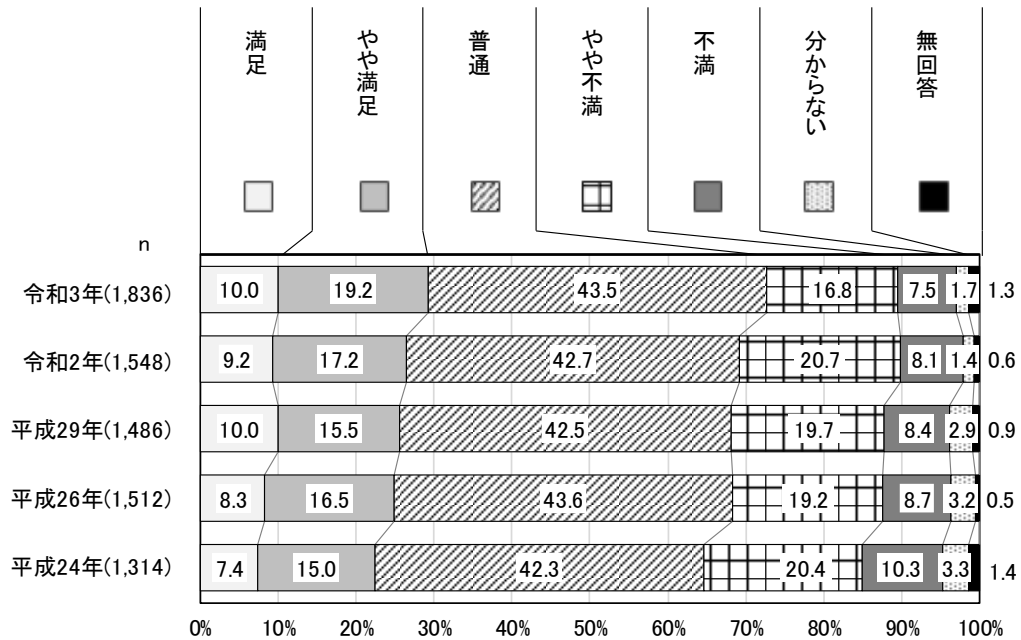
<図表2-28>⑨ リサイクルの推進／居住地区別



【⑩ 地域の治安・安全性／時系列比較】

平成 24 年からの調査結果を時系列で見ると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。(図表2-29)

＜図表2-29＞⑩ 地域の治安・安全性／時系列比較



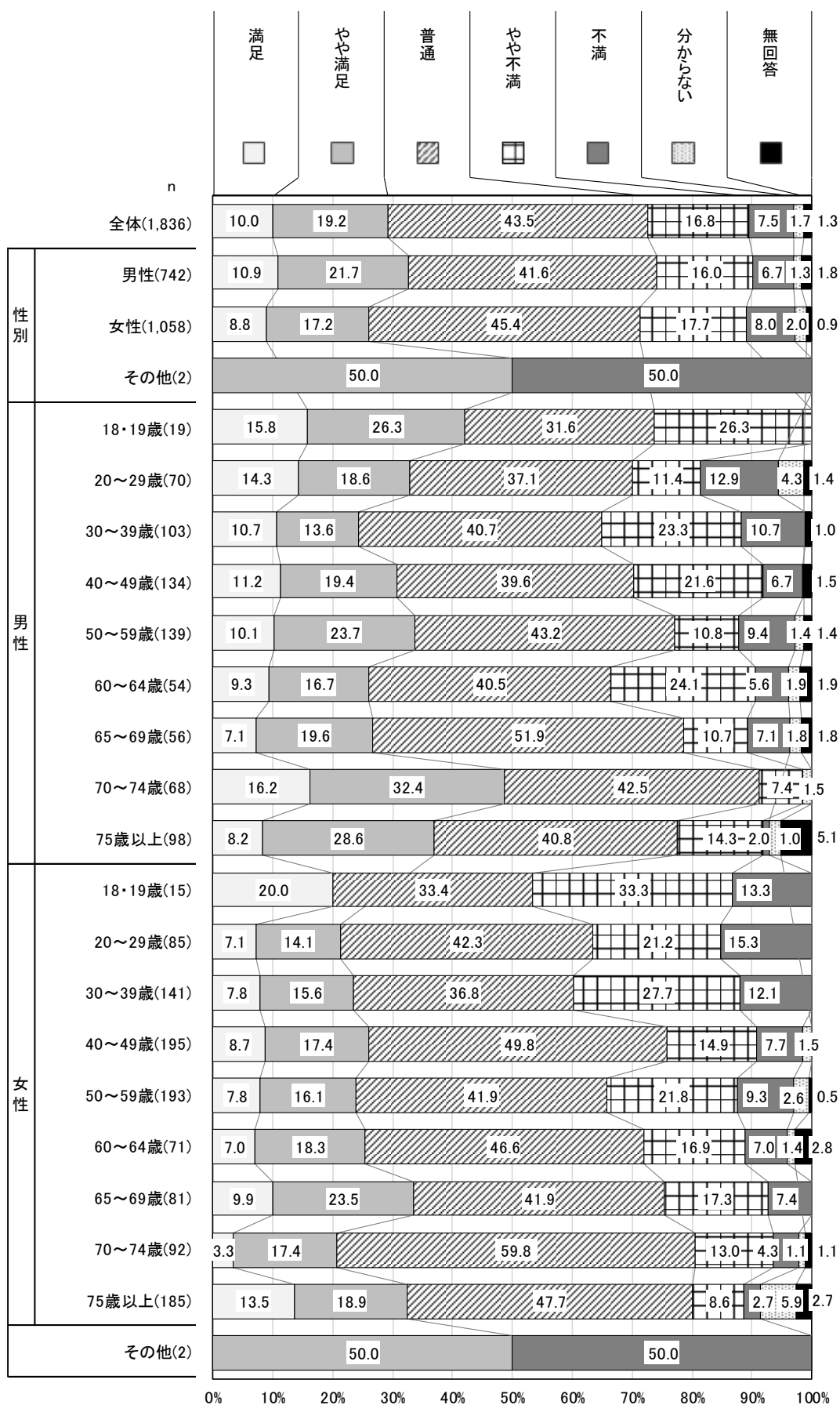
【⑩ 地域の治安・安全性／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～5割台と数値に差がある。「やや満足」は男性-70～74歳で32.4%と他の性・年齢に比べて高くなっている。

(図表2-30)



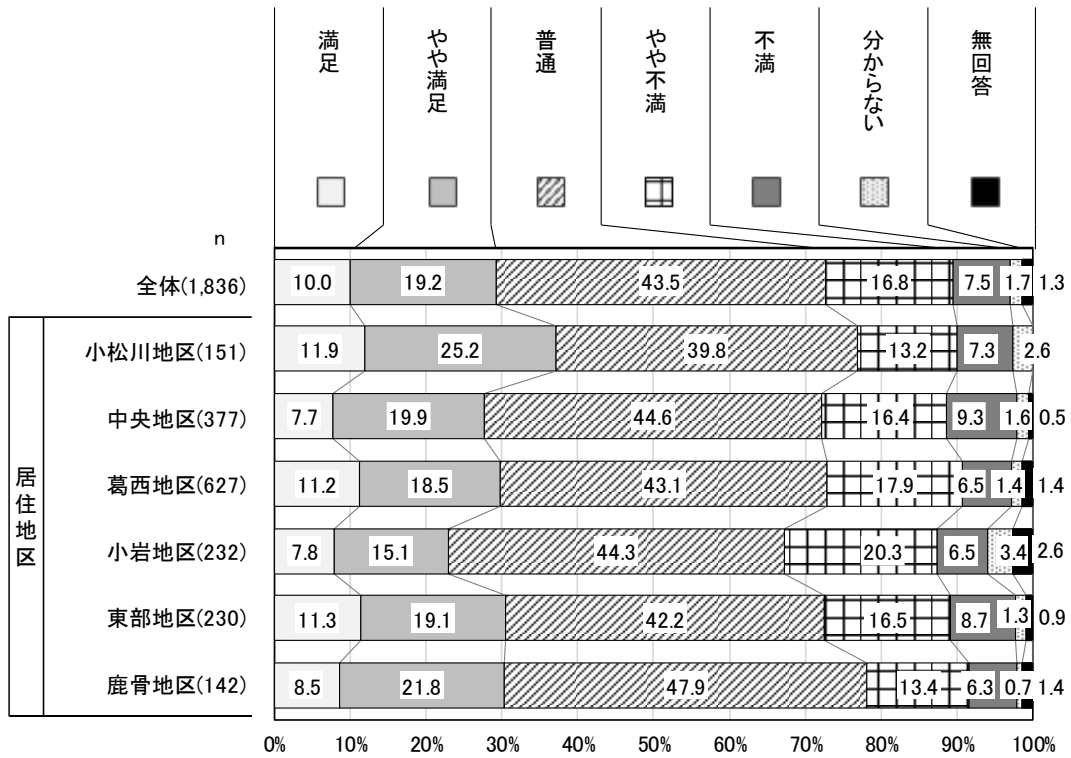
<図表2-30>⑩ 地域の治安・安全性／性・年齢別



【⑩ 地域の治安・安全性／居住地区別】

全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている一方、「不満」は1割未満となっている。(図表2-31)

<図表2-31>⑩ 地域の治安・安全性／居住地区別

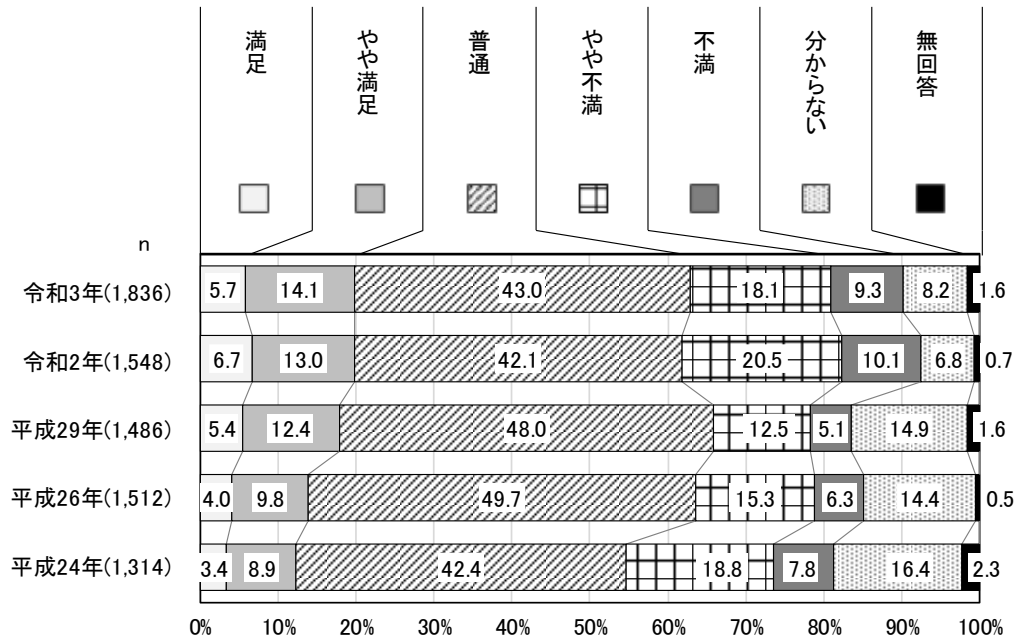


【⑪ 災害への備え／時系列比較】

令和2年と比較すると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。

一方、「やや満足」が平成24年(8.9%)から令和3年は5.2ポイント増加し、「普通」が平成26年(49.7%)から令和3年は6.7ポイント減少している。(図表2-32)

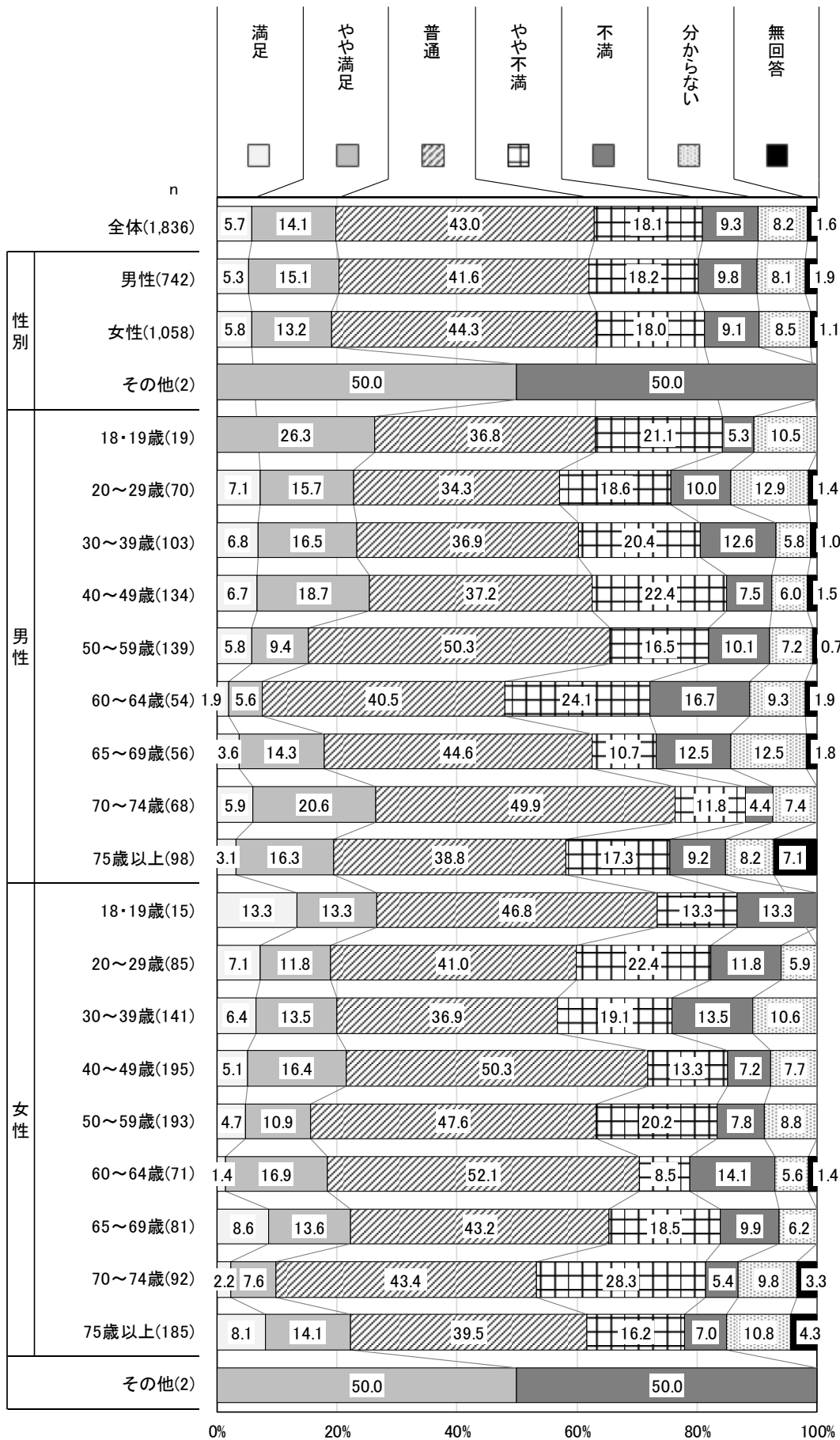
<図表2-32>⑪ 災害への備え／時系列比較



【⑪ 災害への備え／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～5割台と数値に差がある。(図表2-33)

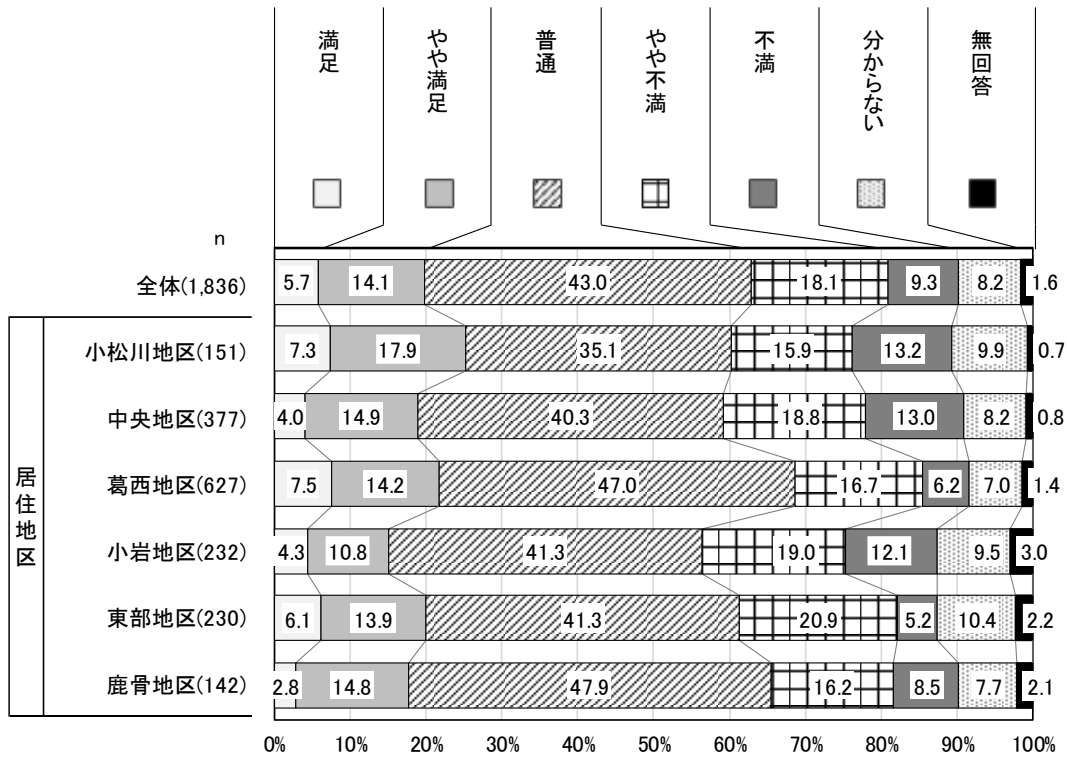
<図表2-33>⑪ 災害への備え／性・年齢別



【⑪ 災害への備え／居住地区別】

全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている一方、「満足」は1割未満、「やや満足」は1割台となっている。(図表2-34)

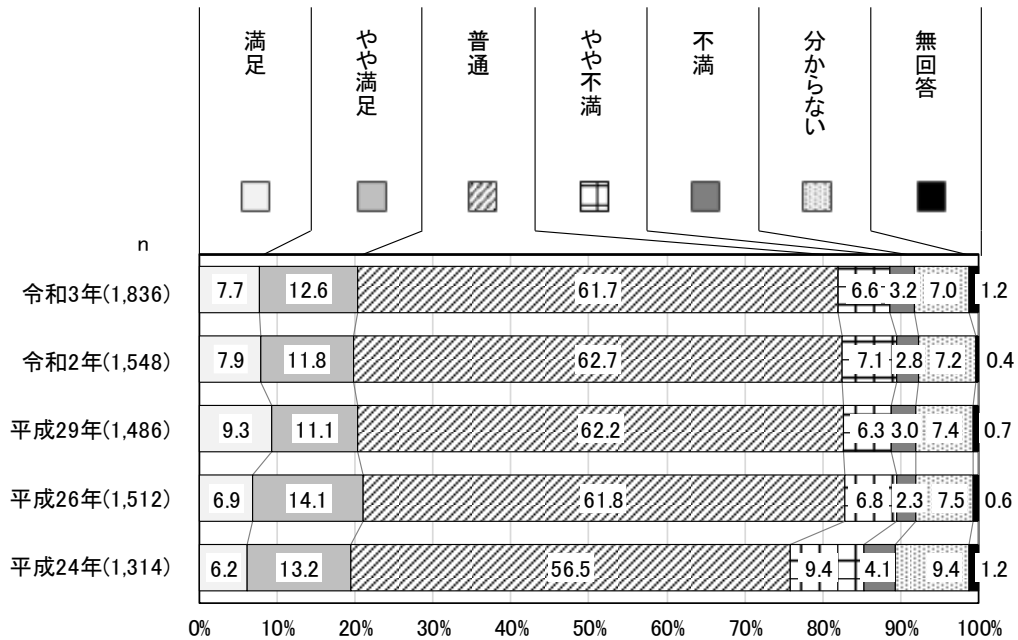
<図表2-34>⑪ 災害への備え／居住地区別



【⑫ 近所づきあい／時系列比較】

令和2年と比較すると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。一方、「普通」が平成24年(56.5%)から令和3年は5.2ポイント増加している。(図表2-35)

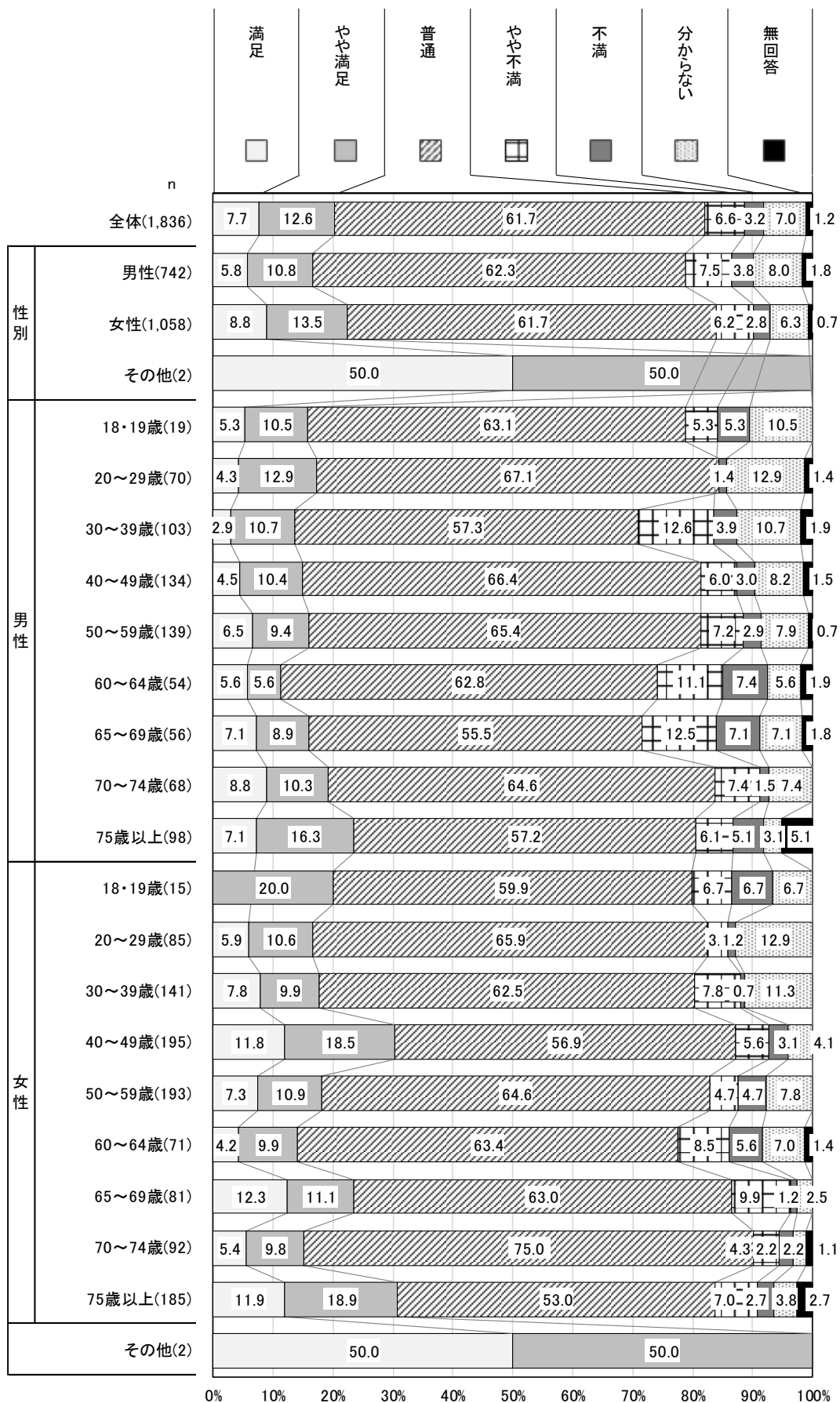
<図表2-35>⑫ 近所づきあい／時系列比較



【⑬ 近所づきあい／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、5割台～7割台と数値に差がある。一方、「不満」は1割未満となっている。(図表2-36)

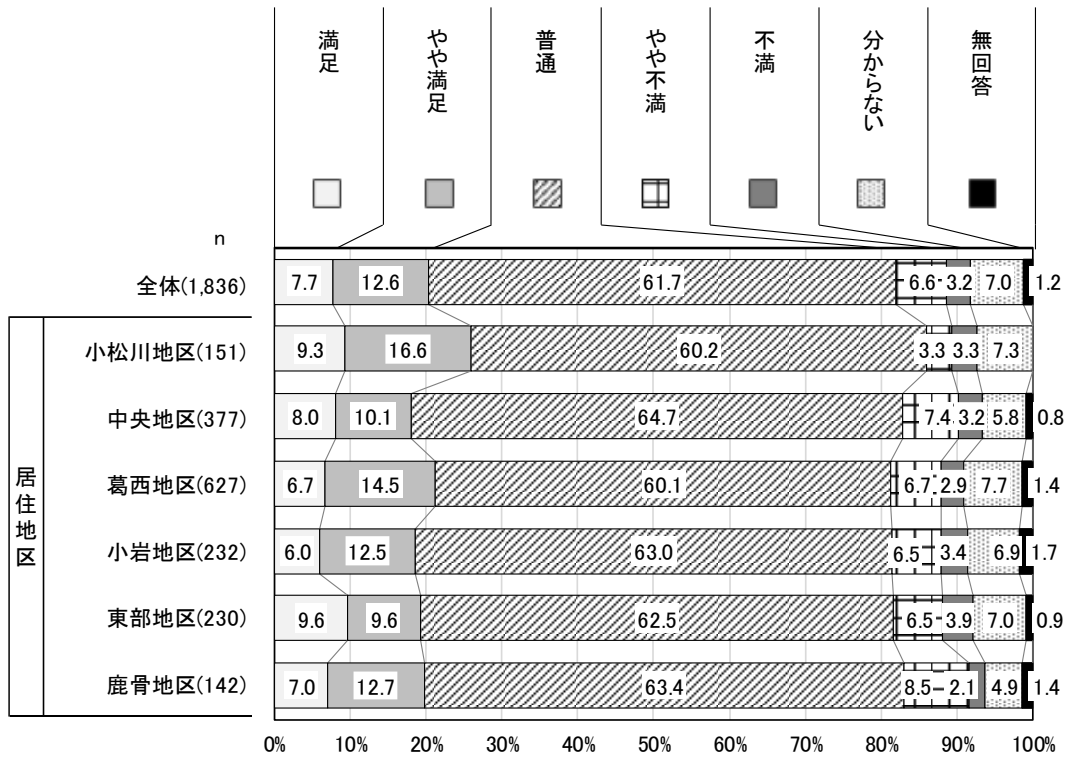
<図表2-36>⑫ 近所づきあい／性・年齢別



【⑫ 近所づきあい／居住地区別】

全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている一方、「満足」と「やや不満」は1割未満、「不満」は5%に満たず少数となっている。(図表2-37)

<図表2-37>⑫ 近所づきあい／居住地区別

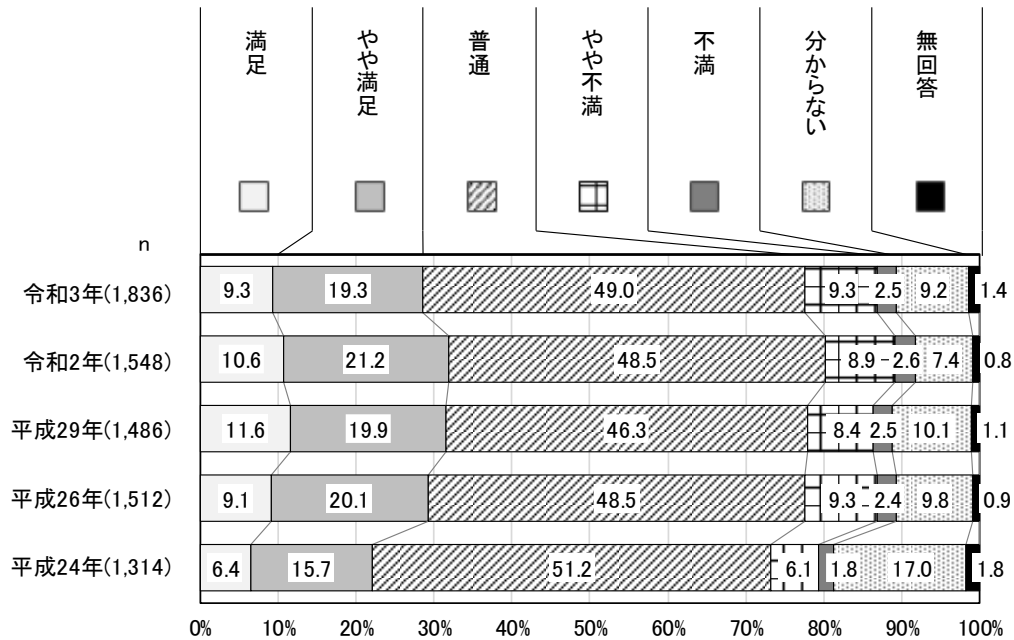




【⑬ 文化施設の充実度／時系列比較】

令和2年と比較すると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。一方、「分からない」が平成24年(17.0%)から令和3年は7.8ポイント減少している。(図表2-38)

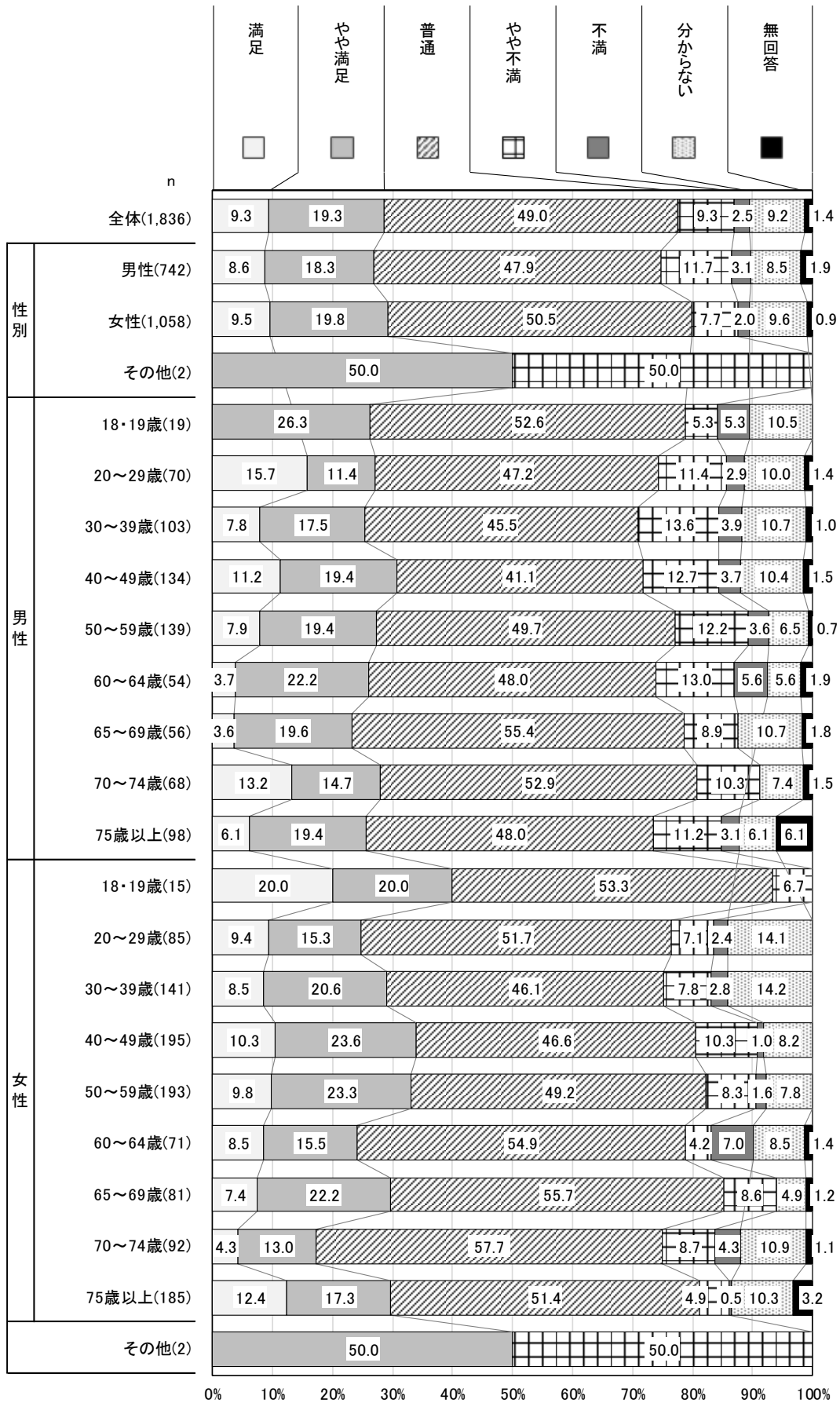
＜図表2-38＞⑬ 文化施設の充実度／時系列比較



【⑬ 文化施設の充実度／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。一方、「不満」は1割未満となっている。(図表2-39)

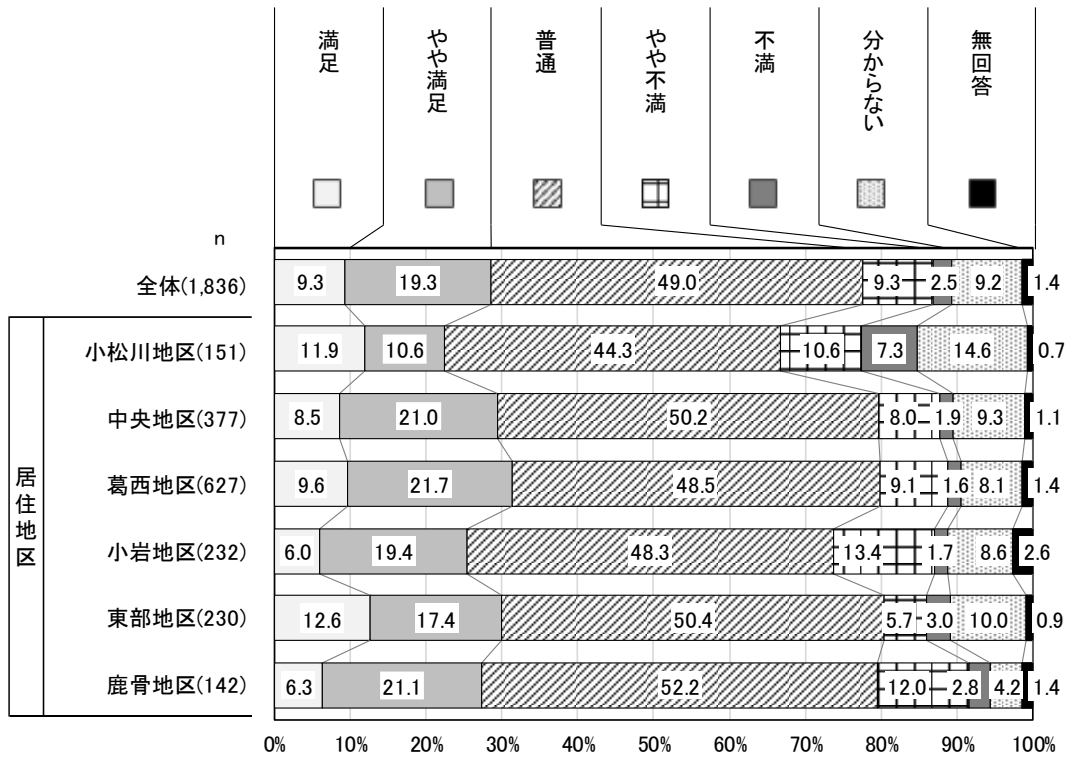
＜図表2-39＞⑬ 文化施設の充実度／性・年齢別



【⑬ 文化施設の充実度／居住地区別】

全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている一方、「不満」は1割未満となっている。(図表2-40)

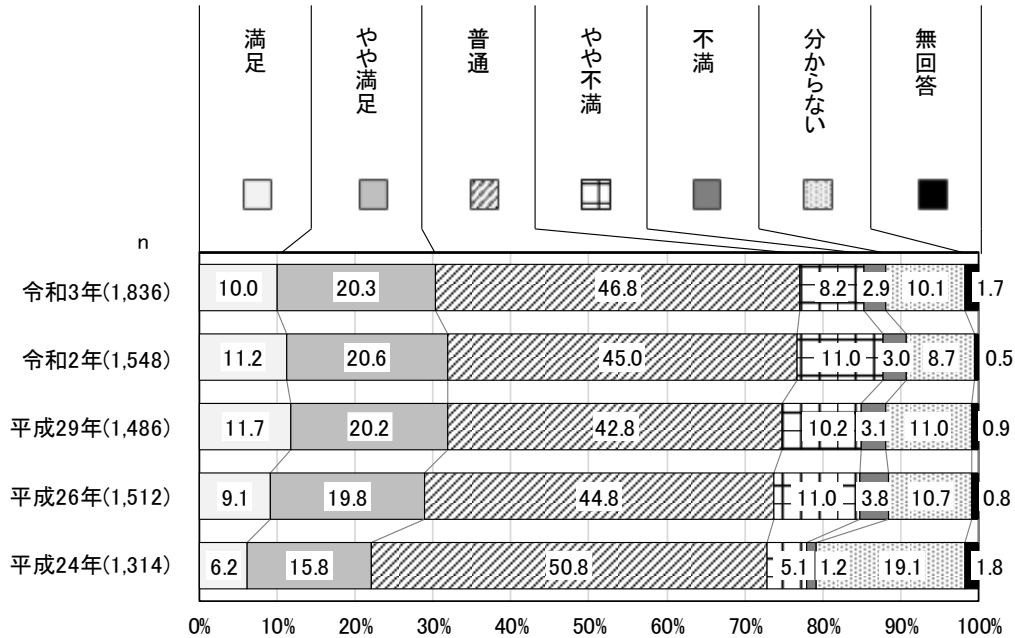
<図表2-40>⑬ 文化施設の充実度／居住地区別



【⑭ スポーツ施設の充実度／時系列比較】

令和2年と比較すると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。一方、「分からない」が平成24年(19.1%)から令和3年は9.0ポイント減少している。(図表2-41)

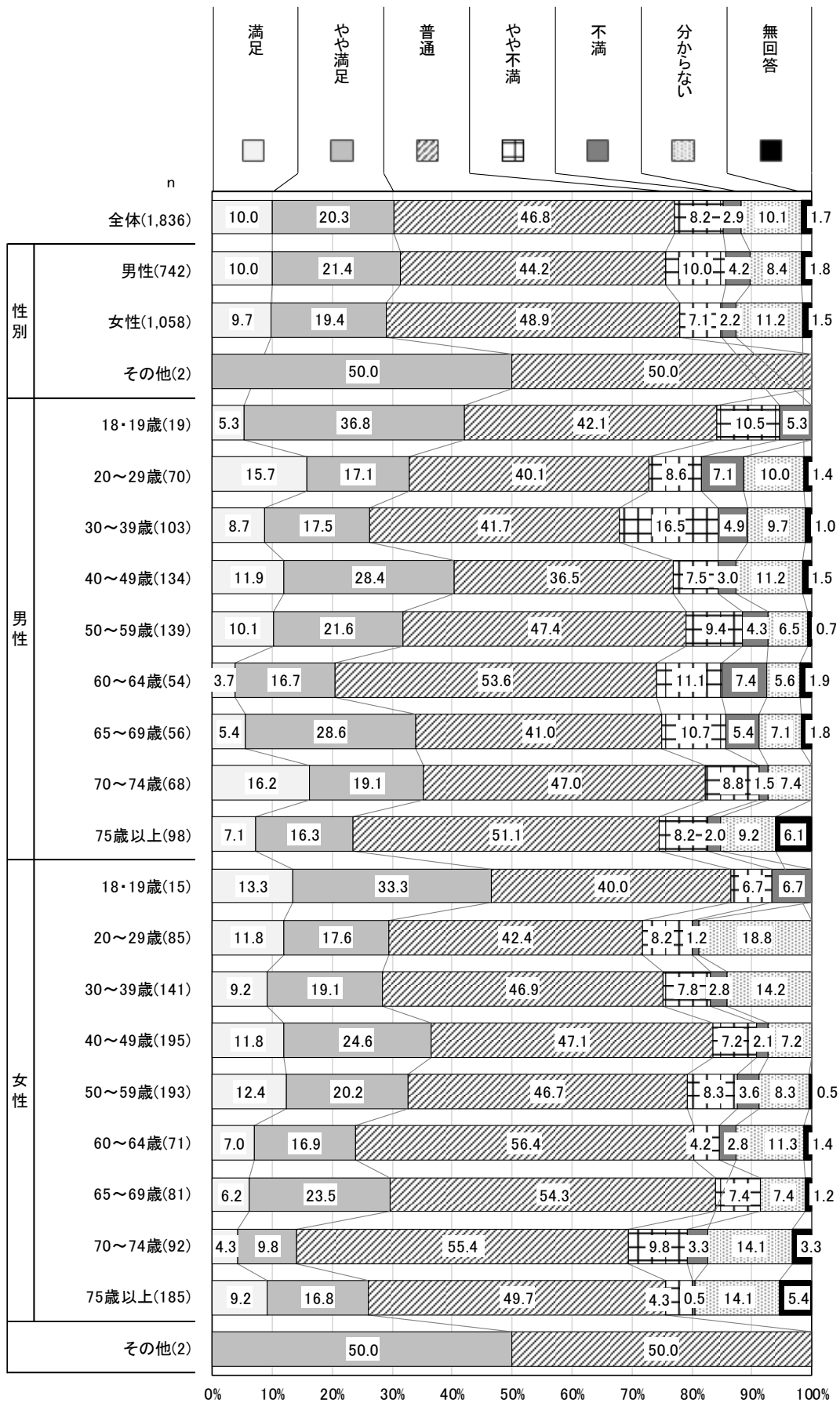
＜図表2-41＞⑭ スポーツ施設の充実度／時系列比較



【⑭ スポーツ施設の充実度／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～5割台と数値に差がある。一方、「不満」は1割未満となっている。(図表2-42)

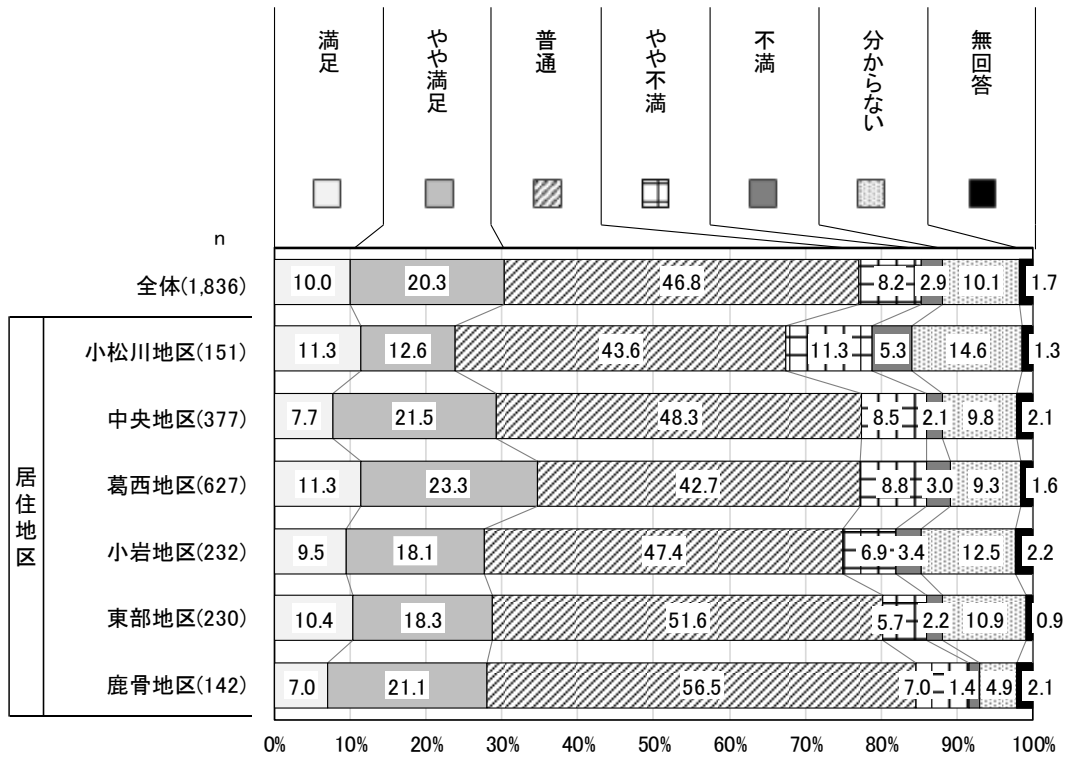
<図表2-42>⑭ スポーツ施設の充実度／性・年齢別



【⑭ スポーツ施設の充実度／居住地区別】

全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている一方、「不満」は1割未満となっている。(図表2-43)

<図表2-43>⑭ スポーツ施設の充実度／居住地区別

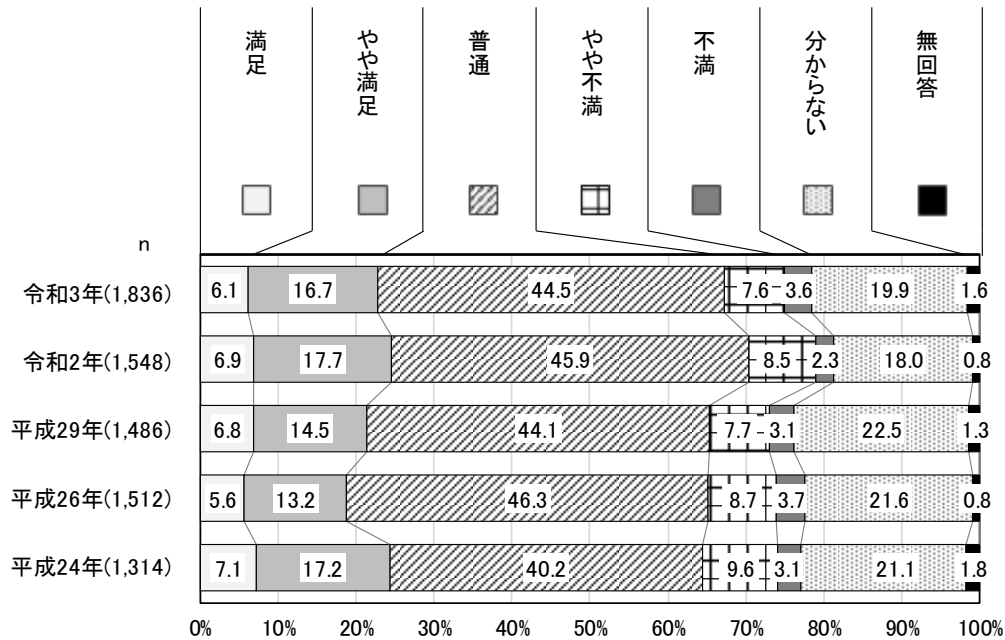


【15 熟年者の生活環境／時系列比較】

令和2年と比較すると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。

(図表2-44)

＜図表2-44＞15 熟年者の生活環境／時系列比較

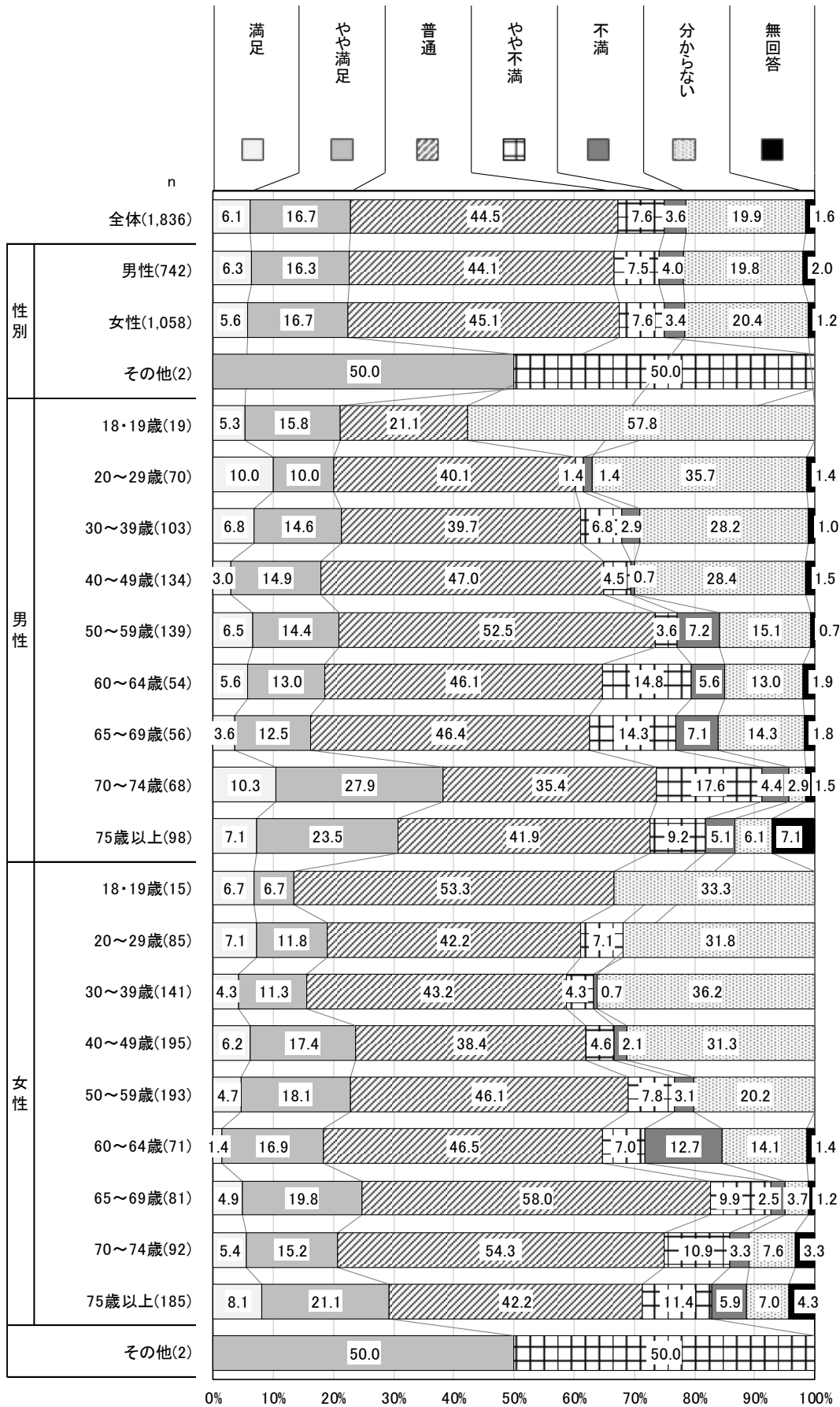


【15 熟年者の生活環境／性・年齢別】

男性-18・19歳を除いた、男性・女性ともに全ての年齢で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～5割台と数値に差がある。

「やや満足」は男性-70～74歳は27.9%、男性-75歳以上が23.5%、女性-75歳以上が21.1%と他の性・年齢よりも高くなっている。「分からない」は男性・女性ともに40～49歳以下で他の年齢よりも特に高くなっている。(図表2-45)

<図表2-45> ⑮ 熟年者の生活環境／性・年齢別

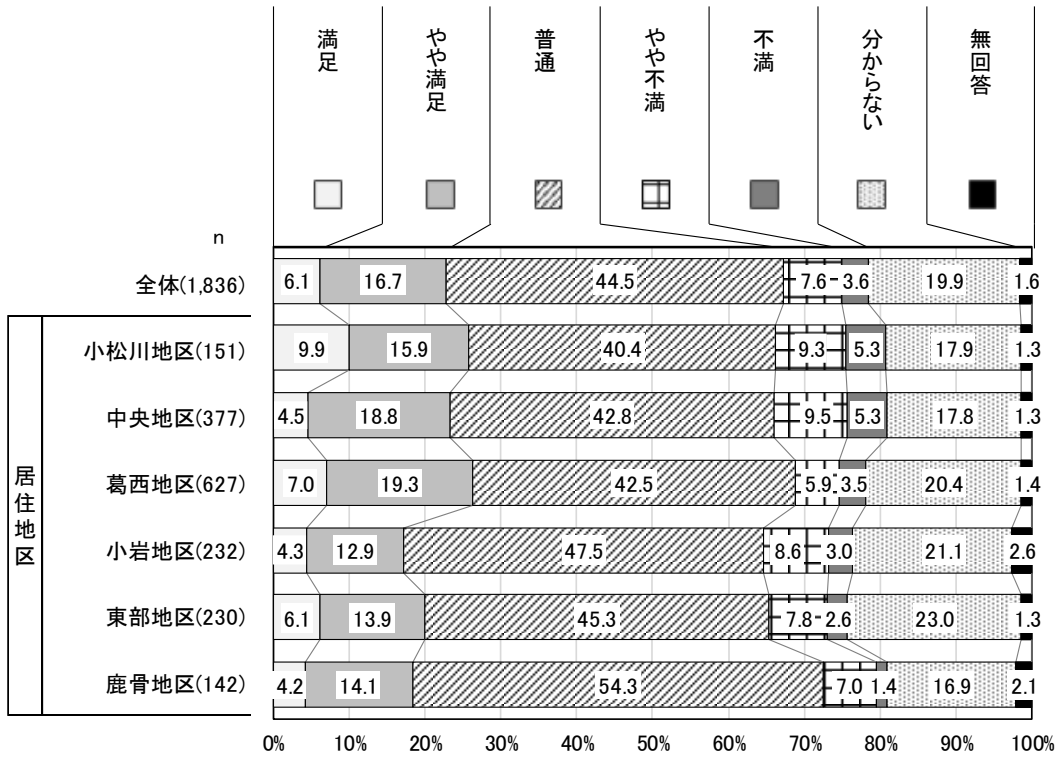




【⑮ 熟年者の生活環境／居住地区別】

全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている一方、「やや満足」は1割台、「満足」、「やや不満」、「不満」は1割未満となっている。(図表2-46)

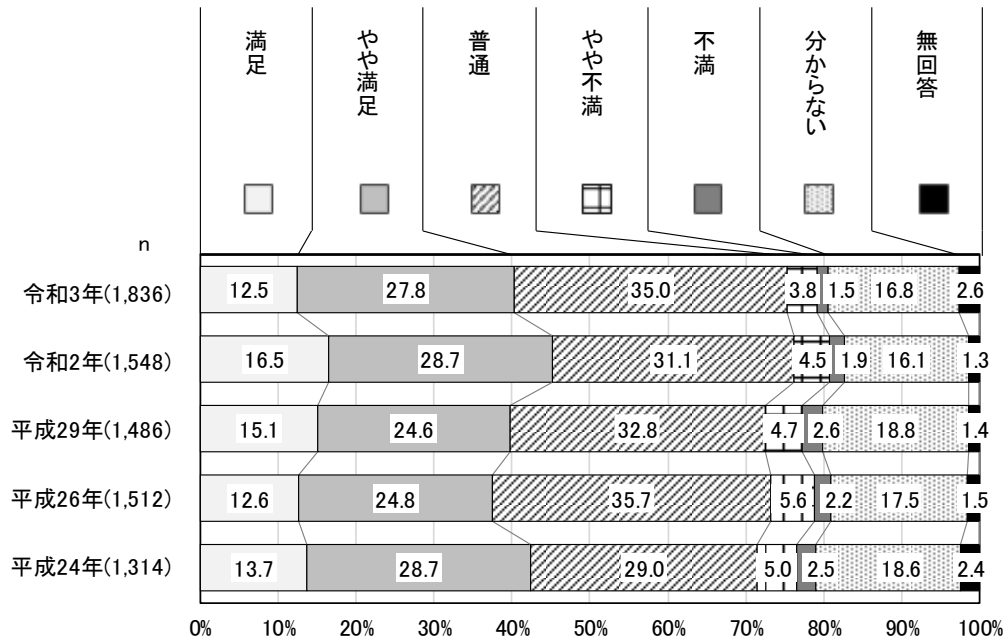
＜図表2-46＞⑮ 熟年者の生活環境／居住地区別



【16】子育て環境／時系列比較】

令和2年と比較すると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。一方、「普通」が平成24年(29.0%)から令和3年は6.0ポイント増加している。(図表2-47)

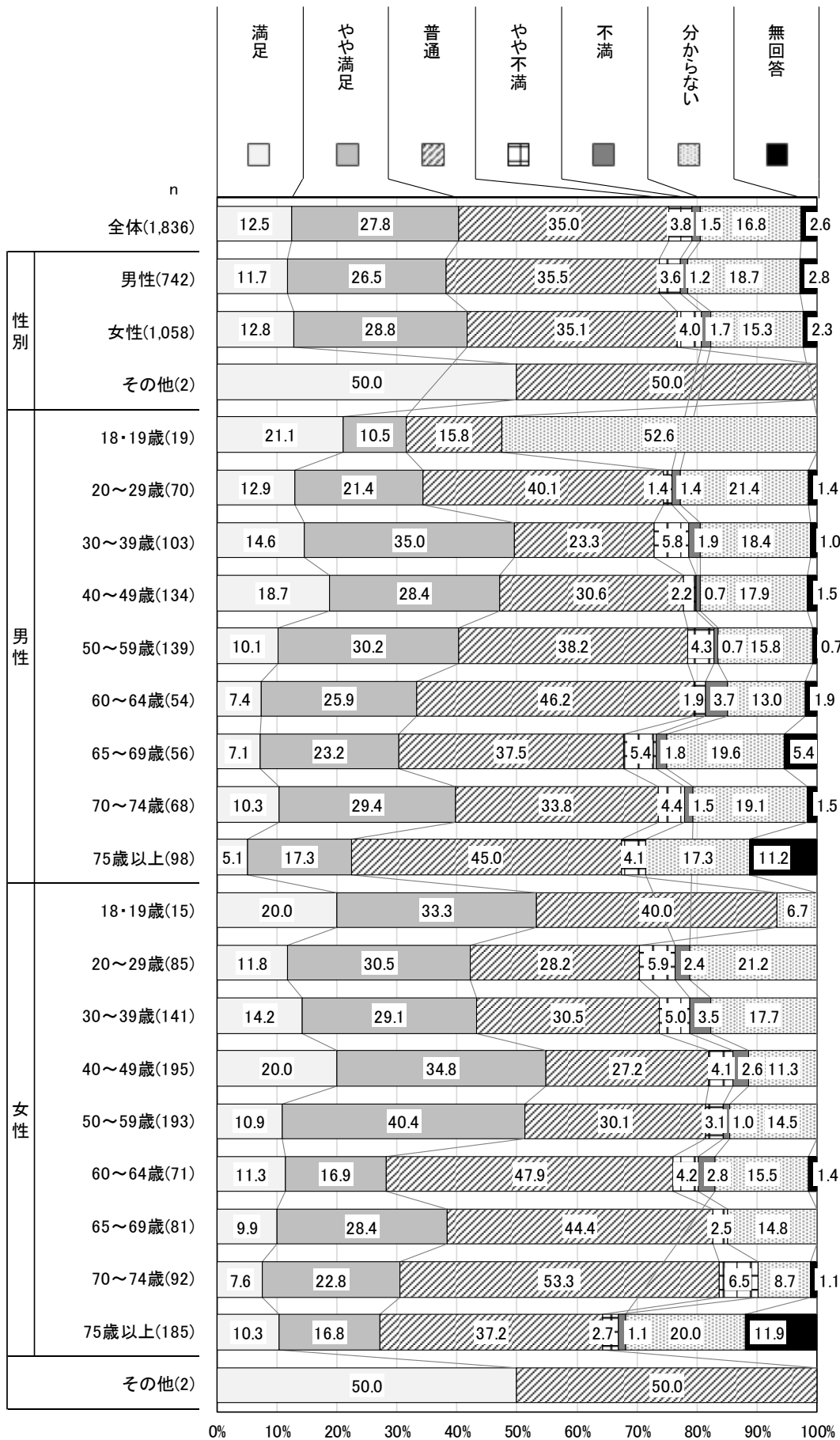
＜図表2-47＞⑬ 子育て環境／時系列比較



【16】子育て環境／性・年齢別】

男性-20～29歳、男性-40～49歳以上、女性-18・19歳、女性-30～39歳、女性-60～64歳以上で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～5割台と数値に差がある。「普通」以外の選択肢で最も高い回答として、「やや満足」が男性-30～39歳で35.0%、女性-20～29歳で30.5%、女性-40～49歳で34.8%、女性-50～59歳で40.4%となっている。一方、男性・女性ともに全ての年齢で「やや不満」は1割未満、「不満」は5%に満たず少数となっている。(図表2-48)

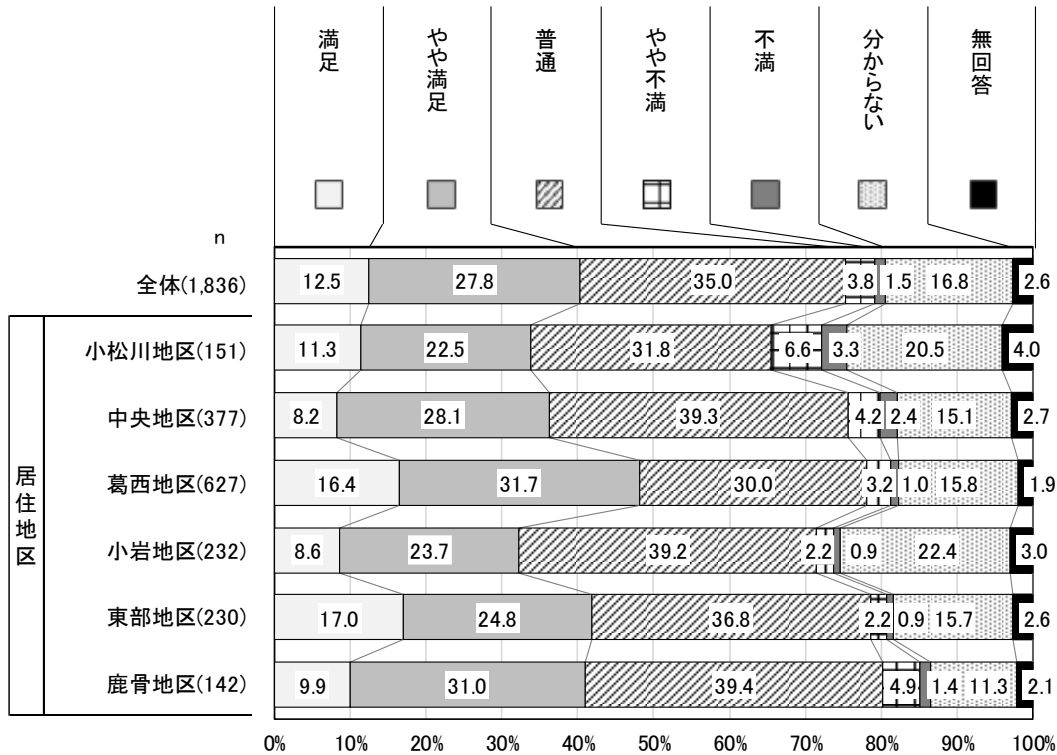
<図表2-48>⑯ 子育て環境／性・年齢別



【⑩ 子育て環境／居住地区別】

葛西地区を除いた、全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。一方、全ての居住地区で「やや不満」は1割未満、「不満」は5%に満たず少数となっている。(図表2-49)

<図表2-49>⑩ 子育て環境／居住地区別

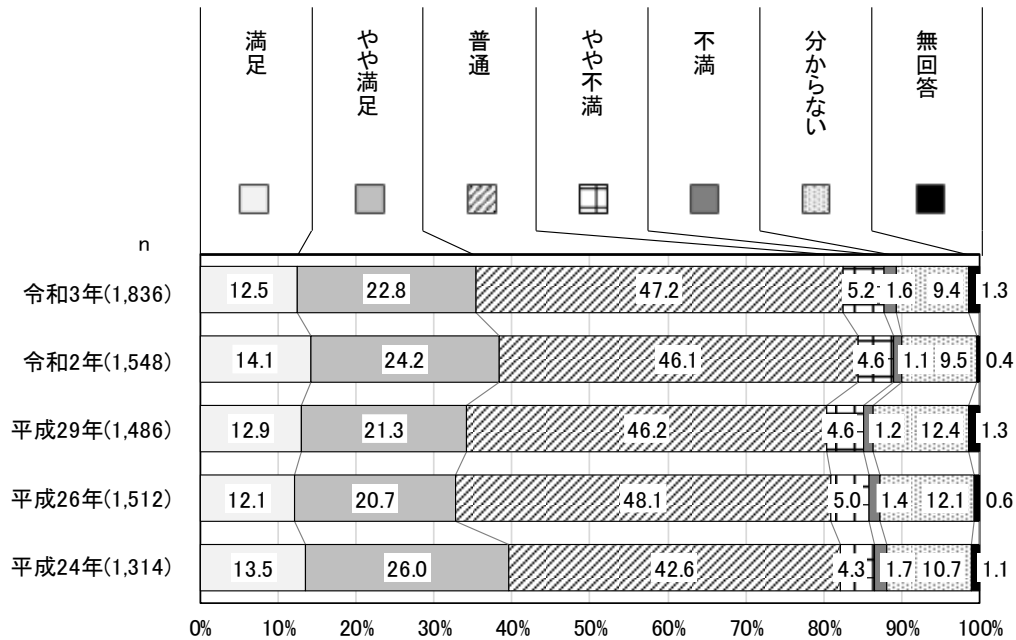


【⑰ 健康相談・健康診査／時系列比較】

令和2年と比較すると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。

(図表2-50)

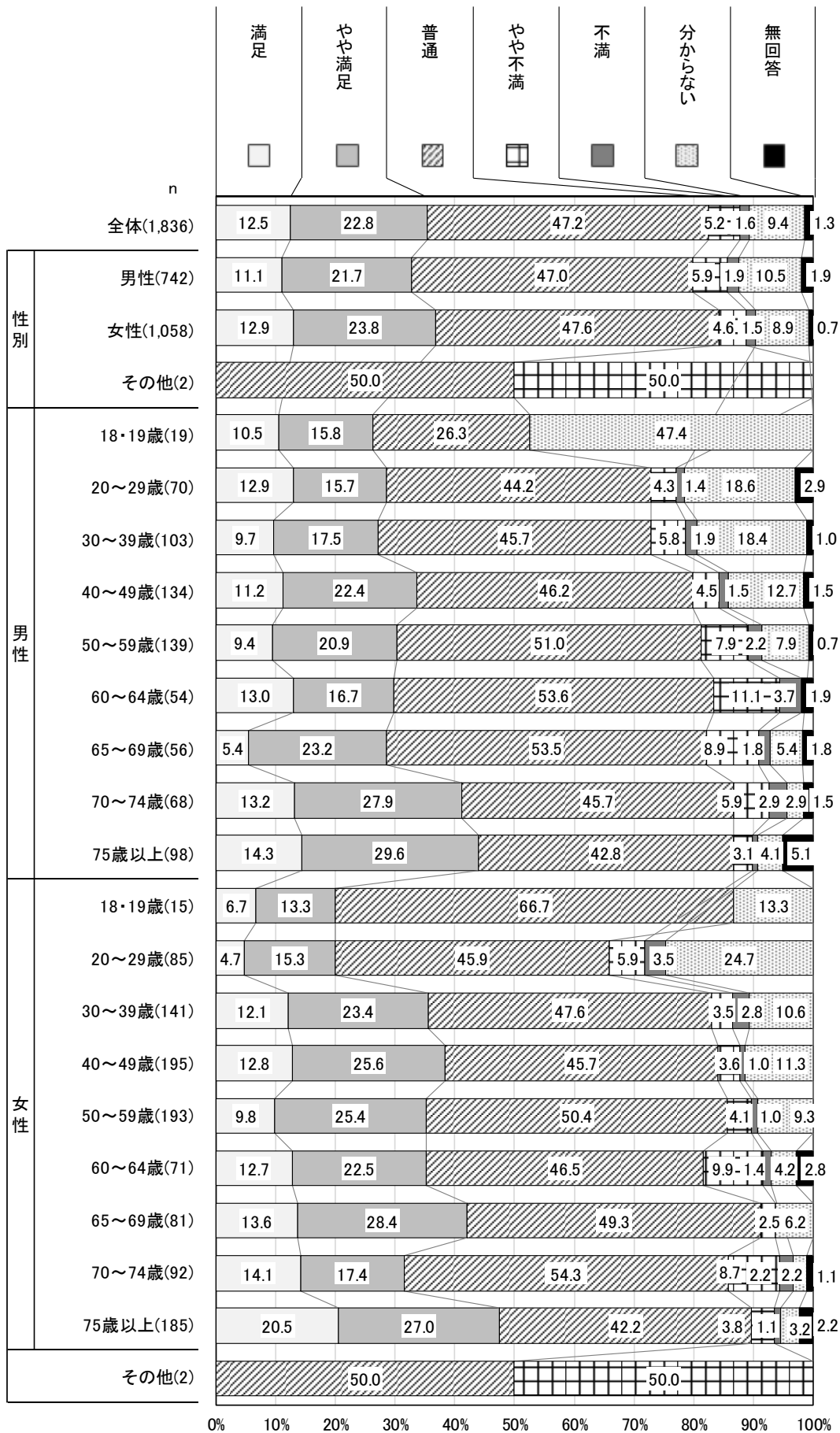
<図表2-50>⑰ 健康相談・健康診査／時系列比較



【⑰ 健康相談・健康診査／性・年齢別】

男性-18・19歳を除いた、男性・女性ともに全ての年齢で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。一方、男性・女性ともに全ての年齢で「不満」は5%に満たず少数となっている。(図表2-51)

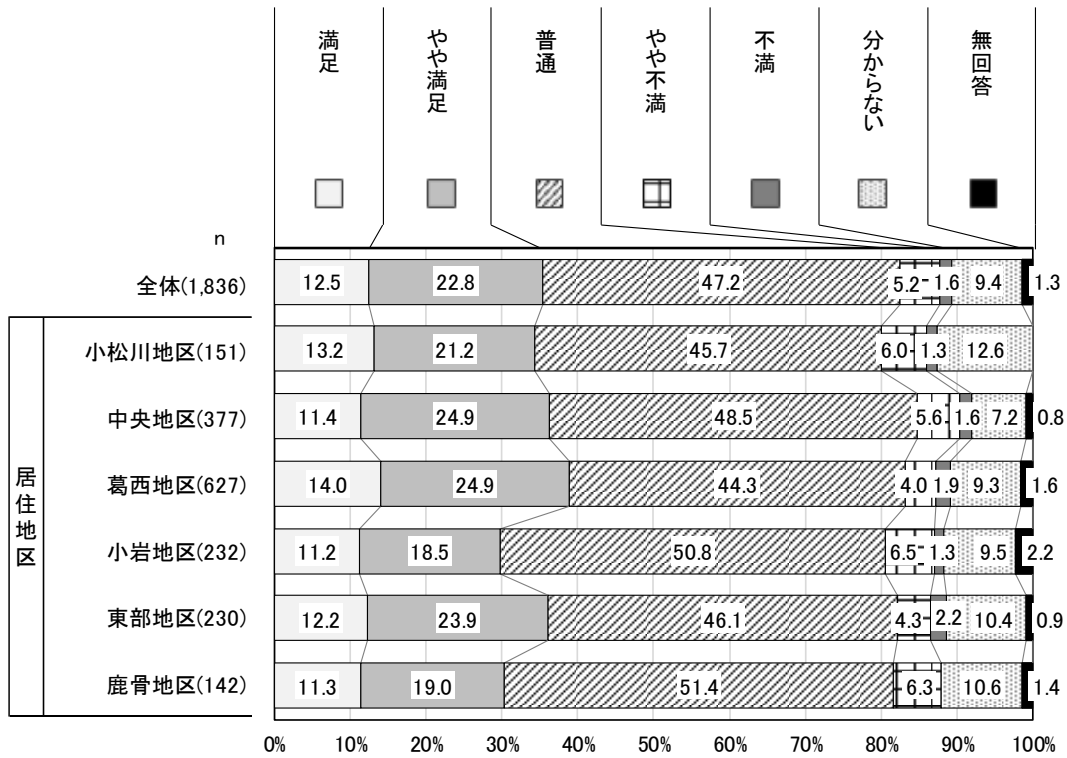
<図表2-51>⑰ 健康相談・健康診査／性・年齢別



【⑰ 健康相談・健康診査／居住地区別】

全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている一方、「満足」は1割台、「やや不満」は1割未満、「不満」は5%に満たず少数となっている。(図表2-52)

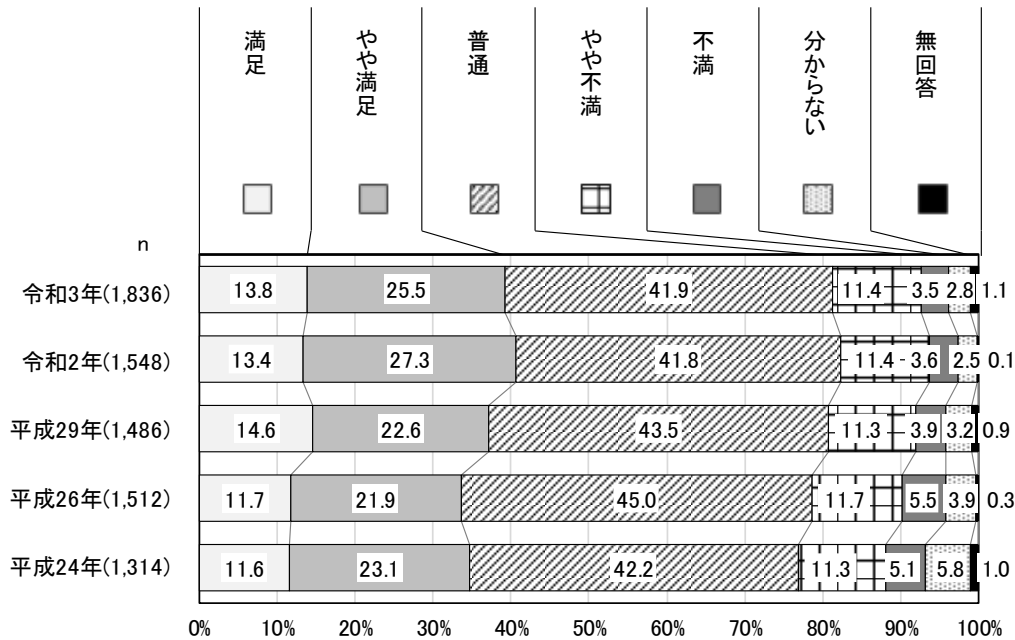
<図表2-52> ⑰ 健康相談・健康診査／居住地区別



【⑱ 病院・診療所の充実度／時系列比較】※平成24年以前の項目名は“医療機関・医療体制”

平成24年からの調査結果を時系列で見ると、いずれの回答も5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。(図表2-53)

＜図表2-53＞⑱ 病院・診療所の充実度／時系列比較



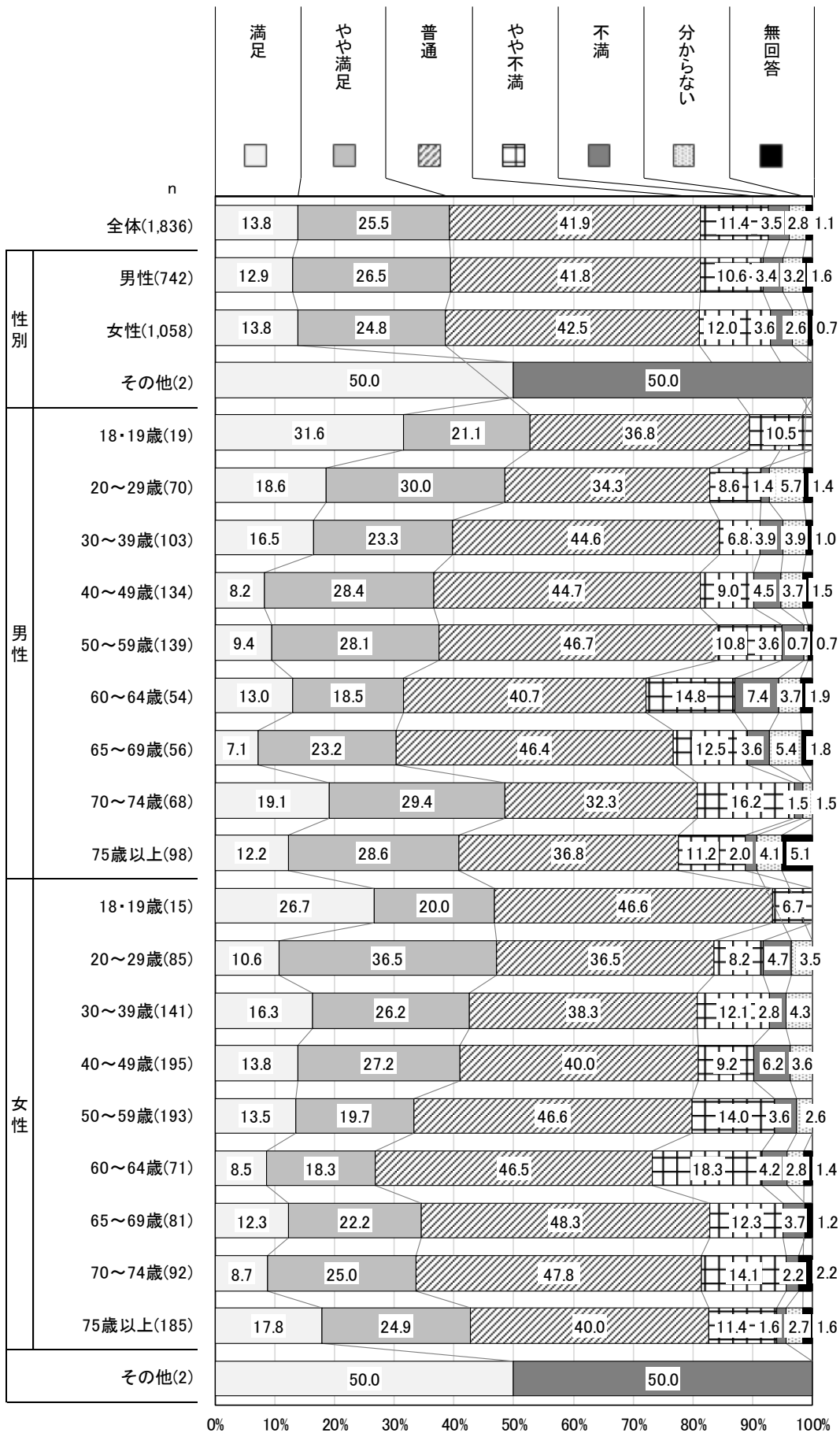
【⑳ 病院・診療所の充実度／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。一方、「不満」は1割未満となっている。女性-20～29歳の「やや満足」は36.5%と他の性・年齢よりも高くなっている。

(図表2-54)



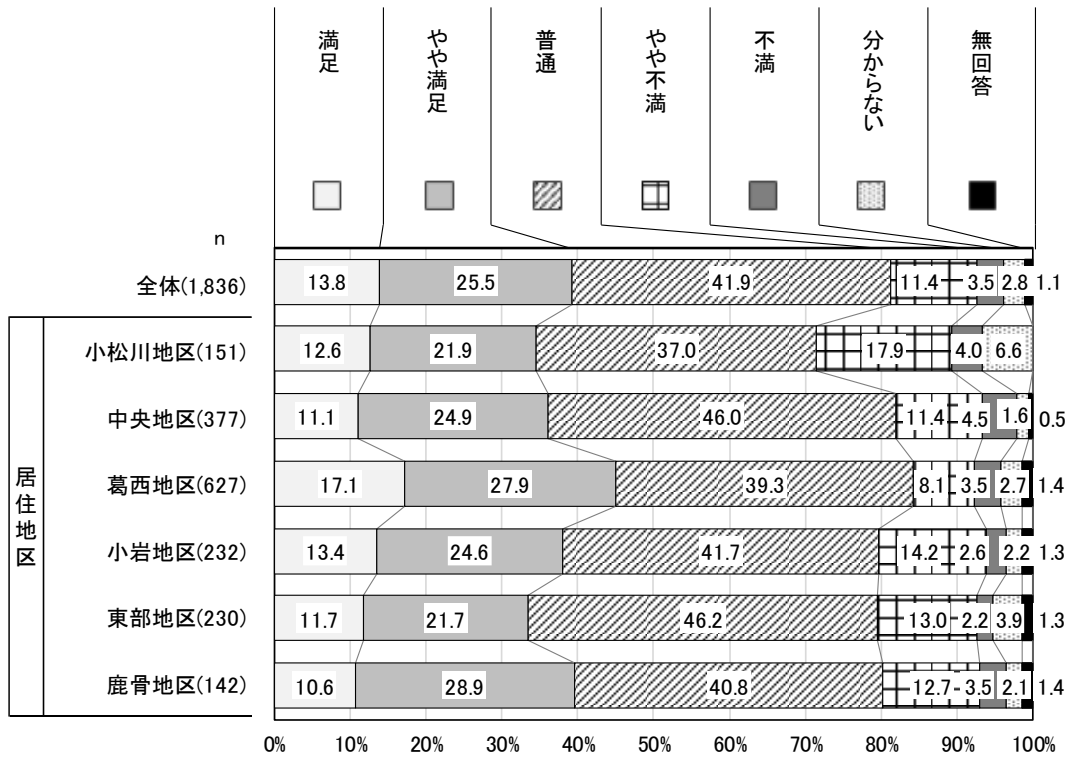
<図表2-54> ⑱ 病院・診療所の充実度／性・年齢別



【⑱ 病院・診療所の充実度／居住地区別】

全ての居住地区で「普通」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている一方、「満足」は1割台、「やや満足」は2割台、「不満」は5%に満たず少数となっている。(図表2-55)

<図表2-55> ⑱ 病院・診療所の充実度／居住地区別

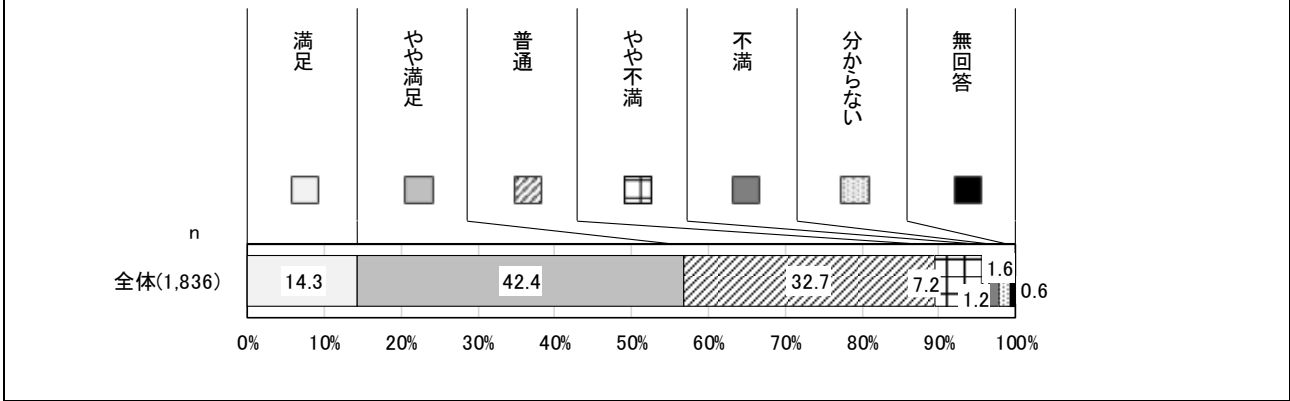


(2) 区の現況への満足度

◇「やや満足」が42.4%を占める。

問5 あなたは、江戸川区の現況を総合的にみた場合、どの程度満足していますか。(○は1つ)

<図表2-56> 区の現況への満足度



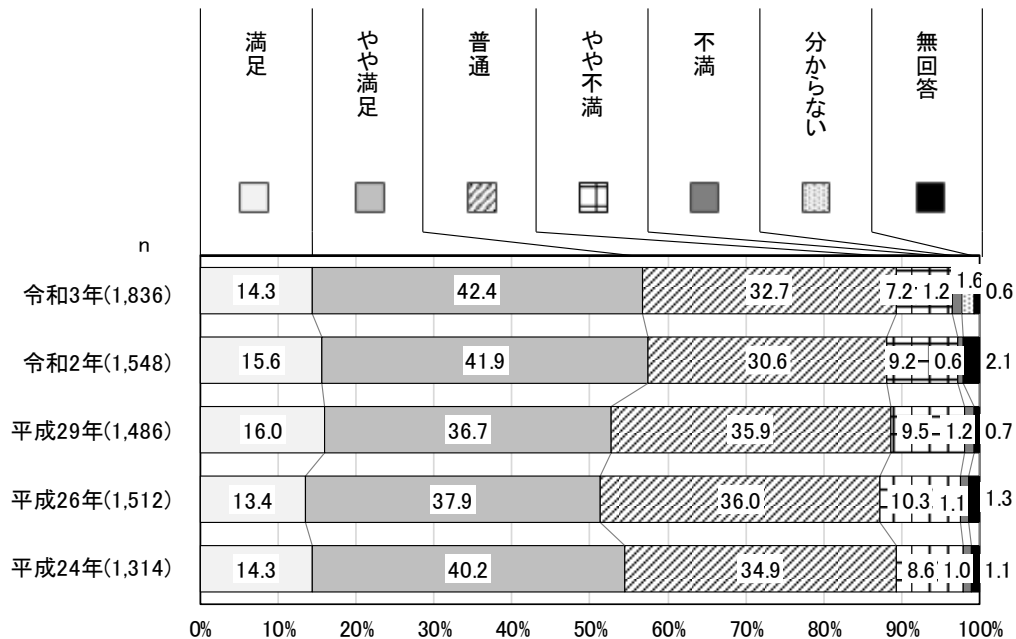
「やや満足」(42.4%)、「普通」(32.7%)、「満足」(14.3%)の順に高くなっている一方、「やや不満」は7.2%と1割未満、「不満」が1.2%と5%に満たず少数となっている。(図表2-56)

【時系列比較】

令和2年と比較すると、いずれの回答も5%以内の数値の変動であるため、大きな変化は見られない。

また、平成24年から令和3年の間で、「満足」、「やや不満」、「不満」は5%以内の数値の変動となっており、大きな変化は見られない。「やや満足」は最も高い令和3年が42.4%、最も低い平成29年が36.7%と5.7ポイントの差がある。(図表2-57)

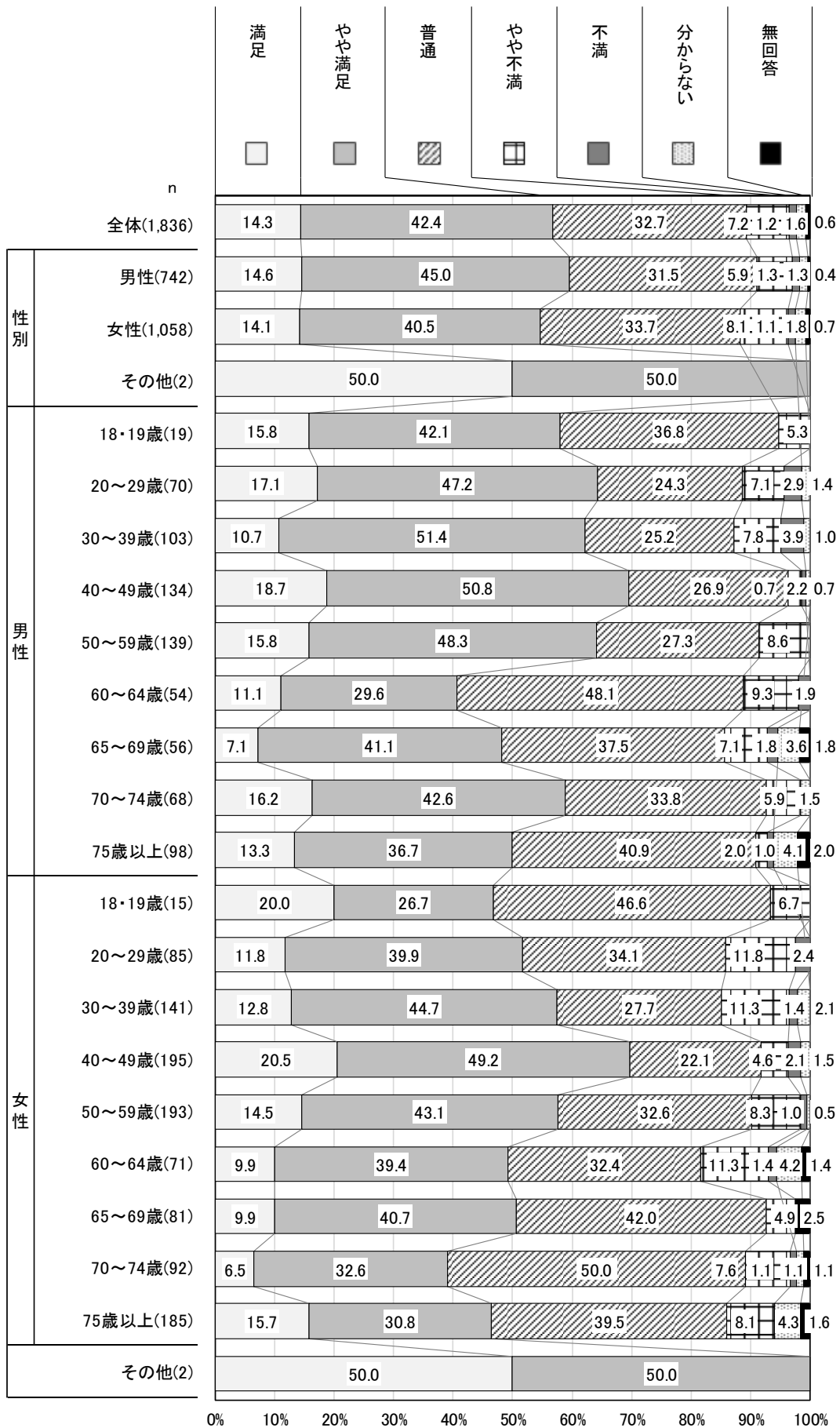
＜図表2-57＞ 区の現況への満足度／時系列比較



【性・年齢別】

男性-50～59歳以下、男性-65～69歳から70～74歳、女性-20～29歳から60～64歳で「やや満足」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～5割台と数値に差がある。「やや満足」以外の選択肢で最も高い回答として、「普通」が男性-60～64歳で48.1%、男性-75歳以上で40.9%、女性-65～69歳で42.0%、女性-70～74歳で50.0%、女性-75歳以上で39.5%となっている。一方、男性・女性ともに全ての年齢で「不満」は5%に満たず少数となっている。(図表2-58)

<図表2-58> 区の現況への満足度／性・年齢別

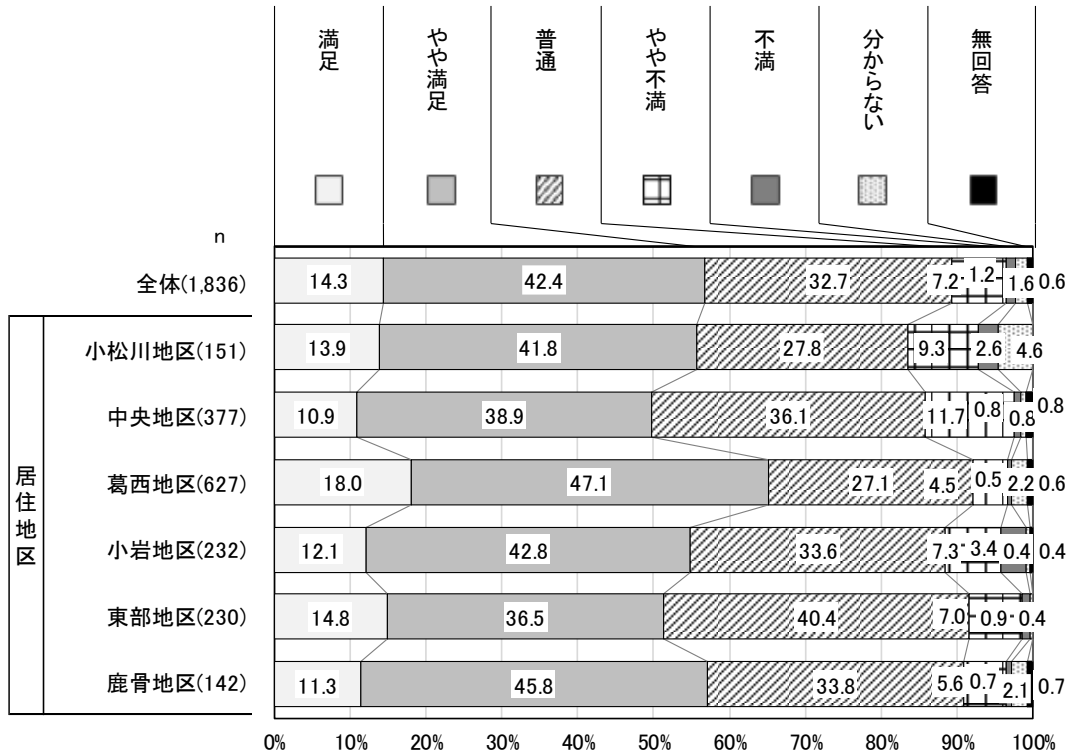


【居住地区別】

東部地区を除いた、全ての居住地区で「やや満足」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。東部地区は「普通」が40.4%と最も高い回答となっている。

一方、全ての居住地区で「満足」は1割台、「不満」は5%に満たず少数となっている。(図表2-59)

<図表2-59> 区の現況への満足度／居住地区別



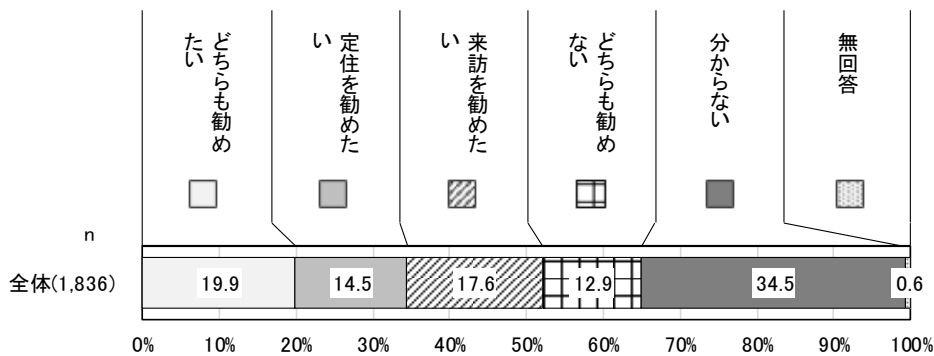
### 3. 区の推奨度について

#### (1) 区の推奨度について

◇「どちらも勧めたい」、「定住を勧めたい」、「来訪を勧めたい」、「どちらも勧めない」が1割台。

問6 あなたは、区外の方に江戸川区に住むことや来ていただくことを勧めたいですか。(○は1つ)

<図表3-1> 区の推奨度について



「どちらも勧めたい」が19.9%、「定住を勧めたい」が14.5%、「来訪を勧めたい」が17.6%、「どちらも勧めない」が12.9%といずれも1割台となっている。一方、「分からない」は34.5%と最も高い回答となっている。

(図表3-1)

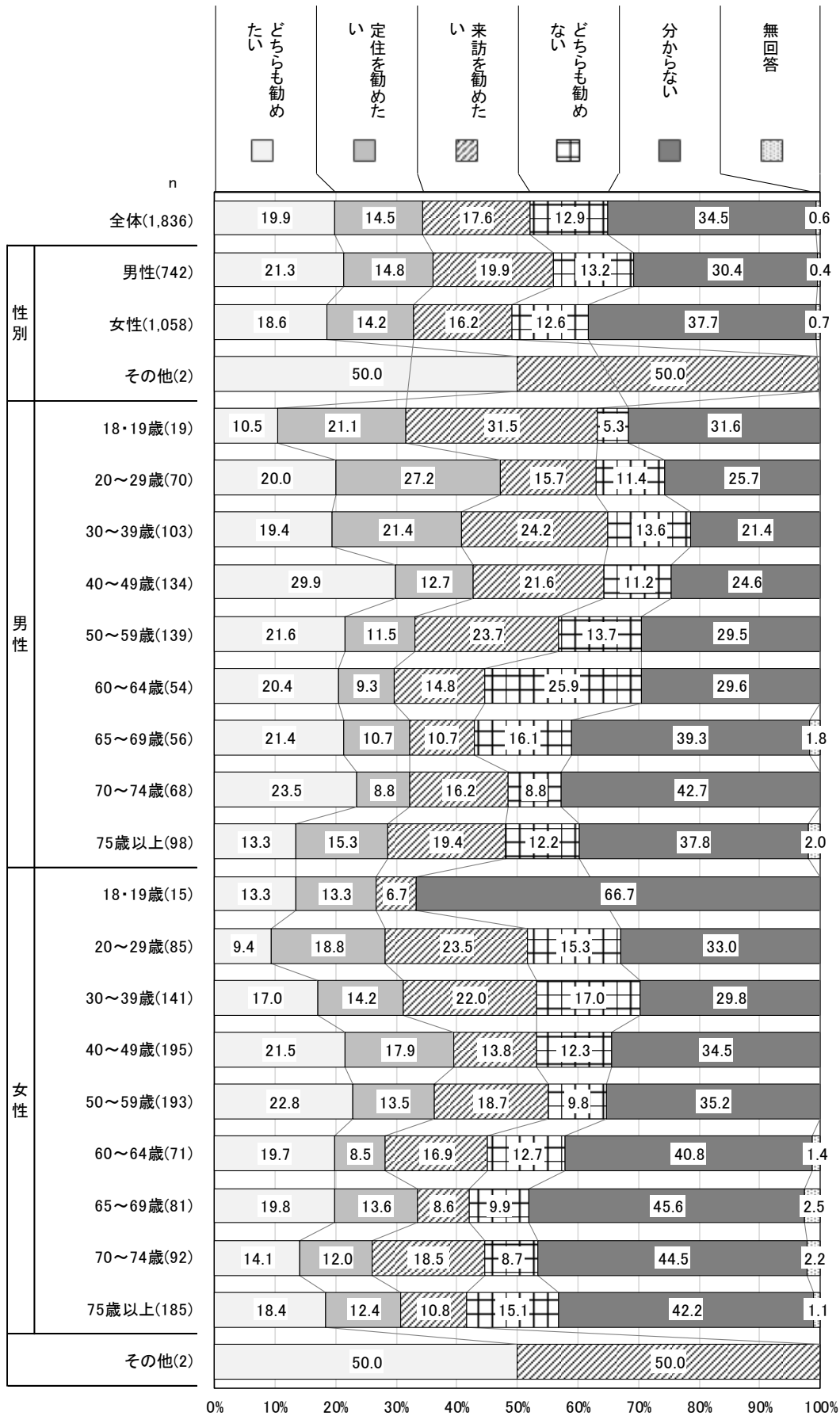
#### 【性・年齢別】

男性-20～29歳から男性-40～49歳を除いた、男性・女性ともに全ての年齢で「分からない」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。特に男性・女性ともに65～69歳以上で他の年齢に比べて高い数値となっている。

一方、男性-20～29歳は「定住を勧めたい」で27.2%、男性-30～39歳は「来訪を勧めたい」で24.2%、男性-40～49歳は「どちらも勧めたい」で29.9%と他の性・年齢に比べて最も高い回答となっている。

(図表3-2)

<図表3-2> 区の推奨度について／性・年齢別

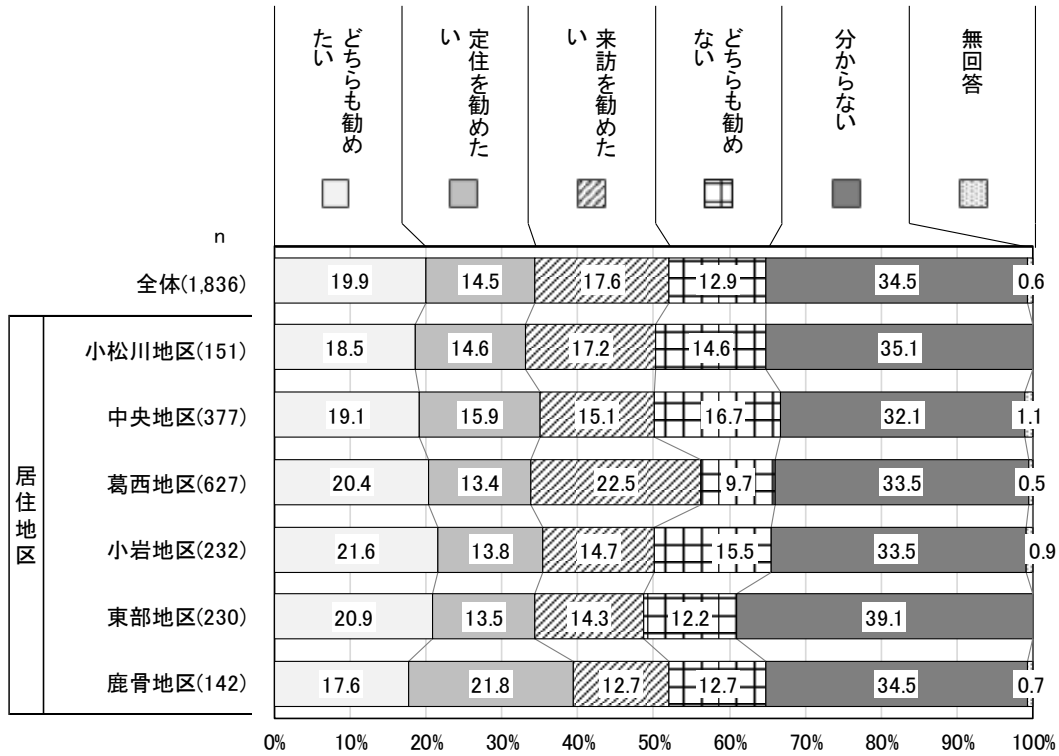




【居住地区別】

全ての居住地区で「分からない」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。(図表3-3)

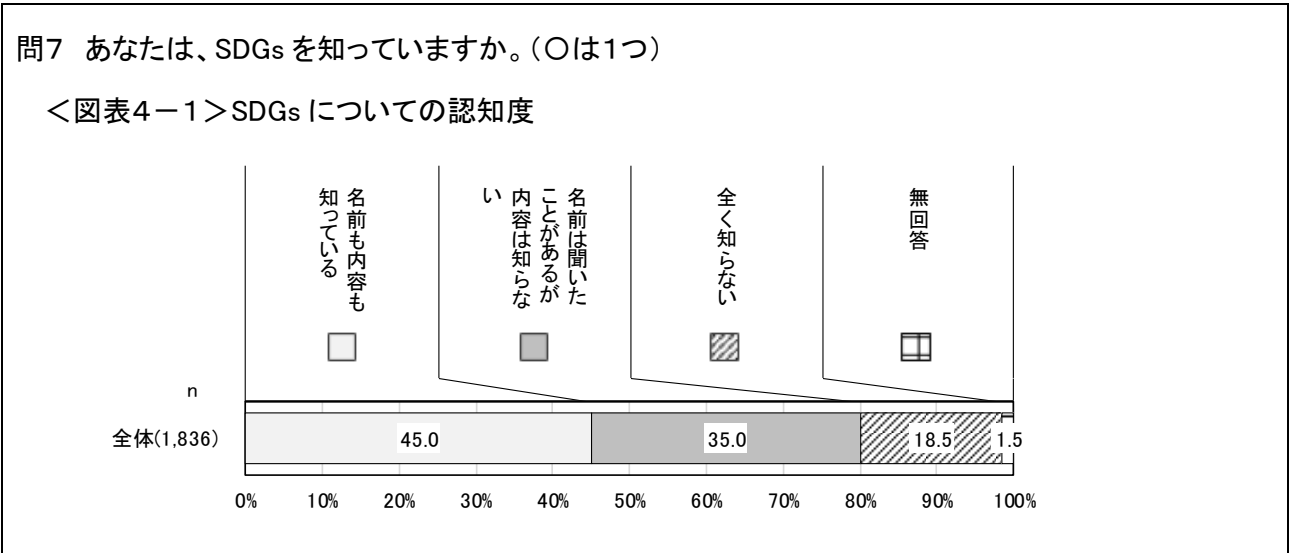
＜図表3-3＞区の推奨度について／居住地区別



## 4. SDGs について

### (1) SDGs についての認知度

◇「名前も内容も知っている」が45.0%を占める。

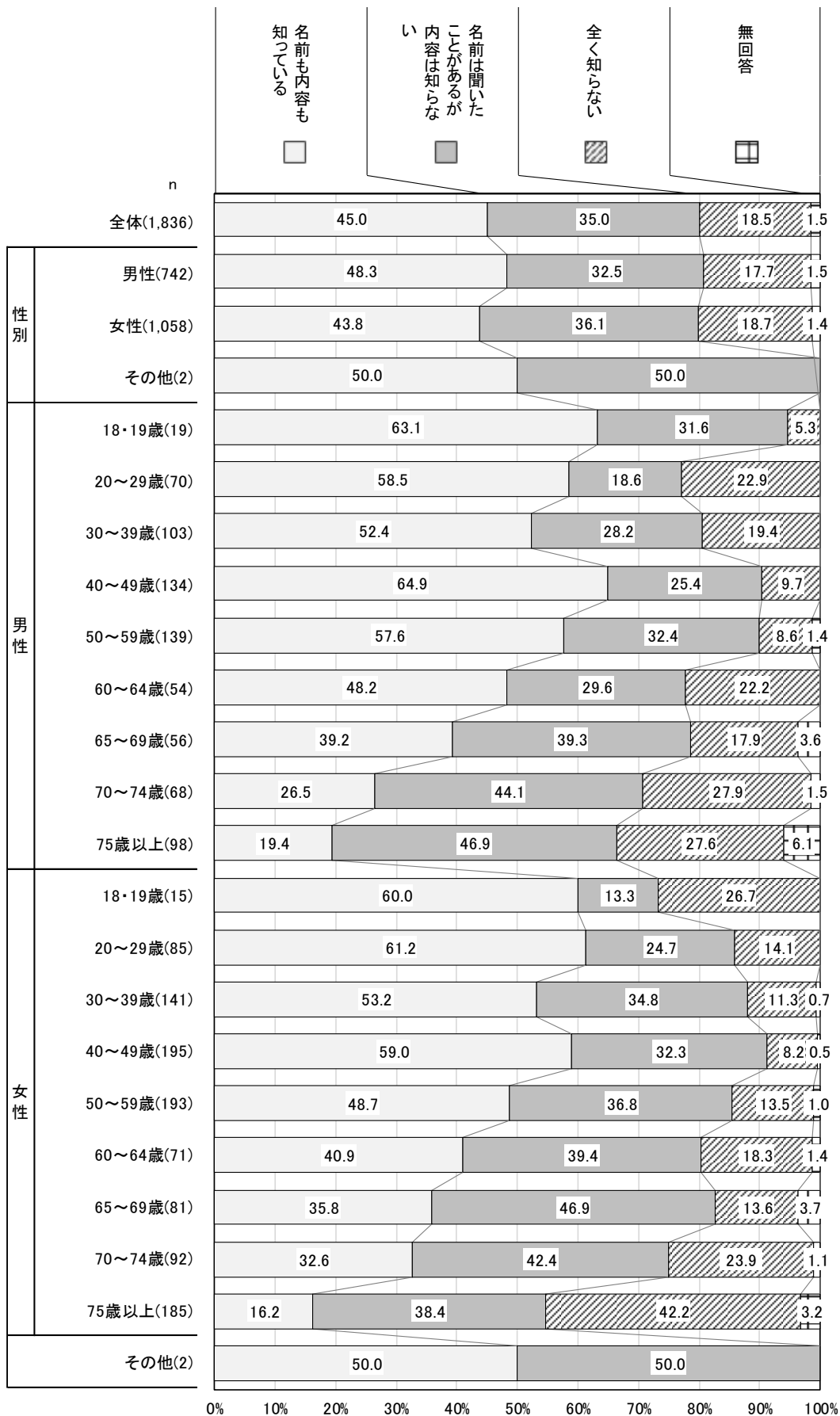


「名前も内容も知っている」(45.0%)、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」(35.0%)、「全く知らない」(18.5%)の順に高くなっている。(図表4-1)

#### 【性・年齢別】

「名前も内容も知っている」は男性・女性ともに60～64歳以下で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。また、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」は男性-65～69歳(39.3%)、男性-70～74歳(44.1%)、男性-75歳以上(46.9%)、女性-65～69歳(46.9%)、女性-70～74歳(42.4%)で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。女性-75歳以上は、「全く知らない」が42.2%と最も高い回答となっている。(図表4-2)

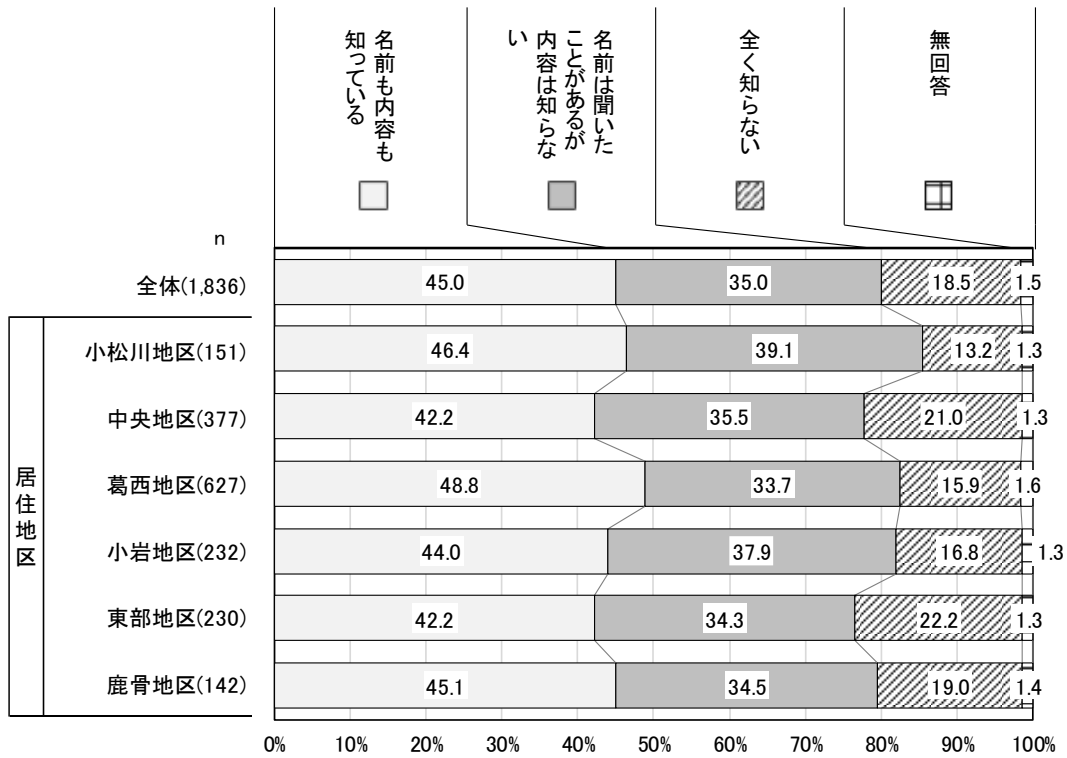
<図表4-2>SDGs についての認知度／性・年齢別



【居住地区別】

全ての居住地区で「名前も内容も知っている」が4割を超えて他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。次いで、「名前は聞いたことがあるが内容は知らない」が3割を超えて高い回答となっている。(図表4-3)

＜図表4-3＞SDGs についての認知度／居住地区別

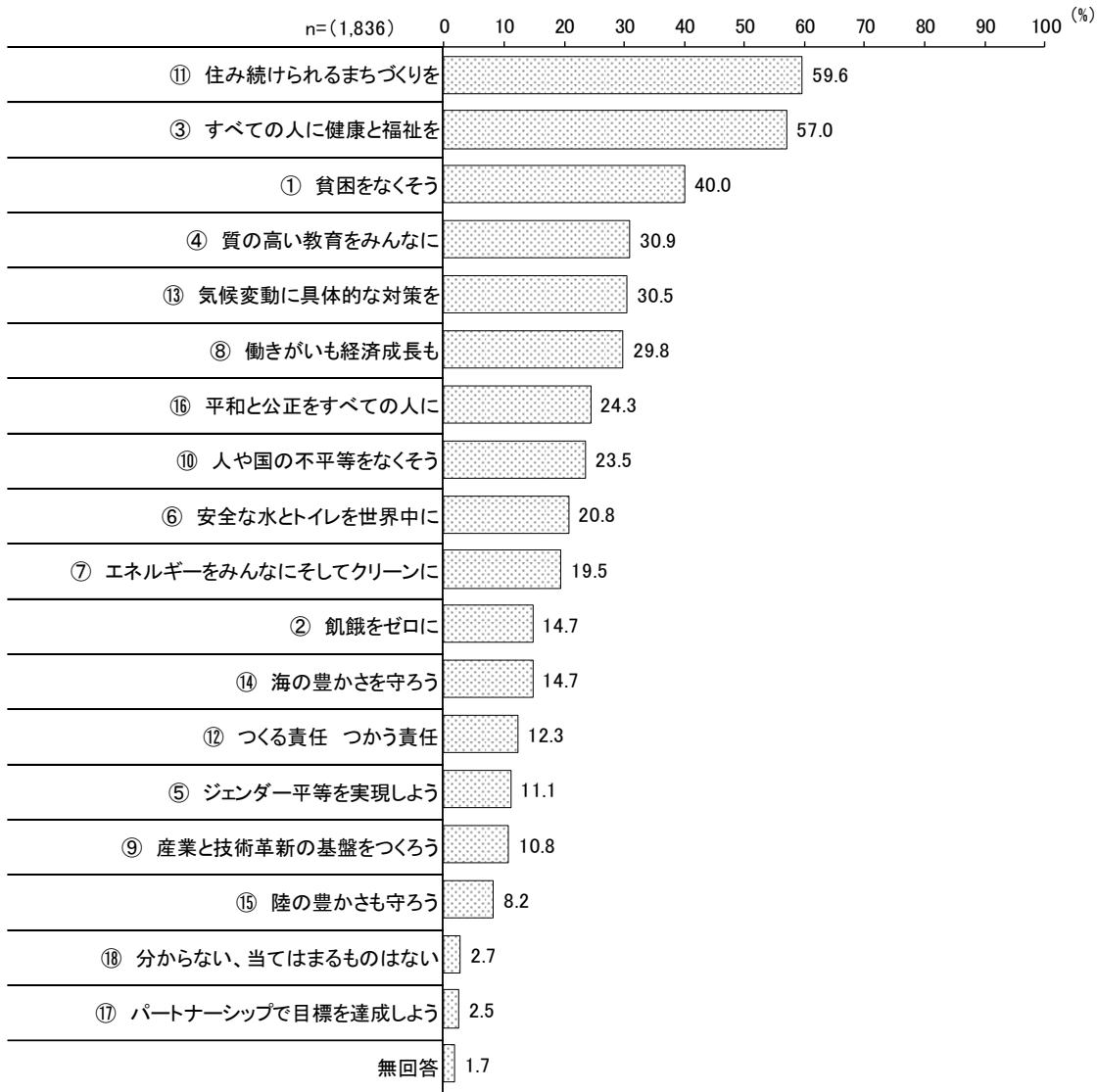


(2) SDGs の 17 のゴールのうち、区が特に力を入れて取り組んでほしいゴール

◇「⑪ 住み続けられるまちづくりを」が 59.6%、「③ すべての人に健康と福祉を」が 57.0%と高い。

問8 SDGs の17のゴールのうち、区が特に力を入れて取り組んでほしいゴールをお答えください。(〇は5つまで)

<図表4-4>SDGs の 17 のゴールのうち、区が特に力を入れて取り組んでほしいゴール



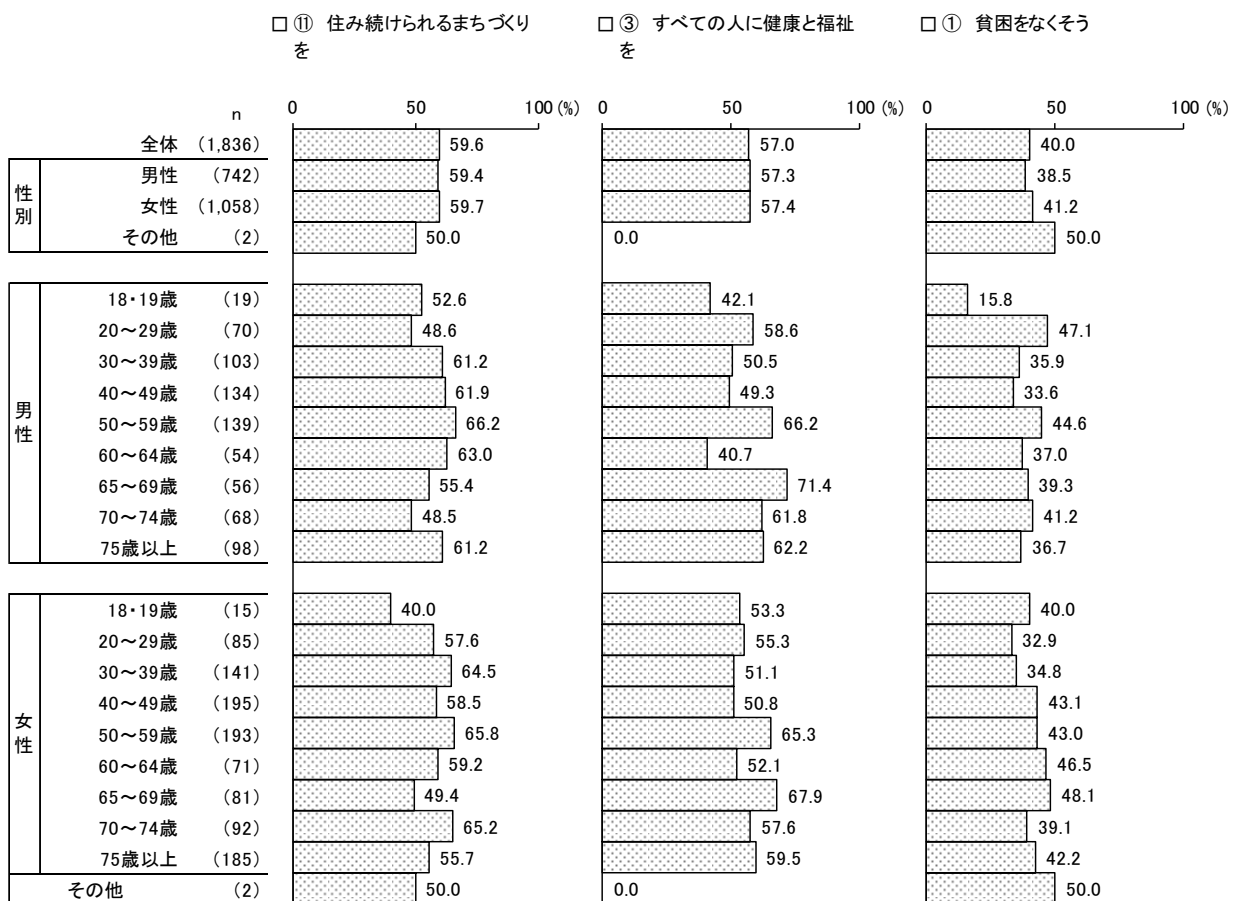
「⑪ 住み続けられるまちづくりを」(59.6%)、「③ すべての人に健康と福祉を」(57.0%)、「① 貧困をなくそう」(40.0%)、「④ 質の高い教育をみんなに」(30.9%)、「⑬ 気候変動に具体的な対策を」(30.5%)、「⑧ 働きがいも経済成長も」(29.8%)の順に高くなっている。一方、「⑮ 陸の豊かさを守ろう」が 8.2%、「⑰ パートナーシップで目標を達成しよう」が 2.5%と1割未満となっている。(図表4-4)

【性・年齢別】

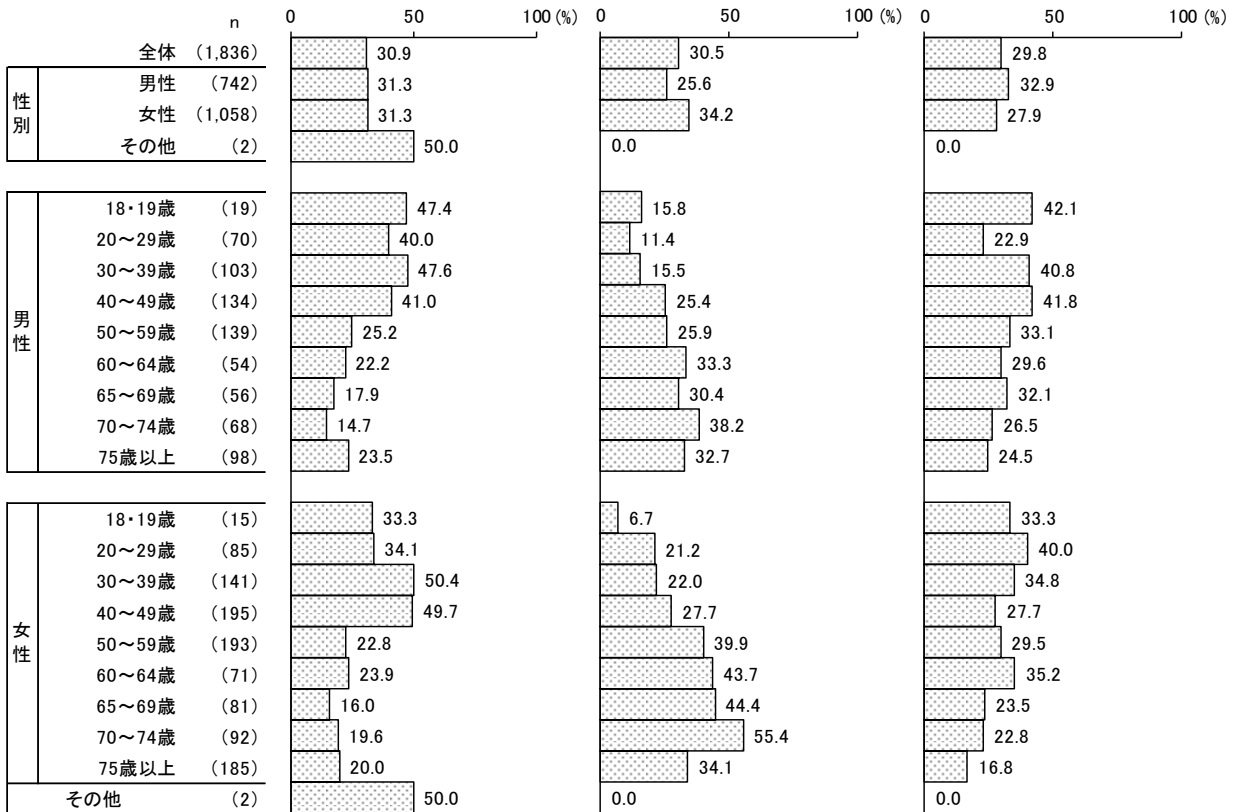
「⑪ 住み続けられるまちづくりを」は男性-30～39 歳 (61.2%)、男性-40～49 歳 (61.9%)、男性-50～59 歳 (66.2%)、男性-60～64 歳 (63.0%)、女性-20～29 歳 (57.6%)、女性-30～39 歳 (64.5%)、女性-40～49 歳 (58.5%)、女性-50～59 歳 (65.8%)、女性-60～64 歳 (59.2%)、女性-70～74 歳 (65.2%) で 17 のゴールの中で最も高い回答となっている。一方、「③ すべての人に健康と福祉を」は男性-20～29 歳 (58.6%)、男性-50～59 歳 (66.2%で同率)、男性-65～69 歳 (71.4%)、男性-70～74 歳 (61.8%)、男性-75 歳以上 (62.2%)、女性-65～69 歳 (67.9%)、女性-75 歳以上 (59.5%) で最も高い回答となっている。以上のことから、17 のゴールの中で最も高いニーズが二極化している。

「⑧ 働きがいも経済成長も」は女性-20～29 歳で男性の同年齢よりも 10 ポイント以上高くなっているが、男性-40～49 歳では逆転して女性の同年齢よりも 10 ポイント以上高くなっている。(図表4-5)

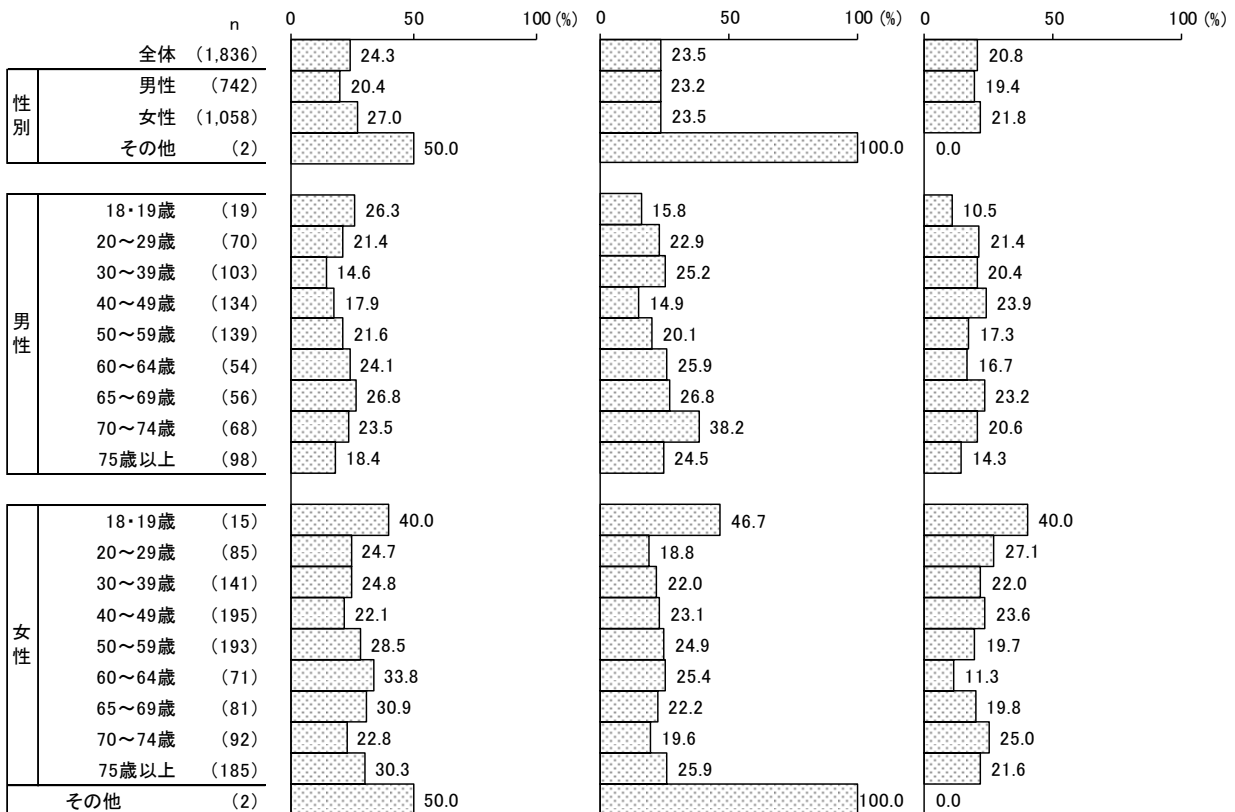
＜図表4-5＞SDGs の 17 のゴールのうち、区が特に力を入れて取り組んでほしいゴール／性・年齢別



□ ④ 質の高い教育をみんなに □ ⑬ 気候変動に具体的な対策を □ ⑧ 働きがいも経済成長も



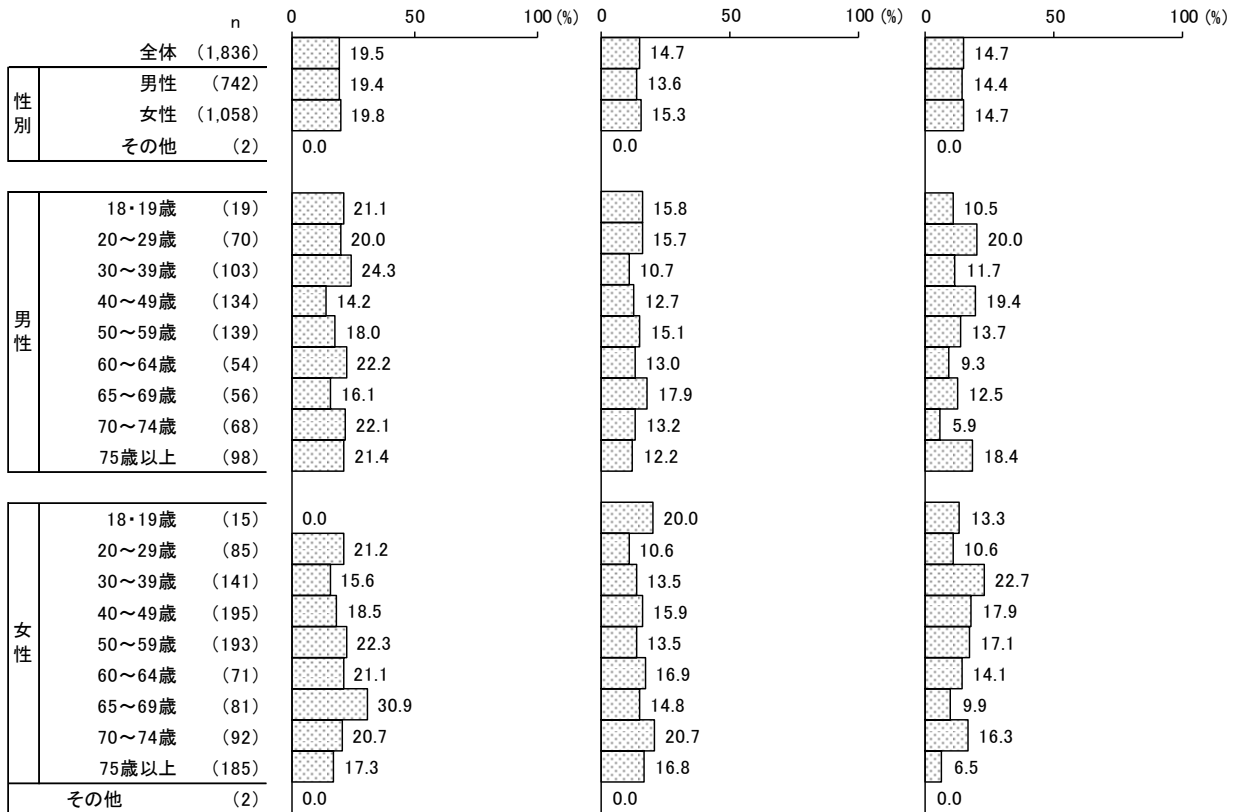
□ ⑯ 平和と公正をすべての人に □ ⑩ 人や国の不平等をなくそう □ ⑥ 安全な水とトイレを世界中に



□ ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに

□ ② 飢餓をゼロに

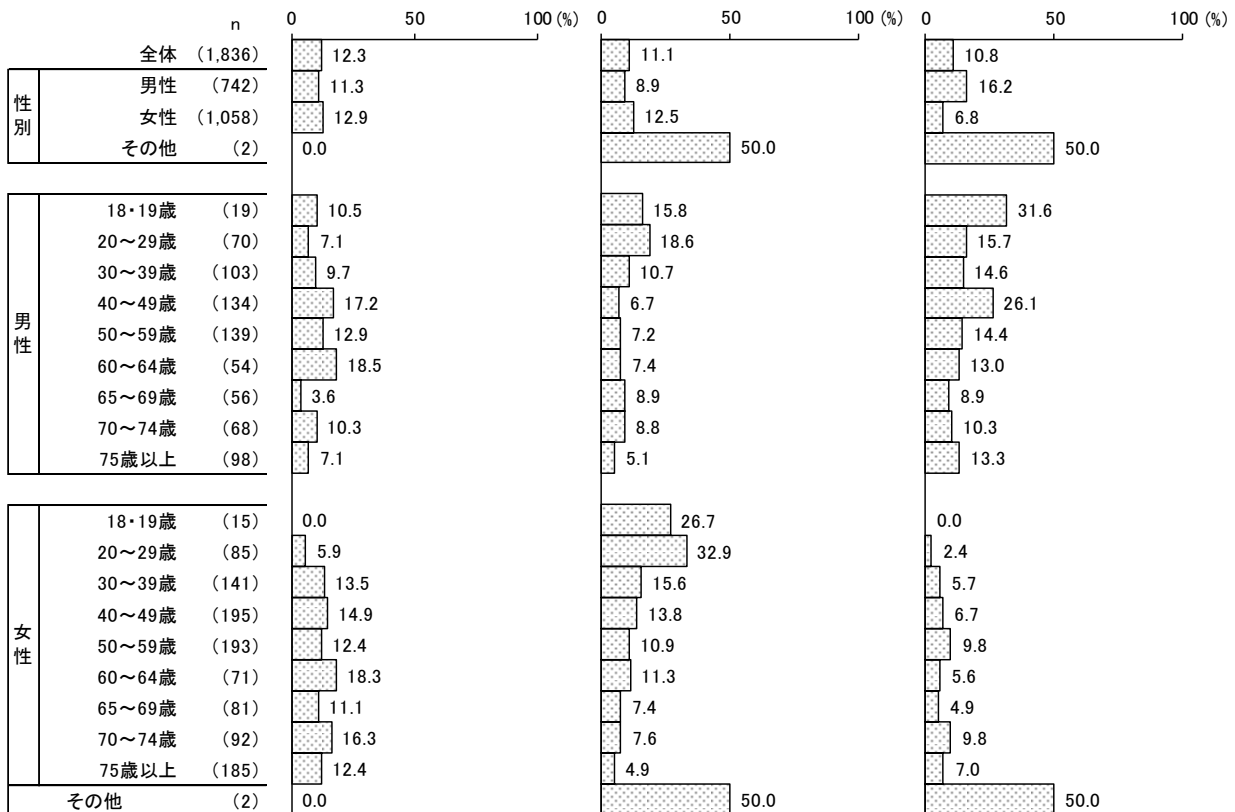
□ ⑭ 海の豊かさを守ろう



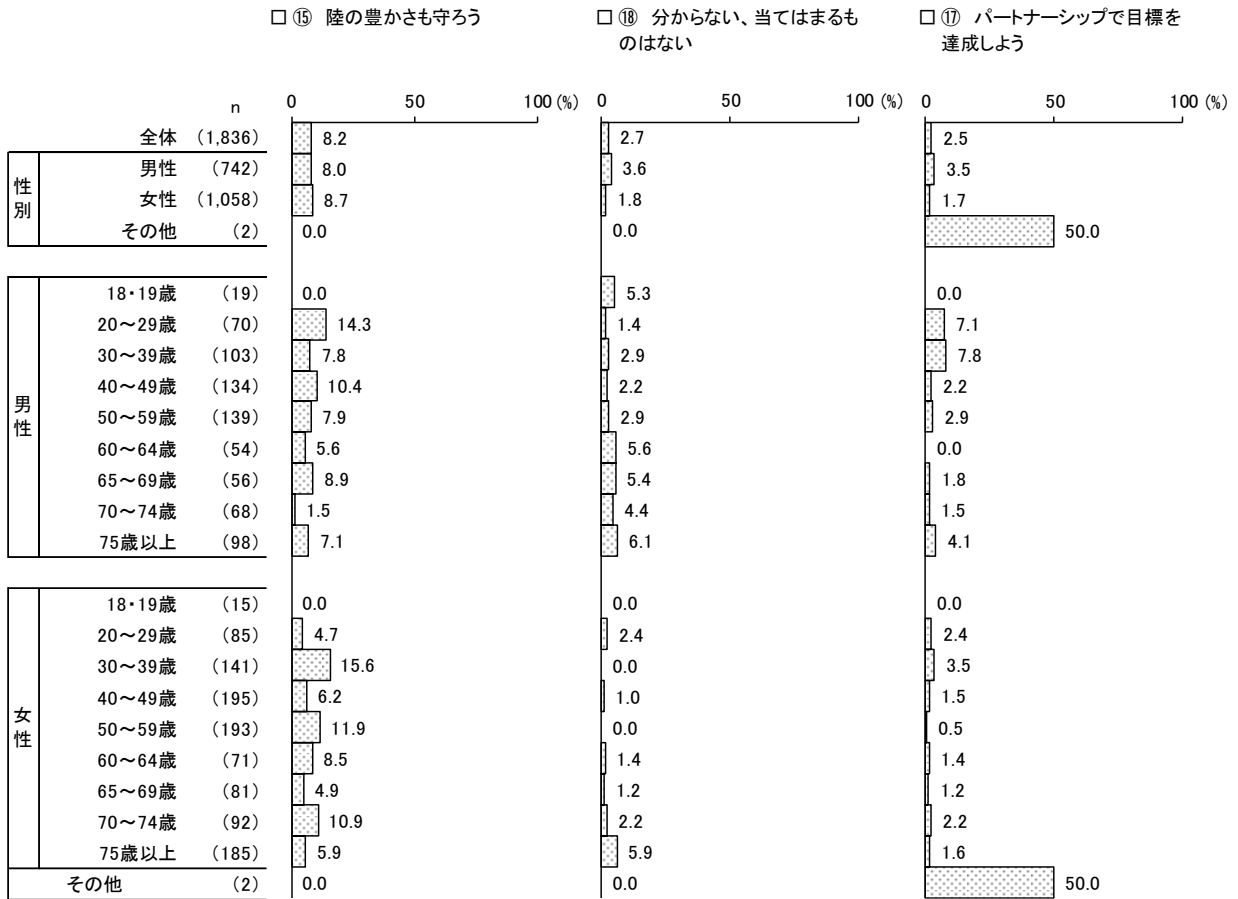
□ ⑫ つくる責任 つかう責任

□ ⑤ ジェンダー平等を実現しよう

□ ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう





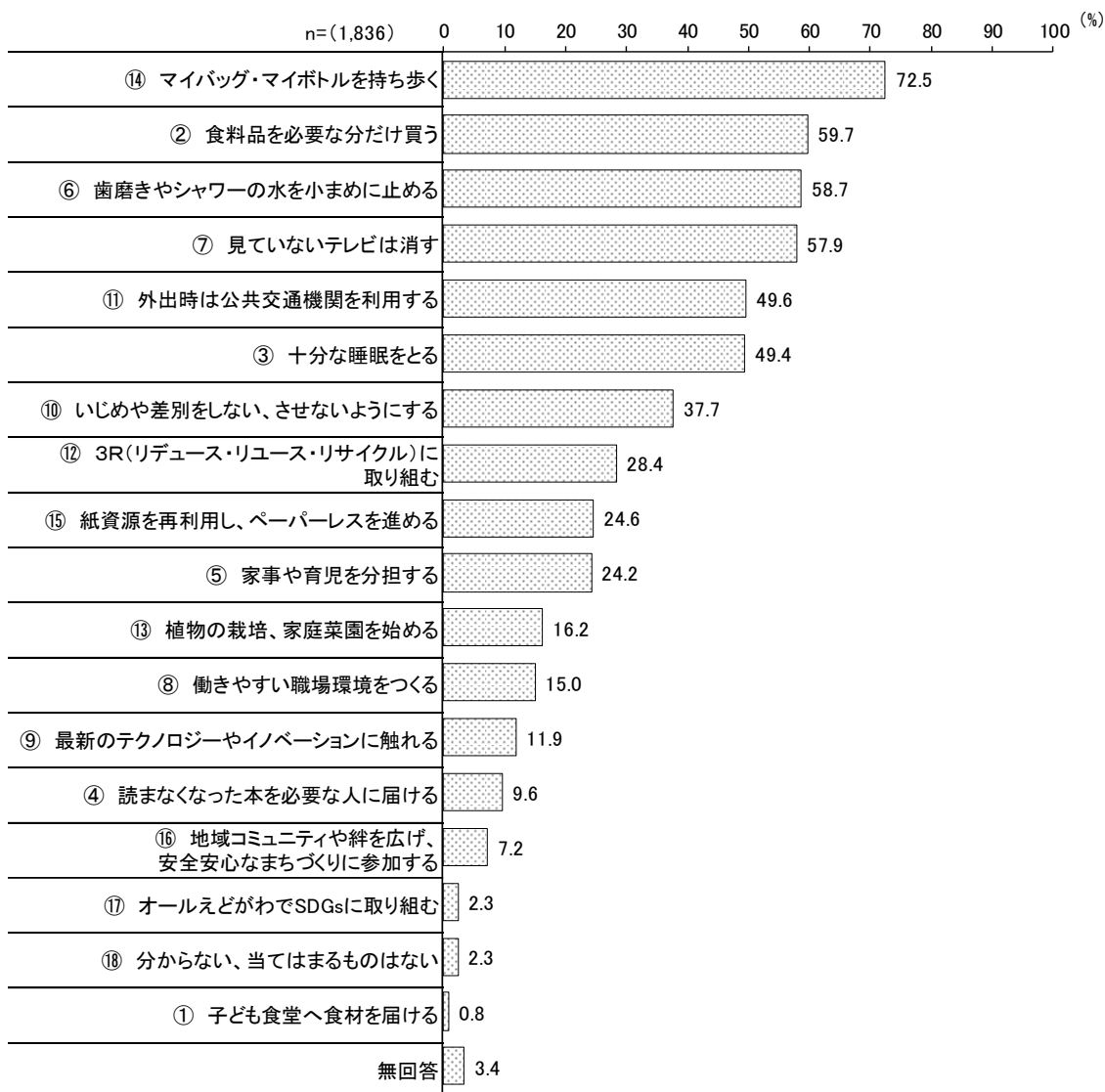


(3) SDGs の 17 のゴールのうち、現在取り組んでいることまたは今後取り組みたいこと

◇ 「⑭ マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」が 72.5%と高い。

問9 下記のうち、あなたがご自身の生活の中で現在取り組んでいること、または今後取り組みたいことをそれぞれお答えください。(選択肢番号①～⑰は SDGs の各ゴール番号の目標達成につながるものです)

<図表4-6>SDGs の 17 のゴールのうち、現在取り組んでいることまたは今後取り組みたいこと  
①現在取り組んでいること



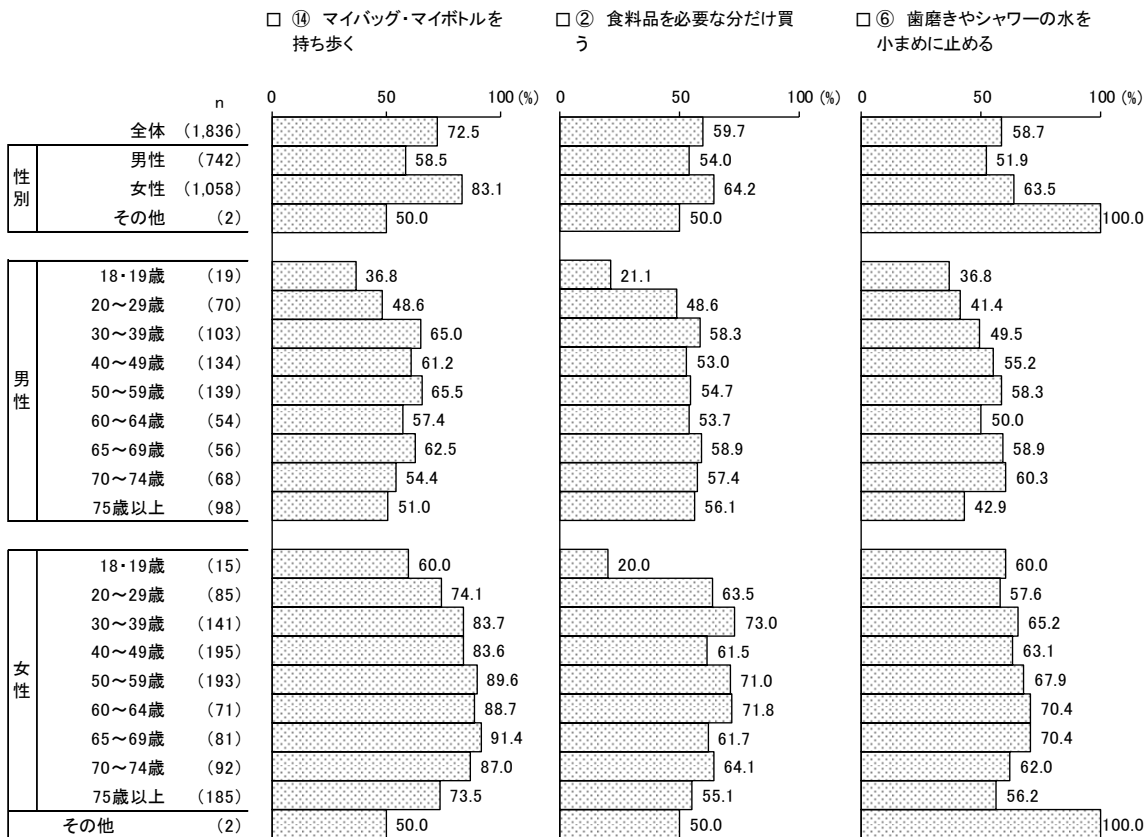
「⑭ マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」(72.5%)、「② 食料品を必要な分だけ買う」(59.7%)、「⑥ 歯磨きやシャワーの水を小まめに止める」(58.7%)、「⑦ 見ていないテレビは消す」(57.9%)、「⑪ 外出時は公共交通機関を利用する」(49.6%)、「③ 十分な睡眠をとる」(49.4%)の順に高くなっており、いずれも4割を超えている。一方、「① 子ども食堂へ食材を届ける」は 0.8%、「⑰ オールエドがわで SDGs に取り組む」は 2.3%と5%に満たず少数となっている。(図表4-6)

【性・年齢別】

「⑭ マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」は男性が 58.5%に対して、女性は 83.1%と 20 ポイント以上差がある。その中でも、女性-20～29 歳以上で7割を超え、男性の同年齢に比べて 15 ポイント以上高くなっている。

また、「⑪ 外出時は公共交通機関を利用する」は女性-70～74 歳で 77.2%と他の性・年齢と比べて高くなっている。「⑤ 家事や育児を分担する」は男性・女性ともに 30～39 歳から 40～49 歳で他の年齢と比べて高くなっている。(図表4-7)

＜図表4-7＞SDGs の 17 のゴールのうち、現在取り組んでいることまたは今後取り組みたいこと①現在取り組んでいること／性・年齢別

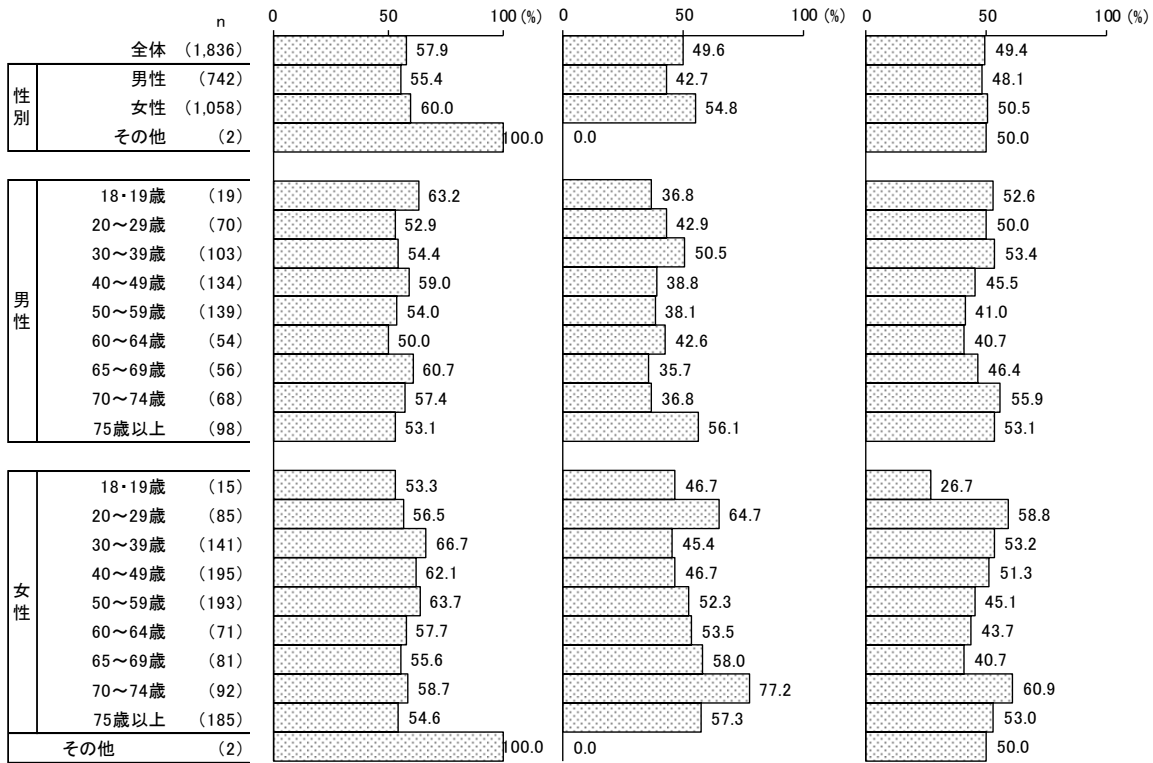


Ⅲ 結果と分析 4. SDGs について

□ ⑦ 見ていないテレビは消す

□ ⑪ 外出時は公共交通機関を利用する

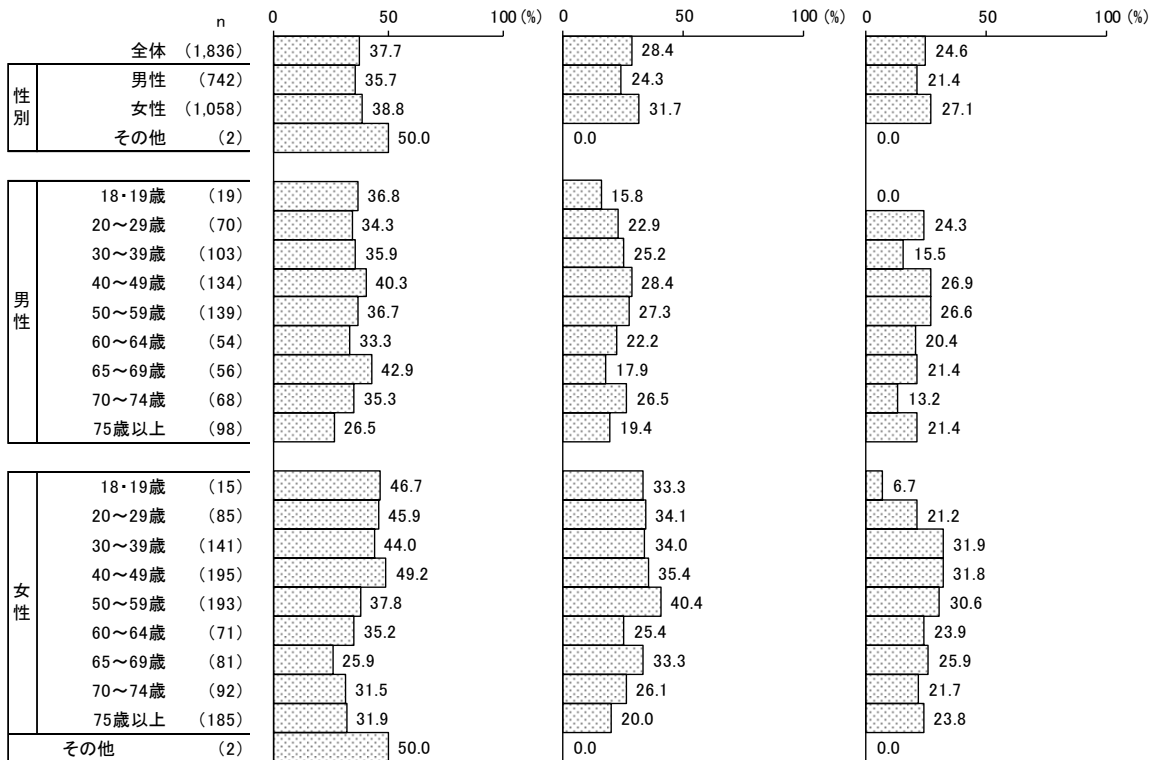
□ ⑬ 十分な睡眠をとる



□ ⑩ いじめや差別をしない、させないようにする

□ ⑫ 3R(リデュース・リユース・リサイクル)に取り組む

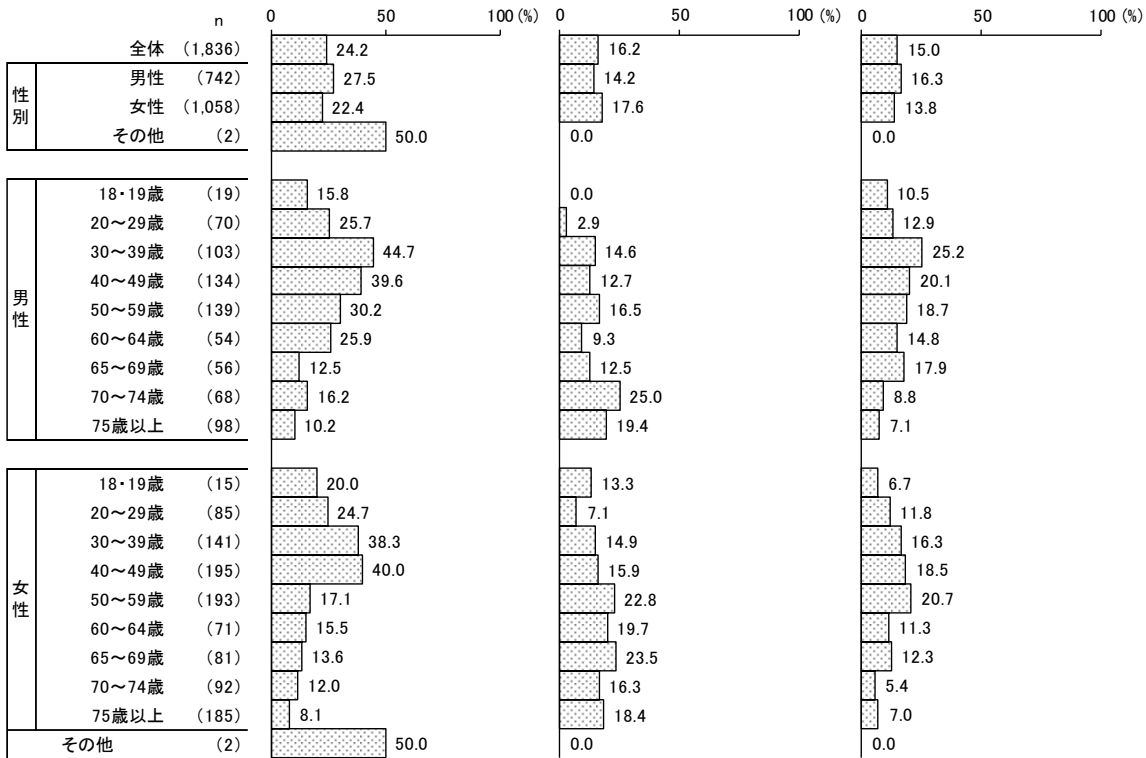
□ ⑮ 紙資源を再利用し、ペーパーレスを進める



□ ⑤ 家事や育児を分担する

□ ⑬ 植物の栽培、家庭菜園を始める

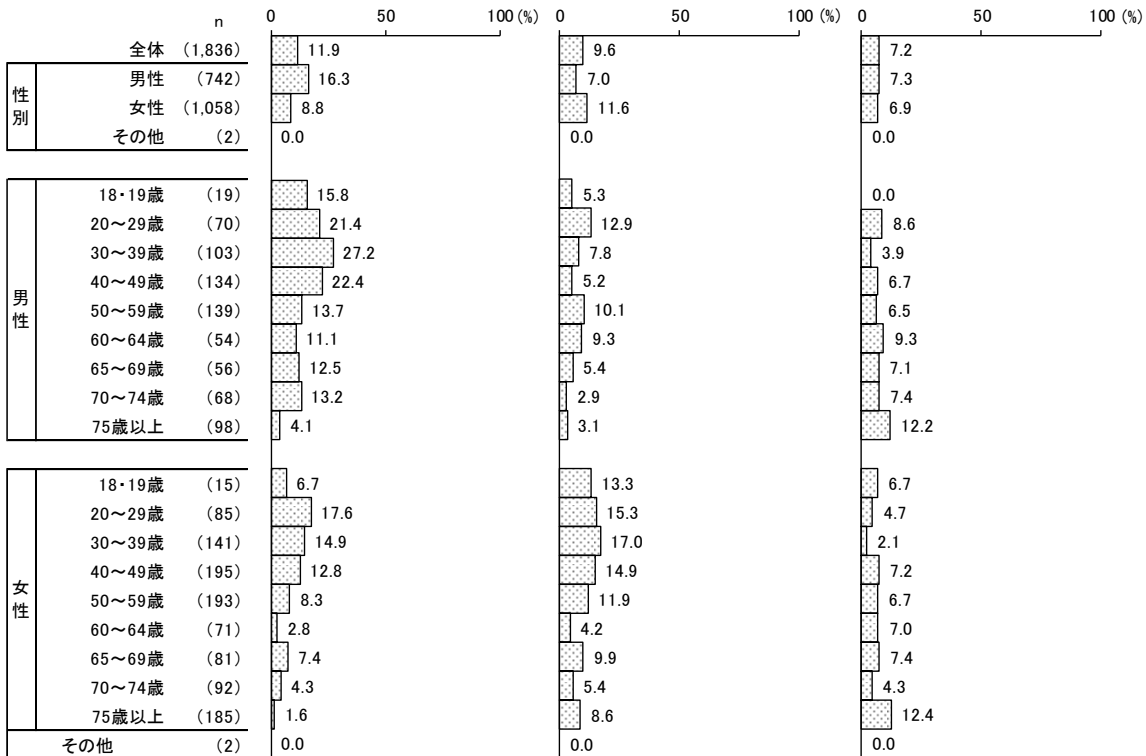
□ ⑧ 働きやすい職場環境をつくる



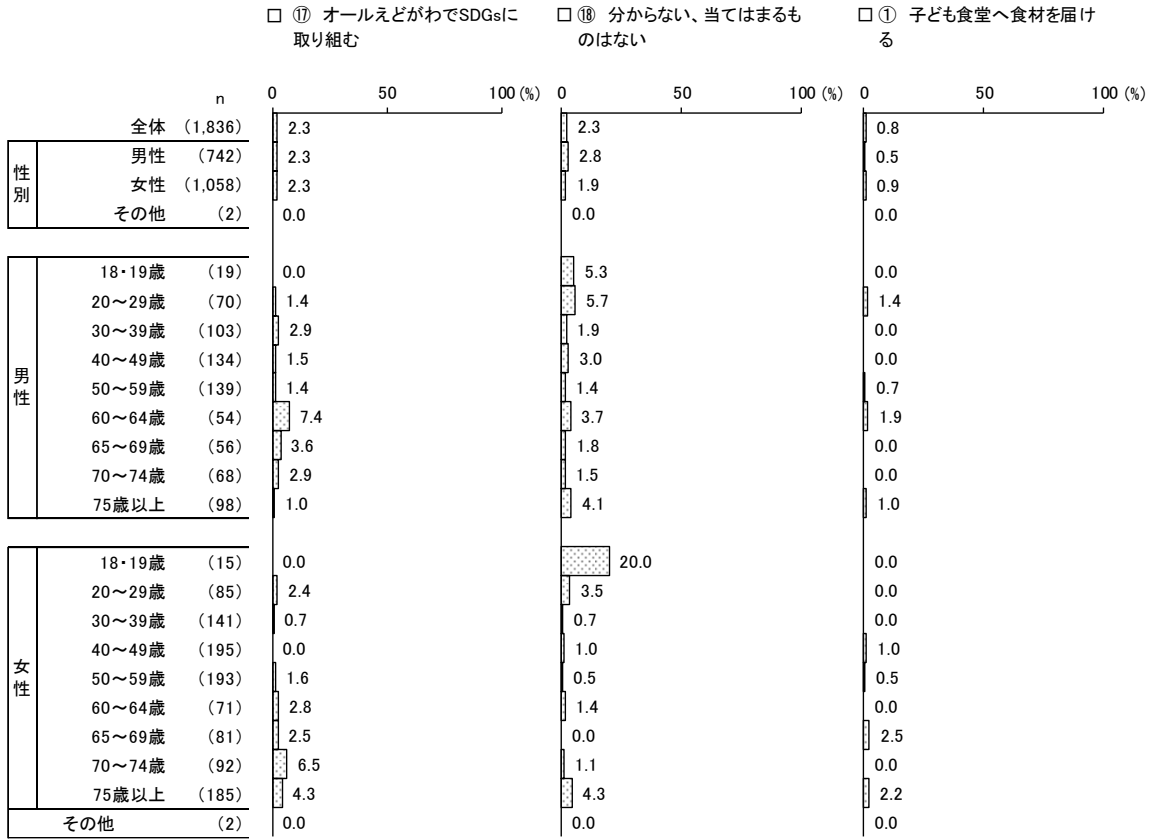
□ ⑨ 最新のテクノロジーやイノベーションに触れる

□ ④ 読まなくなった本を必要の人に届ける

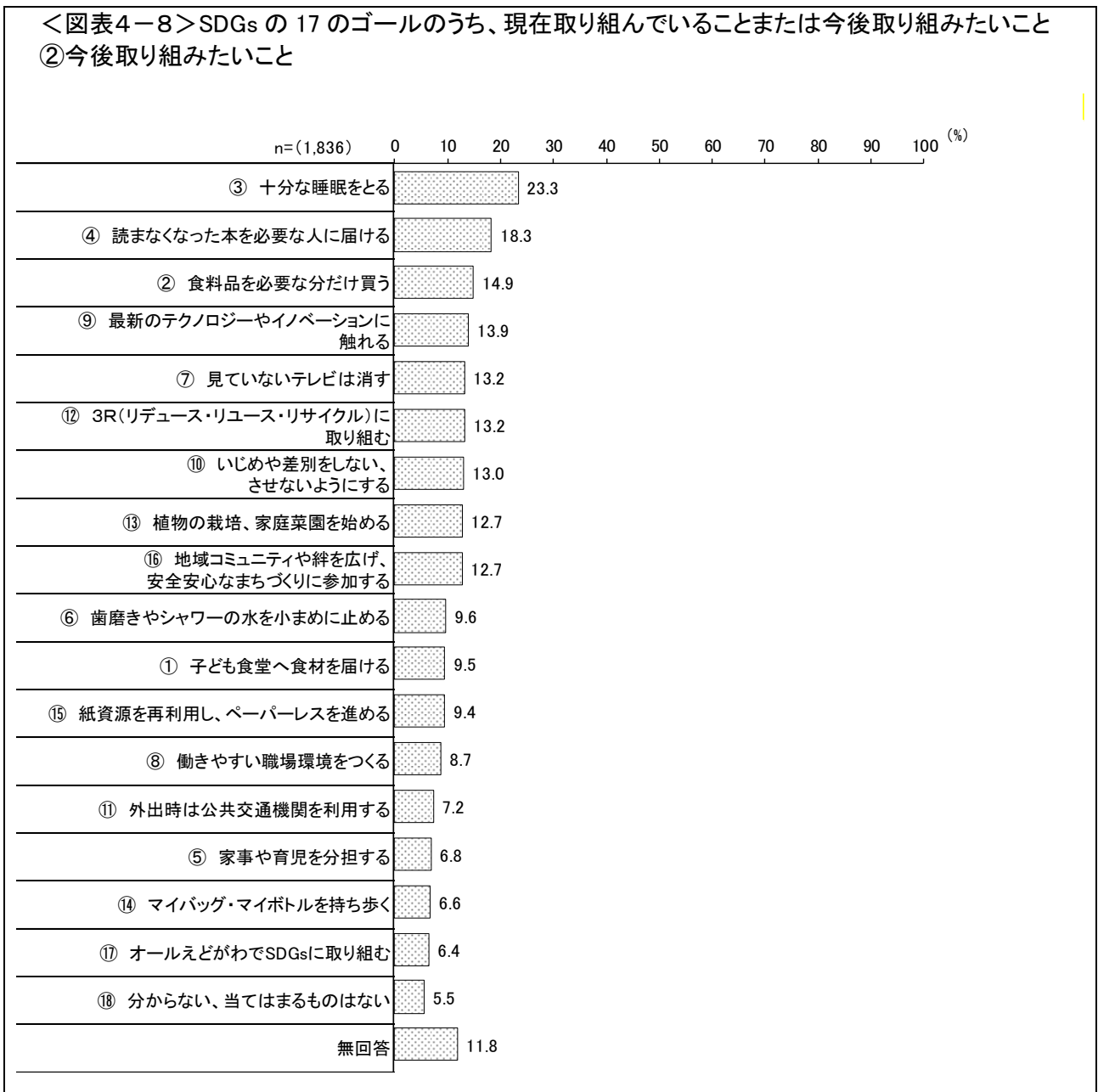
□ ⑩ 地域コミュニティや絆を広げ、安全安心なまちづくりに参加する



III 結果と分析 4. SDGs について



◇「③ 十分な睡眠をとる」が23.3%を占める。



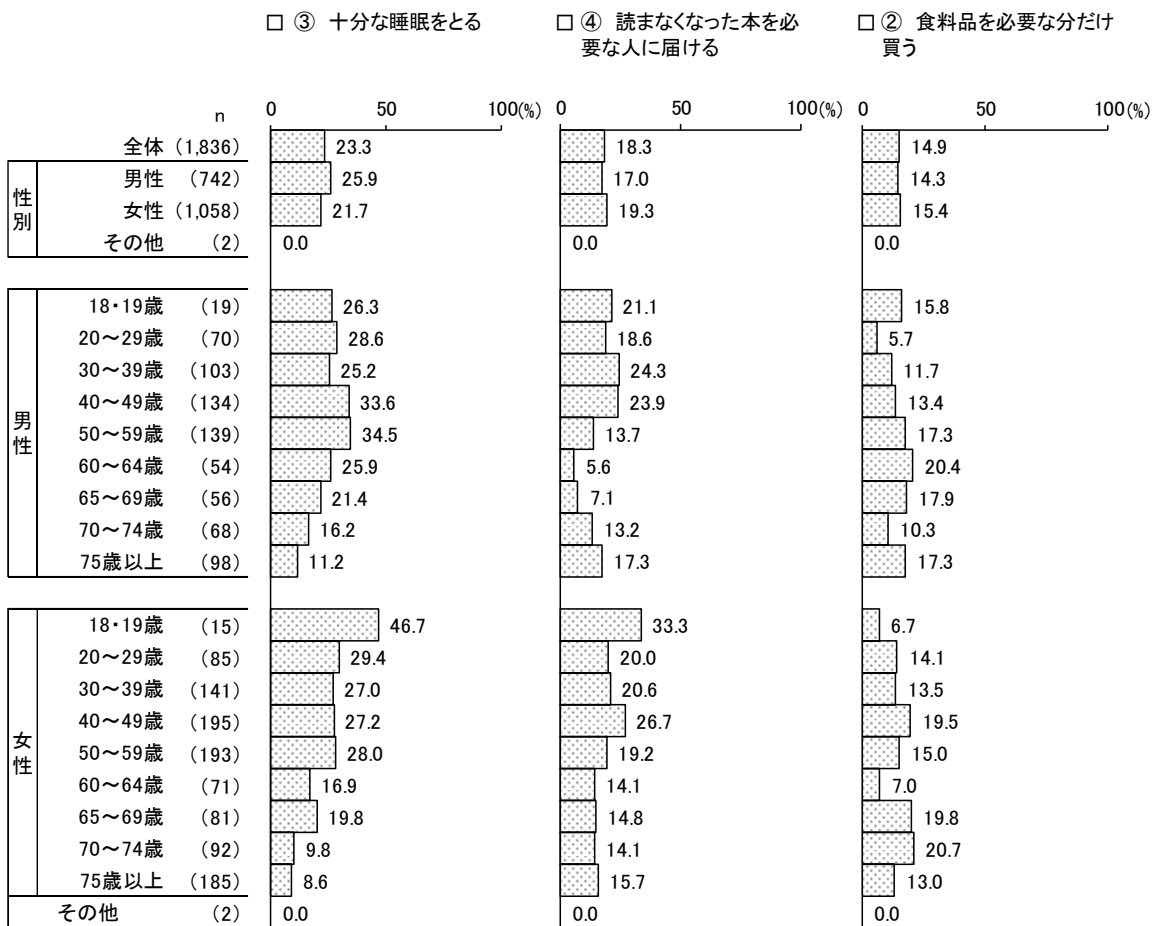
「③ 十分な睡眠をとる」(23.3%)、「④ 読まなくなった本を必要な人に届ける」(18.3%)、「② 食料品を必要な分だけ買う」(14.9%)、「⑨ 最新のテクノロジーやイノベーションに触れる」(13.9%)、「⑦ 見ていないテレビは消す」(13.2%)、「⑫ 3R(リデュース・リユース・リサイクル)に取り組む」(13.2%)の順に高くなっている。問9①(現在取り組んでいること)の上位6項目と重複しているのは「② 食料品を必要な分だけ買う」、「③ 十分な睡眠をとる」、「⑦ 見ていないテレビは消す」となっている。問9①(現在取り組んでいること)で最下位であった「① 子ども食堂へ食材を届ける」は9.5%と問9①の数値(0.8%)と比べて8.7ポイント高くなっている。(図表4－8)

【性・年齢別】

「③ 十分な睡眠をとる」は男性が70～74歳以上、女性が60～64歳、70～74歳以上を除いた全ての年齢で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。男性-75歳以上の「② 食料品を必要な分だけ買う」は17.3%と他の選択肢に比べて最も高い回答となっており、現在取り組んでいることと今後取り組みたいことの最も高い回答が同一となっている。

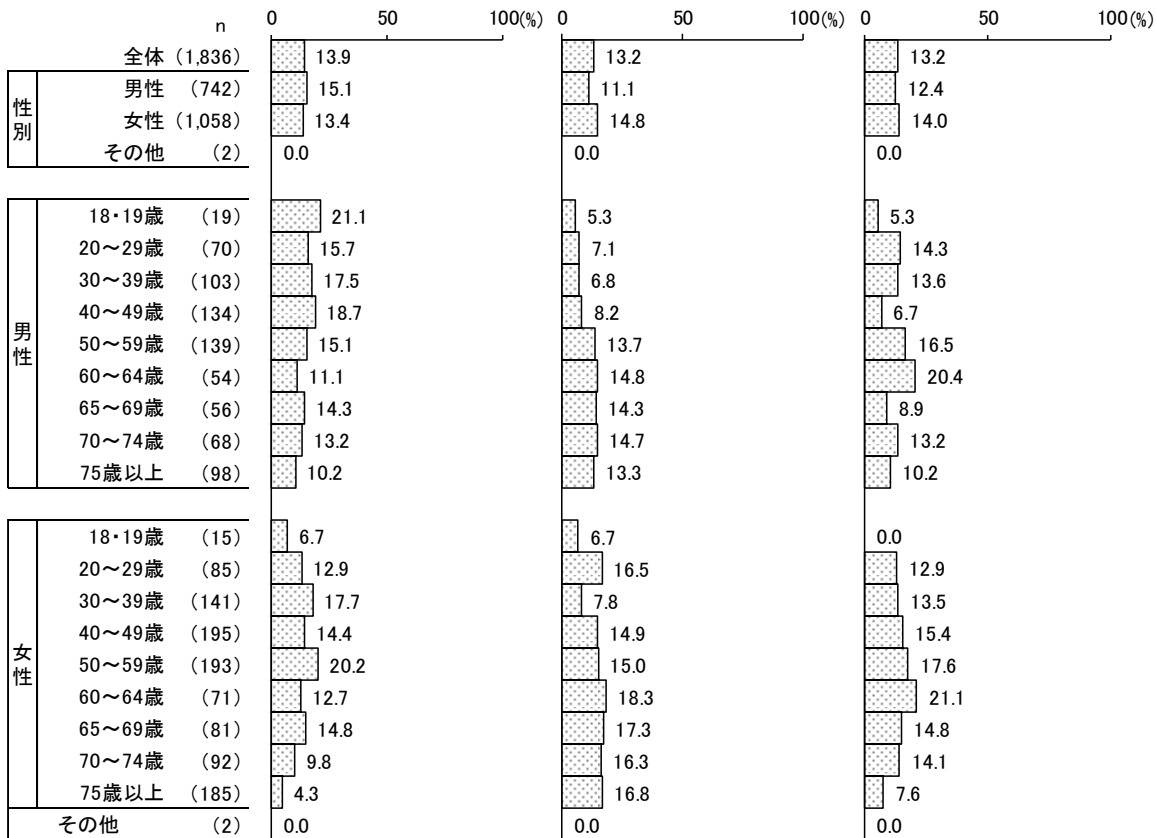
また、「① 子ども食堂へ食材を届ける」は男性-50～59歳、男性-65～69歳、女性-20～29歳から40～49歳で1割台となっており、問9①(現在取り組んでいること)と比較して10ポイント程度高くなっている。「⑧ 働きやすい職場環境をつくる」は男性・女性ともに20～29歳で20.0%と他の性・年齢と比べて高くなっている。(図表4-9)

＜図表4-9＞SDGsの17のゴールのうち、現在取り組んでいることまたは今後取り組みたいこと②今後取り組みたいこと／性・年齢別

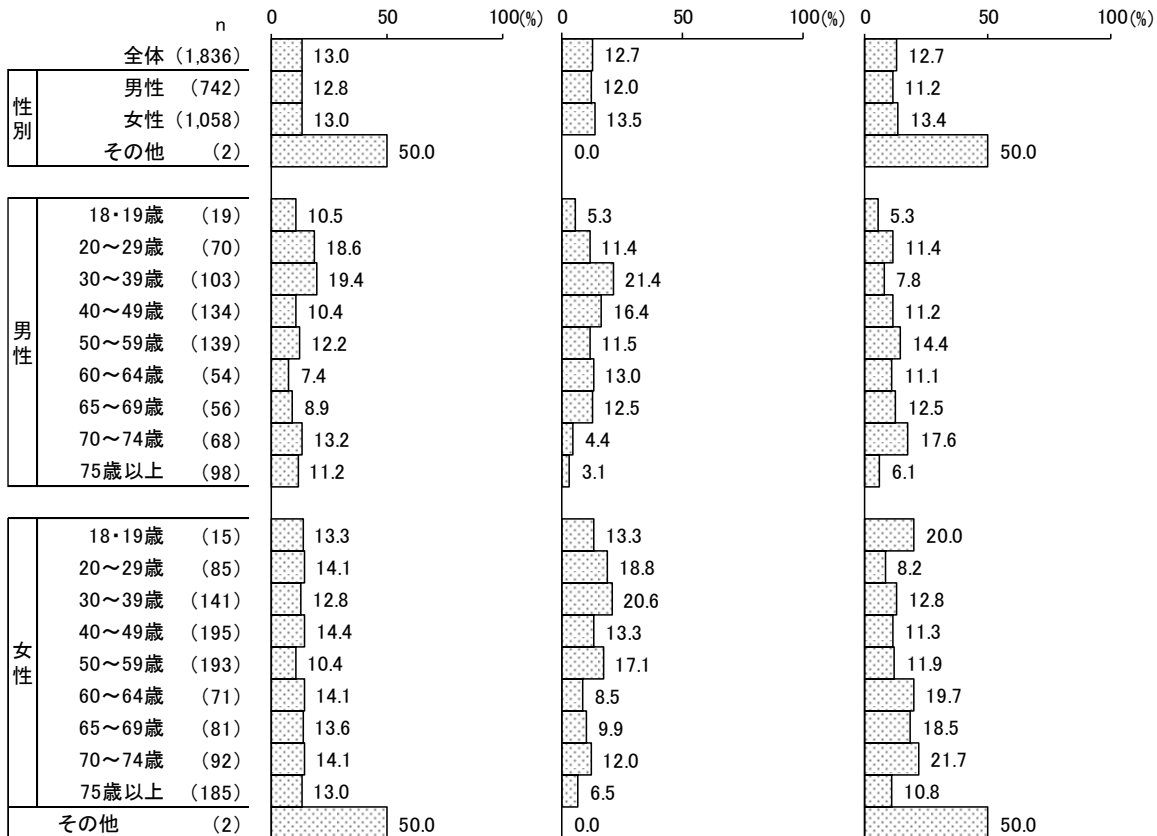




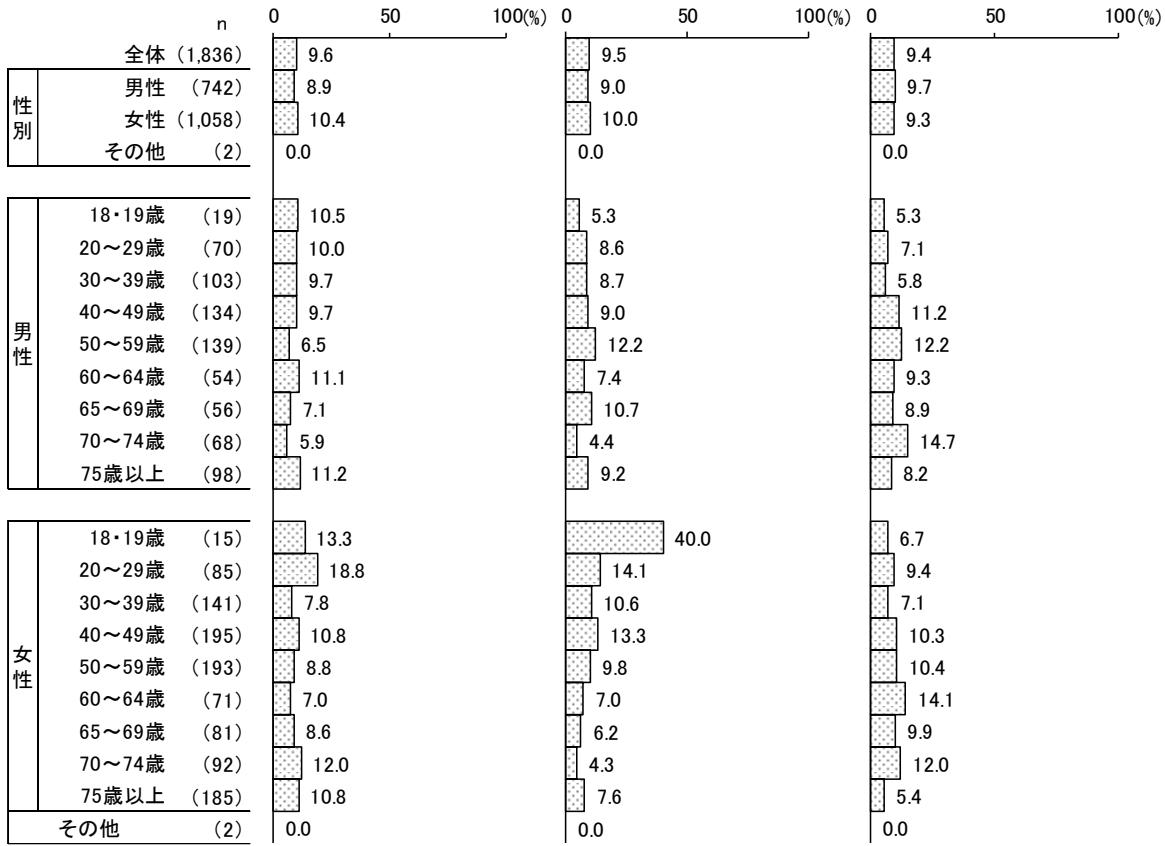
□ ⑨ 最新のテクノロジーやイノベーションに触れる □ ⑦ 見ていないテレビは消す □ ⑫ 3R(リデュース・リユース・リサイクル)に取り組む



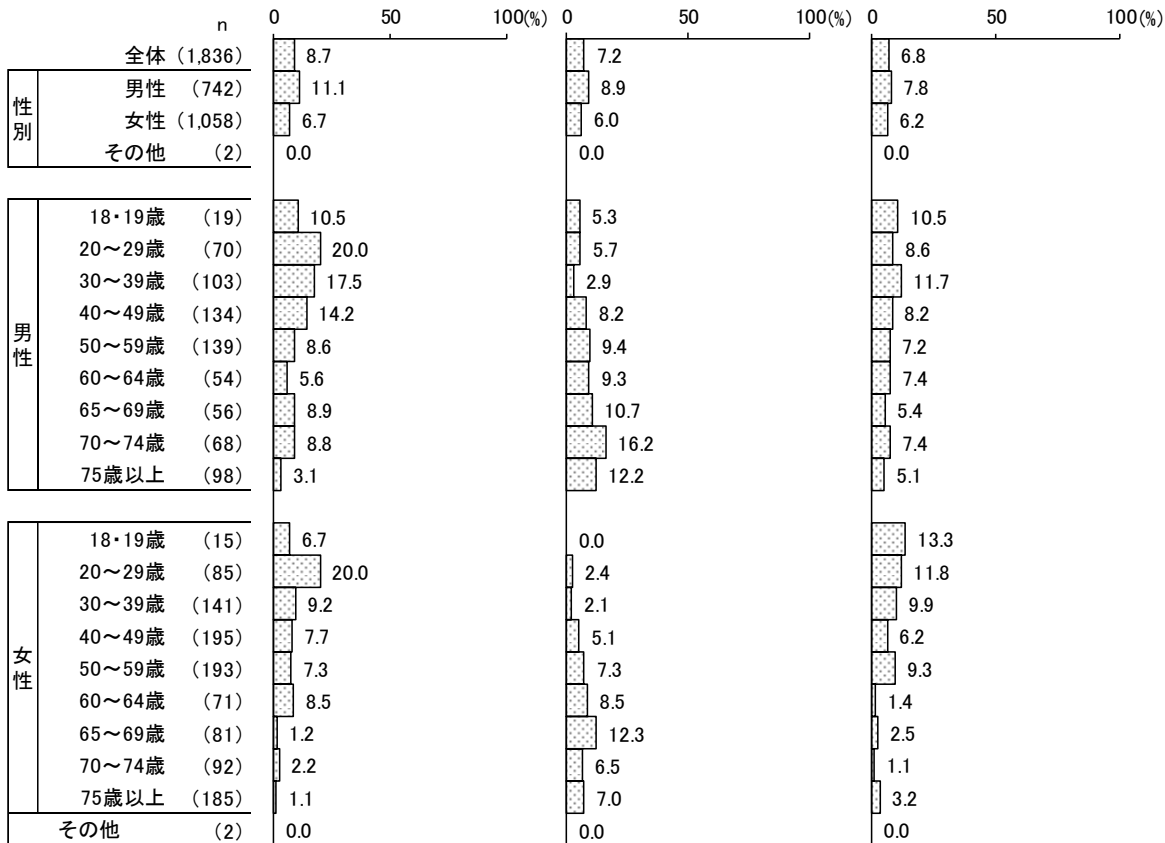
□ ⑩ いじめや差別をしない、させないようにする □ ⑬ 植物の栽培、家庭菜園を始める □ ⑯ 地域コミュニティや絆を広げ、安全安心なまちづくりに参加する

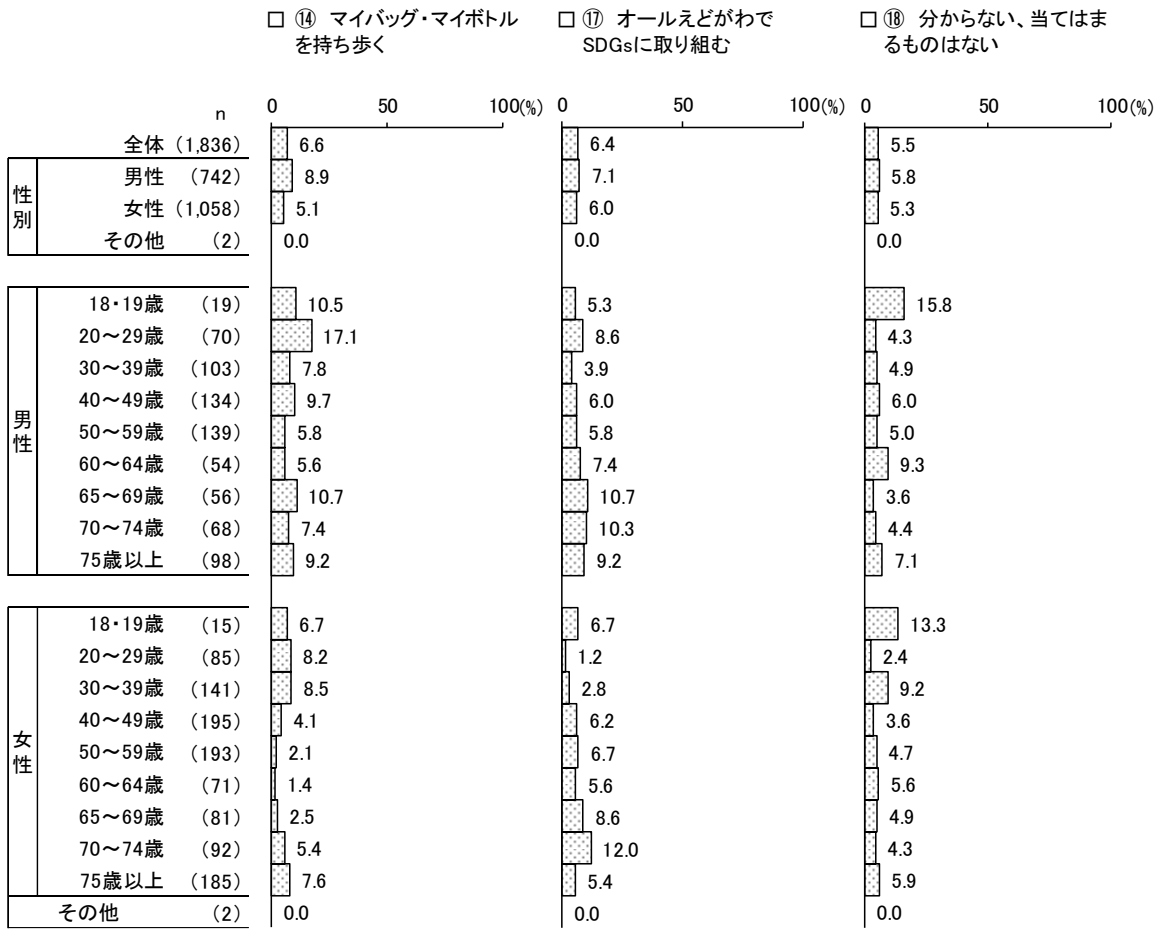


- ⑥ 歯磨きやシャワーの水を小まめに止める □ ① 子ども食堂へ食材を届ける □ ⑮ 紙資源を再利用し、ペーパーレスを進める



- ⑧ 働きやすい職場環境をつくる □ ⑪ 外出時は公共交通機関を利用する □ ⑤ 家事や育児を分担する

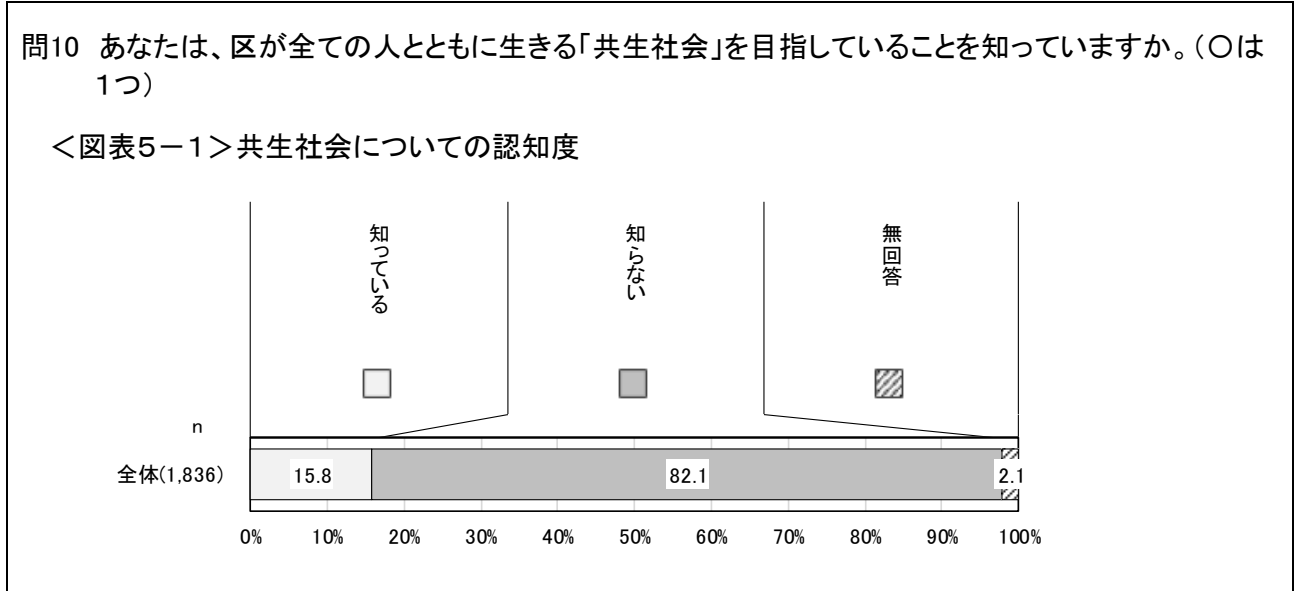




## 5. 共生社会について

### (1) 共生社会についての認知度

◇「知っている」が15.8%。



「知っている」は15.8%に対して、「知らない」は82.1%となっている。(図表5-1)

#### 【性・年齢別】

「知らない」は男性・女性ともに全ての年齢で7割以上となっているが、男性-60～64歳、男性-70～74歳以上、女性-60～64歳から女性-70～74歳の2割以上が「知っている」と回答している。(図表5-2)

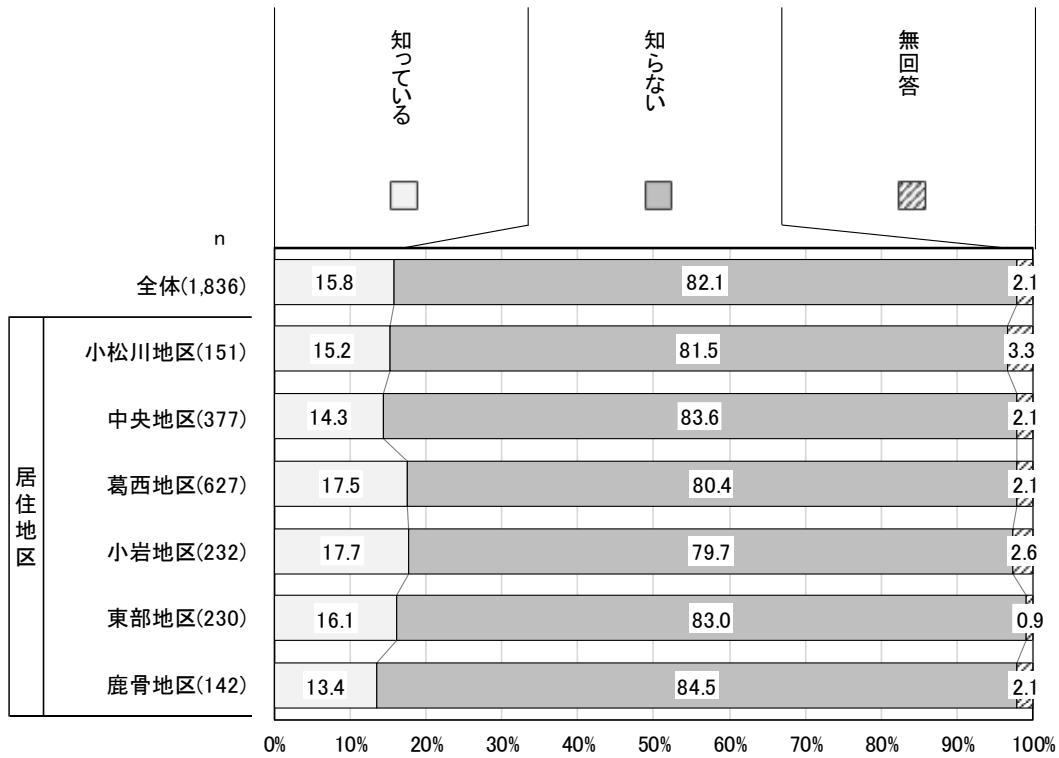
<図表5-2> 共生社会についての認知度／性・年齢別



【居住地区別】

全ての居住地区を比較すると、「知っている」、「知らない」の最も高い数値と最も低い数値の差が5%以内となっており、居住地区で大きな差は見られない。(図表5-3)

＜図表5-3＞共生社会についての認知度／居住地区別

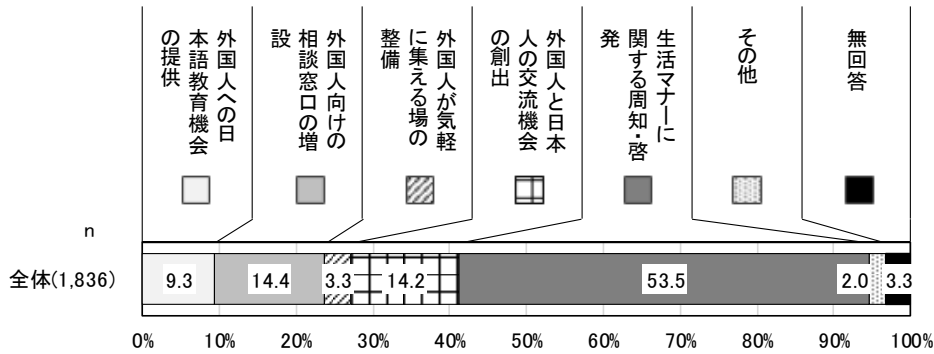


(2) 共生社会を目指す上で、区に取り組んでほしいこと

◇「生活マナーに関する周知・啓発」が53.5%を占める。

問11 在住外国人が増える中(令和3年8月1日現在、外国人人口は23区で一番多い)、あなたが区に取り組んでほしいことをお答えください。(○は1つ)

<図表5-4> 共生社会を目指す上で、区に取り組んでほしいこと

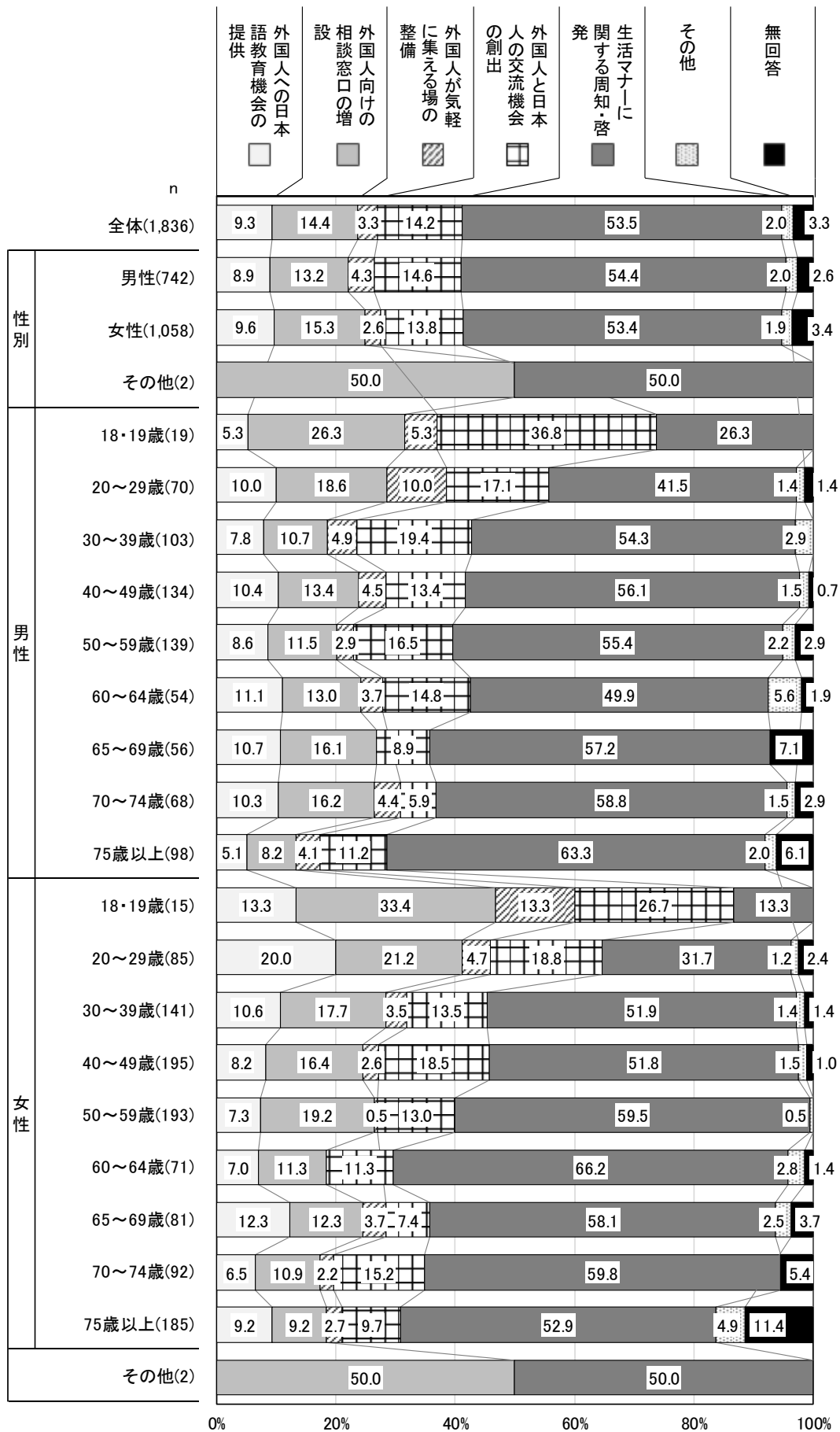


「生活マナーに関する周知・啓発」(53.5%)、「外国人向けの相談窓口の増設」(14.4%)、「外国人と日本人の交流機会の創出」(14.2%)の順に高くなっている。「生活マナーに関する周知・啓発」は半数を超え、2番目に高い「外国人向けの相談窓口の増設」と39.1ポイントの差がある。(図表5-4)

【性・年齢別】

男性-18・19歳、女性-18・19歳を除いた、男性・女性ともに全ての年齢で「生活マナーに関する周知・啓発」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～6割台と数値に差がある。「外国人への日本語教育機会の提供」は女性-20～29歳で20.0%と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表5-5)

<図表5-5> 共生社会を目指す上で、区に取り組んでほしいこと／性・年齢別

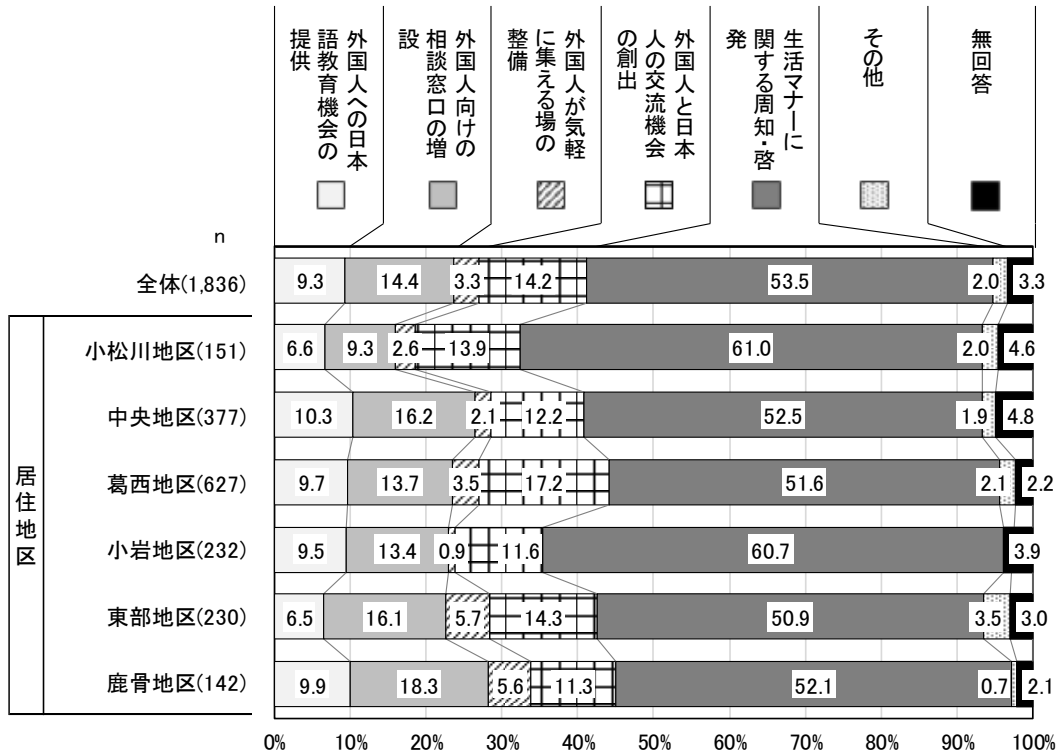




【居住地区別】

全ての居住地区で「生活マナーに関する周知・啓発」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。一方、「外国人と日本人の交流機会の創出」は1割台、「外国人が気軽に集える場の整備」は1割未満となっている。(図表5-6)

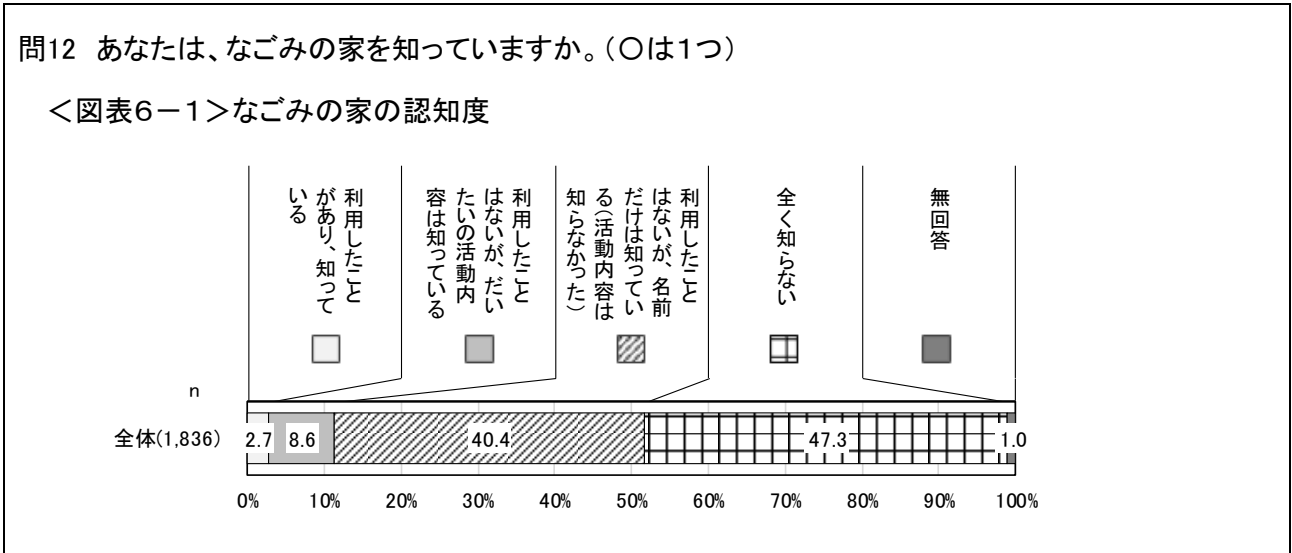
<図表5-6> 共生社会を目指す上で、区に取り組んでほしいこと／居住地区別



## 6. なごみの家について

### (1) なごみの家の認知度

◇「全く知らない」が47.3%を占める。



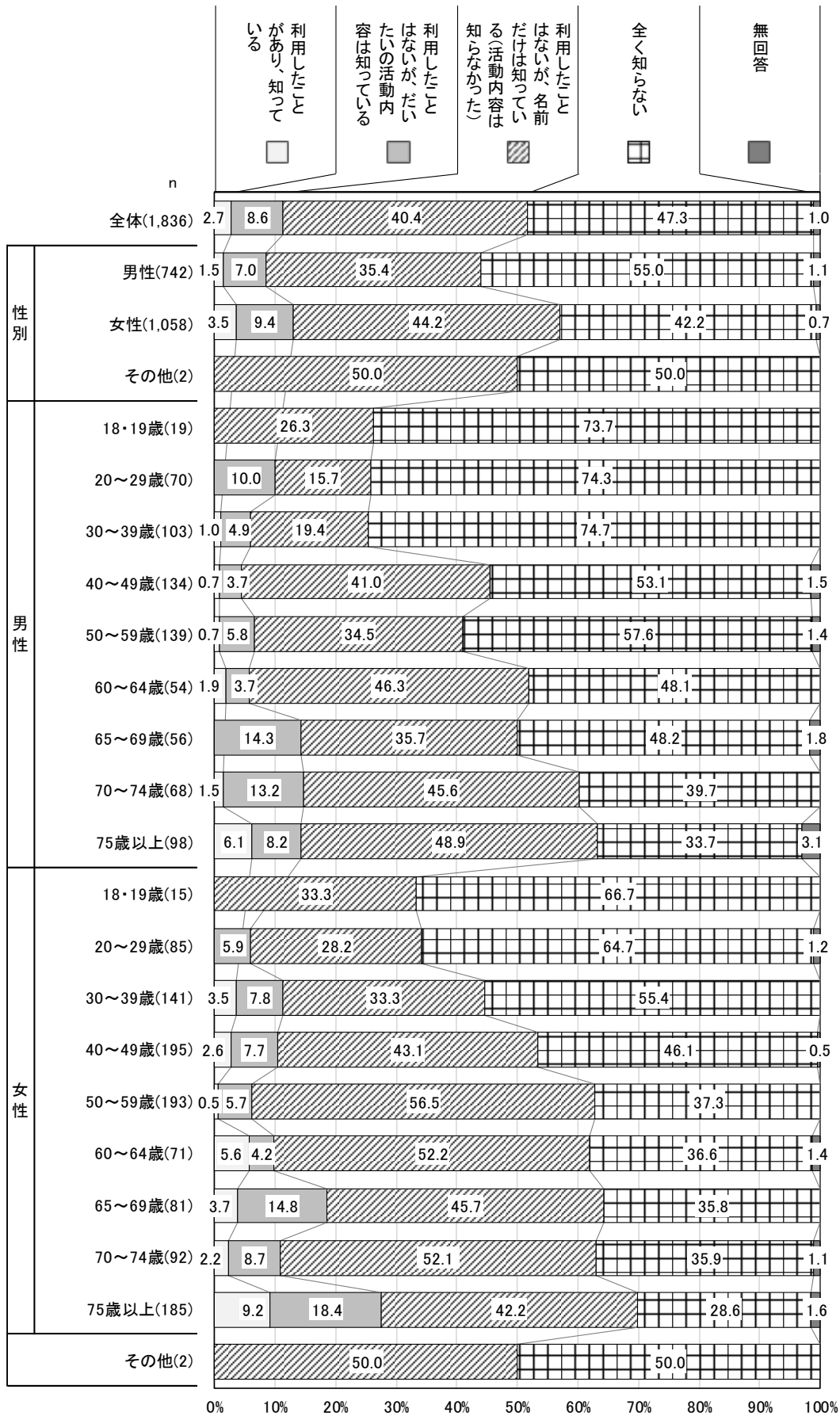
「利用したことがあり、知っている」は2.7%、「利用したことはないが、だいたいの活動内容は知っている」は8.6%となっている。(図表6-1)

#### 【性・年齢別】

「利用したことがあり、知っている」、「利用したことはないが、だいたいの活動内容は知っている」を合計した活動内容の認知について、性別では男女間で5%以内の差となっており、大きな違いは見られない。

性・年齢別では、男女ともに65～69歳以上の認知は60～64歳以下に比べて高く、特に女性75歳以上は27.6%と最も高い。(図表6-2)

<図表6-2>なごみの家の認知度／性・年齢別



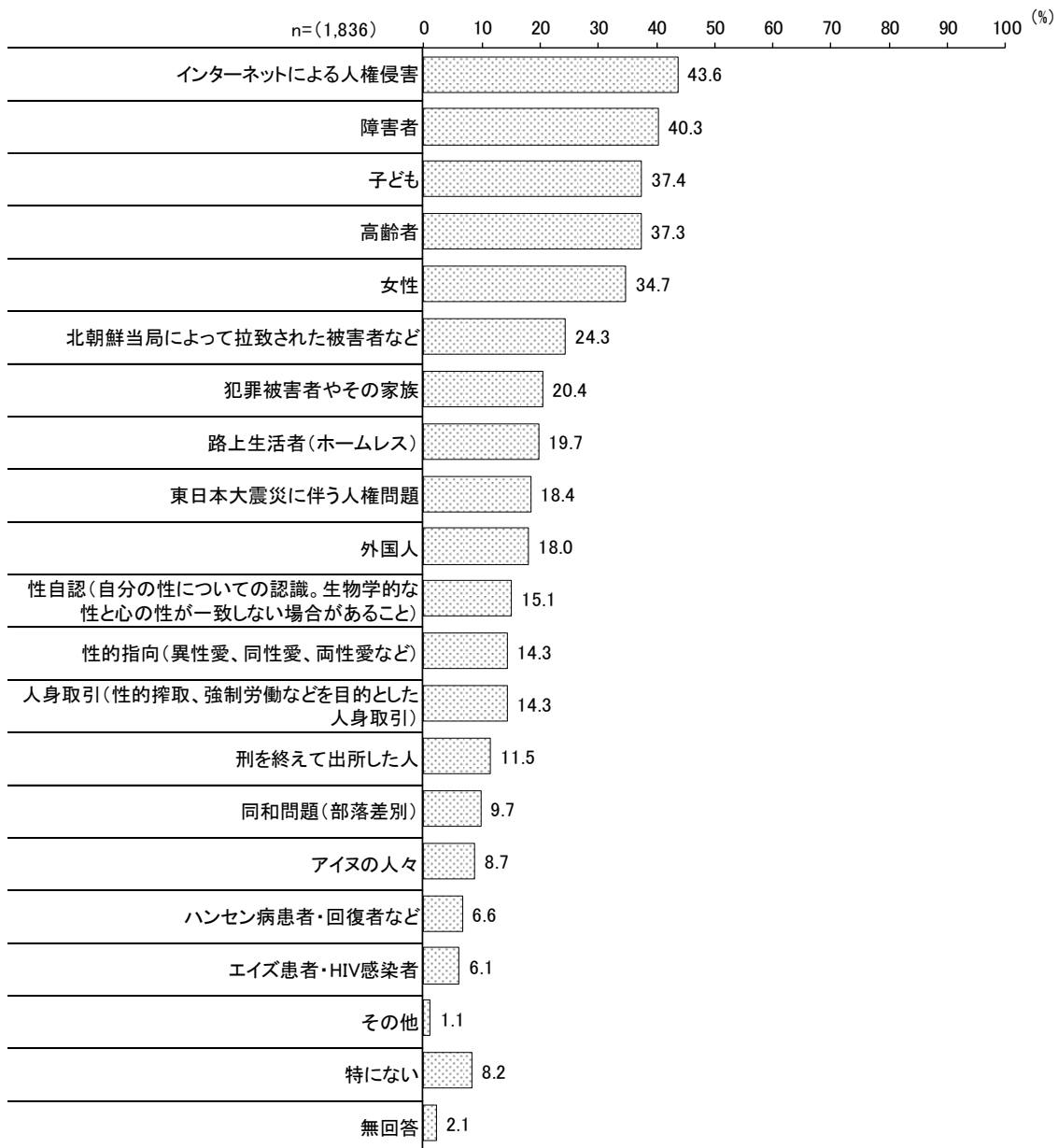
## 7. 人権について

### (1) 関心のある人権課題

◇「インターネットによる人権侵害」が43.6%、「障害者」が40.3%と高い。

問13 日本における人権課題について、あなたが関心のあるものはどれですか。(〇はいくつでも)

<図表7-1> 関心のある人権課題



「インターネットによる人権侵害」(43.6%)、「障害者」(40.3%)、「子ども」(37.4%)、「高齢者」(37.3%)、「女性」(34.7%)の順に高くなっている。(図表7-1)

#### 【性・年齢別】

「インターネットによる人権侵害」は男性-40～49歳以下、男性-60～64歳から65～69歳、女性-40～49歳から50～59歳で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

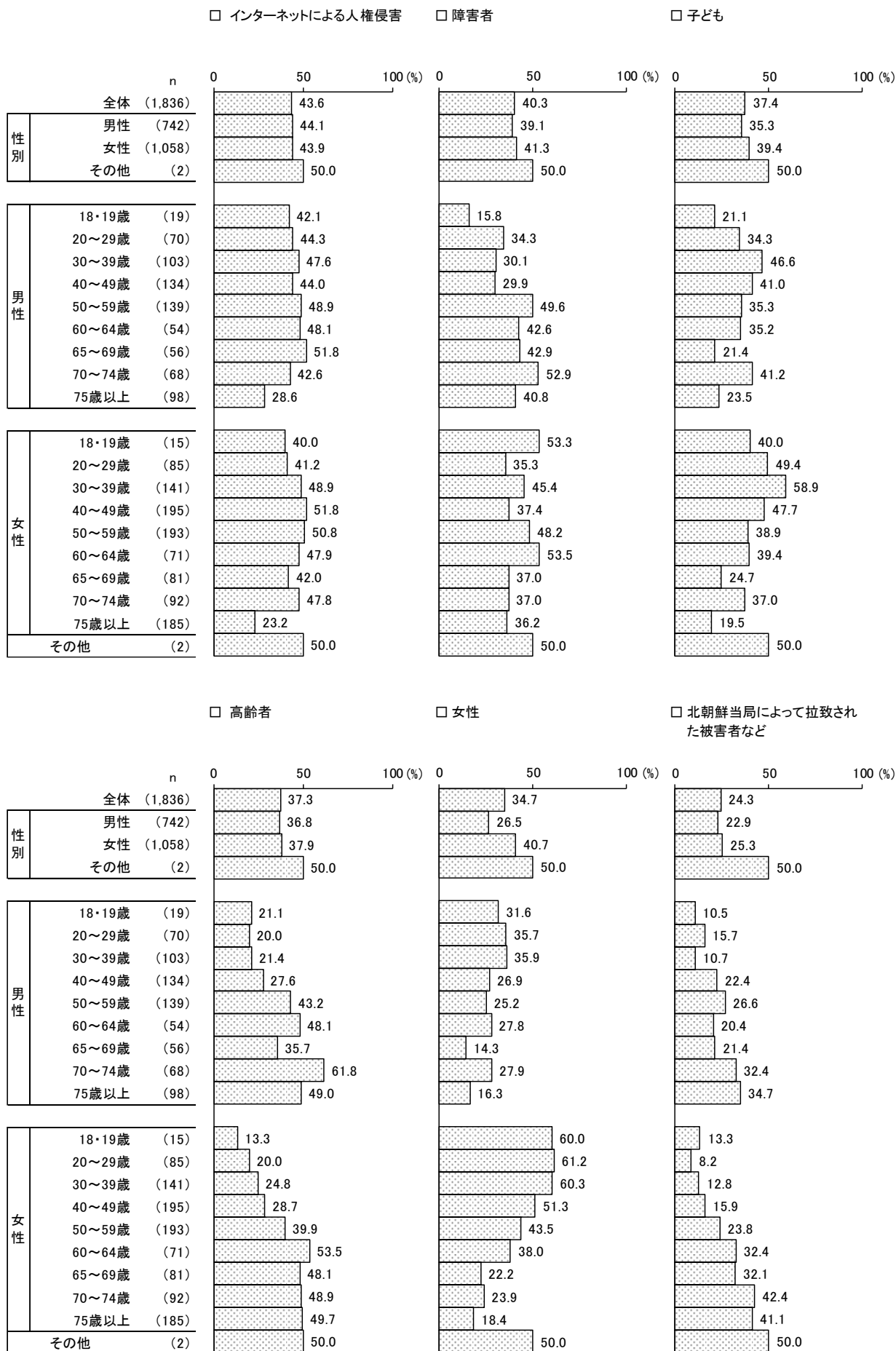
「子ども」は女性-30～39歳で58.9%と他の性・年齢に比べて高くなっている。

「高齢者」は男性-65～69歳を除いた、男性・女性ともに60～64歳以上(男性-60～64歳は同率)で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

「女性」は男性が26.5%に対して、女性が40.7%と女性の方が10ポイント以上高くなっている。その中でも女性-30～39歳以下で6割台と特に高くなっている。

「北朝鮮当局によって拉致された被害者など」は女性-70～74歳以上で4割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表7-2)

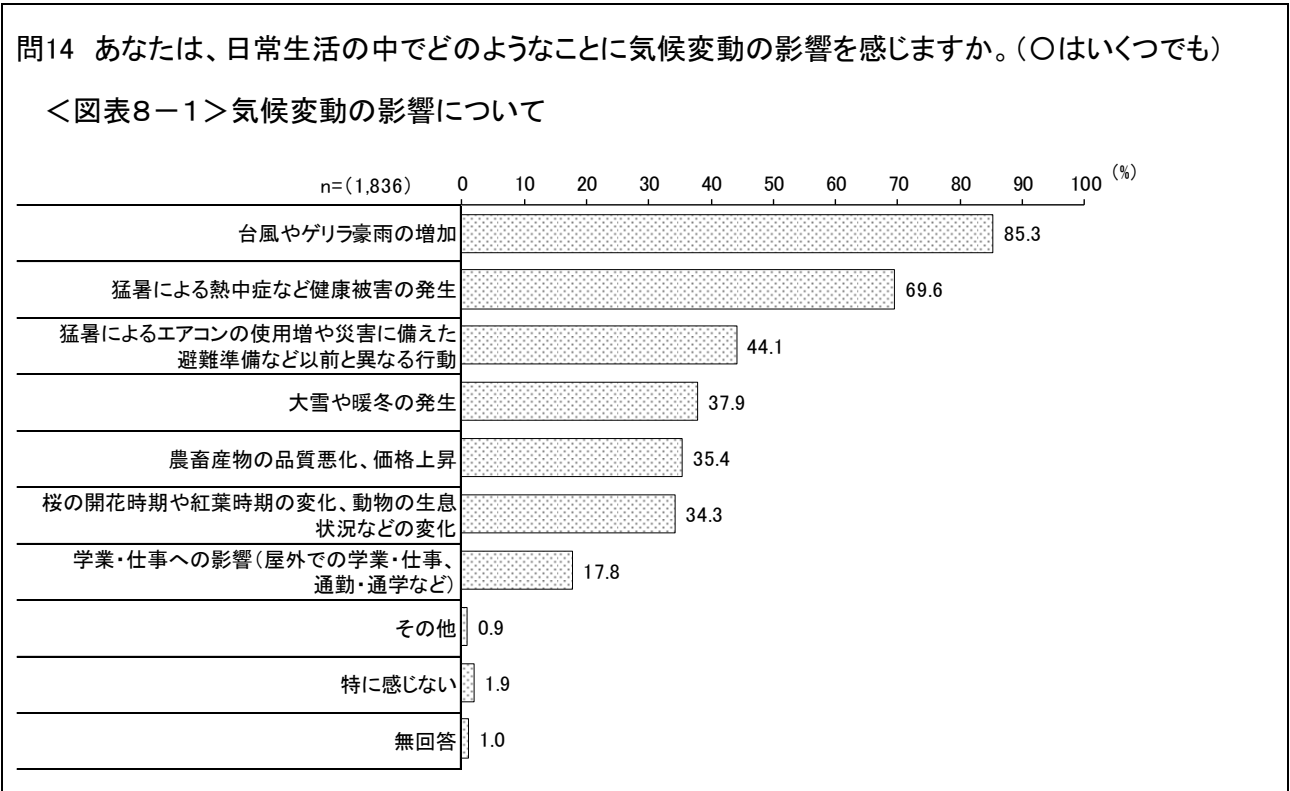
<図表7-2> 関心のある人権課題(上位6項目)／性・年齢別



## 8. 気候変動について

### (1) 気候変動の影響について

◇「台風やゲリラ豪雨の増加」が85.3%と高い。



「台風やゲリラ豪雨の増加」(85.3%)、「猛暑による熱中症など健康被害の発生」(69.6%)、「猛暑によるエアコンの使用増や災害に備えた避難準備など以前と異なる行動」(44.1%)の順に高くなっている。一方、「特に感じない」は1.9%と5%に満たず少数になっている。(図表8-1)

#### 【性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「台風やゲリラ豪雨の増加」は他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

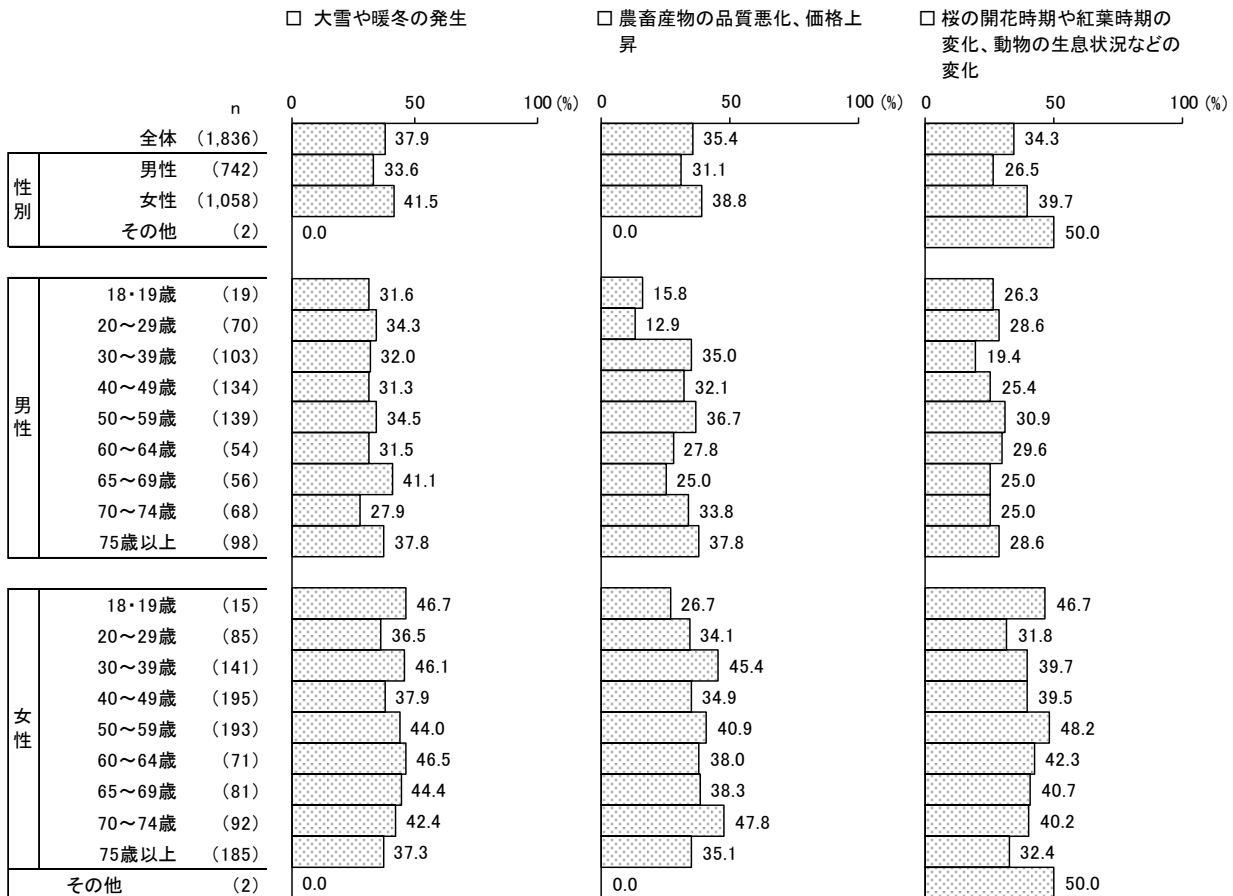
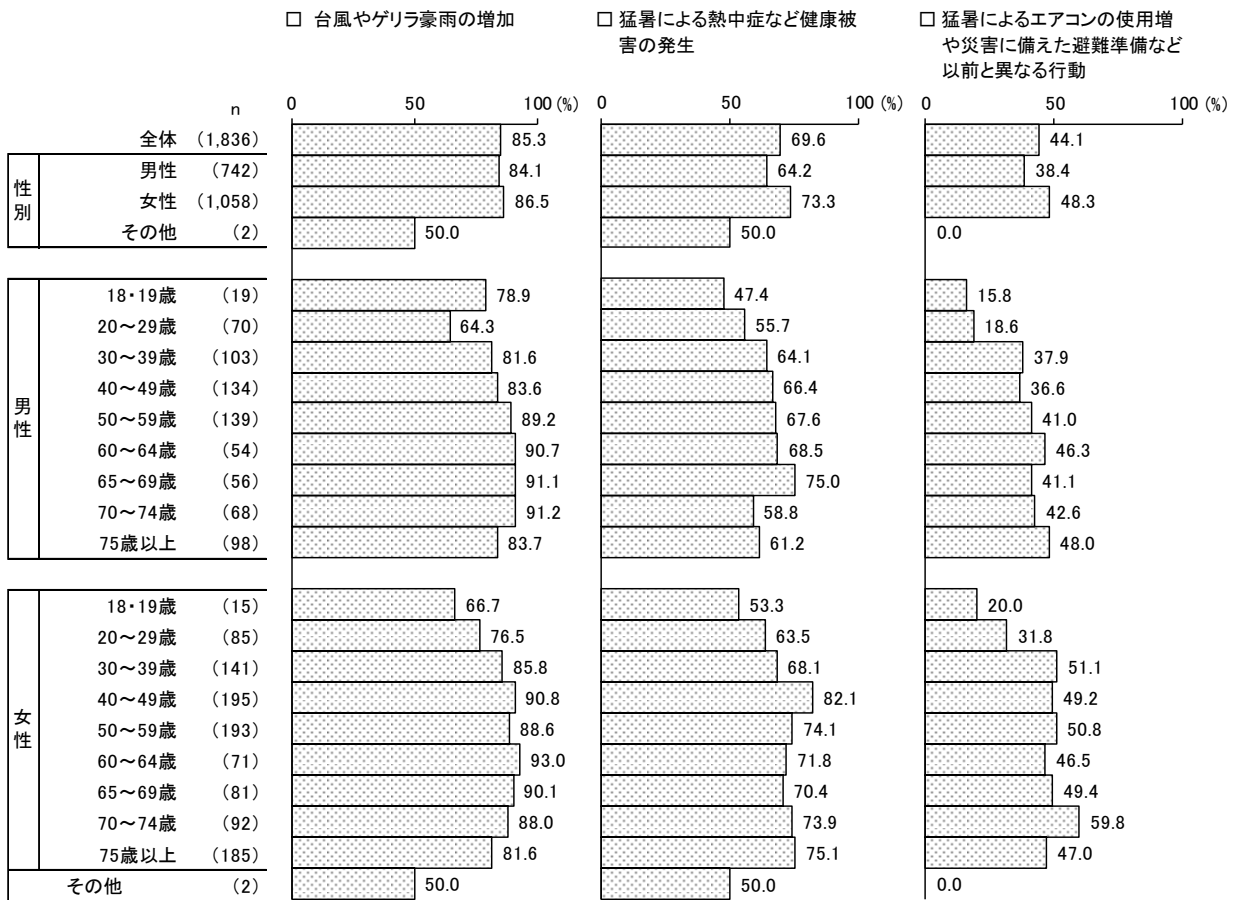
「猛暑による熱中症など健康被害の発生」は女性-40～49歳で82.1%と他の性・年齢と比べて高くなっている。

「猛暑によるエアコンの使用増や災害に備えた避難準備など以前と異なる行動」は女性-30～39歳、女性-50～59歳、女性-70～74歳で5割台と他の性・年齢と比べて高くなっている。

「桜の開花時期や紅葉時期の変化、動物の生息状況などの変化」は男性で26.5%に対して、女性は39.7%と女性の方が高くなっている。その中でも、女性-50～59歳で48.2%と特に高くなっている。

(図表8-2)

<図表8-2>気候変動の影響について(上位6項目)／性・年齢別



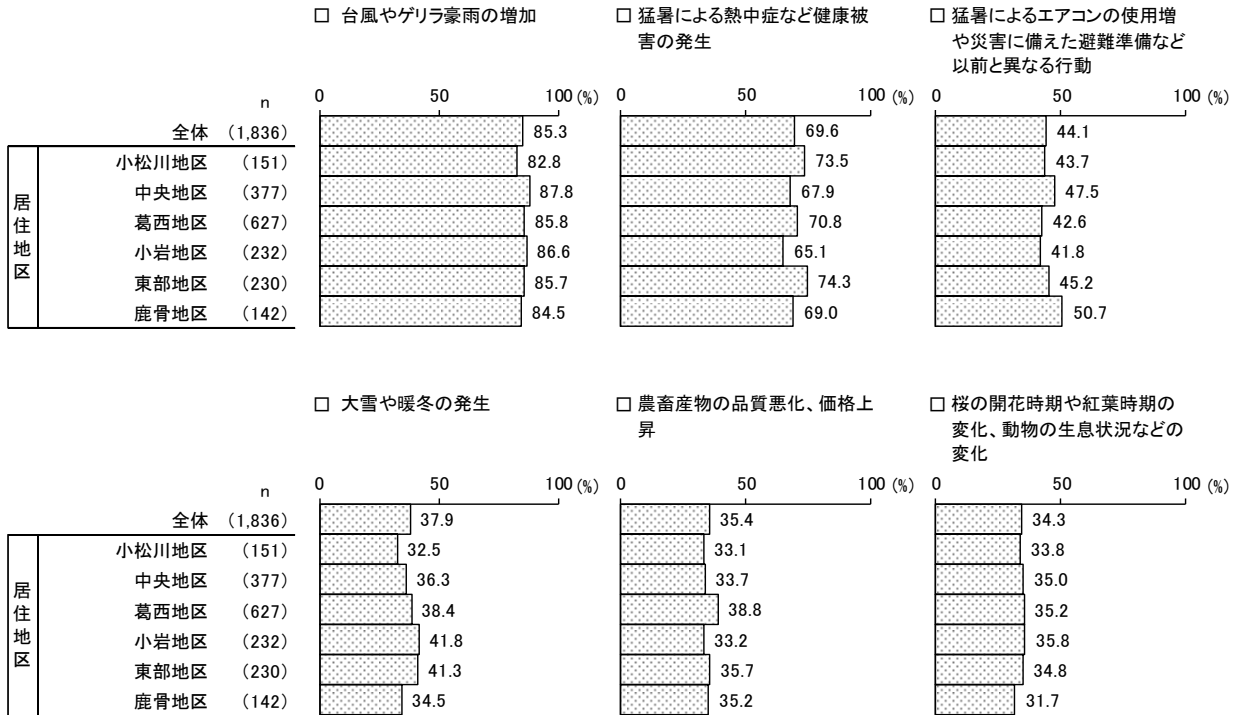


【居住地区別】

全ての居住地区で「台風やゲリラ豪雨の増加」は8割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

また、「農畜産物の品質悪化、価格上昇」と「桜の開花時期や紅葉時期の変化、動物の生息状況などの変化」は3割台となっている。(図表8-3)

＜図表8-3＞気候変動の影響について(上位6項目)／居住地区別

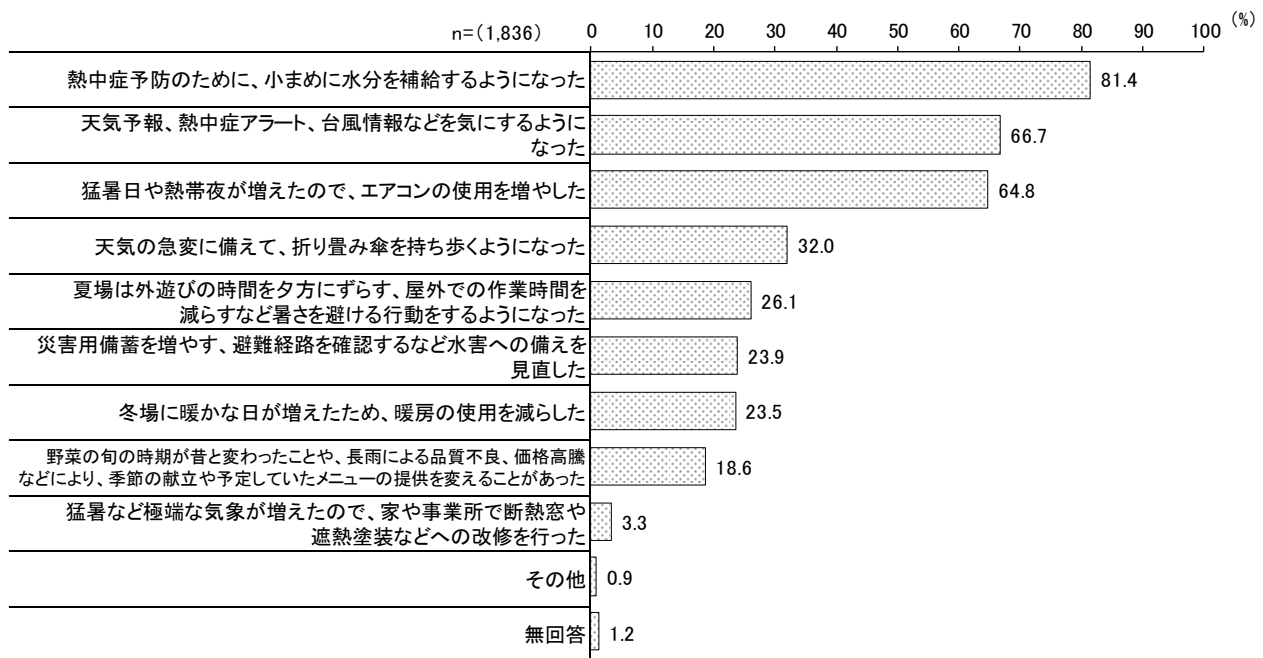


(2) 気候変動の影響から自らの健康や暮らしの安全を守るために取り組んでいること

◇「熱中症予防のために、小まめに水分を補給するようになった」が81.4%と高い。

問15 気候変動の影響から自らの健康や暮らしの安全を守るために、あなたは、以下の項目に取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

<図表8-4> 気候変動の影響から自らの健康や暮らしの安全を守るために取り組んでいること



「熱中症予防のために、小まめに水分を補給するようになった」(81.4%)、「天気予報、熱中症アラート、台風情報などを気にするようになった」(66.7%)、「猛暑日や熱帯夜が増えたので、エアコンの使用を増やした」(64.8%)の順に高くなっている。一方、「猛暑など極端な気象が増えたので、家や事業所で断熱窓や遮熱塗装などへの改修を行った」は3.3%と5%に満たず少数となっている。(図表8-4)

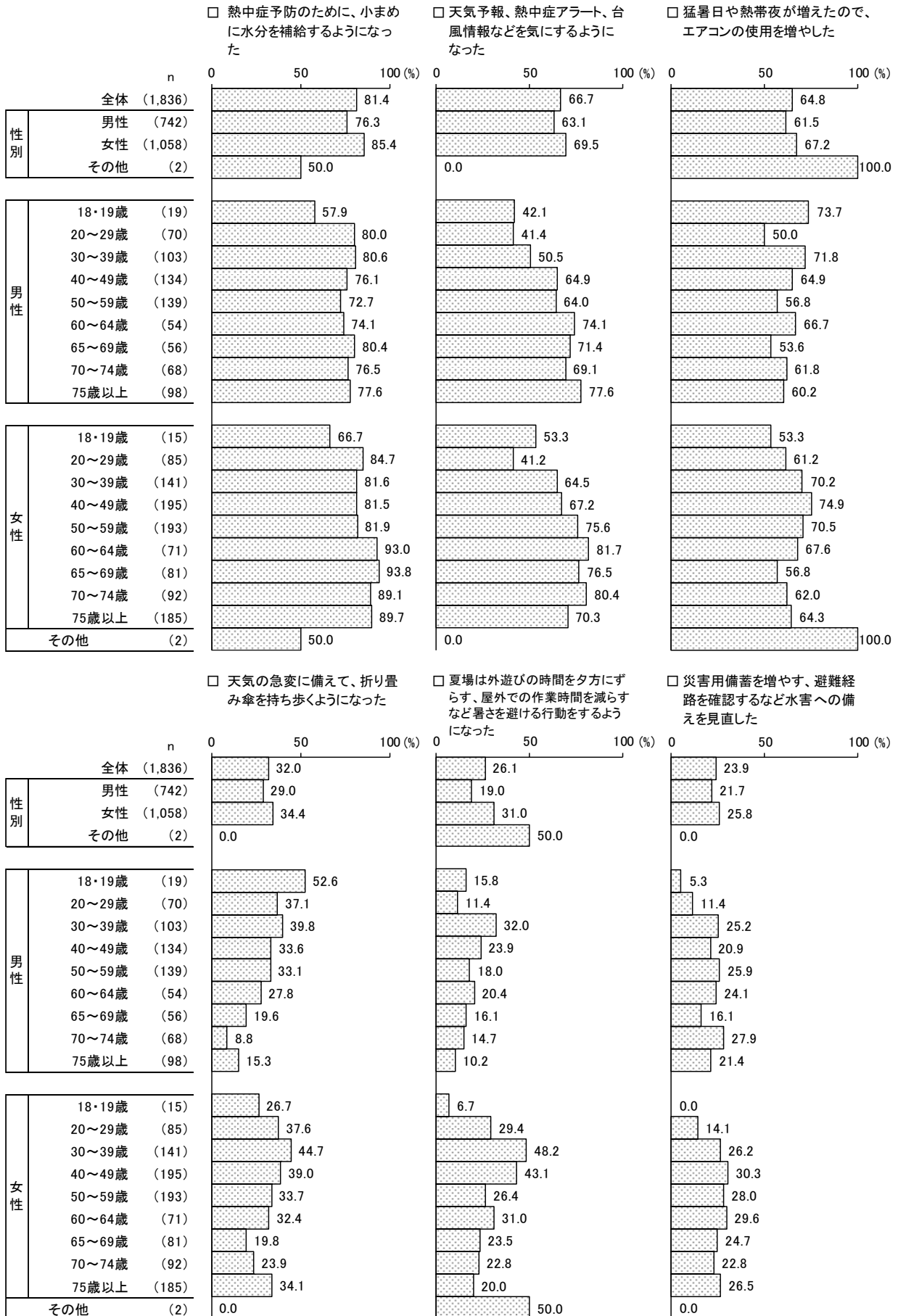
【性・年齢別】

男性-18・19歳を除いた、男性・女性ともに全ての年齢で「熱中症予防のために、小まめに水分を補給するようになった」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、6割台～9割台と数値に差がある。その中でも、60～64歳以上で女性は男性よりも10ポイント以上高くなっている。

「天気予報、熱中症アラート、台風情報などを気にするようになった」は女性-60～64歳、女性-70～74歳で8割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。

「夏場は外遊びの時間を夕方にくずらす、屋外での作業時間を減らすなど暑さを避ける行動をするようになった」は男性で19.0%に対して、女性は31.0%と女性の方が10ポイント以上高くなっている。その中でも、女性-30～39歳から40～49歳は4割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表8-5)

＜図表8-5＞気候変動の影響から自らの健康や暮らしの安全を守るために取り組んでいること(上位6項目)／性・年齢別

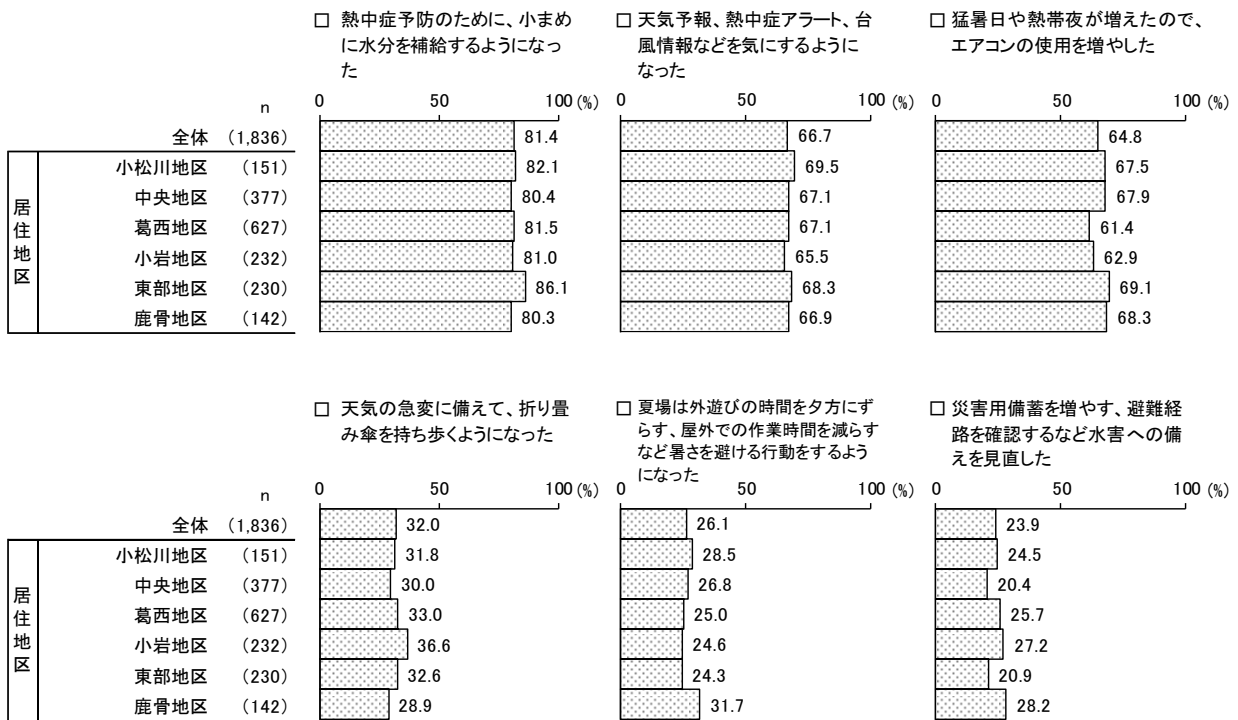


【居住地区別】

全ての居住地区で「熱中症予防のために、小まめに水分を補給するようになった」は8割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

また、「天気予報、熱中症アラート、台風情報などを気にするようになった」と「猛暑日や熱帯夜が増えたので、エアコンの使用を増やした」は6割台、「災害用備蓄を増やす、避難経路を確認するなど水害への備えを見直した」は2割台となっている。(図表8-6)

＜図表8-6＞気候変動の影響から自らの健康や暮らしの安全を守るために取り組んでいること(上位6項目)／居住地区別



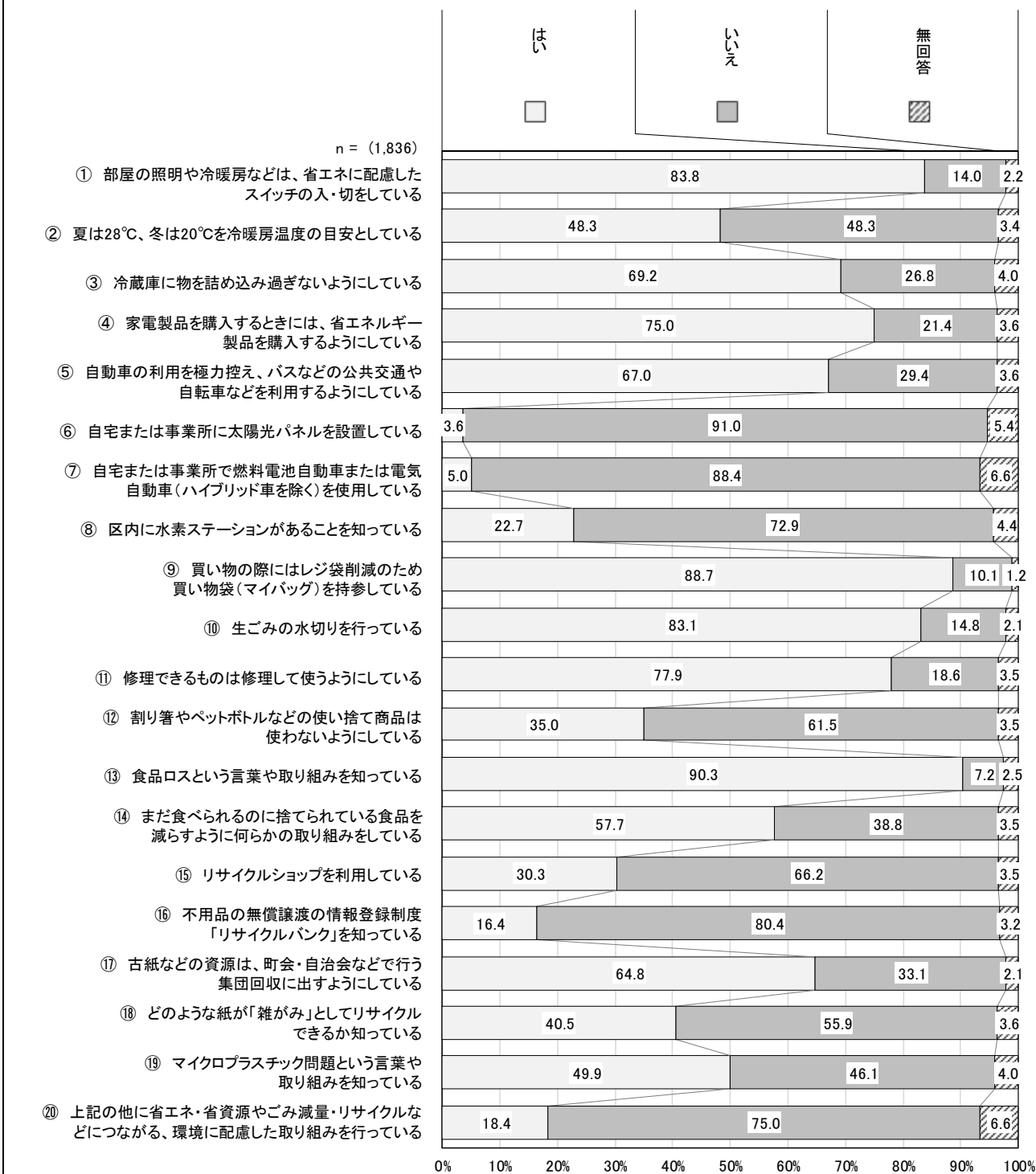
## 9. 省エネ・省資源を意識した行動について

### (1) 省エネ・省資源を意識した行動について

◇【⑬ 食品ロスという言葉や取り組みを知っている】では「はい」が90.3%と高い。

問16 省エネ・省資源のための、次の①～⑳の行動について、それぞれお答えください。(それぞれ〇は1つずつ)

<図表9-1> 省エネ・省資源を意識した行動について

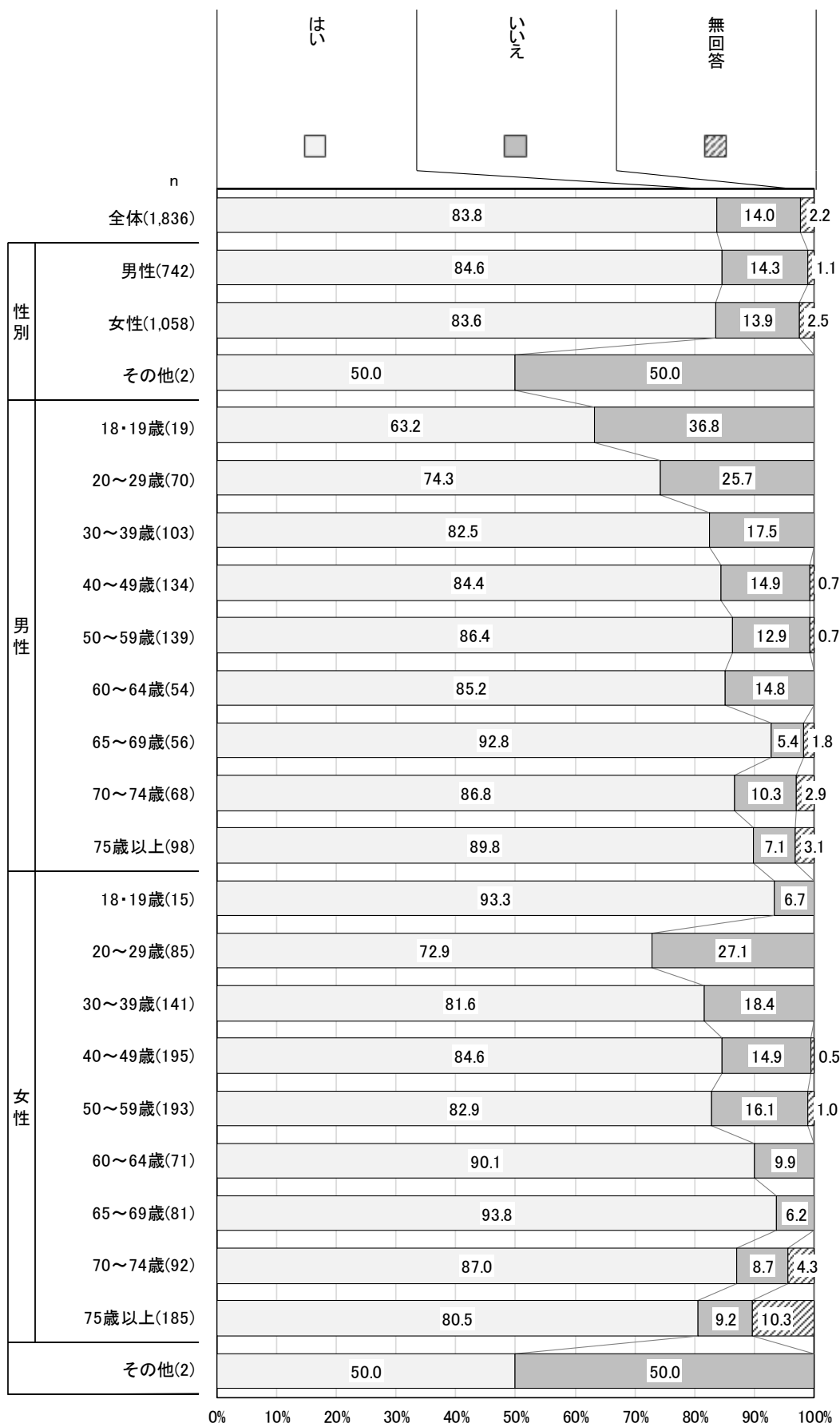


「はい」は【⑬ 食品ロスという言葉や取り組みを知っている】(90.3%)、【⑨ 買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋(マイバッグ)を持参している】(88.7%)、【① 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている】(83.8%)、【⑩ 生ごみの水切りを行っている】(83.1%)の順に高くなっている。一方、「いいえ」は【⑥ 自宅または事業所に太陽光パネルを設置している】(91.0%)、【⑦ 自宅または事業所で燃料電池自動車または電気自動車(ハイブリッド車を除く)を使用している】(88.4%)、【⑯ 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている】(80.4%)の順に高くなっている。(図表9-1)

**【① 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている／性・年齢別】**

男性・女性ともに全ての年齢で「はい」が「いいえ」よりも高くなっているが、男性-20～29歳以下、女性-20～29歳の2割以上が「いいえ」と回答している。(図表9-2)

<図表9-2>① 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている／性・年齢別

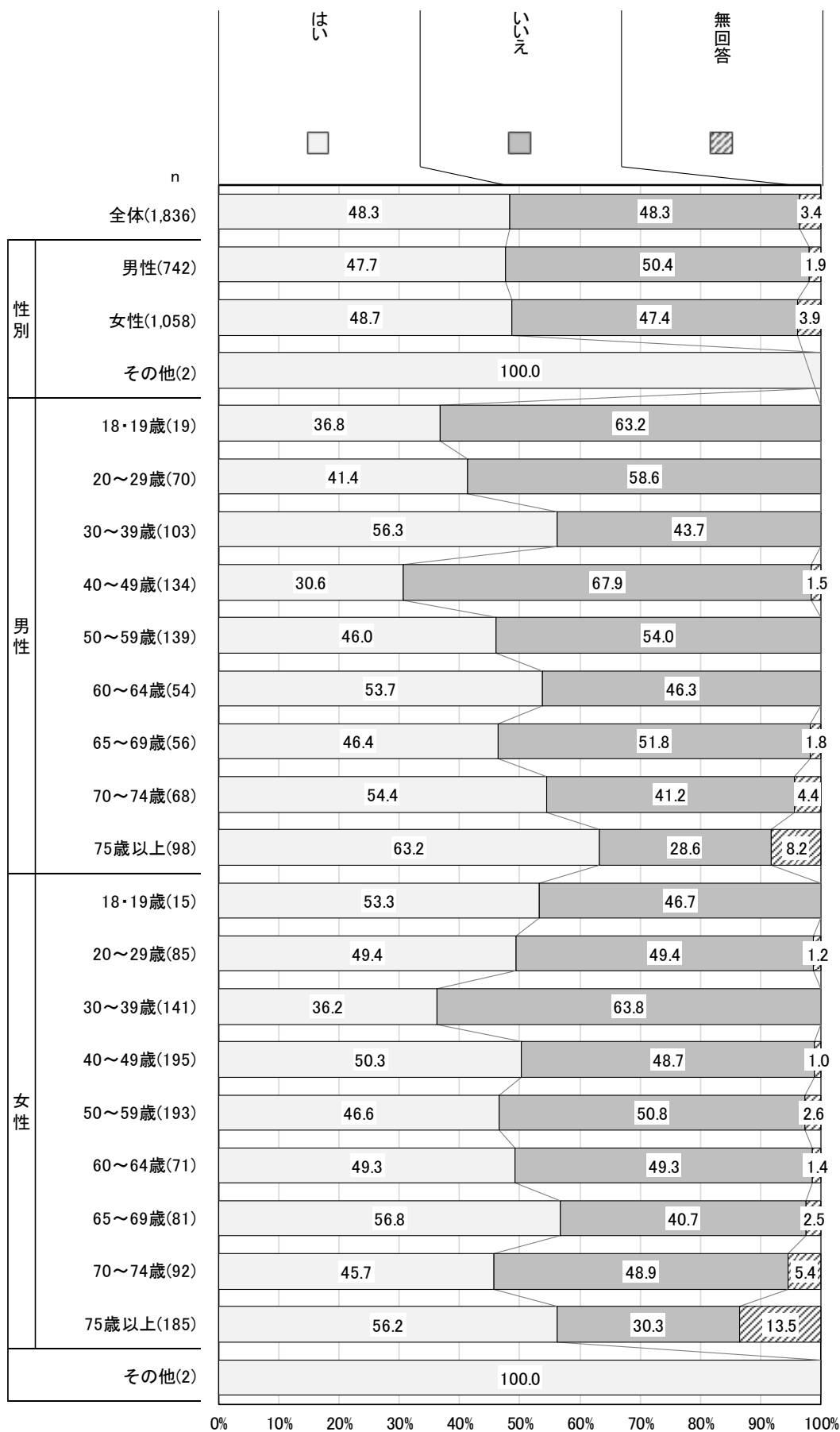


【② 夏は 28℃、冬は 20℃を冷暖房温度の目安としている／性・年齢別】

「はい」が「いいえ」よりも 10 ポイント以上高い性・年齢は男性-30～39 歳、男性-70～74 歳以上、女性-65～69 歳、女性-75 歳以上となっている。「いいえ」が「はい」よりも 10 ポイント以上高い性・年齢は男性-20～29 歳以下、男性-40～49 歳、女性-30～39 歳となっている。以上のような点で、夏は 28℃、冬は 20℃を冷暖房温度の目安としているか否かの回答に性・年齢で特に違いがある。(図表9-3)



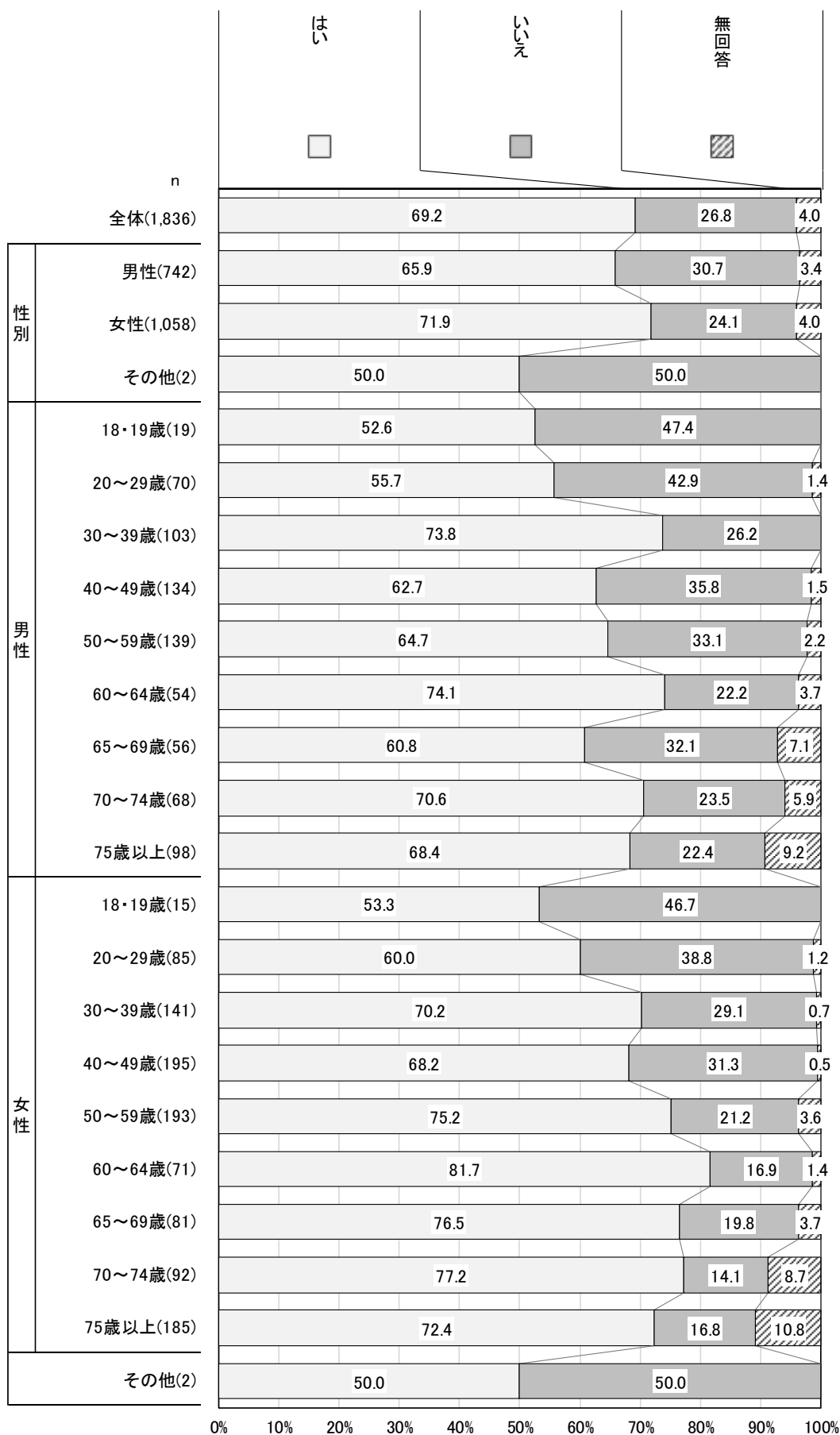
<図表9-3>② 夏は28℃、冬は20℃を冷暖房温度の目安としている／性・年齢別



**【③ 冷蔵庫に物を詰め込み過ぎないようにしている／性・年齢別】**

男性・女性ともに全ての年齢で「はい」が5割以上となっている。「いいえ」は男性-20～29歳以下で4割、女性-20～29歳以下、女性-40～49歳で3割を超えている。(図表9-4)

<図表9-4>③ 冷蔵庫に物を詰め込み過ぎないようにしている／性・年齢別

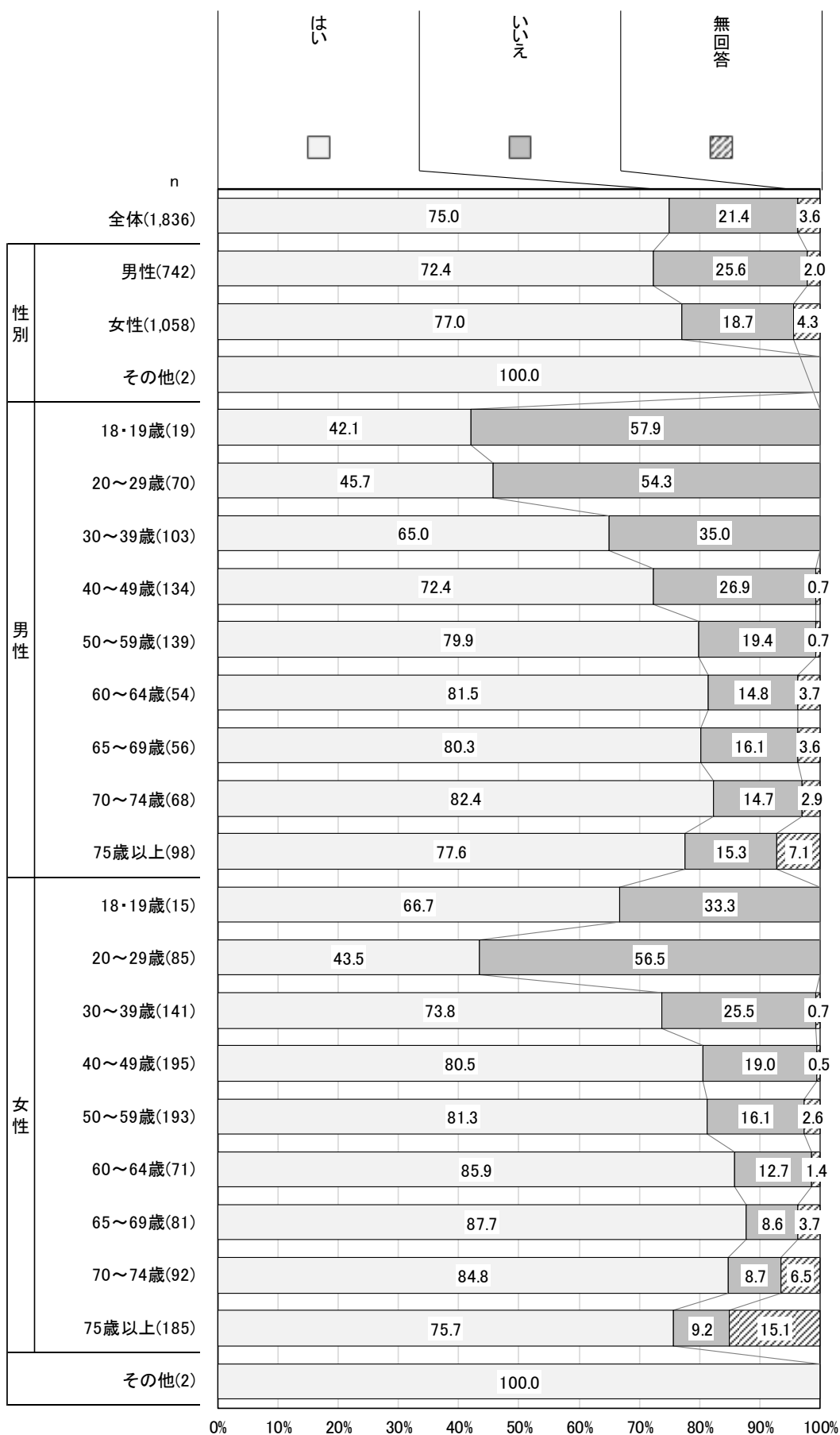


【④ 家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている／性・年齢別】

男性-20～29歳以下、女性-20～29歳を除いた、男性・女性ともに全ての年齢で「はい」が「いいえ」よりも高くなっている。男性-20～29歳以下、女性-20～29歳は「いいえ」が5割台と「はい」よりも高くなっている。

(図表9-5)

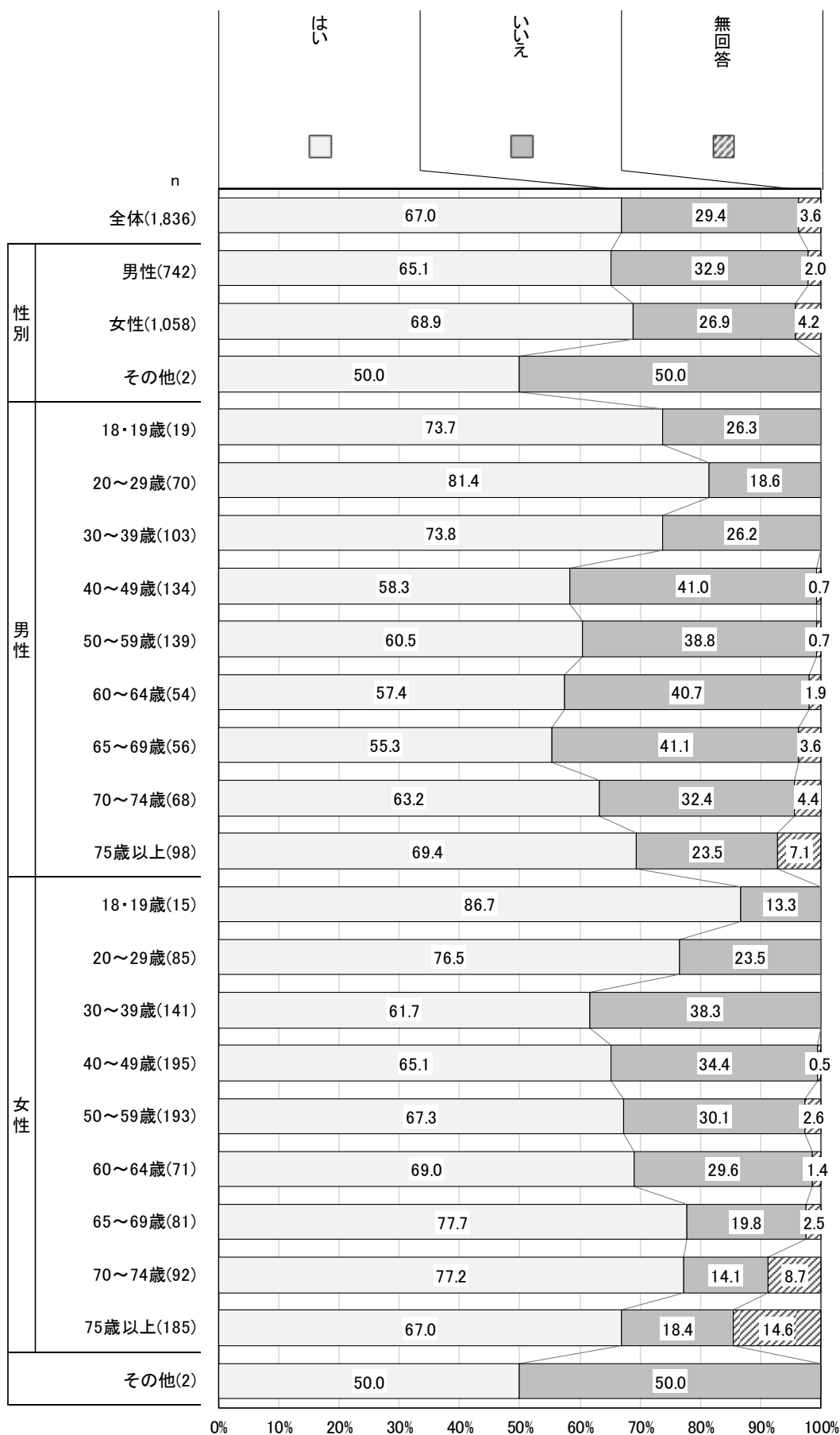
＜図表9-5＞④ 家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている／性・年齢別



【⑤ 自動車の利用を極力控え、バスなどの公共交通や自転車などを利用するようにしている／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「はい」が5割以上となっている。「いいえ」は男性-40～49歳、男性-60～64歳から65～69歳で4割を超えている。(図表9-6)

<図表9-6>⑤ 自動車の利用を極力控え、バスなどの公共交通や自転車などを利用するようにしている／性・年齢別

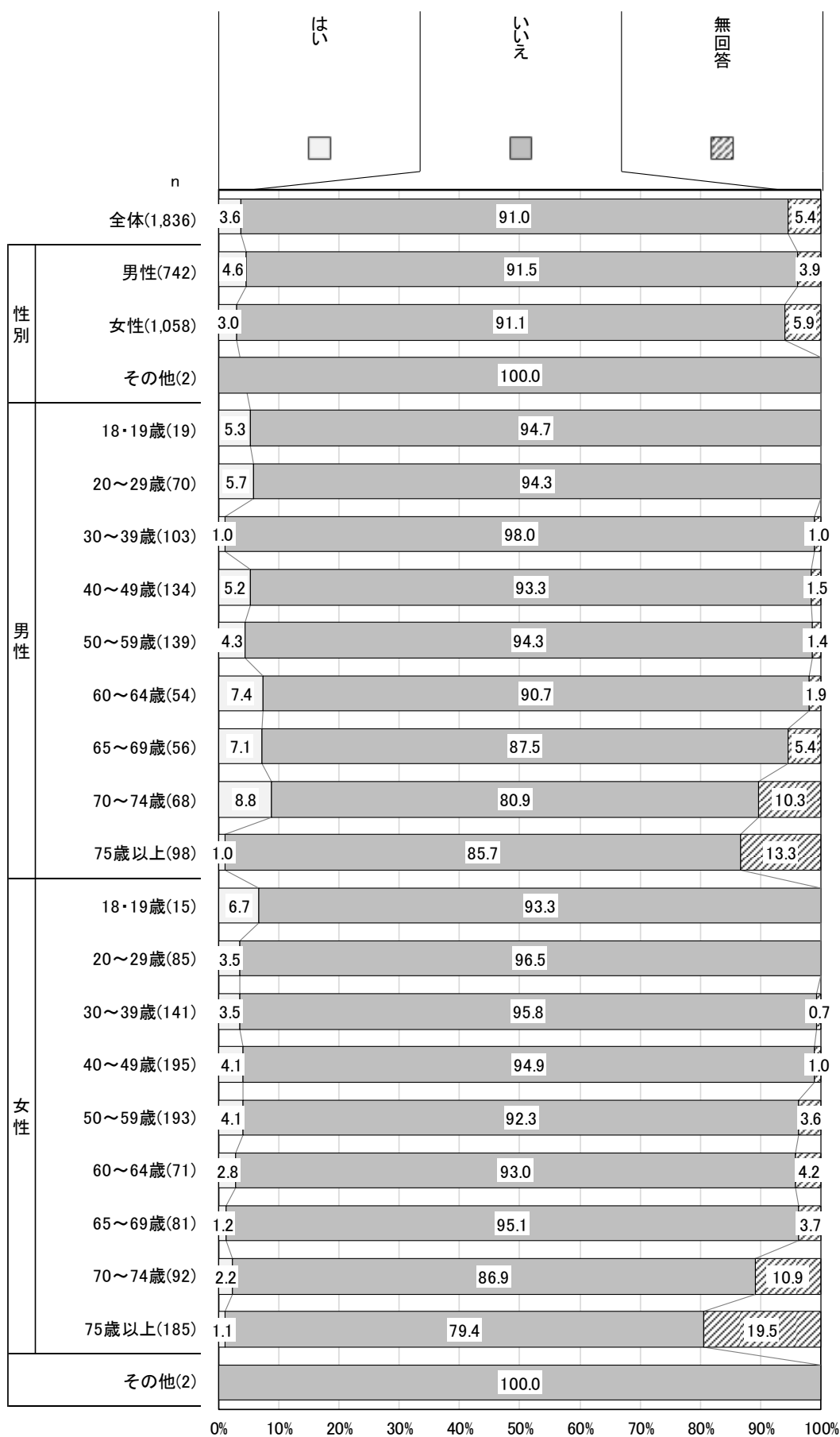


【⑥ 自宅または事業所に太陽光パネルを設置している／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「いいえ」が7割以上と「はい」よりも高くなっている。一方、「はい」は1割未満となっている。(図表9-7)



<図表9-7>⑥ 自宅または事業所に太陽光パネルを設置している／性・年齢別

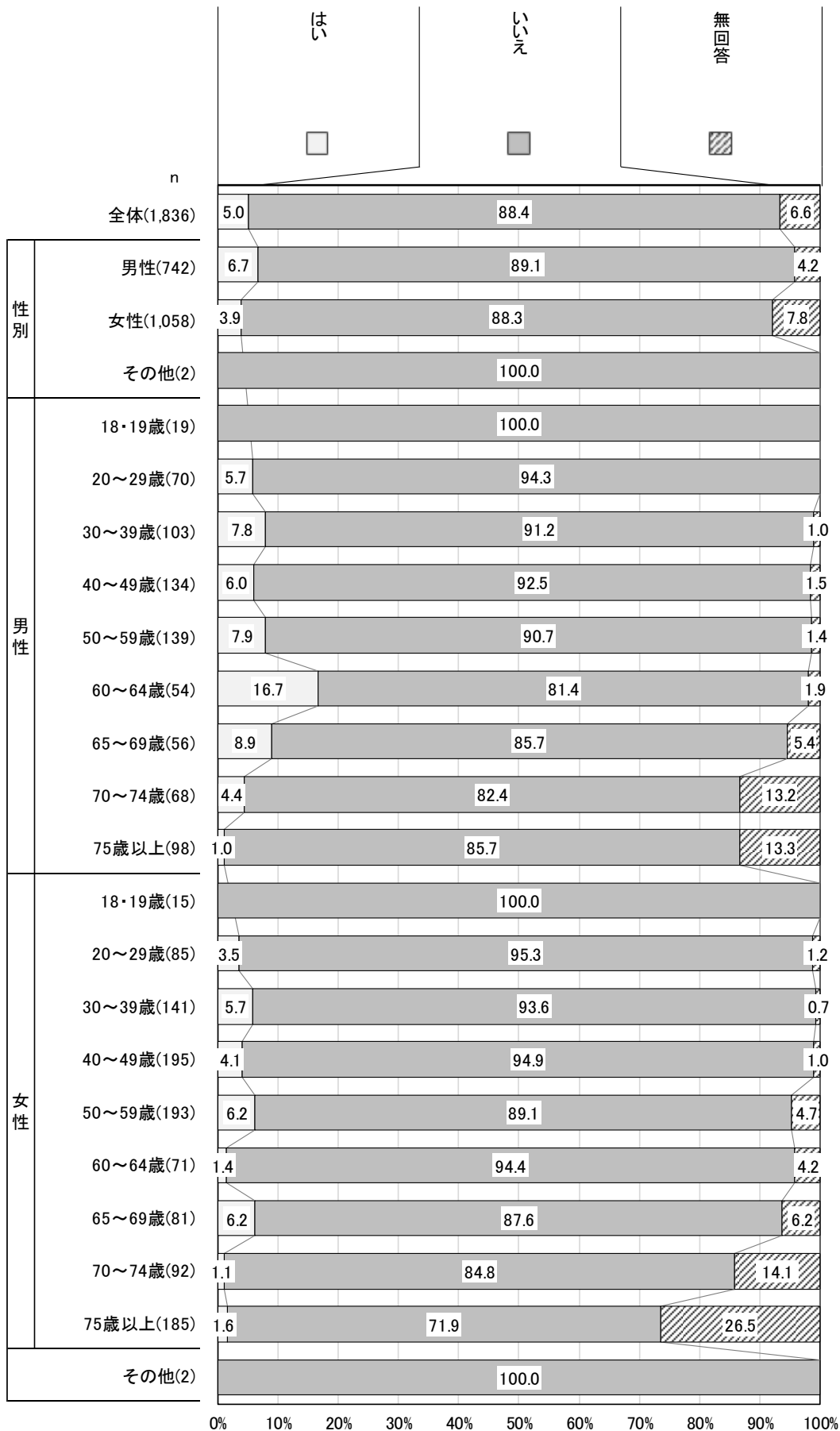


【⑦ 自宅または事業所で燃料電池自動車または電気自動車(ハイブリッド車を除く)を使用している／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「いいえ」が7割以上と「はい」よりも高くなっている。

男性-60～64歳を除いた男性・女性ともに全ての年齢で「はい」は1割未満となっている。男性-60～64歳は「はい」が16.7%で1割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表9-8)

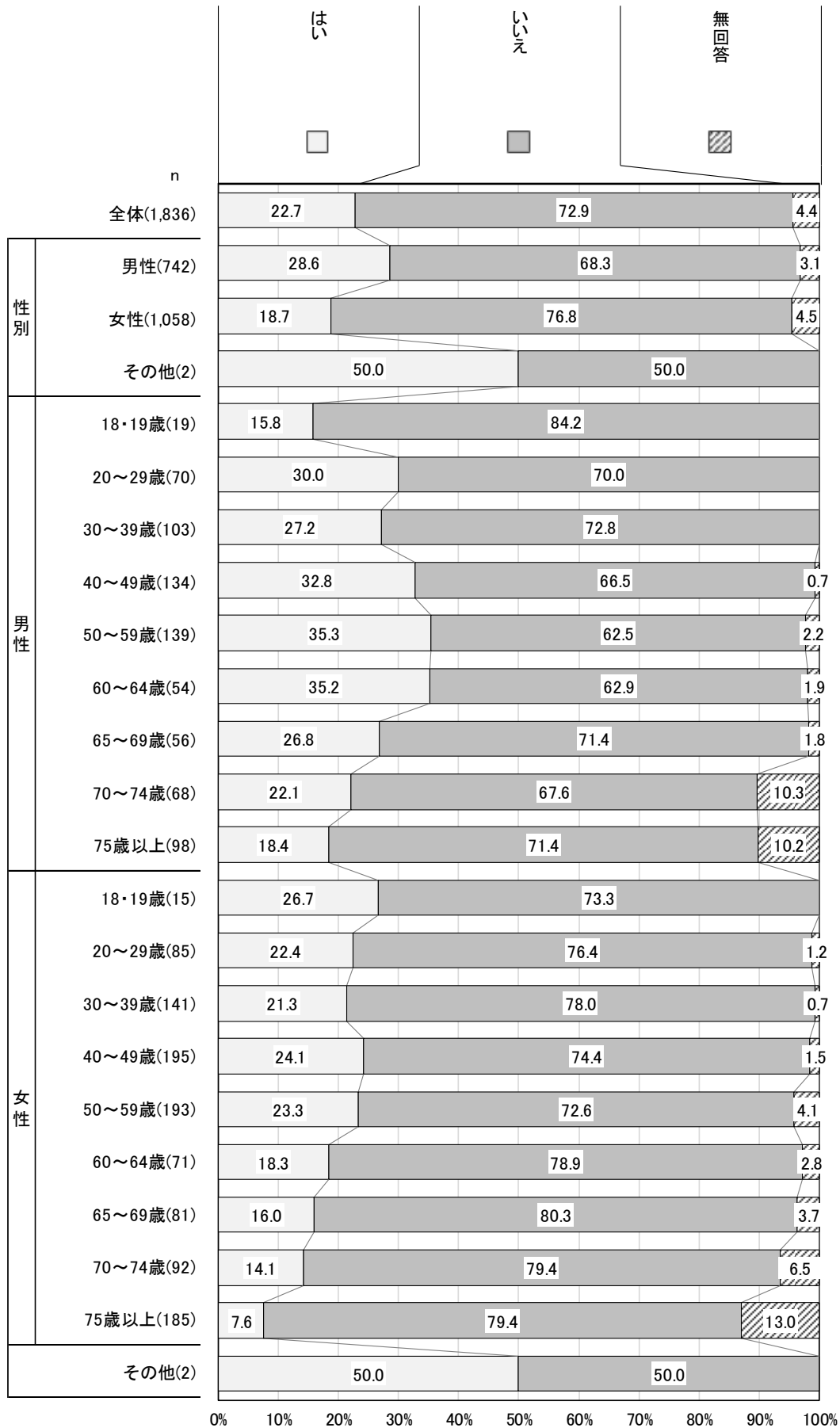
＜図表9-8＞⑦ 自宅または事業所で燃料電池自動車または電気自動車(ハイブリッド車を除く)を使用している／性・年齢別



【⑧ 区内に水素ステーションがあることを知っている／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「いいえ」が「はい」よりも高くなっている。「はい」は男性-20～29 歳、男性-40～49 歳から 60～64 歳で3割以上となっている。(図表9-9)

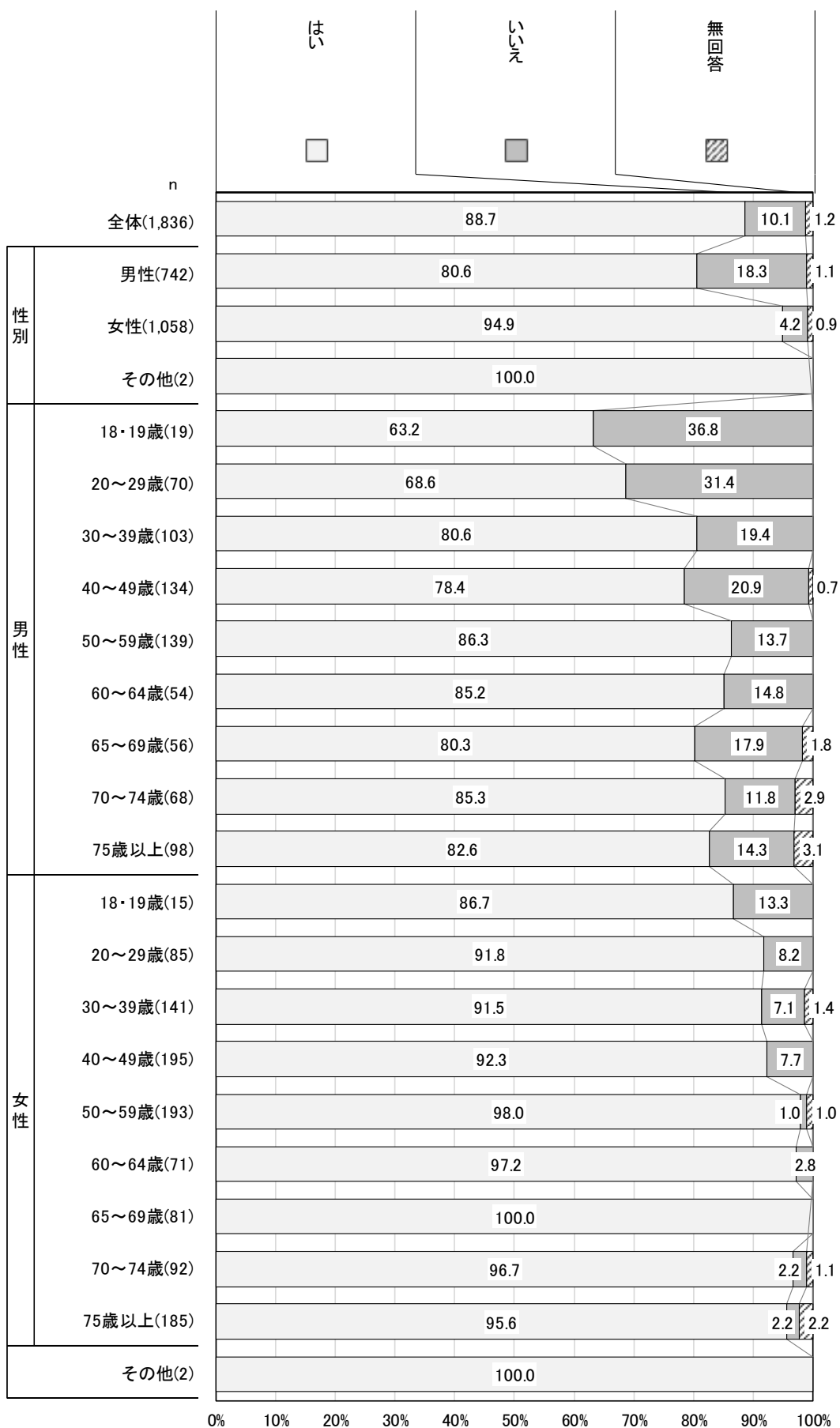
<図表9-9>⑧ 区内に水素ステーションがあることを知っている／性・年齢別



【⑨ 買い物際にはレジ袋削減のため買い物袋(マイバッグ)を持参している / 性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「はい」が「いいえ」よりも高くなっているが、「はい」は男性が 80.6% に対して、女性が 94.9% と 10 ポイント以上女性の方が高くなっている。男性-20～29 歳以下で「いいえ」は3割を超えている。(図表9-10)

<図表9-10>⑨ 買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋(マイバッグ)を持参している / 性・年齢別

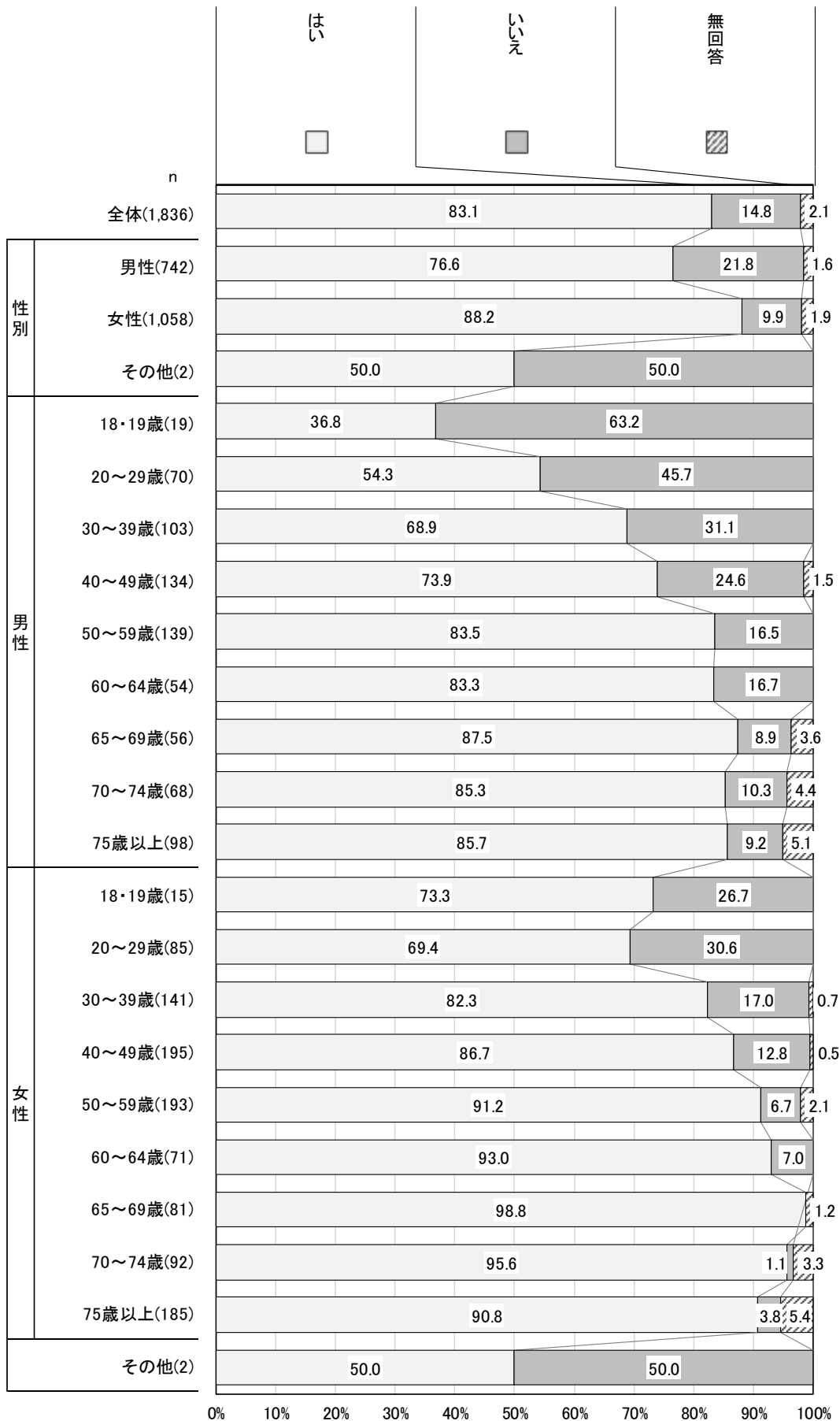


【⑩ 生ごみの水切りを行っている／性・年齢別】

「はい」は男性が 76.6%に対して、女性が 88.2%と 10 ポイント以上女性の方が高くなっているが、男性-18・19 歳を除いた、男性・女性ともに全ての年齢で「はい」が5割以上となっている。その中でも、女性-50～59 歳以上は9割を超えている。一方、男性-20～29 歳以下で「いいえ」は4割を超えている。(図表9-11)



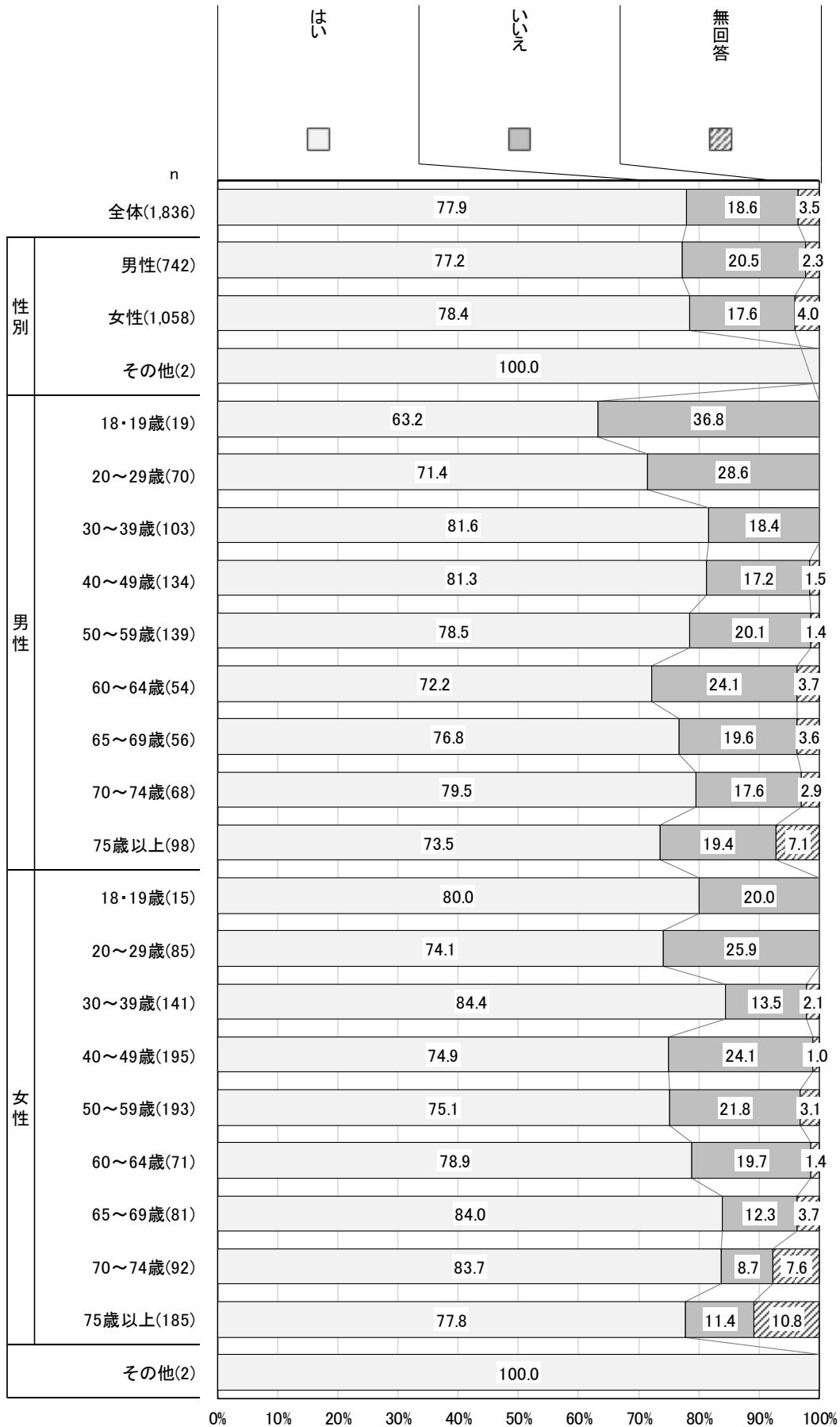
<図表9-11>⑩ 生ごみの水切りを行っている／性・年齢別



【⑪ 修理できるものは修理して使うようにしている／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「はい」が「いいえ」よりも高くなっている。(図表9-12)

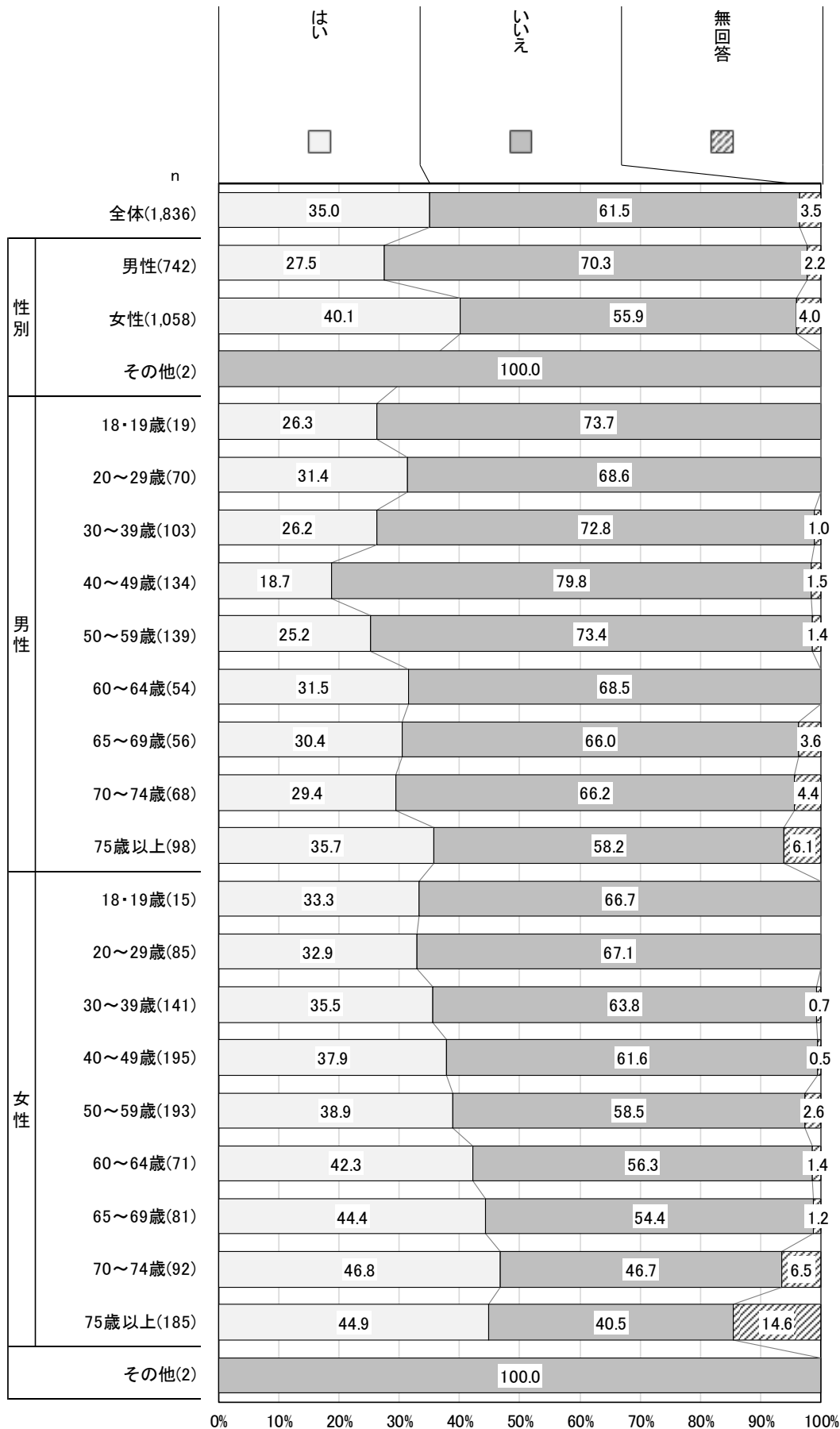
<図表9-12>① 修理できるものは修理して使うようにしている／性・年齢別



【⑫ 割り箸やペットボトルなどの使い捨て商品は使わないようにしている／性・年齢別】

「はい」は男性が 27.5%に対して、女性が 40.1%と 10 ポイント以上女性の方が高くなっているが、女性-70～74 歳以上を除いた、男性・女性ともに全ての年齢で「いいえ」が5割以上となっている。(図表9-13)

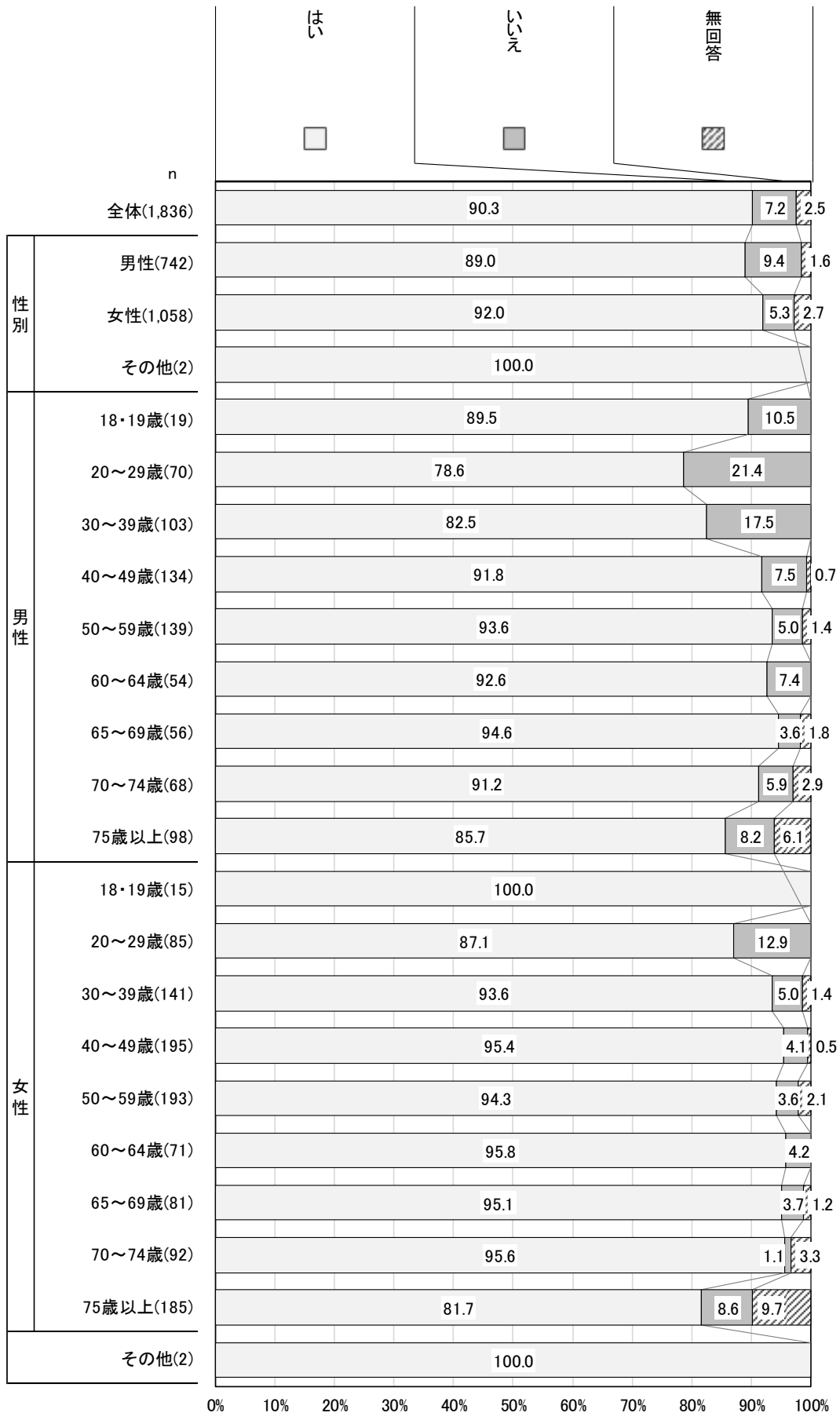
<図表9-13>⑫ 割り箸やペットボトルなどの使い捨て商品は使わないようにしている／性・年齢別



【⑬ 食品ロスという言葉や取り組みを知っている／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「はい」が7割以上と「いいえ」よりも高くなっている。男性-20～29歳で「いいえ」は2割を超えている。(図表9-14)

<図表9-14>⑬ 食品ロスという言葉や取り組みを知っている／性・年齢別

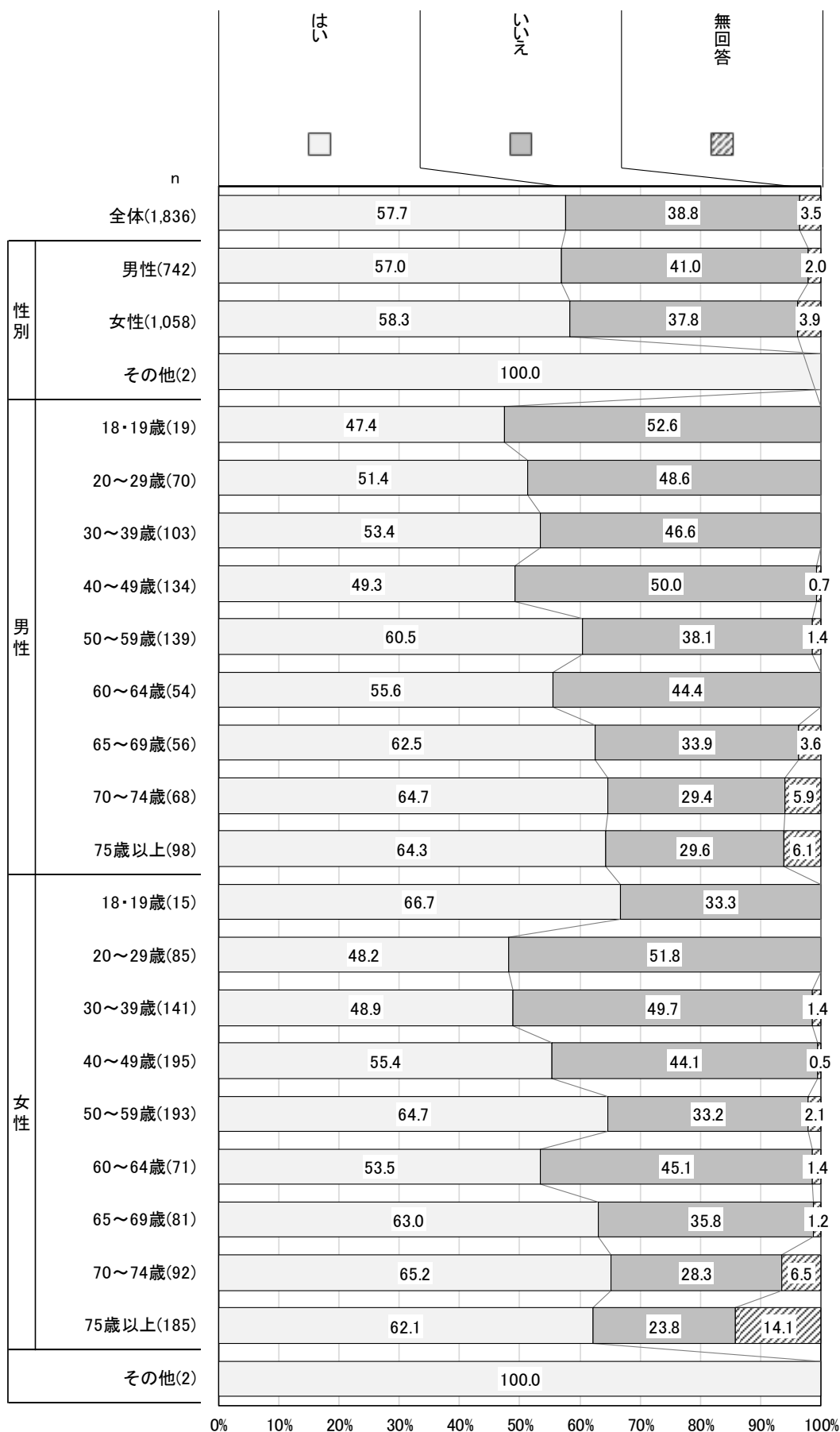


【⑭ まだ食べられるのに捨てられている食品を減らすように何らかの取り組みをしている／性・年齢別】

男性-18・19 歳、男性-40～49 歳、女性-20～29 歳から 30～39 歳を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「はい」が5割以上となっている。しかし、男性-20～29 歳以下、男性-40～49 歳、女性-20～29 歳から 30～39 歳は「はい」と「いいえ」の数値の差が5%以内と大きな差は見られない。(図表9-15)



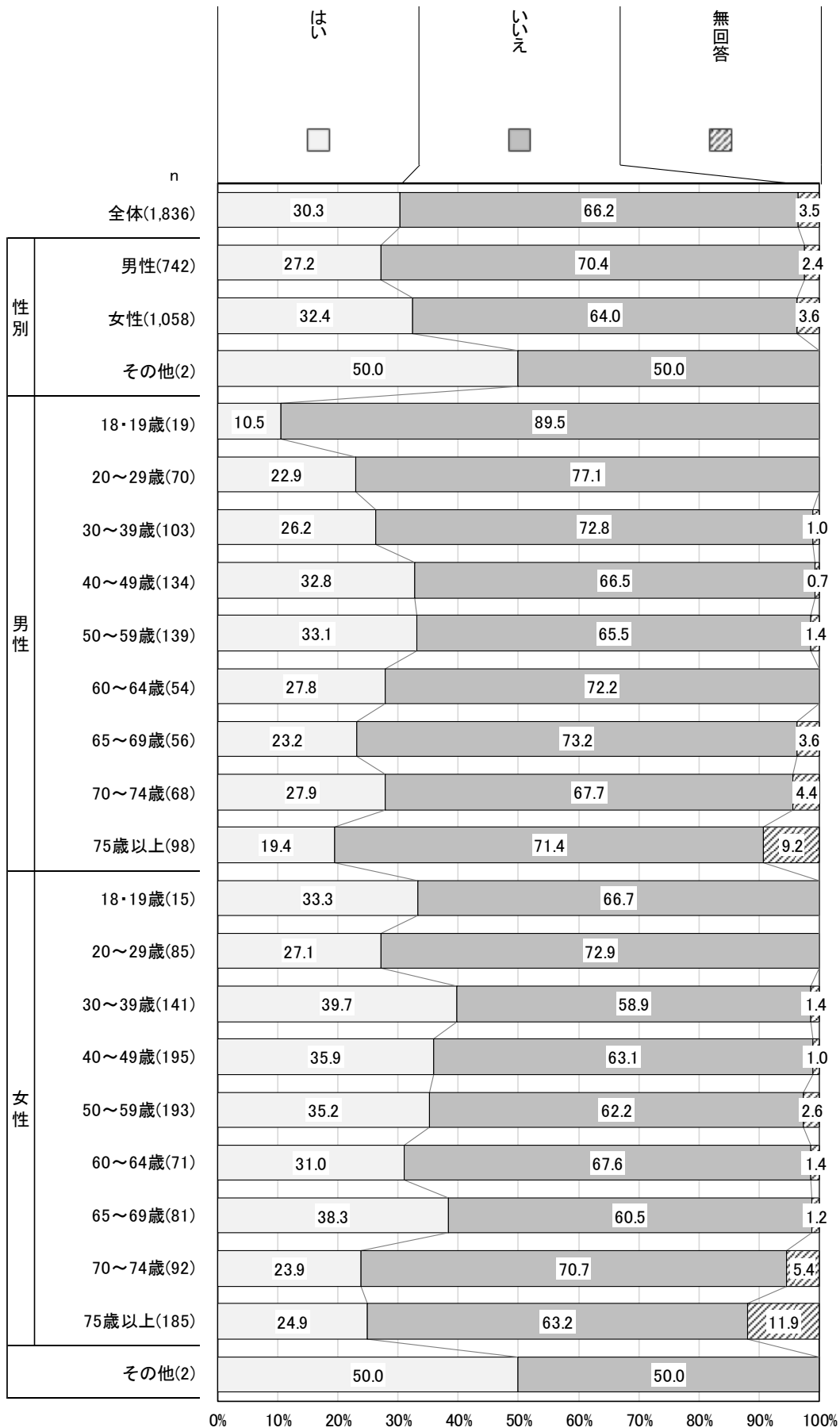
<図表9-15>⑭ まだ食べられるのに捨てられている食品を減らすように何らかの取り組みをしている／性・年齢別



【⑮ リサイクルショップを利用している／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「いいえ」が5割以上となっている。(図表9-16)

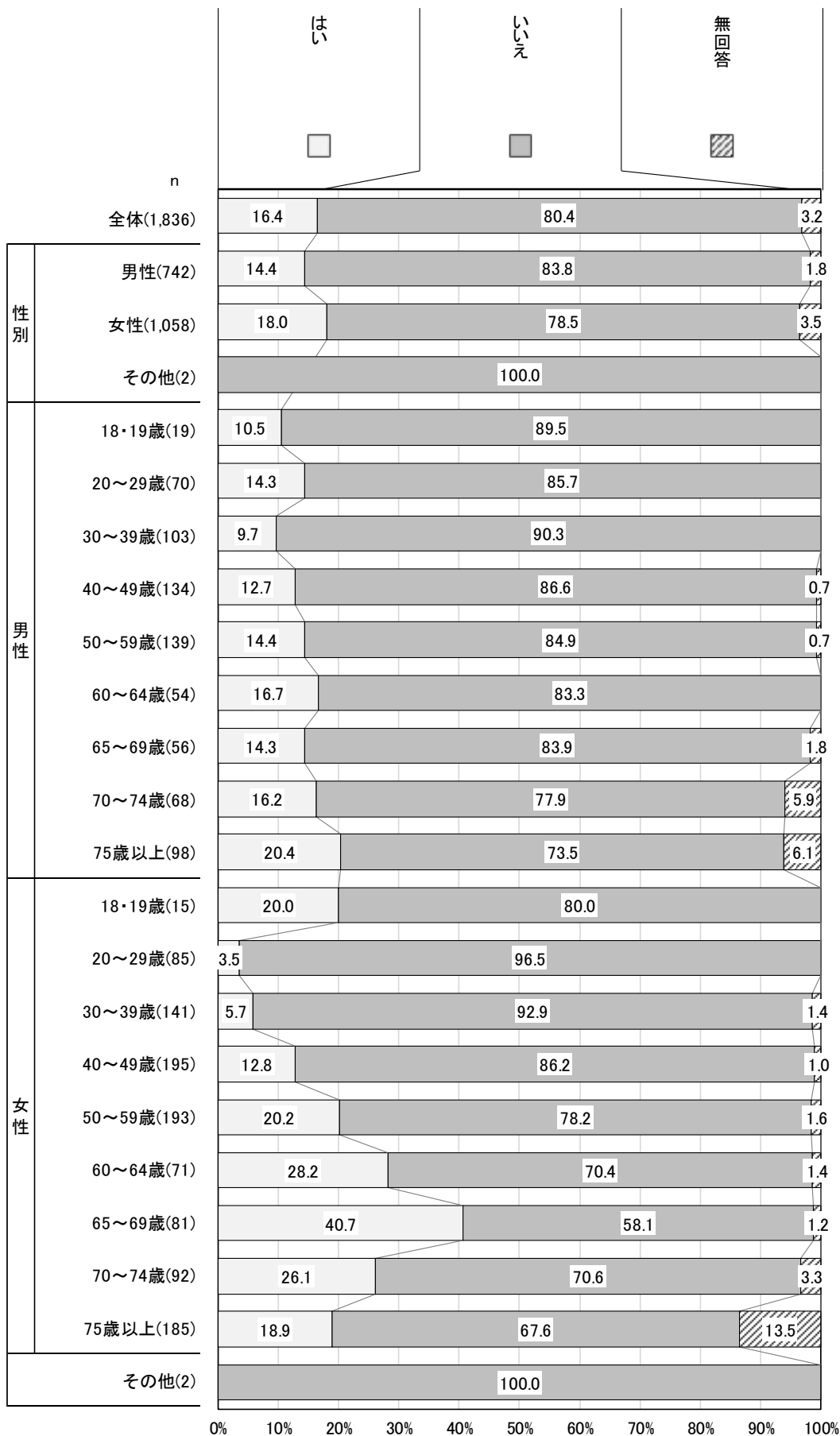
<図表9-16>⑮ リサイクルショップを利用している／性・年齢別



【⑩ 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「いいえ」が5割以上となっている。女性-65～69歳は「はい」が40.7%と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表9-17)

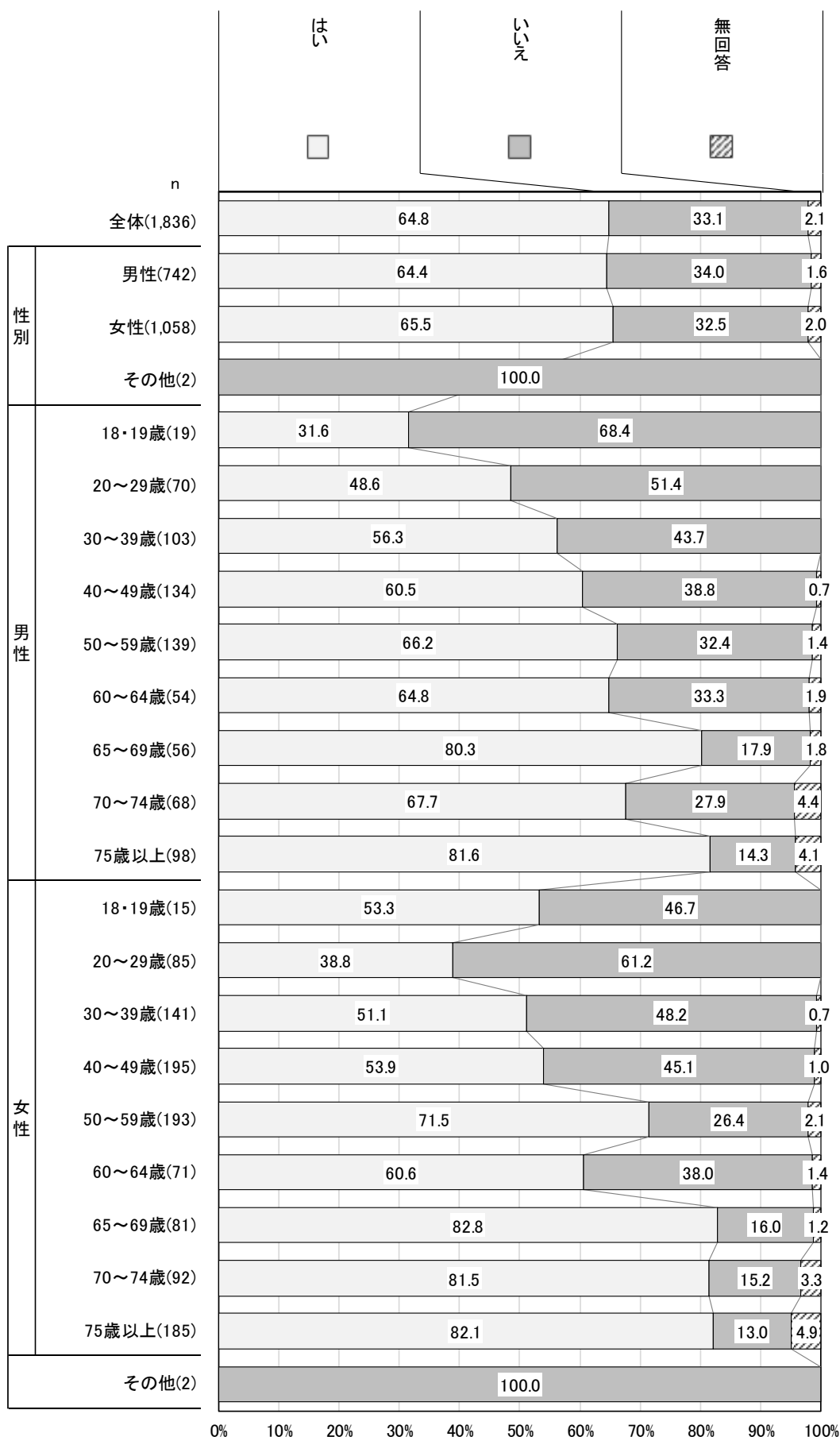
<図表9-17>⑬ 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている／性・年齢別



【⑰ 古紙などの資源は、町会・自治会などで行う集団回収に出すようにしている／性・年齢別】

男性-20～29 歳以下、女性-20～29 歳を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「はい」が5割以上となっている。「いいえ」は男性-20～29 歳以下で5割、女性-20～29 歳で6割を超えている。(図表9-18)

<図表9-18>⑰ 古紙などの資源は、町会・自治会などで行う集団回収に出すようにしている／性・年齢別



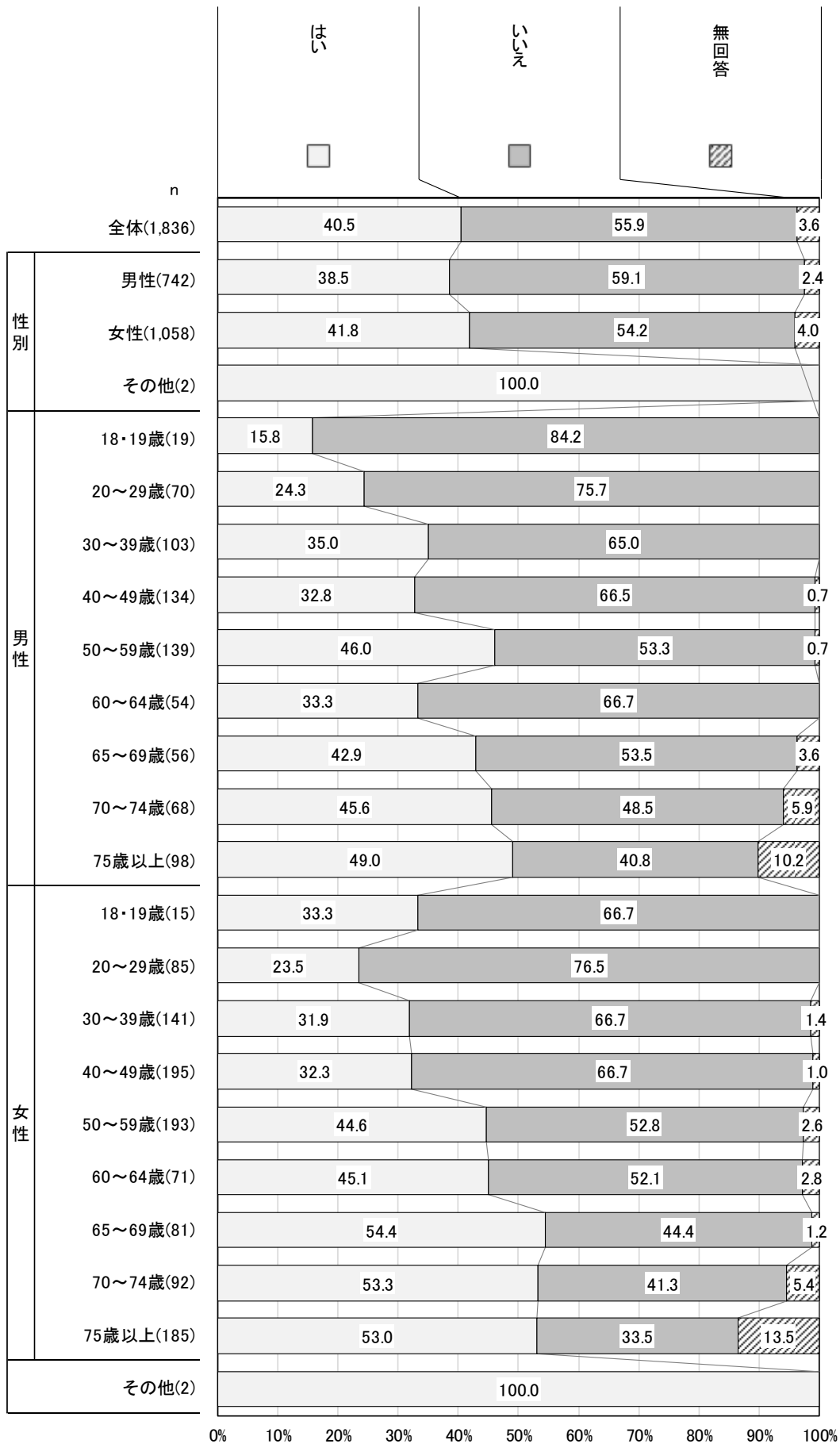
【⑱ どのような紙が「雑がみ」としてリサイクルできるか知っている／性・年齢別】

男性-70～74歳以上、女性-65～69歳以上を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「いいえ」が5割以上となっている。「はい」は男性-50～59歳、男性-65～69歳以上、女性-50～59歳以上で4割を超えている。

(図表9-19)



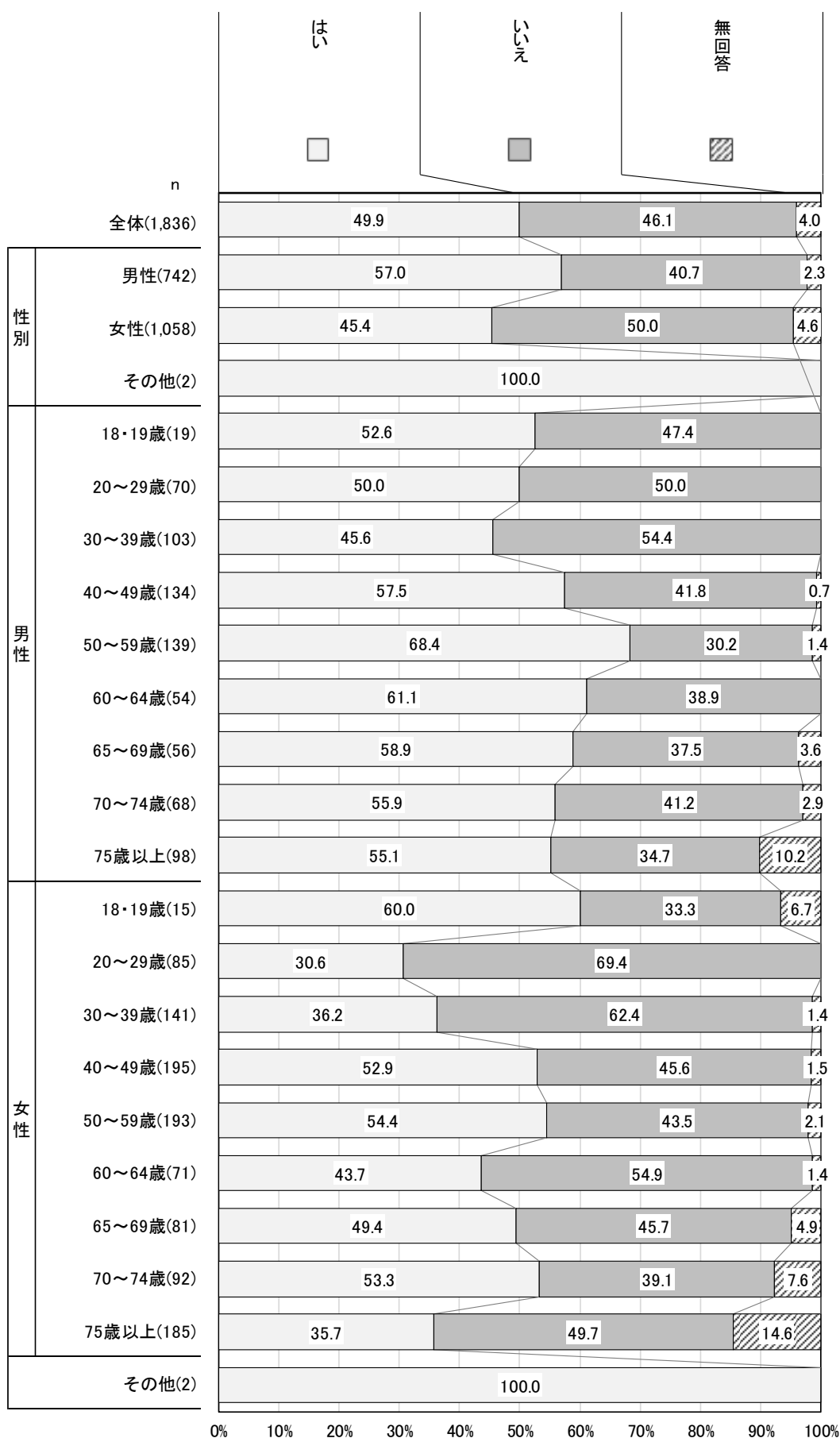
<図表9-19>⑱ どのような紙が「雑がみ」としてリサイクルできるか知っている／性・年齢別



【⑱ マイクロプラスチック問題という言葉や取り組みを知っている／性・年齢別】

「はい」は男性が 57.0%に対して、女性が 45.4%と男性の方が 10 ポイント以上高くなっている。男性は 30～39 歳を除いて、「はい」が5割以上となっている。女性は 20～29 歳から 30～39 歳で「いいえ」が6割以上となっている。(図表9-20)

<図表9-20>⑬ マイクロプラスチック問題という言葉や取り組みを知っている／性・年齢別

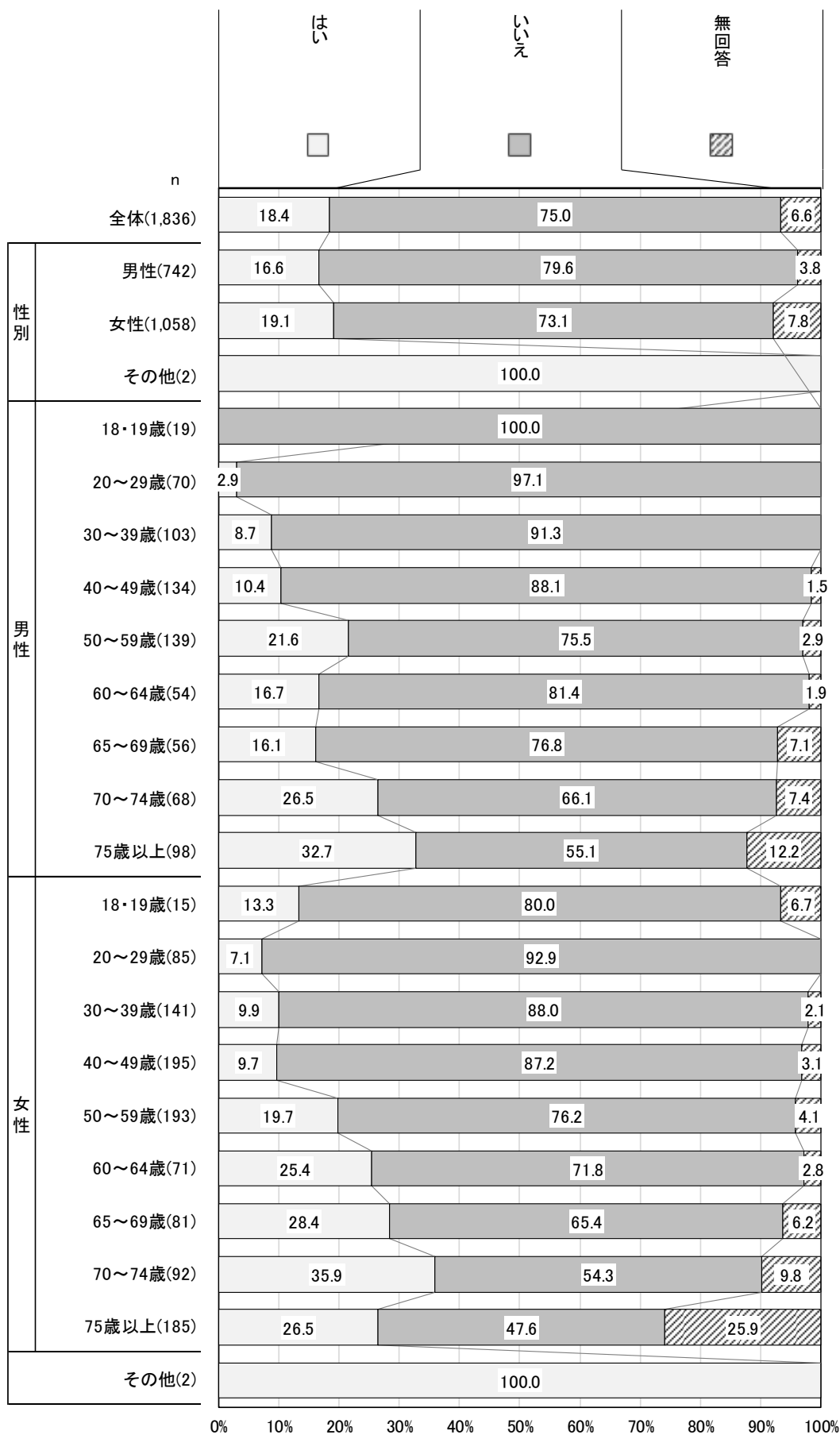


【⑳ 上記の他に省エネ・省資源やごみ減量・リサイクルなどにつながる、環境に配慮した取り組みを行っている／性・年齢別】

男性-70～74 歳以上、女性-65～69 歳以上を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「いいえ」が7割以上となっている。

一方、「はい」は男性-75 歳以上で 32.7%、女性-70～74 歳で 35.9%と他の年齢に比べて高くなっている。女性は 20～29 歳から 70～74 歳の間で年齢が上がるにつれて、「はい」の割合がおおむね高くなる傾向にある。(図表9-21)

＜図表9-21＞⑳ 上記の他に省エネ・省資源やごみ減量・リサイクルなどにつながる、環境に配慮した取り組みを行っている／性・年齢別



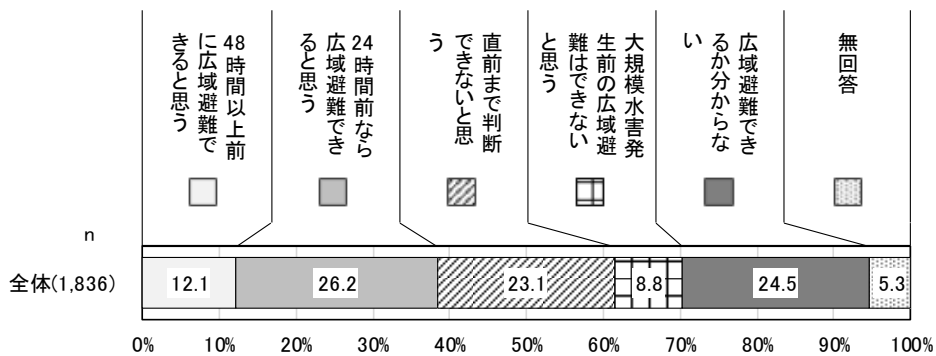
## 10. 災害対策について

### (1) 大規模水害時における江戸川区外の浸水しない地域への広域避難

◇「24時間前なら広域避難できると思う」が26.2%を占めるが、「直前まで判断できないと思う」が23.1%、「広域避難できるか分からない」が24.5%となっている。

問17 大規模水害時にあなたは江戸川区外の浸水しない地域へ広域避難できますか。(○は1つ)

<図表 10-1> 大規模水害時における江戸川区外の浸水しない地域への広域避難



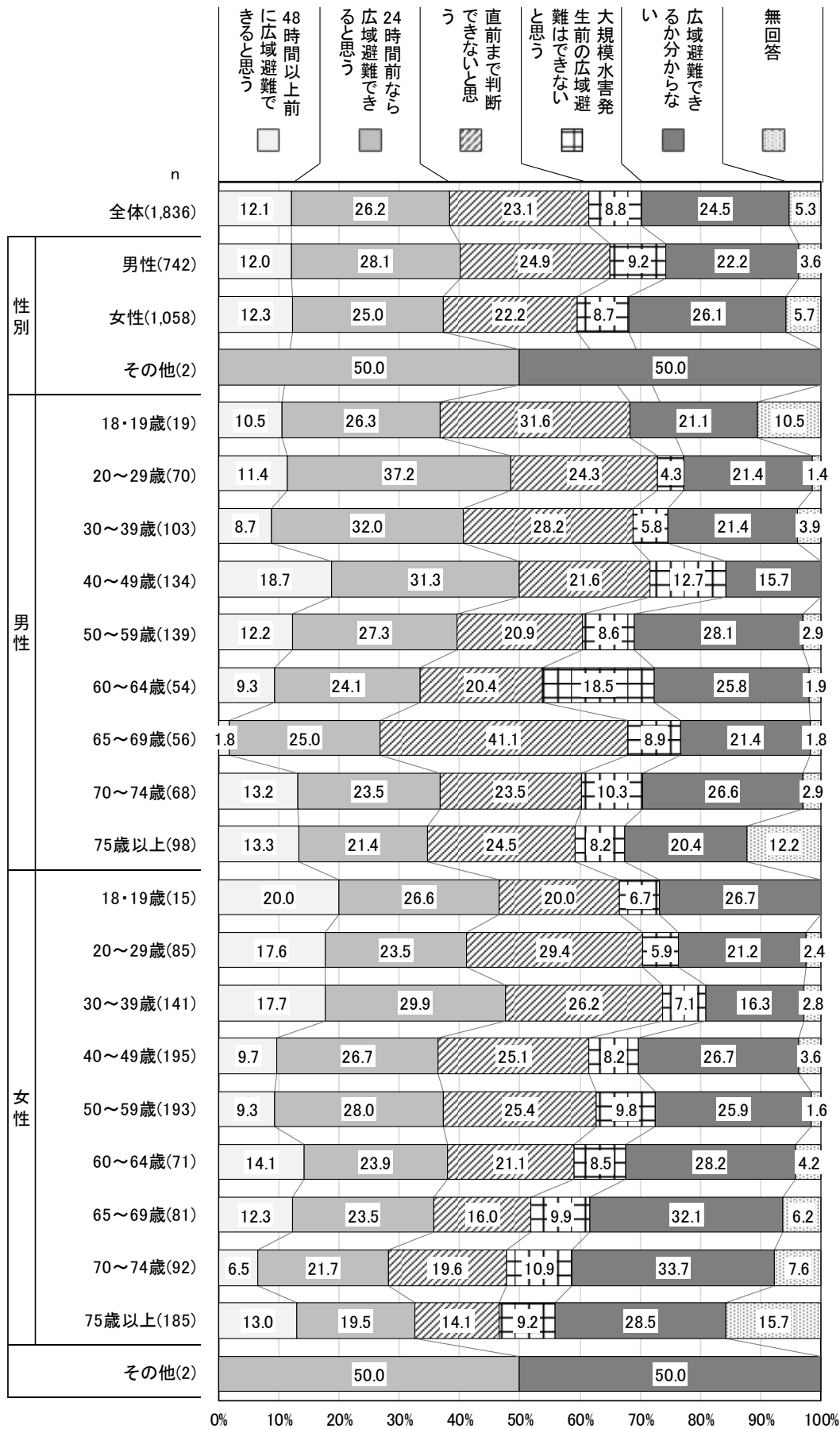
「直前まで判断できないと思う」が23.1%、「大規模水害発生前の広域避難はできないと思う」が8.8%、「広域避難できるか分からない」が24.5%となっている。

以上のように、広域避難ができない可能性のある方が5割を超えている。(図表 10-1)

#### 【性・年齢別】

「直前まで判断できないと思う」と「大規模水害発生前の広域避難はできないと思う」と「広域避難できるか分からない」を合計した広域避難ができない可能性のある方は、女性-30～39歳を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で5割以上となっているが、女性-30～39歳も49.6%となっている。その中でも、男性-65～69歳は71.4%と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表 10-2)

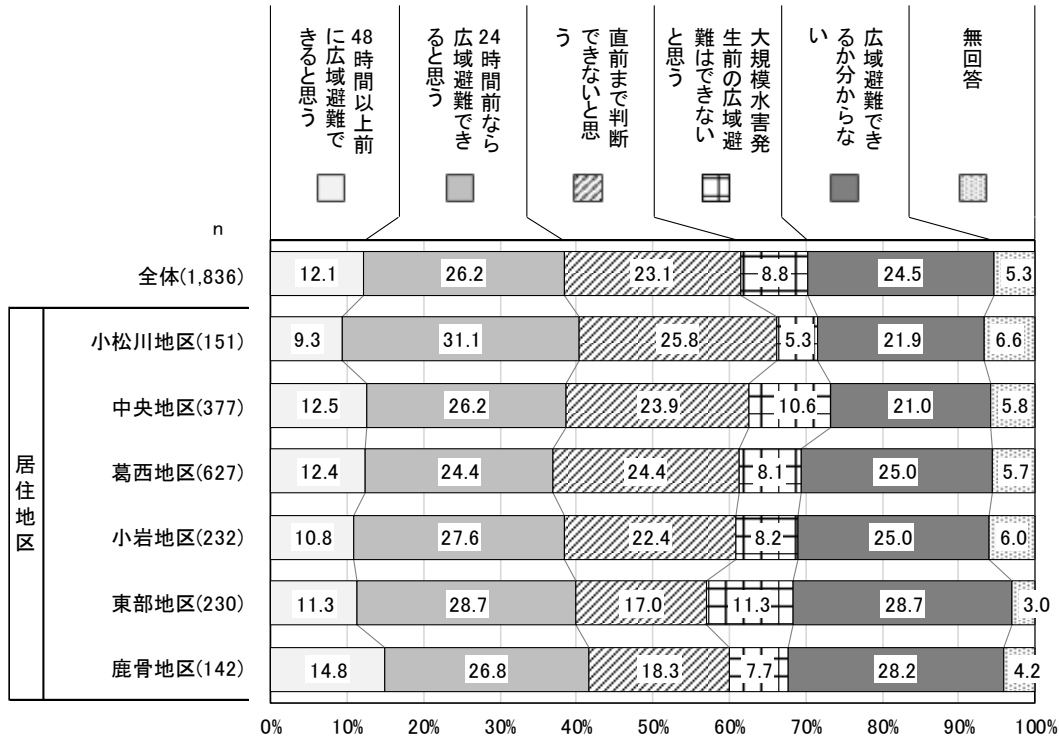
<図表 10-2>大規模水害時における江戸川区外の浸水しない地域への広域避難／性・年齢別



【居住地区別】

「直前まで判断できないと思う」と「大規模水害発生前の広域避難はできないと思う」と「広域避難できるか分からない」を合計した広域避難ができない可能性のある方は、全ての居住地区で5割を超えている。「広域避難できるか分からない」は全ての居住地区で2割台となっている。(図表 10-3)

＜図表 10-3＞大規模水害時における江戸川区外の浸水しない地域への広域避難／居住地区別



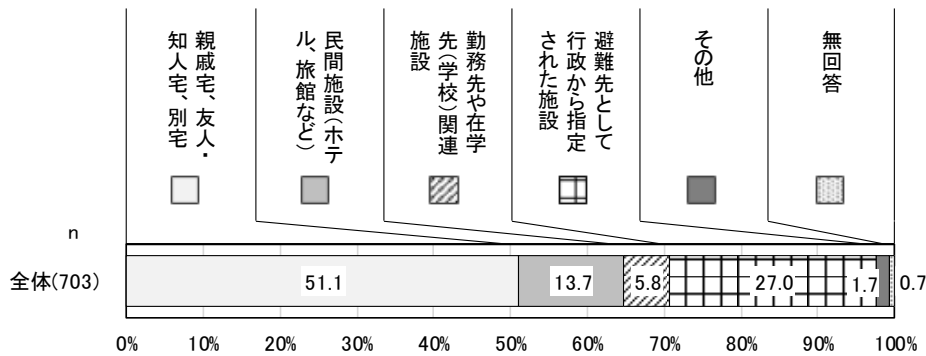


(1-1) 江戸川区外の避難先

◇「親戚宅、友人・知人宅、別宅」が51.1%を占める。

問17-1 <問17で「1 48時間以上前に広域避難できると思う」または「2 24時間前なら広域避難できると思う」と答えた方にお尋ねします。>大規模水害時に広域避難する場合、あなたは江戸川区外のどこへ避難しますか。(〇は1つ)

<図表 10-4>江戸川区外の避難先



「親戚宅、友人・知人宅、別宅」(51.1%)、「避難先として行政から指定された施設」(27.0%)、「民間施設(ホテル、旅館など)」(13.7%)の順に高くなっている。(図表 10-4)

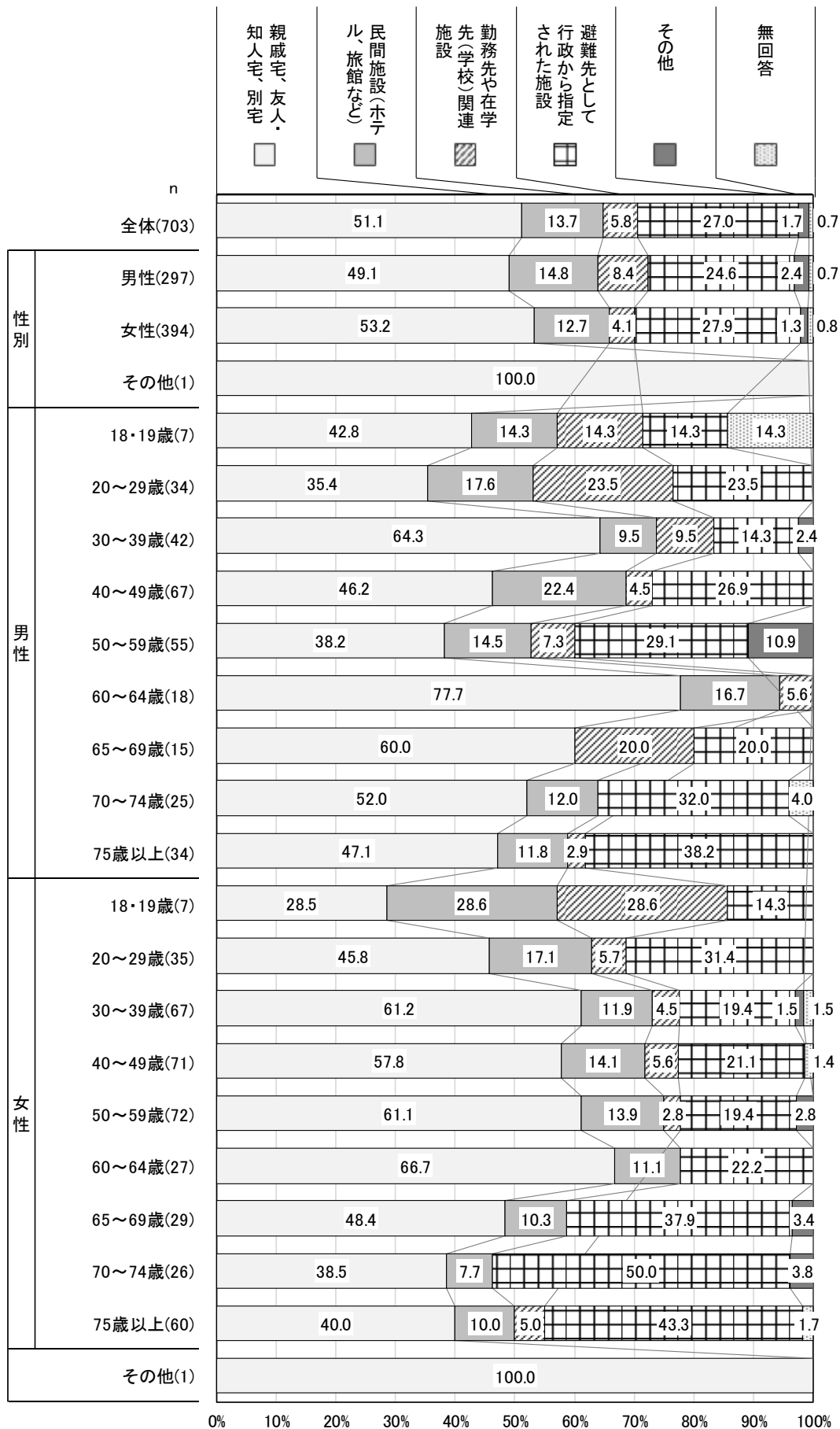
【性・年齢別】

女性-18・19歳、女性-70～74歳以上を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「親戚宅、友人・知人宅、別宅」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～7割台と数値に差がある。

男性は、20～29歳で「勤務先や在学先(学校)関連施設」が23.5%と他の年齢に比べて高くなっている。40～49歳は「民間施設(ホテル、旅館など)」が22.4%と他の年齢に比べて高くなっている。

女性は、70～74歳以上で「避難先として行政から指定された施設」が4割を超え、他の年齢に比べて高くなっている。(図表 10-5)

<図表 10-5>江戸川区外の避難先／性・年齢別



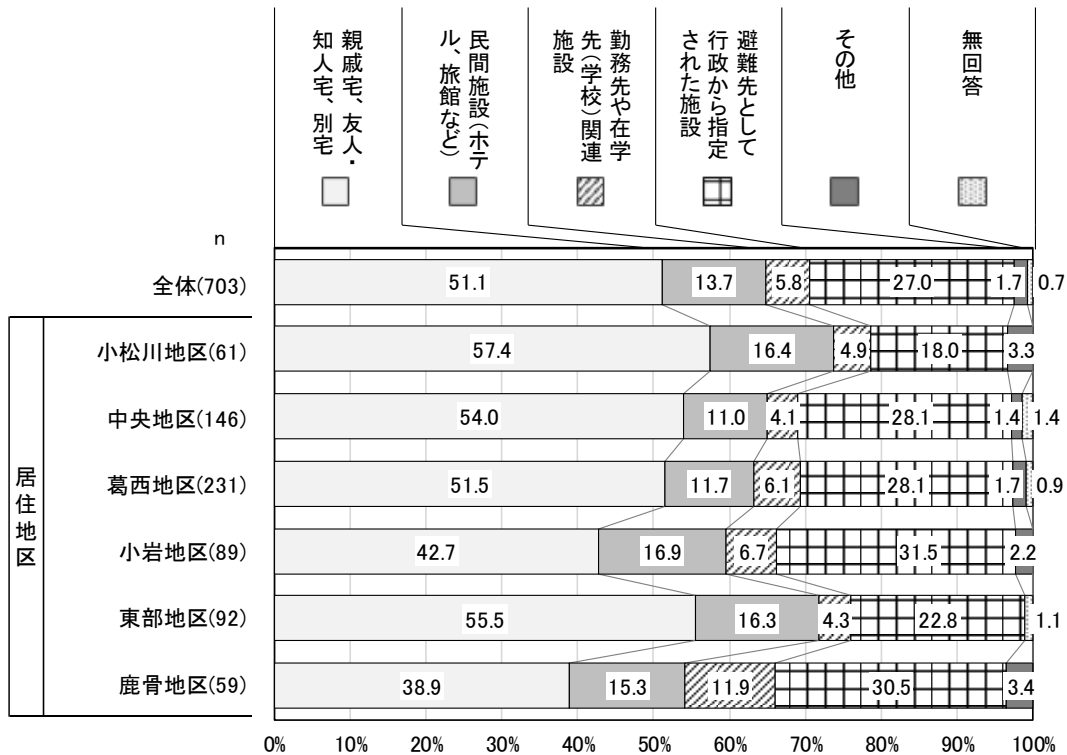
【居住地区別】

全ての居住地区で「親戚宅、友人・知人宅、別宅」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～5割台と数値に差がある。一方、「民間施設(ホテル、旅館など)」は1割台となっている。

「避難先として行政から指定された施設」は小松川地区で18.0%と他の居住地区よりも低くなっている。

(図表 10-6)

＜図表 10-6＞江戸川区外の避難先／居住地区別

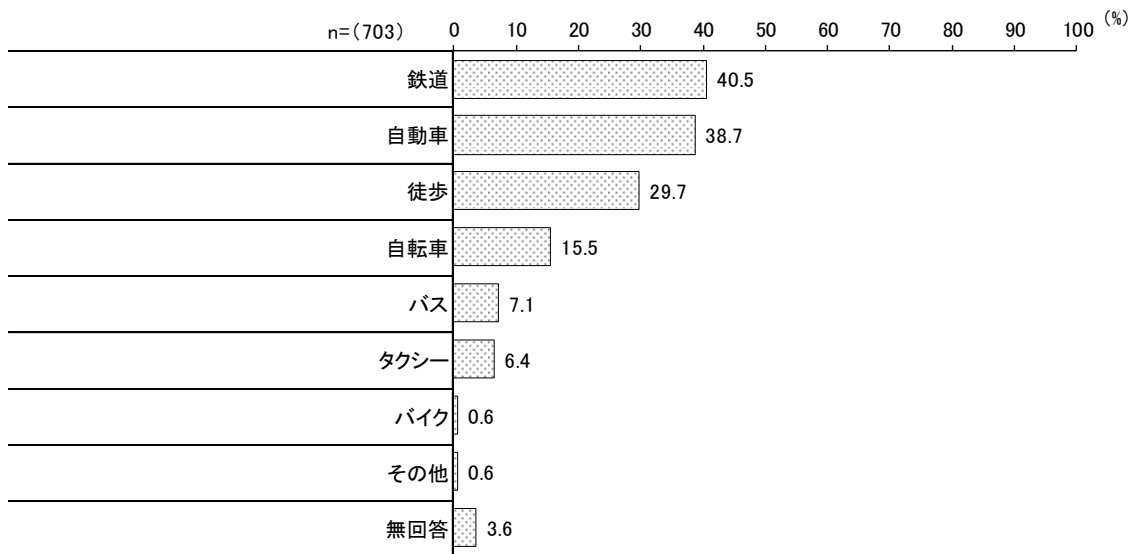


(1-2) 避難する手段

◇「鉄道」が40.5%と高い。

問17-2 <問17で「1 48時間以上前に広域避難できると思う」または「2 24時間前なら広域避難できると思う」と答えた方にお尋ねします。>問17-1で選択された広域避難先について、どのような手段で避難しますか。(〇は2つまで)

<図表 10-7> 避難する手段

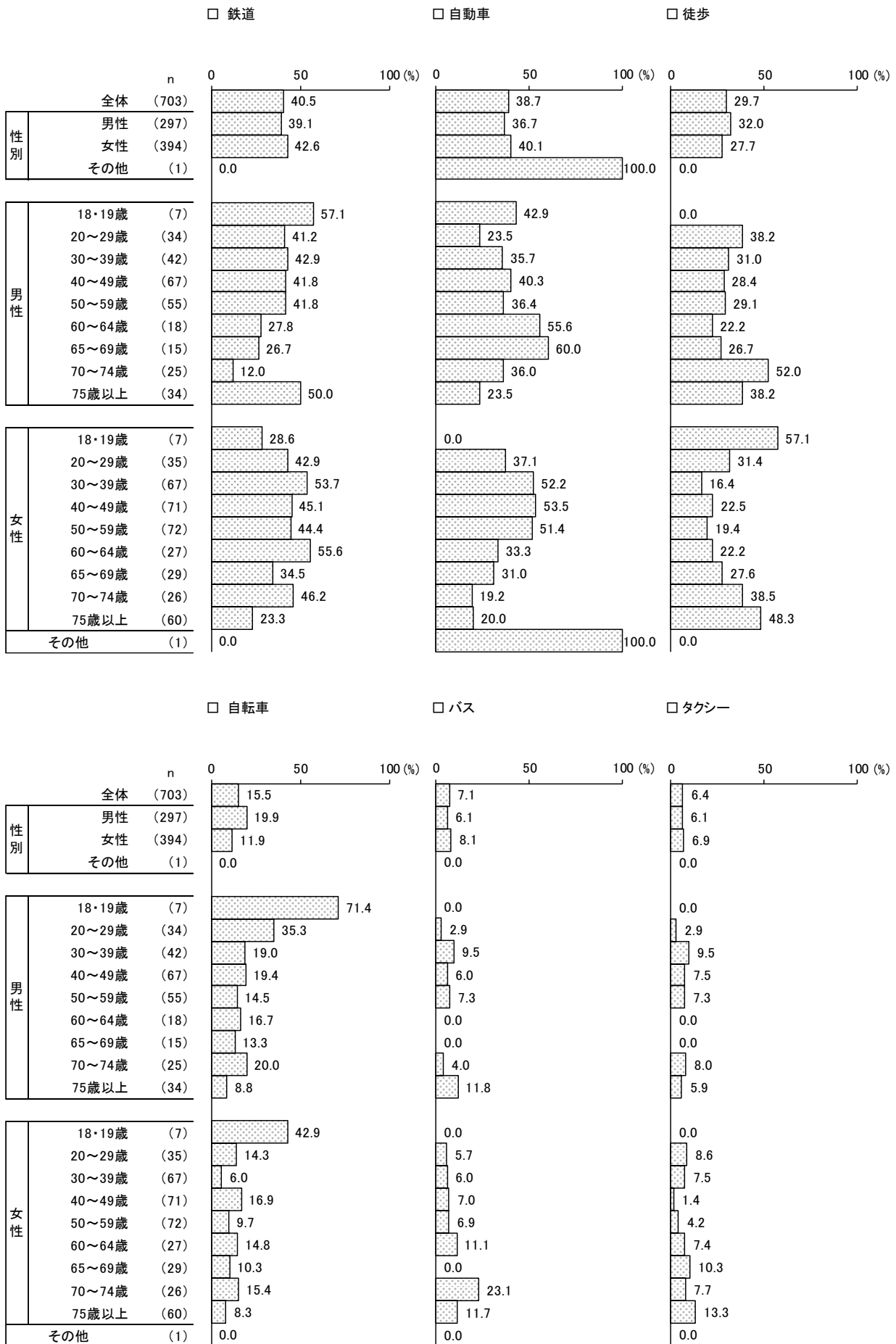


「鉄道」(40.5%)、「自動車」(38.7%)、「徒歩」(29.7%)の順に高くなっている。一方、「バス」は7.1%、「タクシー」は6.4%、「バイク」は0.6%となっている。(図表 10-7)

【性・年齢別】

男性-20~29歳から50~59歳、男性-75歳以上、女性-20~29歳から30~39歳、女性-60~64歳から70~74歳で「鉄道」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。「自動車」は女性-40~49歳から50~59歳で5割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。「徒歩」は女性-75歳以上で48.3%と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。(図表 10-8)

<図表 10-8>避難する手段(上位6項目)／性・年齢別

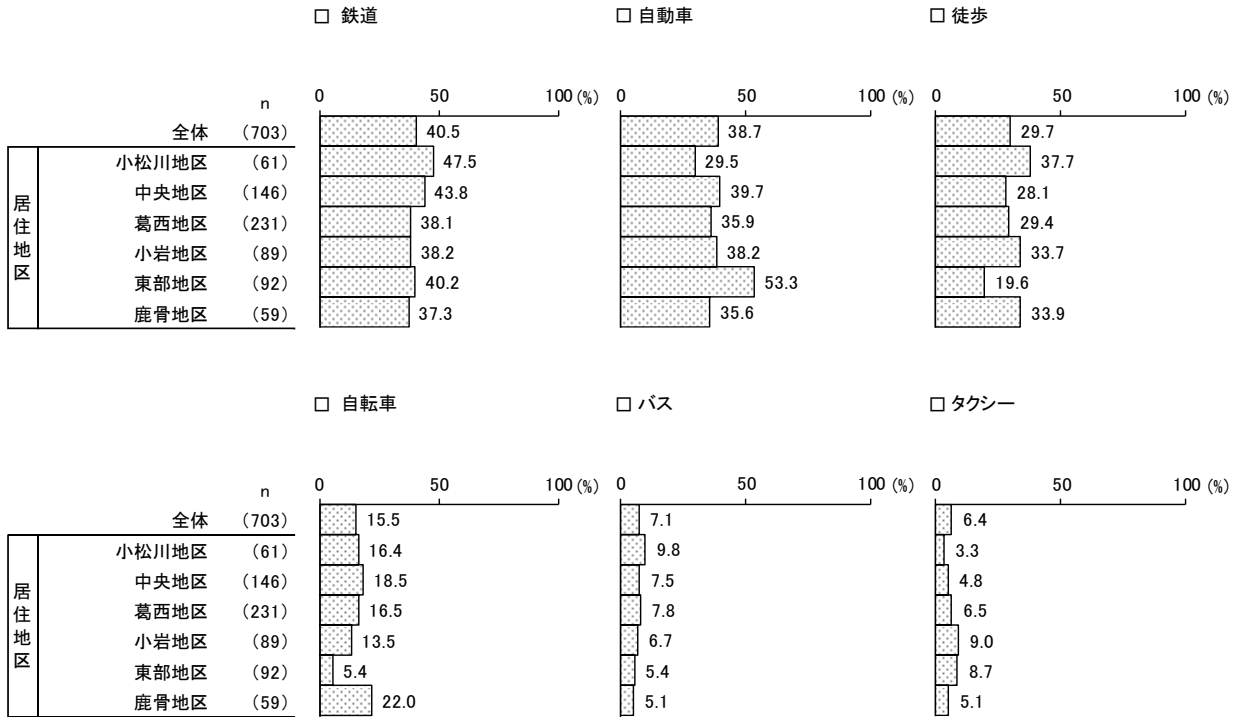


【居住地区別】

「鉄道」は東部地区を除いて、全ての居住地区で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

東部地区は「自動車」が53.3%と他の居住地区に比べて高くなっており、「徒歩」は19.6%、「自転車」は5.4%と低くなっている。以上のような点で居住地区別で避難手段の違いが特に見られる。(図表10-9)

<図表10-9> 避難する手段(上位6項目)／居住地区別

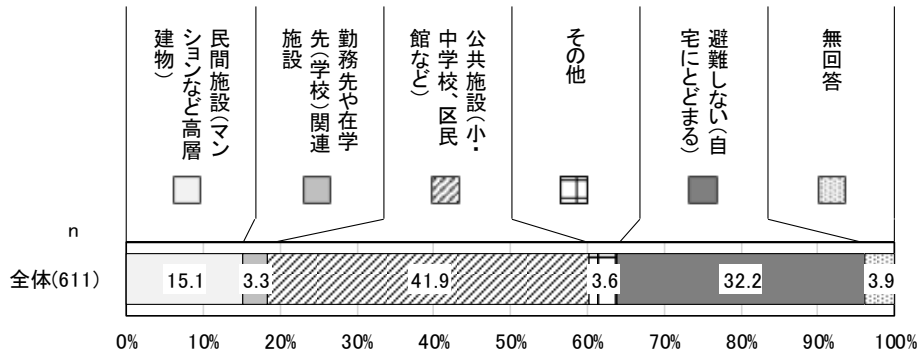


(1-3) 江戸川区内の避難

◇「公共施設(小・中学校、区民館など)」が41.9%を占める。

問17-3 <問17で「4 大規模水害発生前の広域避難はできないと思う」または「5 広域避難できるか分からない」と答えた方にお尋ねします。>大規模水害時に広域避難しない場合、あなたは江戸川区内のどこへ避難しますか。(〇は1つ)

<図表 10-10> 江戸川区内の避難

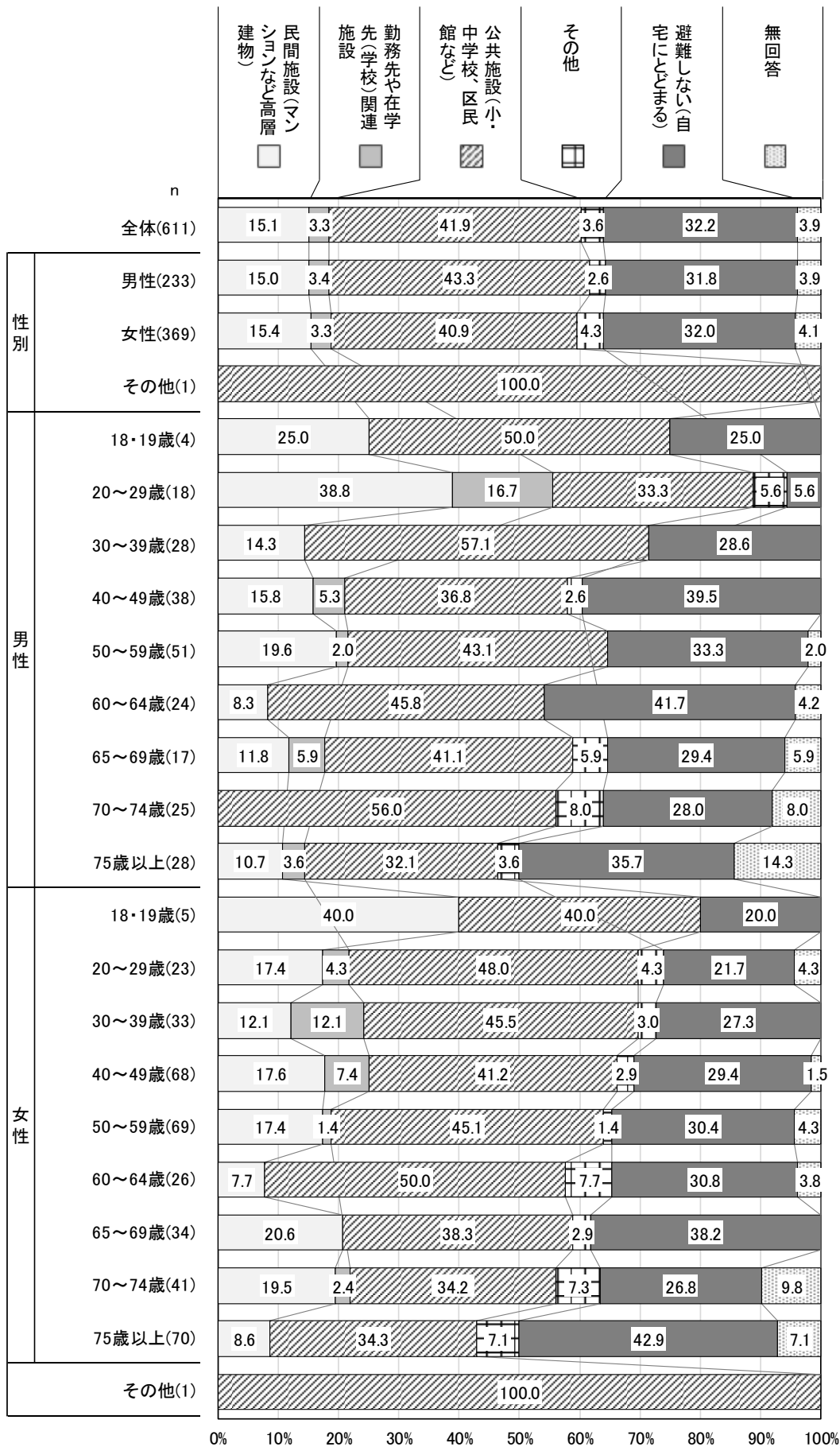


避難先としては、「民間施設(マンションなど高層建物)」は15.1%、「勤務先や在学先(学校)関連施設」は3.3%、「公共施設(小・中学校、区民館など)」は41.9%となっている。一方、「避難しない(自宅にとどまる)」は32.2%となっている。(図表 10-10)

【性・年齢別】

性別では、男女間で全ての選択肢の回答結果の差が5%以内であるため、大きな違いは見られない。性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。(図表 10-11)

<図表 10-11>江戸川区内の避難／性・年齢別



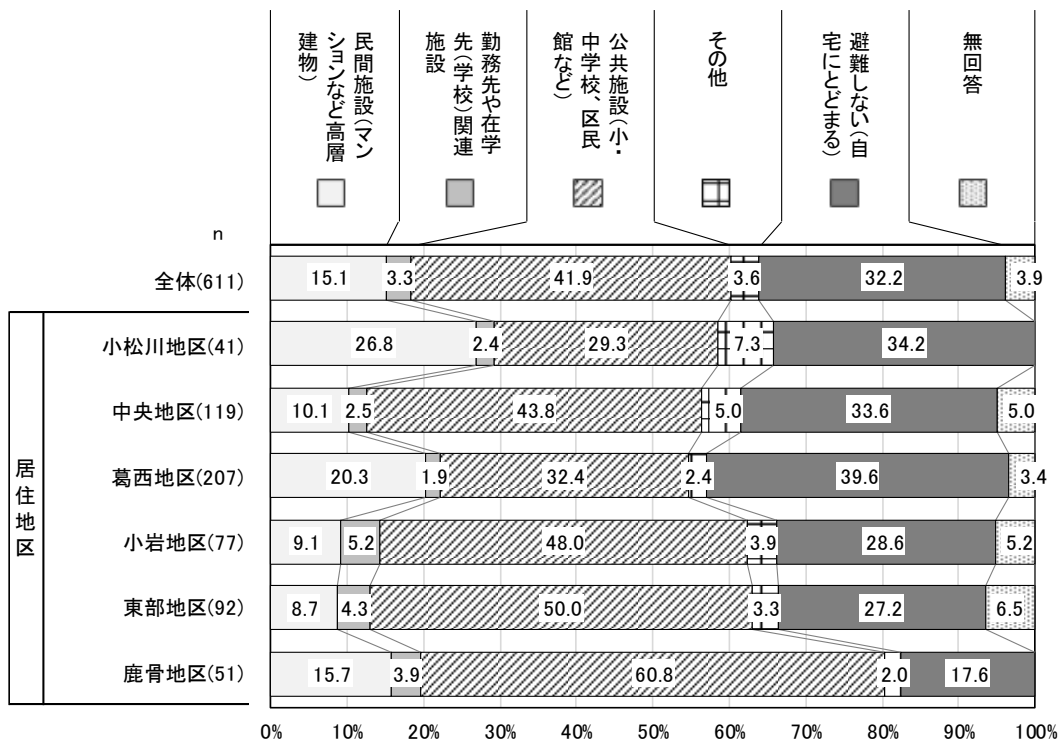


【居住地区別】

「公共施設(小・中学校、区民館など)」は小松川地区、葛西地区を除いて、全ての居住地区で他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、4割台～6割台と数値に差がある。一方、全ての居住地区で「勤務先や在学先(学校)関連施設」は1割未満となっている。

小松川地区、葛西地区はいずれも「避難しない(自宅にとどまる)」が3割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっており、「民間施設(マンションなど高層建物)」はいずれも2割台と他の居住地区よりも高くなっている。(図表 10-12)

<図表 10-12> 江戸川区内の避難／居住地区別

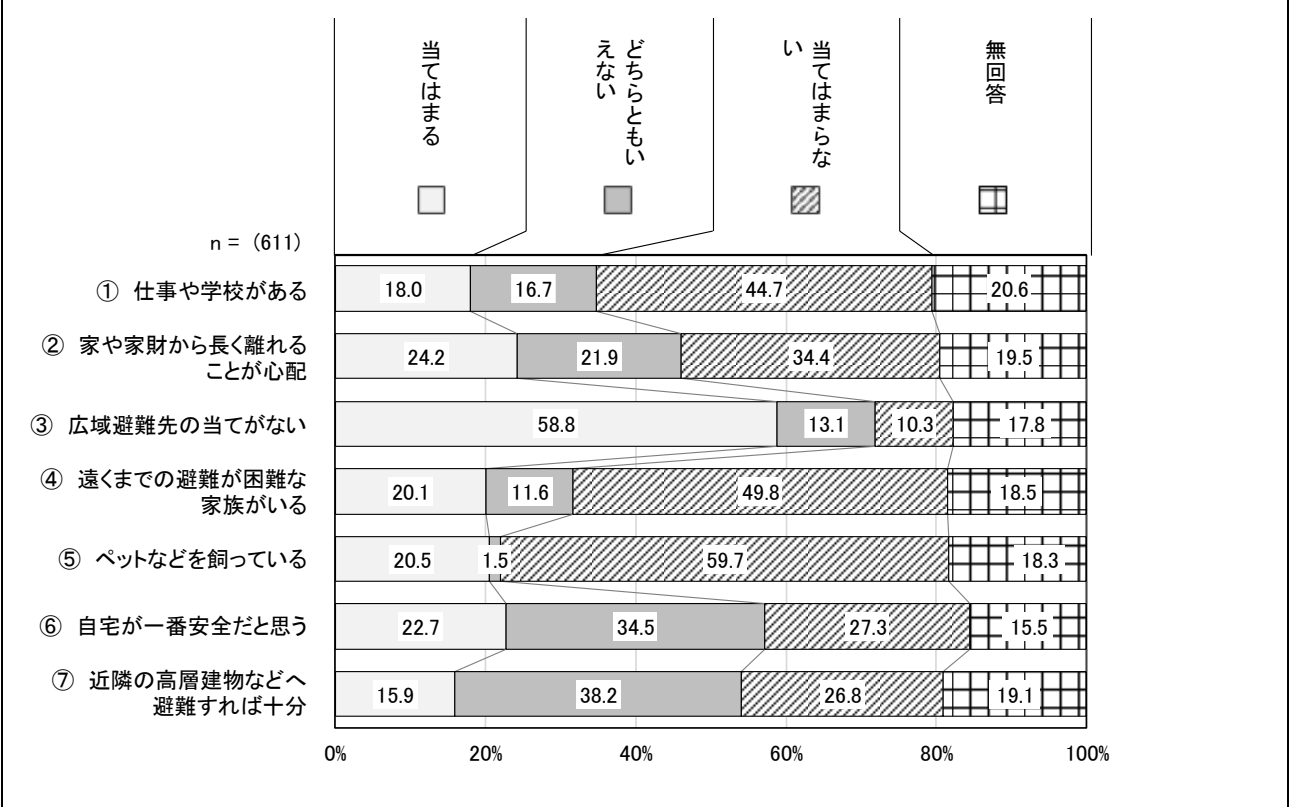


(1-4) 広域避難しない理由

◇【③ 広域避難先の当てがない】では「当てはまる」が58.8%と高い。

問17-4 <問17で「4 大規模水害発生前の広域避難はできないと思う」または「5 広域避難できるか分からない」と答えた方にお尋ねします。>大規模水害時に広域避難しない理由について、あなたはどのようにお考えですか。理由ごとにお答えください。(それぞれ〇は1ずつ)

<図表 10-13> 広域避難しない理由

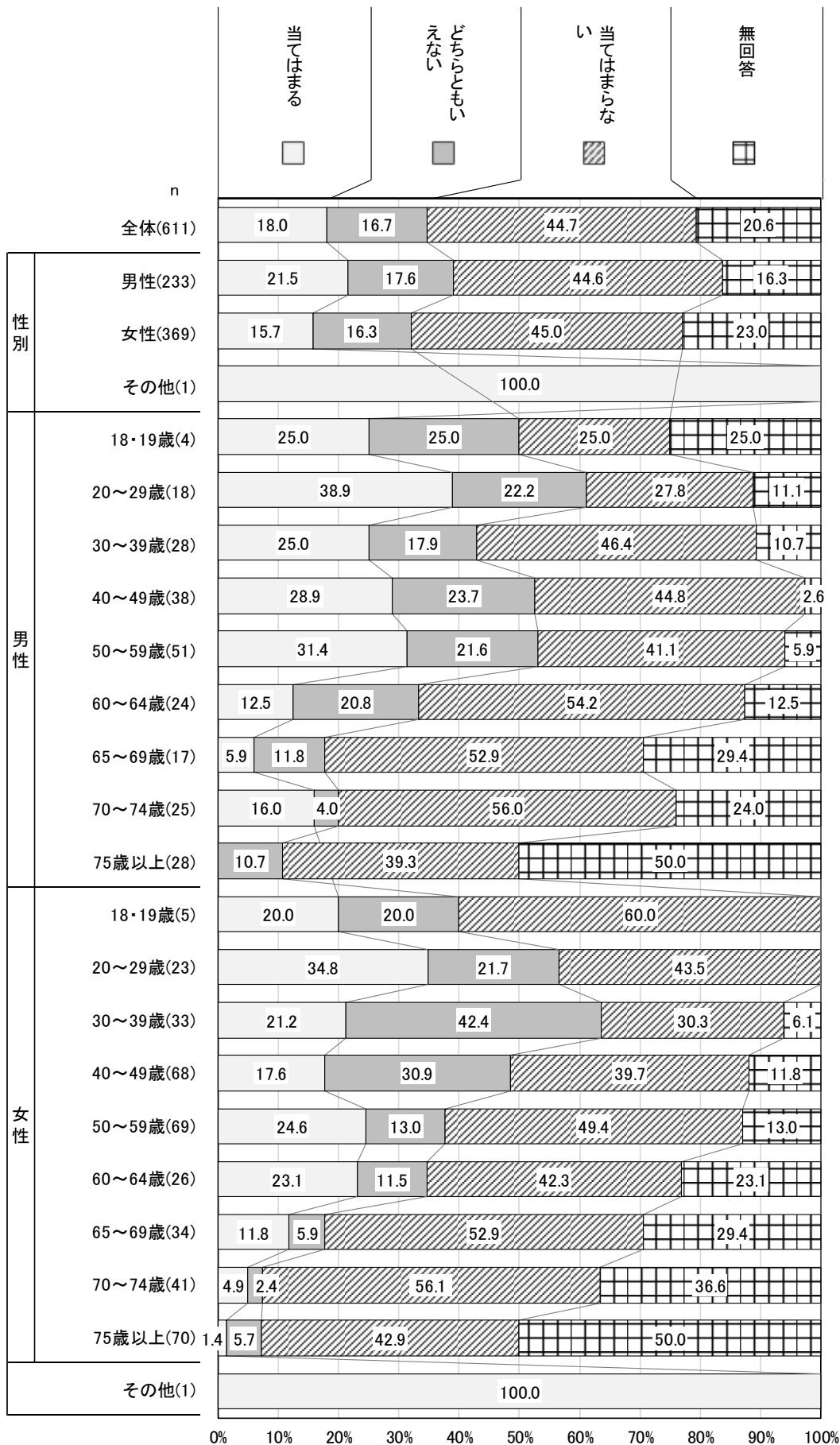


「当てはまる」は【③ 広域避難先の当てがない】で58.8%と他の項目に比べて30ポイント以上高くなっている。一方、「当てはまらない」は【⑤ ペットなどを飼っている】(59.7%)、【④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる】(49.8%)、【① 仕事や学校がある】(44.7%)の順に高くなっている。(図表 10-13)

【① 仕事や学校がある／性・年齢別】

性別では、「当てはまる」は男性が21.5%に対して、女性が15.7%となっている。性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。(図表 10-14)

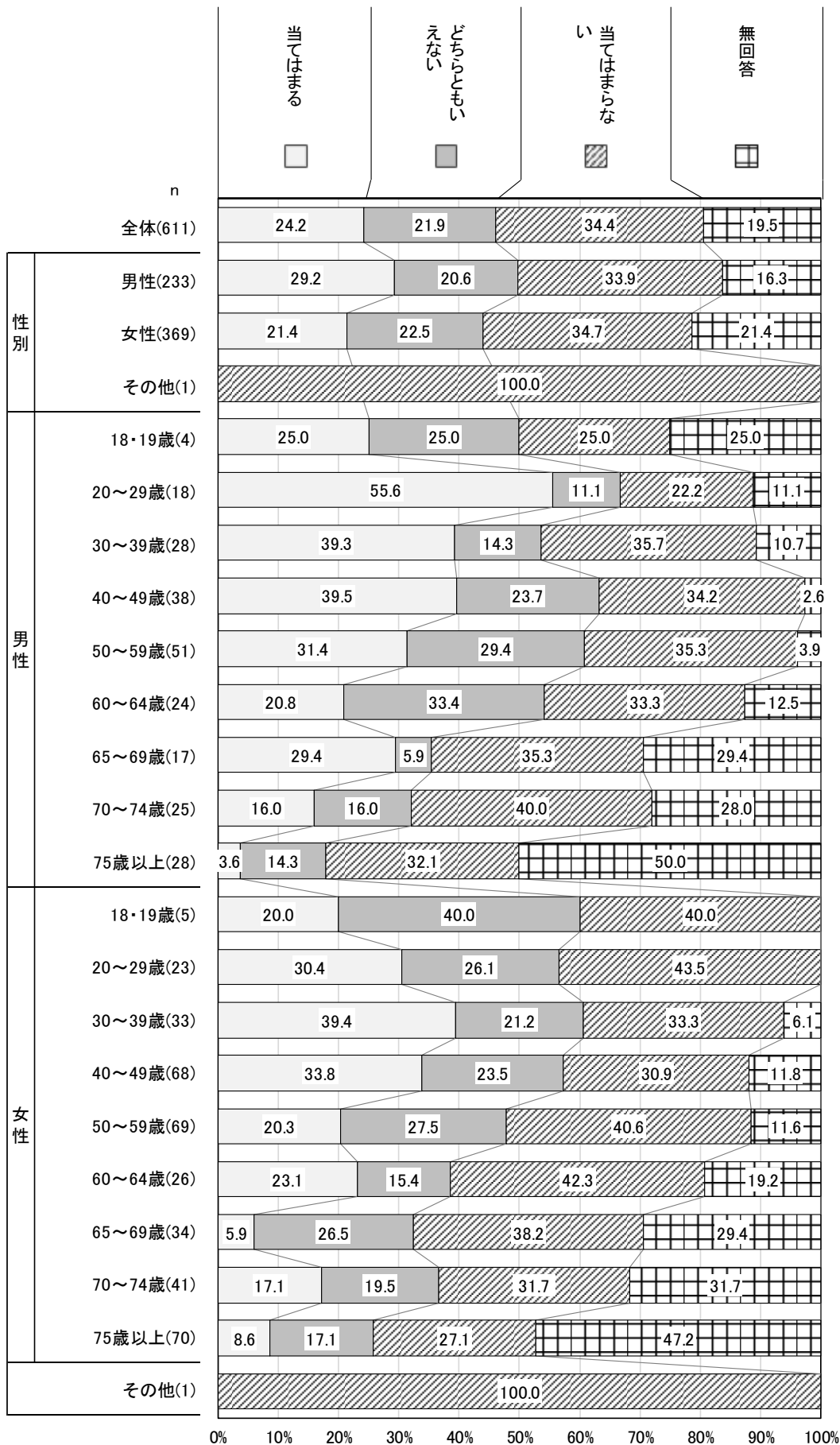
<図表 10-14>① 仕事や学校がある／性・年齢別



【② 家や家財から長く離れることが心配／性・年齢別】

性別では、「当てはまる」は男性が 29.2%に対して、女性が 21.4%となっている。性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。(図表 10-15)

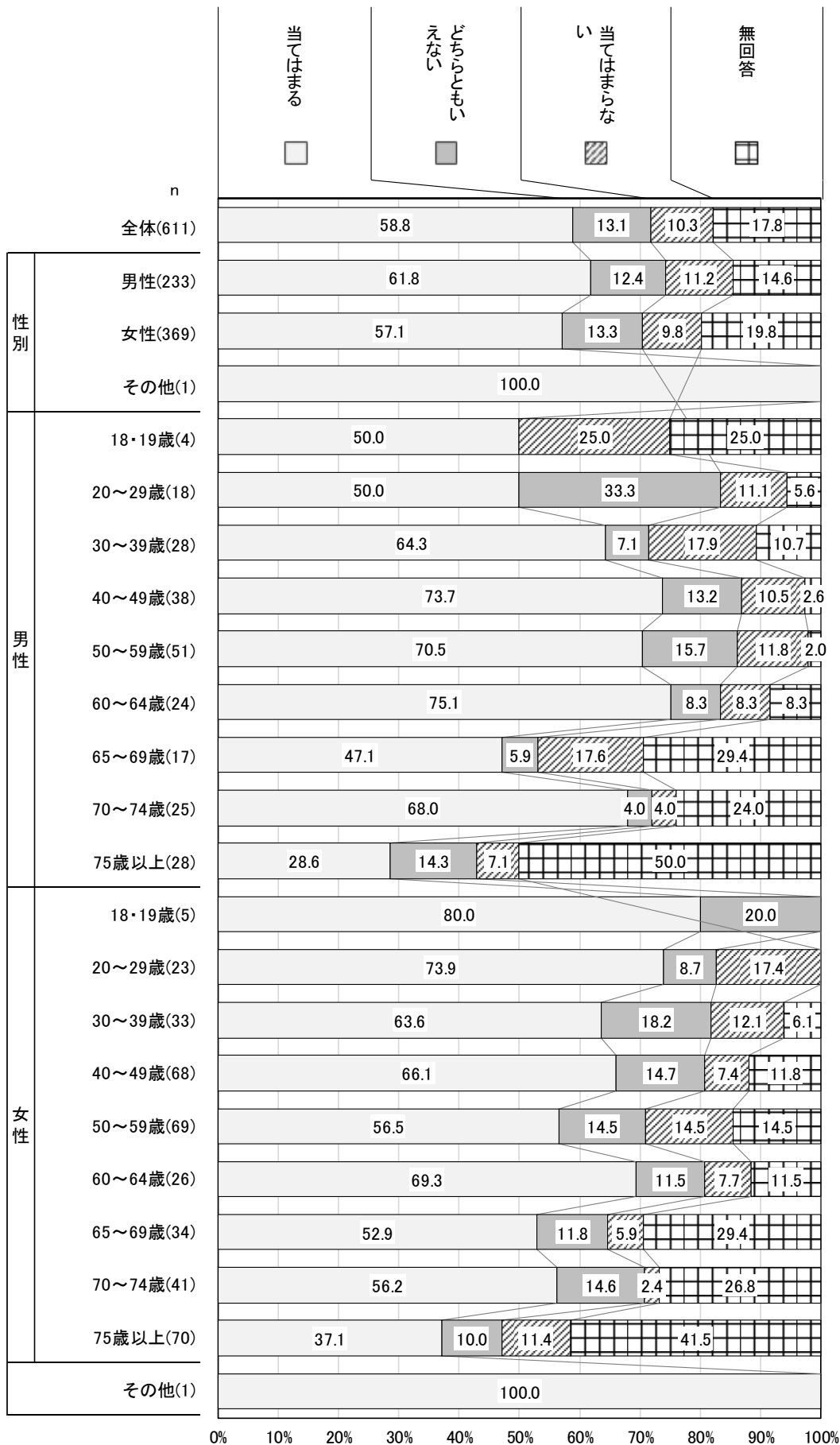
<図表 10-15>② 家や家財から長く離れることが心配／性・年齢別



【③ 広域避難先の当てがない／性・年齢別】

性別では、男女間で全ての選択肢の回答結果の差が5%以内であるため、大きな違いは見られない。性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。(図表 10-16)

<図表 10-16>③ 広域避難先の当てがない／性・年齢別

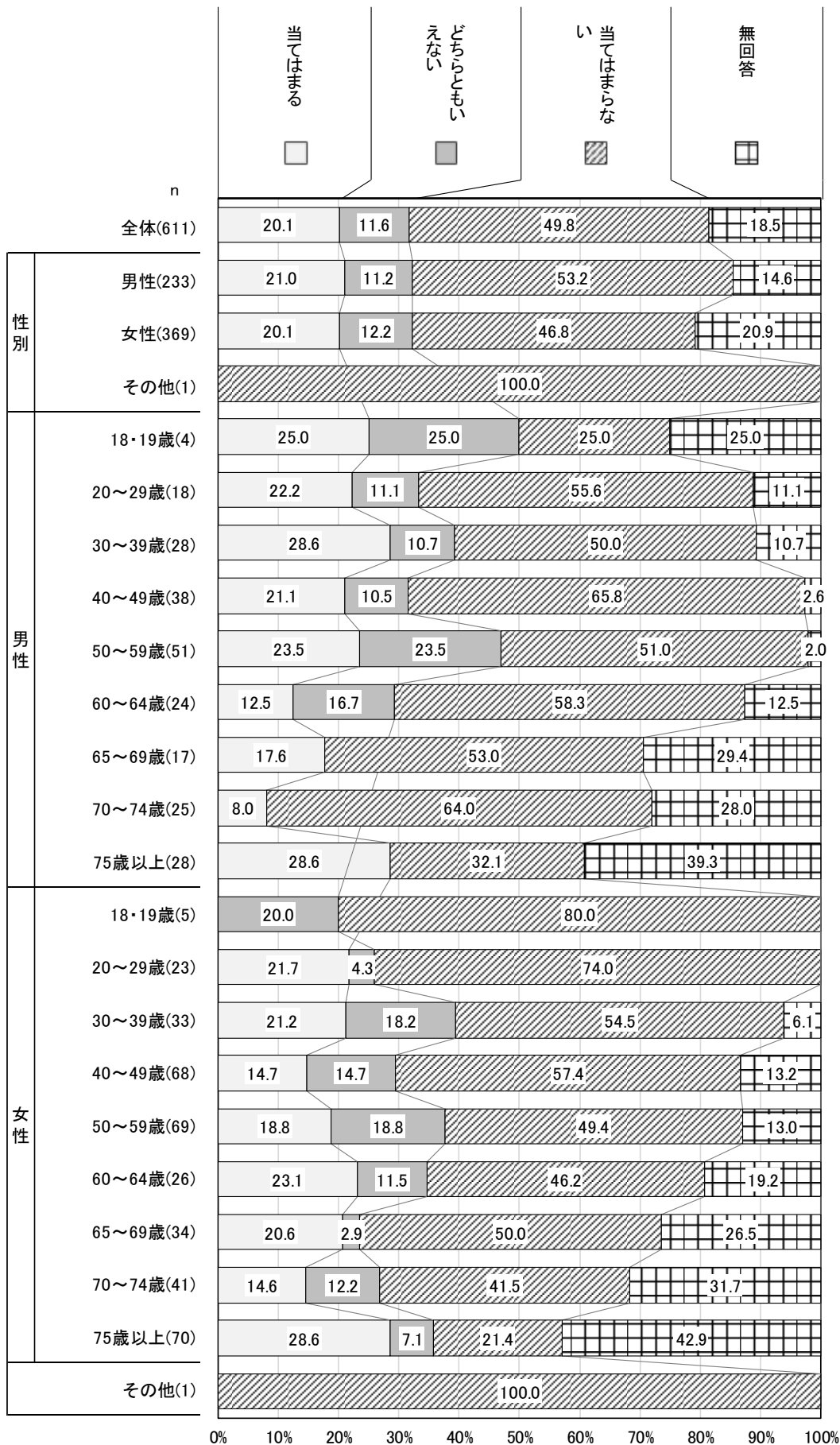


【④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる／性・年齢別】

性別では、「当てはまらない」は男性が 53.2%に対して、女性が 46.8%となっている。性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。(図表 10-17)



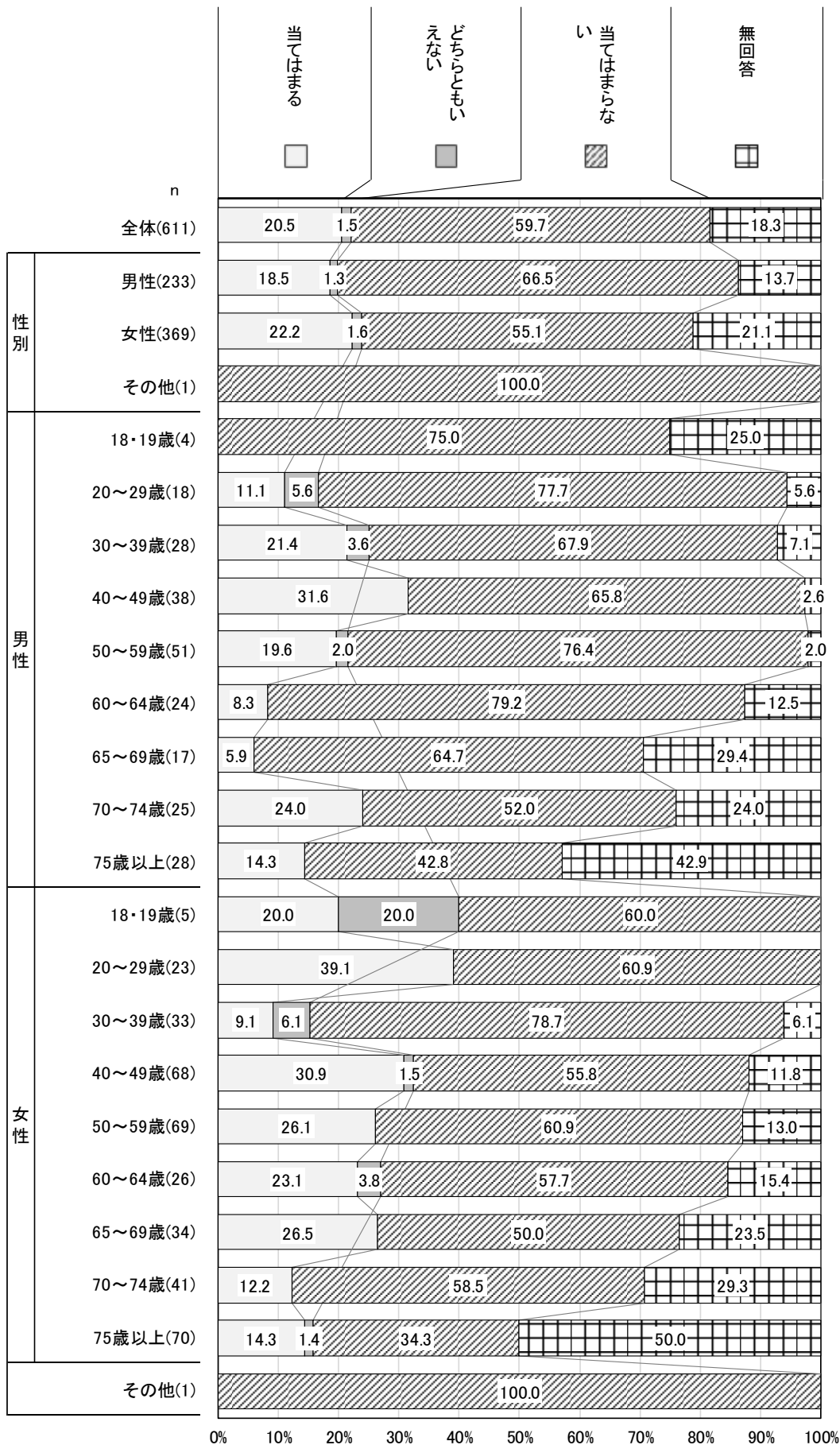
<図表 10-17>④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる／性・年齢別



【⑤ ペットなどを飼っている／性・年齢別】

性別では、「当てはまらない」は男性が66.5%に対して、女性が55.1%となっている。性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。(図表 10-18)

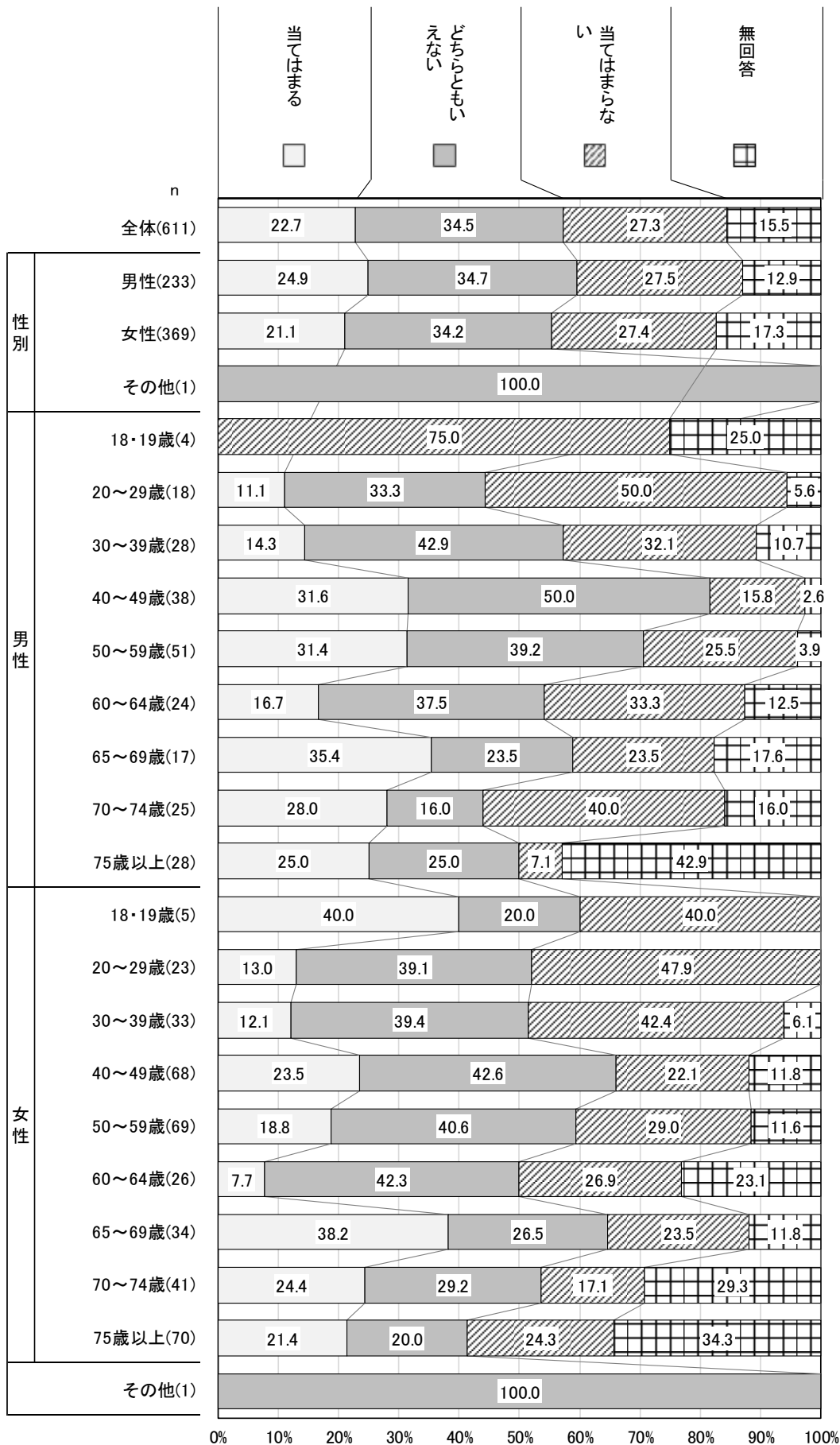
<図表 10-18>⑤ ペットなどを飼っている／性・年齢別



【⑥ 自宅が一番安全だと思う／性・年齢別】

性別では、男女間で全ての選択肢の回答結果の差が5%以内であるため、大きな違いは見られない。性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。(図表 10-19)

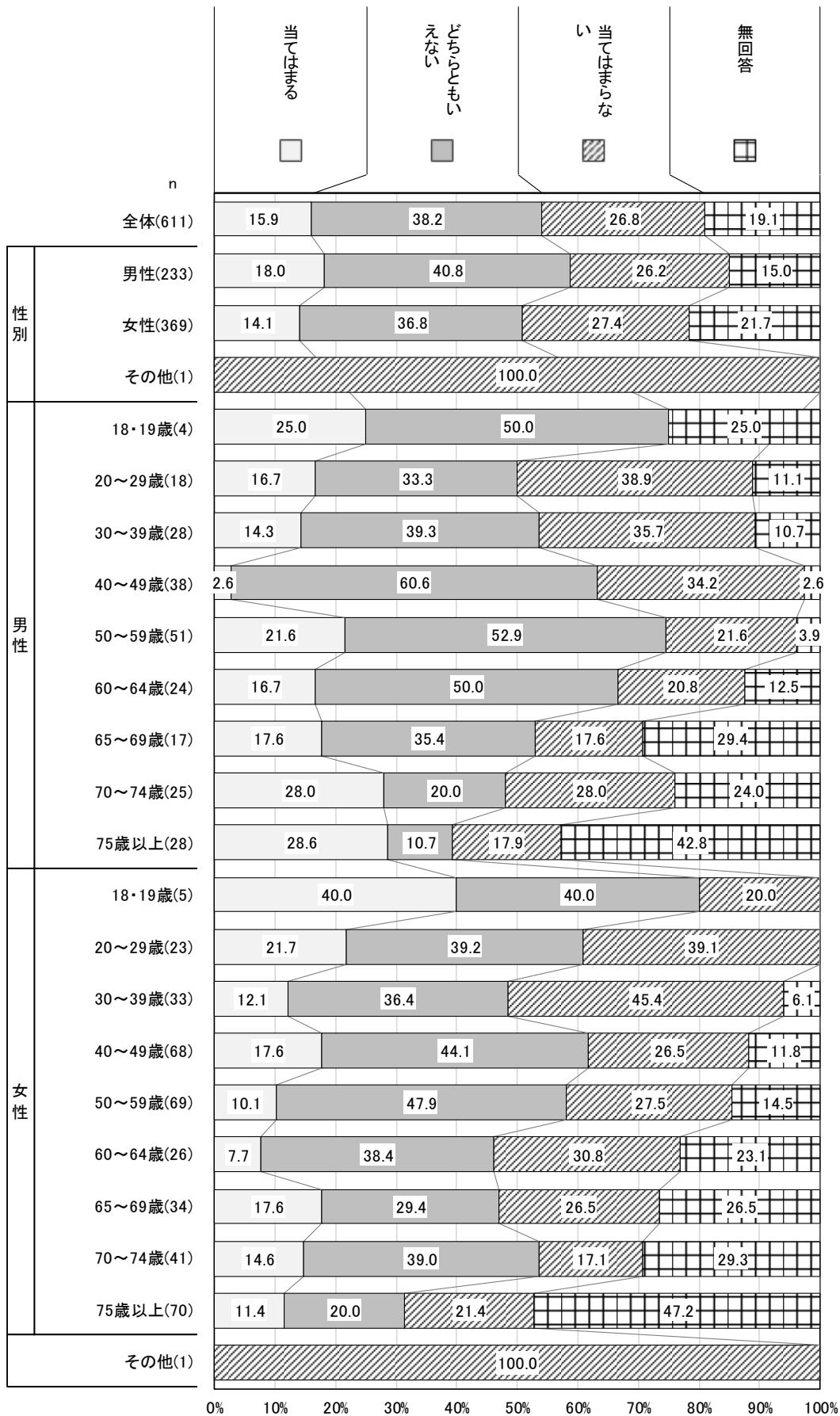
<図表 10-19>⑥ 自宅が一番安全だと思う／性・年齢別



【⑦ 近隣の高層建物などへ避難すれば十分／性・年齢別】

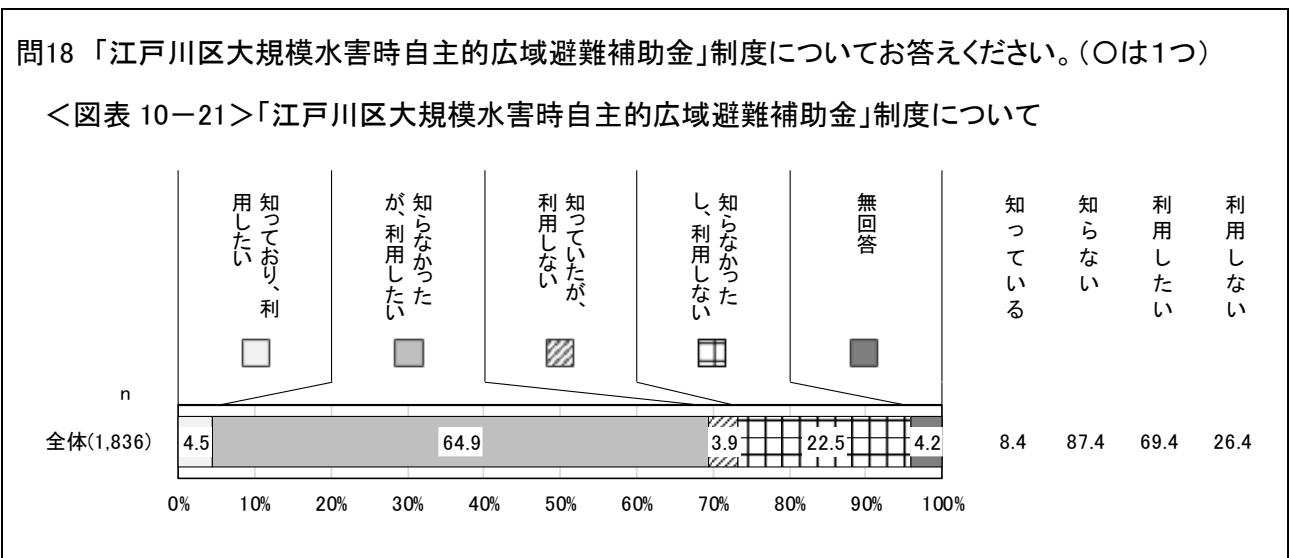
性別では、男女間で全ての選択肢の回答結果の差が5%以内であるため、大きな違いは見られない。  
性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。(図表 10-20)

<図表 10-20> ⑦ 近隣の高層建物などへ避難すれば十分／性・年齢別



(2) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について

◇『利用したい』が69.4%を占める。



『知っている』(「知っており、利用したい」+「知っていたが、利用しない」)は8.4%に対して、『知らない』(「知らなかったが、利用したい」+「知らなかったし、利用しない」)は87.4%となっており、制度の認知は1割未満となっている。

『利用したい』(「知っており、利用したい」+「知らなかったが、利用したい」)は69.4%に対して、『利用しない』(「知っていたが、利用しない」+「知らなかったし、利用しない」)は26.4%となっており、制度を利用する意向が利用しない意向を40ポイント以上上回っている。

また、「知らなかったが、利用したい」は64.9%となっている一方、「知らなかったし、利用しない」は22.5%と「知らなかったが、利用したい」が40ポイント以上上回っている。以上のことから、制度の認知を高めることで、利用促進につながると考えられる。(図表 10-21)

【性・年齢別】

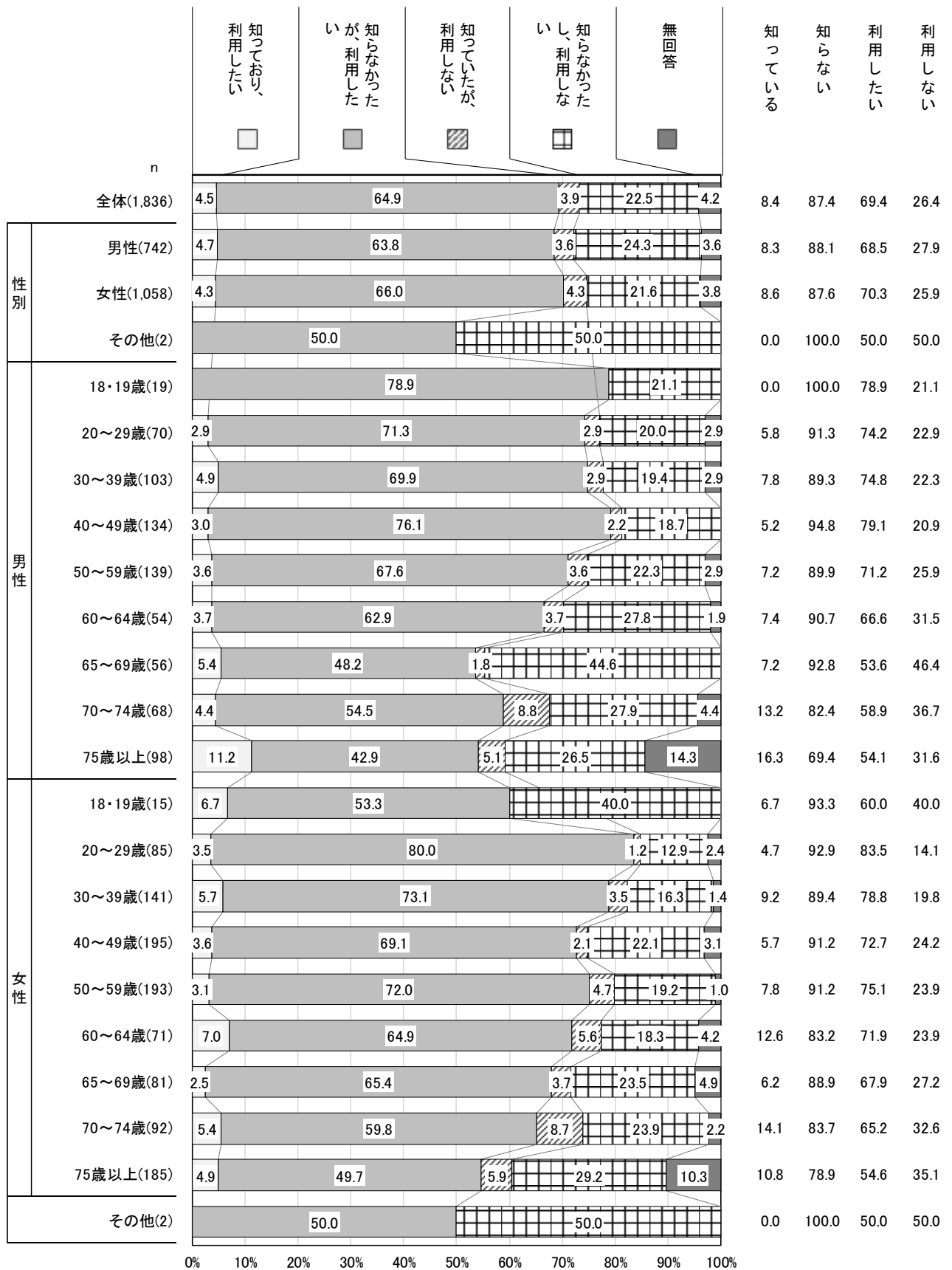
男性・女性ともに全ての年齢で『知らない』が『知っている』よりも高くなっている。『知っている』は男性-70～74歳以上、女性-60～64歳、女性-70～74歳以上で1割台となっている。

男性・女性ともに全ての年齢で『利用したい』が『利用しない』よりも高くなっている。男性は、『利用したい』が50～59歳以下で7割台と他の年齢に比べて高くなっており、60～64歳以上は年齢が上がるにつれておおむね低くなる傾向がある。一方、女性は、『利用したい』が20～29歳で83.5%と他の性・年齢に比べて最も高く、60～64歳まで7割台であるが、65～69歳以上は年齢が上がるにつれて低くなる傾向がある。

(図表 10-22)



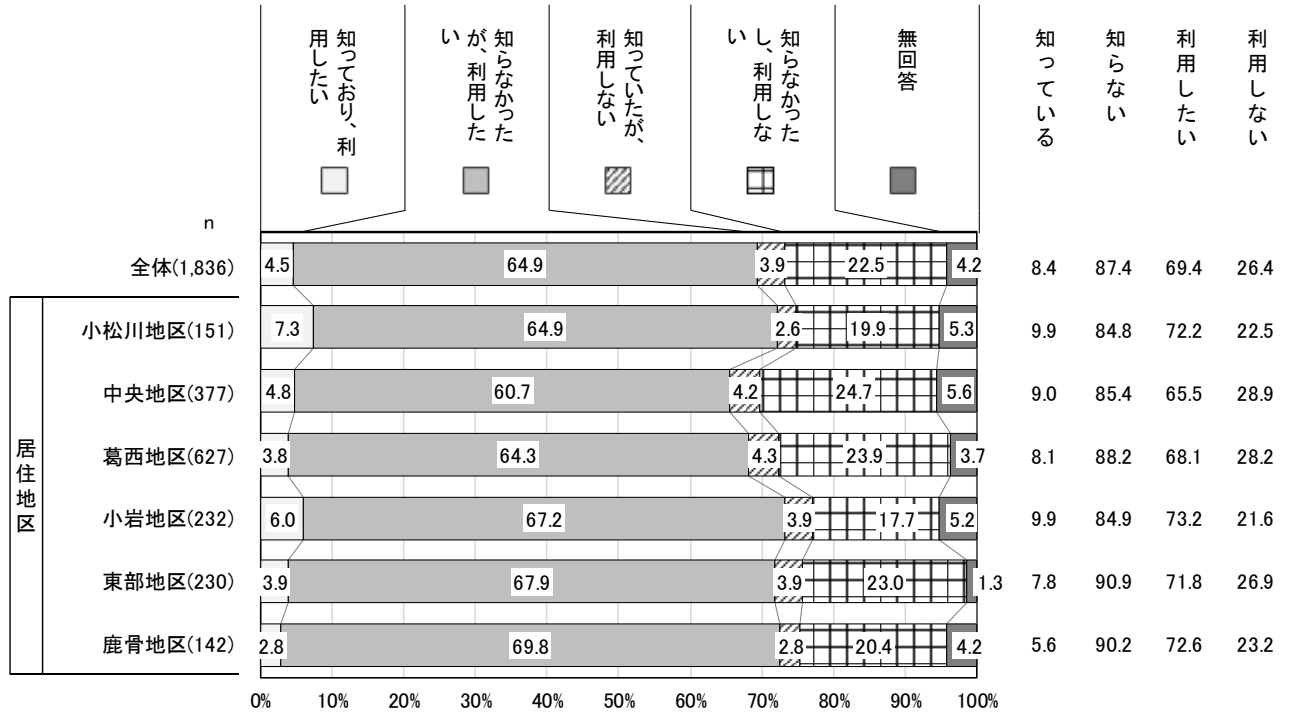
<図表 10-22>「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について／性・年齢別



【居住地区別】

全ての居住地区で『知らない』が『知っている』よりも高くなっている。『知っている』は1割未満となっている。  
 また、全ての居住地区で『利用したい』が『利用しない』よりも高くなっている。『利用しない』は2割台となっている。(図表 10-23)

＜図表 10-23＞「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度について／居住地区別

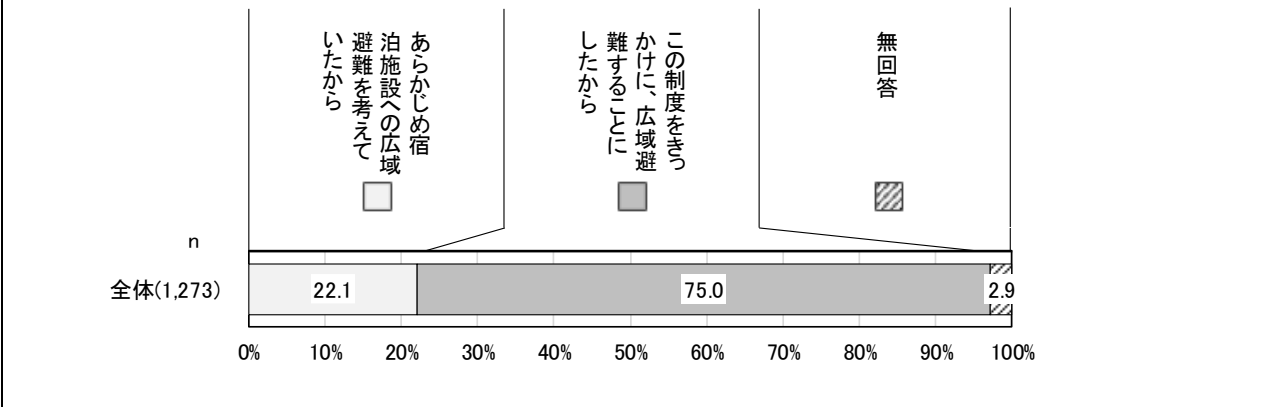


(2-1) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用する理由

◇「この制度をきっかけに、広域避難することにしたから」が75.0%を占める。

問18-1 <問18で「1 知っており、利用したい」または「2 知らなかったが、利用したい」と答えた方にお尋ねします。>上記制度を利用する理由をお答えください。(○は1つ)

<図表 10-24>「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用する理由



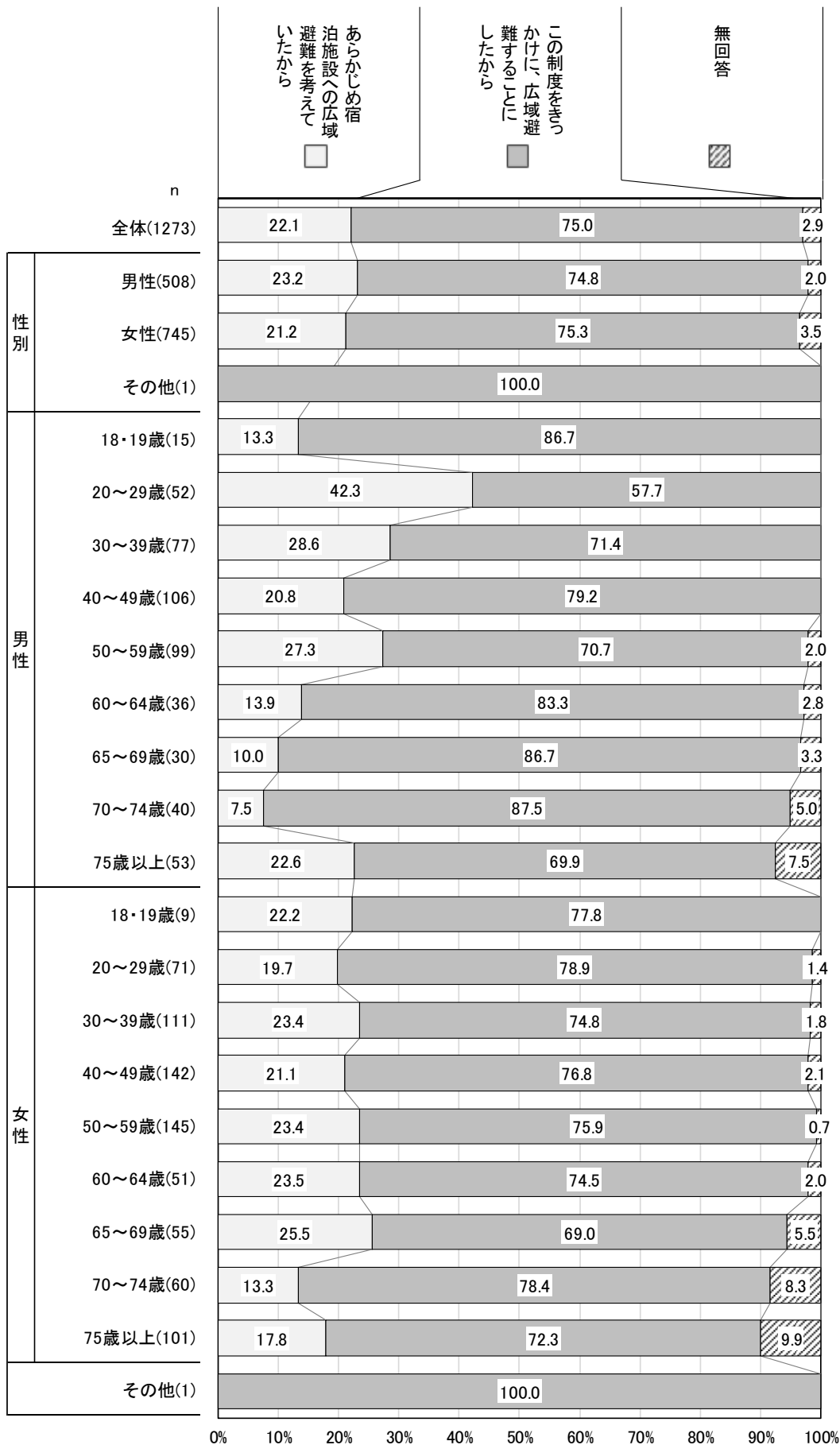
「あらかじめ宿泊施設への広域避難を考えていたから」(22.1%)に対して、「この制度をきっかけに、広域避難することにしたから」(75.0%)の方が高くなっている。(図表 10-24)

【性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「この制度をきっかけに、広域避難することにしたから」が「あらかじめ宿泊施設への広域避難を考えていたから」よりも高くなっているが、5割台～8割台と数値に差がある。

男性-20～29歳は「あらかじめ宿泊施設への広域避難を考えていたから」で42.3%と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表 10-25)

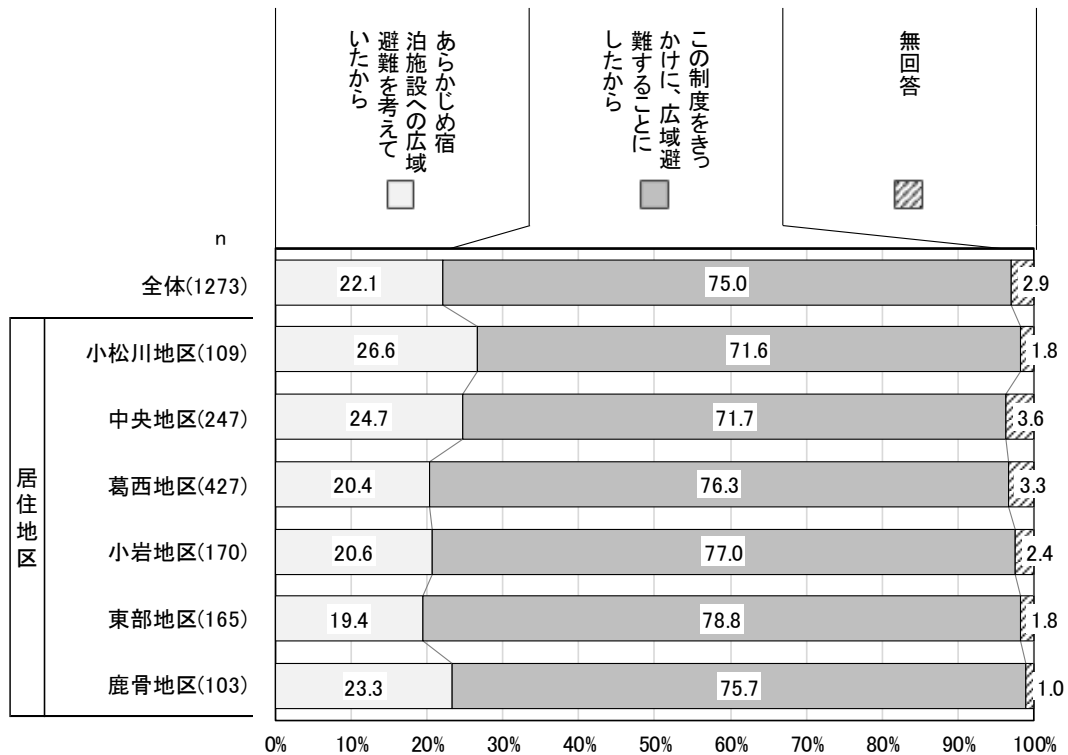
<図表 10-25>「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用する理由／性・年齢別



【居住地区別】

全ての居住地区で「この制度をきっかけに、広域避難することにしたから」が7割台と「あらかじめ宿泊施設への広域避難を考えていたから」よりも高くなっている。(図表 10-26)

＜図表 10-26＞「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用する理由／居住地区別

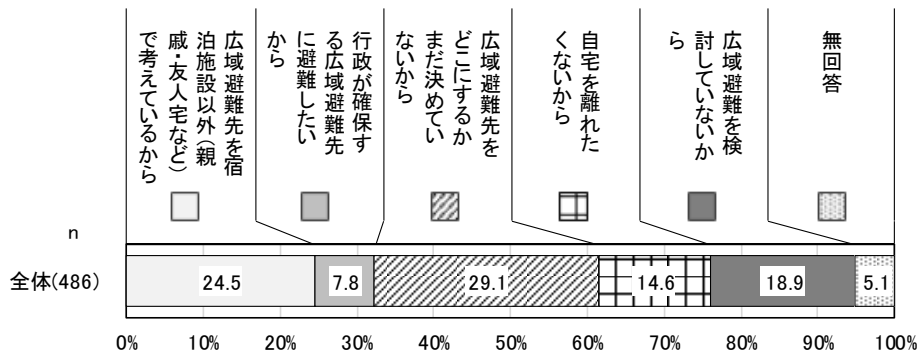


(2-2) 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由

◇「広域避難先をどこにするかまだ決めていないから」が29.1%を占める。

問18-2 <問18で「3 知っていたが、利用しない」または「4 知らなかったし、利用しない」と答えた方にお尋ねします。>上記制度を利用しない理由をお答えください。(○は1つ)

<図表 10-27>「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由

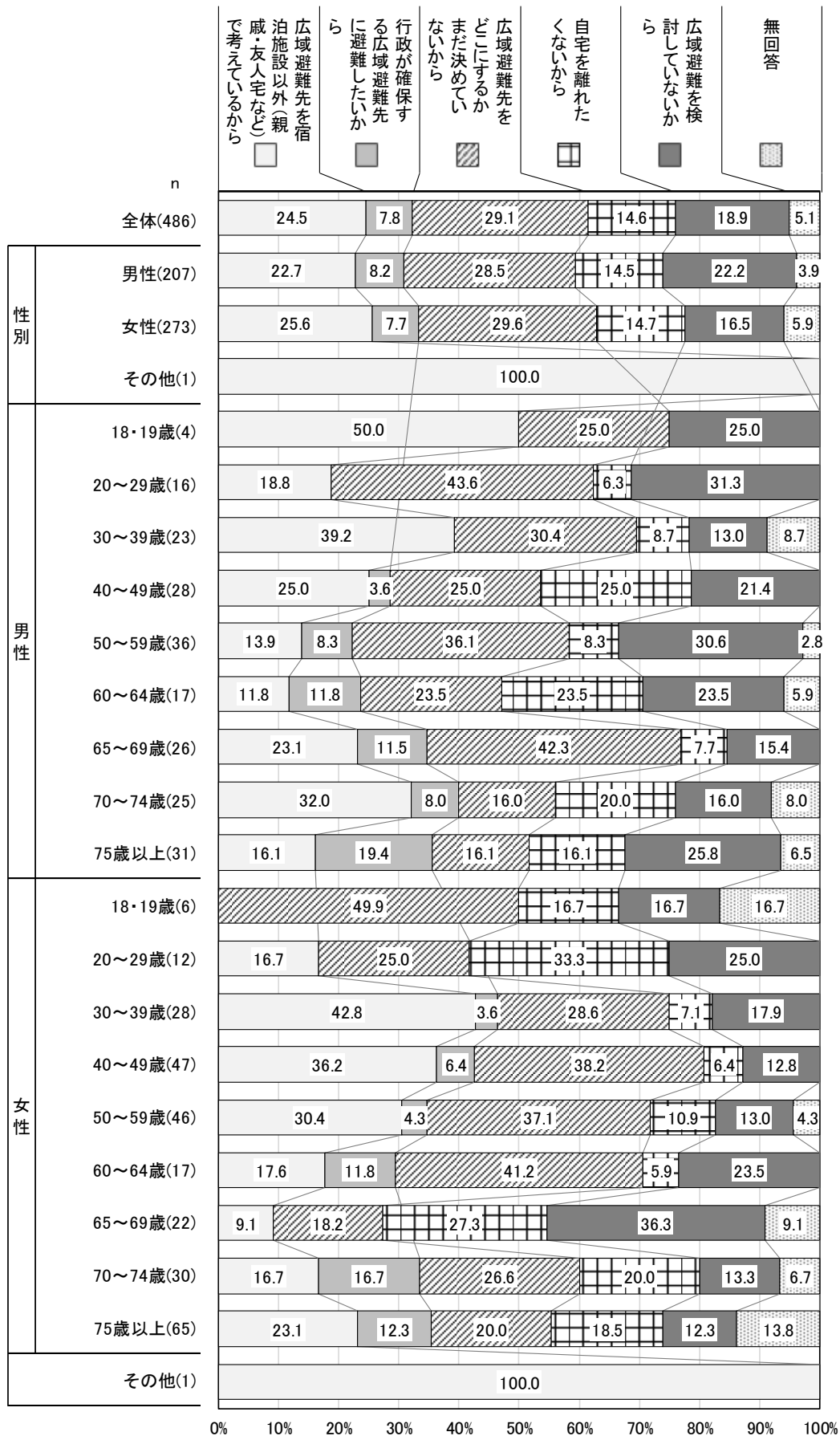


「広域避難先をどこにするかまだ決めていないから」は29.1%、「自宅を離れたくないから」は14.6%、「広域避難先を検討していないから」は18.9%となっている。(図表 10-27)

【性・年齢別】

性別では、「広域避難先を検討していないから」は男性が22.2%に対して、女性が16.5%となっている。性・年齢別は、「n」が少ないため、具体的なコメントは行わず参考資料とする。(図表 10-28)

<図表 10-28>「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由／性・年齢別



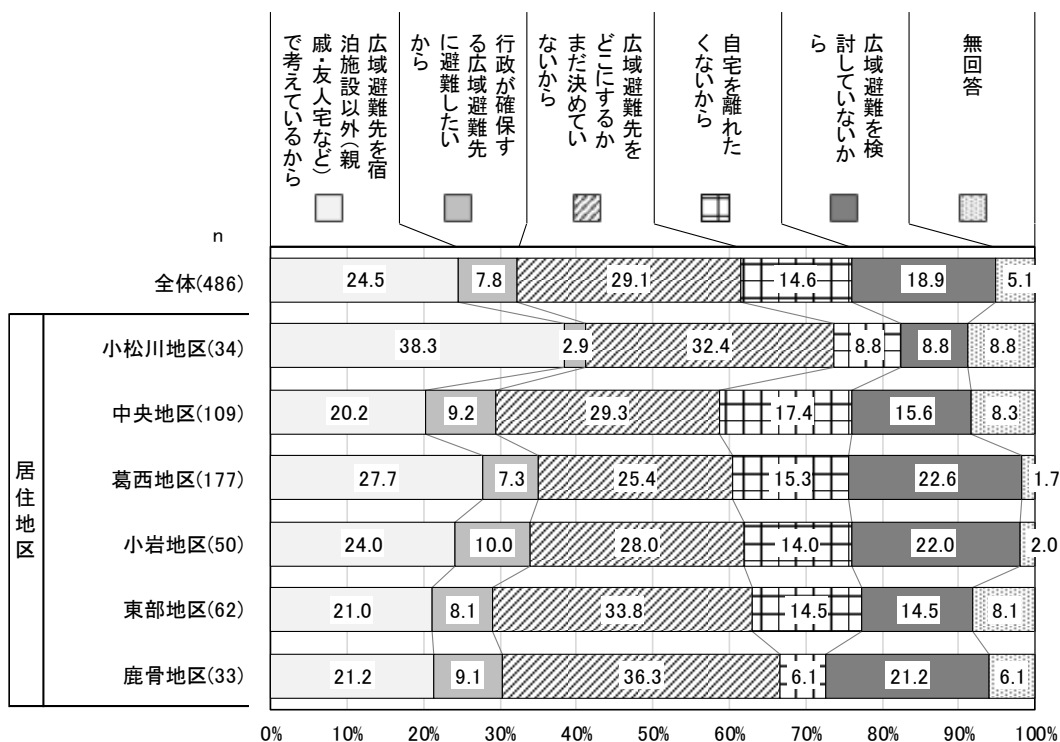
【居住地区別】

小松川地区、葛西地区を除いて、全ての居住地区で「広域避難先をどこにするかまだ決めていないから」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。小松川地区、葛西地区は「広域避難先を宿泊施設以外（親戚・友人宅など）で考えているから」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

また、小松川地区は「広域避難を検討していないから」が8.8%と他の居住地区に比べて低くなっている。

(図表 10-29)

<図表 10-29>「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を利用しない理由／居住地区別





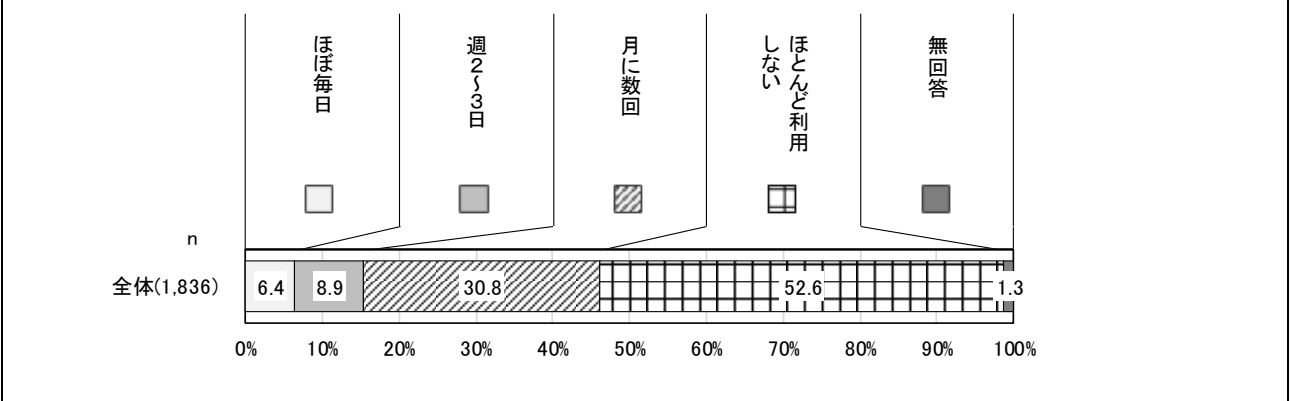
## 11. 区内路線バス利用頻度について

### (1) 区内路線バスを利用する頻度

◇週に「2～3日」以上の利用頻度は、15.3%。

問19 あなたが区内路線バスを利用する頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

<図表 11-1> 区内路線バスを利用する頻度



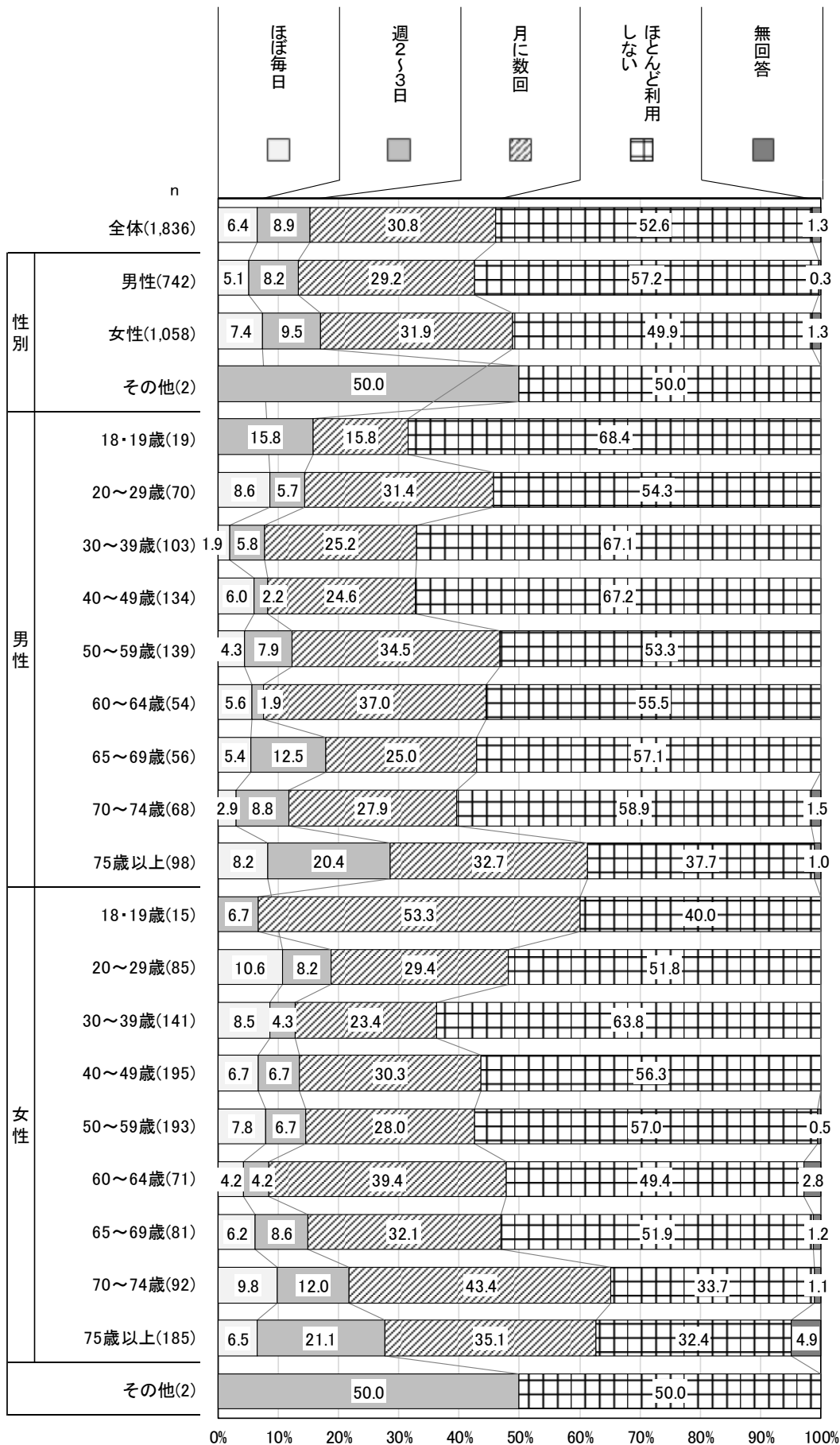
「ほぼ毎日」は6.4%、「週2～3日」は8.9%となっていることから、日常的な利用が約15%といえる。

(図表 11-1)

#### 【性・年齢別】

「ほぼ毎日」は男性・女性ともに20～29歳で、「週2～3日」は男性・女性ともに75歳以上で他の性・年齢に比べて最も高い回答となっている。(図表 11-2)

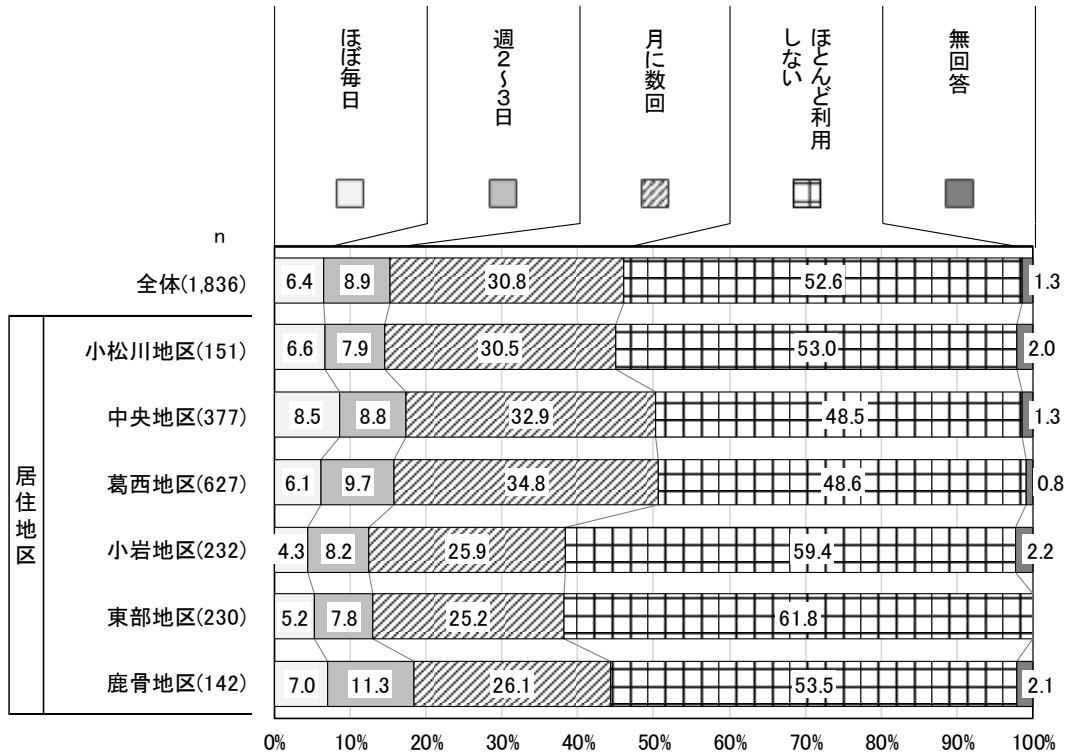
<図表 11-2> 区内路線バスを利用する頻度／性・年齢別



【居住地区別】

中央地区、葛西地区は「月に数回」以上が5割台と他の居住地区に比べて高くなっている。(図表 11-3)

＜図表 11-3＞区内路線バスを利用する頻度／居住地区別



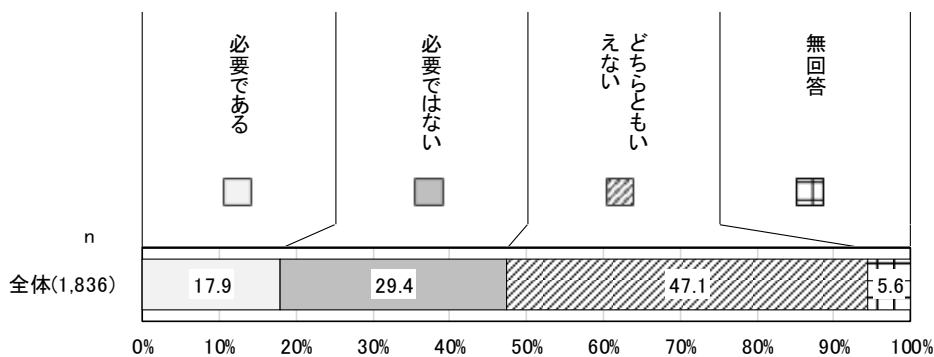
## 12. ご当地ナンバーについて

### (1) ご当地ナンバーについて

◇「どちらともいえない」が47.1%を占める。

問20 自動車のご当地ナンバー(地方版図柄入りナンバープレート)は、国土交通省が平成30年に第2次募集を行い、令和2年に17地域が新たに追加されました。現在、区民が自動車登録をする場合、「足立」ナンバーが指定されますが、例えば「江戸川」ナンバーなど、今後、江戸川区独自のご当地ナンバーの導入が必要だと思いませんか。また、その回答を選んだ理由があればご記入ください。(〇は1つ)

<図表 12-1>ご当地ナンバーについて



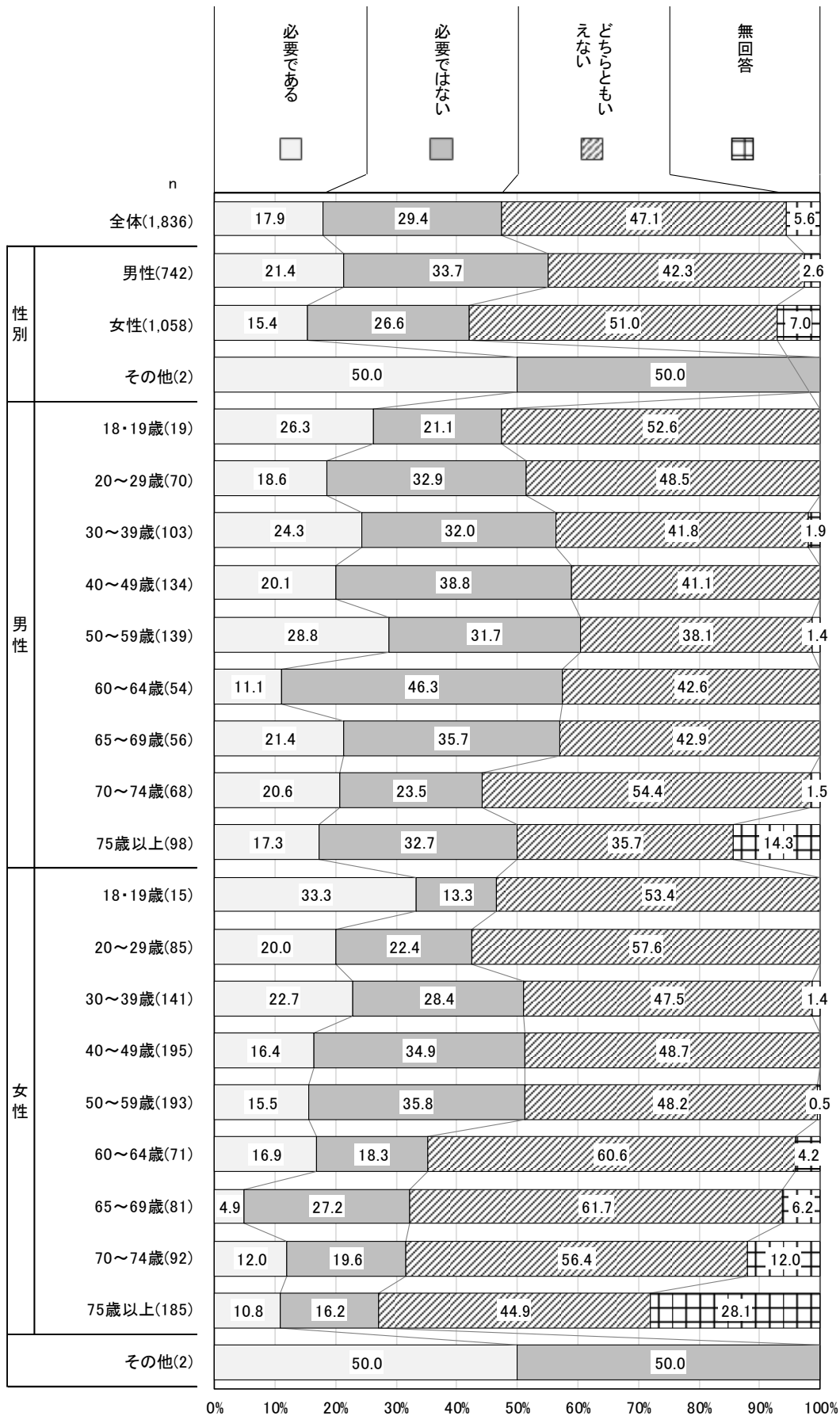
「必要である」は17.9%に対して、「必要ではない」は29.4%となっている。しかし、最も高い回答は47.1%の「どちらともいえない」であり、半数近くに上っている。(図表 12-1)

#### 【性・年齢別】

男性-60～64歳を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「どちらともいえない」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～6割台と数値に差がある。「必要ではない」は男性-60～64歳で46.3%と最も高い回答となっている。

また、「必要である」は、男性は50～59歳が28.8%と他の年齢に比べて高くなっている。女性は、18～19歳を除くと、30～39歳が22.7%と他の年齢に比べて高くなっている。(図表 12-2)

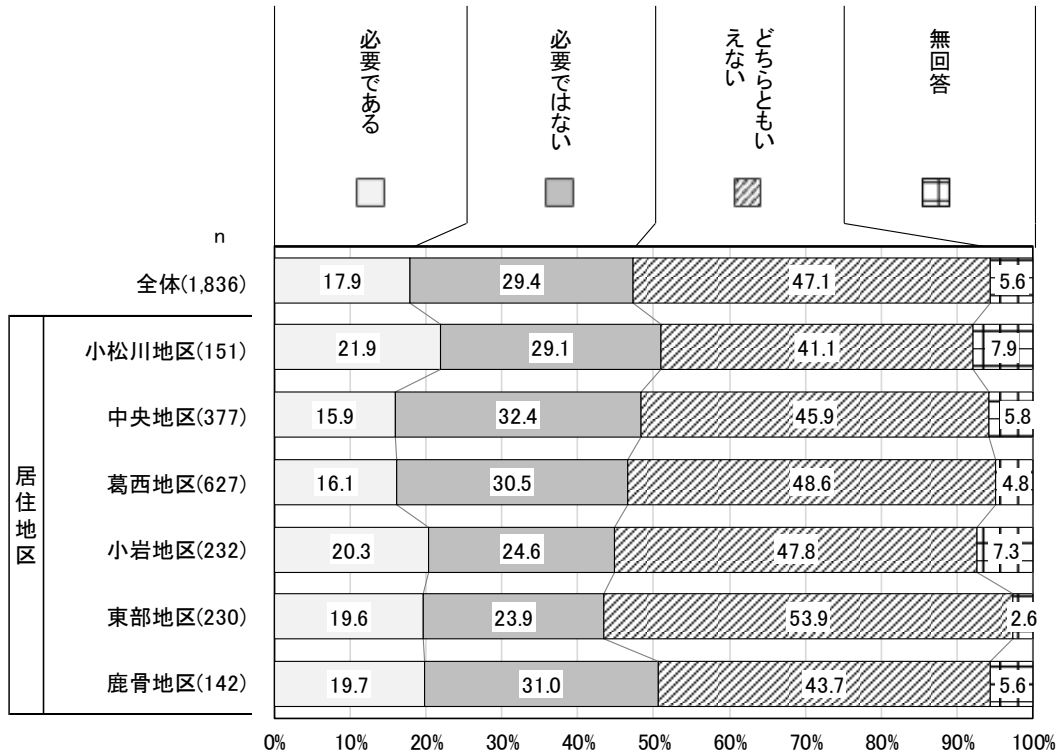
<図表 12-2>ご当地ナンバーについて／性・年齢別



【居住地区別】

「どちらともいえない」は全ての居住地区で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。(図表 12-3)

<図表 12-3>ご当地ナンバーについて／居住地区別



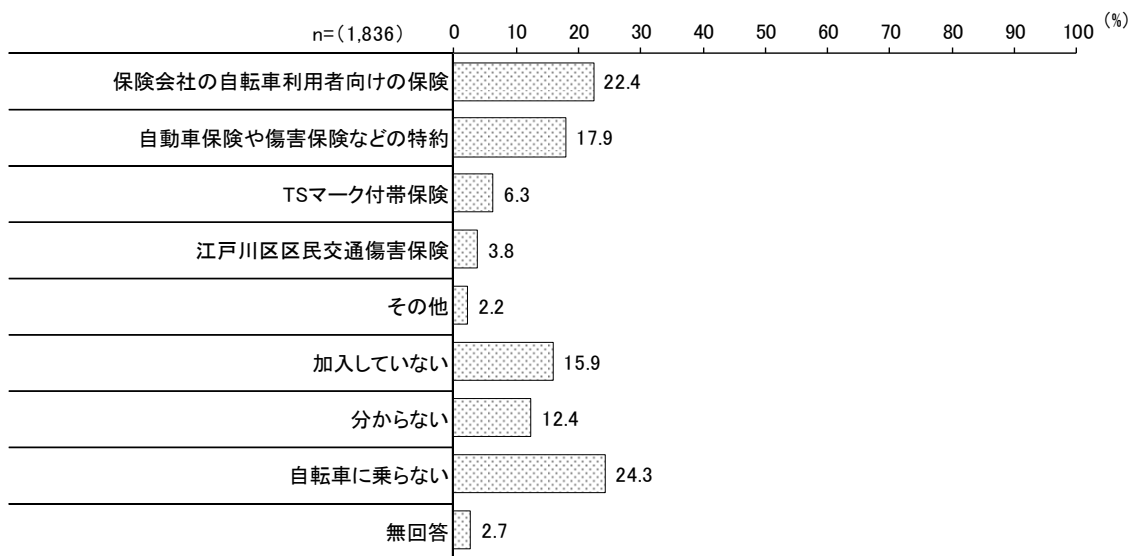
### 13. 自転車の安全利用と保険の加入について

#### (1) 加入している自転車損害賠償保険の種類

◇「保険会社の自転車利用者向けの保険」が22.4%と高い。

問21 東京都では、令和2年4月1日より自転車利用者自らに自転車損害賠償保険などへの加入が義務化となりました。あなたが加入している自転車損害賠償保険の種類をお答えください。(〇はいくつでも)

<図表 13-1> 加入している自転車損害賠償保険の種類



「自転車に乗らない」(24.3%)を除いて、「保険会社の自転車利用者向けの保険」(22.4%)、「自動車保険や傷害保険などの特約」(17.9%)の順に高くなっている。一方、「加入していない」は15.9%となっている。

(図表 13-1)

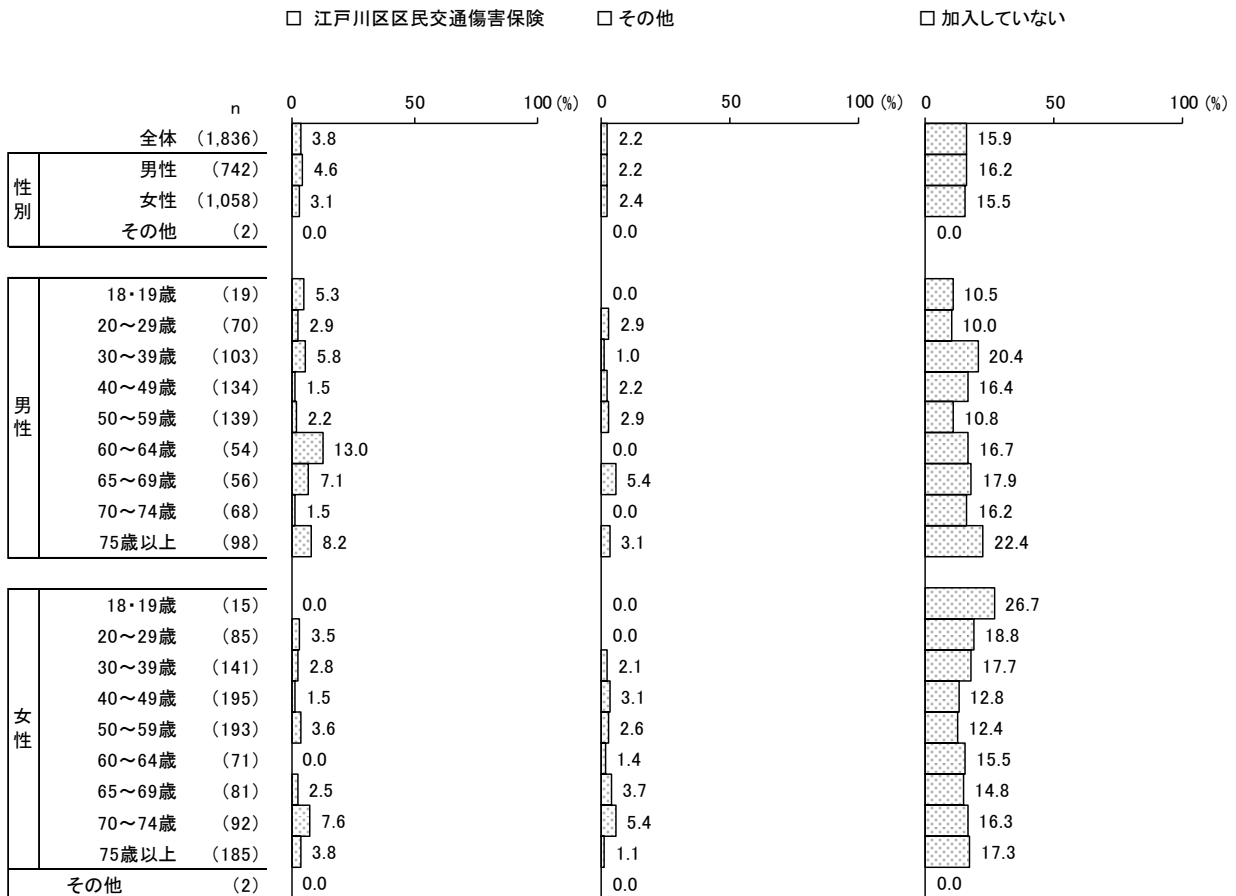
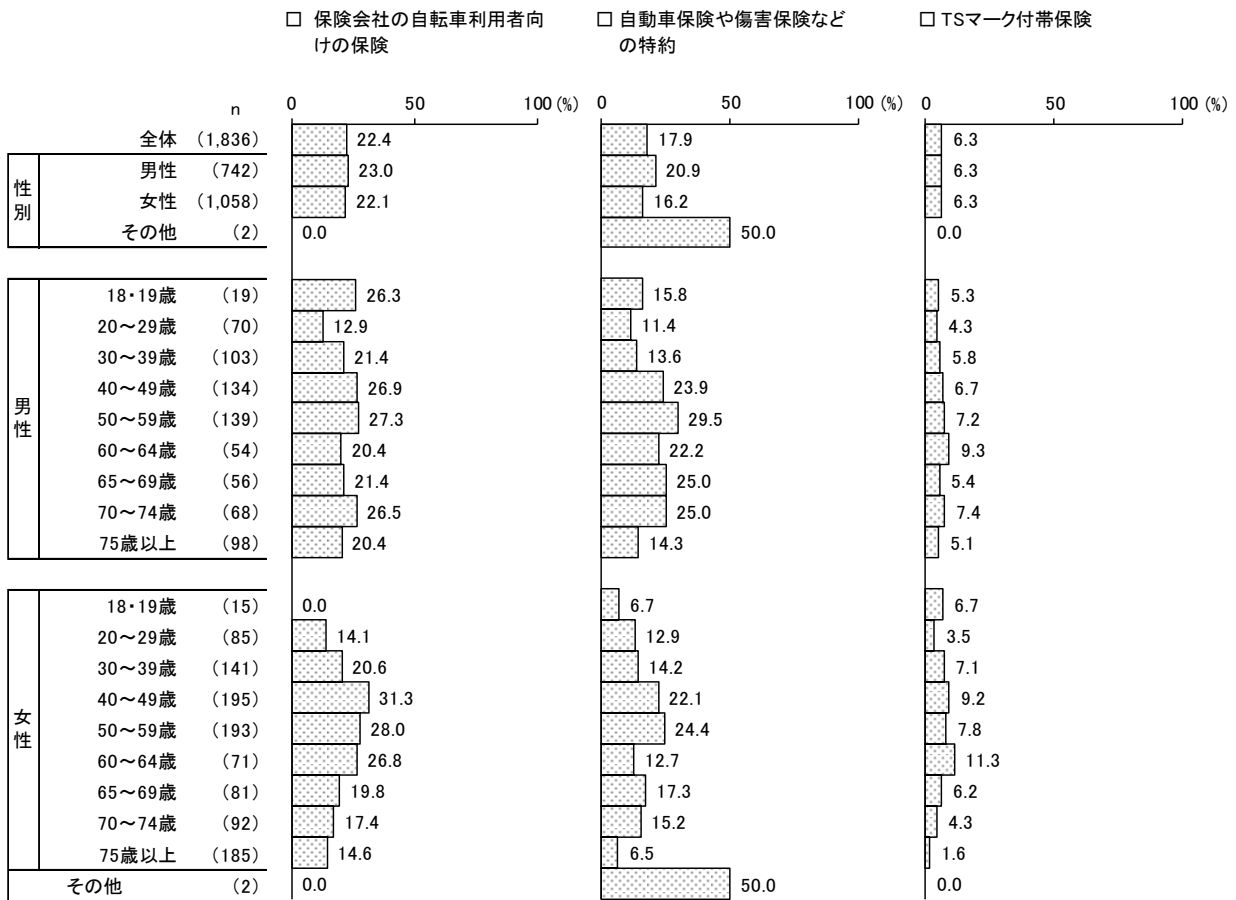
#### 【性・年齢別】

「保険会社の自転車利用者向けの保険」は男性-40～49歳以下、男性-70～74歳、女性-30～39歳から70～74歳で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

「自動車保険や傷害保険などの特約」は男性-50～59歳から65～69歳で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

「加入していない」は男性-75歳以上、女性-20～29歳で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。以上のような点で、性・年齢間で加入している保険の違いが特に見られる。(図表 13-2)

<図表 13-2> 加入している自転車損害賠償保険の種類(上位6項目)／性・年齢別



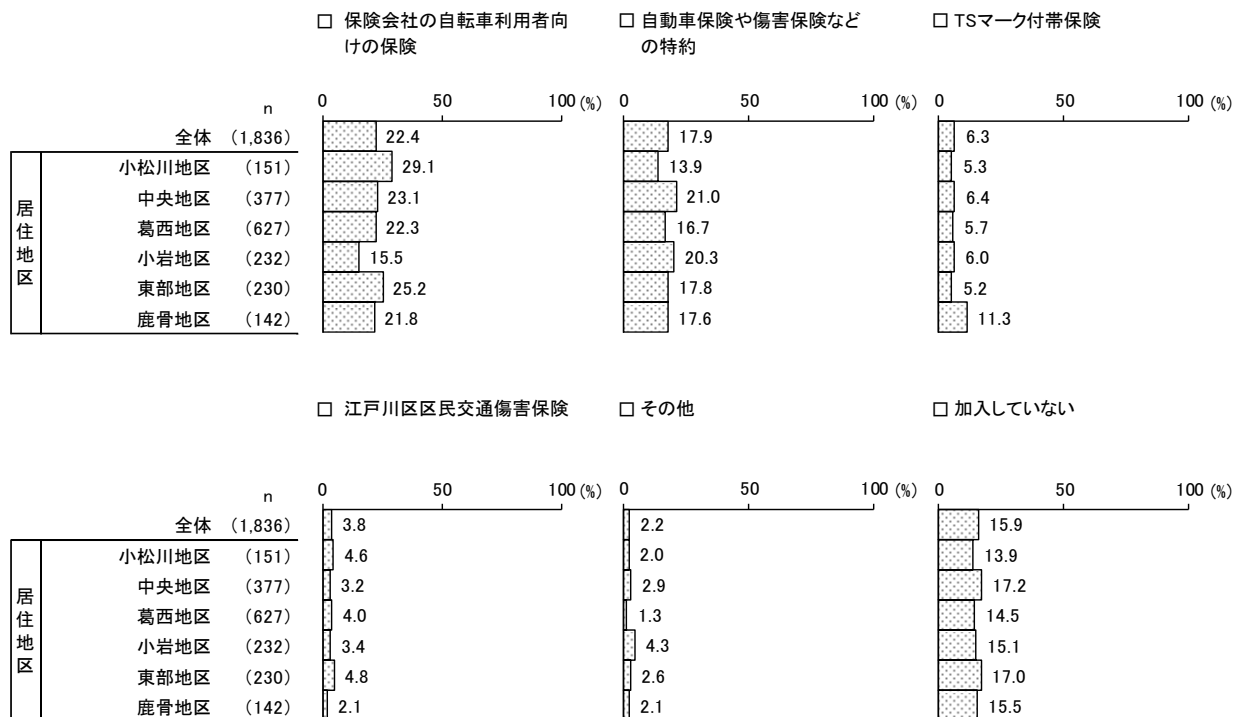


【居住地区別】

小岩地区を除いて、全ての居住地区で「保険会社の自転車利用者向けの保険」がいずれも2割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。小岩地区は「自動車保険や傷害保険などの特約」が他の選択肢に比べて2割台と最も高い回答となっている。一方、全ての居住地区で「江戸川区区民交通傷害保険」は5%未満と少数になっている。

また、「加入していない」は全ての居住地区でいずれも1割台となっている。(図表 13-3)

＜図表 13-3＞加入している自転車損害賠償保険の種類(上位6項目)／居住地区別

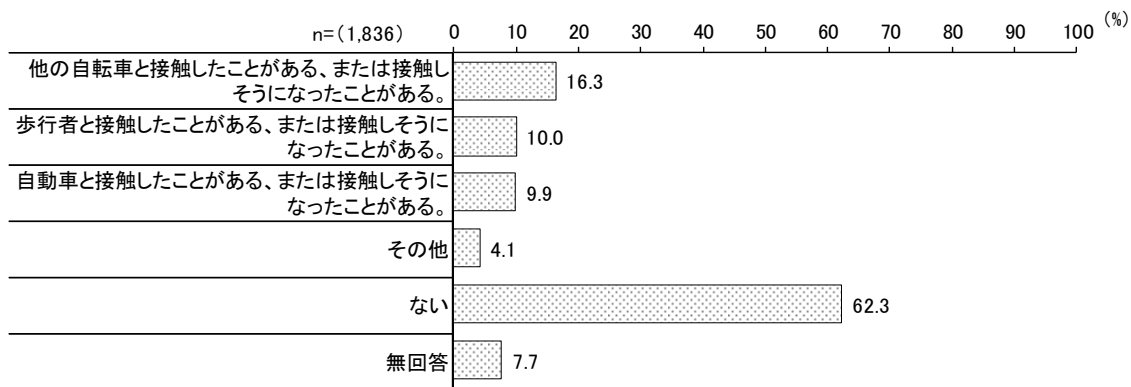


(2) 自転車走行中に危険な経験をしたことはあるか

◇「ない」が62.3%と高い。

問22 あなたは、この1年間で自転車走行中に危険な経験をしたことはありますか。(〇はいくつでも)

<図表 13-4>この1年間で自転車走行中に危険な経験をしたことはあるか



「ない」は62.3%と6割を超えている。一方、「他の自転車と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。」は16.3%、「歩行者と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。」は10.0%、「自動車と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。」は9.9%と危険な経験をしたことがある方は一定数いることがわかる。(図表 13-4)

【性・年齢別】

「ない」は男性・女性ともに全ての年齢で他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、4割台～8割台と数値に差がある。

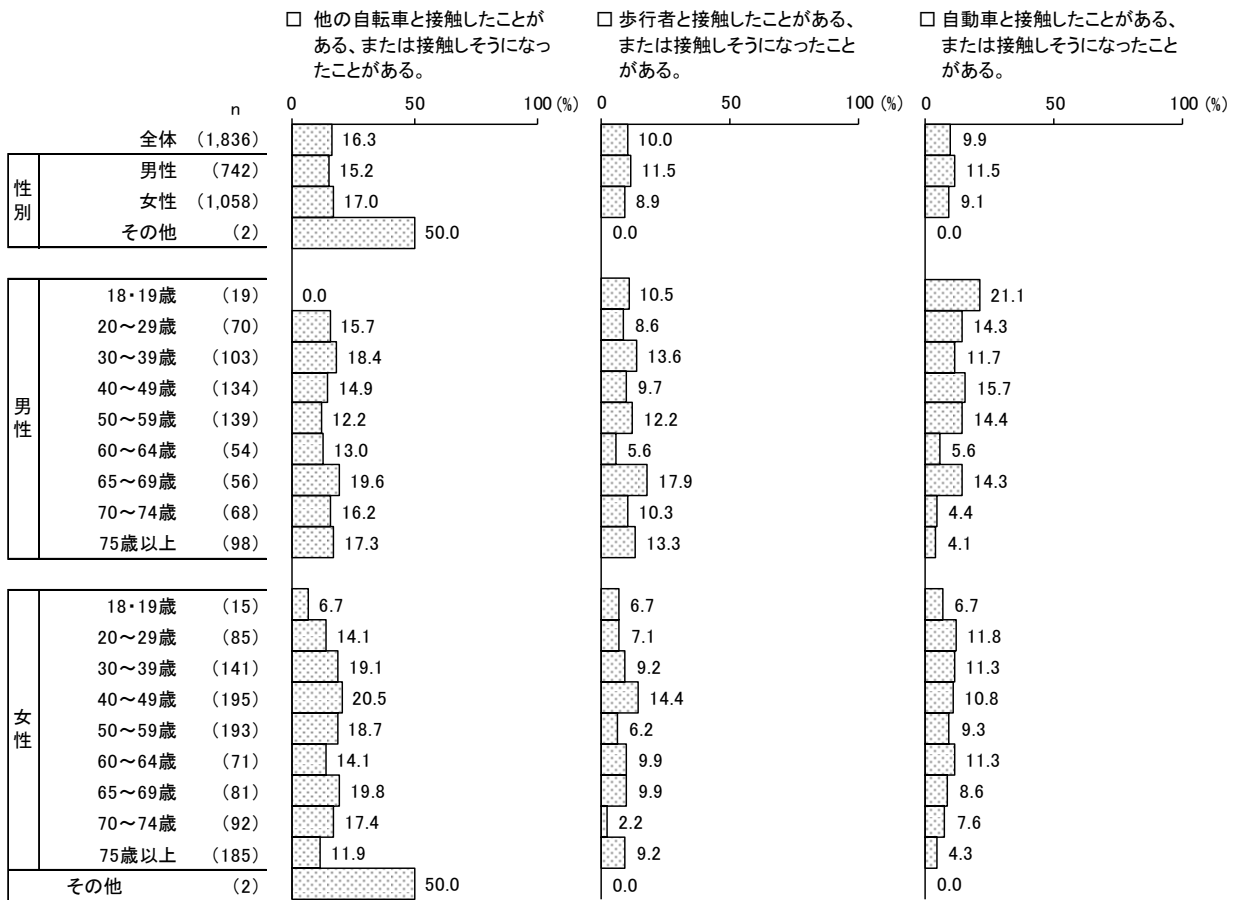
「他の自転車と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。」は女性-40～49歳が20.5%と他の性・年齢に比べて高くなっているが、男性-18・19歳、女性-18・19歳を除いた男性・女性ともに全ての年齢でも1割台となっている。

「歩行者と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。」は2.2%から1割台、「自動車と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。」も4.1%から2割台の回答となっている。

以上のことから、性・年齢にかかわらず危険な経験をしたことがある方は一定数いることがわかる。

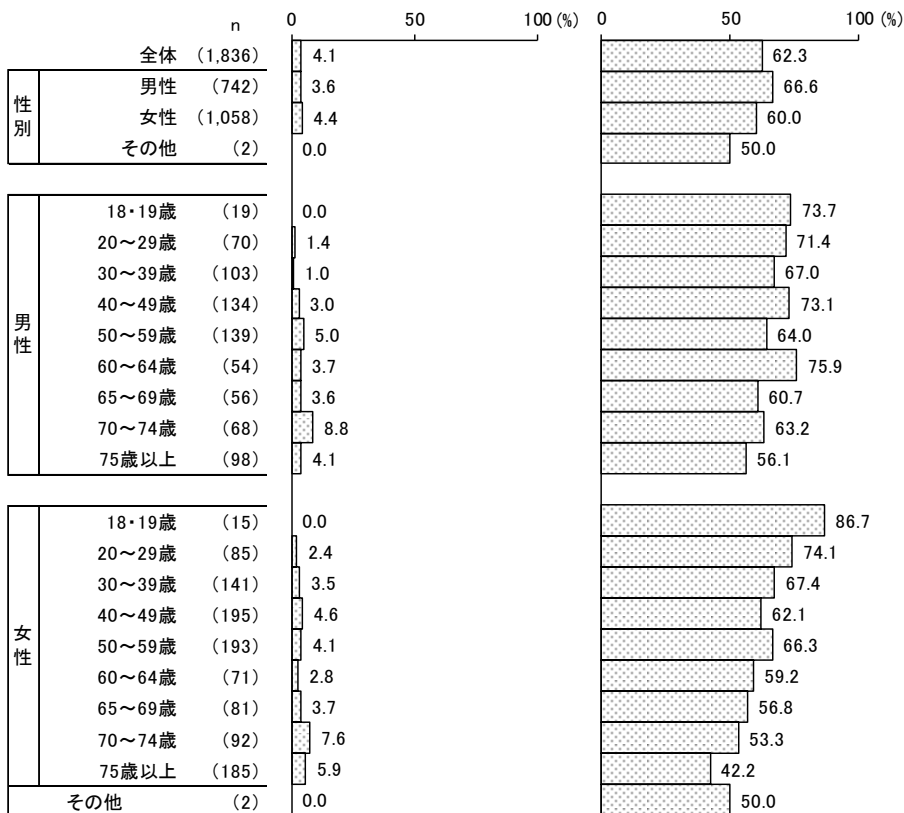
(図表 13-5)

＜図表 13-5＞この1年間で自転車走行中に危険な経験をしたことはあるか／性・年齢別



□ その他

□ ない



【居住地区別】

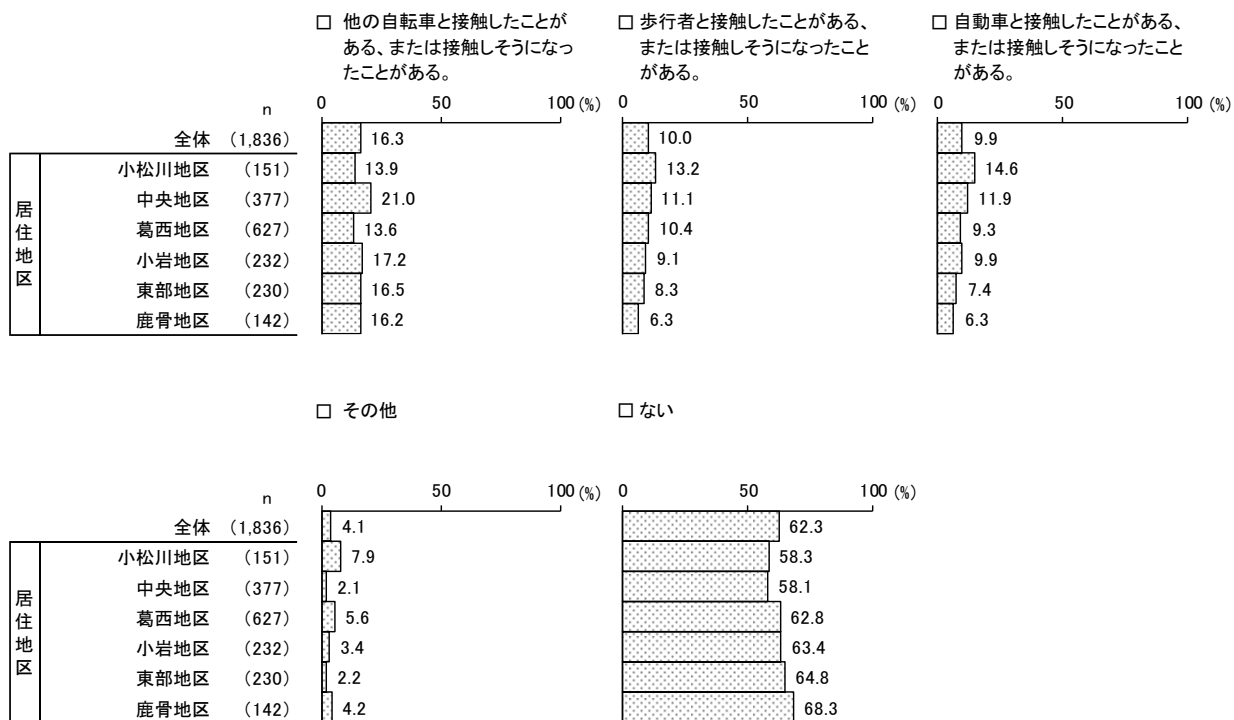
「ない」は全ての居住地区で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

一方、「他の自転車と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。」は1割台から2割台、「歩行者と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。」と「自動車と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。」は1割未満から1割台となっている。

以上のことから、居住地にかかわらず危険な経験をしたことがある方は一定数いることがわかる。

(図表 13-6)

＜図表 13-6＞この1年間で自転車走行中に危険な経験をしたことはあるか／居住地区別

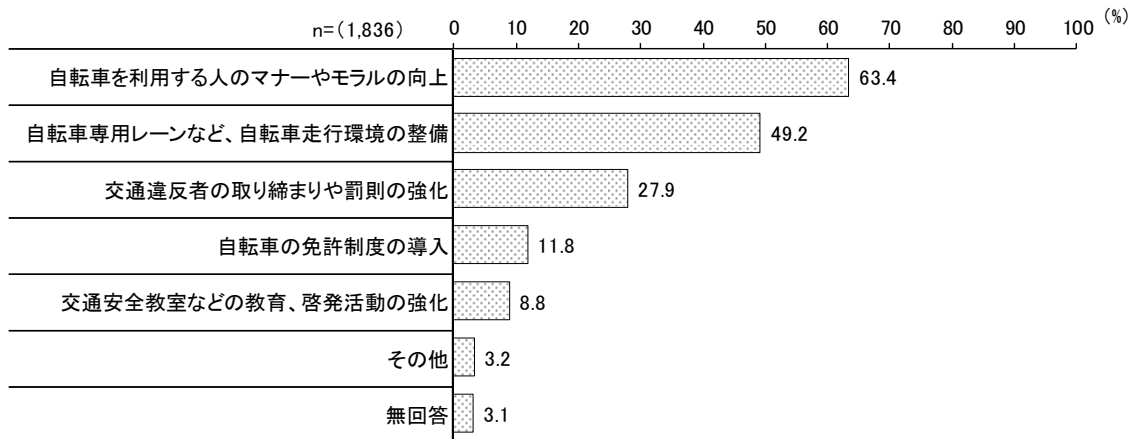


(3) 自転車事故を無くすために必要なこと

◇「自転車を利用する人のマナーやモラルの向上」が63.4%と高い。

問23 あなたは、自転車事故を無くすためには、何が必要と感じますか。(○は2つまで)

<図表 13-7> 自転車事故を無くすために必要なこと



「自転車を利用する人のマナーやモラルの向上」(63.4%)、「自転車専用レーンなど、自転車走行環境の整備」(49.2%)、「交通違反者の取り締まりや罰則の強化」(27.9%)の順に高くなっている。(図表 13-7)

【性・年齢別】

男性-20～29 歳以下、女性-20～29 歳以下を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「自転車を利用する人のマナーやモラルの向上」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、5割台～7割台と数値に差がある。

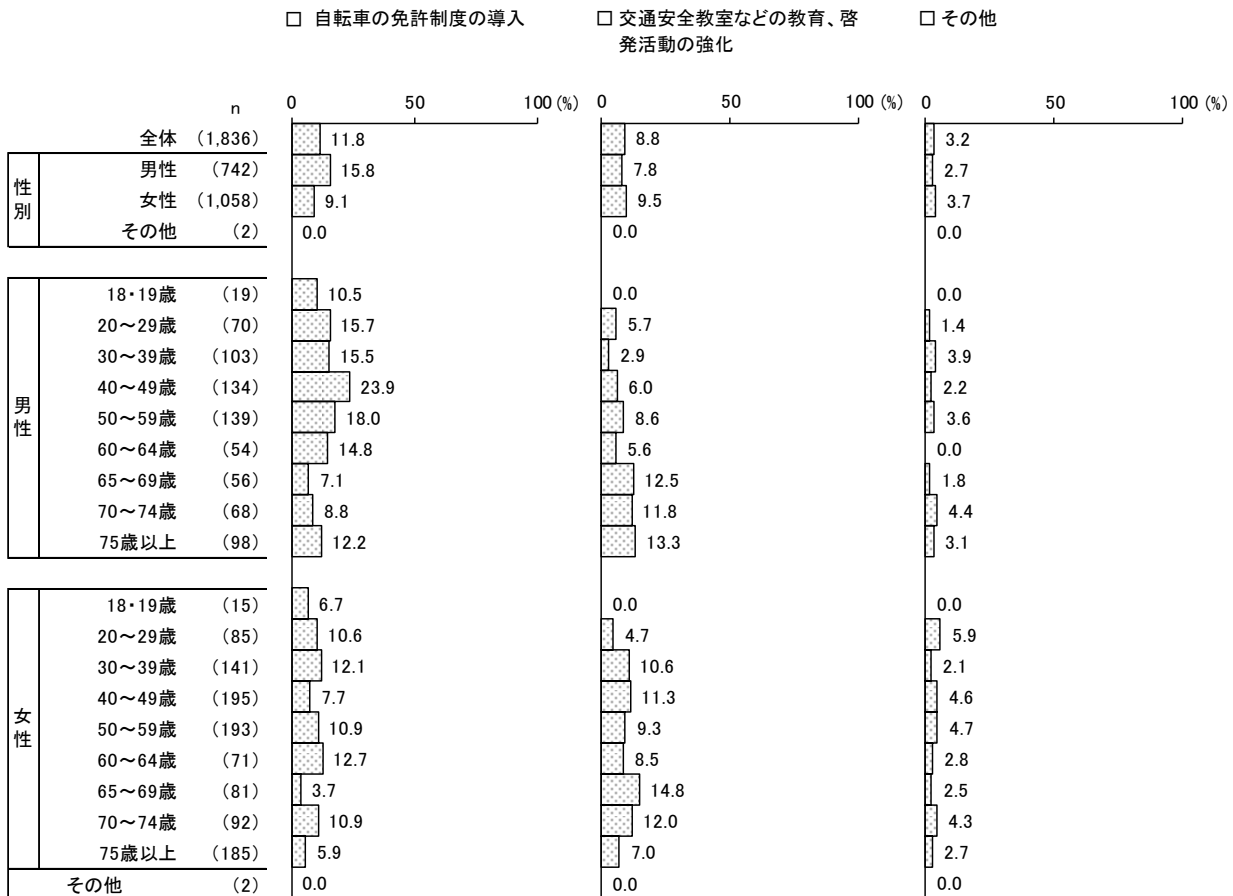
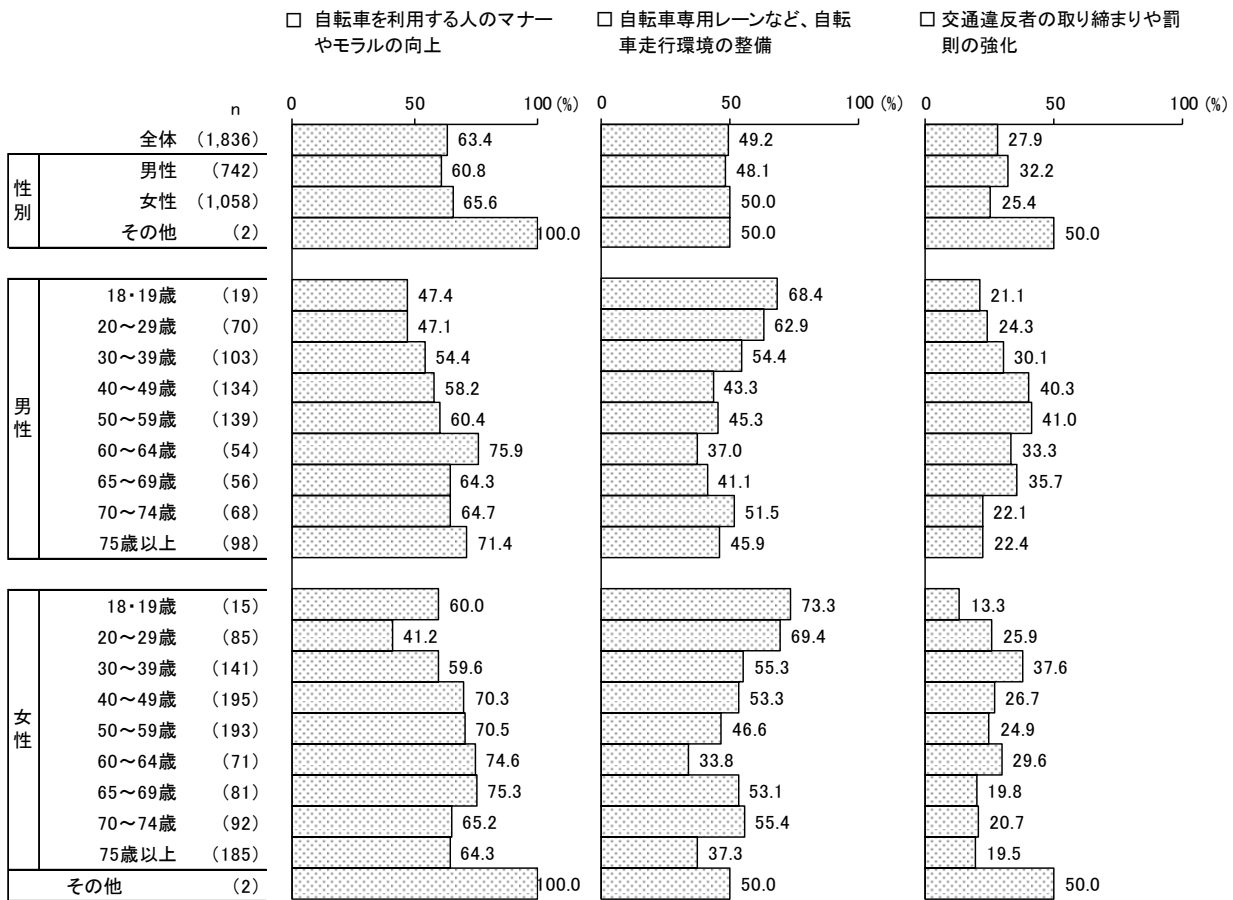
男性-30～39 歳以下(男性-30～39 歳は同率である)、女性-20～29 歳以下は「自転車専用レーンなど、自転車走行環境の整備」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

「交通違反者の取り締まりや罰則の強化」は男性-40～49 歳から 50～59 歳で4割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。

「自転車の免許制度の導入」は男性-40～49 歳で 23.9%と他の性・年齢に比べて高くなっている。

(図表 13-8)

<図表 13-8> 自転車事故を無くすために必要なこと／性・年齢別

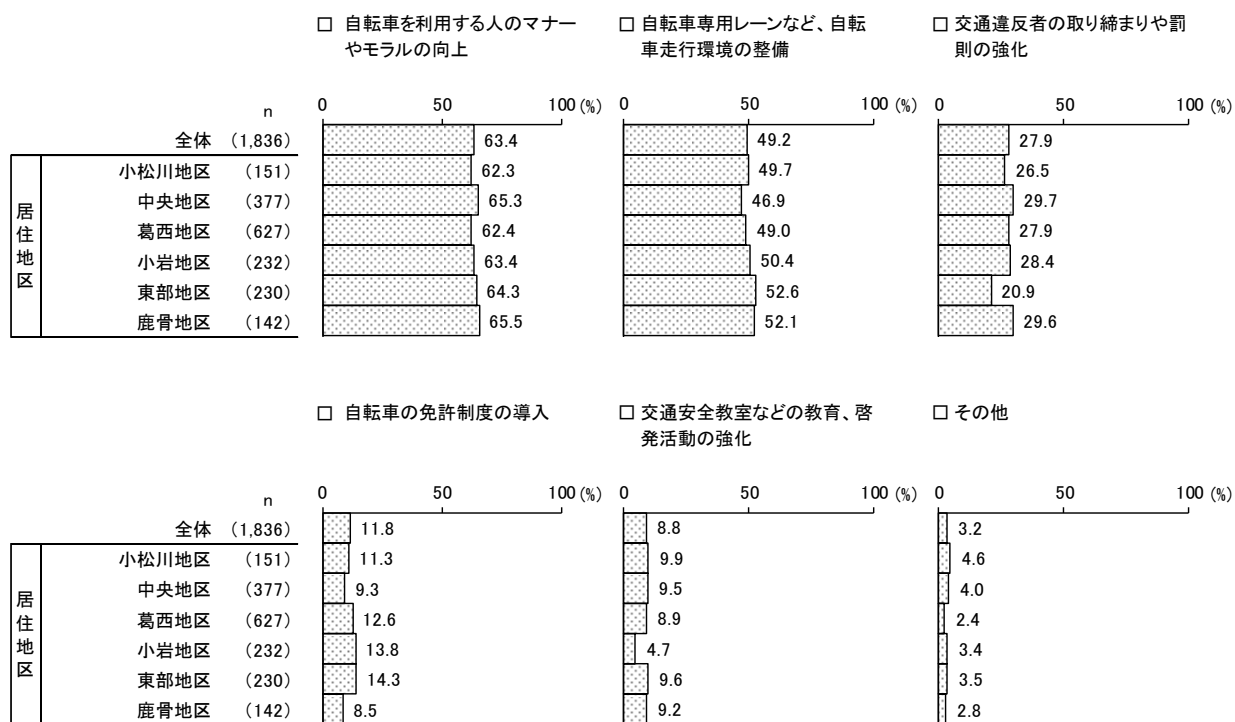


【居住地区別】

全ての居住地区で「自転車を利用する人のマナーやモラルの向上」が6割を超え、他の選択肢に比べて最も高く、次いで「自転車専用レーンなど、自転車走行環境の整備」、「交通違反者の取り締まりや罰則の強化」の順に高くなっている。

一方、「交通安全教室などの教育、啓発活動の強化」は1割未満となっている。(図表 13-9)

＜図表 13-9＞ 自転車事故を無くすために必要なこと／居住地区別



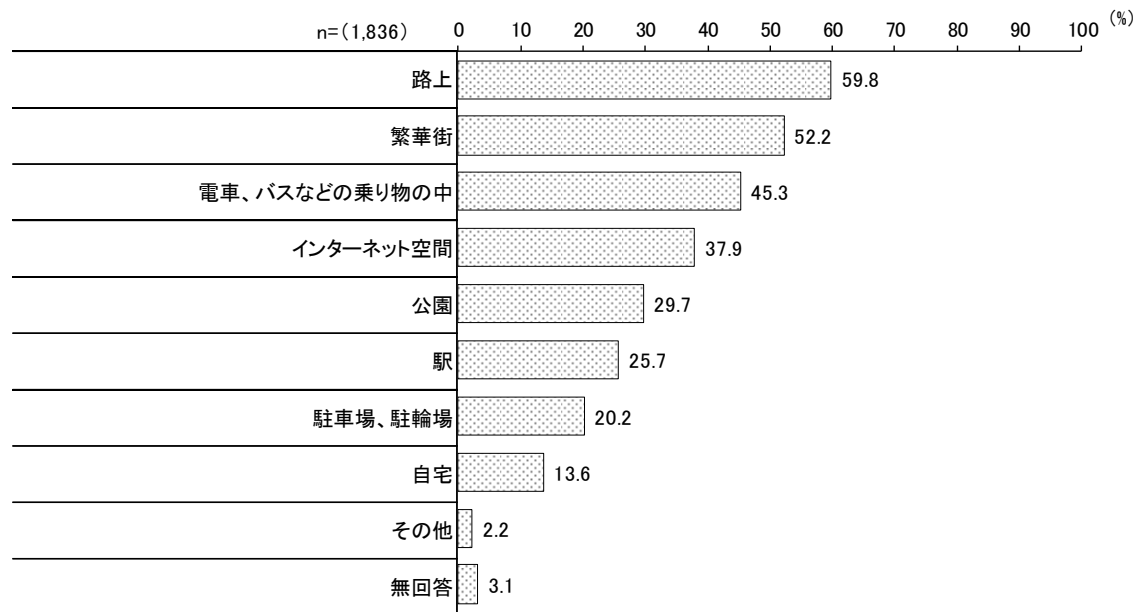
## 14. 治安に対する意識について

### (1) 犯罪被害に遭うかもしれないと不安になる場所

◇「路上」、「繁華街」が5割台。

問24 あなたが、自分や身近な人が犯罪被害に遭うかもしれないと不安になる場所はどこですか。(〇はいくつでも)

<図表 14-1> 犯罪被害に遭うかもしれないと不安になる場所



「路上」(59.8%)、「繁華街」(52.2%)、「電車、バスなどの乗り物の中」(45.3%)、「インターネット空間」(37.9%)の順に高くなっている。(図表 14-1)

#### 【性・年齢別】

男性-30～39歳、男性-50～59歳、男性-70～74歳以上で「路上」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。一方、男性-20～29歳以下、男性-40～49歳、男性-60～64歳から65～69歳で「繁華街」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。以上のことから男性においては不安になる場所が二極化している。

女性は18・19歳を除いて、「路上」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、5割台～7割台と数値に差がある。

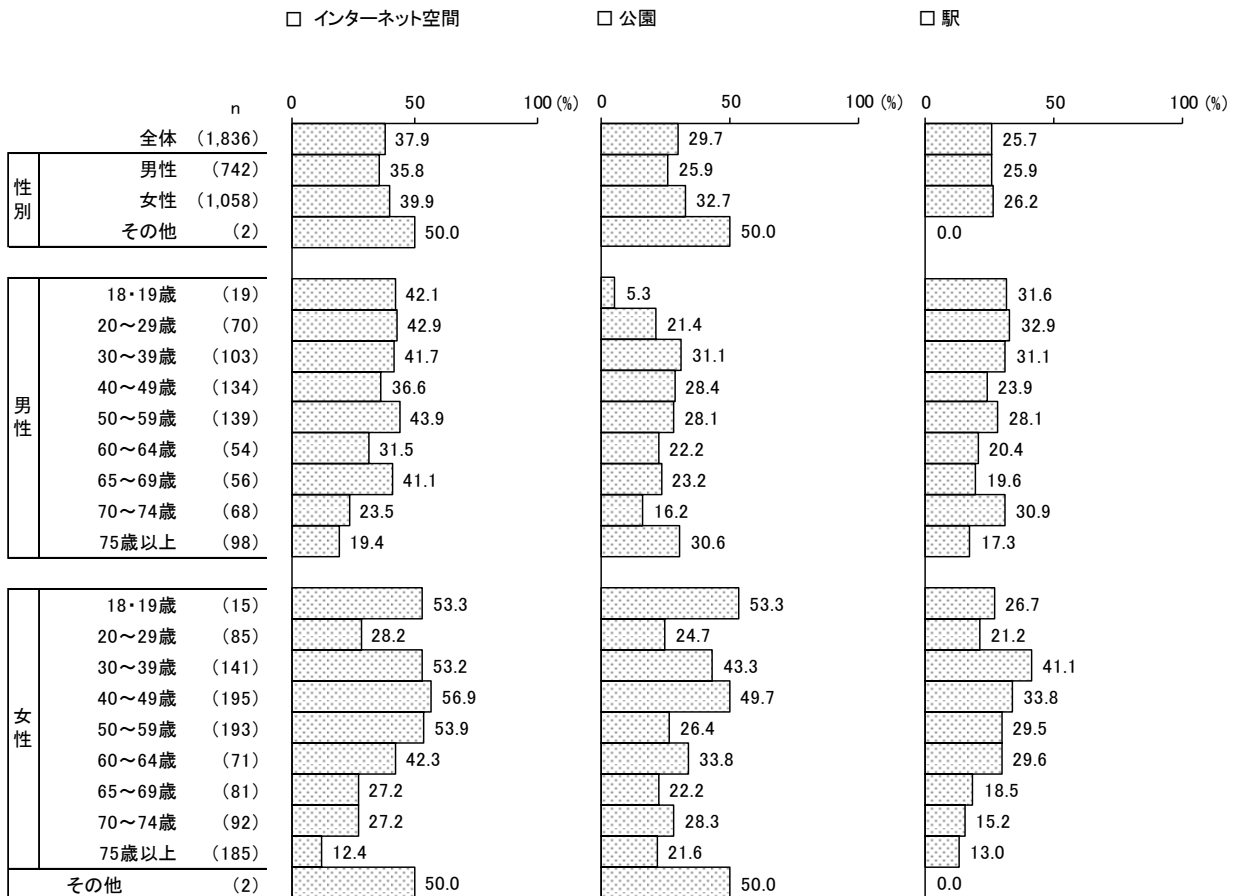
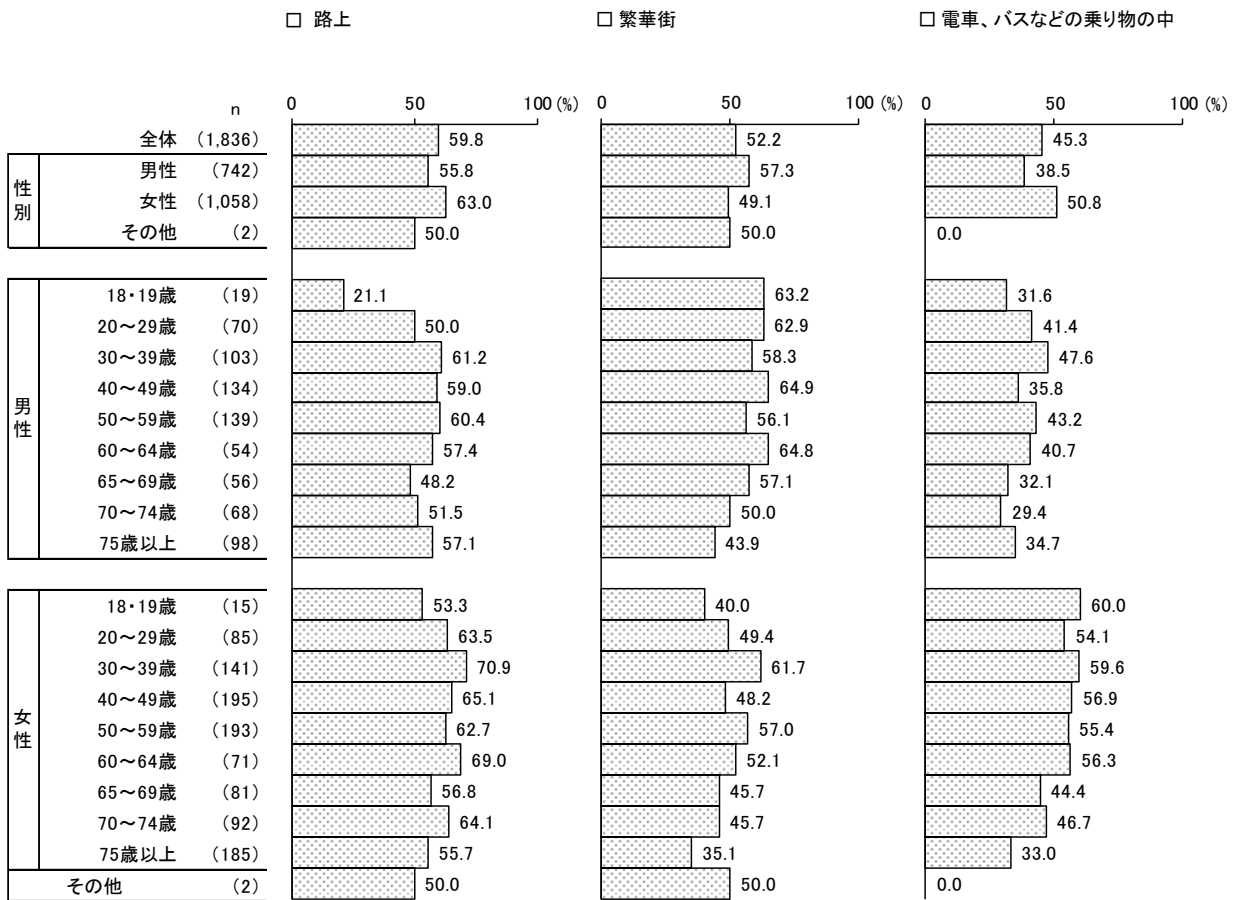
「電車、バスなどの乗り物の中」は男性が38.5%に対して、女性が50.8%と女性の方が10ポイント以上高くなっている。その中でも、女性-60～64歳以下は5割を超え、他の性・年齢に比べて高くなっている。

「インターネット空間」は男性-70～74歳以上、女性-20～29歳、女性-65～69歳以上で2割台以下と他の性・年齢に比べて低くなっている。

女性-30～39歳は「駅」で41.1%と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表 14-2)



<図表 14-2> 犯罪被害に遭うかもしれないと不安になる場所(上位6項目)／性・年齢別



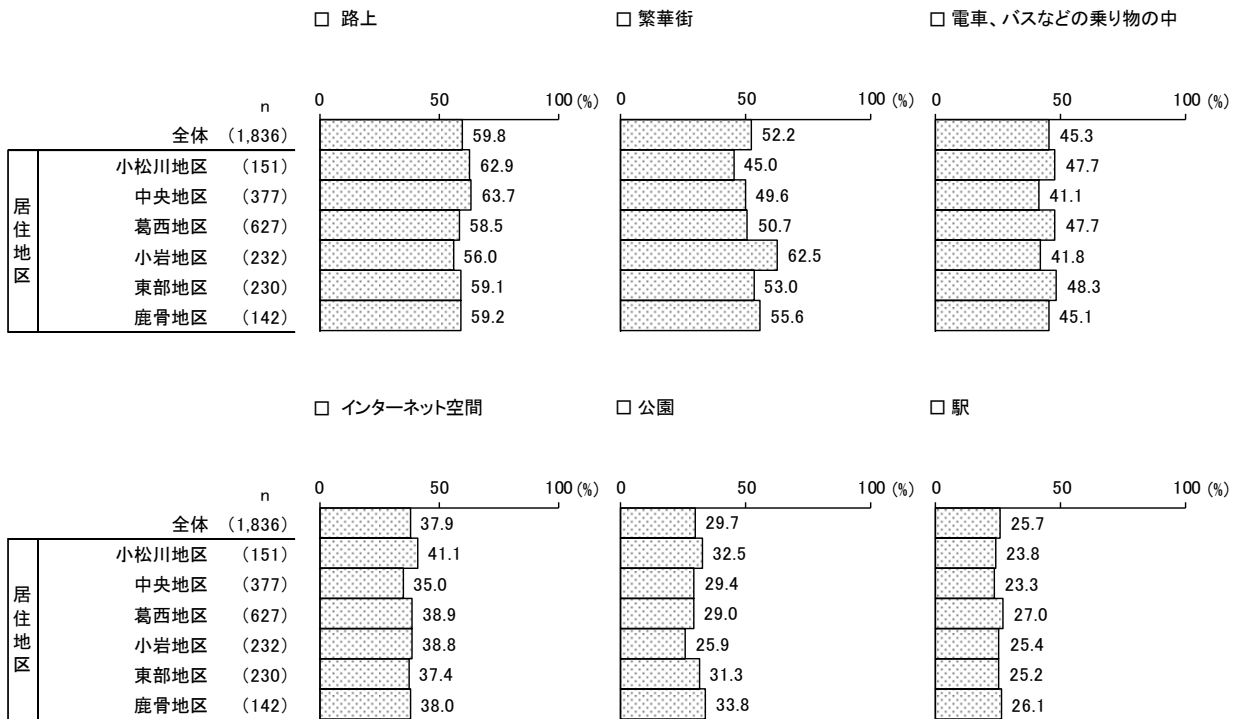
【居住地区別】

小岩地区を除いて、全ての居住地区で「路上」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。小岩地区は「繁華街」が62.5%と最も高い回答となっている。

一方、全ての居住地区で「電車、バスなどの乗り物の中」は4割台、「駅」が2割台となっている。

(図表 14-3)

＜図表 14-3＞犯罪被害に遭うかもしれないと不安になる場所(上位6項目)／居住地区別

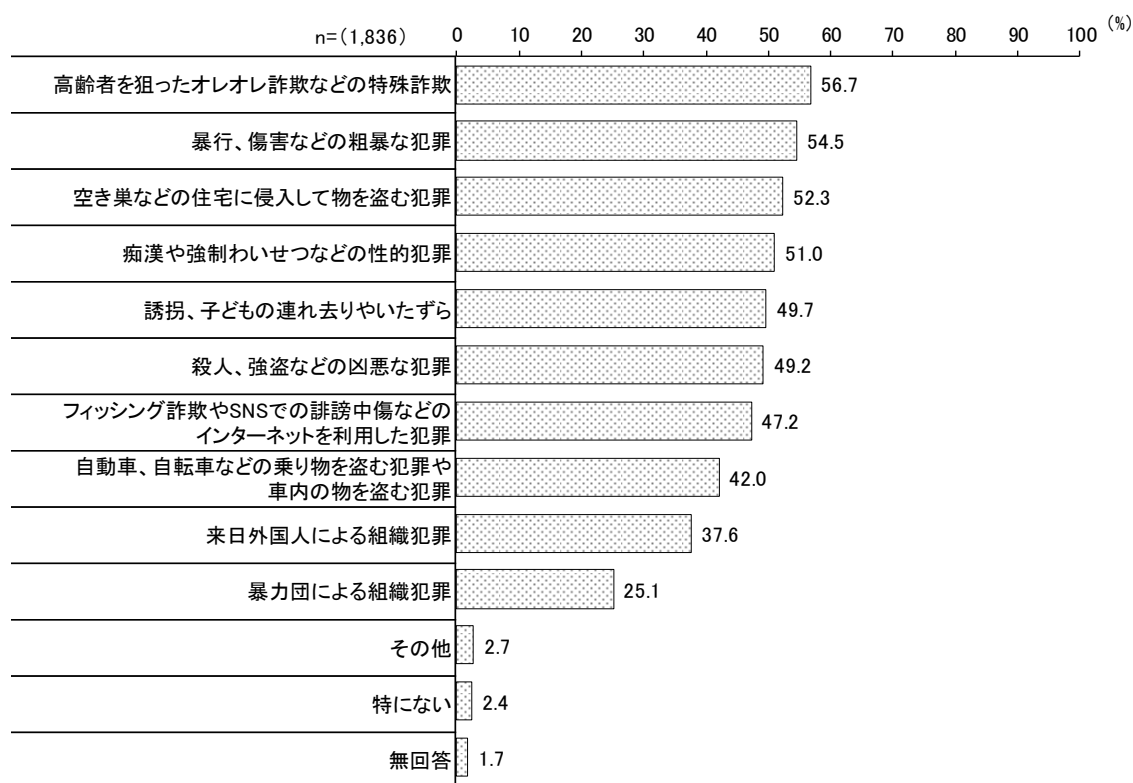


(2) 力を入れてほしい犯罪対策

◇「高齢者を狙ったオレオレ詐欺などの特殊詐欺」、「暴行、傷害などの粗暴な犯罪」、「空き巣などの住宅に侵入して物を盗む犯罪」、「痴漢や強制わいせつなどの性的犯罪」が5割台。

問25 あなたが、区や警察にさらに力を入れて対策をしてほしい犯罪は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 14-4> 力を入れてほしい犯罪対策

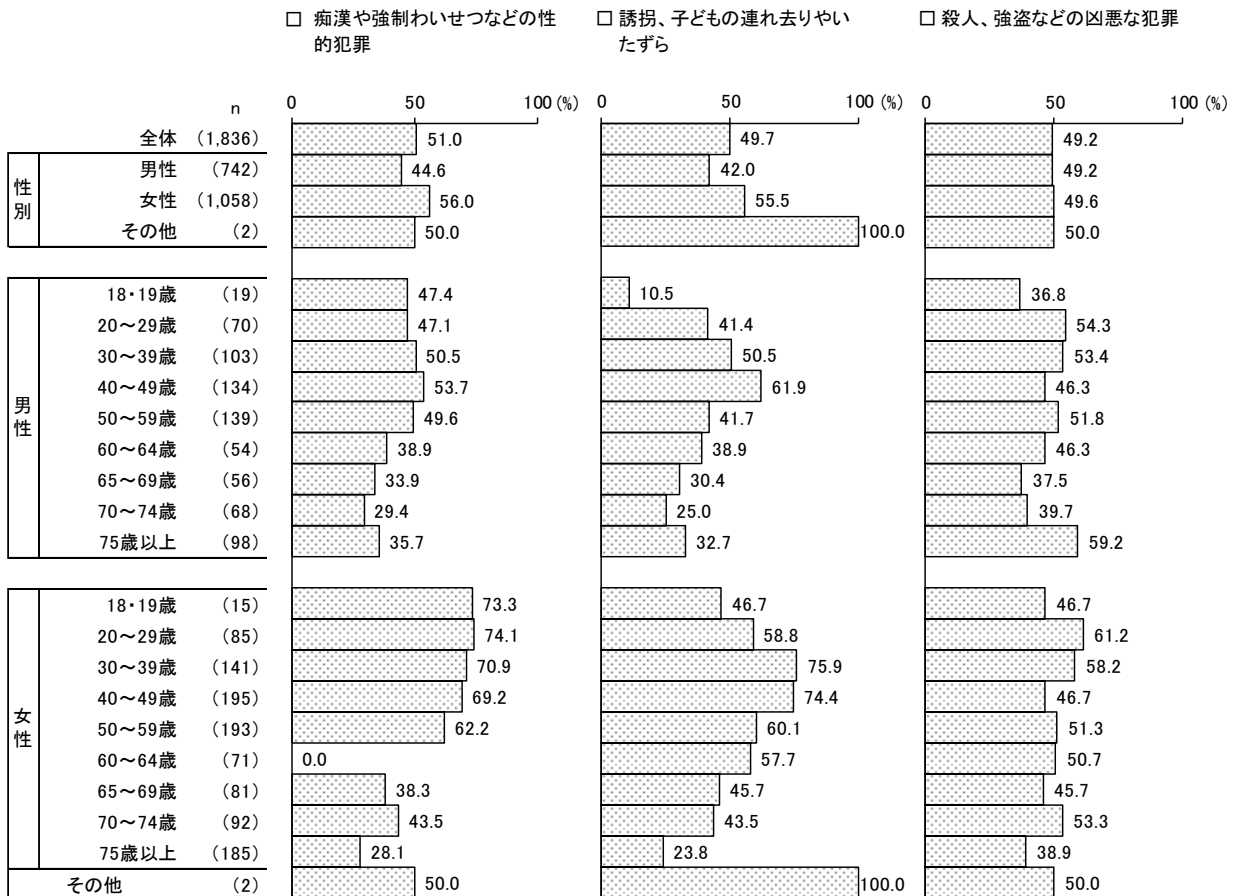
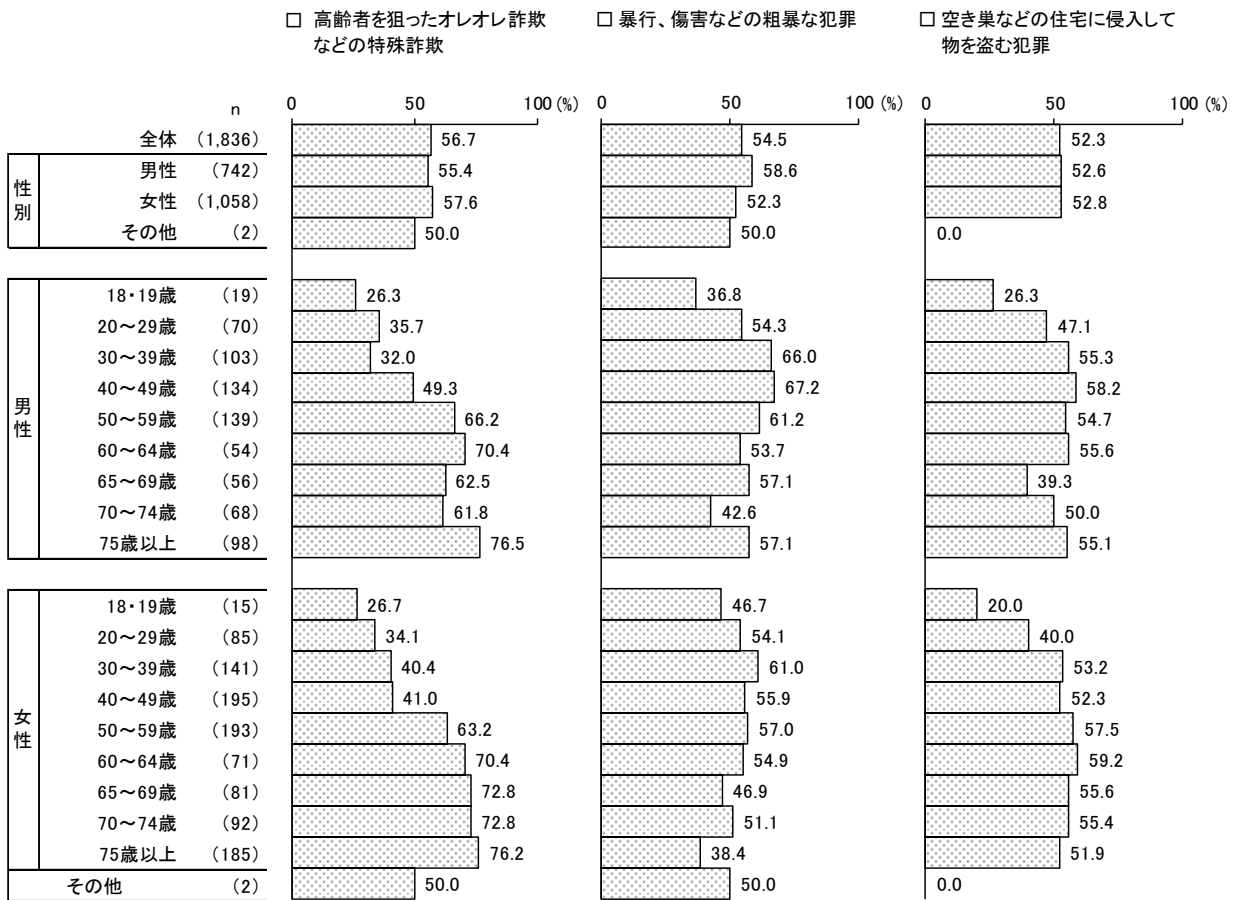


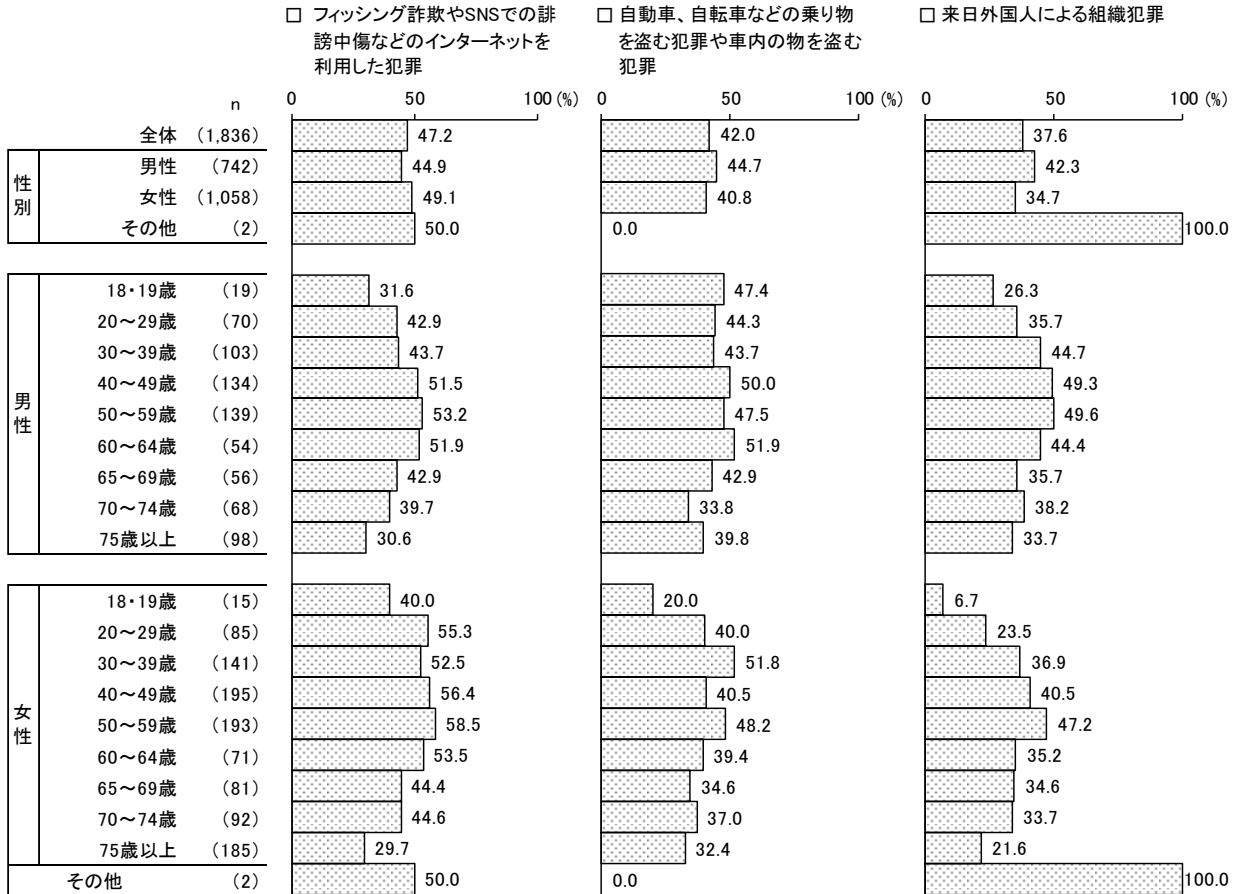
「高齢者を狙ったオレオレ詐欺などの特殊詐欺」(56.7%)、「暴行、傷害などの粗暴な犯罪」(54.5%)、「空き巣などの住宅に侵入して物を盗む犯罪」(52.3%)、「痴漢や強制わいせつなどの性的犯罪」(51.0%)、「誘拐、子どもの連れ去りやいたずら」(49.7%)、「殺人、強盗などの凶悪な犯罪」(49.2%)、「フィッシング詐欺やSNSでの誹謗中傷などのインターネットを利用した犯罪」(47.2%)、「自動車、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内の物を盗む犯罪」(42.0%)は4割台～5割台となっている。(図表 14-4)

【性・年齢別】

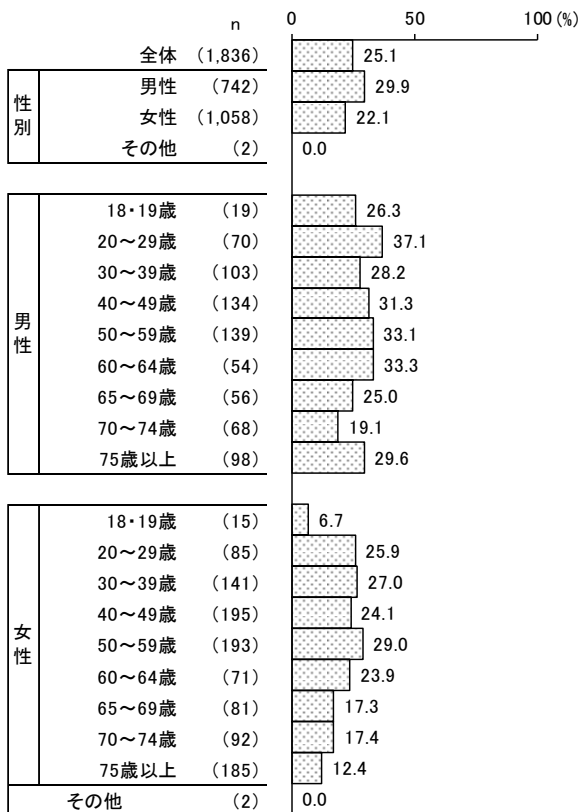
「高齢者を狙ったオレオレ詐欺などの特殊詐欺」は男性・女性ともに50～59歳以上で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。「暴行、傷害などの粗暴な犯罪」は男性-20～29歳から40～49歳で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。「痴漢や強制わいせつなどの性的犯罪」は男性が44.6%に対して、女性が56.0%と女性の方が10ポイント以上高くなっている。その中でも、女性-30～39歳以下で7割台と特に高くなっている。「誘拐、子どもの連れ去りやいたずら」は男性が42.0%に対して、女性が55.5%と女性の方が10ポイント以上高くなっている。その中でも、女性-30～39歳から40～49歳で7割台と特に高くなっている。「殺人、強盗などの凶悪な犯罪」は男性-20～29歳で54.3%(同率)と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。(図表 14-5)

<図表 14-5> 力を入れてほしい犯罪対策(上位 10 項目)／性・年齢別





暴力団による組織犯罪



【居住地区別】

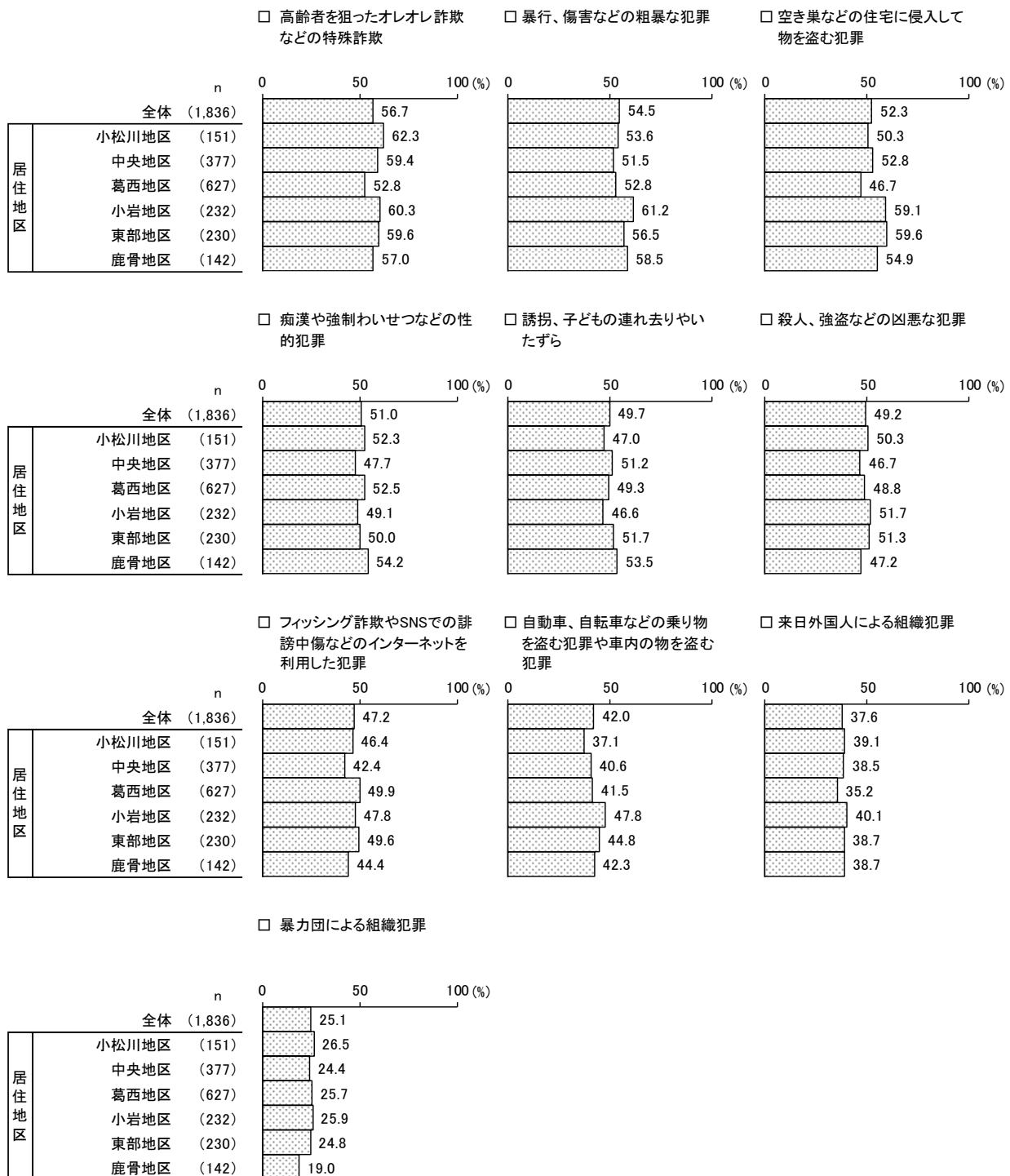
「高齢者を狙ったオレオレ詐欺などの特殊詐欺」は小松川地区、中央地区、葛西地区、東部地区で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

「暴行、傷害などの粗暴な犯罪」は葛西地区(同率)、小岩地区、鹿骨地区で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

「空き巣などの住宅に侵入して物を盗む犯罪」は東部地区で 59.6%(同率)と最も高い回答となっている。

また、全ての居住地区で「フィッシング詐欺や SNS での誹謗中傷などのインターネットを利用した犯罪」は4割台となっている。(図表 14-6)

＜図表 14-6＞力を入れてほしい犯罪対策(上位 10 項目)／居住地区別



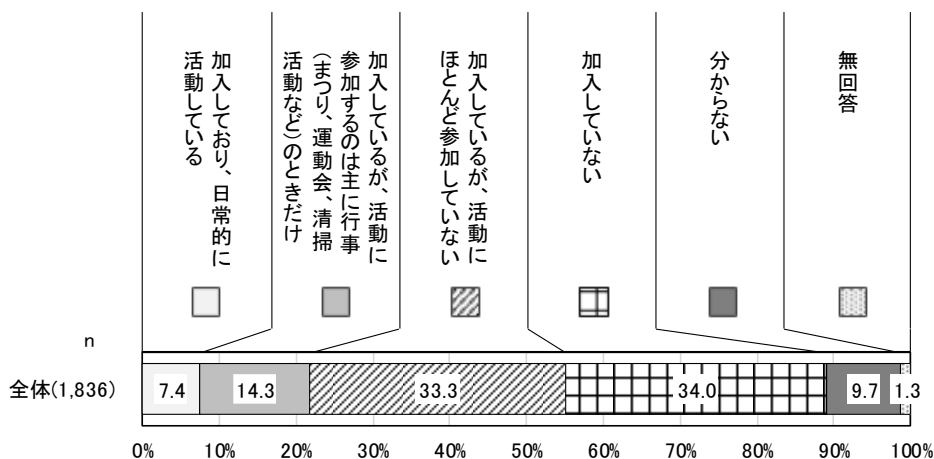
## 15. 町会・自治会について

### (1) 町会・自治会への加入状況

◇「加入しているが、活動にほとんど参加していない」、「加入していない」が3割台。

問26 あなた(の世帯)の町会・自治会への加入状況についてお答えください。(○は1つ)

<図表 15-1> 町会・自治会への加入状況



「加入しているが、活動にほとんど参加していない」は33.3%、「加入していない」は34.0%となっている。一方、「加入しており、日常的に活動している」は7.4%と1割未満となっている。(図表 15-1)

#### 【性・年齢別】

「加入しているが、活動に参加するのは主に行事(まつり、運動会、清掃活動など)のときだけ」は男性-65~69歳で32.1%と他の性・年齢に比べて高くなっている。

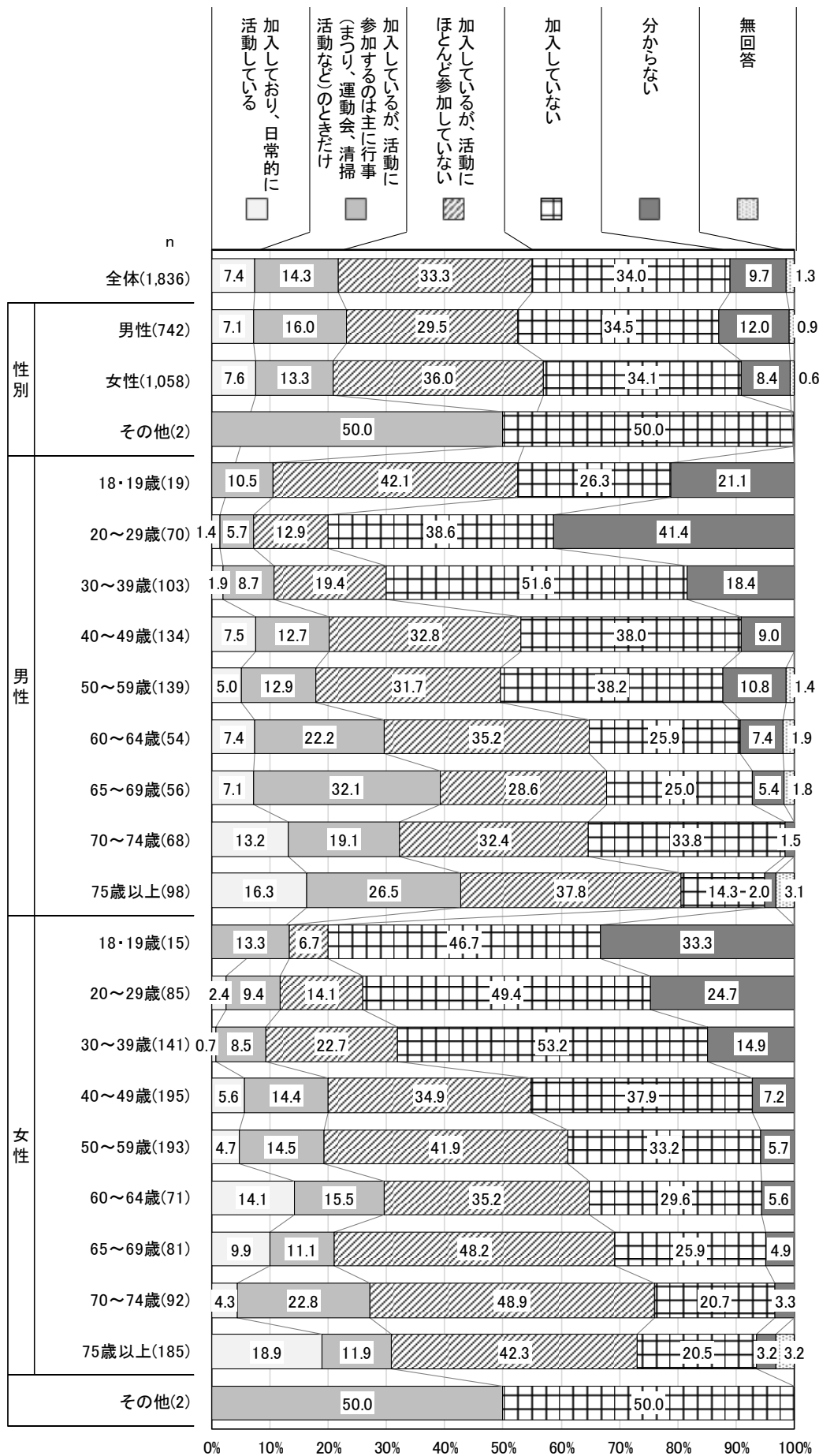
「加入しているが、活動にほとんど参加していない」は男性-60~64歳、男性-75歳以上、女性-50~59歳以上で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

「加入していない」は男性-30~39歳から50~59歳、男性-70~74歳、女性-40~49歳以下で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

「分からない」は男性-20~29歳で41.4%と最も高い回答となっている。

以上のことから、女性は「加入しているが、活動にほとんど参加していない」と「加入していない」のいずれかの回答が最も高くなっているが、男性は女性に比べて年齢別で町会・自治会への加入状況に違いが見られる。(図表 15-2)

<図表 15-2>町会・自治会への加入状況／性・年齢別



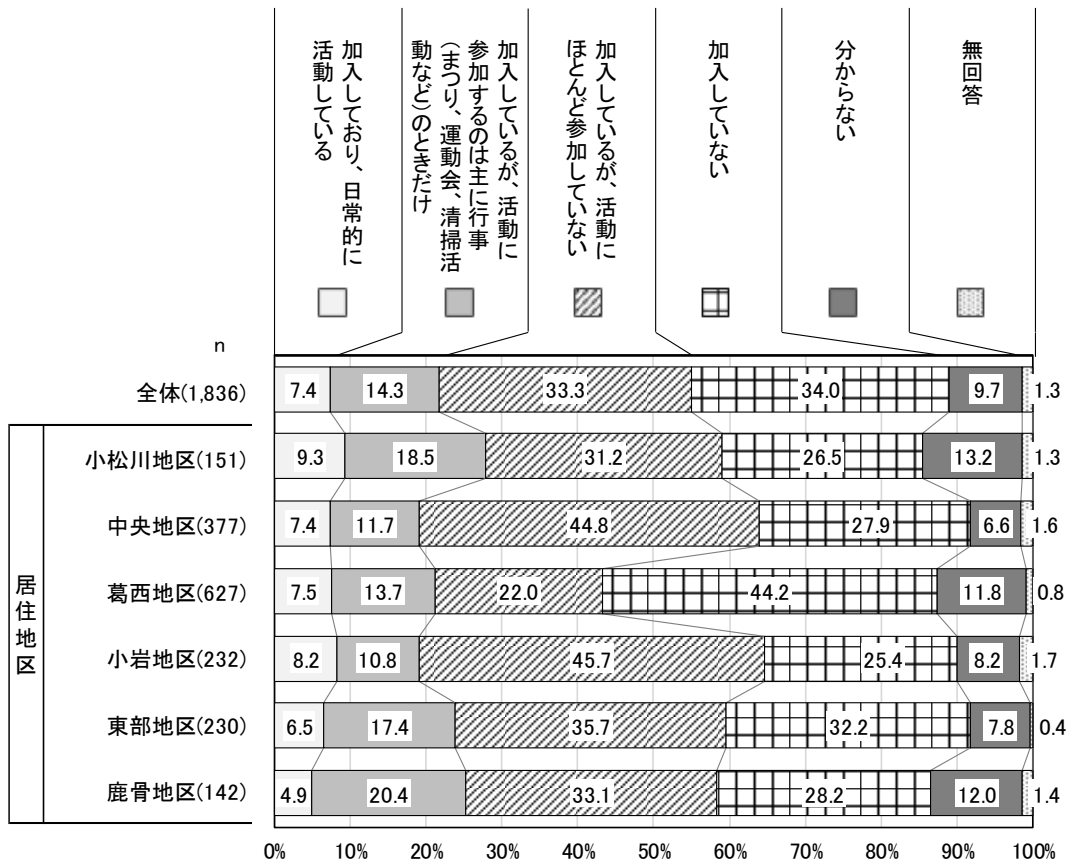


【居住地区別】

葛西地区を除いて、全ての居住地区で「加入しているが、活動にほとんど参加していない」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。葛西地区は「加入していない」で44.2%と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

一方、全ての居住地区で「加入しており、日常的に活動している」は1割未満となっている。(図表 15-3)

＜図表 15-3＞町会・自治会への加入状況／居住地区別

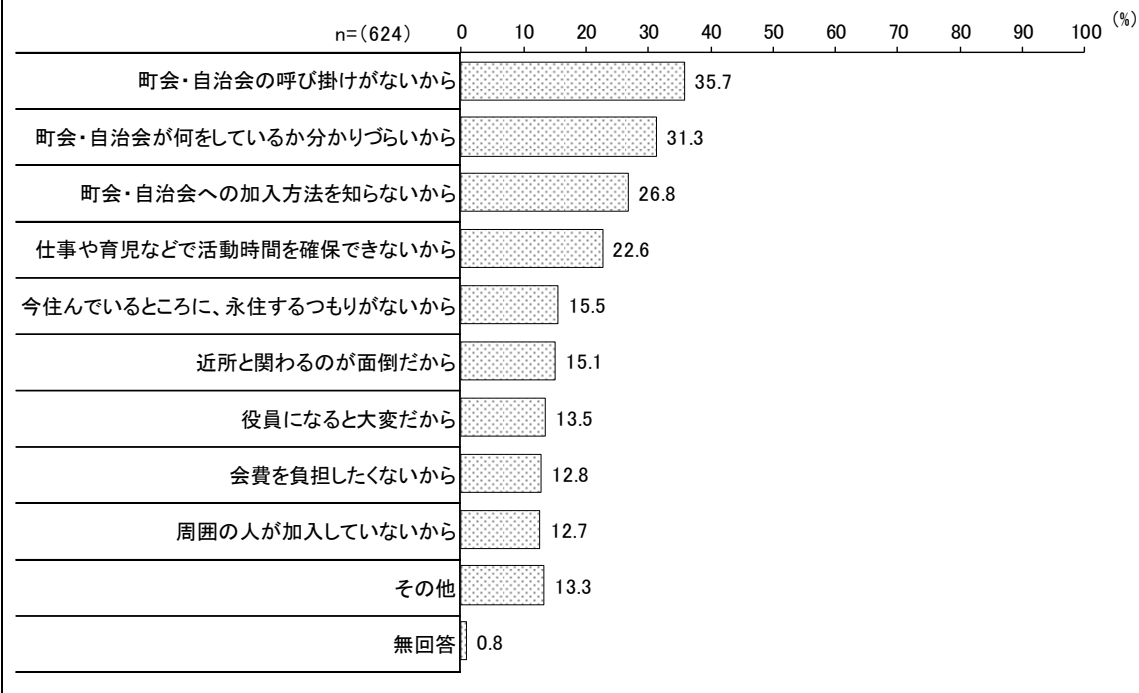


(1-1) 町会・自治会未加入の理由

◇「町会・自治会の呼び掛けがないから」、「町会・自治会が何をしているか分かりづらいから」が3割台。

問26-1 <問26で「4 加入していない」と答えた方にお尋ねします。>町会・自治会未加入の理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 15-4>町会・自治会未加入の理由



「町会・自治会の呼び掛けがないから」(35.7%)、「町会・自治会が何をしているか分かりづらいから」(31.3%)、「町会・自治会への加入方法を知らないから」(26.8%)の順に高くなっている。いずれも町会・自治会の周知・情報提供に関わる理由となっている。(図表 15-4)

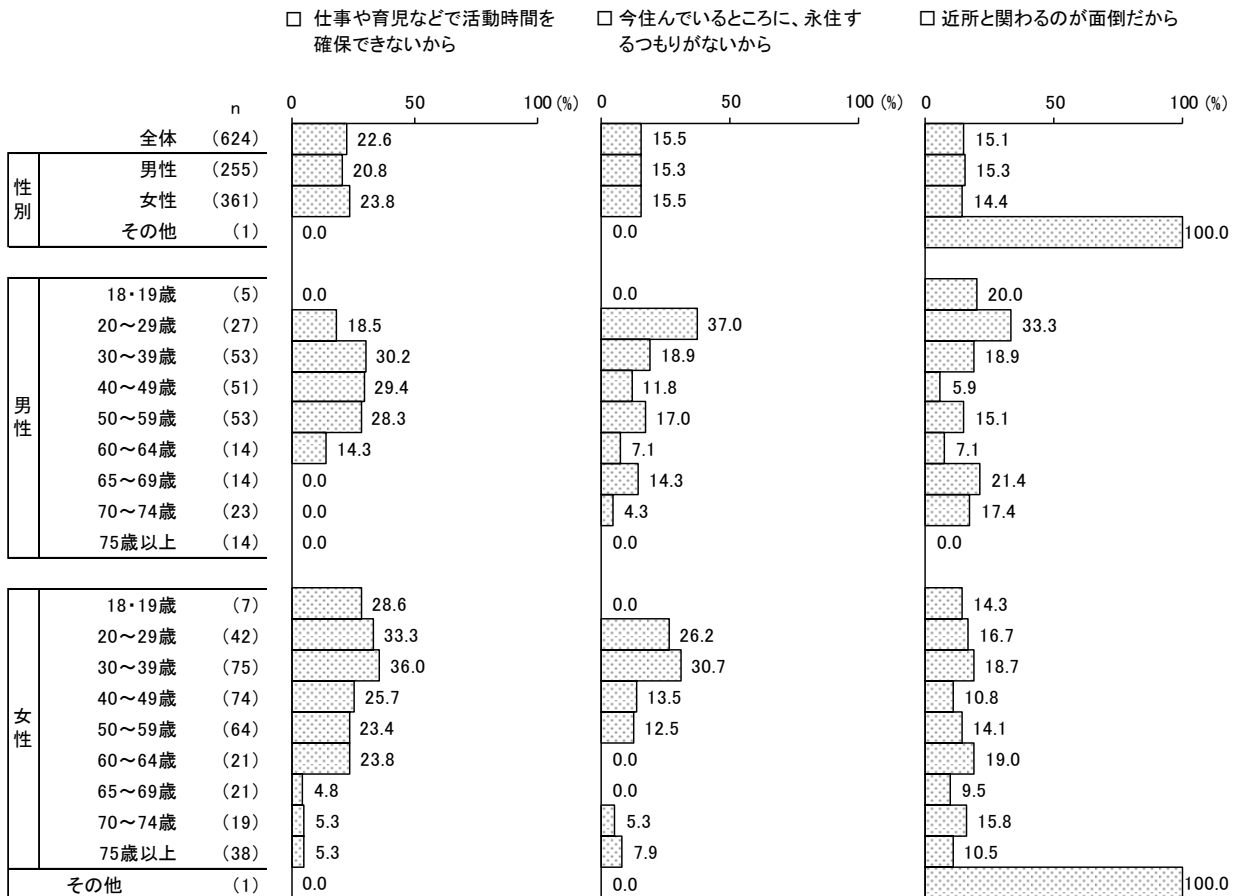
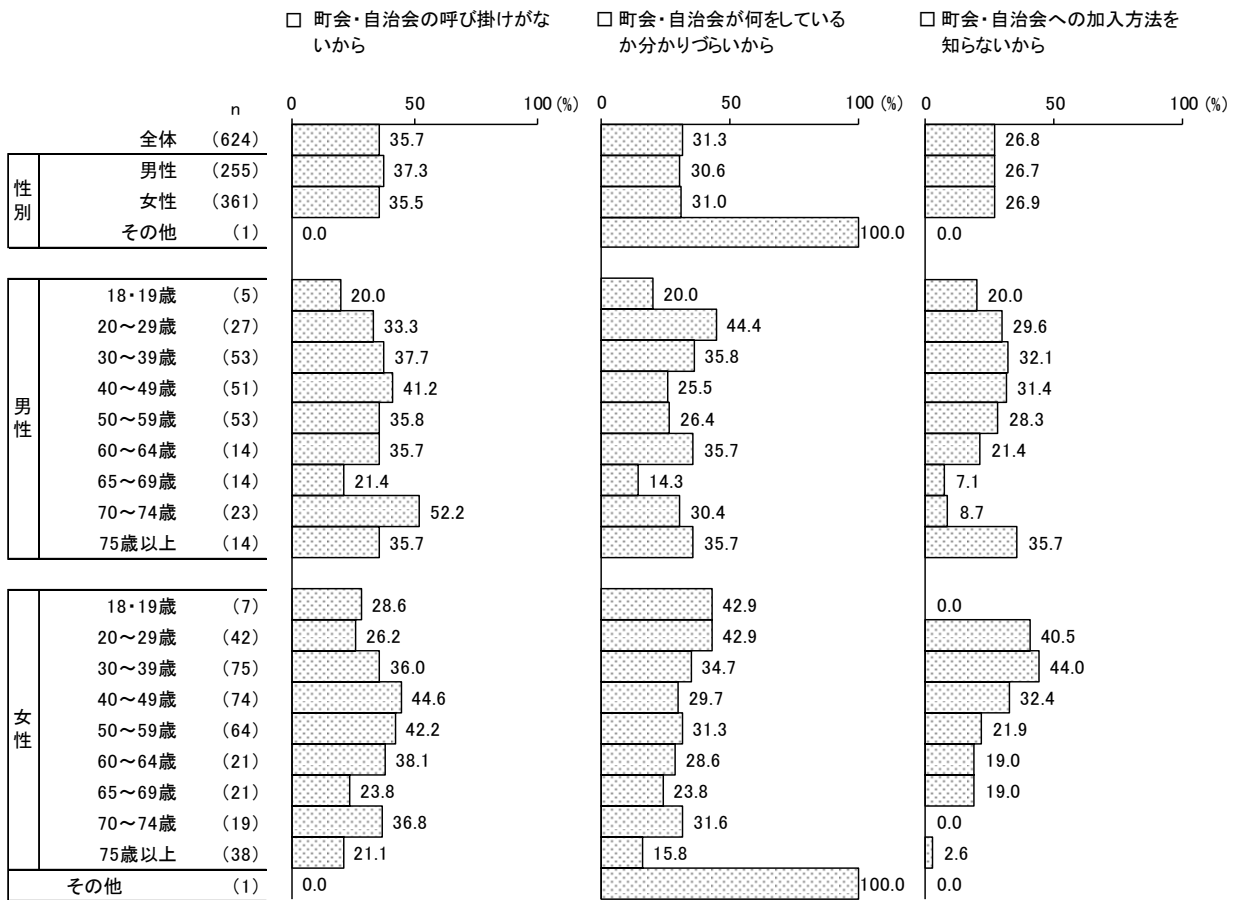
【性・年齢別】

男性-20～29歳以下、女性-30～39歳以下を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「町会・自治会の呼び掛けがないから」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

女性-20～29歳は「町会・自治会が何をしているか分かりづらいから」で42.9%と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

女性-20～29歳から女性-30～39歳は「町会・自治会への加入方法を知らないから」で4割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表 15-5)

<図表 15-5>町会・自治会未加入の理由(上位6項目)／性・年齢別



【居住地区別】

小松川地区を除いて、全ての居住地区で「町会・自治会の呼び掛けがないから」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。小松川地区は「町会・自治会への加入方法を知らないから」が35.0%と最も高い回答となっている。

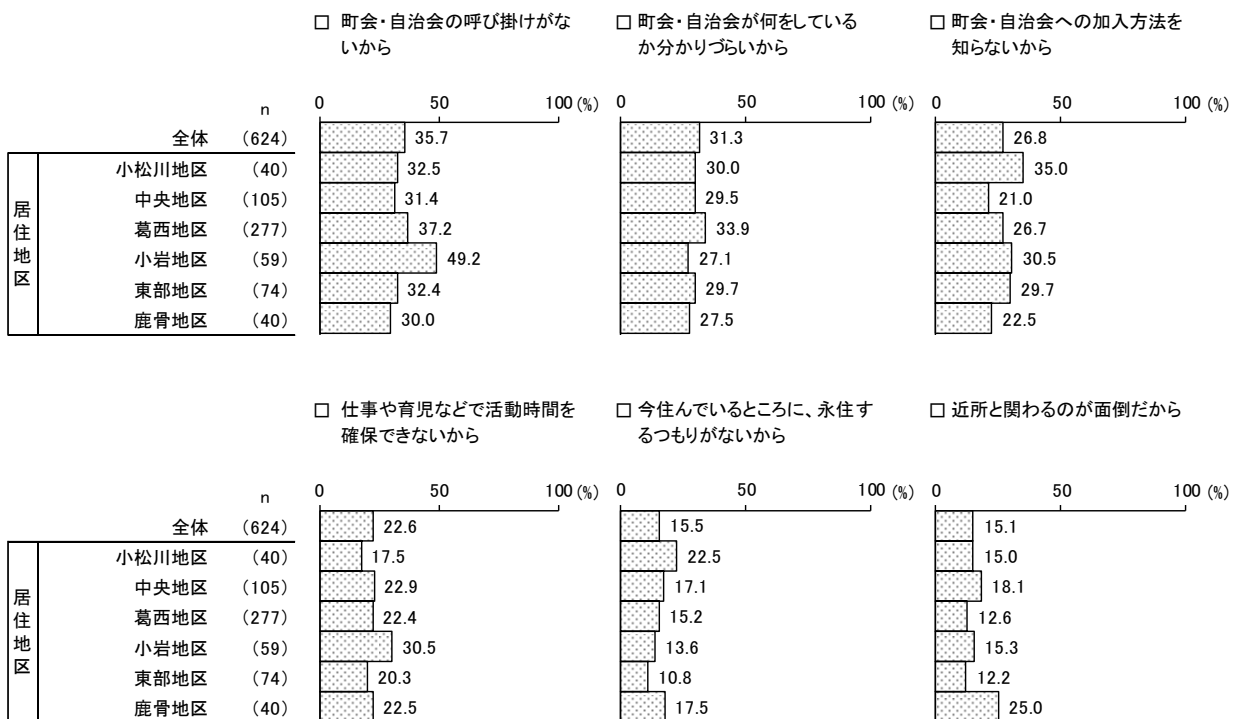
また、小松川地区は「今住んでいるところに、永住するつもりがないから」で22.5%と他の居住地区に比べて高くなっている。

小岩地区は「仕事や育児などで活動時間を確保できないから」で30.5%と他の居住地区に比べて高くなっている。

鹿骨地区は「近所と関わるのが面倒だから」で25.0%と他の居住地区に比べて高くなっている。

(図表 15-6)

<図表 15-6> 町会・自治会未加入の理由(上位6項目)／居住地区別

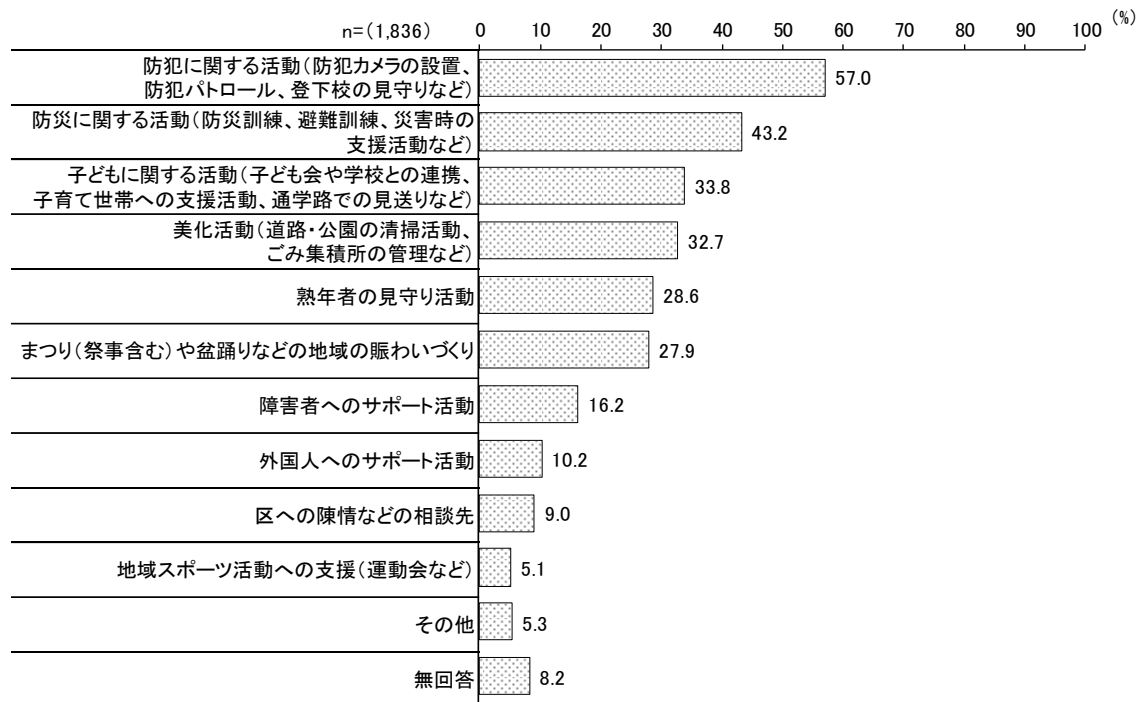


(2) 町会・自治会に求めること

◇「防犯に関する活動（防犯カメラの設置、防犯パトロール、登下校の見守りなど）」が57.0%と高い。

問27 あなたは町会・自治会に何を求めていますか。(○はいくつでも)

<図表 15-7>町会・自治会に求めること



「防犯に関する活動(防犯カメラの設置、防犯パトロール、登下校の見守りなど)」(57.0%)、「防災に関する活動(防災訓練、避難訓練、災害時の支援活動など)」(43.2%)、「子どもに関する活動(子ども会や学校との連携、子育て世帯への支援活動、通学路での見送りなど)」(33.8%)、「美化活動(道路・公園の清掃活動、ごみ集積所の管理など)」(32.7%)の順に高くなっている。一方、「区への陳情などの相談先」は9.0%、「地域スポーツ活動への支援(運動会など)」は5.1%と1割未満となっている。(図表 15-7)

**【性・年齢別】**

男性-18・19 歳、女性-18・19 歳を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「防犯に関する活動(防犯カメラの設置、防犯パトロール、登下校の見守りなど)」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、4割台～7割台と数値に差がある。

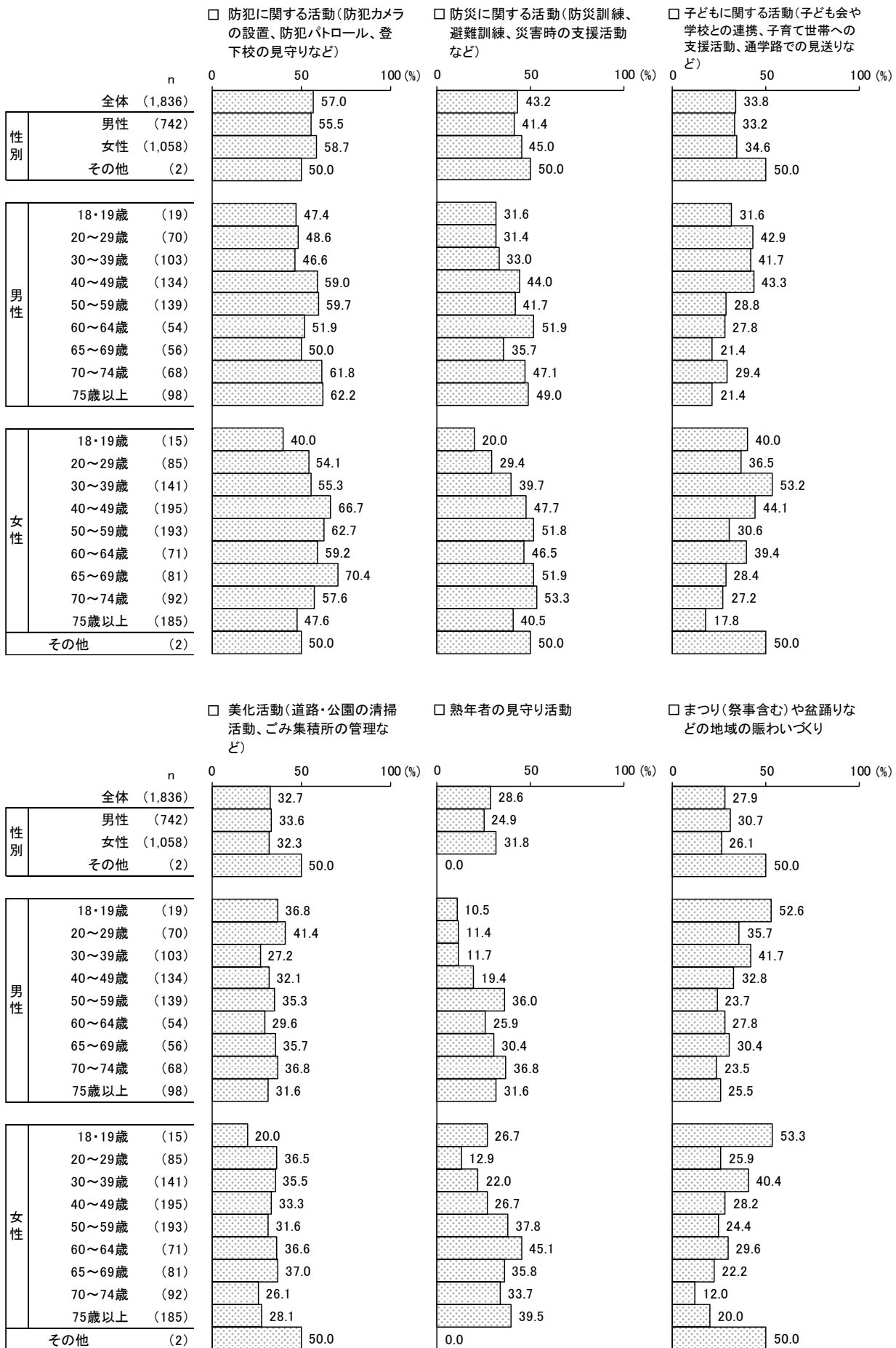
「防災に関する活動(防災訓練、避難訓練、災害時の支援活動など)」は男性-60～64 歳、女性-50～59 歳、女性-65～69 歳から 70～74 歳で5割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。

「子どもに関する活動(子ども会や学校との連携、子育て世帯への支援活動、通学路での見送りなど)」は女性-30～39 歳で 53.2%と他の性・年齢に比べて高くなっている。

「美化活動(道路・公園の清掃活動、ごみ集積所の管理など)」は男性-20～29 歳で 41.4%と他の性・年齢に比べて高くなっている。

「熟年者の見守り活動」は女性-60～64 歳で 45.1%と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表 15-8)

<図表 15-8>町会・自治会に求めること(上位6項目)／性・年齢別

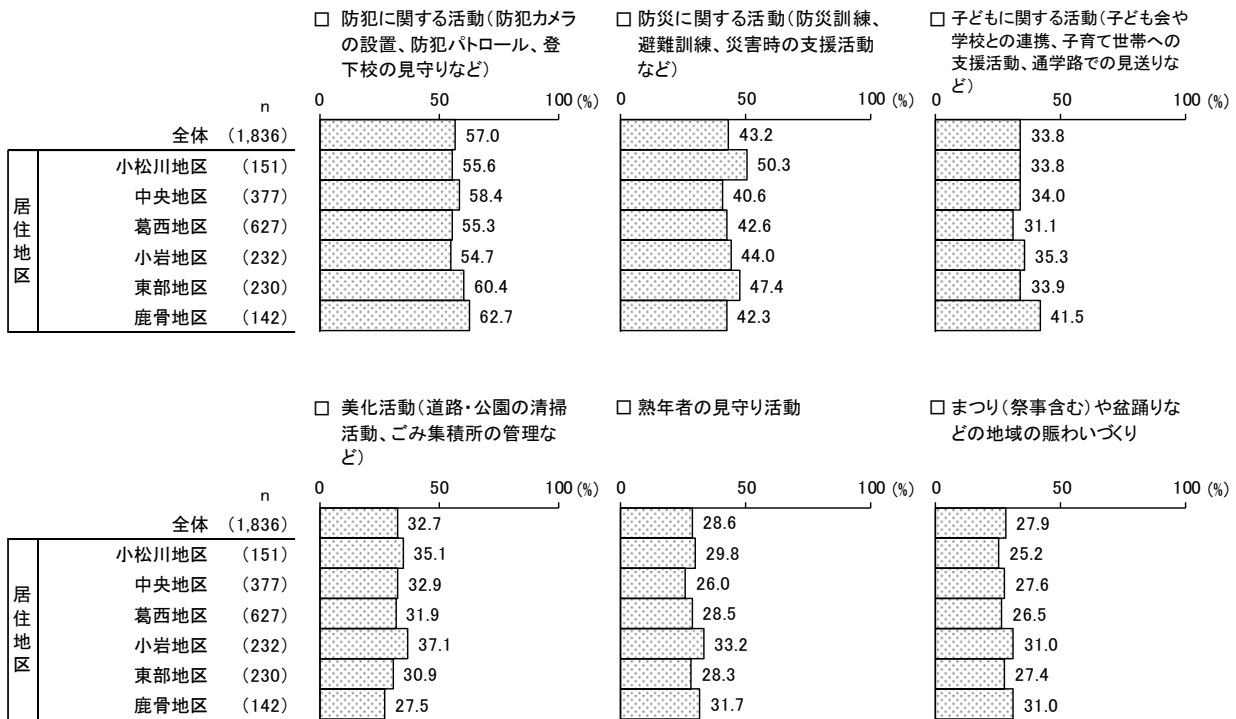


【居住地区別】

全ての居住地区で「防犯に関する活動(防犯カメラの設置、防犯パトロール、登下校の見守りなど)」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

「子どもに関する活動(子ども会や学校との連携、子育て世帯への支援活動、通学路での見送りなど)」は鹿骨地区で41.5%と他の居住地区に比べて高くなっている。(図表 15-9)

＜図表 15-9＞町会・自治会に求めること(上位6項目)／居住地区別





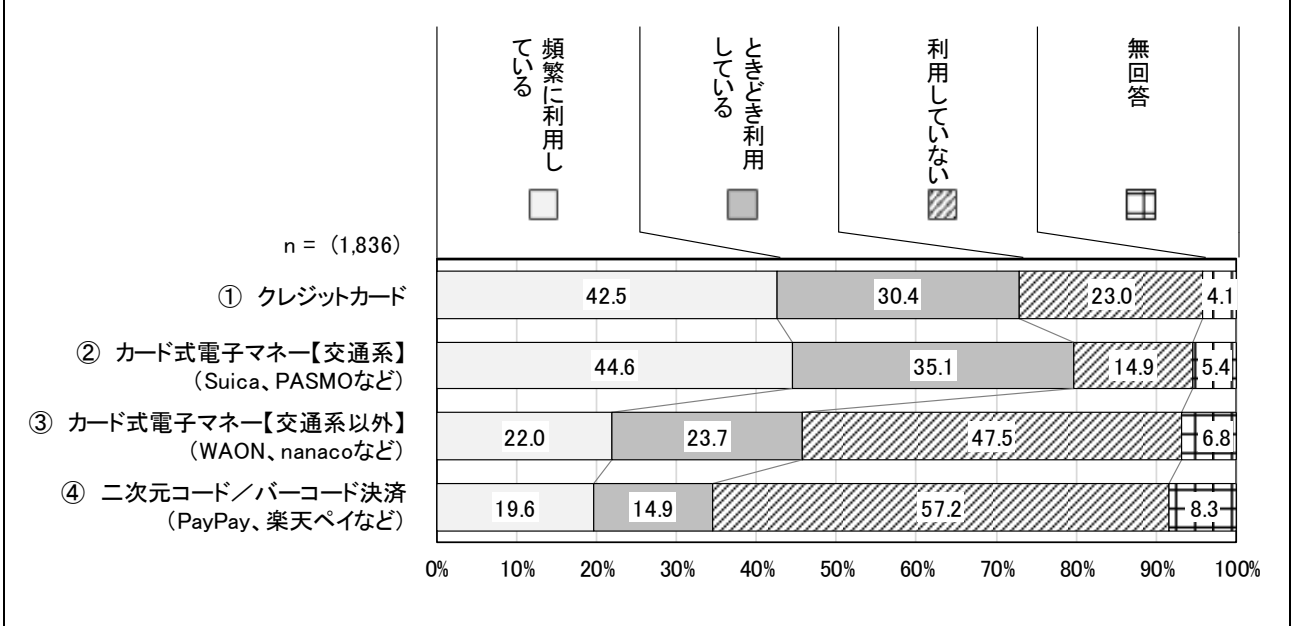
## 16. キャッシュレス化の推進について

### (1) キャッシュレス決済の利用状況

◇【① クレジットカード】、【② カード式電子マネー【交通系】(Suica、PASMO など)】の「頻繁に利用している」が4割台。

問28 日常品の買い物であなたは、どのようなキャッシュレス決済を利用していますか。キャッシュレス決済の種類ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つずつ)

<図表 16-1> キャッシュレス決済の利用状況



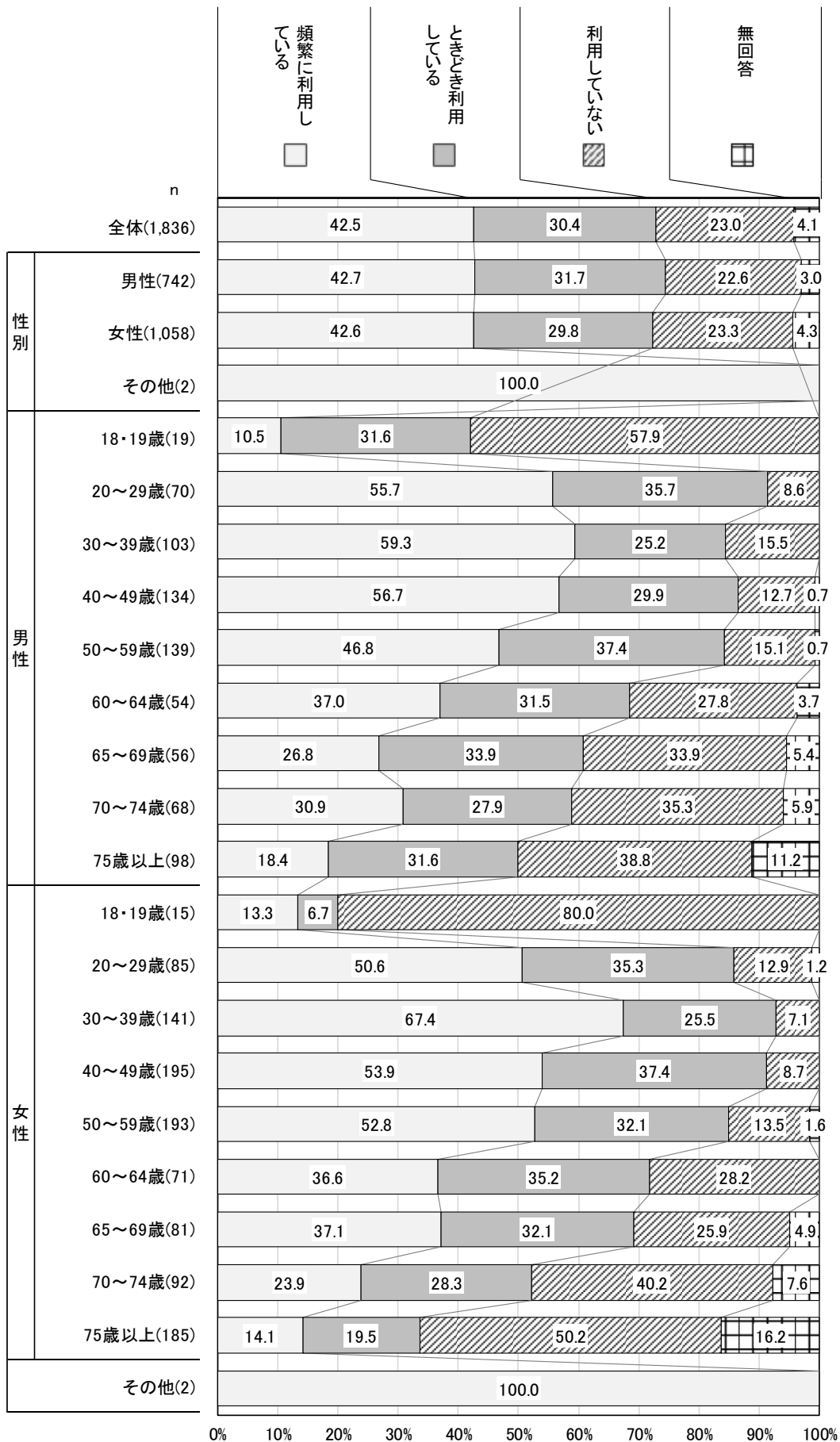
「頻繁に利用している」は【② カード式電子マネー【交通系】(Suica、PASMO など)】(44.6%)、【① クレジットカード】(42.5%)の順に高くなっている。一方、「利用していない」は【④ 二次元コード／バーコード決済 (PayPay、楽天ペイなど)】(57.2%)、【③ カード式電子マネー【交通系以外】(WAON、nanaco など)】(47.5%)の順に高くなっている。(図表 16-1)

#### 【① クレジットカード／性・年齢別】

男性-18・19歳、男性-65～69歳以上、女性-18・19歳、女性-70～74歳以上を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「頻繁に利用している」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～6割台と数値に差がある。その中でも、男性・女性ともに30～39歳以上で年齢が上がるにつれて、おおむね数値が低くなる傾向にある。

男性-65～69歳以上、女性-70～74歳以上で「利用していない」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～5割台と数値に差がある。(図表 16-2)

<図表 16-2>① クレジットカード／性・年齢別



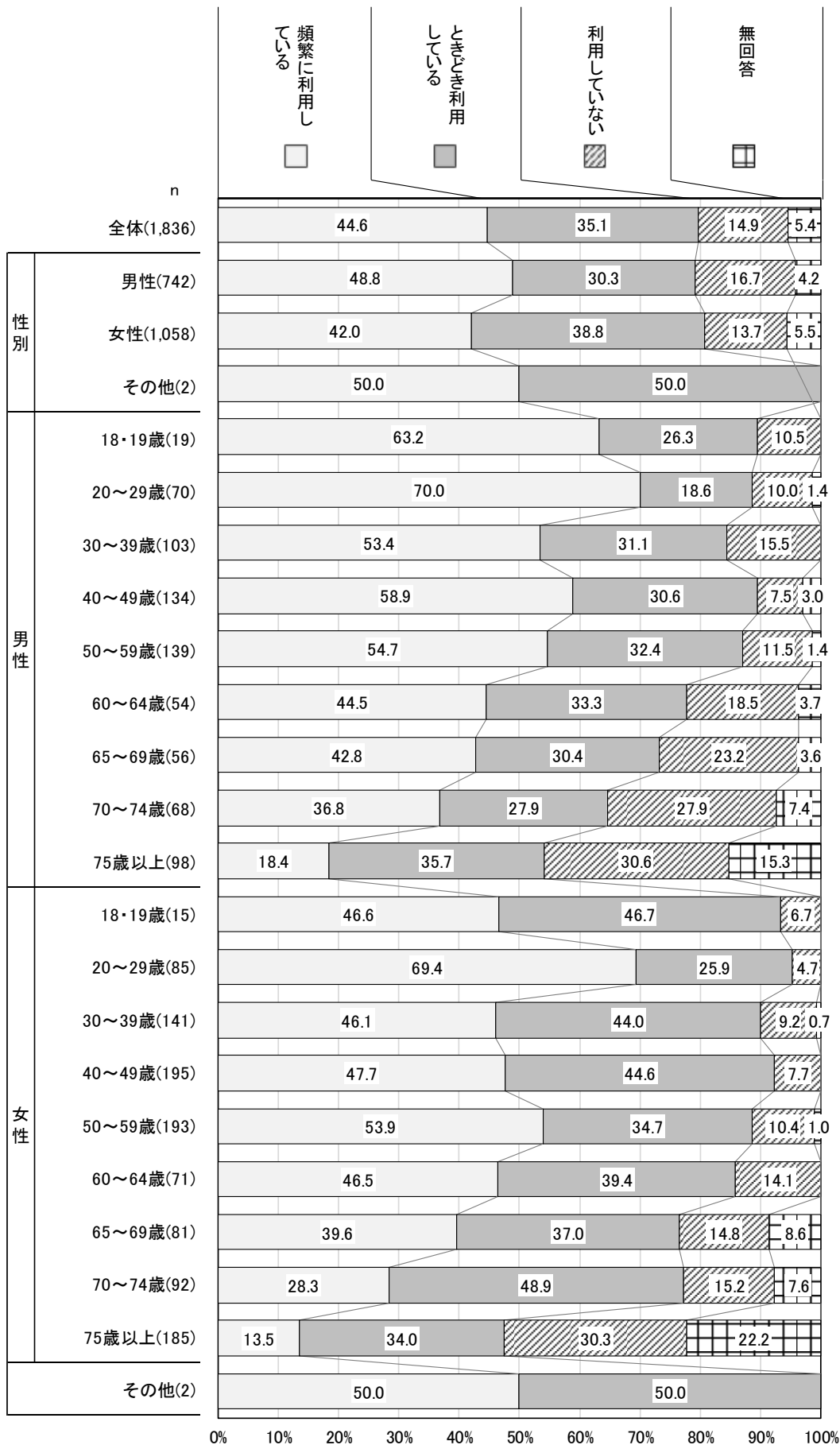
**【② カード式電子マネー【交通系】(Suica、PASMO など)／性・年齢別】**

男性-75歳以上、女性-18・19歳、女性-70～74歳以上を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「頻繁に利用している」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～7割台と数値に差がある。その中でも、男性は40～49歳以上、女性は50～59歳以上で年齢が上がるにつれて、数値が低くなる傾向にある。

「ときどき利用している」は男性-75歳以上、女性-70～74歳以上で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

「利用していない」は男性-75歳以上、女性-75歳以上は3割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。また、男性・女性ともに40～49歳以上で年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向にある。(図表 16-3)

<図表 16-3>② カード式電子マネー【交通系】(Suica、PASMO など) / 性・年齢別



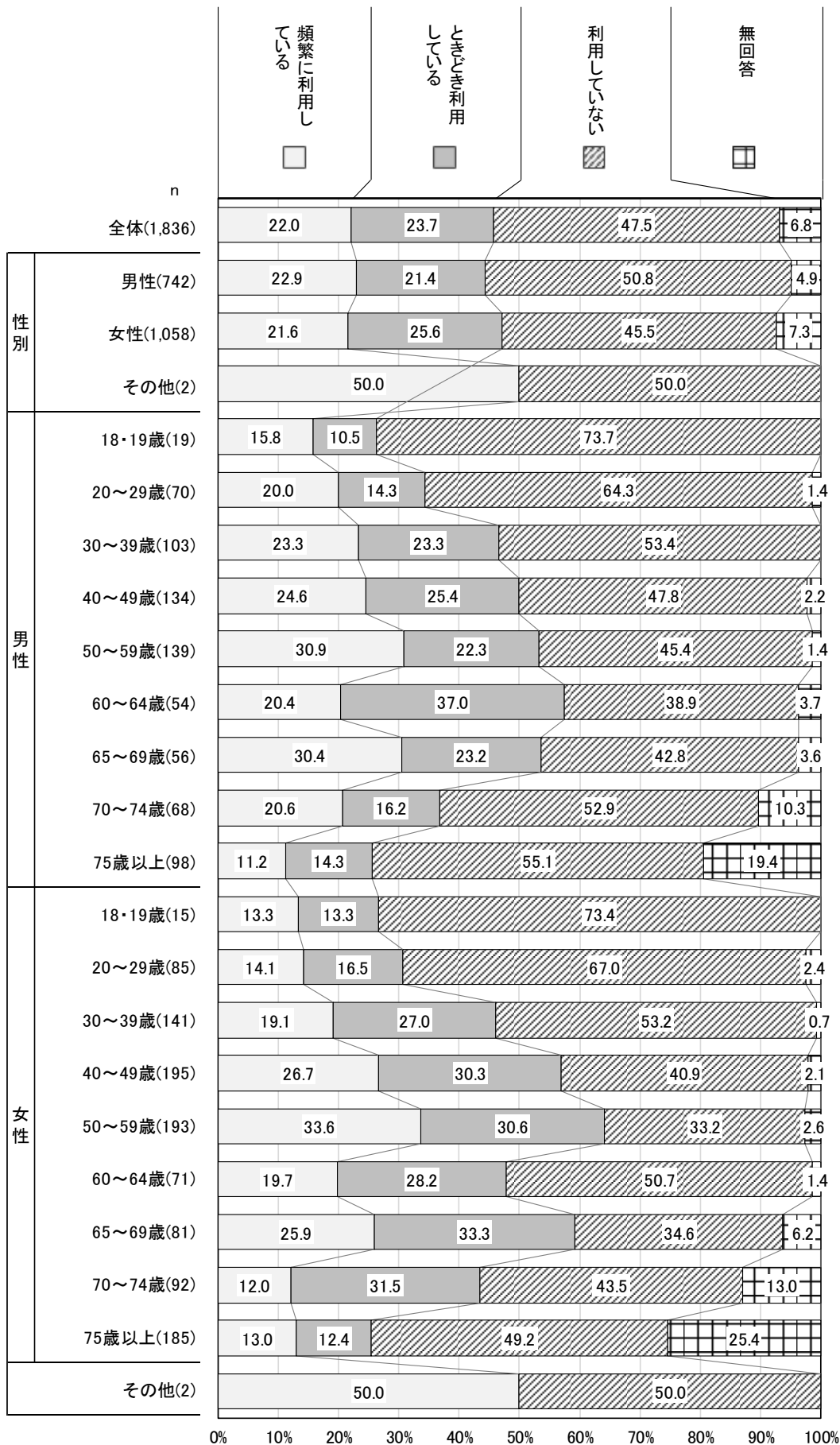
**【③ カード式電子マネー【交通系以外】(WAON、nanaco など)／性・年齢別】**

女性-50～59歳を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「利用していない」は他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～7割台と数値に差がある。男性は60～64歳以上で年齢が上がるにつれて、数値が高くなる傾向にある。

女性-50～59歳は「頻繁に利用している」で33.6%と他の選択肢に比べて最も高い回答になっているが、「ときどき利用している」、「利用していない」も3割台と5%以内の数値の差であることから、大きな差はない。

(図表 16-4)

<図表 16-4>③ カード式電子マネー【交通系以外】(WAON、nanaco など) / 性・年齢別

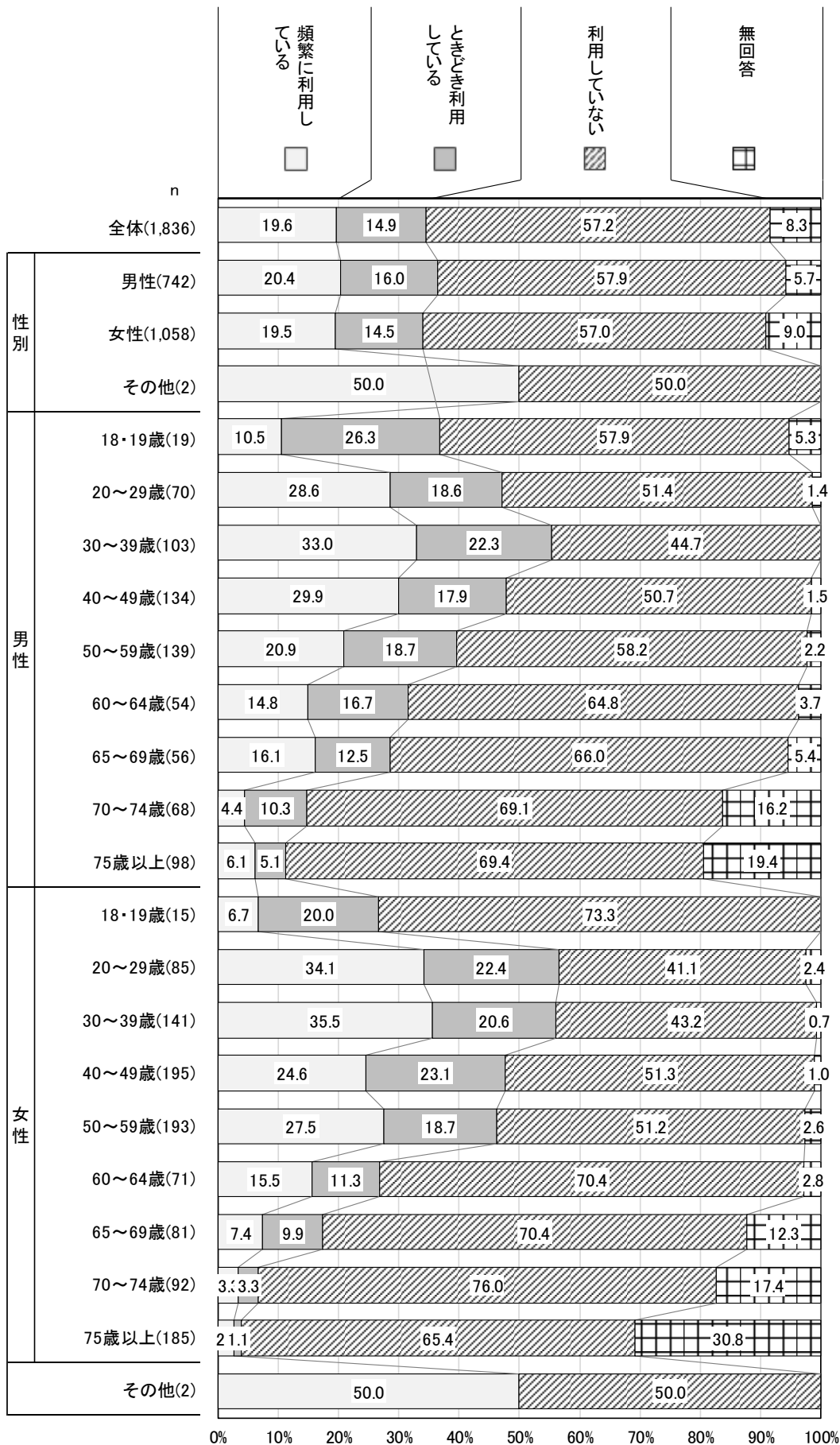


**【④ 二次元コード／バーコード決済(PayPay、楽天ペイなど)／性・年齢別】**

男性・女性ともに全ての年齢で「利用していない」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、4割台～7割台と数値に差がある。その中でも、男性は30～39歳以上、女性は20～29歳以上で年齢が上がるにつれて、おおむね数値が高くなる傾向にある。

一方、「頻繁に利用している」は男性-30～39歳、女性-20～29歳から30～39歳で3割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表 16-5)

<図表 16-5>④ 二次元コード／バーコード決済(PayPay、楽天ペイなど)／性・年齢別



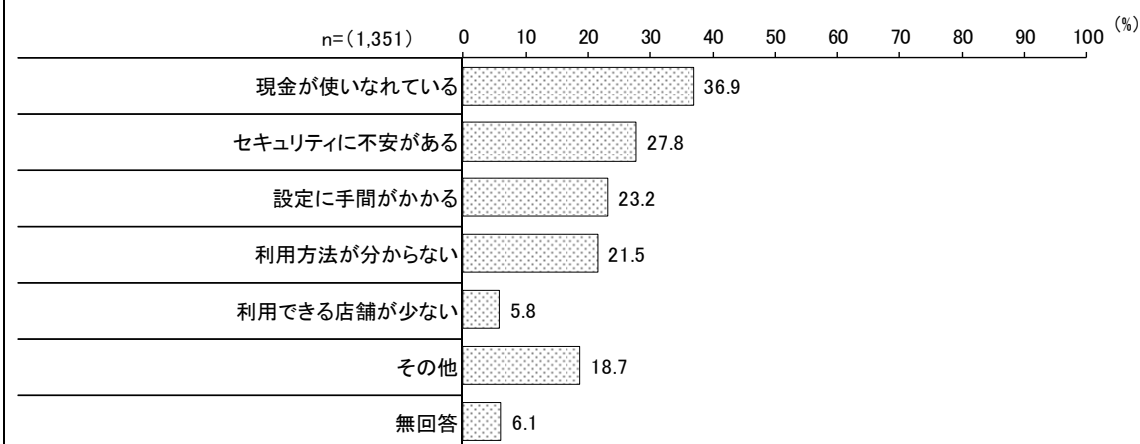


(1-1) キャッシュレス決済を利用していない理由

◇「現金が使いなれている」が36.9%と高い。

問28-1 <問28のいずれかで「3 利用していない」と答えた方にお尋ねします。>「3 利用していない」を選択した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<図表 16-6>キャッシュレス決済を利用していない理由



「現金が使いなれている」(36.9%)、「セキュリティに不安がある」(27.8%)、「設定に手間がかかる」(23.2%)、「利用方法が分からない」(21.5%)の順に高くなっている。一方、「利用できる店舗が少ない」は5.8%と1割未満となっている。(図表 16-6)

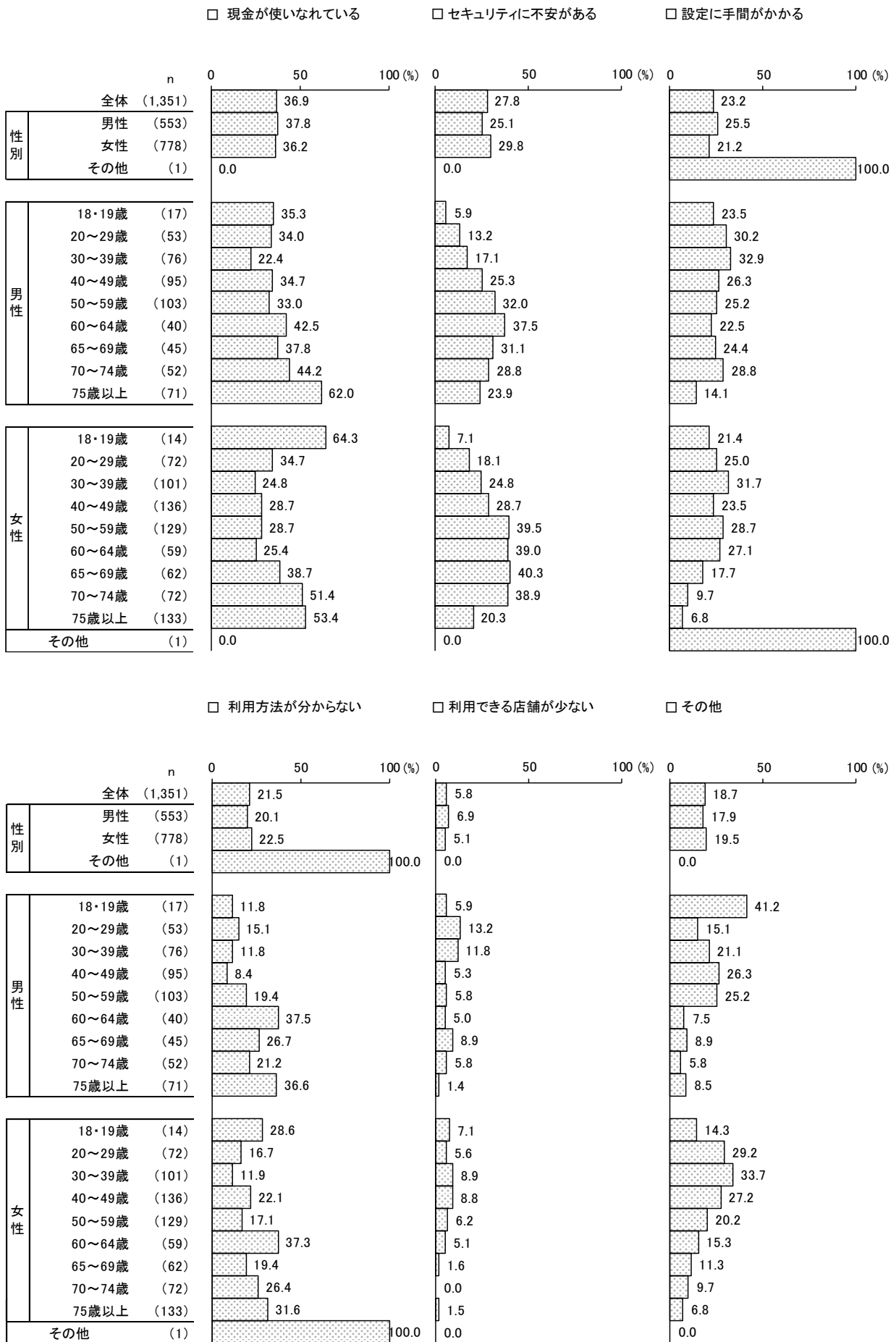
【性・年齢別】

男性は18・19歳、30～39歳を除いて、全ての年齢で「現金が使いなれている」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～6割台と数値に差がある。30～39歳は「設定に手間がかかる」が32.9%と最も高い回答となっている。

女性は20～29歳以下、40～49歳、70～74歳以上で「現金が使いなれている」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、2割台～6割台と数値に差がある。40～49歳(同率)から65～69歳で「セキュリティに不安がある」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっており、18・19歳から65～69歳までは年齢が上がるにつれて、おおむね数値が高くなる傾向にある。「設定に手間がかかる」は50～59歳以上で年齢が上がるにつれて、数値が低くなる傾向にある。また、全ての年齢で「利用できる店舗が少ない」が1割未満となっている。

「利用方法が分からない」は男性-60～64歳、男性-75歳以上、女性-60～64歳、女性-75歳以上で3割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表 16-7)

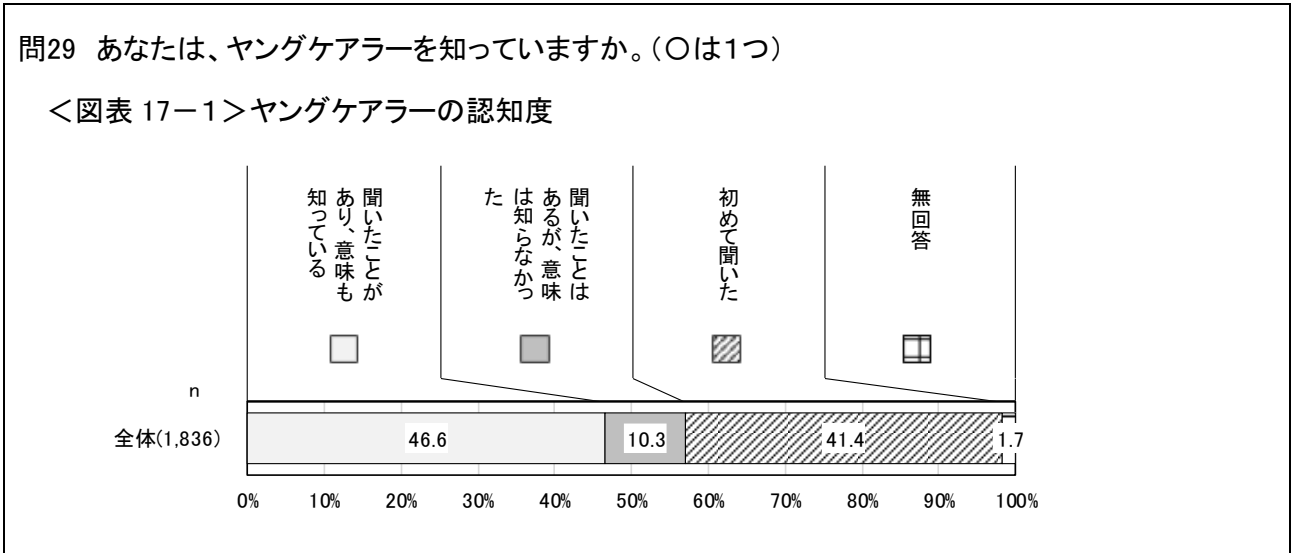
<図表 16-7>キャッシュレス決済を利用していない理由(上位6項目)／性・年齢別



## 17. ヤングケアラーについて

## (1) ヤングケアラーの認知度

◇「聞いたことがあり、意味も知っている」は46.6%を占める。



「聞いたことがあり、意味も知っている」は46.6%、「聞いたことはあるが、意味は知らなかった」は10.3%、「初めて聞いた」は41.4%となっている。以上のことから、「聞いたことがあり、意味も知っている」と「初めて聞いた」で回答が二極化している。(図表 17-1)

## 【性・年齢別】

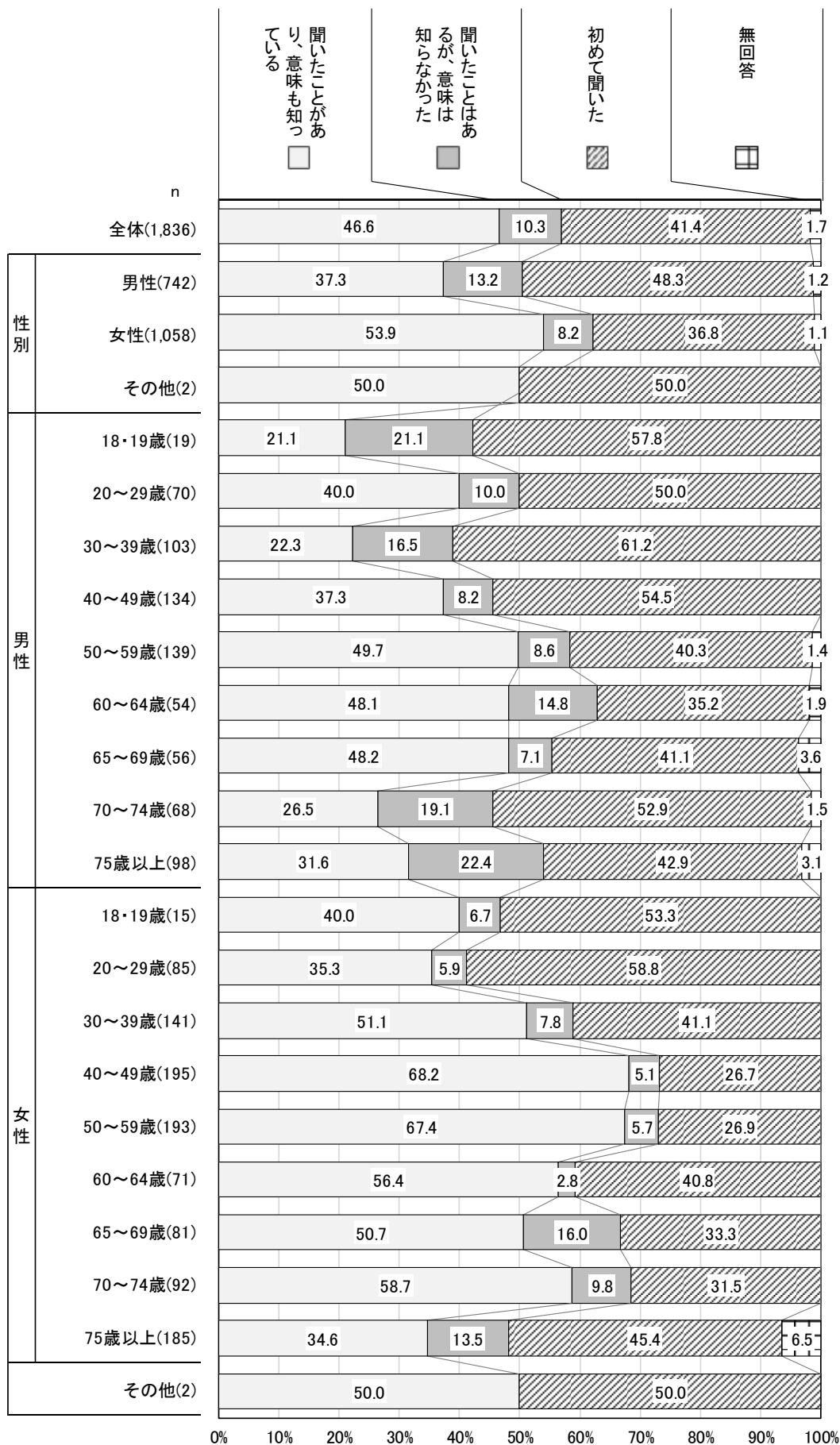
「聞いたことがあり、意味も知っている」は男性が37.3%に対して、女性が53.9%と女性の方が10ポイント以上高くなっている。

男性は40～49歳以下、70～74歳以上で「初めて聞いた」が4割を超え、他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。一方、50～59歳から65～69歳で「聞いたことがあり、意味も知っている」が4割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

女性は20～29歳以下、75歳以上で「初めて聞いた」が4割を超え、他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。一方、30～39歳から70～74歳で「聞いたことがあり、意味も知っている」が5割を超え、他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

男性-75歳以上で「聞いたことはあるが、意味は知らなかった」が22.4%と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表 17-2)

<図表 17-2>ヤングケアラーの認知度／性・年齢別



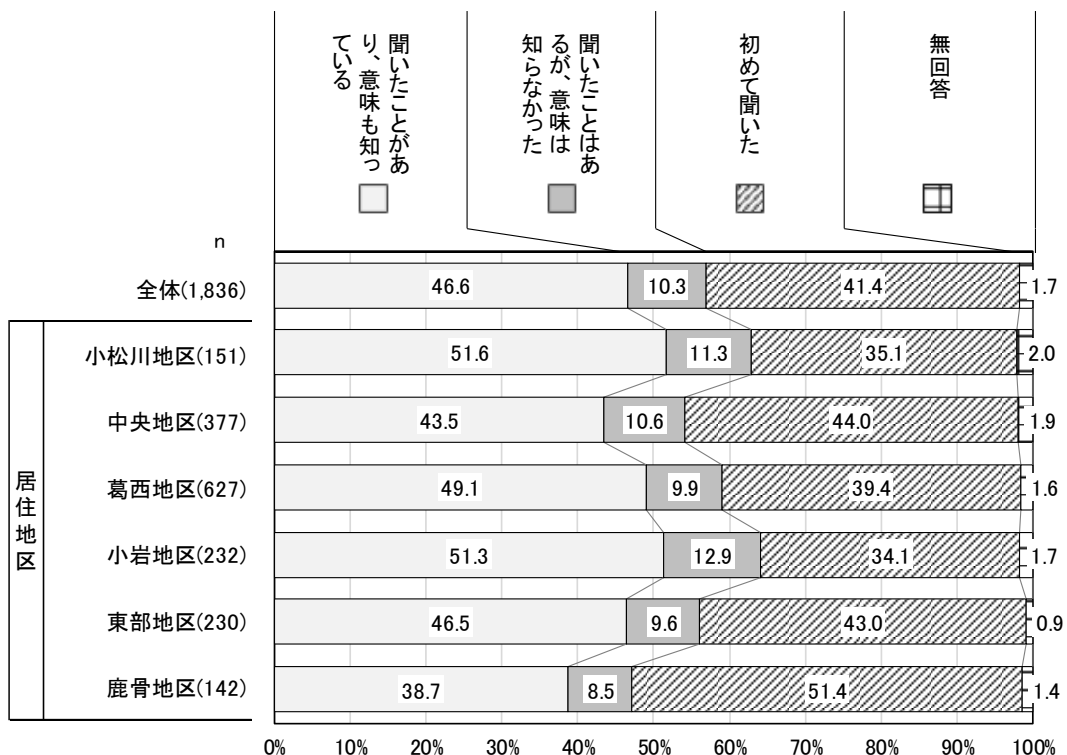
【居住地区別】

中央地区、鹿骨地区を除いて、全ての居住地区で「聞いたことがあり、意味も知っている」が4割台～5割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。中央地区、鹿骨地区は「初めて聞いた」が4割台～5割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

以上のことから、「聞いたことがあり、意味も知っている」と「初めて聞いた」で回答が二極化している。

(図表 17-3)

＜図表 17-3＞ヤングケアラーの認知度／居住地区別

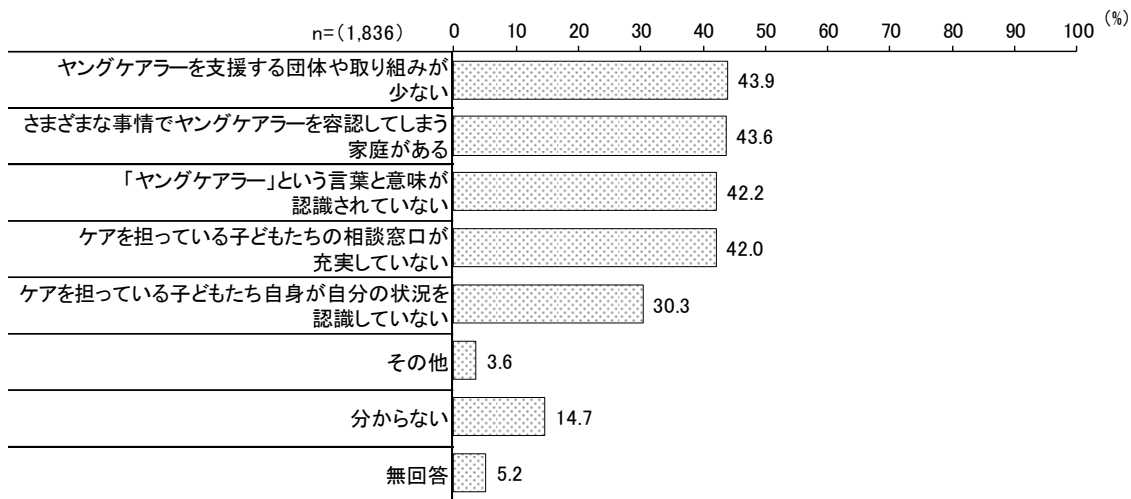


(2) ヤングケアラーの問題が解消されない理由

◇「ヤングケアラーを支援する団体や取り組みが少ない」、「さまざまな事情でヤングケアラーを容認してしまう家庭がある」、「ヤングケアラー」という言葉と意味が認識されていない」、「ケアを担っている子どもたちの相談窓口が充実していない」が4割台。

問30 あなたは、ヤングケアラーの問題が解消されない理由は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

<図表 17-4>ヤングケアラーの問題が解消されない理由



「ヤングケアラーを支援する団体や取り組みが少ない」(43.9%)、「さまざまな事情でヤングケアラーを容認してしまう家庭がある」(43.6%)、「ヤングケアラー」という言葉と意味が認識されていない」(42.2%)、「ケアを担っている子どもたちの相談窓口が充実していない」(42.0%)は4割台となっている。(図表 17-4)

【性・年齢別】

男性-18・19歳、男性-60～64歳、男性-70～74歳、女性-60～64歳から65～69歳は「ヤングケアラーを支援する団体や取り組みが少ない」で他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～5割台と数値に差がある。

男性-20～29歳から30～39歳、男性-50～59歳、女性-30～39歳から60～64歳(同率)、女性-70～74歳は「さまざまな事情でヤングケアラーを容認してしまう家庭がある」で他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、4割台～6割台と数値に差がある。また、男性は37.1%に対して、女性は48.8%と女性の方が10ポイント以上高くなっている。

男性-40～49歳、男性-65～69歳、男性-75歳以上、女性-20～29歳以下、女性-60～64歳(同率)、女性-75歳以上は「ヤングケアラー」という言葉と意味が認識されていない」で他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～6割台と数値に差がある。

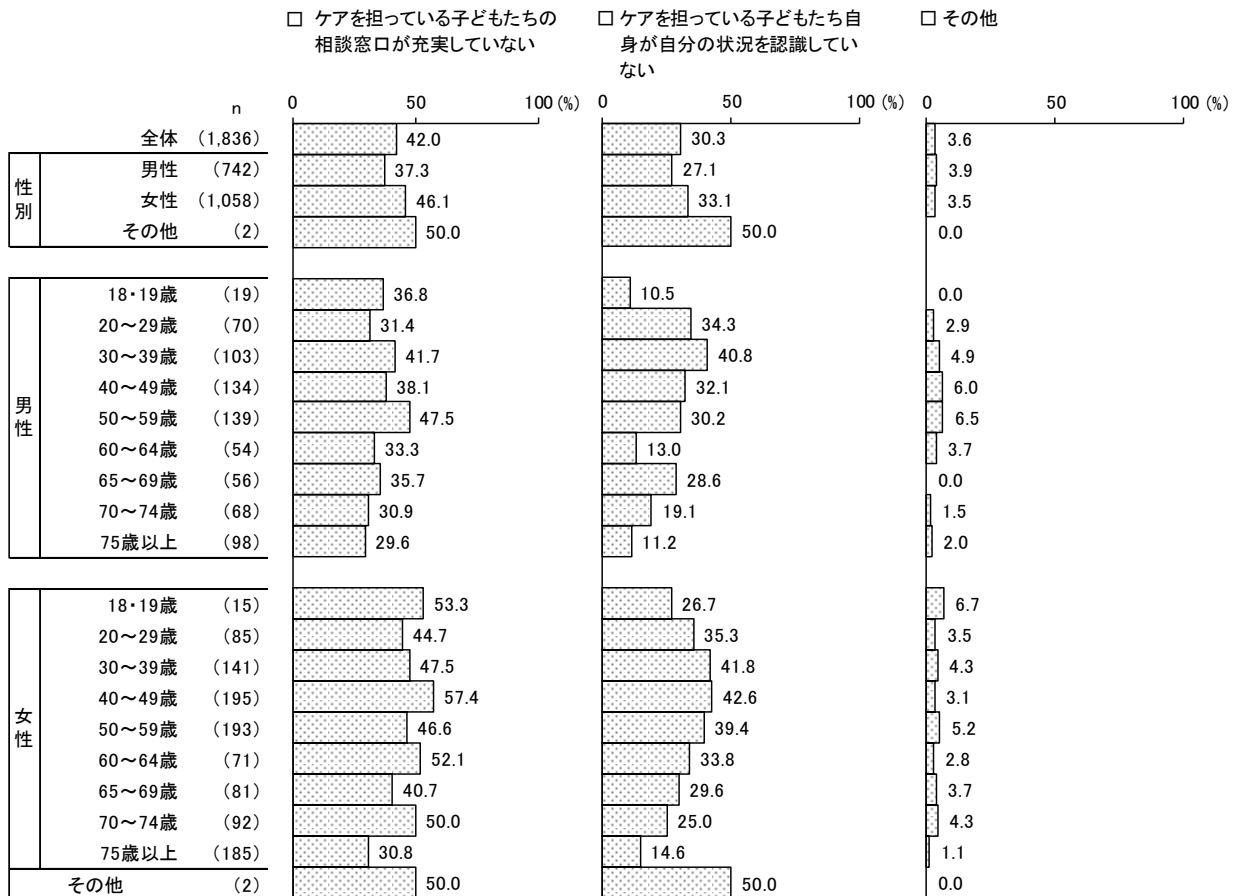
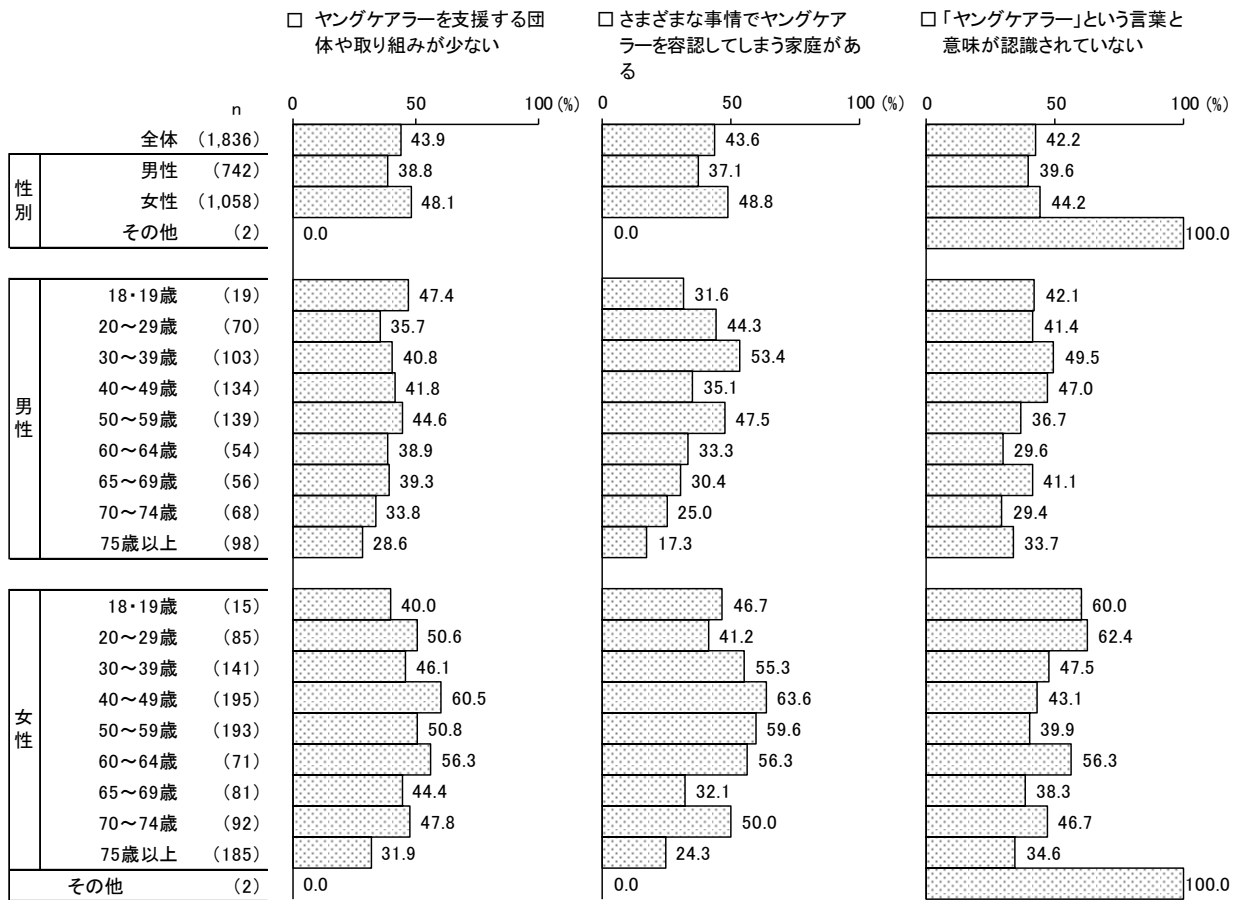
男性-50～59歳(同率)、女性-70～74歳(同率)は「ケアを担っている子どもたちの相談窓口が充実していない」で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

男性-30～39歳、女性-30～39歳から40～49歳は「ケアを担っている子どもたち自身が自分の状況を認識していない」で4割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。

以上の点で、性・年齢別間でヤングケアラーの問題が解消されない理由として特に違いが見られる。

(図表 17-5)

<図表 17-5> ヤングケアラーの問題が解消されない理由(上位6項目)／性・年齢別



【居住地区別】

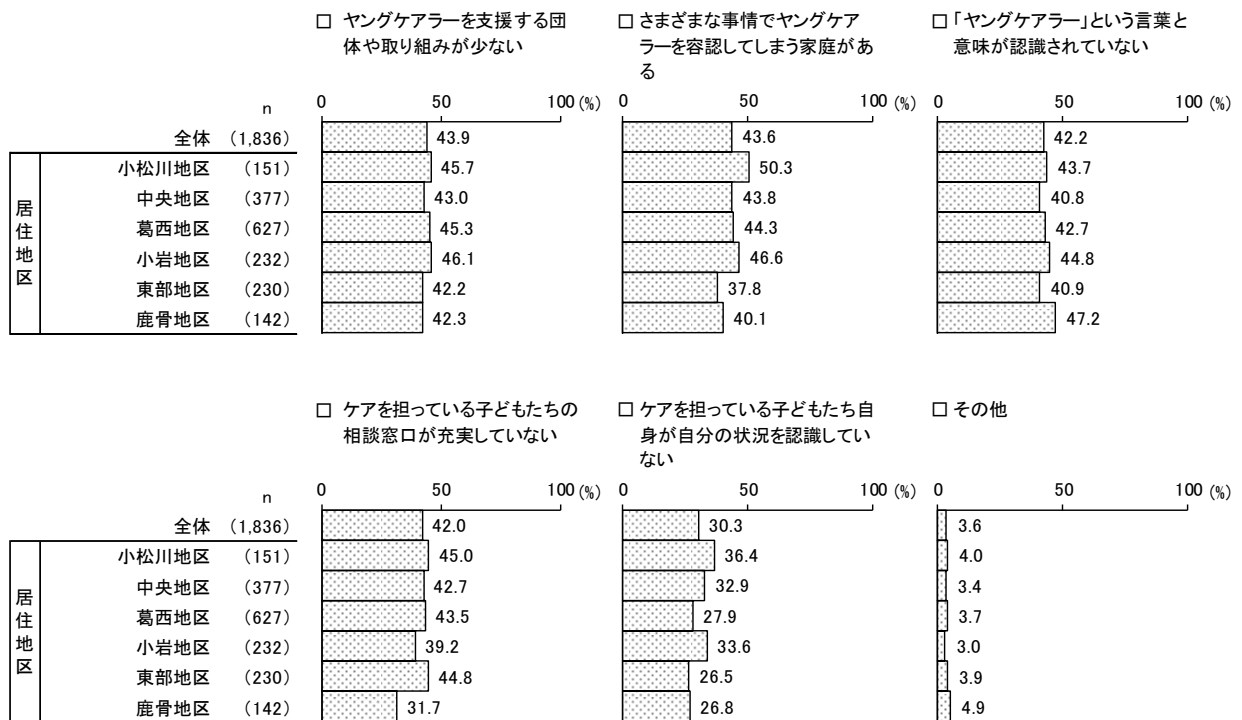
葛西地区は「ヤングケアラーを支援する団体や取り組みが少ない」で45.3%と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

小松川地区、中央地区、小岩地区は「さまざまな事情でヤングケアラーを容認してしまう家庭がある」で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

鹿骨地区は「「ヤングケアラー」という言葉と意味が認識されていない」で47.2%と最も高い回答になっているが、他の居住地区も4割台となっている。

東部地区は「ケアを担っている子どもたちの相談窓口が充実していない」で44.8%と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。(図表 17-6)

＜図表 17-6＞ヤングケアラーの問題が解消されない理由(上位6項目)／居住地区別





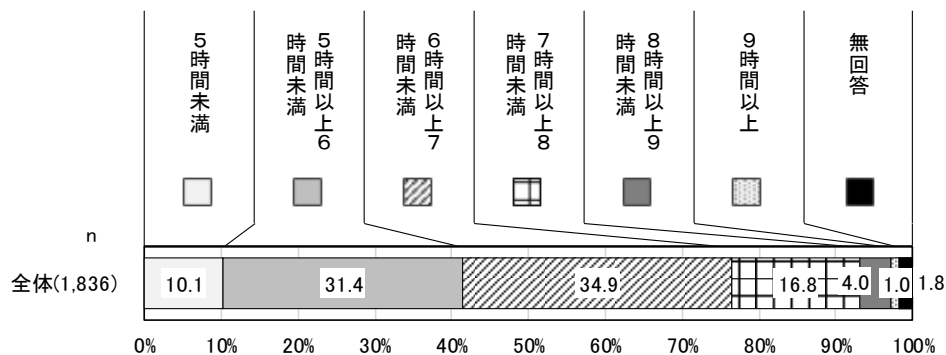
## 18. 睡眠について

### (1) 1日の平均睡眠時間

◇「5時間以上6時間未満」、「6時間以上7時間未満」が3割台。

問31 ここ1か月間のあなたの1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。(○は1つ)

<図表 18-1> 1日の平均睡眠時間



「6時間以上7時間未満」(34.9%)、「5時間以上6時間未満」(31.4%)の順に高くなっており、これらを合計した『5時間以上7時間未満』は6割を超えている。「8時間以上9時間未満」は4.0%、「9時間以上」は1.0%と5%に満たず少数となっている。(図表 18-1)

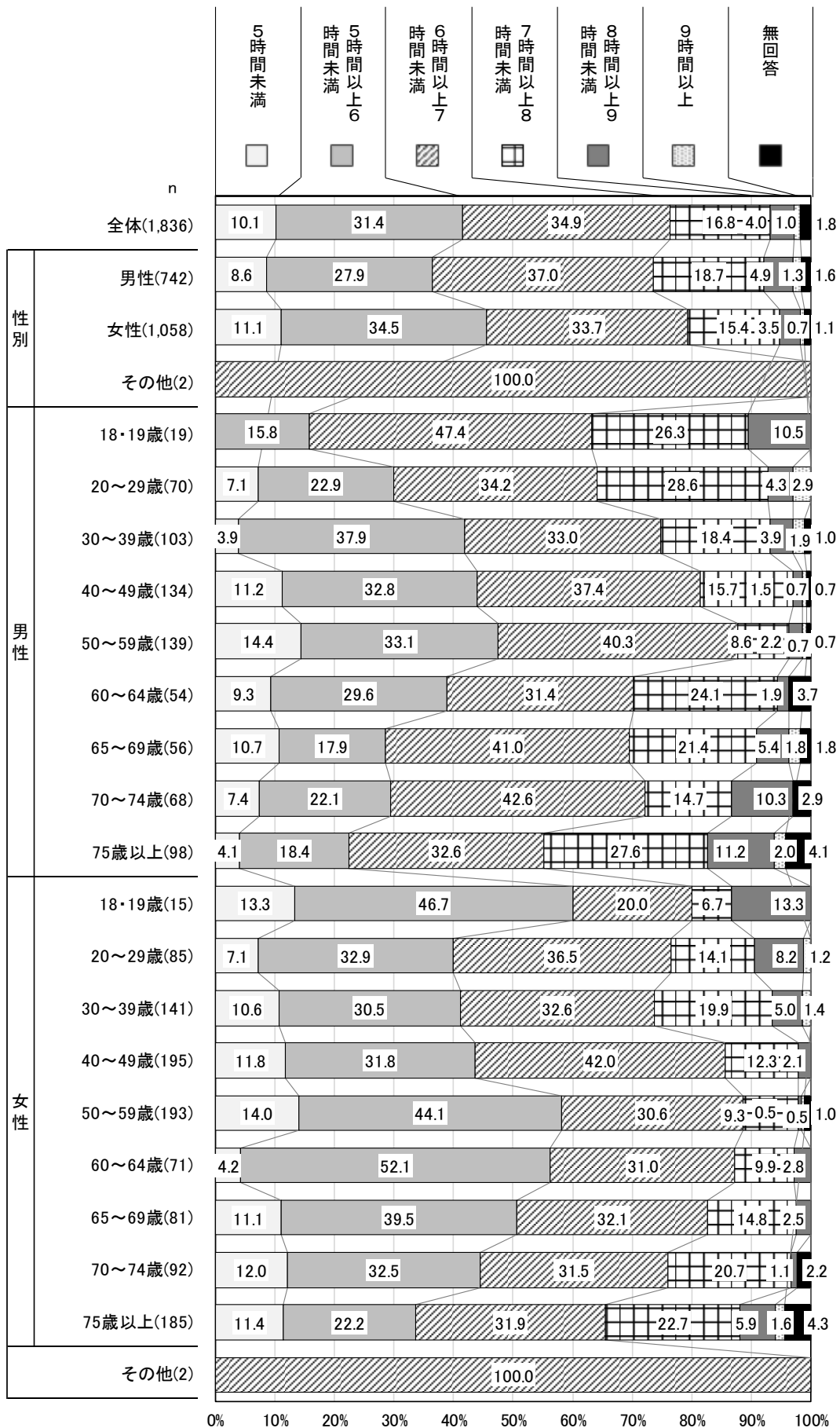
#### 【性・年齢別】

男性-30～39歳、女性-18・19歳、女性-50～59歳から70～74歳は「5時間以上6時間未満」で他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～5割台と数値に差がある。

男性-20～29歳以下、男性-40～49歳以上、女性-20～29歳から40～49歳、女性-75歳以上は「6時間以上7時間未満」で他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

男性・女性ともに全ての年齢で「5時間未満」が2割未満となっている。(図表 18-2)

<図表 18-2> 1日の平均睡眠時間／性・年齢別

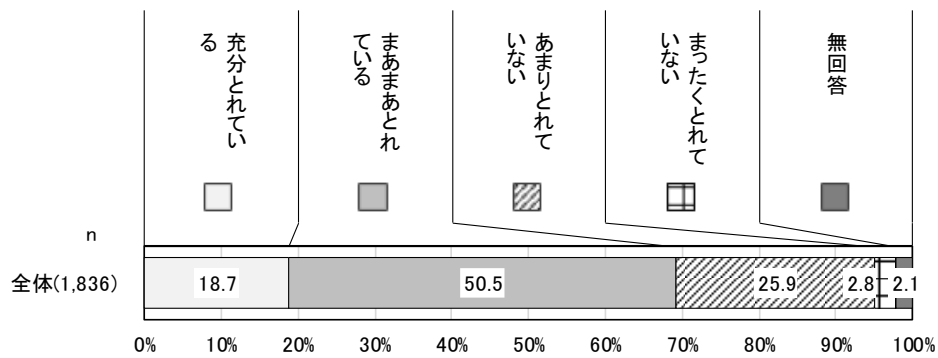


(2) 睡眠による休養

◇「まあまあとれている」が50.5%を占める。

問32 ここ1カ月間、あなたは睡眠で十分休養がとれていますか。(○は1つ)

<図表 18-3>睡眠による休養

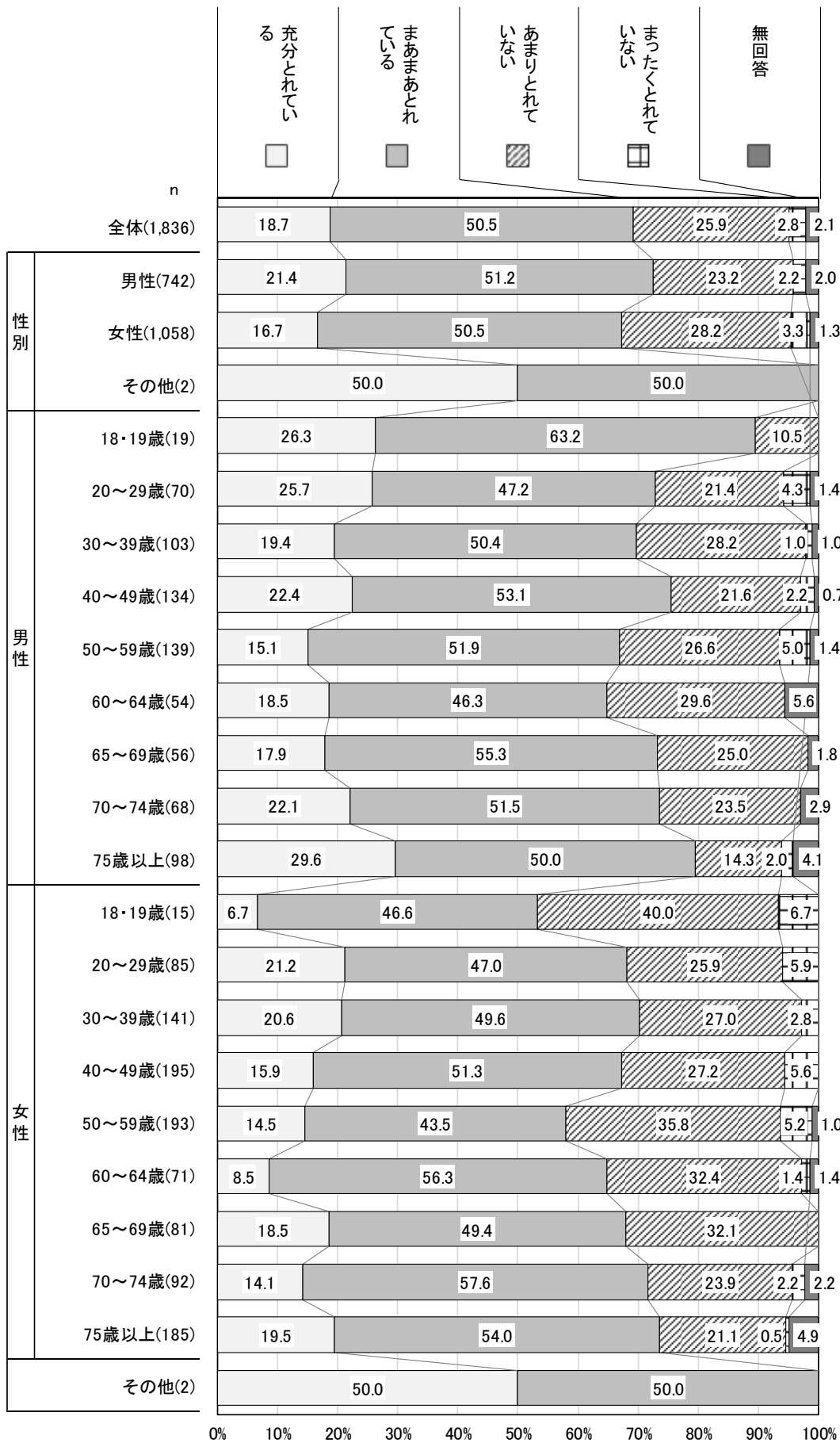


「まあまあとれている」(50.5%)、「あまりとれていない」(25.9%)、「充分とれている」(18.7%)の順に高くなっている。一方、「まったくとれていない」は2.8%と5%に満たず少数となっている。(図表 18-3)

【性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「まあまあとれている」は他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、4割台～6割台と数値に差がある。一方、「まったくとれていない」は1割未満となっている。(図表 18-4)

<図表 18-4>睡眠による休養／性・年齢別



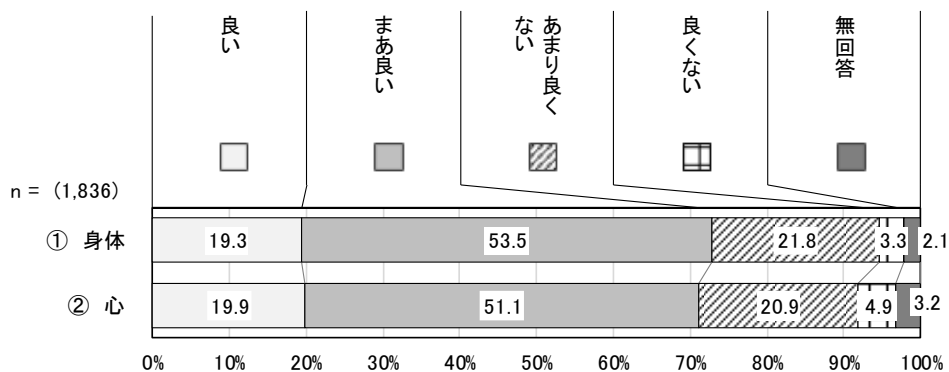
## 19. 健康状態・生活習慣について

### (1) 現在の身体・心の健康状態

◇ 【① 身体】、【② 心】の健康状態はいずれも「まあ良い」が5割台。

問33 あなたは、現在、身体・心の健康状態は良いと感じますか。(それぞれ○は1つずつ)

<図表 19-1> 現在の身体・心の健康状態



【① 身体】は「まあ良い」(53.5%)、「あまり良くない」(21.8%)、「良い」(19.3%)の順に高くなっている。一方、「良くない」は3.3%と5%に満たず小数となっている。【② 心】は「まあ良い」(51.1%)、「あまり良くない」(20.9%)、「良い」(19.9%)の順に高くなっている。一方、「良くない」は4.9%と5%に満たず少数となっている。(図表 19-1)

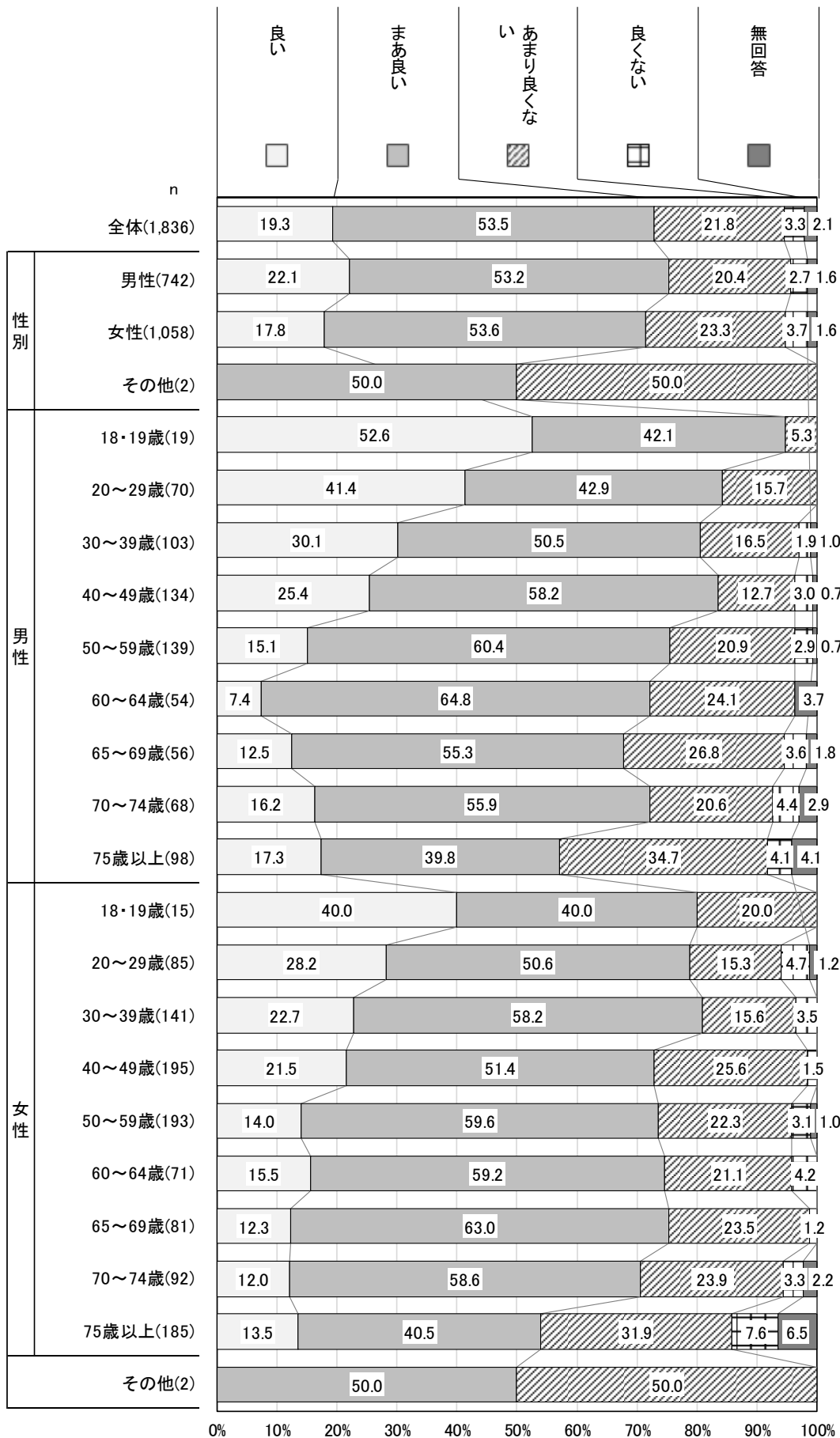
#### 【① 身体／性・年齢別】

男性-18・19歳を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「まあ良い」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、4割台～6割台と数値に差がある。

「良い」は男性において18・19歳から60～64歳で年齢が上がるにつれて低くなるが、65～69歳以上では高くなる傾向にある。一方、女性は18・19歳から50～59歳で年齢が上がるにつれて低くなる傾向にあるが、それ以降は同程度の数値となっている。

男性・女性ともに75歳以上では「あまり良くない」が3割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。また、全ての年齢で「良くない」は1割未満となっている。(図表 19-2)

<図表 19-2>① 身体／性・年齢別

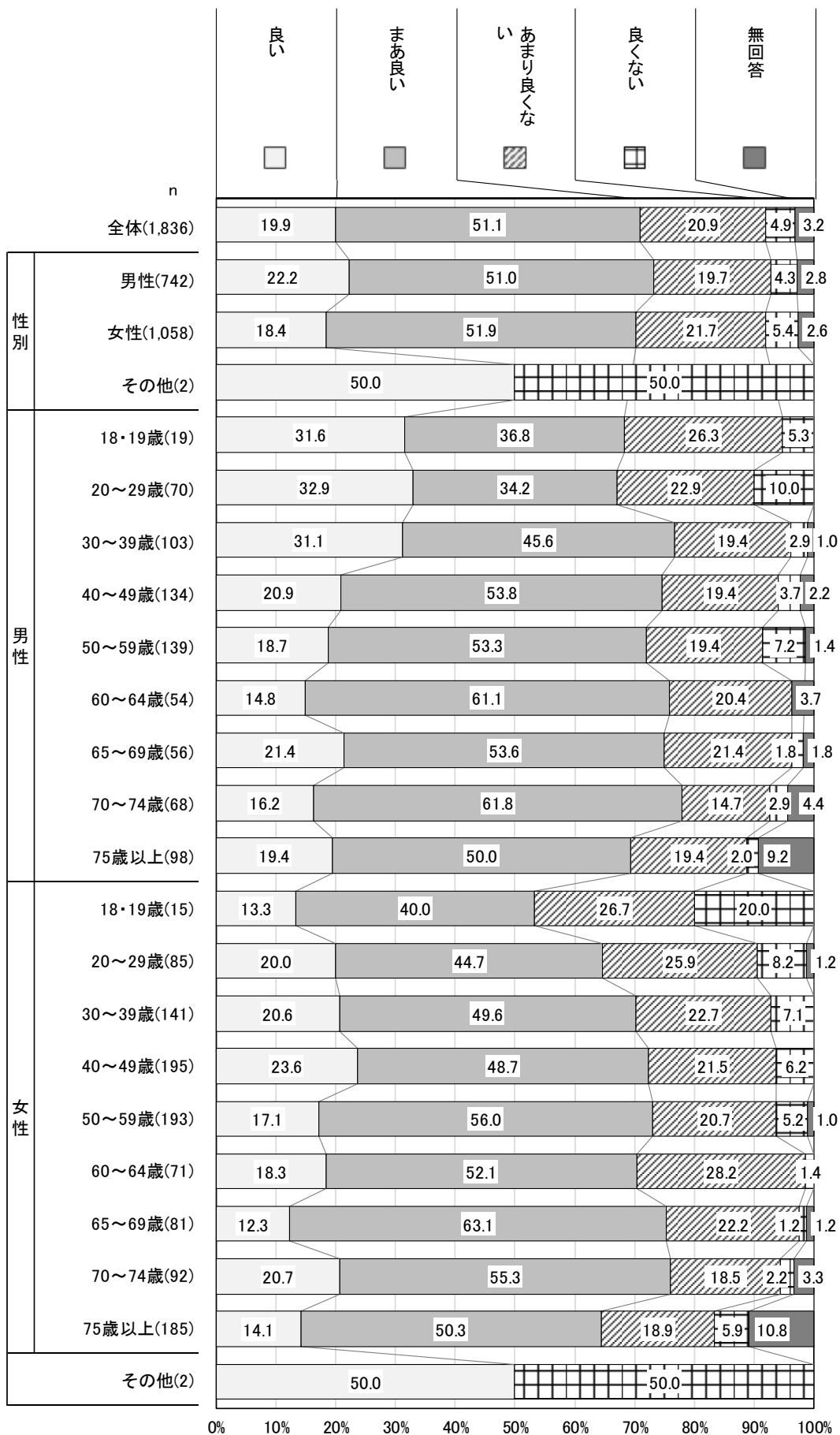


【② 心／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「まあ良い」は他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～6割台と数値に差がある。

男性-30～39歳以下で「良い」は3割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表 19-3)

<図表 19-3>② 心／性・年齢別



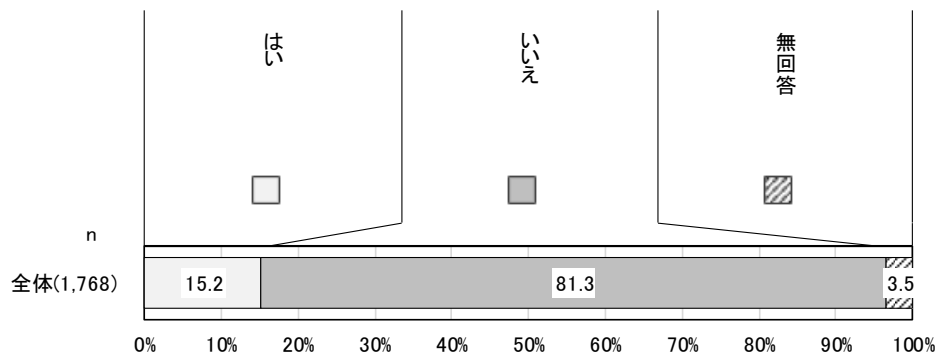


(2) 喫煙状況

◇「いいえ」が81.3%を占める。

問34 <20歳以上の方にお尋ねします。>あなたは、たばこを習慣的に吸っていますか。(○は1つ)

<図表 19-4> 喫煙状況



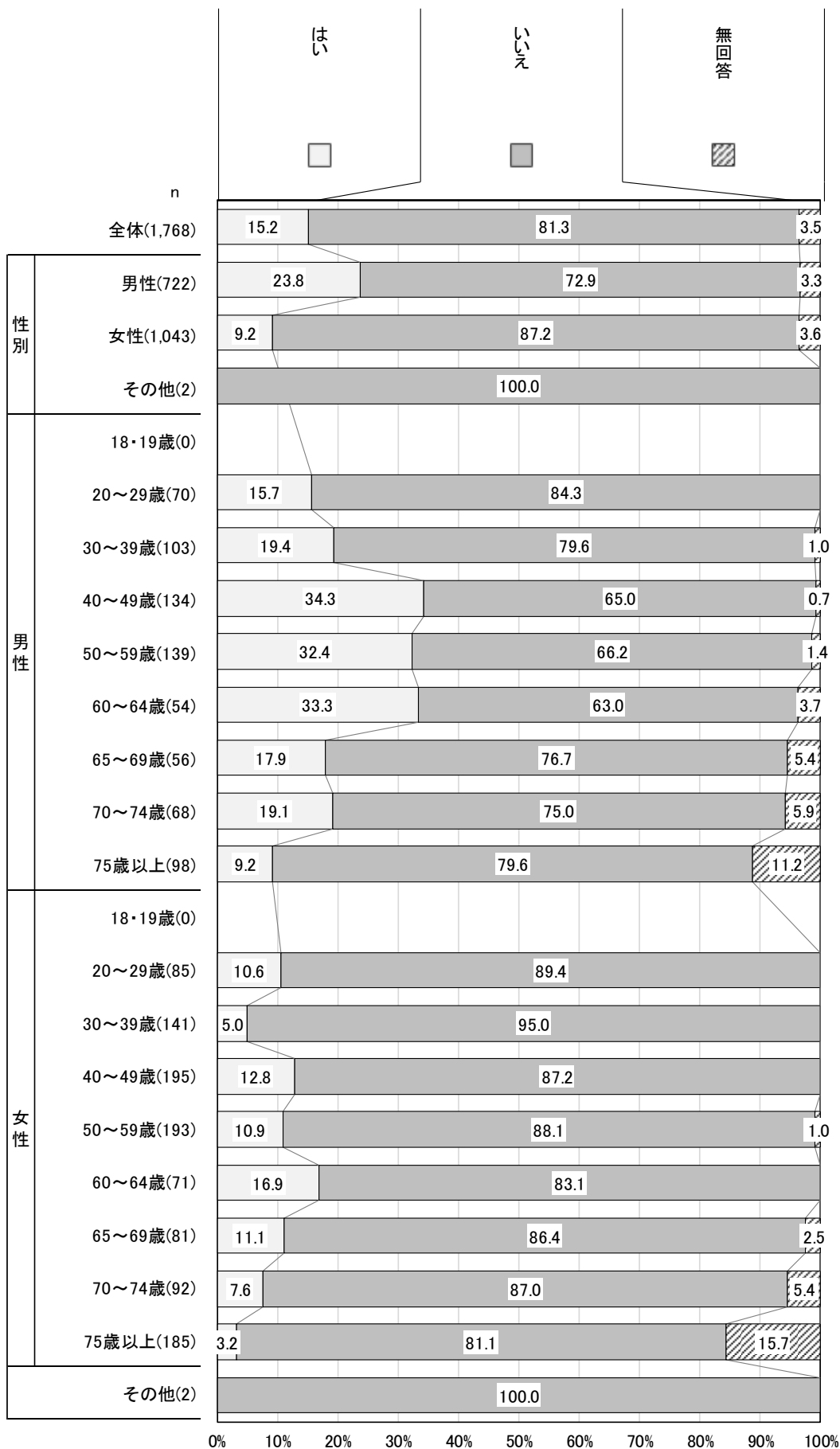
「はい」は15.2%に対して、「いいえ」は81.3%となっている。(図表 19-4)

【性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「いいえ」が「はい」よりも高くなっている。

一方、「はい」は男性が23.8%に対して、女性が9.2%と男性の方が10ポイント以上高くなっている。その中でも、男性-40～49歳から60～64歳で3割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表 19-5)

<図表 19-5>喫煙状況／性・年齢別



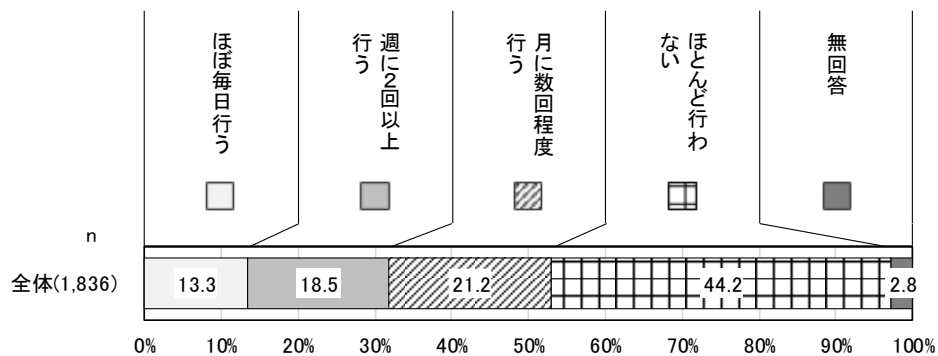
## 20. 運動習慣について

## (1) 運動の頻度

◇「ほぼ毎日行う」、「週に2回以上行う」が1割台。

問35 健康のためには運動は欠かせません。あなたは、1年以上継続して1日30分以上の軽く汗をかく運動をどのくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

<図表 20-1> 運動の頻度



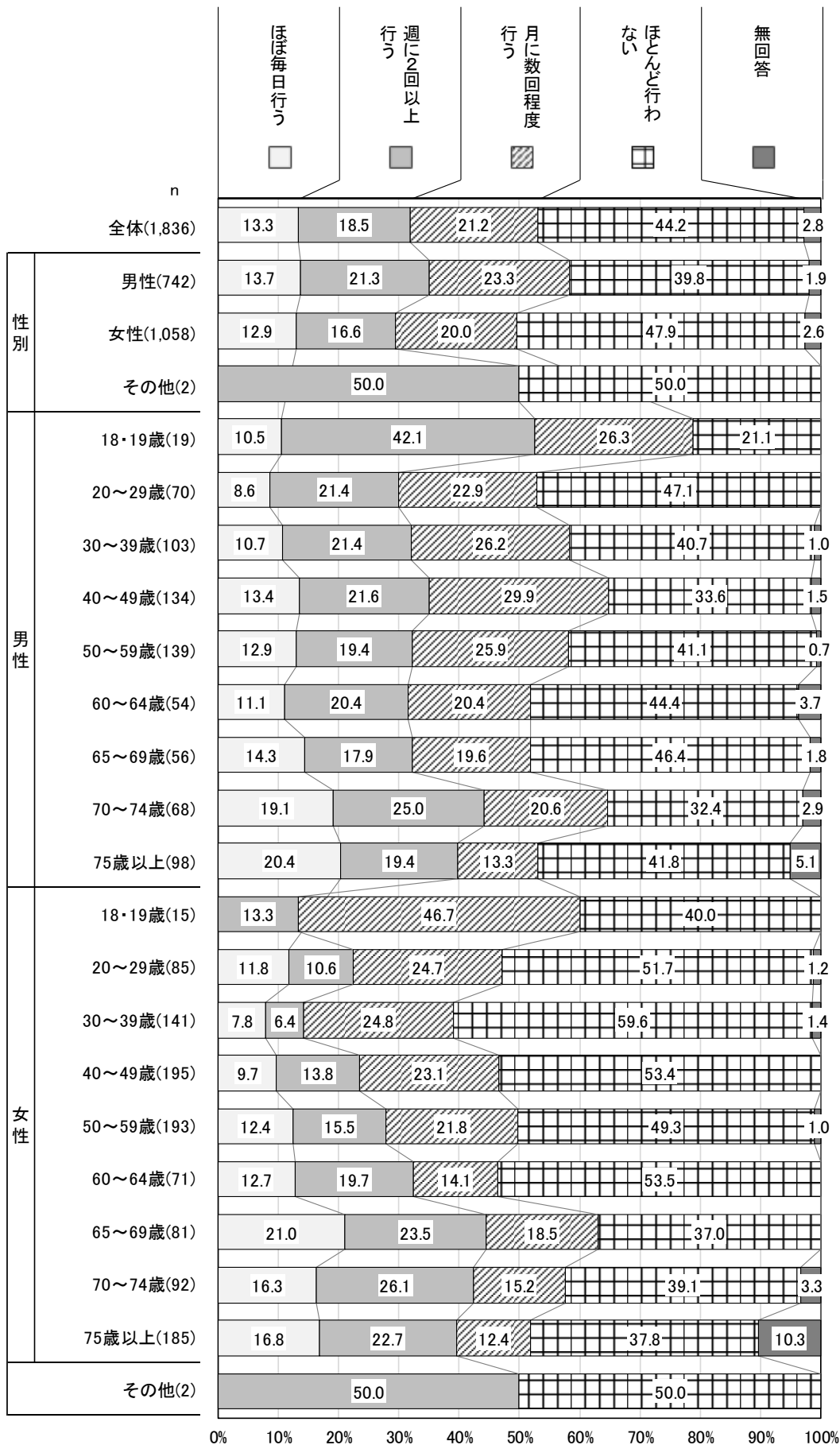
「ほぼ毎日行う」、「週に2回以上行う」を合計した運動習慣がある方は31.8%となっている。一方、「ほとんど行わない」が44.2%となっている。(図表 20-1)

## 【性・年齢別】

男性-18・19歳、女性-18・19歳を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「ほとんど行わない」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、3割台～5割台と数値に差がある。

運動習慣がある方は、男性は全ての年齢で3割以上を占めている。一方、女性50～59歳以下は3割以下となっている。(図表 20-2)

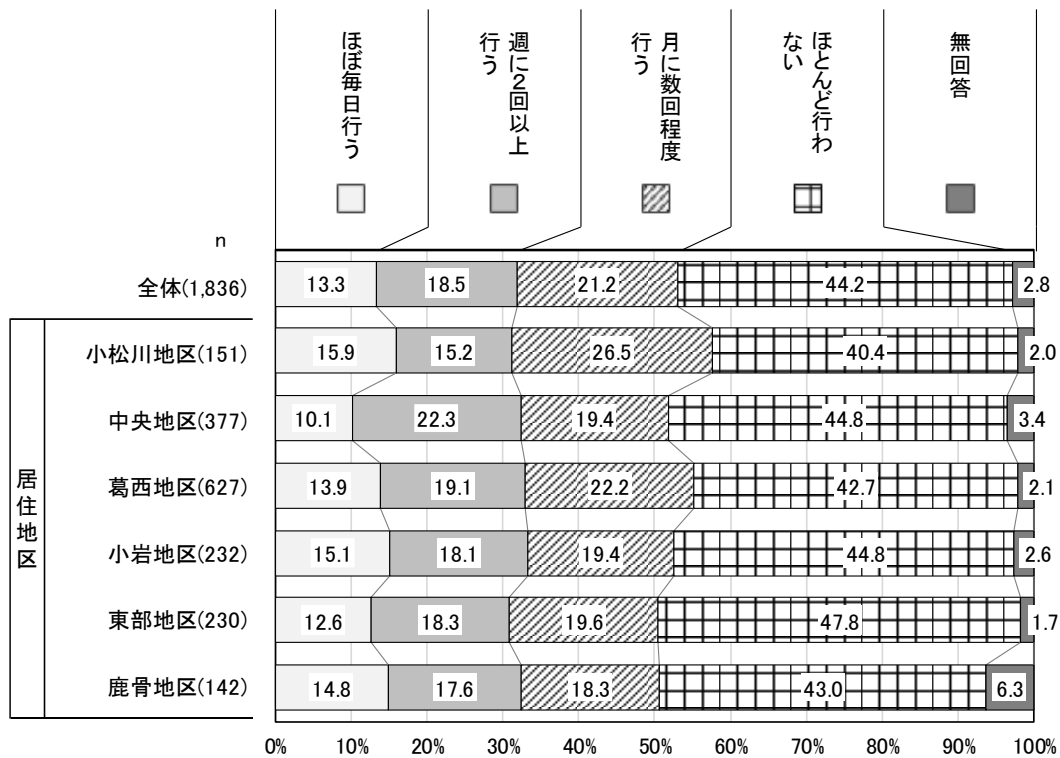
<図表 20-2>運動の頻度／性・年齢別



【居住地区別】

全ての居住地区で「ほとんど行わない」が4割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。運動習慣がある方は3割台となっている。(図表 20-3)

＜図表 20-3＞運動の頻度／居住地区別



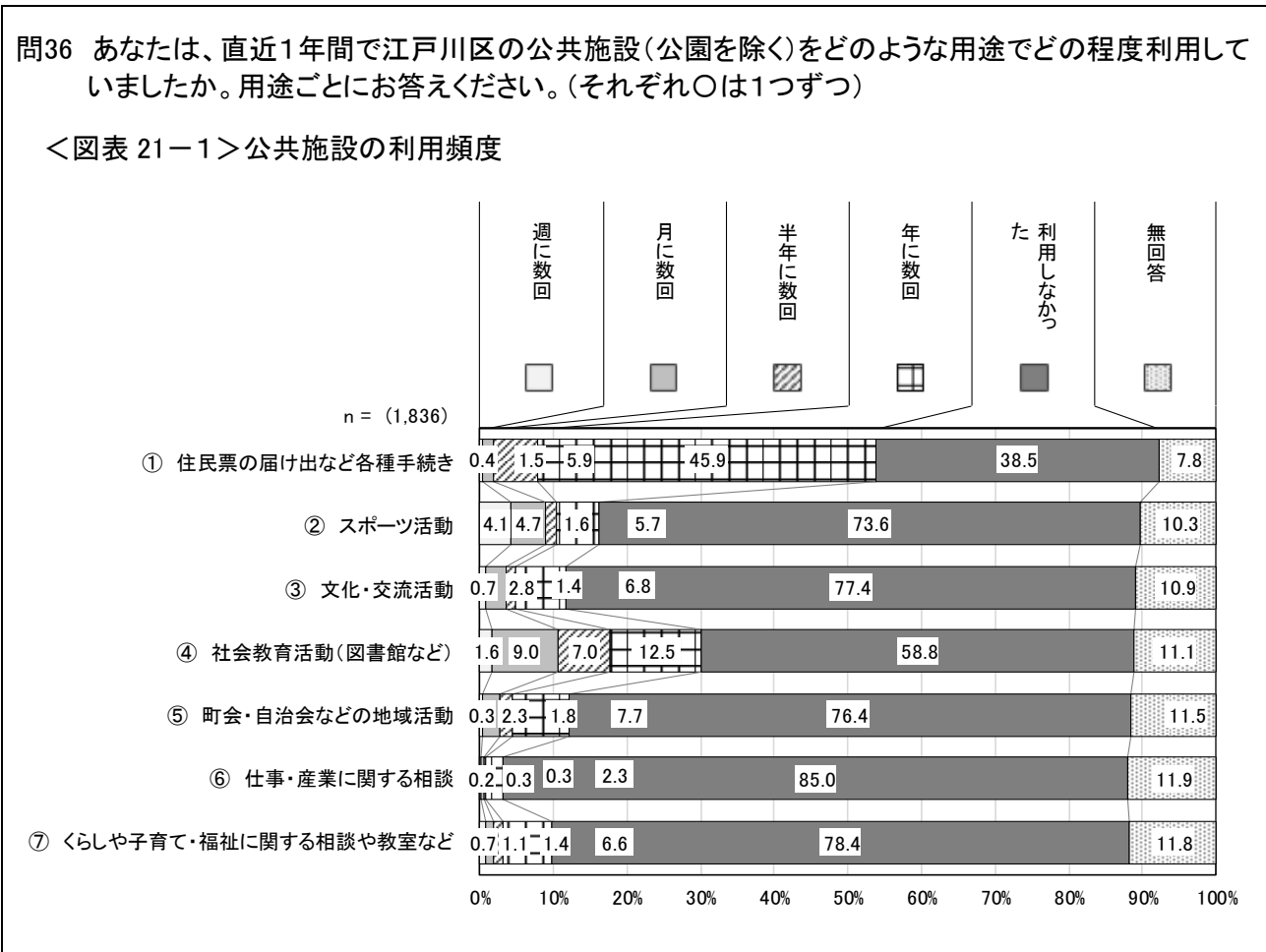
## 21. 公共施設の再編・整備について

### (1) 公共施設の利用頻度

◇「利用しなかった」は【① 住民票の届け出など各種手続き】、【④ 社会教育活動（図書館など）】を除いた、全ての用途で7割以上。

問36 あなたは、直近1年間で江戸川区の公共施設(公園を除く)をどのような用途でどの程度利用していましたか。用途ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つつ)

<図表 21-1> 公共施設の利用頻度



【① 住民票の届け出など各種手続き】の「年に数回」は45.9%、「利用しなかった」は38.5%となっている。また、①～⑦の中で「年に数回」は最も高い回答、「利用しなかった」は最も低い回答となっている。

【⑥ 仕事・産業に関する相談】では「利用しなかった」が85.0%と①～⑦の中で最も高い回答となっている。(図表 21-1)

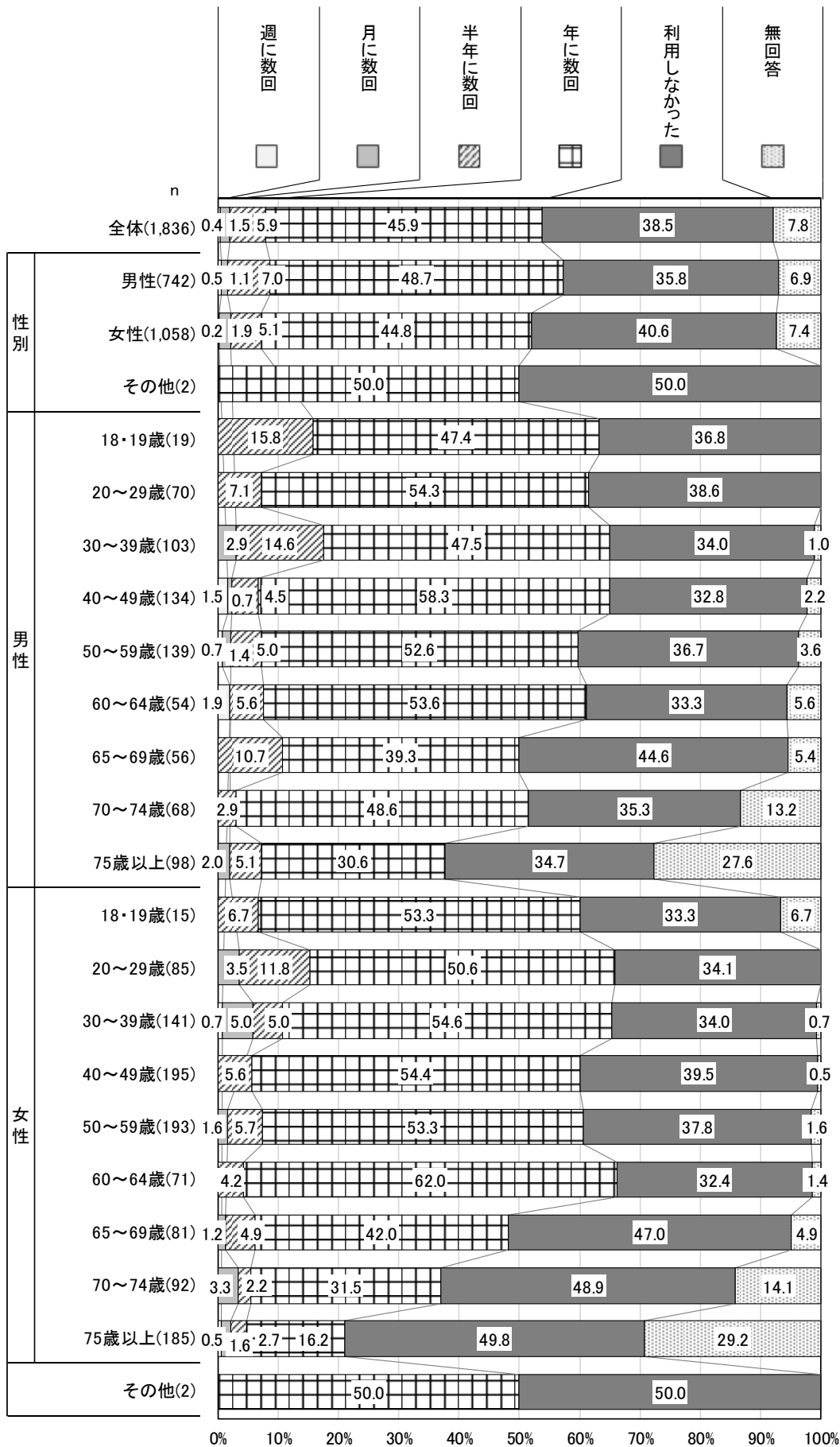
#### 【① 住民票の届け出など各種手続き／性・年齢別】

男性は65～69歳、75歳以上を除いて、全ての年齢で「年に数回」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。65～69歳、75歳以上で「利用しなかった」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

女性は60～64歳以下で「年に数回」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。65～69歳以上は「利用しなかった」が4割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。

男性・女性ともに全ての年齢で「週に数回」と「月に数回」で5%未満と少数となっている。(図表 21-2)

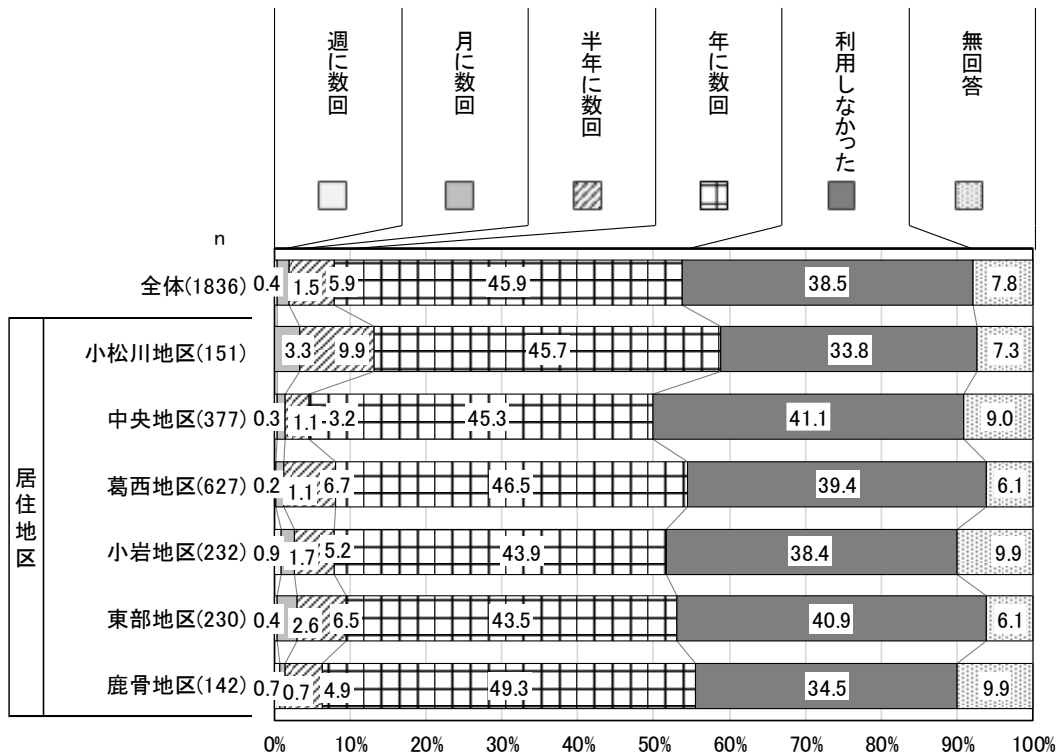
<図表 21-2>① 住民票の届け出など各種手続き／性・年齢別



【① 住民票の届け出など各種手続き／居住地区別】

全ての居住地区で「年に数回」が4割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。次いで、「利用しなかった」が高い回答となっている。「週に数回」と「月に数回」は5%未満と少数になっており、「半年に数回」は1割未満となっている。(図表 21-3)

<図表 21-3>① 住民票の届け出など各種手続き／居住地区別

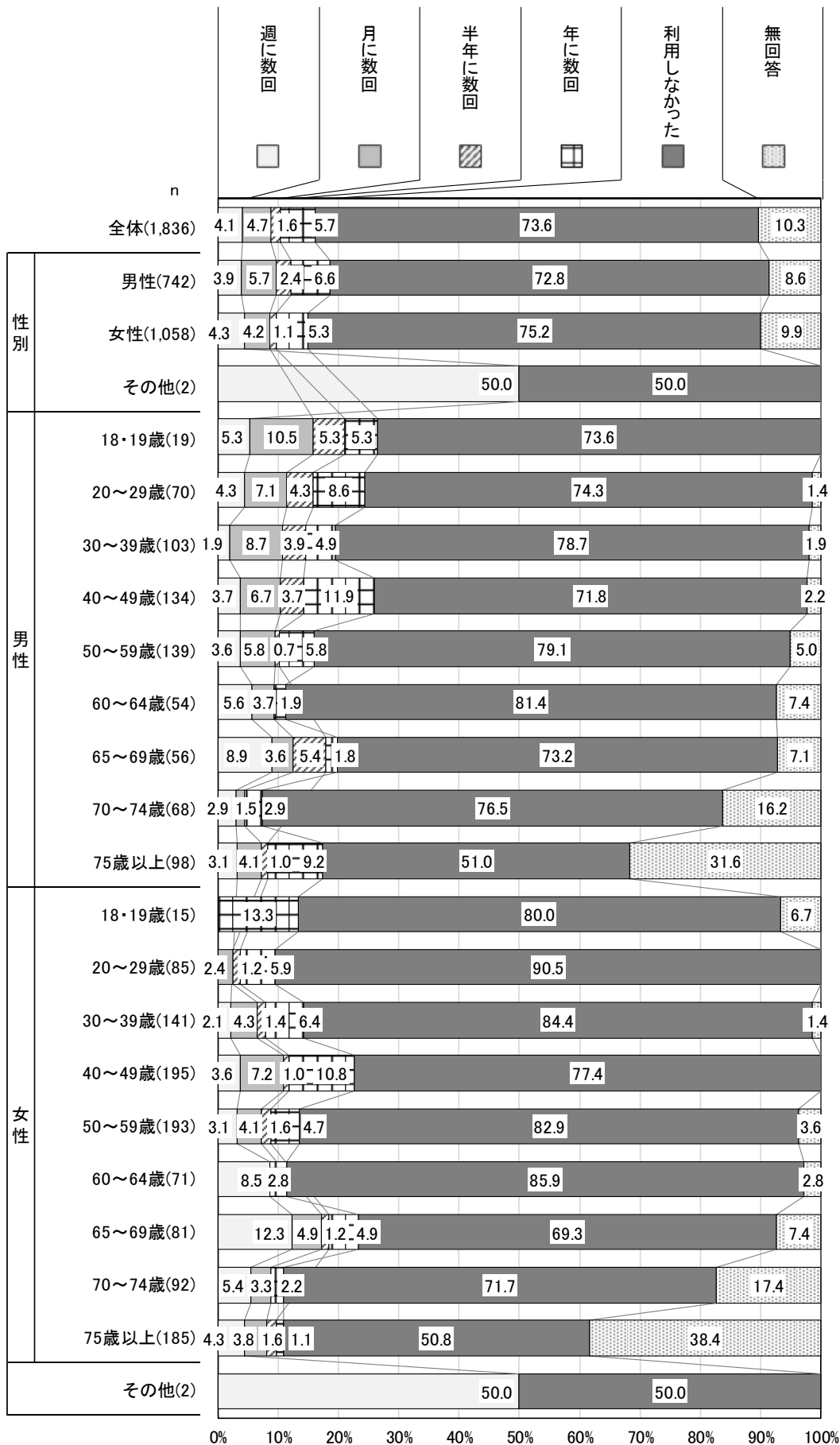


【② スポーツ活動／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「利用しなかった」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、5割台～9割台と数値に差がある。「週に数回」は女性-65～69歳を除いて、1割未満となっている。「月に数回」は男性-18・19歳を除いて、1割未満となっている。(図表 21-4)



<図表 21-4>② スポーツ活動／性・年齢別

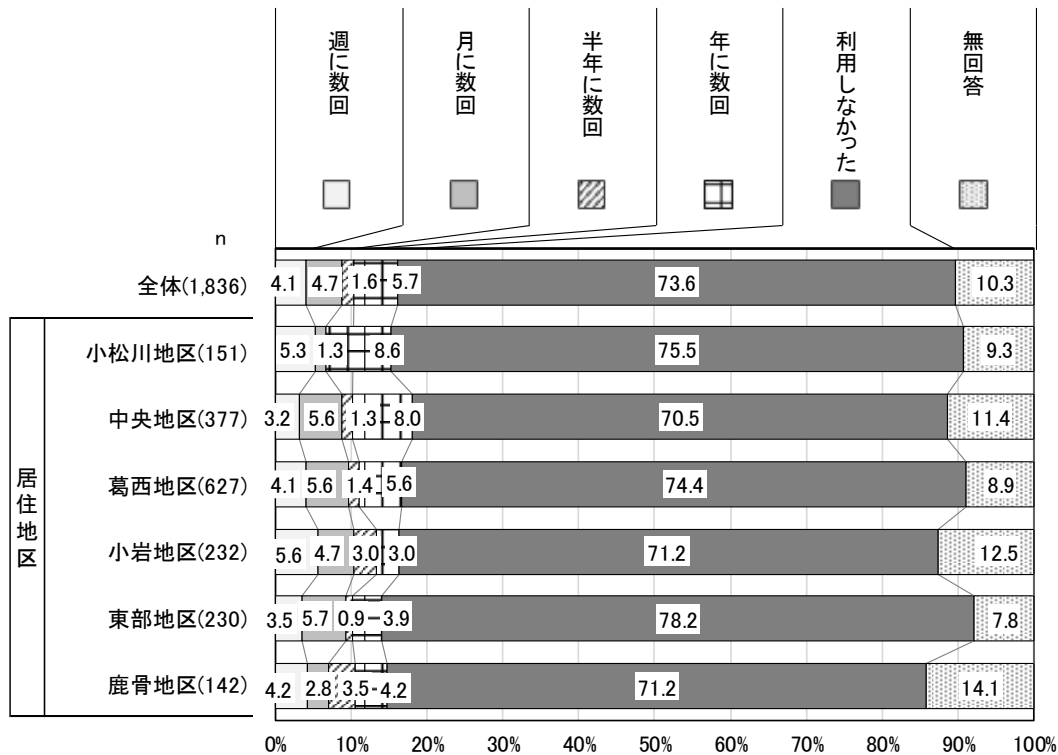


【② スポーツ活動／居住地区別】

全ての居住地区で「利用しなかった」が7割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。「週に数回」、「月に数回」、「年に数回」は1割未満となっている。「半年に数回」は5%未満と少数になっている。

(図表 21-5)

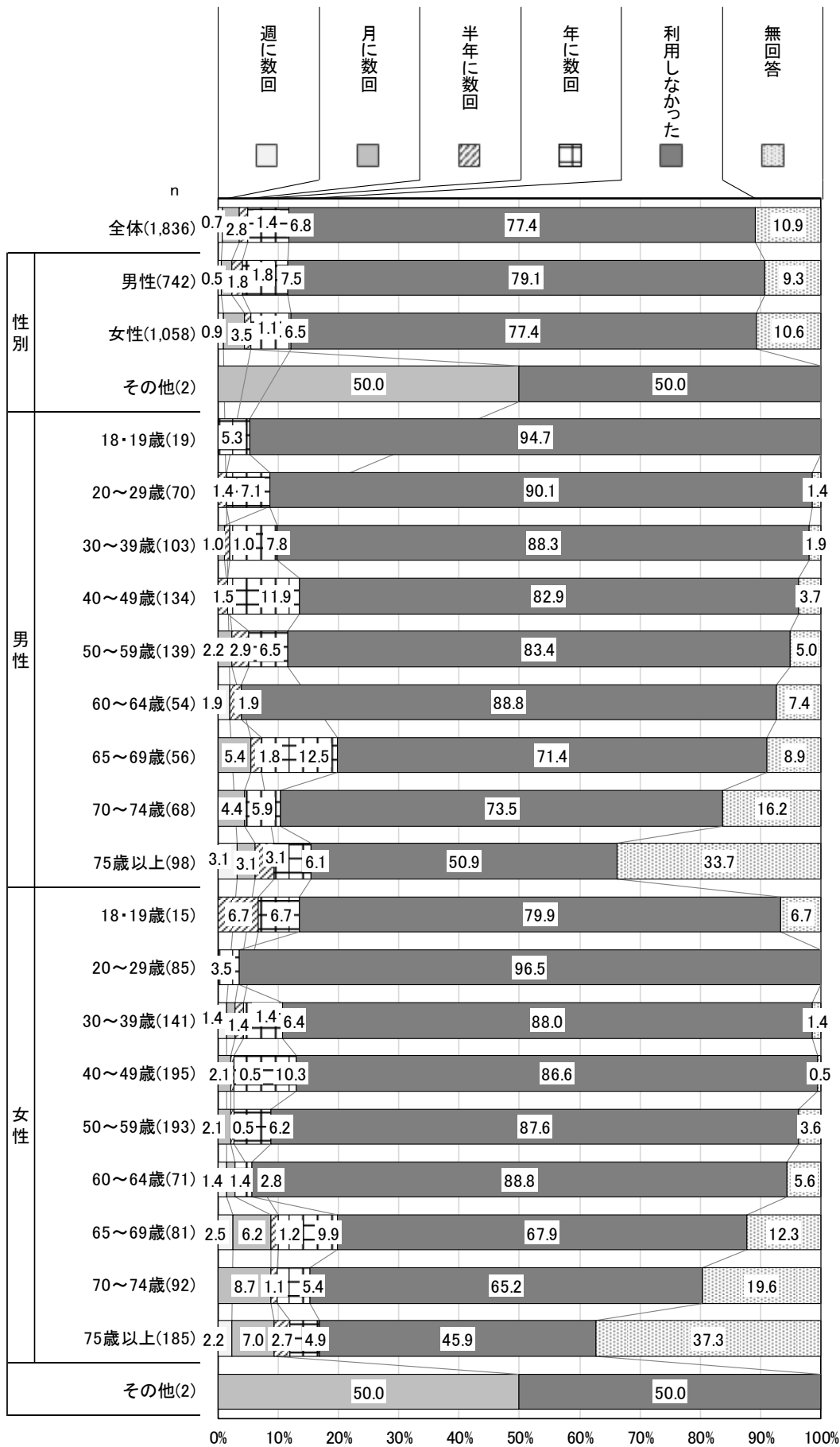
<図表 21-5>② スポーツ活動／居住地区別



【③ 文化・交流活動／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「利用しなかった」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、4割台～9割台と数値に差がある。「週に数回」は5%未満と少数になっている。「月に数回」、「半年に数回」は1割未満となっている。(図表 21-6)

<図表 21-6>③ 文化・交流活動／性・年齢別

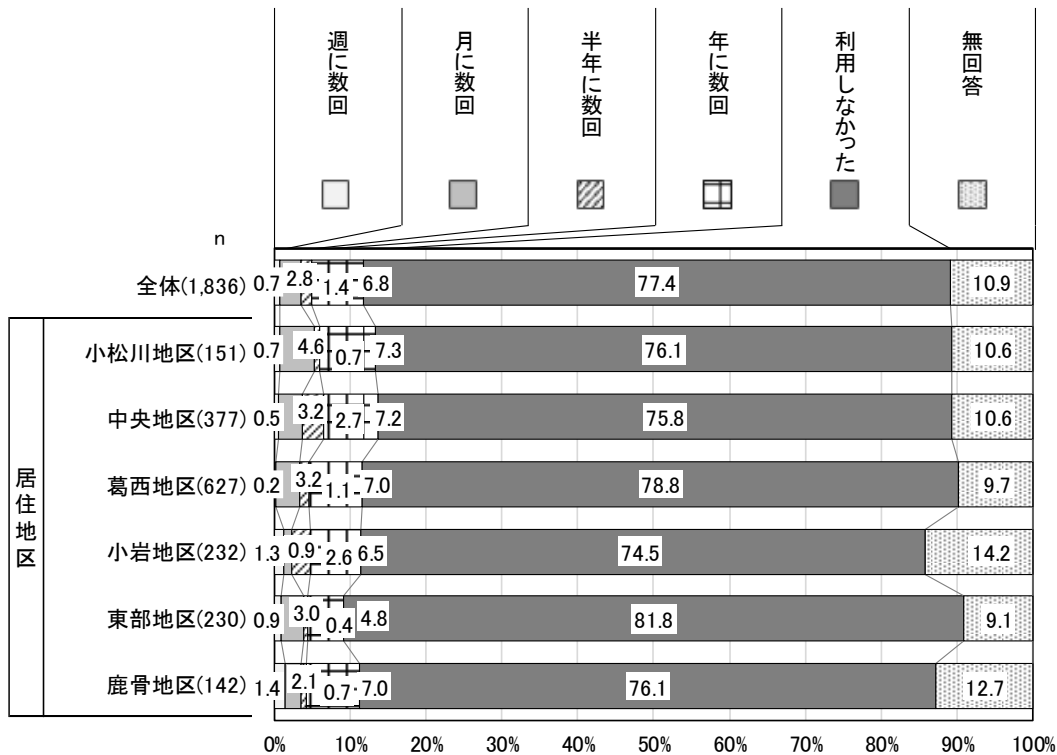


【③ 文化・交流活動／居住地区別】

全ての居住地区で「利用しなかった」が7割以上と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。「週に数回」、「月に数回」、「半年に数回」は5%未満と少数になっている。「年に数回」は1割未満となっている。

(図表 21-7)

<図表 21-7>③ 文化・交流活動／居住地区別

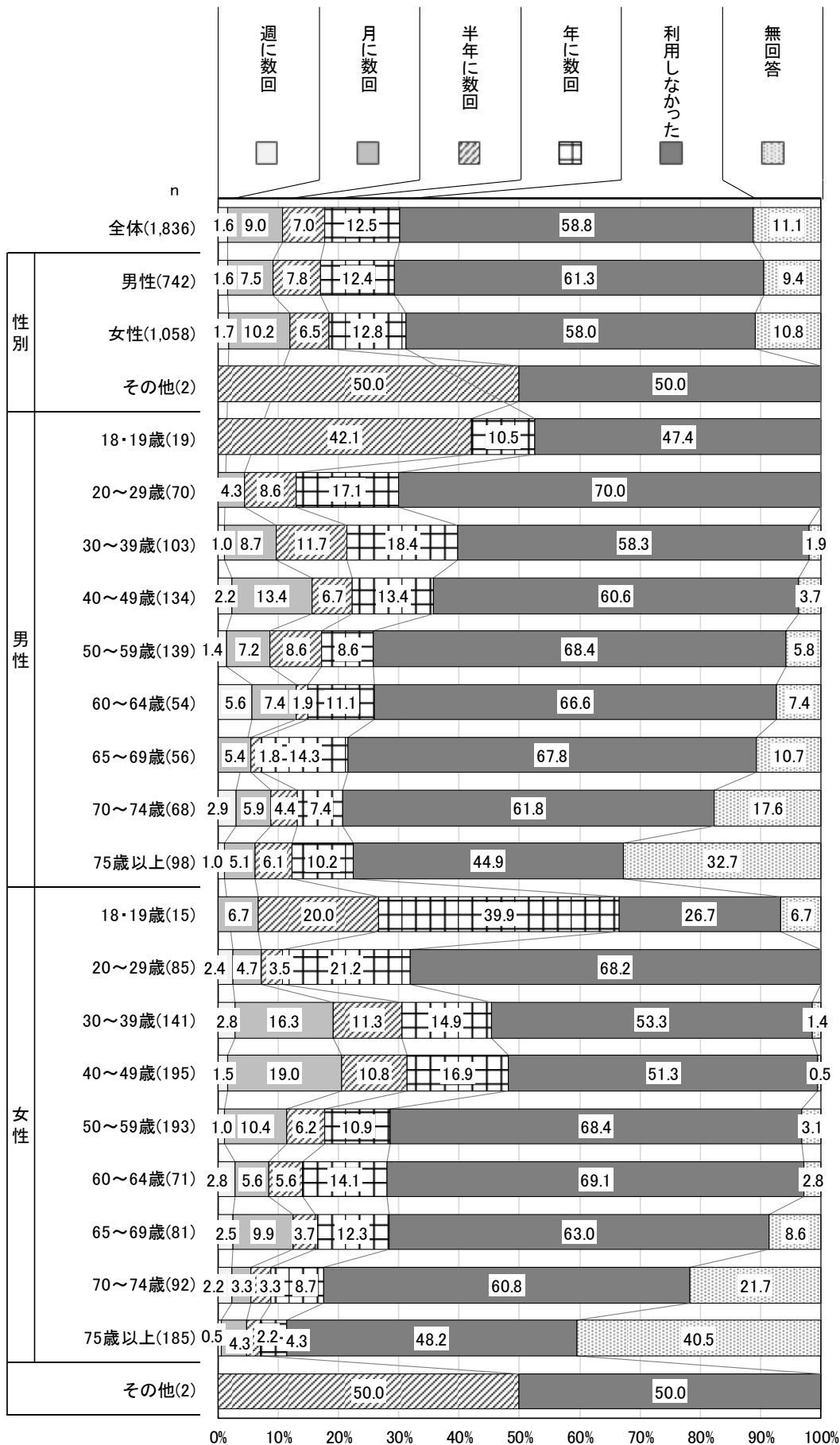


【④ 社会教育活動(図書館など)／性・年齢別】

女性-18・19歳を除いて、男性・女性ともに全ての年齢で「利用しなかった」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、4割台～7割台と数値に差がある。「週に数回」は1割未満となっている。

(図表 21-8)

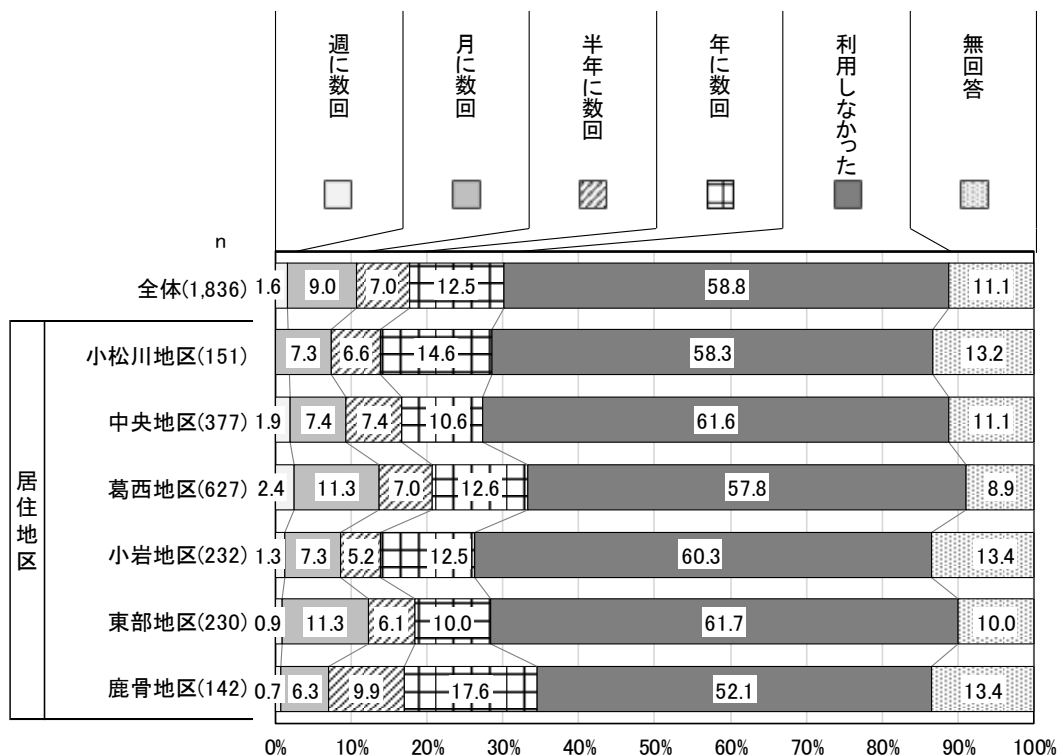
<図表 21-8>④ 社会教育活動(図書館など)／性・年齢別



【④ 社会教育活動(図書館など)／居住地区別】

全ての居住地区で「利用しなかった」は他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。次いで、「年に数回」が1割台となっている。「週に数回」は5%未満と少数になっている。「半年に数回」は1割未満となっている。(図表 21-9)

<図表 21-9>④ 社会教育活動(図書館など)／居住地区別

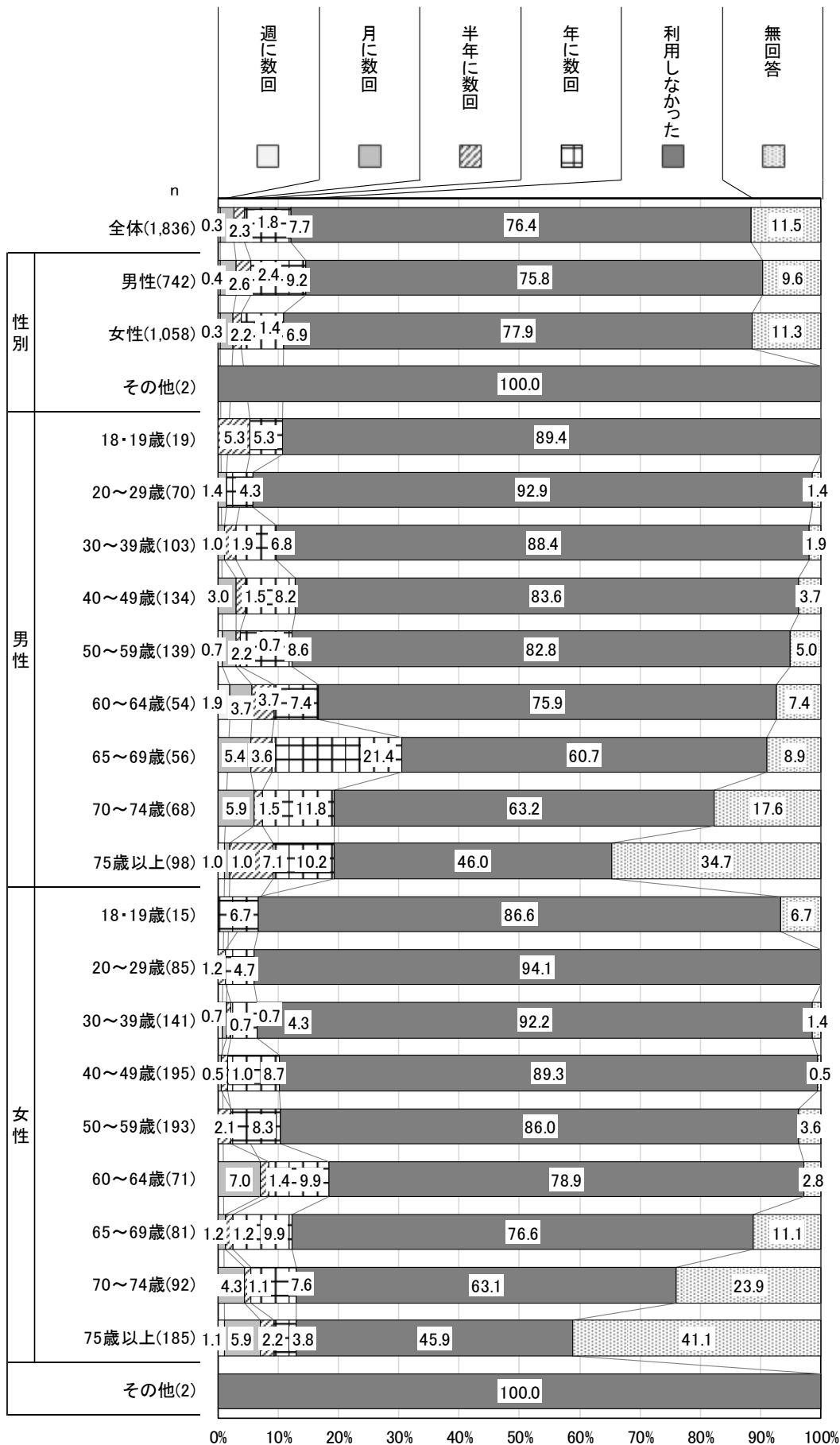


【⑤ 町会・自治会などの地域活動／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「利用しなかった」が最も高い回答となっているが、4割台～9割台と数値に差がある。「週に数回」は5%未満と少数になっており、「月に数回」と「半年に数回」で1割未満となっている。

男性-65～69歳は「年に数回」で21.4%と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表 21-10)

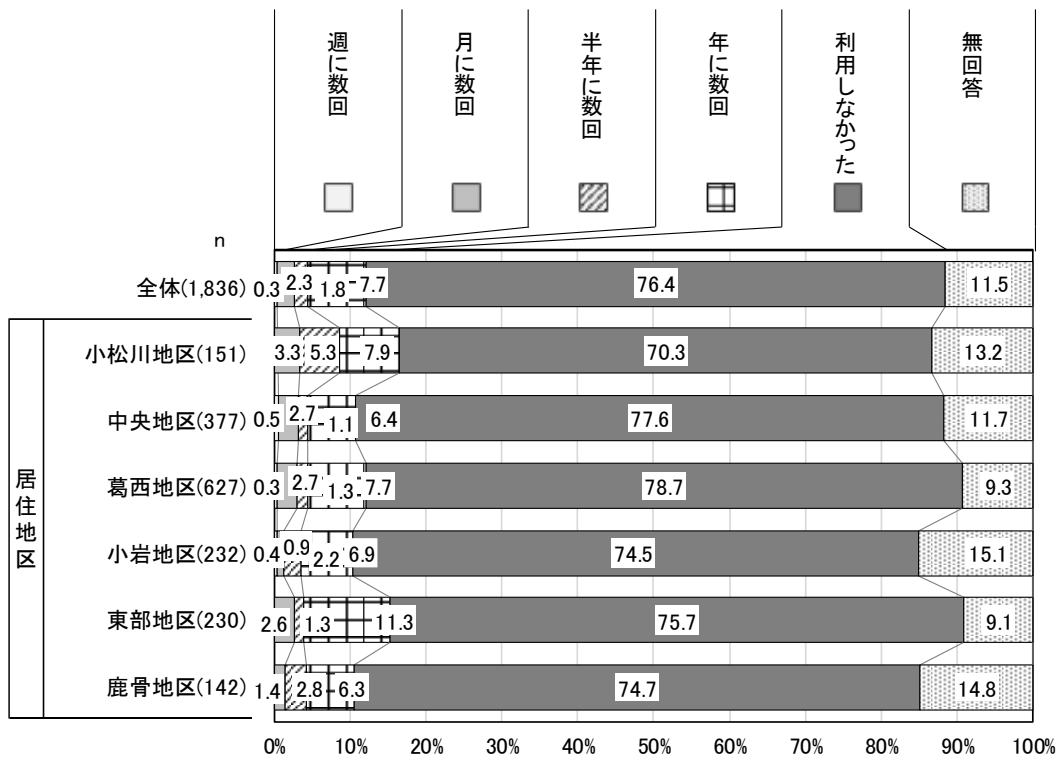
<図表 21-10>⑤ 町会・自治会などの地域活動／性・年齢別



【⑤ 町会・自治会などの地域活動／居住地区別】

全ての居住地区で「利用しなかった」が7割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。「週に数回」と「月に数回」は5%未満と少数になっており、「半年に数回」は1割未満となっている。(図表 21-11)

＜図表 21-11＞⑤ 町会・自治会などの地域活動／居住地区別

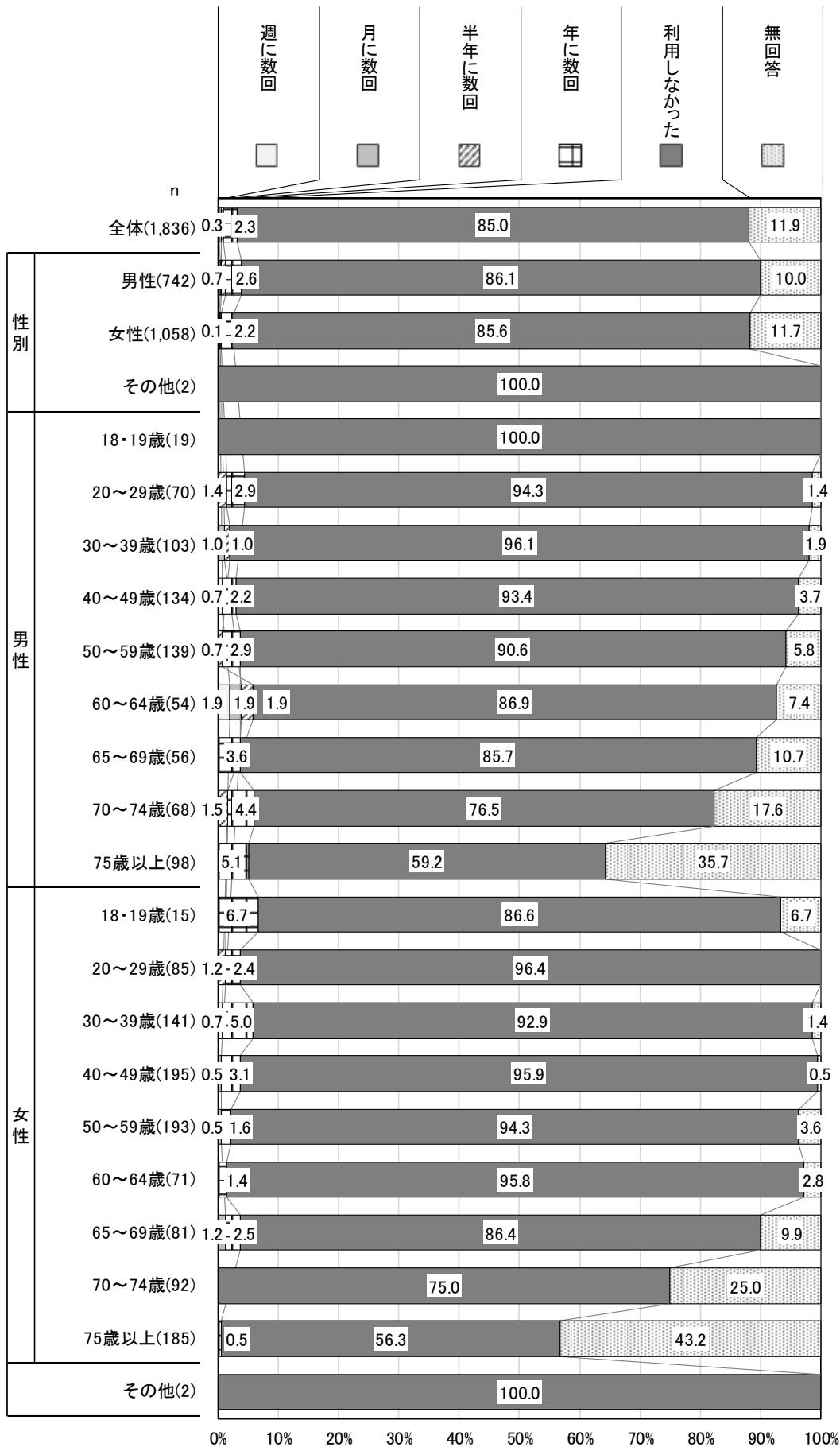


【⑥ 仕事・産業に関する相談／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「利用しなかった」は他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、5割台～10割と数値に差がある。「週に数回」、「月に数回」、「半年に数回」は5%未満と少数になっており、「年に数回」は1割未満となっている。(図表 21-12)



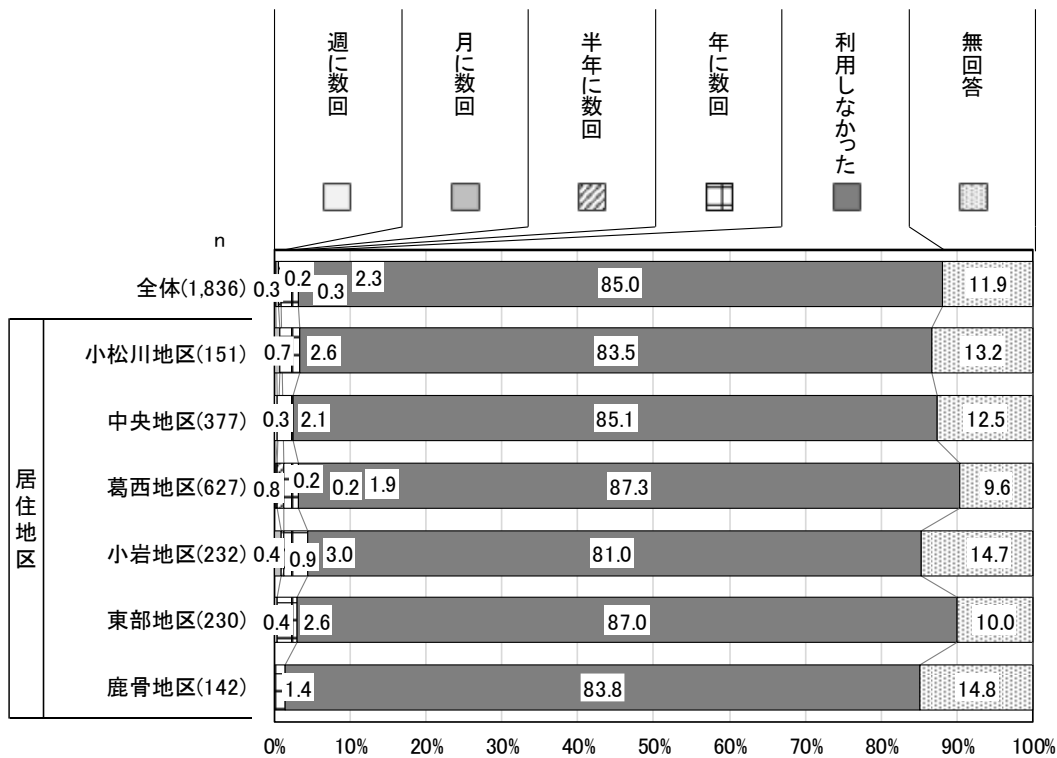
<図表 21-12>⑥ 仕事・産業に関する相談／性・年齢別



【⑥ 仕事・産業に関する相談／居住地区別】

全ての居住地区で「利用しなかった」が8割台と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。「週に数回」、「月に数回」、「半年に数回」、「年に数回」は5%未満と少数になっている。(図表 21-13)

<図表 21-13>⑥ 仕事・産業に関する相談／居住地区別

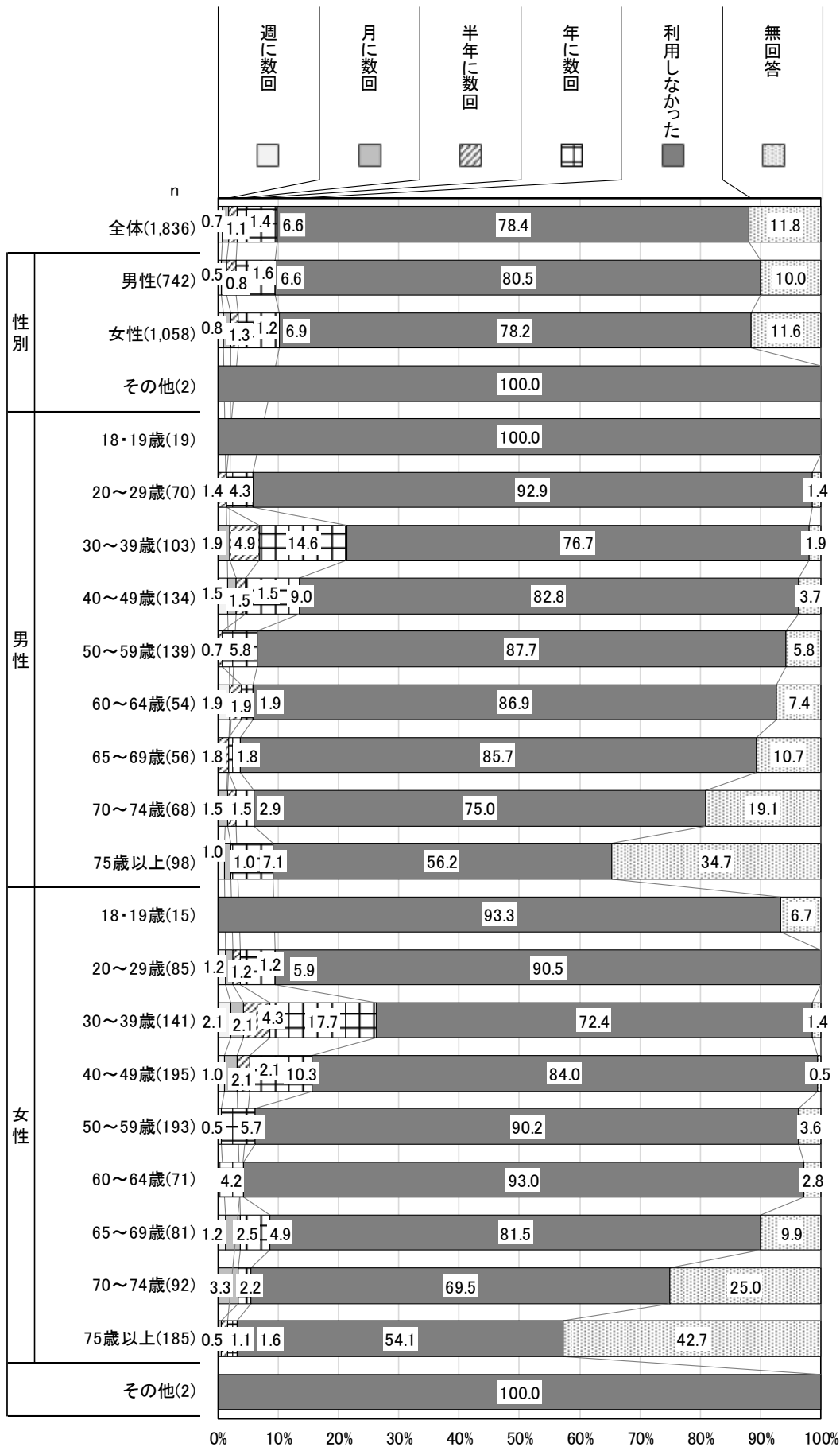


【⑦ くらしや子育て・福祉に関する相談や教室など／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「利用しなかった」は他の選択肢に比べて最も高い回答となっているが、5割台～10割と数値に差がある。「週に数回」、「月に数回」、「半年に数回」は5%未満と少数になっている。

男性-30～39歳、女性-30～39歳から40～49歳は「年に数回」で1割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。(図表 21-14)

<図表 21-14> ⑦ くらしや子育て・福祉に関する相談や教室など／性・年齢別

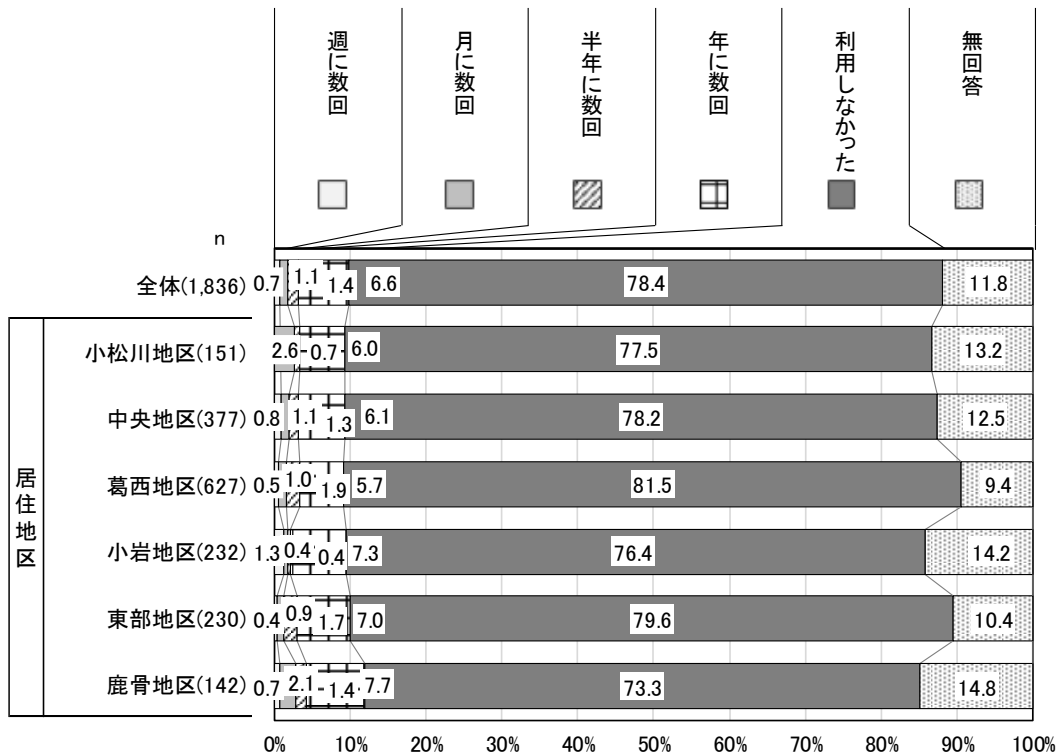


【⑦ くらしや子育て・福祉に関する相談や教室など／居住地区別】

全ての居住地区で「利用しなかった」が7割台以上と他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。「週に数回」、「月に数回」、「半年に数回」は5%未満と少数になっており、「年に数回」は1割未満となっている。

(図表 21-15)

<図表 21-15> ⑦ くらしや子育て・福祉に関する相談や教室など／居住地区別

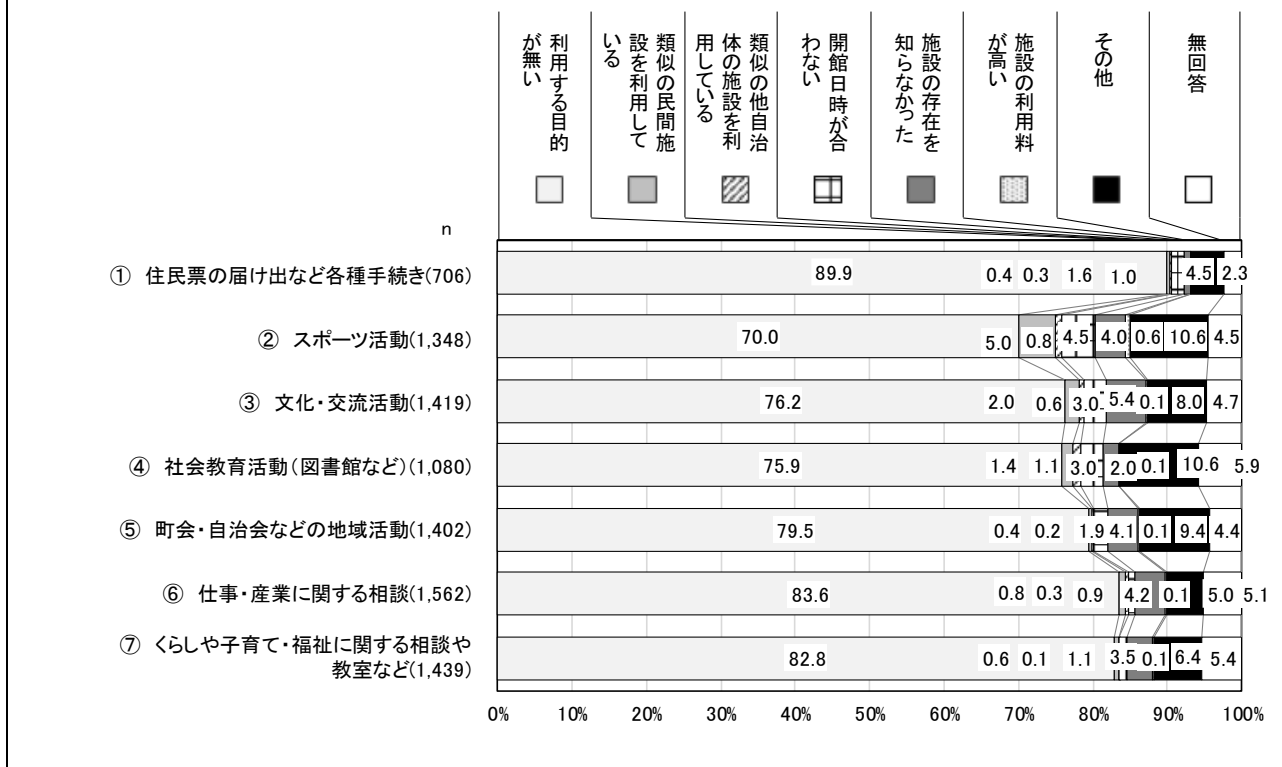


(2) 公共施設を利用しなかった理由

◇【① 住民票の届け出など各種手続き】、【⑥ 仕事・産業に関する相談】、【⑦ ぐらしや子育て・福祉に関する相談や教室など】の「利用する目的が無い」が8割台。

問36-1 <問36で「5 利用しなかった」を選択した方にお尋ねします。>用途ごとに最も当てはまる理由をお答えください。(それぞれ〇は1つずつ)

<図表 21-16>



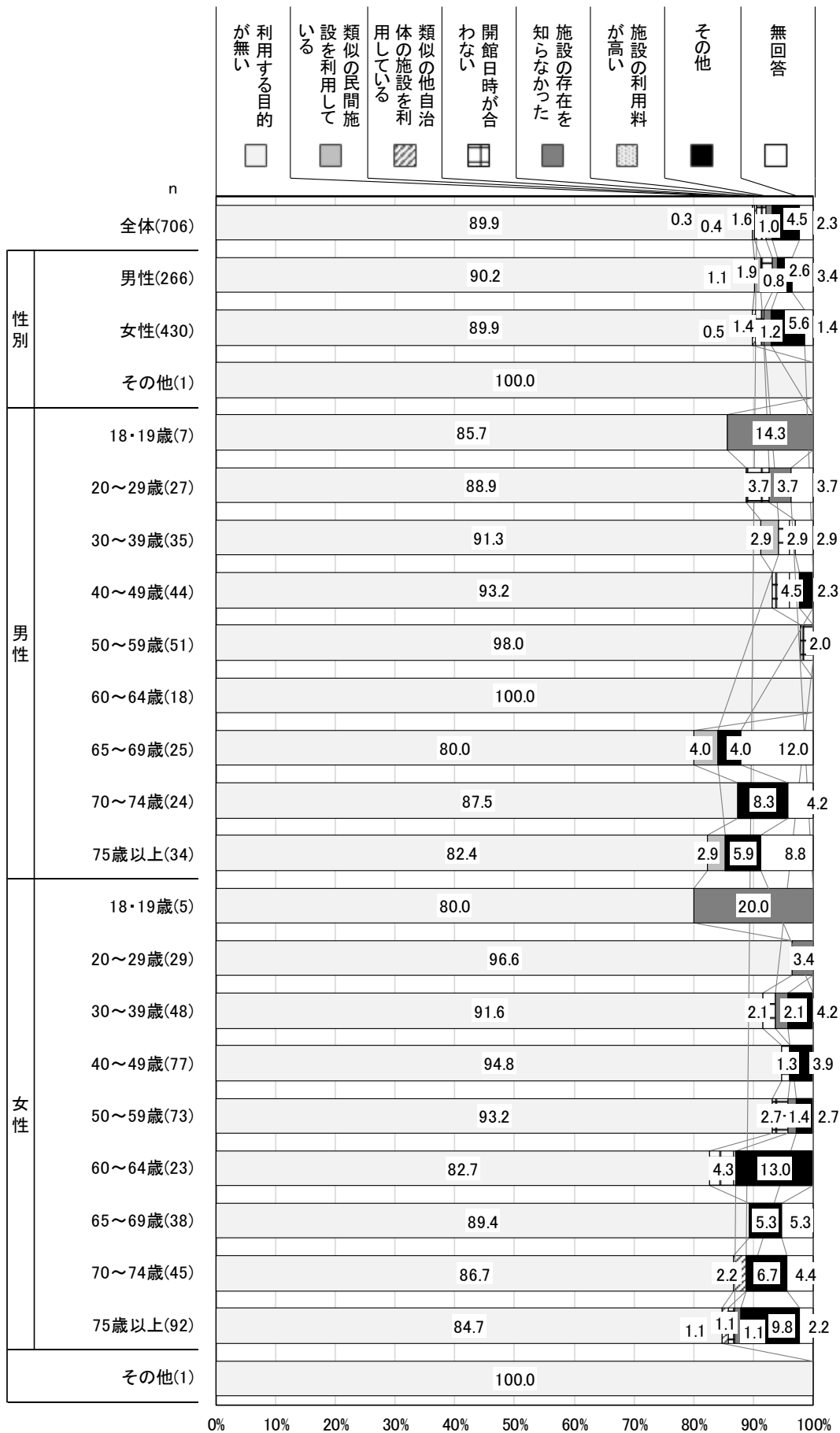
「利用する目的が無い」は全ての用途で7割以上となっている。その中でも、【① 住民票の届け出など各種手続き】(89.9%)、【⑥ 仕事・産業に関する相談】(83.6%)、【⑦ ぐらしや子育て・福祉に関する相談や教室など】(82.8%)は8割を超えて特に高くなっており、「利用する目的が無い」以外の回答はいずれも1割未満となっている。(図表 21-16)

【① 住民票の届け出など各種手続き／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「利用する目的が無い」が8割以上と他の選択肢に比べて最も高い回答になっている。

「類似の民間施設を利用している」、「類似の他自治体の施設を利用している」、「開館日時が合わない」、「施設の利用料が高い」は5%未満と少数になっている。(図表 21-17)

<図表 21-17>① 住民票の届け出など各種手続き／性・年齢別

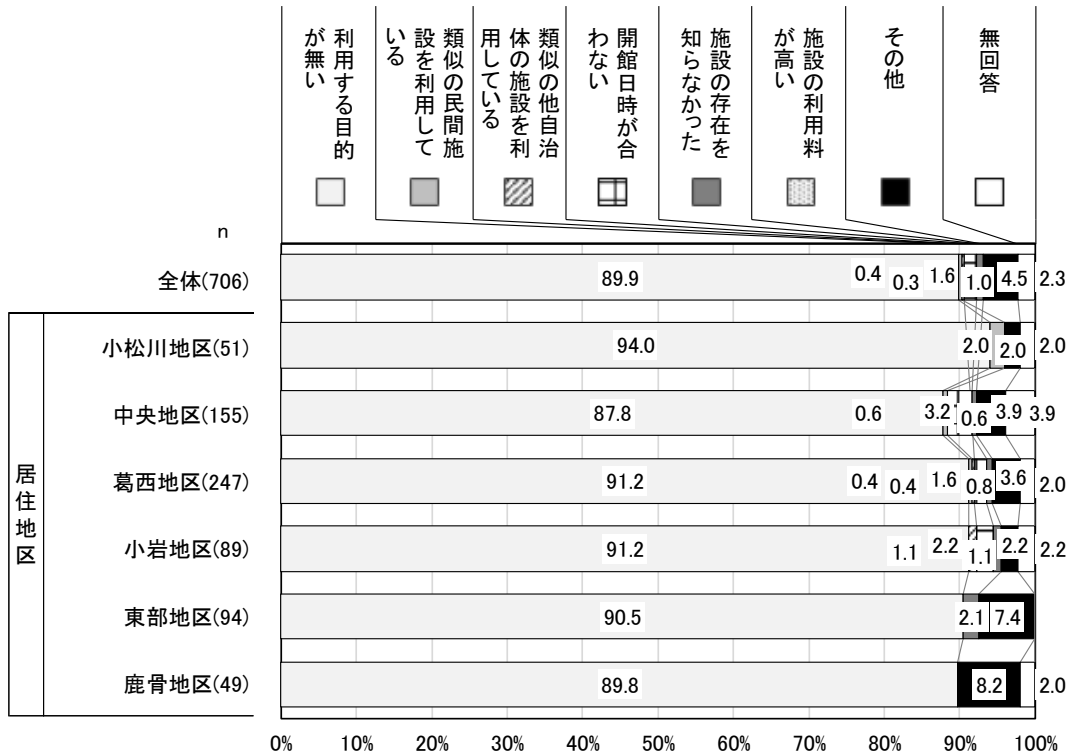


【① 住民票の届け出など各種手続き／居住地区別】

全ての居住地区で「利用する目的が無い」が8割以上と他の選択肢に比べて最も高い回答になっている。

「類似の民間施設を利用している」、「類似の他自治体の施設を利用している」、「開館日時が合わない」、「施設の存在を知らなかった」、「施設の利用率が高い」は5%未満と少数になっている。(図表 21-18)

＜図表 21-18＞① 住民票の届け出など各種手続き／居住地区別

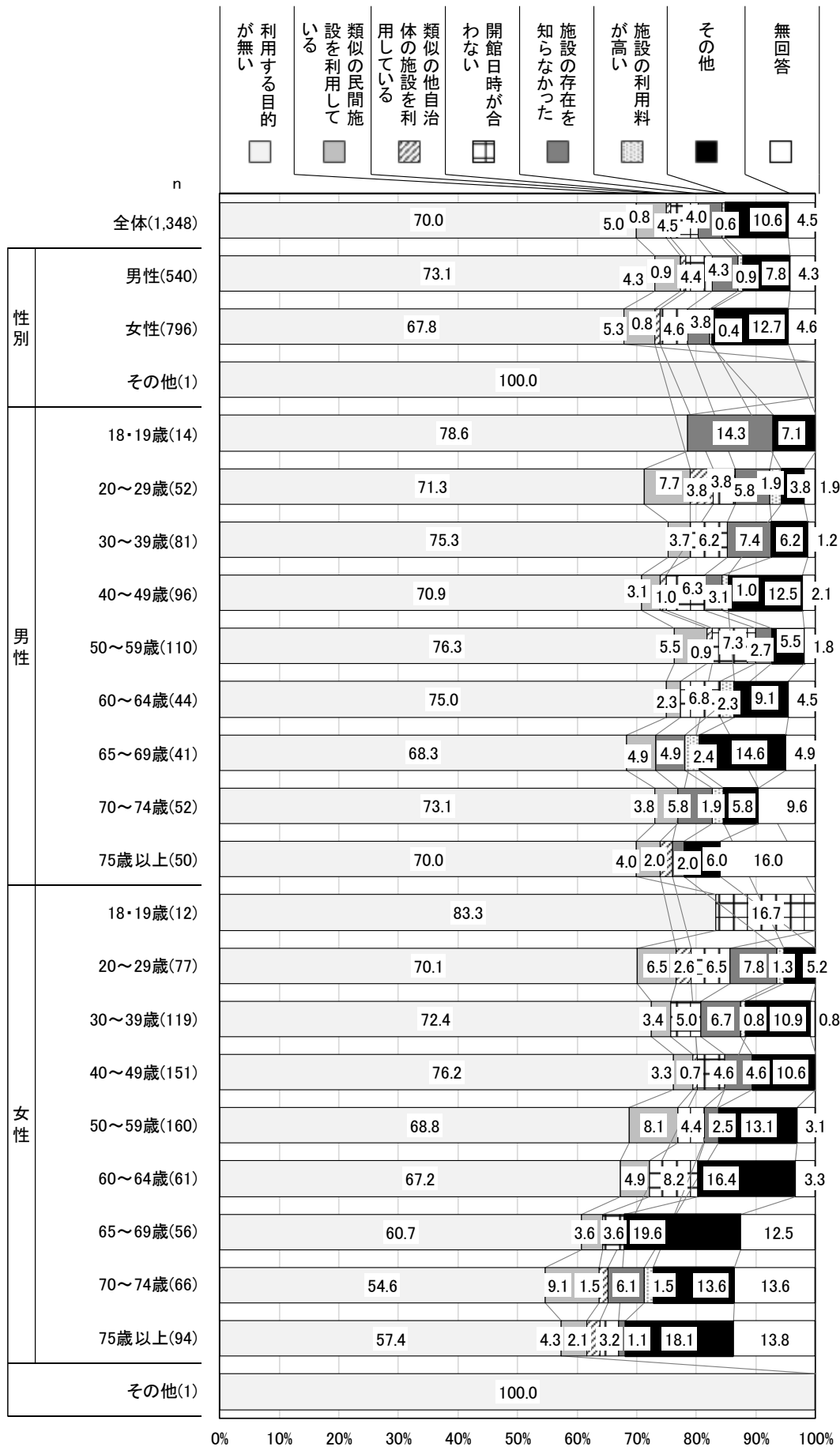


【② スポーツ活動／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「利用する目的が無い」が他の選択肢に比べて最も高い回答になっているが、5割台～8割台と数値に差がある。

「類似の民間施設を利用している」は1割未満、「類似の他自治体の施設を利用している」と「施設の利用率が高い」は5%未満と少数になっている。(図表 21-19)

<図表 21-19>② スポーツ活動／性・年齢別





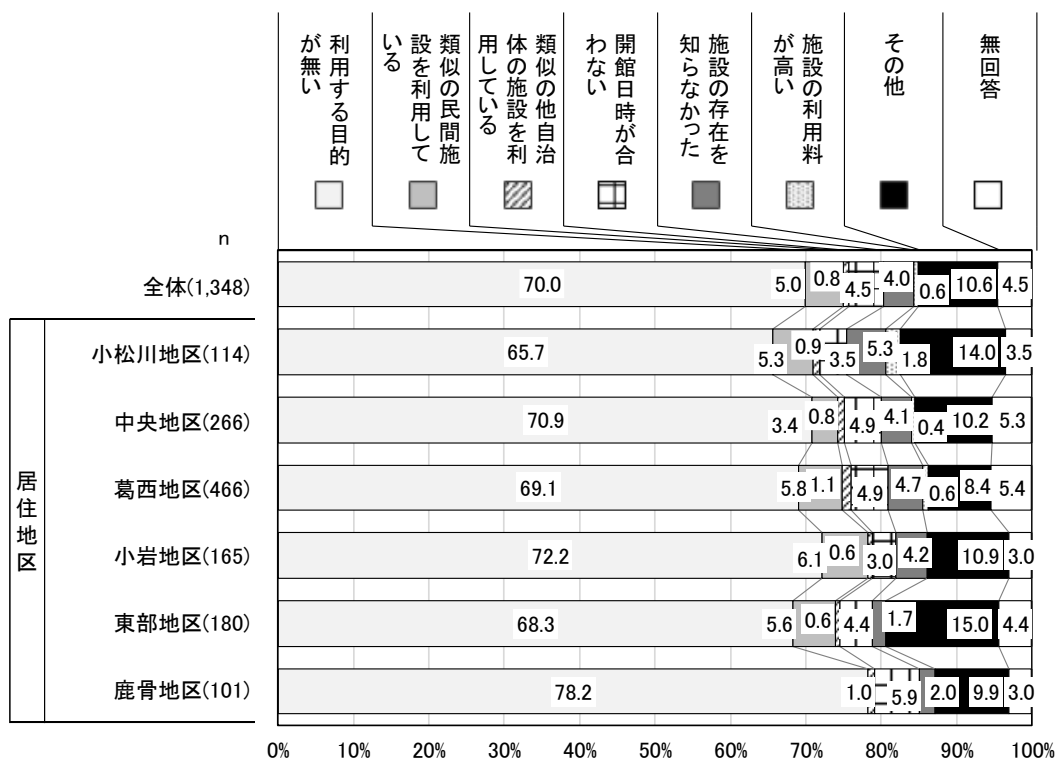
【② スポーツ活動／居住地区別】

全ての居住地区で「利用する目的が無い」が他の選択肢に比べて最も高い回答になっている。

「類似の民間施設を利用している」、「開館日時が合わない」、「施設の存在を知らなかった」は1割未満、「類似の他自治体の施設を利用している」、「施設の利用率が高い」が5%未満と少数になっている。

(図表 21-20)

<図表 21-20>② スポーツ活動／居住地区別

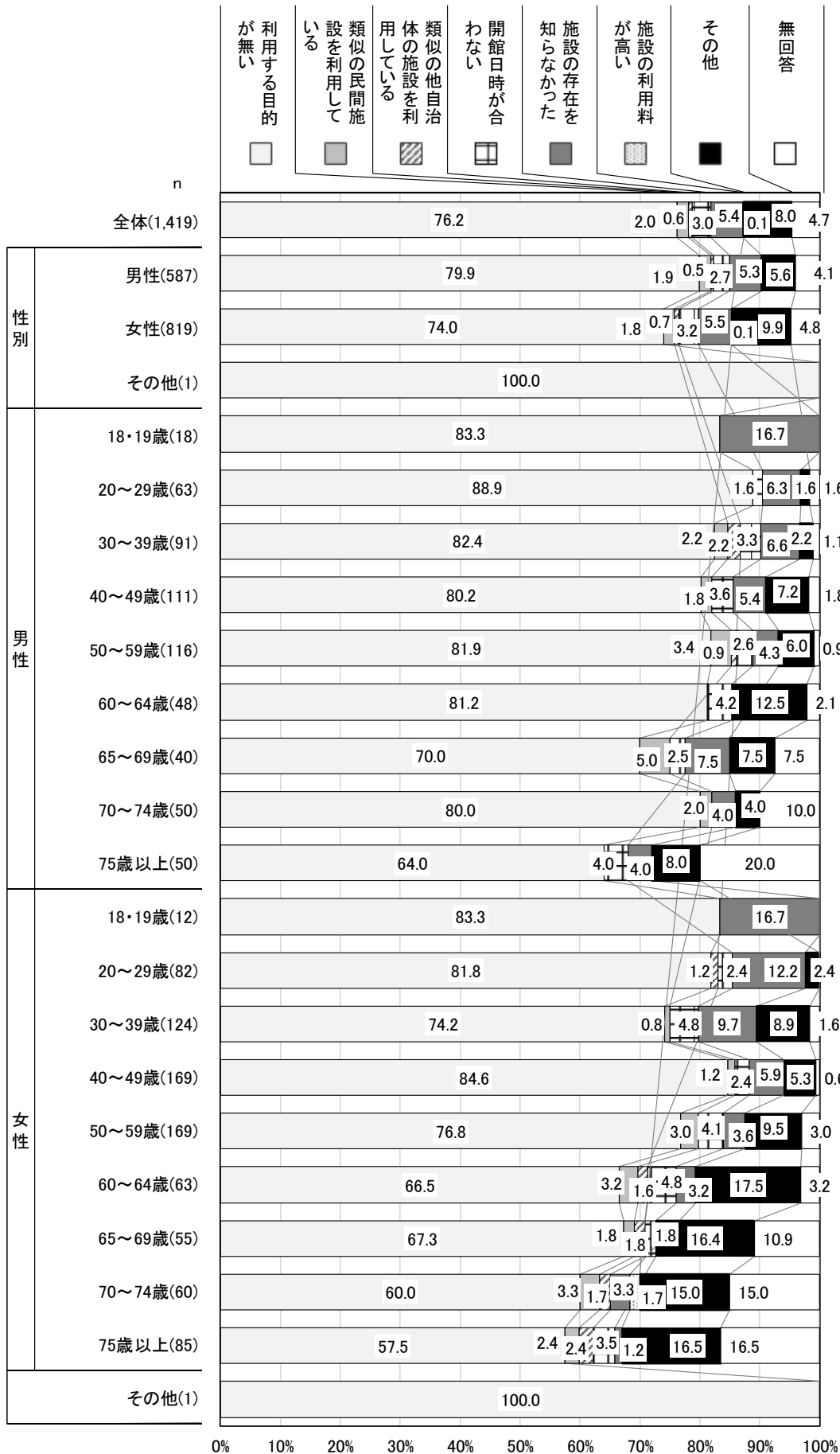


【③ 文化・交流活動／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「利用する目的が無い」が他の選択肢に比べて最も高い回答になっているが、5割台～8割台と数値に差がある。

「類似の民間施設を利用している」は1割未満、「類似の他自治体の施設を利用している」、「開館日時が合わない」、「施設の利用率が高い」は5%未満と少数になっている。(図表 21-21)

＜図表 21-21＞③ 文化・交流活動／性・年齢別



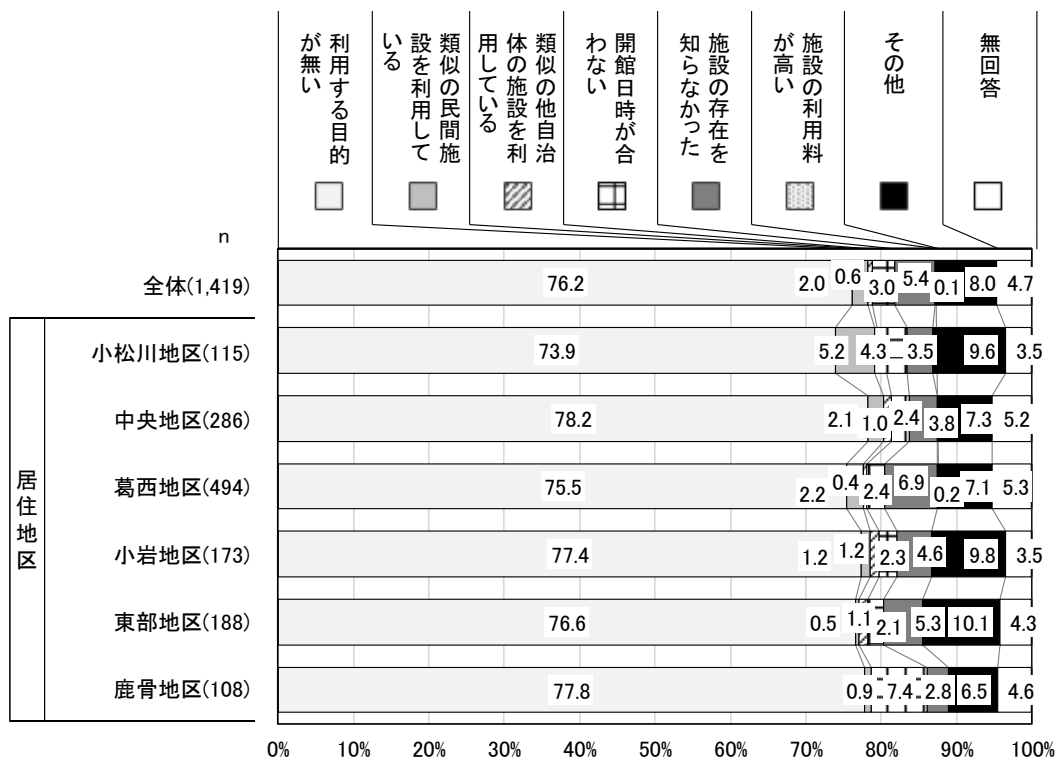
【③ 文化・交流活動／居住地区別】

全ての居住地区で「利用する目的が無い」が7割台と他の選択肢に比べて最も高い回答になっている。

「類似の民間施設を利用している」、「開館日時が合わない」、「施設の存在を知らなかった」は1割未満、「類似の他自治体の施設を利用している」と「施設の利用料が高い」は5%に満たず少数となっている。

また、全ての選択肢で最も高い居住地区と低い居住地区の差が5%以内となっていることから、居住地区で大きな違いが見られない。(図表 21-22)

<図表 21-22>③ 文化・交流活動／居住地区別

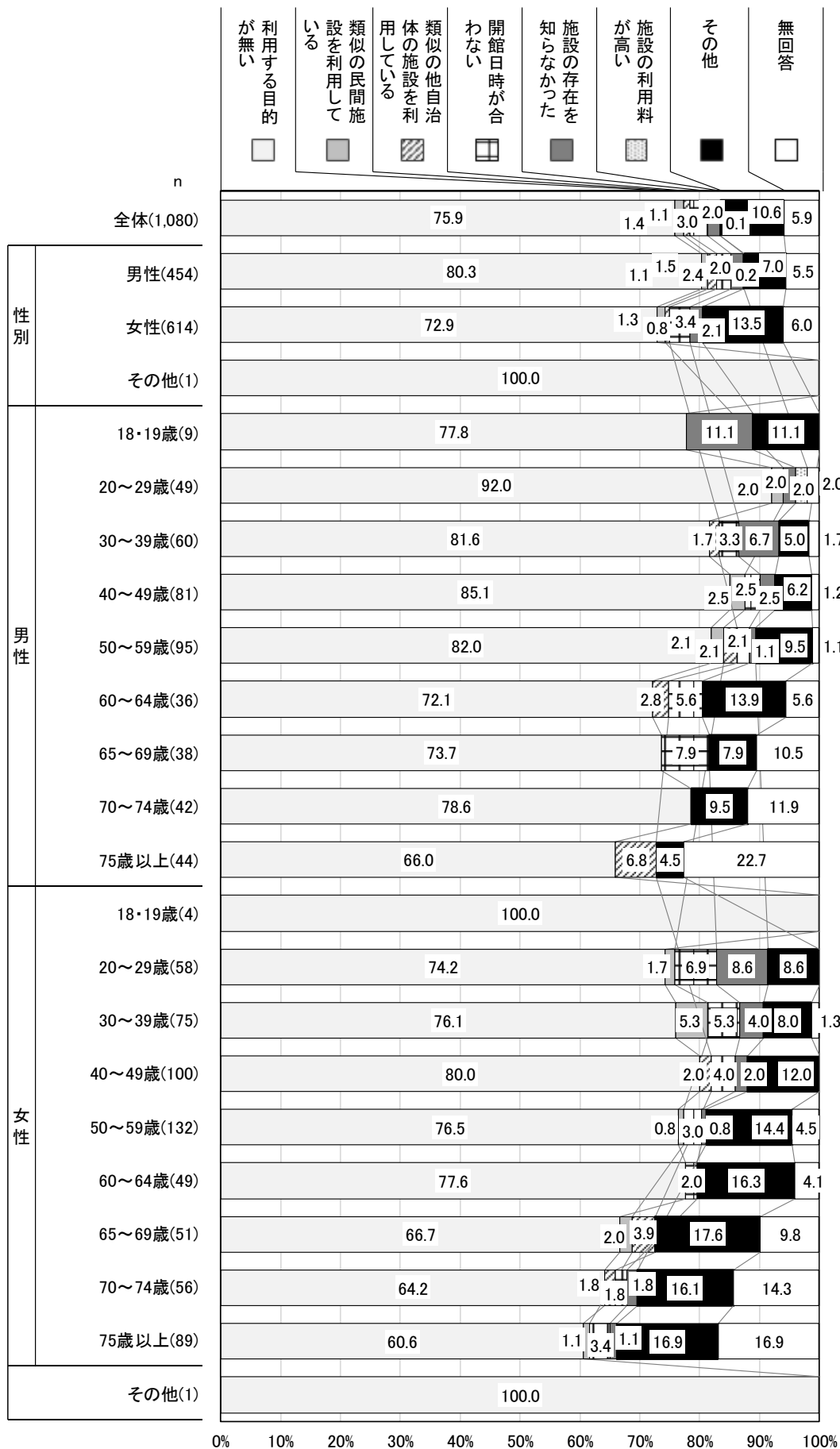


【④ 社会教育活動(図書館など)／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「利用する目的が無い」が他の選択肢に比べて最も高い回答になっているが、6割台～10割と数値に差がある。

「類似の民間施設を利用している」、「類似の他自治体の施設を利用している」、「開館日時が合わない」は1割未満、「施設の利用料が高い」は5%未満と少数になっている。(図表 21-23)

<図表 21-23>④ 社会教育活動(図書館など)／性・年齢別

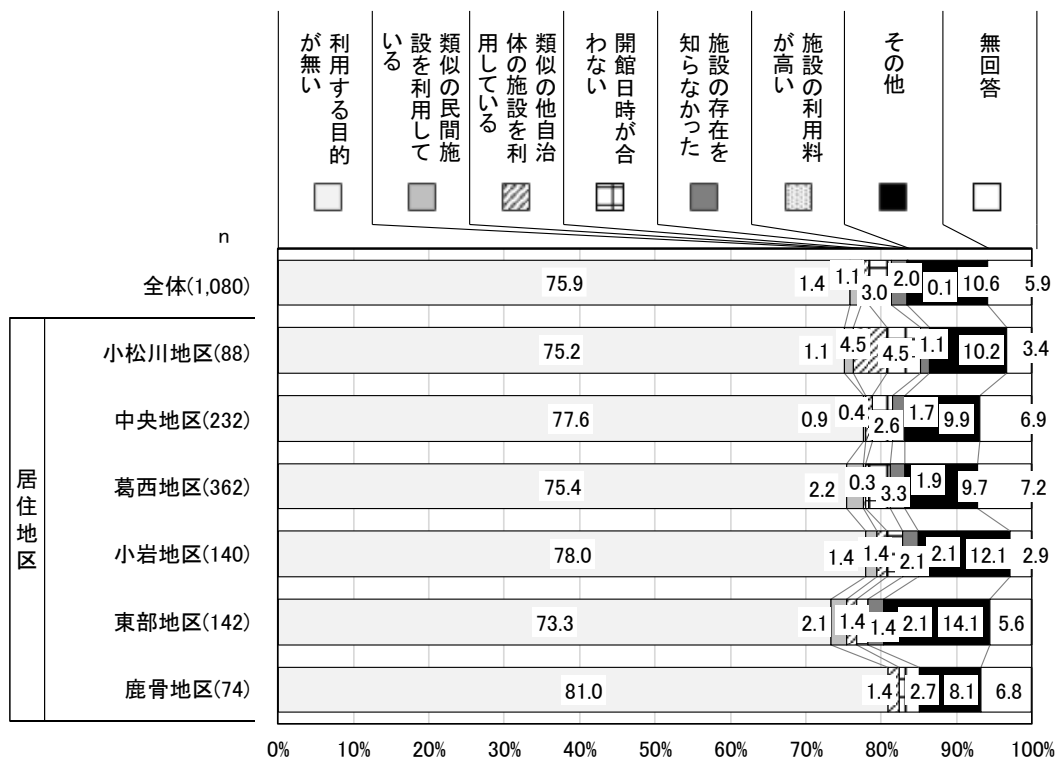


【④ 社会教育活動(図書館など)／居住地区別】

全ての居住地区で「利用する目的が無い」が他の選択肢に比べて7割以上と最も高い回答になっている。

「類似の民間施設を利用している」、「類似の他自治体の施設を利用している」、「開館日時が合わない」、「施設の存在を知らなかった」、「施設の利用率が高い」は5%未満と少数になっている。(図表 21-24)

<図表 21-24>④ 社会教育活動(図書館など)／居住地区別

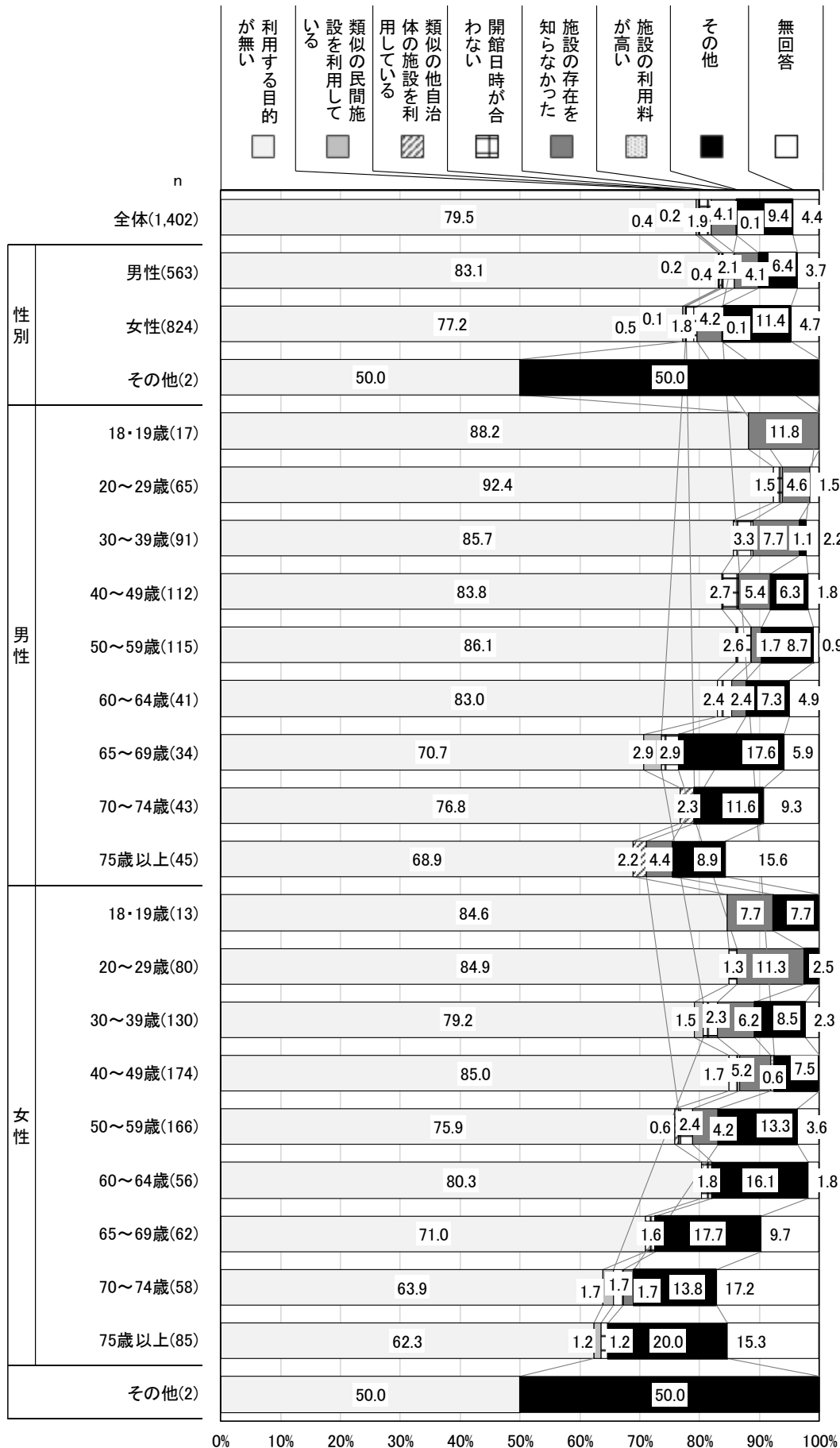


【⑤ 町会・自治会などの地域活動／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「利用する目的が無い」が他の選択肢に比べて最も高い回答になっているが、6割台～9割台と数値に差がある。

「類似の民間施設を利用している」、「類似の他自治体の施設を利用している」、「開館日時が合わない」、「施設の利用率が高い」は5%未満と少数になっている。(図表 21-25)

<図表 21-25>⑤ 町会・自治会などの地域活動／性・年齢別



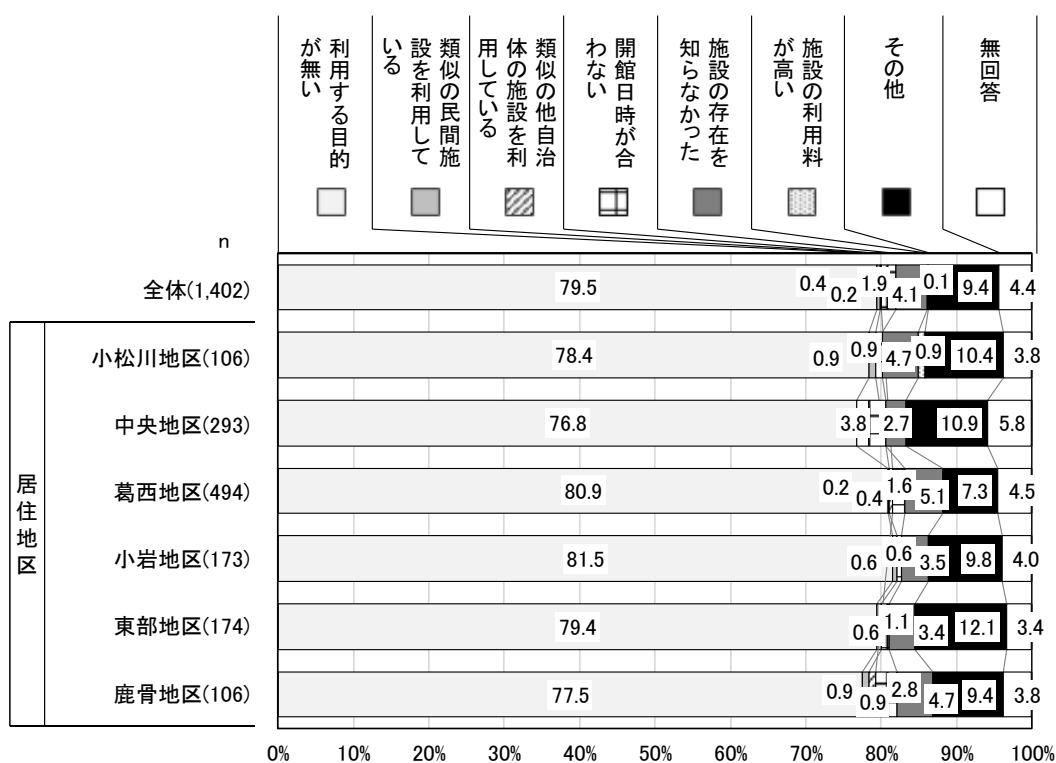
【⑤ 町会・自治会などの地域活動／居住地区別】

全ての居住地区で「利用する目的が無い」が7割以上と他の選択肢に比べて最も高い回答になっている。

「類似の民間施設を利用している」、「類似の他自治体の施設を利用している」、「開館日時が合わない」、「施設の利用料が高い」は5%未満と少数になっており、「施設の利用料が高い」は1割未満となっている。

また、全ての選択肢で最も高い居住地区と低い居住地区が5%以内となっていることから、居住地区で大きな違いが見られない。(図表 21-26)

＜図表 21-26＞⑤ 町会・自治会などの地域活動／居住地区別



【⑥ 仕事・産業に関する相談／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「利用する目的が無い」が7割以上と他の選択肢に比べて最も高い回答になっている。

「類似の民間施設を利用している」は1割未満、「類似の他自治体の施設を利用している」、「開館日時が合わない」、「施設の利用料が高い」は5%未満と少数になっている。(図表 21-27)





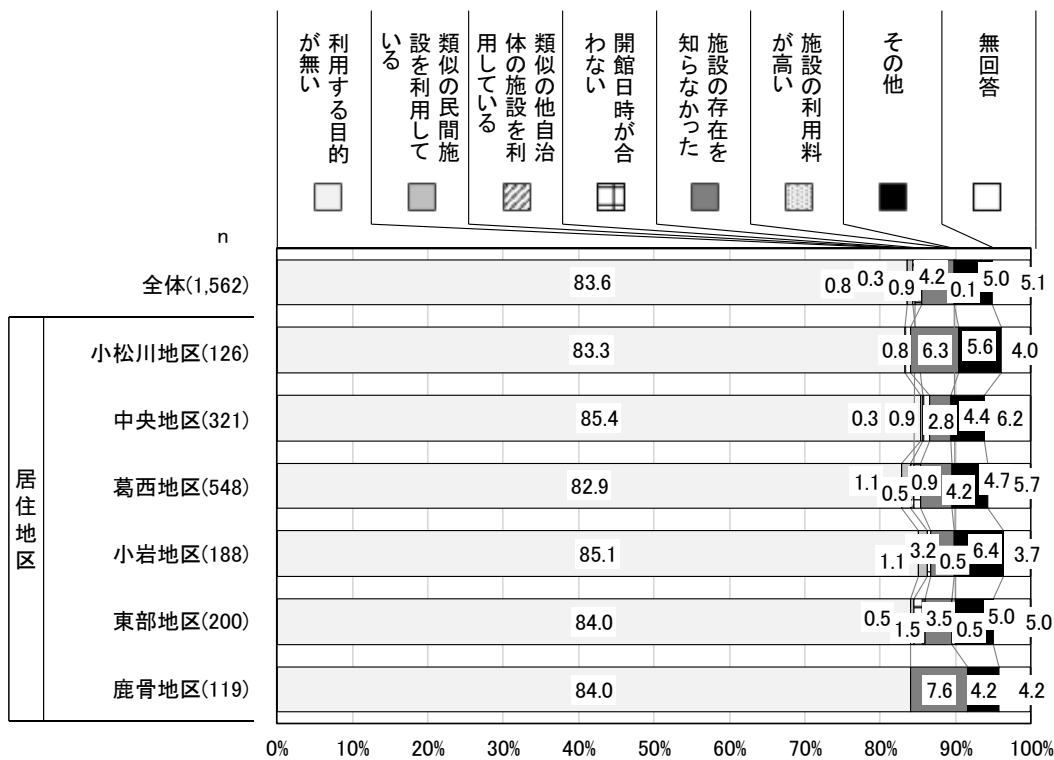
【⑥ 仕事・産業に関する相談／居住地区別】

全ての居住地区で「利用する目的が無い」が8割台と他の選択肢に比べて最も高い回答になっている。

「類似の民間施設を利用している」、「類似の他自治体の施設を利用している」、「開館日時が合わない」、「施設の利用料が高い」は5%未満と少数になっており、「施設の利用料が高い」は1割未満となっている。

また、全ての選択肢で最も高い居住地区と低い居住地区が5%以内となっていることから、居住地区で大きな違いが見られない。(図表 21-28)

<図表 21-28>⑥ 仕事・産業に関する相談／居住地区別

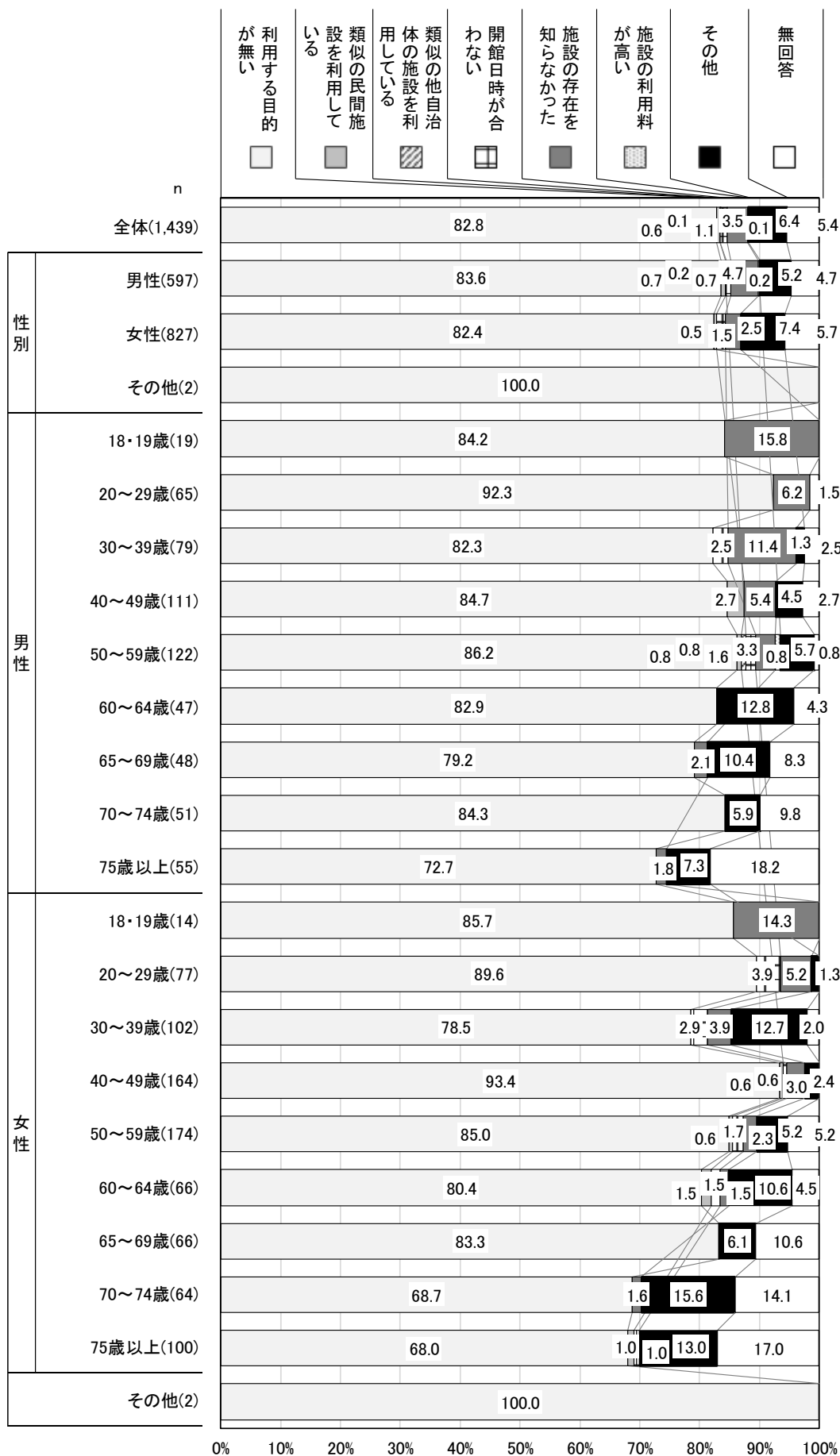


【⑦ くらしや子育て・福祉に関する相談や教室など／性・年齢別】

男性・女性ともに全ての年齢で「利用する目的が無い」が他の選択肢に比べて最も高い回答になっているが、6割台～9割台と数値に差がある。

「類似の民間施設を利用している」、「類似の他自治体の施設を利用している」、「開館日時が合わない」、「施設の利用料が高い」は5%未満と少数になっている。(図表 21-29)

<図表 21-29> ⑦ くらしや子育て・福祉に関する相談や教室など／性・年齢別



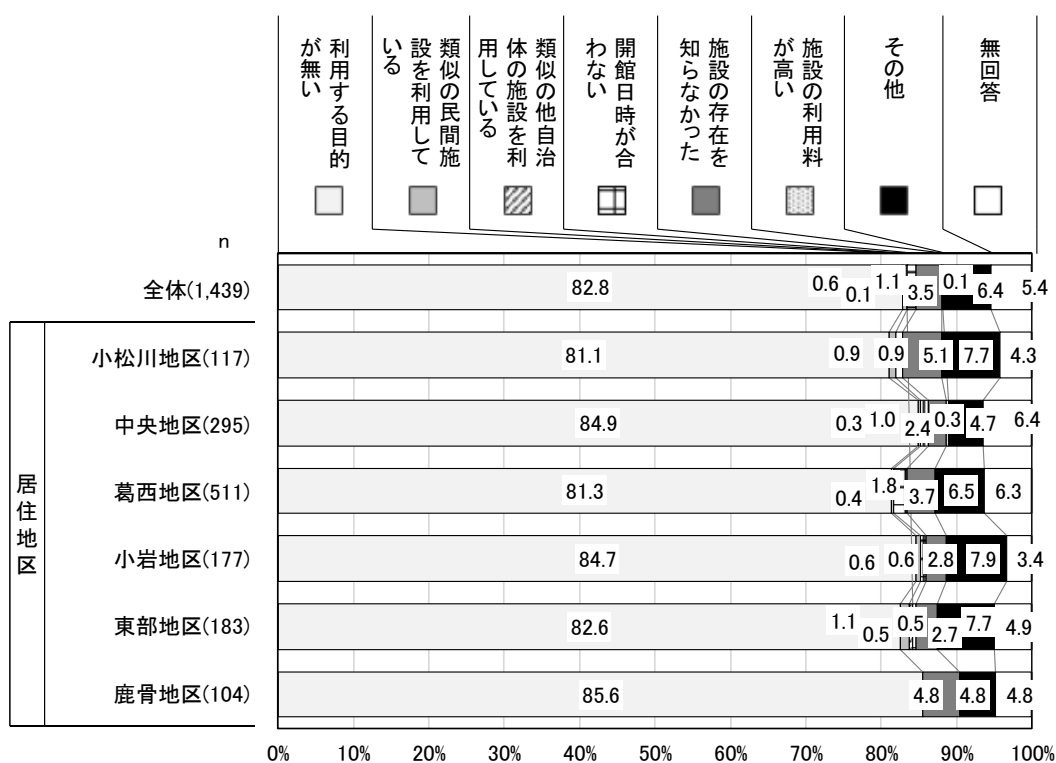
【⑦ くらしや子育て・福祉に関する相談や教室など／居住地区別】

全ての居住地区で「利用する目的が無い」が8割台と他の選択肢に比べて最も高い回答になっている。

「類似の民間施設を利用している」、「類似の他自治体の施設を利用している」、「開館日時が合わない」、「施設の利用率が高い」は5%未満と少数になっており、「施設の存在を知らなかった」は1割未満となっている。

また、全ての選択肢で最も高い居住地区と低い居住地区が5%以内となっていることから、居住地区で大きな違いが見られない。(図表 21-30)

＜図表 21-30＞⑦ くらしや子育て・福祉に関する相談や教室など／居住地区別



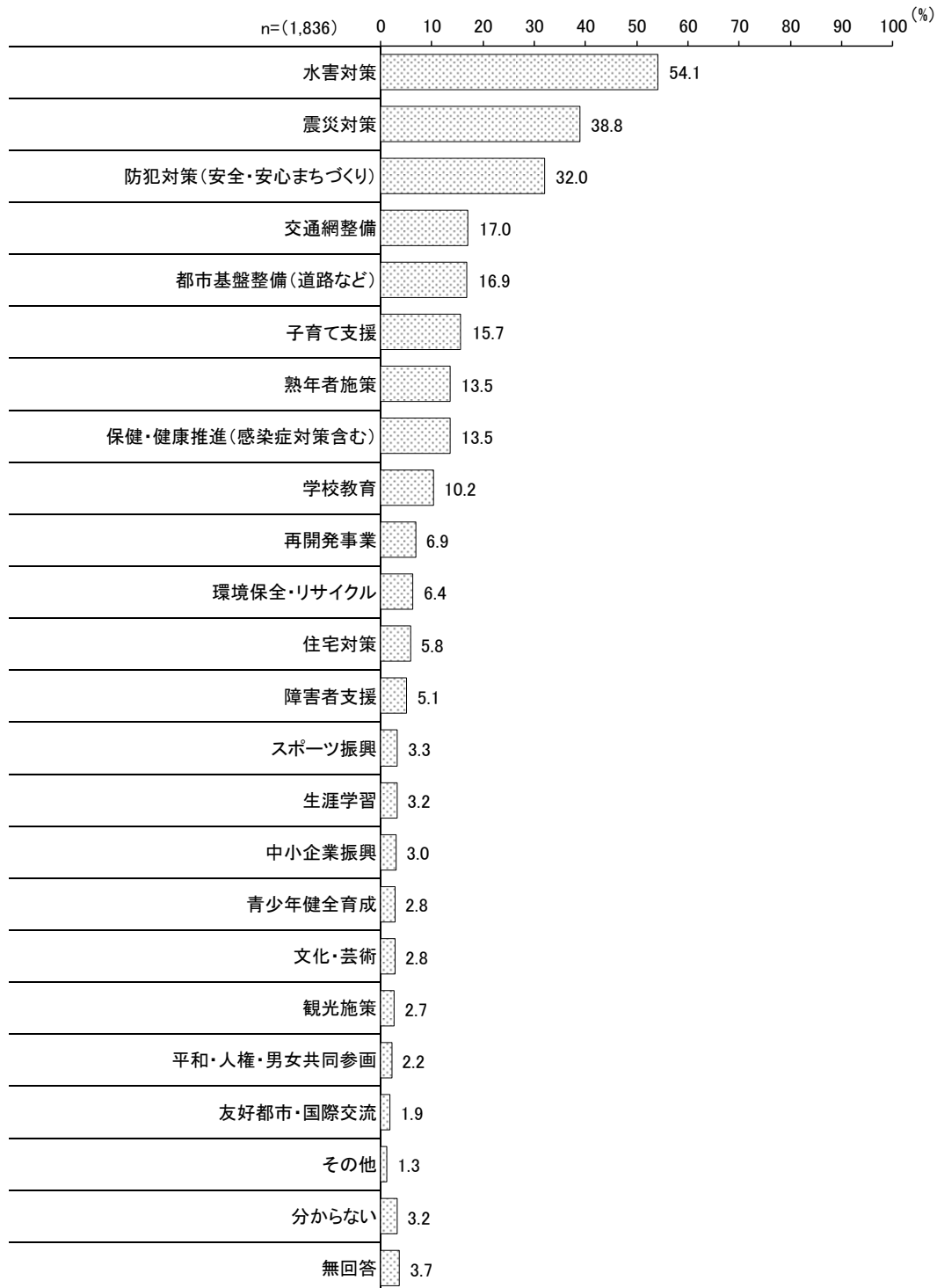
## 22. 区政への要望について

### (1) 今後推進してほしい施策

◇「水害対策」が54.1%と高い。

問37 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけば良いと思いますか。(〇は3つまで)

<図表 22-1> 今後推進してほしい施策



「水害対策」(54.1%)、「震災対策」(38.8%)、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(32.0%)の順に高くなっている。この上位3項目は生命の安全に関わる施策となっている。(図表 22-1)

**【性・年齢別】**

男性・女性ともに全ての年齢で「水害対策」が他の選択肢に比べて最も高い回答になっている。

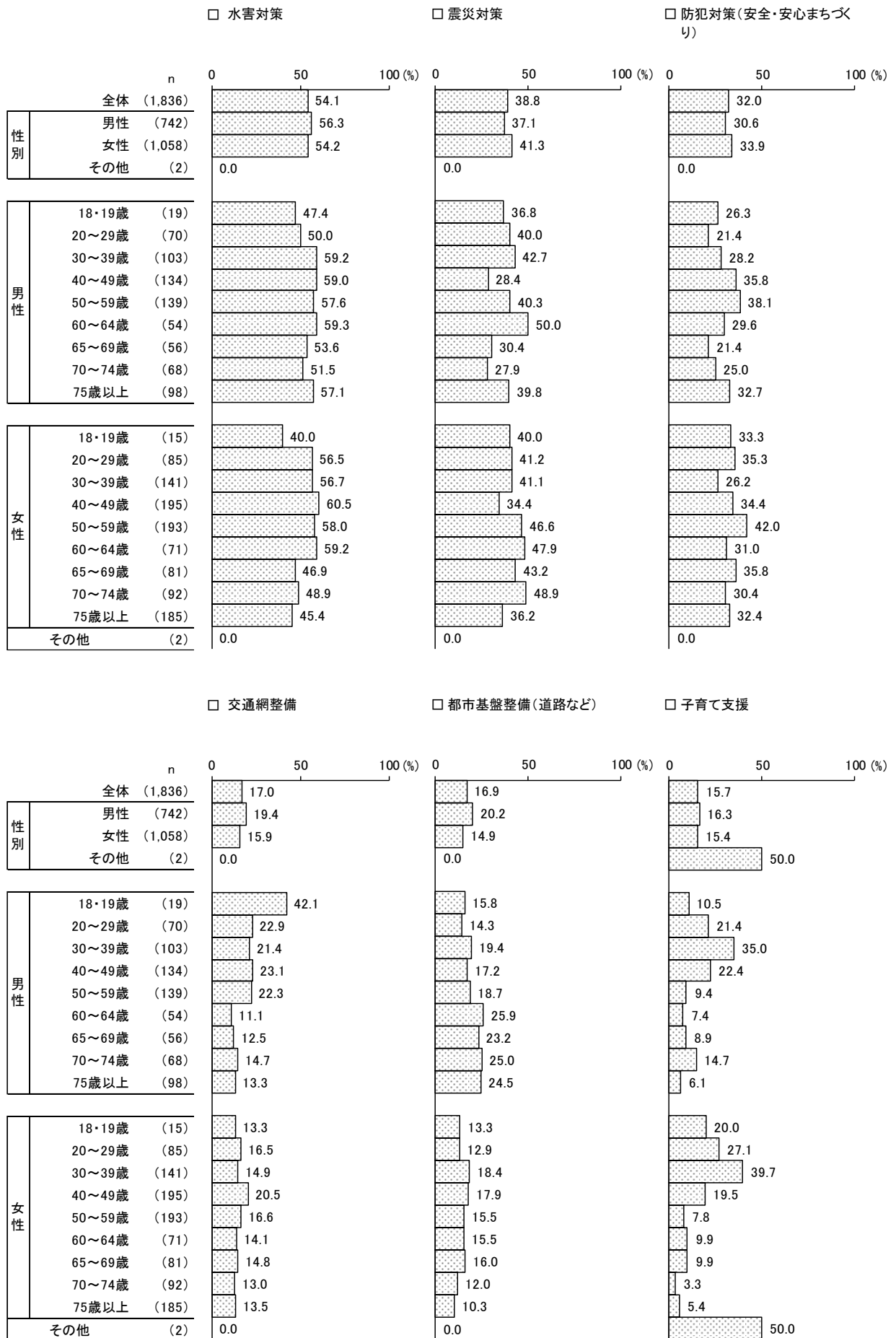
男性-60～64歳で「震災対策」が50.0%と他の性・年齢に比べて高くなっている。

女性-50～59歳で「防犯対策(安全・安心まちづくり)」が42.0%と他の性・年齢に比べて高くなっている。

男性-30～39歳、女性-30～39歳で「子育て支援」が3割台と他の性・年齢に比べて高くなっている。

(図表 22-2)

<図表 22-2> 今後推進してほしい施策(上位6項目)／性・年齢別

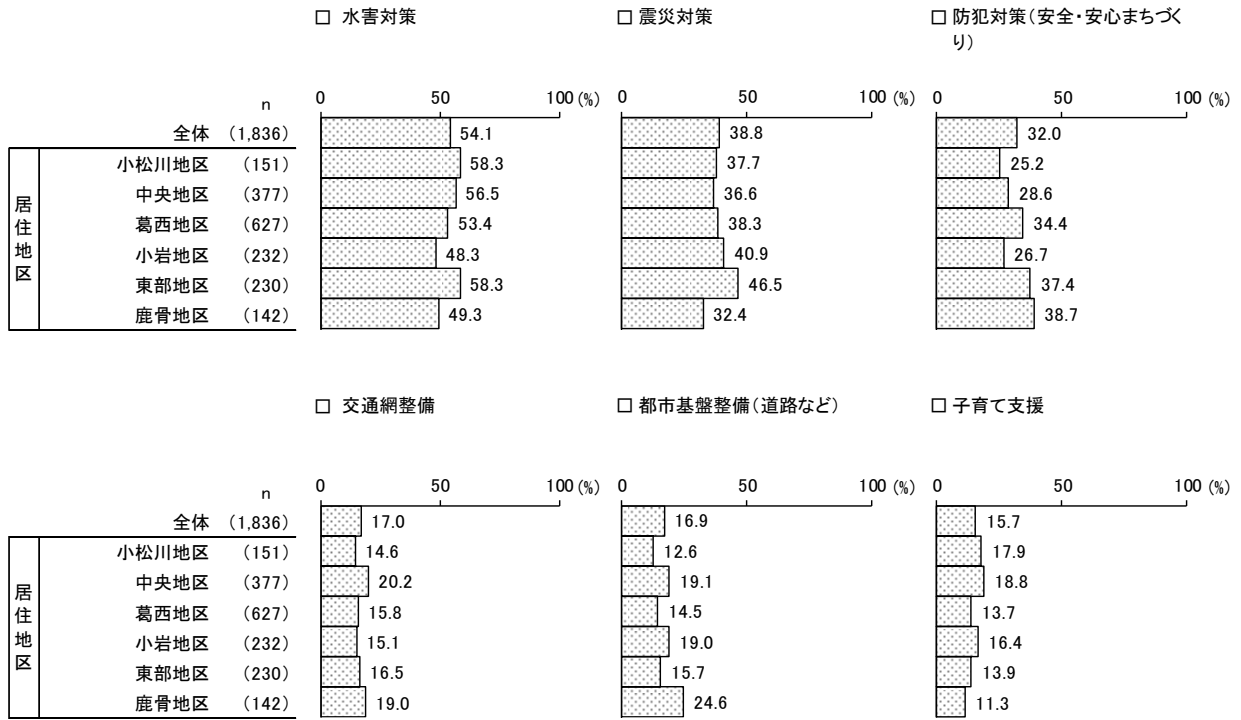


【居住地区別】

全ての居住地区で「水害対策」が他の選択肢に比べて最も高い回答になっている。「子育て支援」は1割台となっている。

鹿骨地区で「防犯対策(安全・安心まちづくり)」が38.7%、「都市基盤整備(道路など)」が24.6%と他の居住地区に比べて高くなっている。(図表 22-3)

＜図表 22-3＞今後推進してほしい施策(上位6項目)／居住地区別



【時系列比較】

令和2年と比較すると、1位～3位は変わっていない。「交通網整備」が5位から4位になり、「都市基盤整備（道路など）」が5位となった。

平成18～22年で「防犯対策（安全・安心まちづくり）」は1位、平成24～29年で2位、令和2年以降は3位と上位にある。順位に変動はあるものの、今後推進してほしい施策として特に高いニーズが確認できる。

平成18年は「防災対策」が3位、平成20年は「災害対策」が2位、平成22年は「震災対策」が4位となっている。平成24～29年は「震災対策」が1位、「水害対策」が3位～4位となっている。令和2年以降は「水害対策」が1位、「震災対策」が2位となっている。順位に変動はあるものの、災害に関連する施策は今後推進してほしい施策として特に高いニーズが確認できる。

「子育て支援」は平成18～20年で4位、平成22年で3位、平成24年で5位、平成26～令和2年で4位となっているが、令和3年は上位5項目には入っていない。（図表22-4）

<図表22-4> 今後推進してほしい施策／時系列比較

	1位	2位	3位	4位	5位
令和3年	水害対策 54.1%	震災対策 38.8%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 32.0%	交通網整備 17.0%	都市基盤整備（道路など） 16.9%
令和2年	水害対策 55.6%	震災対策 36.4%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 32.0%	子育て支援 19.2%	交通網整備 15.6%
平成29年	震災対策 35.7%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 30.3%	水害対策 29.5%	子育て支援 20.3%	交通網整備 15.7%
平成26年	震災対策 39.1%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 33.4%	水害対策 25.0%	子育て支援 21.2%	熟年者施策 19.9%
平成24年	震災対策 43.5%	防犯対策（安全・安心まちづくり） 33.6%	高齢者福祉 28.8%	水害対策 26.4%	子育て支援 18.1%
平成22年	防犯対策（安全・安心まちづくり） 39.2%	高齢者福祉 34.9%	子育て支援 22.7%	震災対策 22.6%	学校教育 20.3%
平成20年	防犯対策（安全・安心まちづくり） 47.2%	災害対策 36.1%	高齢者対策 35.3%	子育て対策 20.2%	交通網整備 17.0%
平成18年	防犯対策（安全・安心まちづくり） 48.0%	高齢者対策 31.3%	防災対策 21.4%	子育て対策 21.0%	交通網整備 19.4%

※平成18年「防災対策」（3位）→平成20年「災害対策」（2位）→平成22年から「震災対策」と「水害対策」に分割。

※平成18～20年は「子育て対策」→平成22年から「子育て支援」に変更。

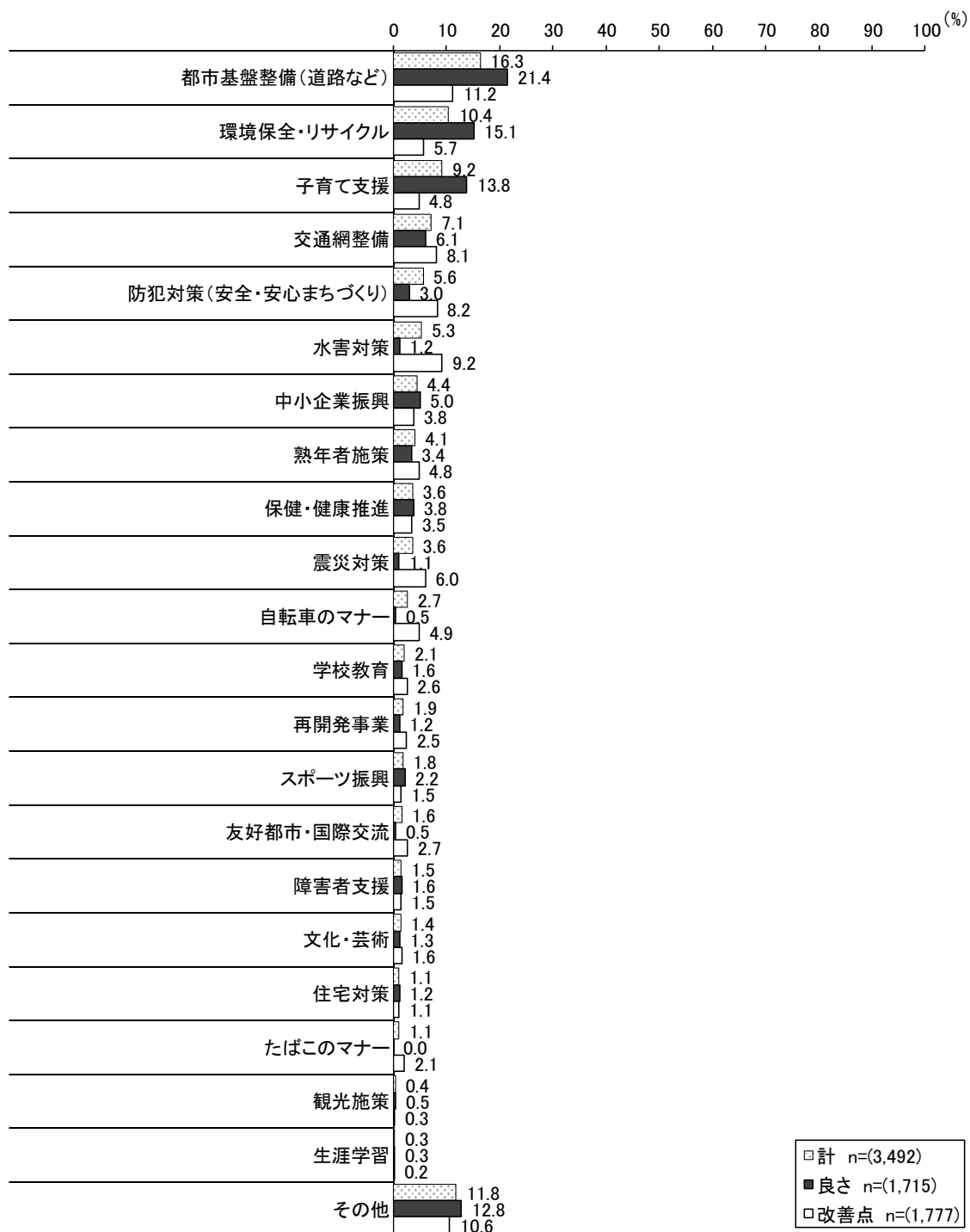


## 23. 自由記述

### (1) 江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと

問38 あなたが、江戸川区で暮らしている中で、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるのは、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でも構いません。できるだけ具体的にお書きください。

<図表 22-5> 江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと



(注) 構成比は総件数に対する比率。「改善点」は「改善してほしいこと」を省略する形で表記している。

江戸川区の「良さ」または「改善してほしいこと」について、自由回答形式で求めた。

江戸川区の「良さ」と「改善してほしいこと」の合計では、「都市基盤整備(道路など)」(16.3%)、「環境保全・リサイクル」(10.4%)、「子育て支援」(9.2%)の順に高くなっている。

「良さ」では、「都市基盤整備(道路など)」(21.4%)、「環境保全・リサイクル」(15.1%)、「子育て支援」(13.8%)の順に高くなっている。

「改善してほしいこと」では、「都市基盤整備(道路など)」(11.2%)、「水害対策」(9.2%)、「防犯対策(安全・安心まちづくり)」(8.2%)の順に高くなっている。(図表 22-5)

【年齢別】

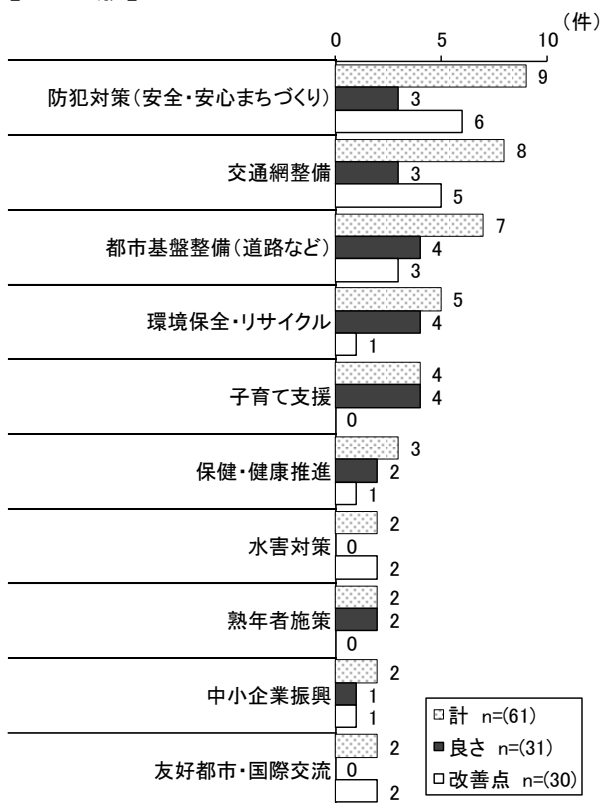
「良さ」と「改善してほしいこと」の合計では、18・19歳を除いて、全ての年齢で「都市基盤整備(道路など)」が他の選択肢に比べて最も高い回答となっている。「環境保全・リサイクル」は、30歳代から40歳代で上位3位、50歳代以上で上位2位となっている。

「良さ」では、30歳代から50歳代で「子育て支援」が40件以上と他の年齢に比べて高くなっている。

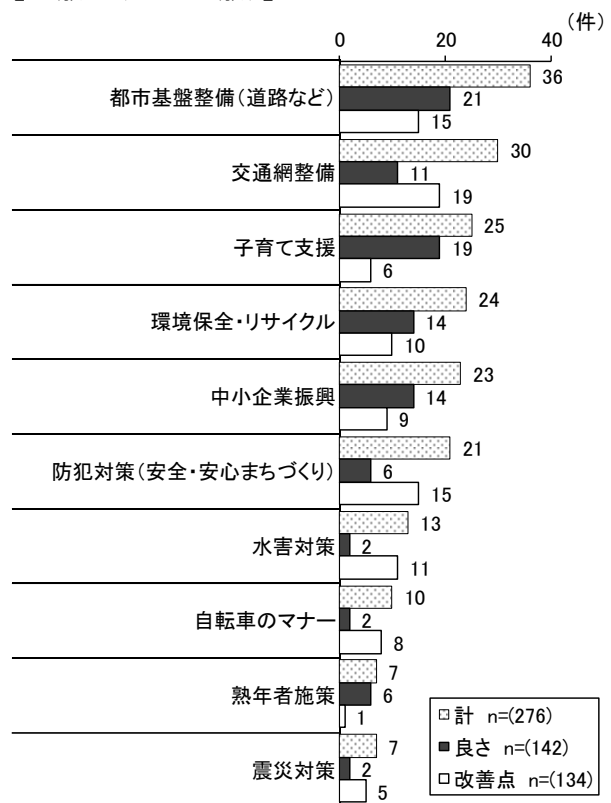
(図表 22-6)

<図表 22-6>江戸川区ならではの良さ、改善してほしいこと/年齢別(上位10項目)

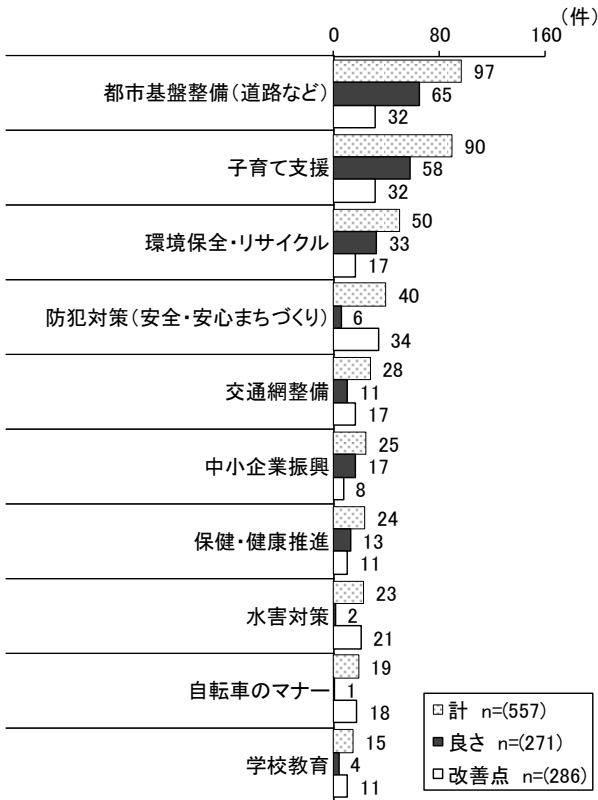
【18・19歳】



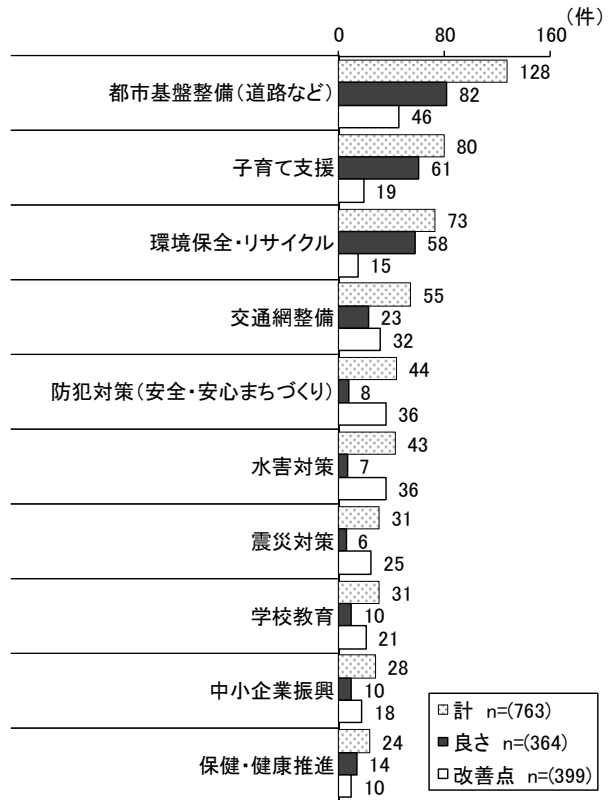
【20歳代(20~29歳)】



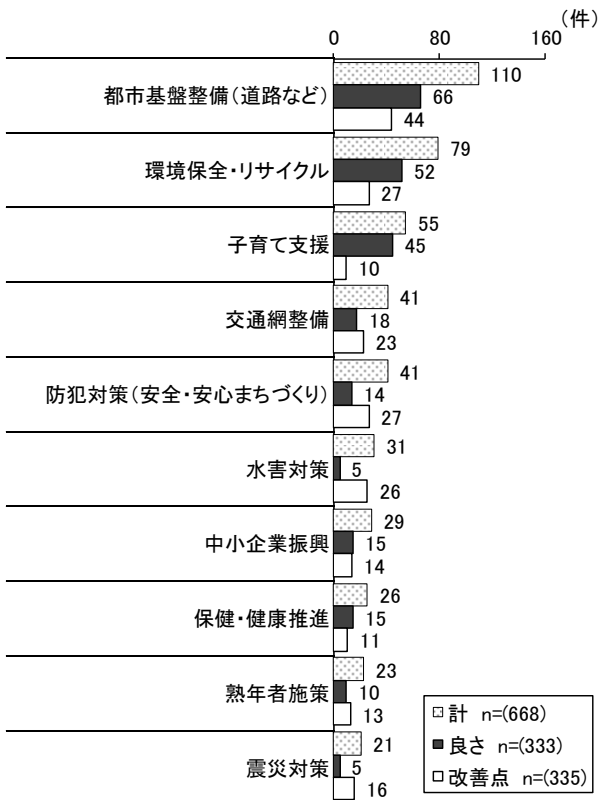
【30歳代(30～39歳)】



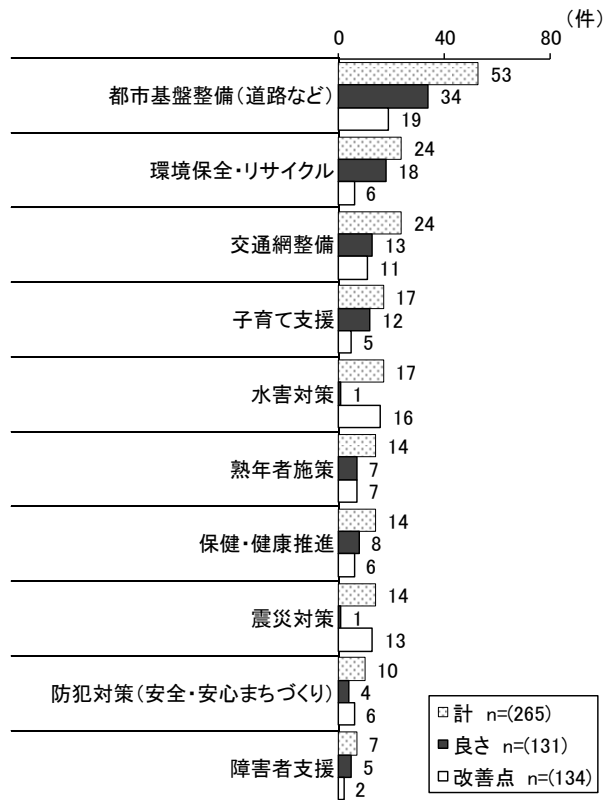
【40歳代(40～49歳)】



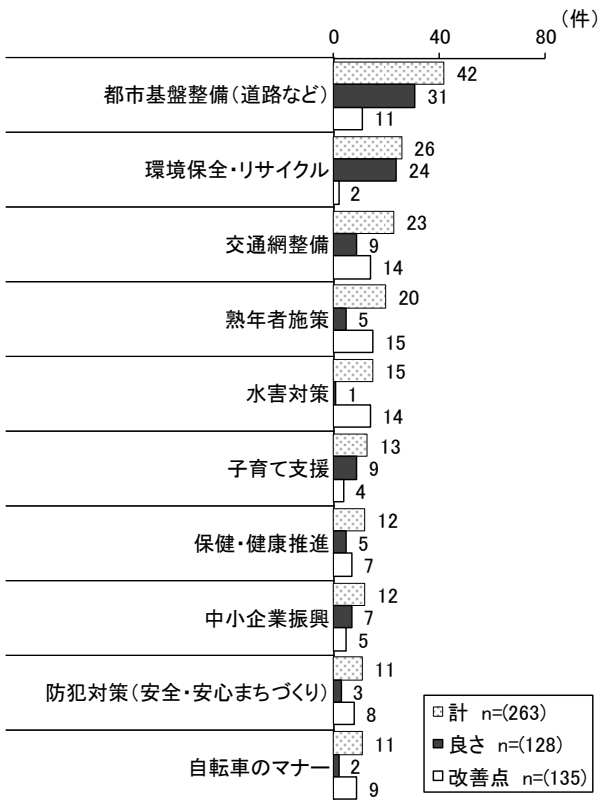
【50歳代(50～59歳)】



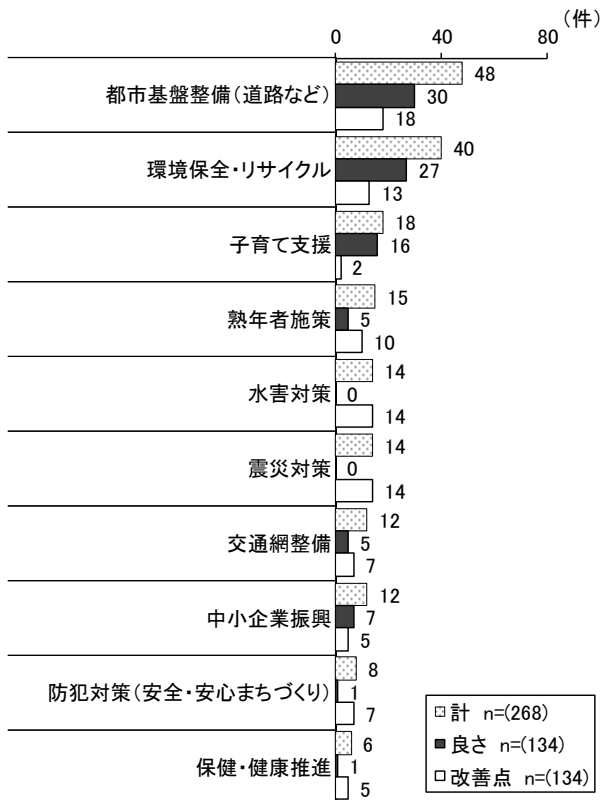
【60歳～64歳】



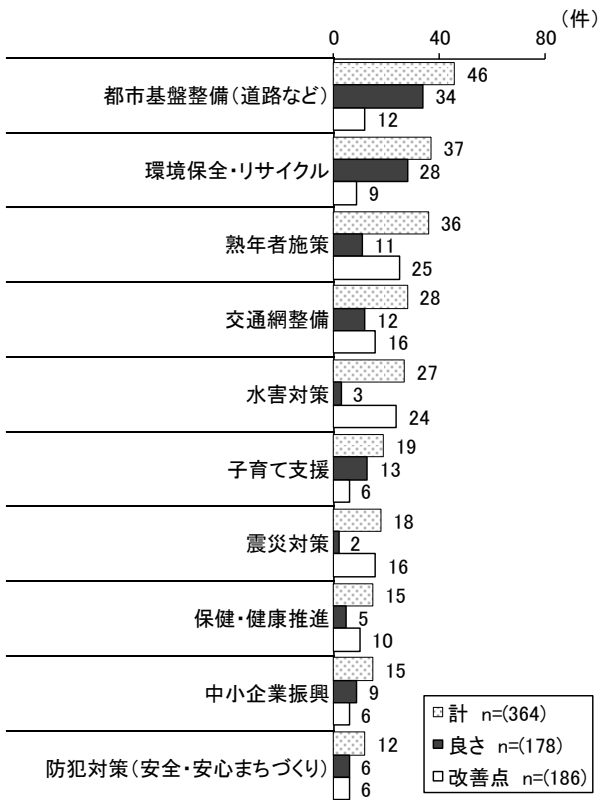
【65歳～69歳】



【70歳～74歳】



【75歳以上】



具体的な意見について、項目ごとに代表的なものを抜粋して掲載する。

### 環境保全・リサイクル

#### 【江戸川区の良さ】

- ごみ収集の方がとても感じがよく、手際もよく、感謝しています。(女性 40～49 歳、中央地区)
- 緑が多い。のんびりした感じが好き。(女性 75 歳以上、中央地区)
- 適度な自然(江戸川、公園 etc)がある。(女性 65～69 歳、中央地区)
- 流れない川を親水公園にさせていただき、大変住み心地が良くなりました。環境が良くなり感謝しています。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 江戸川区に住んでいて、小さい公園がいろいろなところにあるのがすごくうれしいです。コロナ禍でなかなか外出がままならないときに、子供を遊ばせるのにすごく役立ちました。小さい公園なので、人も少なく、大変助かりました。(男性 30～39 歳、小松川地区)
- 公園や緑道が多い。(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 江戸川区は緑地、公園、畑が多いところが良い。空が広く感じられます。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 緑化整備…周辺で観られる生物に癒される。リサイクル活動…自身、関心を持った。(男性 50～59 歳、葛西地区)
- 新川さくら公園一之江親水公園など、気持ち良く散歩できる場所があり、感謝しています。(男性 65～69 歳、葛西地区)
- 自然にふれあえる場所が多い。(女性 50～59 歳、鹿骨地区)
- 公園が多く、緑が多い。掃除をして下さる方に感謝しています。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 他の区と比べて水がおいしい、空気がきれい。(女性 70～74 歳、東部地区)
- 江戸川を中心とした自然環境は良い。(男性 60～64 歳、東部地区)
- どこへ行っても自然を感じることができる。(男性 50～59 歳、葛西地区)
- 緑が多く、子供と散歩とかするのに丁度いい。施設も充実していると思う。(女性 40～49 歳、東部地区)

#### 【改善してほしいこと】

- 駅周辺にごみが散乱しているのが気になります。地域の方が清掃して下さるのが一番よいのですが、駅周辺には他地域の方も利用・通行するので、区として清掃員を配置する等、美化を推進していただければよいと考えます。(女性 70～74 歳、中央地区)
- 中川遊歩道にごみ箱を設置してほしい。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 園芸が趣味ですが、園芸廃土が出て、不燃ごみでも出せず困っている。一部持込み施設があるが、不便。区で回収システムを検討して下さい。不法投棄はしたくないので。(男性 75 歳以上、小岩地区)
- 自然が豊かな環境をできるだけ残すようにする。(男性 70～74 歳、鹿骨地区)

- ごみの出し方(ごみについての説明)を積極的にしてほしいです。例えば、マヨネーズの容器、洗えば資源ごみですが、水道水でジャージャー洗って、下水道を汚して良いのか。具体的な指導がない為、迷います。きれいなプラごみは資源ですが、汚れていたら燃えるごみなど、日本人の私達もよく分からないでいるので、外国人はとても難しく、全て燃えるごみ(缶・ペットボトルは分かりやすいですが)に出している人も多いと思います。(女性 30～39 歳、中央地区)
- 町会や自治会には清掃活動を定期的に地域参加型で日時を告知してごみが道端に落ちていないような取り組みをしてもらいたい。(女性 50～59 歳、小岩地区)
- 街路樹の落葉の多い所の手入れを定期的に行ってほしい。(女性 50～59 歳、小岩地区)
- 道路にごみが散らかっていることがあるのもっと清掃してもらいたいと思うが、その前にごみを捨てさせないようなアナウンスが必要かと思う。(女性 50～59 歳、葛西地区)

### 子育て支援

#### 【江戸川区の良さ】

- 中学まで医療費がかからないのはとても助かっています。(女性 40～49 歳、小松川地区)
- 緑の豊かさに保育園の数や病院の数など子育て環境は 23 区内でも良い方だと聞き、実際良いと思う。江戸川区内の企業に勤めている人への育休延長支援など子育て支援面にここ最近力を入れている。(男性 20～29 歳、葛西地区)
- 保育園から中学校まで給食が手作りだというのが自慢である。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 子育て支援が素晴らしいです。0才で認可保育園(個人事業主は審査が難しいのかと予想しましたが、助けて頂き大感謝です。)に入れたり、病児保育制度は本当に助かっています。(女性 30～39 歳、東部地区)
- 子育て支援が充実している方だと思うので自分達のような低所得者には有難いこと。(男性 40～49 歳、東部地区)
- 子育てしやすい区として認知され、実際に他区在住の友人より恵まれました。(女性 40～49 歳、中央地区)
- 公園が多く子育てしやすい区である。(女性 50～59 歳、中央地区)

#### 【改善してほしいこと】

- 待機児童問題をなくしてほしいです。新設保育園ができて入れない現状です。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- 保育園入園希望者全員入園出来る様に。(待機児童ゼロを望む)(女性 70～74 歳、小岩地区)
- 鹿骨地区に一時保育している所がない。子育て中ノイローゼになりそうだった。子どもをちょっと預けられる場、子育て世帯が集える未就園児クラス、イベントの充実(保育園)を強く求めます。(女性 30～39 歳、鹿骨地区)
- 子育て支援として医療費の助成を高校卒業(18 才)に延長を希望します。(男性 50～59 歳、葛西地区)
- 学童保育等共働き家庭を支援する方策。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- 未就園児の一時預かりの制度を充実させてほしいです。とても少なく、予約も取れず辛い思いをした事がありました。(女性 30～39 歳、葛西地区)

- 子育て支援—教育費完全無償化。(男性 70~74 歳、東部地区)
- 子育て中の女性の社会復帰支援。(女性 30~39 歳、東部地区)
- 子供が減少しているので、補助を特にひとり親世帯に。(女性 65~69 歳、東部地区)
- 保育園と学童の就労証明書を別々に出すのは、負担が大きいのでまとめてほしい。(女性不明、不明)

都市基盤整備 (道路など)
---------------

## 【江戸川区の良さ】

- 平坦な道ばかりなので電動でなくても自転車の利用がしやすい。(男性 20~29 歳、葛西地区)
- 私の住む清新町は歩道が広く非常にいい。周囲木々多く気持が良い。(男性 75 歳以上、葛西地区)
- 町がきれいで、道路の整備もきちんとされていると思います。(女性 40~49 歳、中央地区)
- 公園が多く子供が外で遊べる。(男性 30~39 歳、葛西地区)
- 公園の手入れが行き届いていること。気持よく過ごせます。(女性 70~74 歳、葛西地区)
- 街路樹や道路が美しく整備されている。(女性 65~69 歳、葛西地区)

## 【改善してほしいこと】

- 自転車が多く狭い道だと歩くのが怖いので道路を広くするか自転車のレーンを分けてほしい。(女性 50~59 歳、中央地区)
- 自転車専用レーンが、設定されている場所がある中で、西葛西のスポーツセンター前の通りは道路が狭く、自転車と車との距離が接近していて危険なところとして、常に感じています。(自転車専用レーンは、一定の道路幅がないと逆に危険性が増してしまうと思います)(男性 65~69 歳、葛西地区)
- 自転車専用レーンを増やしてほしい。車線が消えていたり、薄くなっているところを、はっきり見えるようにしてほしい。(女性 30~39 歳、中央地区)
- 公園の蛇口が使いづらい(固いし、押すと水がドバっと出て来るのでビチョビチョになる)ので、キッチンにある様なタイプに蛇口を変えてほしいです。(女性 30~39 歳、不明)
- 道路のバリアフリー。(女性 70~74 歳、不明)
- 道路を広くしてほしい。車も通れない所がある。(女性 50~59 歳、東部地区)
- 街の景観づくりの為に、電線類地中化を推進してほしい。(女性 60~64 歳、中央地区)
- 歩道整備、繁華街の違法駐車、歩道・車道の不法占拠。(看板等)(女性 50~59 歳、小岩地区)
- 西葛西から南砂へ自転車で出かける時に橋を渡るのですが、道幅が狭く、自転車をひかないとこわい。歩行、自転車用に道幅をもっと広くしてほしい。(女性 50~59 歳、葛西地区)
- 小さな公園にも高齢者も使える運動施設(例えば鉄棒等)を設置してほしい。(男性 65~69 歳、東部地区)
- 道路を平行にしてほしい。車イスで通ると端の方に寄ってってしまうので不便。(女性 20~29 歳、東部地区)
- 橋の老朽化、道路整備、外灯整備。(男性 60~64 歳、東部地区)

## 交通網整備

### 【江戸川区の良さ】

- 駐輪場の数も多い。電車は東西線か都営新宿線のみだが、京成バスや都営バスの路線が豊富で交通機関が充実している。(男性 20～29 歳、葛西地区)
- 交通の便が良い。JR、営団地下鉄、都営新宿線。羽田にもバスで行ける。(女性 75 歳以上、中央地区)
- JR 総武線を基幹路線にできるので、東京都内への移動に便利。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- まあまあ交通、電車、バスが便利で、道がキレイ。(女性 60～64 歳、葛西地区)
- 買い物、交通に困らない。(男性 50～59 歳、小岩地区)
- 40 年以上住んでいますがとても満足しています。駅にも徒歩圏内ですし、割と便利に暮しています。今は特に要望も思いつきませんが、熟年になるにつれ、いつまでも元気でいられる様な街であってほしいです。(女性 60～64 歳、中央地区)
- バスは種類が多くてとても助かっています。(女性 30～39 歳、中央地区)
- 東京駅、羽田空港に行くのが楽。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 都心へアクセスしやすいが、下町感もありちょうど良い。(男性 20～29 歳、東部地区)
- 都心まで電車で 15 分という近さ。(女性 65～69 歳、中央地区)

### 【改善してほしいこと】

- 終バスの時間の見直し。(女性 75 歳以上、小岩地区)
- 区内の縦の移動がしにくい。瑞江から葛西方面へ行くバス等がほしい。(女性 40～49 歳、東部地区)
- 船堀から新小岩はバスしか未だに交通手段がなく、学校が多く、バスには雨や雪が降ると乗れない時がある。(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 縦方向への交通網の強化。(男性 18・19 歳、葛西地区)
- 交通の便、バスを使わずに電車で行ける様な所を増やせたら、もっと住みやすくなると思います。(女性 20～29 歳、葛西地区)
- 他の区で行っているように、区内バス(例えば、コミュニティ会館・区役所・図書館・駅等めぐり)(男性 75 歳以上、小岩地区)
- コミュニティーバスの運用開始。(男性 65～69 歳、葛西地区)

## 水害対策

### 【江戸川区の良さ】

- 昭和 33 年から住んで居ますが一度も災害に合わず幸せな暮らしでした。江戸川区は江戸川、新中川、荒川と川に挟まれた土地なのに 60 年以上も安泰に暮してこられたのは区政のお蔭と感謝しています。(女性 75 歳以上、中央地区)
- 災害対策、コロナに関する事も家族全員の事を考えた対策がとられており、素晴らしい。その他、支援関係も良いと思う。(女性 50～59 歳、小松川地区)



- 昔ながらの住民の皆さんが近くにいることで、有事の際に協力しあえる。(女性 40～49 歳、東部地区)
- 下水が完備したためか、少々の雨で大水が出なくなったこと。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 新しく災害対応公園が多く造られているので、安心感があります。(男性 40～49 歳、小岩地区)
- 堤防施設の活用で、大きな水害が起こっていないこと。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 一昨年の台風 15 号、16 号の際の避難情報。江戸川区から出ましよう事前に SNS 等で拡散していただけたおかげで、前日から子供をつれて親戚の家へ避難することができました。わかりやすい情報ありがとうございます。(男性 30～39 歳、小松川地区)
- 防波堤などの対策。(女性 20～29 歳、小岩地区)

#### 【改善してほしいこと】

- 水害対策等を充実してほしい。(男性 40～49 歳、葛西地区)
- 水害時の避難対策が現実的では無い。(男性 75 歳以上、小岩地区)
- 他の駅は分かりませんが瑞江駅の駐輪場出入口用防水板の保管場所が地下一階にあります。重い緊急の場合の設置は難しいと思います。※出入口(設置場所)の近くの植栽を少し外して防水板及び土のうの格納庫を設置してほしい。(男性 75 歳以上、東部地区)
- 水害対策について、区として区外に避難先を確保してほしい。(女性 40～49 歳、東部地区)
- 災害対策です。地形上仕方のないことかもしれませんが、水害や地震などに耐えることが難しい地域が多いため、大雨、台風の時などいつも心配になります。一度大型台風の際広域避難として県外の実家に帰省したのですが、仕事もあるため毎回できることではないので、スーパー堤防などできる限りの対策を進めて頂けると安心して暮らせるかなと思います。(女性 30～39 歳、小松川地区)
- 水害時を考えて個人で民間ホテルを利用しようとしたのですが障害者用の部屋が無く、あっても1階だったりして当建物の3階より上の空きスペースは一時的な所でそこで寝泊りは出来ないとの事、大水害の時が不安です。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 川の氾濫のための対策。ハザードマップだけではよく分からない。(女性 20～29 歳、中央地区)

#### 防犯対策（安全・安心まちづくり）

##### 【江戸川区の良さ】

- 身近で危険を感じる事はほとんどない。(女性 30～39 歳、小岩地区)
- 比較的治安が良い。(男性 40～49 歳、小松川地区)
- 静かで安全で住みやすいと感じています。(女性 50～59 歳、小岩地区)
- 犯罪が減少傾向にあり、安心して生活できる。(男性 20～29 歳、葛西地区)
- 私共が江戸川に住み始めた頃は、安全な江戸川区、子供を育てる良い所と、人々が良い区だと話して居ました。これからも安全な江戸川区で有りがたいと思っています。(女性 75 歳以上、中央地区)
- ガードレールがあり、子どもの登校時には保護者の方の見守りがある。(女性 20～29 歳、葛西地区)
- 毎朝、警察官の方が、パトロールして下さっているのを見かけます。安心でき、ありがたいです。(女性 30～39 歳、中央地区)

【改善してほしいこと】

- 学生が多いので、深夜のとりしまりを強化し、安全な街にしてほしい。(男性 20～29 歳、葛西地区)
- 西葛西駅周辺が日中でも飲酒をしている人などがいて少し治安が悪いように思います。安全・安心なまちづくりのために生活環境を整えることに力をより入れていただけたら嬉しいです。(女性 20～29 歳、葛西地区)
- 治安が悪いところ。15 年前よりはだいぶ良くなりましたが、昼間でも道を歩いていると声をかけられてついてこられます。ただ怖いです。歩くことは、やめて自転車を使うようにしました。一部地域は薄暗く狭い道で、治安の面で歩くのが怖いです。(女性 30～39 歳、東部地区)
- 毎日のようにわいせつなどがあり女の子が1人で歩いているのを見ると心配になる。(女性 30～39 歳、東部地区)
- 軽犯罪(わいせつ等)が多いので防犯カメラを道路に設置してほしい。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 治安が良くない。深夜～早朝に外でどなり声などが聞こえる。(女性 40～49 歳、東部地区)
- 区民になって間が無いのですが、おまわりさんに会った事が無いです(駅前の交番以外で)。もっとパトロールをしてほしいです。交番から離れているので…。(女性 65～69 歳、鹿骨地区)
- 治安対策。子供たちの通学地域の見守り、交通制限。(男性 40～49 歳、葛西地区)

熟年者施策

【江戸川区の良さ】

- 江戸川区は高齢者に紙オムツや尿取りパットを 9,000 円までの実費給付、また1割負担で提供しています。(女性 70～74 歳、小岩地区)
- 他区よりも熟年者施策は利用しやすい。(オムツ支給など)(女性 40～49 歳、小岩地区)
- 江戸川区から杖をいただきました。大変助かっています。(男性 75 歳以上、中央地区)
- 今のところ熟年者への対応は十分出来ている。(男性 75 歳以上、葛西地区)
- 子供や高齢者に対する支援。(男性 50～59 歳、葛西地区)
- 東京都のベッドタウンとして、子供から大人まで住みやすいと総合的には思う。子育て、高齢者にとっては特に優しいまちであると感じる。(女性 20～29 歳、中央地区)
- ご近所の一人暮らしの高齢者の方が、お一人で困っている旨を区役所に相談したところ、すぐに民生委員の方で対応して下さった。(男性 50～59 歳、不明)

【改善してほしいこと】

- 高齢者・子育て支援は、充実していると思いますが私達 60 代が子育てしていた時は、とても充実していたとは思えません。今、60 代にも何か支援して頂けたらと思います。例えば、医療費の援助など、病院にかかる事が増える歳になってきたので。(女性 60～64 歳、中央地区)
- 熟年者には、だれでも気軽に行ける場所を近くに作ってほしい。(女性 65～69 歳、東部地区)
- 年金生活者に於ける小額受給者の生保に頼る前の支援促進。特に住宅支援。健康寿命を伸ばした際の高齢者個々の「生きがいづくり」の運動と支援。(男性 70～74 歳、葛西地区)
- 年齢的にもまだ必要ないですが、老人ホーム等の充実を希望します。(女性 40～49 歳、葛西地区)

- 東葛西4丁目コンビニ近くのバス停に椅子を用意して下さい。高齢の方が、民家のブロック塀に、つかまってバスを待っている姿を度々見かけます。道幅がせまいので、難しいかと思いますが、良い方法を是非お願いします。(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 本当に必要な支援ができていない。声をあげられない、助けを求めることができない人達をどう支援していくか。最近の高齢者は元気で若いのにやることや、やりがいがない。楽しく集える場所や就労の機会をもっと浅く広く準備してほしい。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 熟年者に対するの生活支援。(男性 70～74 歳、中央地区)
- 熟年者が働ける様に要望します。昨今の熟年者は元気いっぱいです。(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 年々熟年者が増えて来ています。住みやすいまちにしていきたいと思っています。(女性 65～69 歳、小岩地区)
- 老人ホーム、高齢者に関わる費用負担を減額してほしい。だから、ヤングケアラーが増えるのではないのでしょうか。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 熟年者施策について認知度が低いように思われる。ホームの無料の施設、ホームの有料施設の案内等、分かり易いものを知りたい。(男性 75 歳以上、葛西地区)
- 老人福祉が以前より低下した。(女性 75 歳以上、小岩地区)

#### 保健・健康推進

##### 【江戸川区の良さ】

- がん健診が充実していて、案内もくるので受けやすい。給付金やワクチン等、コロナ関連の対応が早かったと思う。(女性 30～39 歳、東部地区)
- 子どもの医療費が無償であること。子どもを育てやすい環境だと思う。(男性 30～39 歳、東部地区)
- 「なごみ」「保健センター」が家の近くにあるので、とても便利です。(女性 60～64 歳、鹿骨地区)
- 1年に1回がん検診等無料で受けられる。公園や緑道が多い。(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 静かで買物も便利、医院も多くて安心。(男性 70～74 歳、中央地区)
- 今、住んでいる所は、駅前マンションです。病院や駅がそばで助かります。コロナワクチンの時も。だから自転車にも乗りません。(女性 65～69 歳、鹿骨地区)
- 江戸川区健康診断(国保健診)無料では、とても感謝しています。10 年ほど前に、早期乳ガンを発見してもらい、完治する事が出来ました。その後も、経済的に大変でも健康診断を受けられる事により、常に健康を保つ事が出来ています。(女性 60～64 歳、中央地区)
- ワクチン接種の時は、対応が良かった。(女性 30～39 歳、東部地区)

##### 【改善してほしいこと】

- 病院の誘致または整備。(男性 40～49 歳、東部地区)
- 「コロナワクチン」の予約について。かかりつけ医のいない高齢者にとって、ワクチンの予約を取るとは、とても苦勞で大きなストレスでした。例えば、80 才以上・79～70・69～65 歳に分けて受けつけるとかして、3回目のワクチンでは、是非検討してほしい。(男性 75 歳以上、葛西地区)

- 新型コロナ対策に関して、積極的な取組みが見られず、成り行き任せ的だった。ワクチン接種についても、後手後手だった。5月の時点でかかりつけ医に予約しようとしたら9月になると言われ国の大規模接種を受けた。(女性 75 歳以上、中央地区)
- 区民健診の件ですが、高齢者でも掛かり付け医が無く(普段病院に掛かってない)タワーホールでの健診も出来るようにして頂けないでしょうか。(女性 70～74 歳、葛西地区)
- 高齢化が年々進む中での、医療環境の充実。救急医療体勢の施策のお願い。(男性 75 歳以上、葛西地区)
- 総合病院があると良いと思う。(男性 40～49 歳、不明)

#### 中小企業振興

##### 【江戸川区の良さ】

- コンビニやスーパーがすぐ行ける距離にある。(女性 20～29 歳、葛西地区)
- スーパーやドラッグストア、商店街など商業施設が充実している。(男性 50～59 歳、中央地区)
- 商業施設も多く物価が安い。(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 徒歩で行けるスーパーマーケットが多い。(女性 65～69 歳、中央地区)
- 小さいお店や飲食店が沢山あり、1人暮らしの私でも利用しやすい。また、クリスマスカード配布や、20%UPする江戸川区で利用できる商品券などを定期的に行っていて、とてもいい街だと思う。(女性 20～29 歳、小松川地区)
- 駅周辺には、病院、買い物できるスーパーなどそろっているので、ここ数年で便利になってきました。(女性 50～59 歳、東部地区)
- 生活する上では、生活しやすい。様々な店舗が、徒歩圏内に存在している。(女性 30～39 歳、鹿骨地区)
- 商店街が整備されている。(男性 30～39 歳、小松川地区)
- 買い物に困らない。(女性 60～64 歳、葛西地区)

##### 【改善してほしいこと】

- 商店や街がさびれているので、何とかなればいいかなと思います。(男性 75 歳以上、東部地区)
- 安物の店は多いが品の良い服を近くで買えない。(女性 70～74 歳、中央地区)
- 近くに店がない。買物が不便。(女性 75 歳以上、小松川地区)
- 魅力的な所がない。(例えば…カフェや飲食店、雑貨など…)わざわざ出かけたくなるような名物店がほしい。(女性 50～59 歳、中央地区)
- 産業振興。昔は、新川沿いには、木樋作りが盛んで、日本橋へ舟で運んでよい商いができていたと聞きます。今では、景勝地となってしまう、今の時代の新しい産業作り(江戸川区独自のもの)が必要だと考えます。江戸川区は他の区と比べると、畑など1次産業が多いように感じます(または、川を利用した産業)。また、定年退職をむかえた中高年は、新しい職を探しています。素人でも学んで農業ができるようなビジネスなどを、区としてバックアップするのはいかかでしょうか？(男性 50～59 歳、中央地区)
- 駅前の飲食店が少ない。商店街などができればもっと近隣の人も呼べるのではないかと。まさに町おこし。今から危機感を持たないと寂れて行くとも思う。(女性 40～49 歳、小岩地区)
- 商業の活性化。若い人が来なくなるまちづくり。(女性 30～39 歳、葛西地区)

## 震災対策

## 【江戸川区の良さ】

- 災害時はペット同行避難ができる所も良いです。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 災害対策としては学校を避難所とする等、備蓄品も充実させていてとても良いと思います。(女性 50～59 歳、中央地区)
- 道路整備…防災の観点上、道幅(車道)が広がった。(歩道は狭いと思う)(男性 50～59 歳、葛西地区)
- 船堀駅前の災害用トイレは、とても助かります。なんか安心出来る。(女性 60～64 歳、葛西地区)
- 災害対策のハザードマップがわかりやすい。(女性 50～59 歳、中央地区)

## 【改善してほしいこと】

- 防災無線の音が聞き取りにくいのですが、風向きにもよるのかと思います。(女性 70～74 歳、小岩地区)
- 防災対策を細かく町会や地域ごとに行ってほしいです。(女性 60～64 歳、葛西地区)
- 地震と水害が不安なので対策に力を入れてほしい。(女性 50～59 歳、中央地区)
- 自然災害に対するとりくみを強化してほしい。(女性 50～59 歳、鹿骨地区)
- これから起こると言われている災害にもっと強いまちづくりをしてほしいです。防災無線のアナウンスが聞きにくいです。(女性 70～74 歳、東部地区)
- 震災や水害など災害面で、他の地域と比べて危険度が高いため、防災対策などをしっかりしてほしい。特に、江戸川区は、両親共に働いている家庭も少なくないと思うので、子供が夜に1人であるような家庭への対策なども必要であると感じた。(女性 20～29 歳、葛西地区)
- 水害、地震等の避難場所を明確に表示し、避難指定建造物(小・中学校等の公共物)を緊急利用できる構造にしてほしい。(男性 75 歳以上、葛西地区)

## 再開発事業

## 【江戸川区の良さ】

- 瑞江駅周辺は再開発され、歩道が広めで歩きやすい。(女性 30～39 歳、東部地区)
- 区画整理があり、生活環境が良くなりました。(女性 70～74 歳、東部地区)
- 小岩駅前は再開発が進み「NEW小岩」として期待している。(男性 30～39 歳、小岩地区)
- これから都市開発で盛り上がり期待出来る所。(女性 30～39 歳、葛西地区)

## 【改善してほしいこと】

- 開発が葛西、船堀方面に多く、小岩方面には区の施設があまりない。これからの小岩地区再開発に期待したい。(女性 70～74 歳、小岩地区)
- 船堀駅周辺の高層マンションの乱立。駅周辺のビル風がひどく、怖い。(女性 50～59 歳、中央地区)
- マンションなど高い建物の乱立はやめてほしい。もっと海外のモダンな街づくりを参考にして江戸川区独自の街をつくってほしい。(男性 50～59 歳、東部地区)

- 西葛西駅前の大規模再開発を行ってほしい。東西線沿線の他の駅と比べても住人以外が利用する施設が極端に少ない。大規模商業施設を作るなど、魅力ある駅前まちづくりをしてほしい。(男性 50～59 歳、葛西地区)
- 江戸川区内で、平井駅の駅前が際立って寂しい。再開発で工事中だが、どのような店舗・施設が入るかはわかりませんが、頑張ってもらいたいと思う。(女性 40～49 歳、小岩地区)

## 学校教育

### 【江戸川区の良さ】

- すくすく制度がありがたいです。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- 教育環境が整っている。(男性 75 歳以上、小松川地区)
- 子育て支援について、学習支援等が充実していると思います。(女性 20～29 歳、葛西地区)
- 小学校にすくすくスクールがあり、放課後に安心・安全な遊び場があり、とても良いと思います。(公園では、ボール遊びができないが、校庭でボール遊びができて助かっています。)(女性 40～49 歳、小岩地区)
- 既存の学校の修繕工事や建て直し、毎年認可保育園の新設、区立小中一貫の導入。(男性 20～29 歳、葛西地区)

### 【改善してほしいこと】

- コロナ禍で、学生のパラリンピック観戦に関して、23 区の中でも判断が遅かったと思う。病院が逼迫している中で、なぜ強行に参加させようとしていたのか、理解できない。(男性 40～49 歳、不明)
- 小学校の統廃合。(男性 75 歳以上、鹿骨地区)
- 公教育の充実。区内私立幼稚園が幼稚園教育要領に基づく、「環境を通じて行う保育」「子どもの主体性を大切にされた保育」を行っているのか。区全体で研修の機会はあるのか。子どもに負担をかける、見映え重視の保育内容になっていないか、指導してほしい。(女性 30～39 歳、鹿骨地区)
- 教育の質を上げてほしいです。(江戸川区の学力はいつも低いと言われる為)(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 学校教育を充実させてほしい。公立校でも私立校のような学びを得られるようにしてほしい。図書館(学校内)の本が少ない。(女性 50～59 歳、小岩地区)
- ・学校先生の質の向上 ・不登校支援 ・学びの自由、個々の価値観を認め合う事 ・学校のオンライン化(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 親の都合で学校にいけない子が、小学校の高学年、中学入学と共に、子供自身が学力が身につけていない事は理解しても術がなく、共育プラザが身近にあればと思います。(女性 60～64 歳、葛西地区)
- 学校教育の点では江戸川区の学力低下が目立ちます。早く教えるのではなく、ゆっくりと子供達に合ったその時の流れで、一科目一科目を小テスト(毎日)の様な形式で行い、子供達の進捗具合をみながら、教えていてもらいたいです。(男性 40～49 歳、鹿骨地区)

- 学校の改築がいろいろな学校で進んでいますが、改築中の子供達の運動能力の低下が著しい。江戸川区で改築を進めているならきちんと考えて進めてほしい。学校任せにせず、江戸川区で運動会の場所の提供や運動ができる場所の確保をしてほしい。江戸川区の教育委員会は各学校の問題点をきちんと把握して対応してほしい。学校任せにするのはよくない。(男性 40～49 歳、小松川地区)

#### 自転車のマナー

##### 【江戸川区の良さ】

- 船堀駅近くに居住していますが、放置自転車の解消、道路の整備など行政の対応の良さを感じています。(男性 65～69 歳、葛西地区)

##### 【改善してほしいこと】

- 自転車の交通ルール・マナーが悪い。(女性 30～39 歳、東部地区)
- 車の路駐の取締強化、路駐の多さのせいで自転車が歩道に入ったり、大きく車道側にはみだして危険。(女性 30～39 歳、中央地区)
- 自転車は余りにも多すぎて、ルールを守らず他の町県の人々も驚いている。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 子供が多いため、例えば自転車走行時に子供に接触しそうになる。子供が運転する自転車に接触しそうになる等、ヒヤっとすることが多い。大人、子供ともに自転車のルールについて啓発や取り締まりを増やすべき。(男性 30～39 歳、葛西地区)
- 放置自転車等が見られる事。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 自転車レーンがあるのに、歩道使用している人が多い。歩いていてぶつかった事があります。(女性 70～74 歳、葛西地区)

#### 文化・芸術

##### 【江戸川区の良さ】

- タワーホール内にシネマがあるなど、感謝しています。(男性 65～69 歳、葛西地区)
- 図書館をよく利用するが区内の図書館で連携していてネットで取り寄せもできるので良い。(女性 50～59 歳、中央地区)
- 盛大な区民まつりで世代や国、伝統など時を越えた交流。(男性 40～49 歳、葛西地区)
- 図書館なども利用しやすい。(開館日、閉館時間)(男性 50～59 歳、中央地区)
- 近くの展望の丘公園に角野栄子記念館が建設されますが、建築家も有名な方で、素敵な建物ができるのだろうと期待しています。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 箱もののイベントのレベルの高いところ。(総合文化センターの出演者の質の高さ)(男性 40～49 歳、中央地区)
- 自然の多さ・歴史的文化施設があること。(男性 60～64 歳、東部地区)
- 図書館・スポーツ施設、ホール等充実している。(女性 30～39 歳、東部地区)
- 公園や図書館が充実していて素晴らしいです。(女性 30～39 歳、鹿骨地区)

- 【公共の施設】図書館など公共の施設が他の区に比べると、きれいだと思います。(女性 30～39 歳、中央地区)

【改善してほしいこと】

- 図書をよく借りますが、政治、時局物は古くなれば価値がない。取り替えるべきだ。(男性 75 歳以上、葛西地区)
- 若いカルチャーも取り込むこと。(女性 30～39 歳、中央地区)
- 区の人達、芸術文化、興味を持ってほしい。区のレベルアップどうしたらよいのでしょうか。(女性 75 歳以上、小岩地区)
- 私は囲碁が好き。江戸川区囲碁大会を再びお願いしたい。(男性 75 歳以上、鹿骨地区)
- 小岩駅の近くには、図書館等の文化施設がほとんど無いので、利用するにはかなり遠くに行かなければならず、江戸川区民としてはメリットが少ないかなと思う。(女性 70～74 歳、小岩地区)
- 「区立美術館」の設営。他区他県にも設営推進を促す運動を計る。展示作品は他区他県と連携し、巡回展示することでより多くの作品展示と経費削減を計る。・地元アーティスト(美術・工芸・デザイン他)の新規発掘、その育成を推進する事業。質の高いコンテストの実施等から発掘。また工房、創作や海外留学等の支援。公共文化施設(映画・日本文化・音楽・ダンス他)造設の推進。廃屋等放置スペースの再利用の推進。ボランティア、健康・運動・リハビリ関連、作品工房他の活動拠点として貸与する。(男性 70～74 歳、葛西地区)
- 小さくてもいいので、東大島駅近くに、図書館がほしいです。(女性 40～49 歳、小松川地区)

スポーツ振興

【江戸川区の良さ】

- 土手が整備されており、運動や散歩に適した環境を提供してくれていると感じる。(女性 60～64 歳、中央地区)
- 生活環境、文化、スポーツ施設充実などしているので住みやすいです。(女性 70～74 歳、葛西地区)
- スポーツ施設が充実している。テニスコートがたくさんあり、利用しやすくて良い。(女性 20～29 歳、東部地区)
- カヌー場(左近川)が気軽に利用できるので、他区の友人はうらやましがっています。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- 親水公園等が整備され、ウォーキング、ジョギングなどしやすい。トイレもきれい。区の施設など利用料も割安(特にプール)感がある。(女性 50～59 歳、中央地区)
- プールがきれいです。(女性 30～39 歳、小岩地区)
- スポーツ振興に力を入れていると思う。(女性 50～59 歳、小松川地区)

【改善してほしいこと】

- スポーツ施設を増やしてほしい。(男性 65～69 歳、葛西地区)
- プールガーデンのような公共のプール、ドッグランを作してほしいです。(女性 40～49 歳、葛西地区)



- 河川敷の野球場、サッカー場、スポーツセンター、スポーツランド、競技場など、スポーツ施設が充実しているので、オリンピック強化選手の拠点になるような施設の拡張。とくにスポーツランドのアイススケート選手に安く利用できるようにしてほしい。(男性 40～49 歳、中央地区)
- 私の住んでいる船堀・一之江地区はスポーツ施設が遠いです。西葛西のスポーツセンターなどは抽選にはずれる事も多いです。船堀・一之江地区にスポーツ施設があってほしいです。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- スポーツ施設の予約は区民を優先すべき。テニスコートを営業目的で使用しているので禁止すべき。(有料のテニススクールで利用している人間が多い)コミュニティ会館も同様。営業目的の利用者がいる。(男性 40～49 歳、鹿骨地区)
- 以前はスポーツランドのプールを夏に利用していたが、設備が古く通年利用できないので、できれば建て替えてほしい。(女性 65～69 歳、東部地区)
- 子どもたちが自由に遊べる公園や広場を増やしてほしい。キャッチボールでさえ近所でやる場所がない。スポーツ離れを加速させたいとしか思えない。習い事でしかまともにスポーツができない環境は街の魅力としても下がる。(男性 30～39 歳、小岩地区)

## 障害者支援

### 【江戸川区の良さ】

- 障害者福祉課の対応が良く優しい方が多いところ。手当がきちんとなされていること。(障害手当や子育て手当など)(女性 20～29 歳、小岩地区)
- 障害者支援の利便性の高さ。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- 日本一福祉が充実していると思います。まだまだやれることはあるかもしれません。(女性 60～64 歳、東部地区)
- 同居親が 70 才以上の障害者です。住宅改修の際、補助を頂き助かりました。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- 熟年者や障害者に対する考え方と、支援内容については昔から良いと思っていました。(男性 50～59 歳、葛西地区)

### 【改善してほしいこと】

- 障害者支援の充実。障害者の職業支援、障害者にやさしい区。(女性 50～59 歳、小岩地区)
- 江戸川区は高齢者に紙オムツや尿取りパットを 9,000 円までの実費給付、また1割負担で提供しています。この制度を身障者や精神障害者まで広げて下さい。また、自治体により身障者や精神障害者に月額1万円給付をしています。江戸川区で実施を希望します。(女性 70～74 歳、小岩地区)
- 歩道の整備は、少しずつ良くなっていると思うが、車椅子や目の不自由の方も外へ出て活動するようになって来ているので、段差などの整備の拡充を更にお願したいと思います。(女性 60～64 歳、葛西地区)
- 障害者に対する規範が厳しすぎる。(女性 50～59 歳、中央地区)
- 花火大会の時、障害者の席を設けてほしい。(女性 40～49 歳、不明)

- 障害者手帳や愛の手帳を持っていて、お金がかかるのに、所得制限を設定されるため、江戸川区に住んでから受けとれなくなった。困っている人に対してもっと考えてほしい。所得制限を下げてください。(特別児童扶養手当、児童育成手当について)障害を持っている、大変さがあるのだから、そういう人には平等に手当を支給すべき。(女性 40～49 歳、小岩地区)

#### 友好都市・国際交流

##### 【江戸川区の良さ】

- 外国人も住みやすい。(女性 20～29 歳、東部地区)
- 色々な国の方々を見掛けるので、それだけ多様なバックグラウンドを持つ人たちを受け入れ、その人たちにも暮らしやすいようなまちづくりをしているのだなと思いました。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- 住んでいる年代に幅があり、海外の方も多いため、色々な人が見られるのは楽しい。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 外国人の受け入れ。(男性 30～39 歳、東部地区)
- 多世代が居住していて、また外国人の居住者も増えていい意味で多様な街が形成しつつある。(女性 20～29 歳、葛西地区)
- 国際色豊かな中にもかかわらず、治安維持ができています。(男性 40～49 歳、葛西地区)
- 昨今の飲食店などの入れ替わりで多国籍な店が増え楽しくなりました。(男性 70～74 歳、葛西地区)

##### 【改善してほしいこと】

- 外国人の人達に、日本のマナーを教えてほしい。(男性 30～39 歳、小松川地区)
- 今後、外国人(学生なども)が増えるなら、日本の習慣(ごみの分別など)をフォローしてあげてほしい。過去、コンビニで働く外国人がきつい言葉で、店長にしかられているのとかを見て、かなしい気持ちになった。(女性 50～59 歳、葛西地区)
- 日本語があまり話せない・読めない外国人へのサポートをもっと良くしてほしいです。(女性 30～39 歳、小岩地区)
- 外国人が多いことを活かして交流の場をもっと作ってほしい。(女性 18・19 歳、葛西地区)

#### 住宅対策

##### 【江戸川区の良さ】

- 都心に出るのにそれほど遠くないわりに、都会すぎなくて、静かで住みやすい。(女性 50～59 歳、東部地区)
- 街としてゴミゴミしていない 高層マンションだらけでも無く、一戸建てぎゅうぎゅうでも無く住みやすい。(男性 50～59 歳、東部地区)
- 住宅が密集していない。(女性 65～69 歳、中央地区)
- 住宅街が多くて住みやすい。(女性 18・19 歳、葛西地区)

## 【改善してほしいこと】

- 若者の区として知られていますが今後は70才以上の高齢者が増え続ける事を思うと高齢者住宅としての事も考えて頂きたいと思っています。(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 古民家の撤去。(女性 75 歳以上、小岩地区)
- 昔からの密集した住宅街(火災時の問題)。(男性 50～59 歳、葛西地区)

## たばこのマナー

## 【改善してほしいこと】

- 受動喫煙をなくしてほしい。他区に住んでいた頃はこんなに喫煙所も喫煙者もいなかった。(女性 30～39 歳、小松川地区)
- 外でのタバコ禁止。(男性 40～49 歳、東部地区)
- 公園は禁煙にしてほしいのとタバコのポイ捨てをやめてほしい。それで、看板を作ってほしい。(女性 30～39 歳、不明)
- タバコポイ捨て多数あり、喫煙所があっても良いのでは。特に駅周辺。(男性 70～74 歳、葛西地区)
- 喫煙者のモラルが低いので、改善を希望します。特に年配者のモラルが低く感じます。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- 公共マナーが悪すぎる。特に喫煙。公共の場ならともかく、町中に普通に灰皿がある区が少なくない中で、いつ改善されるのか。(女性 30～39 歳、葛西地区)

## 観光施策

## 【江戸川区の良さ】

- 環境面、子育てするには動物園、水族館、博物館、公園など、気軽に楽しめる場所がたくさんあって良いと思います。(男性 60～64 歳、葛西地区)
- 区営の施設(スケートリンクやプールなどスポーツ施設に、都内なのにポニーランド公園や自然動物園や葛西臨海水族園の動物とのふれあいなど遊ぶところがたくさんある。(男性 40～49 歳、葛西地区)

## 【改善してほしいこと】

- 自然動物園が無料なのは、もったいないと思う。(男性 40～49 歳、葛西地区)
- 買い物できる場所やレジャーが他の区に比べてない。マンションばかり建つ割に、スーパーや大型店舗が全くない。公園ばかりあっても困る。江戸川区=ダサイ、何も無いイメージを改善してほしい。(女性 30～39 歳、東部地区)
- 町おこしの一環として、マルシェのような地元の産業を誘致した集客型のイベントを活用し、交流を増やしたり街を活性化させてほしい。(男性 40～49 歳、葛西地区)

生涯学習

【江戸川区の良さ】

- 熟年者向けの生きがい教室などの充実。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 図書館や人生大学なるものもあるので、やる気がある方には充実していると思う。(女性 40～49 歳、葛西地区)

【改善してほしいこと】

- カルチャーの充実。(男性 75 歳以上、鹿骨地区)
- カルチャーにずっと入っているのですが、葛西方面の方が多くて近くに入れません。今月から2つとも瑞江の教室に通うことになりました。出来れば、二之江コミュニティ辺りで勉強出来ると、有りがたいです。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- 学びなどの人生を豊かにする活動を利用できる公共施設がもっと各所に出来ると良いと思います。(女性 60～64 歳、葛西地区)

その他

【江戸川区の良さ】

- 歩道の改修工事の時下水がつまり原因が分からず区に電話した所すぐに対応していただき原因が分かり対処することが出来ました。助かりました。(女性 75 歳以上、東部地区)
- 庶民的な気取りのない良い意味で下町の雰囲気が良い。(女性 65～69 歳、中央地区)
- 蚊がいなくなり、蚊帳がいなくなったこと。(女性 75 歳以上、葛西地区)
- なぎさ公園の「ブイロクの木」ありがとうございます！ファンとして江戸川区に住んでいてすごく自慢できます。(男性 30～39 歳、小松川地区)
- 自分が利用している駅の駐輪場の方が皆親切。(女性 30～39 歳、東部地区)
- 公共施設もきれいで、とても、働いている人達も、親切できもちよいです。(女性 50～59 歳、東部地区)
- 区役所の時間外延長受付があるので助かる。(女性 50～59 歳、中央地区)
- V6の 25 年来のファンです。最後になぎさ公園の場所を提供して頂き、ありがとうございました。まさか解散の記念の樹が、地元植えられるとは思いませんでした。清掃など区民として出来ることがあったら、せっかくなので呼びかけて頂きたいです。(女性 30～39 歳、葛西地区)
- 住みやすい。(男性 20～29 歳、葛西地区)
- 生活環境が充実している。便利である。(女性 70～74 歳、葛西地区)
- 都会らしさのないのんびりした所。(女性 50～59 歳、東部地区)
- 区の職員の方々の電話での対応がいつも親切でありがたいです。(女性 70～74 歳、小岩地区)
- 下町的で物価も安い。(男性 75 歳以上、小岩地区)
- 江戸川区は他の 23 区とくらべて温かい印象がある。これを大事に各事業を行ってほしい。(男性 50～59 歳、葛西地区)
- 私から数えて3世代(親、祖父母、曾祖父母)前から居住しているので愛着を感じている。(女性 60～64 歳、中央地区)

- ご近所さんみんな仲よし。(男性 75 歳以上、中央地区)
- 物価や家賃が安い。(男性 20～29 歳、東部地区)

**【改善してほしいこと】**

- 江戸川区のイメージアップとして区出身の芸能人に良さをアピールしてもらえたらよいと思います。(男性 50～59 歳、中央地区)
- 区民の新しいことへの姿勢、意識が低いように思うので、例えばインターネットの利用等を推進してほしい。(女性 50～59 歳、鹿骨地区)
- 北部の住居表示(住所)。葛西地区以南は、区画整理が出来ていて分り易いが、北部(江戸川・一之江以北)が、環七が出来て分断されたりで分りづらい。不可解なのは千葉県側から1丁目～5(6)となっている。改善は無理だと思うが、一つの問題提起です。広報車のこと。時々広報車が来て話して行きます。音量には問題ないですが、内容が全く分かりません。集合住宅の上部(9階)ですが、エコーも強く聞きづらいです。(男性 75 歳以上、葛西地区)
- 区役所の方は、丁寧な対応を心がけてほしいです。(女性 40～49 歳、小松川地区)
- 選挙での投票率の低さ。(男性 30～39 歳、小岩地区)
- 若い人達へ、働く場所(正規社員等)の確保の手助けなどしてほしい。夢と希望のもてる未来を、若い人達にもってほしいので。(女性 65～69 歳、葛西地区)
- 街全体の美観。江戸川区の特徴となるものを作ってほしい。(女性 50～59 歳、小松川地区)
- 以前住んでいた所では区報が必ず投函されていたが江戸川区では発行されているのかもよく分かりません。発行されているのであれば配布して頂きたいです。(女性 40～49 歳、葛西地区)
- ハローワークや役所をもう少し増やすor分所的なものを作ってほしい。葛西からさらに移動は中々大変。(男性 30～39 歳、葛西地区)
- 住民票等の発行申請のオンライン化(オンラインで申請→クレジットカード等で決済→役所に行けば待ち時間無しで受け取れる、または自宅へ郵送)(男性 30～39 歳、東部地区)
- 問題が起きた時どこに相談すればよいか情報を分かりやすくしてほしい。(男性 50～59 歳、鹿骨地区)
- コロナ禍で本当に困っている人への支援。(女性 40～49 歳、中央地区)
- 休日が土、日曜日しかないので区役所は、土曜日でも営業してほしい。(女性 50～59 歳、中央地区)
- 税金が他の区より高いのもっと安くしてほしい。税金等の支払いで困っています。(女性 65～69 歳、中央地区)
- 地域を挙げてのイベントが少ない。(女性 30～39 歳、葛西地区)



## IV 調査票





# 第34回 江戸川区民世論調査

## 調査へのご協力をお願い

区民の皆さまには、日頃から区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび江戸川区では、「第34回 江戸川区民世論調査」を実施いたします。この調査は、区民の皆さまが日頃から感じていることや区政に対してお持ちのご要望をお聞きし、今後の区政運営に役立てるために実施するものです。調査の実施にあたり、区内にお住まいの満18歳以上の方4000人を無作為に選ばせていただきました。

調査の実施は江戸川区が委託する「株式会社<sup>よんなな</sup>47ブランディング」が行います。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年11月

江戸川区長 齊藤 猛

あなたのインターネット回答用の  
IDとパスワード

ID：  
パスワード：

インターネット回答用  
二次元コード



※IDは半角英数で11文字、パスワードは半角英数で8文字です。  
IDとパスワードは個人を特定するものではありません。

インターネット回答用URL：<https://mr6.jp/orca/BD47232111/A/edogawa2021>

## － 回答に当たってのお願い －

- 封筒の宛名のご本人様がお答えください。
- 回答は、当てはまる選択肢の番号に○をしてください。
- 例えば、「(○は3つまで)」など回答の数が指定されている質問では、指定の数以内で選んでください。
- 質問によっては一部の方にのみ回答していただく場合があります。
- 「その他」を選んだ場合は、( ) 内に具体的に記入してください。
- 調査結果は全て統計的に処理しますので、個人の回答内容が公表されることは一切ありません。
- 【令和3年11月21日(日)】までにご回答ください。

## － 郵送での回答 －

- 調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵送してください。(切手不要)

## － インターネットでの回答 －

- パソコン・スマートフォンなどで、表紙の回答専用ページにアクセスしてご回答ください。スマートフォンからは、二次元コードよりアクセスいただけます。
- 回答専用ページから、表紙の ID・パスワードを入力してログインをしてください。
- 通信料はご利用者さまの負担となります。

<p>【調査受託事業者・お問い合わせ先（回答方法）】</p> <p>株式会社 <sup>よんなな</sup>47ブランディング</p> <p>〒171-0021</p> <p>東京都豊島区西池袋 1-5-3</p> <p>エルグビル 8F</p> <p>電話：03-6388-6640</p> <p>（受付時間：平日 9：00～17：30）</p>	<p>【調査主体・お問い合わせ先（調査内容）】</p> <p>江戸川区 SDGs 推進部広報課区政案内係</p> <p>〒132-8501</p> <p>東京都江戸川区中央 1-4-1</p> <p>電話：03-5662-6168（直通）</p> <p>（受付時間：平日 8：30～17：00）</p>
--	---

## 【居住年数・永住意向について】

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(○は1つ) <n=1,836>

1	1年未満	2.6%	4	11~20年	16.1
2	1~5年	11.8	5	21~30年	16.0
3	6~10年	7.1	6	31年以上	45.5

問2 あなたは、今後も江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ) <n=1,836>

1	住み続けたい	47.4%	4	区外へ移るつもり	3.3
2	できれば住み続けたい	28.9	5	分からない	15.1
3	できれば区外へ移りたい	4.4			

問3 あなたは、江戸川区に愛着や親しみを感じますか。(○は1つ) <n=1,836>

1	感じている	53.6%	3	あまり感じていない	9.4
2	やや感じている	34.6	4	感じていない	1.5

## 【江戸川区の現況について】

問4 ①~⑱の各項目の現況について、どの程度満足していますか。項目ごとにお答えください。

(それぞれ○は1つずつ)

<n=1,836> (%)

項目	評価					
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	分からない
① 買い物の便	35.7	27.6	23.6	8.7	3.2	0.2
② 交通の便	31.7	24.6	22.4	13.3	6.5	0.1
③ 道路・歩道の整備	18.8	24.7	36.7	13.3	4.6	0.4
④ 公園・水辺の整備	33.4	29.6	28.5	4.6	0.9	1.7
⑤ 緑化の推進	29.8	29.0	32.6	3.8	1.3	2.1
⑥ 街の景観	14.5	20.0	46.8	11.8	3.9	1.4
⑦ 街のバリアフリー	7.0	12.9	46.5	17.6	6.3	8.0
⑧ ごみの収集	27.2	23.1	39.5	6.3	1.7	0.8
⑨ リサイクルの推進	12.9	18.6	51.8	5.8	1.4	8.0
⑩ 地域の治安・安全性	10.0	19.2	43.5	16.8	7.5	1.7
⑪ 災害への備え	5.7	14.1	43.0	18.1	9.3	8.2
⑫ 近所づきあい	7.7	12.6	61.7	6.6	3.2	7.0
⑬ 文化施設の充実度	9.3	19.3	49.0	9.3	2.5	9.2
⑭ スポーツ施設の充実度	10.0	20.3	46.8	8.2	2.9	10.1
⑮ 熟年者の生活環境	6.1	16.7	44.5	7.6	3.6	19.9
⑯ 子育て環境	12.5	27.8	35.0	3.8	1.5	16.8
⑰ 健康相談・健康診査	12.5	22.8	47.2	5.2	1.6	9.4
⑱ 病院・診療所の充実度	13.8	25.5	41.9	11.4	3.5	2.8

問5 あなたは、江戸川区の現況を総合的にみた場合、どの程度満足していますか。(〇は1つ)

<n=1,836>

1 満足	14.3%	4 やや不満	7.2
2 やや満足	42.4	5 不満	1.2
3 普通	32.7	6 分からない	1.6

【区の推奨度について】

問6 あなたは、区外の方に江戸川区に住むことや来ていただくことを勧めたいですか。(〇は1つ)

<n=1,836>

1 どちらも勧めたい	19.9%	4 どちらも勧めない	12.9
2 定住を勧めたい	14.5	5 分からない	34.5
3 来訪を勧めたい	17.6		

【SDGs について】

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年に国連サミットで採択された国際目標です。目標年度は2030年度。17の目標（ゴール）と169のターゲットで構成され、「誰一人取り残さない」という理念の下、経済・社会・環境のバランスを取りながら、全ての人が平和で豊かに暮らせる世界を目指す取り組みです。



江戸川区は「ともに生きるまち」を目指してSDGsに取り組んでいます

問7 あなたは、SDGsを知っていますか。(〇は1つ)

<n=1,836>

1 名前も内容も知っている	45.0%	3 全く知らない	18.5
2 名前は聞いたことがあるが内容は知らない	35.0		

問8 SDGsの17のゴールのうち、区が特に力を入れて取り組んでほしいゴールをお答えください。

(〇は5つまで)

<n=1,836>

1 貧困をなくそう	40.0%	10 人や国の不平等をなくそう	23.5
2 飢餓をゼロに	14.7	11 住み続けられるまちづくりを	59.6
3 すべての人に健康と福祉を	57.0	12 つくる責任 つかう責任	12.3
4 質の高い教育をみんなに	30.9	13 気候変動に具体的な対策を	30.5
5 ジェンダー平等を実現しよう	11.1	14 海の豊かさを守ろう	14.7
6 安全な水とトイレを世界中に	20.8	15 陸の豊かさを守ろう	8.2
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	19.5	16 平和と公正をすべての人に	24.3
8 働きがいも経済成長も	29.8	17 パートナリシップで目標を達成しよう	2.5
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10.8	18 分からない、当てはまるものはない	2.7

問9 下記のうち、あなたのご自身の生活の中で現在取り組んでいること、または今後取り組んでみたいことをそれぞれお答えください。

(選択肢番号①～⑰はSDGsの各ゴール番号の目標達成につながるものです) <n=1,836> (%)

取り組み	現在と今後	①現在取り組んでいること (〇はいくつでも)	②今後取り組みたいこと (〇は3つまで)
① 子ども食堂へ食材を届ける		0.8	9.5
② 食料品を必要な分だけ買う		59.7	14.9
③ 十分な睡眠をとる		49.4	23.3
④ 読まなくなった本を必要な人に届ける		9.6	18.3
⑤ 家事や育児を分担する		24.2	6.8
⑥ 歯磨きやシャワーの水を小まめに止める		58.7	9.6
⑦ 見ていないテレビは消す		57.9	13.2
⑧ 働きやすい職場環境をつくる		15.0	8.7
⑨ 最新のテクノロジーやイノベーションに触れる		11.9	13.9
⑩ いじめや差別をしない、させないようにする		37.7	13.0
⑪ 外出時は公共交通機関を利用する		49.6	7.2
⑫ 3R(リデュース・リユース・リサイクル)に取り組む		28.4	13.2
⑬ 植物の栽培、家庭菜園を始める		16.2	12.7
⑭ マイバッグ・マイボトルを持ち歩く		72.5	6.6
⑮ 紙資源を再利用し、ペーパーレスを進める		24.6	9.4
⑯ 地域コミュニティや絆を広げ、安全安心なまちづくりに参加する		7.2	12.7
⑰ オールえどがわでSDGsに取り組む		2.3	6.4
⑱ 分からない、当てはまるものはない		2.3	5.5



## 【なごみの家について】

なごみの家は区内に9カ所あり、地域共生社会（支える人も支えられる人もお互いが支え合い、つながりあえる社会）を実現する拠点として活動しています。

主な機能は3つあります。

- ① 「交流の場」：気軽に立ち寄り、顔見知りをつくれる場（イベントなども実施）
- ② 「なんでも相談」：どんな困りごとでも伺い、必要に応じ専門相談につながります
- ③ 「地域ネットワーク」：町会・自治会、警察、消防、医療・介護関係者の方など多くの地域の方が話し合える場を定期的に提供し、地域課題の解決に取り組みます

問 12 あなたは、なごみの家を知っていますか。（○は1つ）

<n=1,836>

1	利用したことがあり、知っている	2.7%
2	利用したことはないが、だいたいの活動内容は知っている	8.6
3	利用したことはないが、名前だけは知っている（活動内容は知らなかった）	40.4
4	全く知らない	47.3

## 【人権について】

問 13 日本における人権課題について、あなたが関心のあるものはどれですか。（○はいくつでも）

<n=1,836>

1	女性	34.7%	11	性自認（自分の性についての認識。生物学的な性と心の性が一致しない場合があること）	15.1
2	子ども	37.4	12	性的指向（異性愛、同性愛、両性愛など）	14.3
3	高齢者	37.3	13	刑を終えて出所した人	11.5
4	障害者	40.3	14	路上生活者（ホームレス）	19.7
5	同和問題（部落差別）	9.7	15	インターネットによる人権侵害	43.6
6	アイヌの人々	8.7	16	北朝鮮当局によって拉致された被害者など	24.3
7	外国人	18.0	17	人身取引（性的搾取、強制労働などを目的とした人身取引）	14.3
8	エイズ患者・HIV感染者	6.1	18	東日本大震災に伴う人権問題	18.4
9	ハンセン病患者・回復者など	6.6	19	その他( )	1.1
10	犯罪被害者やその家族	20.4	20	特になし	8.2

## 【気候変動について】

巨大台風や集中豪雨など異常気象による被害が全国各地で毎年のように発生しています。

異常気象や猛暑日の急増などの極端な気候の変化は、大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスが増えて地球が温暖化したことが原因です。これ以上気温を上げないために、原因となる二酸化炭素などの排出を減らす省エネ行動（気候変動の緩和）が大切です。一方、すでに引き起こされている気候の変化に私たちの暮らし方を合わせていくこと（気候変動への適応）も大切なことです。

江戸川区では、令和3年4月に都内初となる気候変動適応センターを開設しました。気候変動による影響と区民の皆さまが「自分ごと」として捉えることができる情報を発信し、取り組みを本格化していきます。

問 14 あなたは、日常生活の中でどのようなことに気候変動の影響を感じますか。

（〇はいくつでも）

<n=1,836>

1	台風やゲリラ豪雨の増加	85.3%	6	猛暑によるエアコンの使用増や災害に備えた避難準備など以前と異なる行動	44.1
2	猛暑による熱中症など健康被害の発生	69.6	7	学業・仕事への影響（屋外での学業・仕事、通勤・通学など）	17.8
3	桜の開花時期や紅葉時期の変化、動物の生息状況などの変化	34.3	8	その他（ ）	0.9
4	大雪や暖冬の発生	37.9	9	特に感じない	1.9
5	農畜産物の品質悪化、価格上昇	35.4			

問 15 気候変動の影響から自らの健康や暮らしの安全を守るために、あなたは、以下の項目に取り組んでいますか。（〇はいくつでも）

<n=1,836>

1	熱中症予防のために、小まめに水分を補給するようになった	81.4%	6	冬場に暖かな日が増えたため、暖房の使用を減らした	23.5
2	猛暑日や熱帯夜が増えたので、エアコンの使用を増やした	64.8	7	災害用備蓄を増やす、避難経路を確認するなど水害への備えを見直した	23.9
3	夏場は外遊びの時間を夕方にくら減らす、屋外での作業時間を減らすなど暑さを避ける行動をするようになった	26.1	8	野菜の旬の時期が昔と変わったことや、長雨による品質不良、価格高騰などにより、季節の献立や予定していたメニューの提供を変えたことがあった	18.6
4	天気予報、熱中症アラート、台風情報などを気にするようになった	66.7	9	猛暑など極端な気象が増えたので、家や事業所で断熱窓や遮熱塗装などへの改修を行った	3.3
5	天気の急変に備えて、折り畳み傘を持ち歩くようになった	32.0	10	その他（ ）	0.9



【省エネ・省資源を意識した行動について】

問 16 省エネ・省資源のための、次の①～⑳の行動について、それぞれお答えください。

(それぞれ○は1つずつ)

<n=1,836> (%)

項目	該当	はい	いいえ
【①～⑧ 気候変動適応】			
① 部屋の照明や冷暖房などは、省エネに配慮したスイッチの入・切をしている		83.8	14.0
② 夏は28℃、冬は20℃を冷暖房温度の目安としている		48.3	48.3
③ 冷蔵庫に物を詰め込み過ぎないようにしている		69.2	26.8
④ 家電製品を購入するときには、省エネルギー製品を購入するようにしている		75.0	21.4
⑤ 自動車の利用を極力控え、バスなどの公共交通や自転車などを利用するようにしている		67.0	29.4
⑥ 自宅または事業所に太陽光パネルを設置している		3.6	91.0
⑦ 自宅または事業所で燃料電池自動車または電気自動車（ハイブリッド車を除く）を使用している		5.0	88.4
⑧ 区内に水素ステーションがあることを知っている		22.7	72.9
【⑨～⑱ ごみ減量】			
⑨ 買い物の際にはレジ袋削減のため買い物袋（マイバッグ）を持参している		88.7	10.1
⑩ 生ごみの水切りを行っている		83.1	14.8
⑪ 修理できるものは修理して使うようにしている		77.9	18.6
⑫ 割り箸やペットボトルなどの使い捨て商品は使わないようにしている		35.0	61.5
⑬ 食品ロスという言葉や取り組みを知っている		90.3	7.2
⑭ まだ食べられるのに捨てられている食品を減らすように何らかの取り組みをしている		57.7	38.8
⑮ リサイクルショップを利用している		30.3	66.2
⑯ 不用品の無償譲渡の情報登録制度「リサイクルバンク」を知っている		16.4	80.4
⑰ 古紙などの資源は、町会・自治会などで行う集団回収に出すようにしている		64.8	33.1
⑱ どのような紙が「雑がみ」としてリサイクルできるか知っている		40.5	55.9
【⑲～⑳ 全体】			
⑲ マイクロプラスチック問題という言葉や取り組みを知っている		49.9	46.1
⑳ 上記の他に省エネ・省資源やごみ減量・リサイクルなどにつながる、環境に配慮した取り組みを行っている (具体的に: )		18.4	75.0

## 【災害対策について】

近年、地球温暖化による気候変動の影響で、想定を上回る巨大台風や集中豪雨による被害が全国各地で頻発しています。

低地帯に位置する江戸川区では、洪水や高潮などにより堤防が決壊するような大規模水害が発生すると浸水域が広範囲にわたります。浸水域内にとどまった場合、ライフラインが途絶え劣悪な環境に2週間以上取り残される可能性があります。



早期に区外の浸水しない地域などへ広域避難することが最も安全な対応であるため、江戸川区を含む江東5区では次のような情報を発表し、広域避難を呼び掛けます。

- 氾濫発生72時間前(3日前) 共同検討開始・・・【逃げる準備】
- // 48時間前(2日前) 自主的広域避難情報・・・【区外の安全な場所に逃げる】
- // 24時間前(1日前) 広域避難指示・・・【直ちに区外へ退去】
- // 9時間前 域内垂直避難・・・【浸水しない頑丈な高い建物へ避難】

問 17 大規模水害時にあなたは江戸川区外の浸水しない地域へ広域避難できますか。

(○は1つ)

<n=1,836>

1	48時間以上前に広域避難できると思う	→ 問17-1、問17-2へ	12.1%
2	24時間前なら広域避難できると思う	→ 問17-1、問17-2へ	26.2
3	直前まで判断できないと思う		23.1
4	大規模水害発生前の広域避難はできないと思う	→ 問17-3、問17-4へ	8.8
5	広域避難できるか分からない	→ 問17-3、問17-4へ	24.5

問 17-1 問 17 で「1」または「2」と答えた方にお尋ねします。

大規模水害時に広域避難する場合、あなたは江戸川区外のどこへ避難しますか。

(○は1つ)

<n=703>

1	親戚宅、友人・知人宅、別宅	51.1%	4	避難先として行政から指定された	27.0
2	民間施設(ホテル、旅館など)	13.7		施設	
3	勤務先や在学先(学校)関連施設	5.8	5	その他( )	1.7

問 17-2 問 17 で「1」または「2」と答えた方にお尋ねします。

問 17-1 で選択された広域避難先について、どのような手段で避難しますか。

(○は2つまで)

<n=703>

1	徒歩	29.7%	5	鉄道	40.5
2	自転車	15.5	6	バス	7.1
3	バイク	0.6	7	タクシー	6.4
4	自動車	38.7	8	その他( )	0.6

問 17-3 問 17 で「4」または「5」と答えた方にお尋ねします。

大規模水害時に広域避難しない場合、あなたは江戸川区内のどこへ避難しますか。

(○は1つ)

<n=611>

1 民間施設 (マンションなど高層建物)	15.1%	4 その他 ( )	3.6
2 勤務先や在学先 (学校) 関連施設	3.3	5 避難しない (自宅にとどまる)	32.2
3 公共施設 (小・中学校、区民館など)	41.9		

問 17-4 問 17 で「4」または「5」と答えた方にお尋ねします。

大規模水害時に広域避難しない理由について、あなたはどのようにお考えですか。理由ごとにお答えください。(それぞれ○は1つずつ)

<n=611> (%)

避難しない理由	該当	当てはまる	どちらとも いえない	当てはまら ない
① 仕事や学校がある		18.0	16.7	44.7
② 家や家財から長く離れることが心配		24.2	21.9	34.4
③ 広域避難先の当てがない		58.8	13.1	10.3
④ 遠くまでの避難が困難な家族がいる		20.1	11.6	49.8
⑤ ペットなどを飼っている		20.5	1.5	59.7
⑥ 自宅が一番安全だと思う		22.7	34.5	27.3
⑦ 近隣の高層建物などへ避難すれば十分		15.9	38.2	26.8

本区は今年度、「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度を創設しました。

この制度は、江東5区により広域避難情報を発令した際、避難場所として区外の旅館やホテルなどの宿泊施設を利用された方に、1人1泊一律3000円かつ上限を3泊とする(最大9000円)補助金を交付するものです。

問 18 「江戸川区大規模水害時自主的広域避難補助金」制度についてお答えください。(○は1つ)

<n=1,836>

1 知っており、利用したい	→ 問 18-1へ	4.5%
2 知らなかったが、利用したい	→ 問 18-1へ	64.9
3 知っていたが、利用しない	→ 問 18-2へ	3.9
4 知らなかったし、利用しない	→ 問 18-2へ	22.5

問 18-1 問 18 で「1」または「2」と答えた方にお尋ねします。

上記制度を利用する理由をお答えください。(○は1つ)

<n=1,273>

1 あらかじめ宿泊施設への広域避難を考えていたから	22.1%
2 この制度をきっかけに、広域避難することにしたから	75.0

問 18-2 問 18 で「3」または「4」と答えた方にお尋ねします。

上記制度を利用しない理由をお答えください。(〇は1つ)

<n=486>

1	広域避難先を宿泊施設以外（親戚・友人宅など）で考えているから	24.5%
2	行政が確保する広域避難先に避難したいから	7.8
3	広域避難先をどこにするかまだ決めていないから	29.1
4	自宅を離れたくないから	14.6
5	広域避難を検討していないから	18.9

### 【区内路線バス利用頻度について】

問 19 あなたが区内路線バスを利用する頻度はどのくらいですか。(〇は1つ)

<n=1,836>

1	ほぼ毎日	6.4%	3	月に数回	30.8
2	週2～3日	8.9	4	ほとんど利用しない	52.6

### 【ご当地ナンバーについて】

問 20 自動車のご当地ナンバー（地方版図柄入りナンバープレート）は、国土交通省が平成 30 年に第 2 次募集を行い、令和 2 年に 17 地域が新たに追加されました。

現在、区民が自動車登録をする場合、「足立」ナンバーが指定されますが、例えば「江戸川」ナンバーなど、今後、江戸川区独自のご当地ナンバーの導入が必要だと思いますか。また、その回答を選んだ理由があればご記入ください。(〇は1つ)

<n=1,836>

1	必要である	17.9%	3	どちらともいえない	47.1
2	必要ではない	29.4			

理由：

### 【自転車の安全利用と保険の加入について】

自転車は手軽で便利な乗り物であり、平坦な地形の江戸川区においては、主要な交通手段として、幅広い世代に利用されています。一方、令和 2 年の交通事故発生状況では、発生した交通事故 1388 件のうち、自転車が関与する交通事故が 820 件あり、約 6 割を占めています。そこで、自転車の利用についてお伺いします。

問 21 東京都では、令和 2 年 4 月 1 日より自転車利用者自らに自転車損害賠償保険などへの加入が義務化となりました。あなたが加入している自転車損害賠償保険の種類をお答えください。

(〇はいくつでも)

<n=1,836>

1	江戸川区区民交通傷害保険	3.8%	5	その他（	）	2.2
2	保険会社の自転車利用者向けの保険	22.4	6	加入していない		15.9
3	自動車保険や傷害保険などの特約	17.9	7	分からない		12.4
4	TS マーク付帯保険	6.3	8	自転車に乗らない		24.3

問 22 あなたは、この1年間で自転車走行中に危険な経験をしたことはありますか。

(○はいくつでも)

<n=1,836>

1	他の自転車と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。	16.3%	3	歩行者と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。	10.0
2	自動車と接触したことがある、または接触しそうになったことがある。	9.9	4	その他 ( )	4.1
			5	ない	62.3

問 23 あなたは、自転車事故を無くすためには、何が必要と感じますか。(○は2つまで) <n=1,836>

1	自転車専用レーンなど、自転車走行環境の整備	49.2%	4	交通安全教室などの教育、啓発活動の強化	8.8
2	交通違反者の取り締まりや罰則の強化	27.9	5	自転車を利用する人のマナーやモラルの向上	63.4
3	自転車の免許制度の導入	11.8	6	その他 ( )	3.2

自転車は道路交通法上「軽車両」です。自転車に乗るときに守るべきことのうち、特に重要なルール(自転車安全利用五則)があります。※違反すると罰則が課せられることもあります。

<自転車安全利用五則>

①自転車は車道が原則、歩道は例外

②車道は左側を通行

③歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

④安全ルールを守る(飲酒運転・二人乗り・並進の禁止、夜間はライトを点灯、信号を守る・交差点での一時停止と安全確認)

⑤子どもはヘルメットを着用

※走行中の携帯電話の使用や傘差し運転も違反です。

事故の当事者とならないためにも、交通ルールを守り、正しいマナーで自転車に乗りましょう。

### 【治安に対する意識について】

江戸川区では地域の皆さまの見守りや防犯活動などのご協力により、犯罪件数が年々減り続けています。ピークであった平成12年の18275件に比べ、令和2年は3761件と約8割減少しています。

現在でも高い割合となっているのは、カギを掛けるなど少しの手間で防げる自転車盗や車上狙いです。また、近年では特殊詐欺への対策も課題となっています。

今後も安全・安心な江戸川区になるよう、皆さまと江戸川区・警察が一丸となって防犯対策に取り組むことが大切です。

そこで、治安に関して、お伺いします。

問 24 あなたが、自分や身近な人が犯罪被害に遭うかもしれないと不安になる場所はどこですか。

(○はいくつでも)

<n=1,836>

1	繁華街	52.2%	6	自宅	13.6
2	路上	59.8	7	駐車場、駐輪場	20.2
3	公園	29.7	8	インターネット空間	37.9
4	電車、バスなどの乗り物の中	45.3	9	その他 ( )	2.2
5	駅	25.7			

問 25 あなたが、区や警察にさらに力を入れて対策をしてほしい犯罪は何ですか。(〇はいくつでも)

<n=1,836>

1	殺人、強盗などの凶悪な犯罪	49.2%	7	痴漢や強制わいせつなどの性的犯罪	51.0
2	暴行、傷害などの粗暴な犯罪	54.5			
3	空き巣などの住宅に侵入して物を盗む犯罪	52.3	8	フィッシング詐欺やSNSでの誹謗中傷などのインターネットを利用した犯罪	47.2
4	自動車、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内の物を盗む犯罪	42.0	9	暴力団による組織犯罪	25.1
5	高齢者を狙ったオレオレ詐欺などの特殊詐欺	56.7	10	来日外国人による組織犯罪	37.6
6	誘拐、子どもの連れ去りやいたずら	49.7	11	その他 ( )	2.7
			12	特にな	2.4

### 【町会・自治会について】

問 26 あなた（の世帯）の町会・自治会への加入状況についてお答えください。

(〇は1つ)

<n=1,836>

1	加入しており、日常的に活動している	7.4%
2	加入しているが、活動に参加するのは主に行事（まつり、運動会、清掃活動など）のときだけ	14.3
3	加入しているが、活動にほとんど参加していない	33.3
4	加入していない → 問26-1へ	34.0
5	分からない	9.7

問 26-1 問26で「4」と答えた方にお尋ねします。

町会・自治会未加入の理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<n=624>

1	仕事や育児などで活動時間を確保できないから	22.6%	6	近所と関わるのが面倒だから	15.1
2	役員になると大変だから	13.5	7	会費を負担したくないから	12.8
3	今住んでいるところに、永住するつもりがないから	15.5	8	周囲の人が加入していないから	12.7
4	町会・自治会の呼び掛けがないから	35.7	9	町会・自治会が何をしているか分かりづらいから	31.3
5	町会・自治会への加入方法を知らないから	26.8	10	その他 ( )	13.3

問 27 あなたは町会・自治会に何を求めていますか。(〇はいくつでも)

<n=1,836>

1	まつり(祭事含む)や盆踊りなどの地域の賑わいづくり	27.9%	6	熟年者の見守り活動	28.6
2	防災に関する活動(防災訓練、避難訓練、災害時の支援活動など)	43.2	7	子どもに関する活動(子ども会や学校との連携、子育て世帯への支援活動、通学路での見送りなど)	33.8
3	防犯に関する活動(防犯カメラの設置、防犯パトロール、登下校の見守りなど)	57.0	8	障害者へのサポート活動	16.2
4	区への陳情などの相談先	9.0	9	外国人へのサポート活動	10.2
5	美化活動(道路・公園の清掃活動、ごみ集積所の管理など)	32.7	10	地域スポーツ活動への支援(運動会など)	5.1
			11	その他( )	5.3

### 【キャッシュレス化の推進について】

国はキャッシュレス決済比率を2025年までに40%程度とすることを目標にしています。また、コロナ禍の中、新しい生活様式のひとつとして、非接触で買い物ができるキャッシュレス決済への切り替えが推奨されています。そこで、キャッシュレス決済の利用状況をお伺いします。

問 28 日用品の買い物であなたは、どのようなキャッシュレス決済を利用していますか。キャッシュレス決済の種類ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つずつ)

<n=1,836> (%)

種類	利用頻度	1 頻繁に利用している	2 ときどき利用している	3 利用していない
① クレジットカード		42.5	30.4	23.0
② カード式電子マネー【交通系】 (Suica、PASMOなど)		44.6	35.1	14.9
③ カード式電子マネー【交通系以外】 (WAON、nanacoなど)		22.0	23.7	47.5
④ 二次元コード／バーコード決済 (PayPay、楽天ペイなど)		19.6	14.9	57.2

※「Suica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※「PASMO」は、株式会社パスモの登録商標です。

※「WAON」は、イオン株式会社の登録商標です。

※「nanaco」は株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。

※「PayPay」は、Zホールディングス株式会社の登録商標です。

※「楽天ペイ」は、楽天グループ株式会社の登録商標です。

問 28-1 問 28 のいずれかで「3」と答えた方にお尋ねします。

「3」を選択した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

<n=1,351>

1	セキュリティに不安がある	27.8%	4	設定に手間がかかる	23.2
2	利用できる店舗が少ない	5.8	5	現金が使いなれている	36.9
3	利用方法が分からない	21.5	6	その他( )	18.7

### 【ヤングケアラーについて】

本来、大人が担うような介護やきょうだいの世話などを日常的に行う 18 歳未満の子どもを「ヤングケアラー」といいます。子ども自身がやりたいことができないなど、子どもの権利が守られないことが問題となっています。

問 29 あなたは、ヤングケアラーを知っていますか。(〇は1つ) <n=1,836>

1	聞いたことがあります、意味も知っている	46.6%	3	初めて聞いた	41.4
2	聞いたことはあるが、意味は知らなかった	10.3			

問 30 あなたは、ヤングケアラーの問題が解消されない理由は何だと思えますか。

(〇はいくつでも) <n=1,836>

1	「ヤングケアラー」という言葉と意味が認識されていない	42.2%	4	ケアを担っている子どもたちの相談窓口が充実していない	42.0
2	ケアを担っている子どもたち自身が自分の状況を認識していない	30.3	5	ヤングケアラーを支援する団体や取り組みが少ない	43.9
3	さまざまな事情でヤングケアラーを容認してしまう家庭がある	43.6	6	その他 ( )	3.6
			7	分からない	14.7

### 【睡眠について】

睡眠には、心身の疲労を回復する働きがあり、睡眠時間の不足や睡眠の質が悪化すると、健康上の問題や日常生活に支障が生じます。

問 31 ここ 1 カ月間のあなたの 1 日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。(〇は1つ) <n=1,836>

1	5 時間未満	10.1%	4	7 時間以上 8 時間未満	16.8
2	5 時間以上 6 時間未満	31.4	5	8 時間以上 9 時間未満	4.0
3	6 時間以上 7 時間未満	34.9	6	9 時間以上	1.0

問 32 ここ 1 カ月間、あなたは睡眠で十分休養がとれていますか。(〇は1つ) <n=1,836>

1	充分とれている	18.7%	3	あまりとれていない	25.9
2	まあまあとれている	50.5	4	まったくとれていない	2.8

### 【健康状態・生活習慣について】

問 33 あなたは、現在、身体・心の健康状態は良いと感じますか。(それぞれ〇は1つずつ)

<n=1,836>

項目	良い	まあ良い	あまり良くない	良くない
① 身体	19.3	53.5	21.8	3.3
② 心	19.9	51.1	20.9	4.9



問34 20歳以上の方にお尋ねします。

あなたは、たばこを習慣的に吸っていますか。(〇は1つ) <n=1,768>

1 はい	15.2%	2 いいえ	81.3
------	-------	-------	------

### 【運動習慣について】

問35 健康のためには運動は欠かせません。あなたは、1年以上継続して1日30分以上の軽く汗をかく運動をどのくらいの頻度で行っていますか。(〇は1つ) <n=1,836>

1 ほぼ毎日行う	13.3%	3 月に数回程度行う	21.2
2 週に2回以上行う	18.5	4 ほとんど行わない	44.2

### 【公共施設の再編・整備について】

問36 あなたは、直近1年間で江戸川区の公共施設(公園を除く)をどのような用途でどの程度利用していましたか。用途ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つずつ) <n=1,836> (%)

用途	① 手続き 住民票の届け出など各種	② スポーツ活動	③ 文化・交流活動	④ 社会教育活動(図書館など)	⑤ 町会・自治会などの地域活動	⑥ 仕事・産業に関する相談	⑦ くらしや子育て・福祉に関する相談や教室など
利用頻度							
1 週に数回	0.4	4.1	0.7	1.6	0.3	0.2	0.7
2 月に数回	1.5	4.7	2.8	9.0	2.3	0.3	1.1
3 半年に数回	5.9	1.6	1.4	7.0	1.8	0.3	1.4
4 年に数回	45.9	5.7	6.8	12.5	7.7	2.3	6.6
5 利用しなかった	38.5	73.6	77.4	58.8	76.4	85.0	78.4

問36-1 問36で「5」を選択した方にお尋ねします。用途ごとに最も当てはまる理由をお答えください。(それぞれ〇は1つずつ) (%)

1 利用する目的が無い	89.9	70.0	76.2	75.9	79.5	83.6	82.8
2 類似の民間施設を利用している	0.4	5.0	2.0	1.4	0.4	0.8	0.6
3 類似の他自治体の施設を利用している	0.3	0.8	0.6	1.1	0.2	0.3	0.1
4 開館日時が合わない	1.6	4.5	3.0	3.0	1.9	0.9	1.1
5 施設の存在を知らなかった	1.0	4.0	5.4	2.0	4.1	4.2	3.5
6 施設の利用料が高い	0.0	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
7 その他	4.5	10.6	8.0	10.6	9.4	5.0	6.4

①<n=706>、②<n=1,348>、③<n=1,419>、④<n=1,080>、⑤<n=1,402>、⑥<n=1,562>、⑦<n=1,439>

**【区政への要望について】**

問 37 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけば良いと思いますか。

(○は3つまで)

<n=1,836>

1	都市基盤整備（道路など）	16.9%	13	青少年健全育成	2.8
2	再開発事業	6.9	14	生涯学習	3.2
3	交通網整備	17.0	15	文化・芸術	2.8
4	住宅対策	5.8	16	スポーツ振興	3.3
5	震災対策	38.8	17	保健・健康推進（感染症対策含む）	13.5
6	水害対策	54.1	18	中小企業振興	3.0
7	防犯対策（安全・安心まちづくり）	32.0	19	観光施策	2.7
8	環境保全・リサイクル	6.4	20	友好都市・国際交流	1.9
9	熟年者施策	13.5	21	平和・人権・男女共同参画	2.2
10	障害者支援	5.1	22	その他（ ）	1.3
11	子育て支援	15.7	23	分からない	3.2
12	学校教育	10.2			

問 38 あなたが、江戸川区で暮らしている中で、江戸川区の「良さ」または「改善してほしい」と感じるの、どのようなことですか。子育て支援、熟年者施策、生活環境、産業振興、災害対策、まちづくりなど、どのような分野でも構いません。できるだけ具体的にお書きください。

**【良さ】**


**【改善してほしい点】**


最後に、お答えいただいたことを統計的に処理するため、あなたご自身やご家族について、お知らせください。

F 1 あなたの性別をお知らせください。(〇は1つ) <n=1,836>

1	男性	40.4%	3	その他	0.1
2	女性	57.6			

F 2 あなたのご年齢をお知らせください。(〇は1つ) <n=1,836>

1	18・19歳	1.9%	6	60～64歳	6.9
2	20～29歳	8.4	7	65～69歳	7.5
3	30～39歳	13.3	8	70～74歳	8.7
4	40～49歳	17.9	9	75歳以上	15.5
5	50～59歳	18.0			

F 3 あなたのご職業をお知らせください。(〇は1つ) <n=1,836>

1	自営業者	7.1%	5	家事専業	13.6
2	家族従業(家事手伝い)	1.3	6	学生	3.6
3	勤め(フルタイム)	37.2	7	無職	17.5
4	勤め(パートタイム)	15.0	8	その他( )	2.7



令和4年3月発行

## 第34回 江戸川区民世論調査



編集・発行 / 江戸川区 SDGs 推進部広報課  
東京都江戸川区中央1丁目4番1号  
電話 03 (5662)6168〔直通〕

集計・分析 / 株式会社47ブランディング  
東京都豊島区西池袋1丁目5番3号  
エルグビル8階  
電話 03 (5904)9015